

平戸市日常生活圏域二一ズ調査

－ 報告書 －

平成26年3月

長崎県 平戸市

～ 目 次 ～

I 調査の概要	1
II 一般高齢者の調査結果	3
【1】属性	3
1. 調査票の記入者	3
2. 居住地構成	4
3. 性別構成	5
4. 年齢別構成	6
【2】家族や生活状況	7
1. 家族構成等	7
2. 日中、一人になること	11
3. 介護・介助の必要性	12
4. 介護・介助が必要な主な原因	13
5. 主な介護・介助者	15
6. 介護・介助者の年齢	17
7. 年金の種類	18
8. 現在の経済的暮らしの状況	19
9. 住居の種類・形態等	20
【3】運動・外出状況	24
1. 運動・外出状況	24
2. 外出を控えている理由	26
3. 外出頻度	28
4. 外出の際の移動手段について	30
【4】転倒予防	32
【5】口腔・栄養	34
1. 口腔・栄養について	34
2. 身長・体重・BMI値	37
3. 1日の食事の回数	38
4. 食事を抜くことについて	39
5. だれかと食事をする機会	40
6. 食事をともにする相手	41
【6】物忘れ	42
1. 物忘れについて	42
2. 活動（食事をする、衣服を選ぶなど）の自己判断について	44
3. 意思伝達について	45
4. 支援サービスの利用状況	46
【7】日常生活	47
1. 手段的自立度	47
2. 日用品の買い物をする人について	49

3. 食事の用意をする人について	50
4. 日常生活について	51
5. 大便の失敗について	52
6. 尿もれや尿失禁について	54
7. 家事全般について	55
【8】社会参加	56
1. 社会参加について	56
2. 社会的役割等について	58
3. 地域グループ等の参加頻度	60
4. 地域活動等の参加頻度	63
5. 「たすけあい」について	65
6. 家族や友人・知人以外の相談相手	73
7. 友人関係について	75
【9】健康状態	79
1. 健康状態について	79
2. 治療中・後遺症のある病気	80
3. 薬の種類	82
4. 通院の有無	83
5. 通院頻度	84
6. 通院時の介助の必要性	85
7. 在宅サービスの利用状況	86
8. 飲酒の程度	88
9. 喫煙状況	89
9. 毎日の生活の充実感の有無	90
10. 楽しんでやれていたことが楽しめなくなったことについて	91
11. 以前よりおっくうに感じられることについて	92
12. 自分が役に立つ人間だと思えないことについて	93
13. わけもなく疲れたような感じがすることについて	94
【10】介護保険制度、高齢者福祉	95
1. 介護保険制度の認知状況	95
2. 介護が必要になった場合の対応について	97
3. 在宅で介護を受けたい理由	98
4. 介護保険の保険料について	99
5. 平戸市の高齢者福祉施策で力を入れるべきものについて	100
【11】安全状況、介護予防	102
1. 介護予防事業の認知状況	102
2. 介護予防事業の利用意向・認知意向	103
3. 「地域包括支援センター」の認知状況	105
4. 緊急時に連絡できる人について	106
5. 災害時に一人で避難の必要性を判断、 避難場所まで避難することについて	108
6. 災害時に手助けを頼める人について	109

7. 生活の中で困っていること	110
8. 介護予防のためのサービス利用意向	114
9. 地域に期待する役割	116
【12】認知症について	118
1. 認知症相談窓口の認知状況	118
2. 認知症と思われる人への接し方について	120
【13】地域力について	122
【14】《介護者対象》介護をしている状況	131
1. 介護者の年齢	131
2. 介護者の性別	132
3. 介護を受けている人からみた介護者の続柄	133
4. 介護者の家族状況	134
5. 介護者の介護期間	138
6. 介護者の健康状態	139
7. 介護で困っていること・望んでいること	140
8. 介護の相談相手	142
9. 今後の介護方法	144
Ⅲ 認定者の調査結果	145
【1】属性	145
1. 調査票の記入者	145
2. 居住地構成	146
3. 性別構成	147
4. 年齢別構成	148
【2】家族や生活状況	149
1. 家族構成等	149
2. 日中、一人になること	153
3. 介護・介助の必要性	154
4. 介護・介助が必要な主な原因	155
5. 主な介護・介助者	157
6. 介護・介助者の年齢	159
7. 年金の種類	160
8. 現在の経済的暮らしの状況	162
9. 住居の種類・形態等	163
【3】運動・外出状況	168
1. 運動・外出状況	168
2. 外出を控えている理由	171
3. 外出頻度	173
4. 外出の際の移動手段について	175
【4】転倒予防	177
【5】口腔・栄養	179
1. 口腔・栄養について	179
2. 身長・体重・BMI値	182

3. 1日の食事の回数	183
4. 食事を抜くことについて	184
5. だれかと食事をする機会	185
6. 食事をともにする相手	186
【6】物忘れ	188
1. 物忘れについて	188
2. 活動（食事をする、衣服を選ぶなど）の自己判断について	190
3. 意思伝達について	191
4. 支援サービスの利用状況	192
【7】日常生活	193
1. 手段的自立度	193
2. 日用品の買い物をする人について	195
3. 食事の用意をする人について	196
4. 日常生活について	197
5. 大便の失敗について	200
6. 尿もれや尿失禁について	201
7. 家事全般について	202
【8】社会参加	203
1. 社会参加について	203
2. 社会的役割等について	205
3. 地域グループ等の参加頻度	207
4. 地域活動等の参加頻度	210
5. 「たすけあい」について	212
6. 家族や友人・知人以外の相談相手	220
7. 友人関係について	222
【9】健康状態	226
1. 健康状態について	226
2. 治療中・後遺症のある病気	227
3. 薬の種類	229
4. 通院の有無	230
5. 通院頻度	231
6. 通院時の介助の必要性	232
7. 在宅サービスの利用状況	233
8. 飲酒の程度	235
9. 喫煙状況	236
10. 毎日の生活の充実感の有無	237
11. 楽しんでやれていたことが楽しめなくなったことについて	238
12. 以前よりおっくうに感じられることについて	239
13. 自分が役に立つ人間だと思えないことについて	240
14. わけもなく疲れたような感じがすることについて	241
【10】介護保険制度	242
1. 要介護度	242

2. 介護保険サービスの利用状況 -----	243
3. 介護保険サービス利用による変化 -----	244
4. 介護保険サービスを利用しない理由 -----	245
5. 介護保険サービスの利用意向 -----	247
6. 施設サービスの入所意向 -----	252
7. 介護保険料について -----	254
8. 福祉施設等の設備状況について -----	255
【11】安全状況、介護予防 -----	257
1. 「地域包括支援センター」の認知状況 -----	257
2. 緊急時に連絡できる人について -----	258
3. 災害時に一人で避難の必要性を判断、 避難場所まで避難することについて -----	260
4. 災害時に手助けを頼める人について -----	261
5. となり近所とのつきあいについて -----	262
6. 生活の中で困っていること -----	263
7. 地域に期待する役割 -----	267
【12】《介護者対象》介護をしている状況 -----	269
1. 介護者の年齢 -----	269
2. 介護者の性別 -----	270
3. 介護を受けている人からみた介護者の続柄 -----	271
4. 介護者の家族状況 -----	272
5. 介護者の介護期間 -----	277
6. 介護者の健康状態 -----	278
7. 介護で困っていること・望んでいること -----	279
8. 介護の相談相手 -----	281
9. 今後の介護方法 -----	283

I 調査の概要

【調査の目的】

平戸市第6期介護保険事業計画の策定にあたって、高齢者の生活実態等を把握し、介護保険サービスの提供量見込み算出等及び地域や高齢者の課題等を客観的に分析することを目的として実施した。

【調査地域】

平戸市全域

(平戸北部地区・平戸中部地区・平戸南部地区・生月地区・田平地区・大島地区)

【調査対象】

- ①各地区から無作為抽出した65歳以上の高齢者(以下「一般高齢者」と表記)
- ②要介護認定者(施設入所者除く)(以下「認定者」と表記)

【調査方法】

留置・回収

【調査時期】

平成26年(2014年)3月

【回収結果】

	配布数	有効回収数	有効回収率
①一般高齢者	1,000人	992人	99.2%
②認定者	800人	785人	98.1%
合計	1,800人	1,777人	98.7%

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入しています。従って回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- (2) 複数回答質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- (3) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)です。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数*を「n」で表記しています。
- (4) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者(例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者)を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合があります。
- (5) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値(例:0.0%、0.1%など)は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合があります。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合があります。
- (6) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載しています。

※(例)問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における各属性(「男性」や「70~74歳」...)など、限定された回答者数

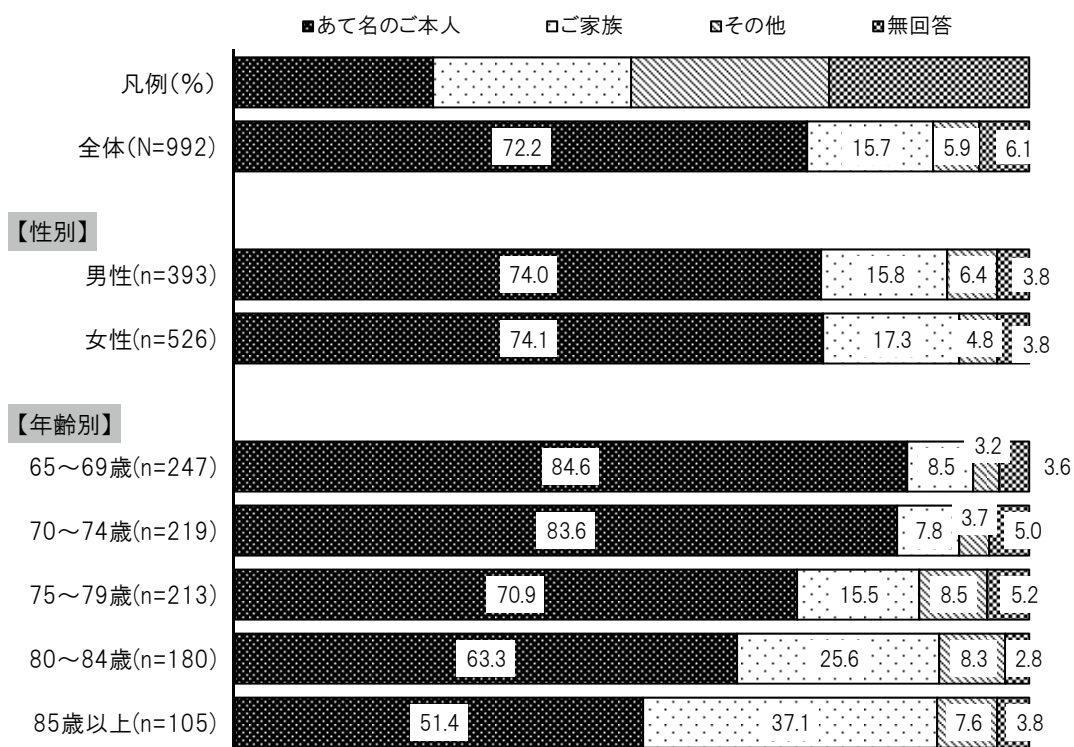
Ⅱ 一般高齢者の調査結果

【1】属性

1. 調査票の記入者

調査票の記入者は、「あて名のご本人」が72.2%、「ご家族」が15.7%、「その他」が5.9%、「無回答」が6.1%となっています。

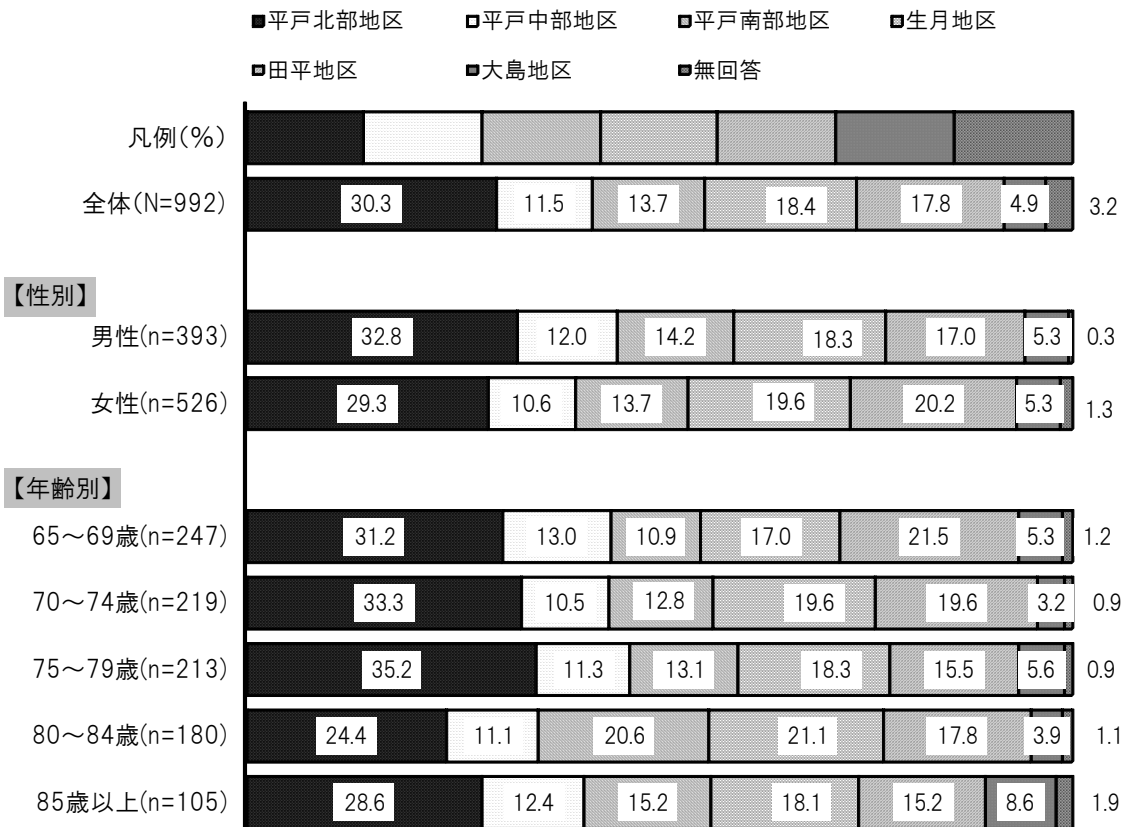
年齢別では、65～74歳は「あて名のご本人」が80%台ですが、高年齢になるにしたがって少なくなり、85歳以上では51.4%と半数に減少し、「ご家族」の記入が37.1%と多くなっています。



2. 居住地構成

回答者の居住地構成は、「平戸北部地区」が30.3%で最も多く、ついで「生月地区」が18.4%、「田平地区」が17.8%、「平戸南部地区」が13.7%、「平戸中部地区」が11.5%、「大島地区」が4.9%となっています。

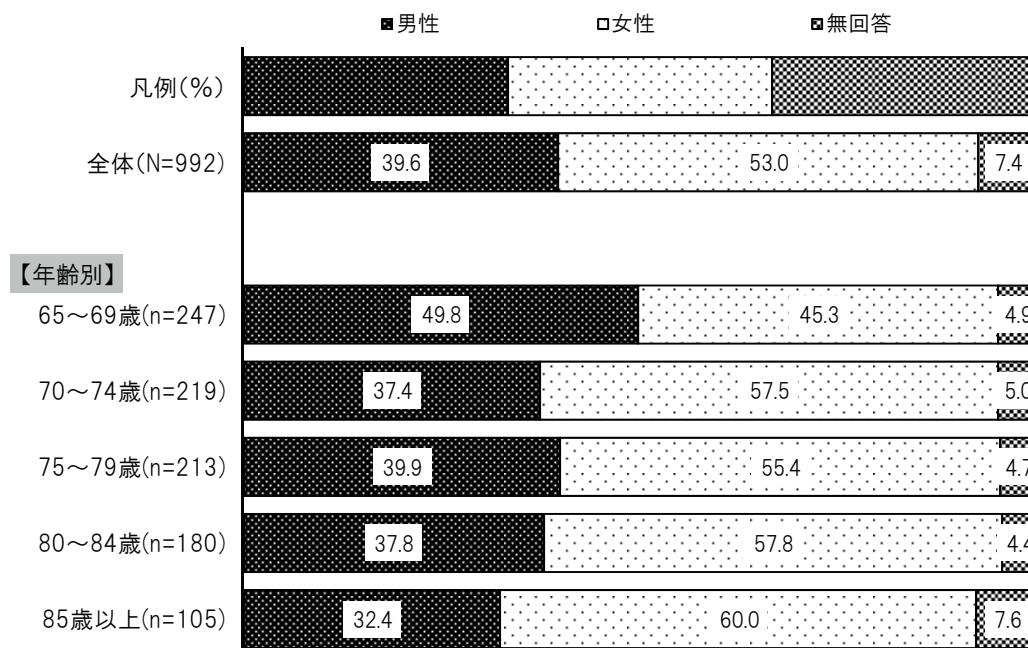
年齢別では、65～79歳は「平戸北部地区」が30%以上と多くを占めていますが、80～84歳は「平戸北部地区」は24.4%と少なくなり、「平戸南部地区」が20.6%、「生月地区」が21.1%と多くなっています。85歳以上も「平戸北部地区」は28.6%とやや少なくなり、「平戸南部地区」が15.2%、「大島地区」が8.6%とやや多くなっています。



3. 性別構成

性別構成は、「男性」が39.6%、「女性」が53.0%と女性が半数以上を占めています。

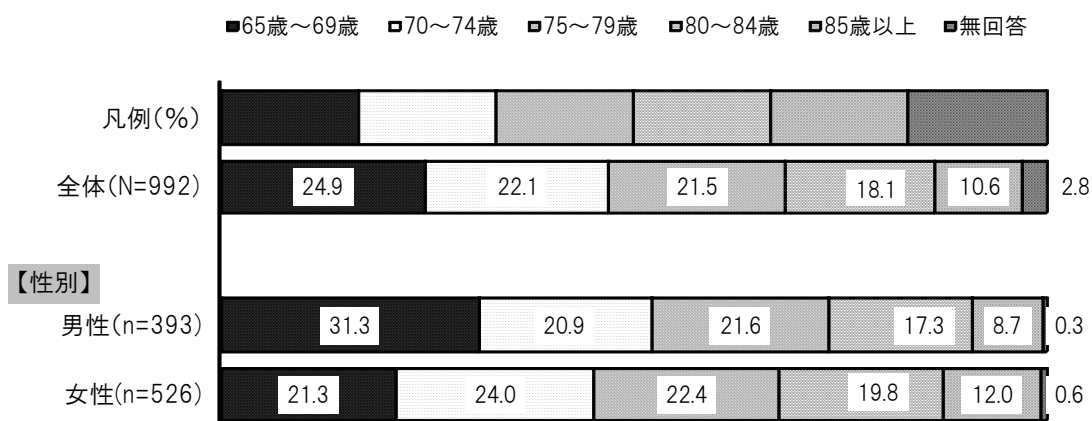
年齢別では、65～69歳は「男性」が49.8%、「女性」が45.3%と半数に分かれていますが、70歳以上は「女性」が55%から60%を占めて多くなっています。



4. 年齢別構成

年齢別構成は、「65～69歳」が24.9%で最も多く、ついで「70～74歳」が22.1%、「75～79歳」が21.5%、「80～84歳」が18.1%、「85歳以上」が10.6%となっています。また、74歳以下は47.0%、75歳以上が50.2%となっています。

性別では、74歳以下は男性が52.2%、女性が45.3%と男性が多く、「75歳以上」は男性が47.6%、女性が54.2%と女性が多くを占めています。



【2】 家族や生活状況

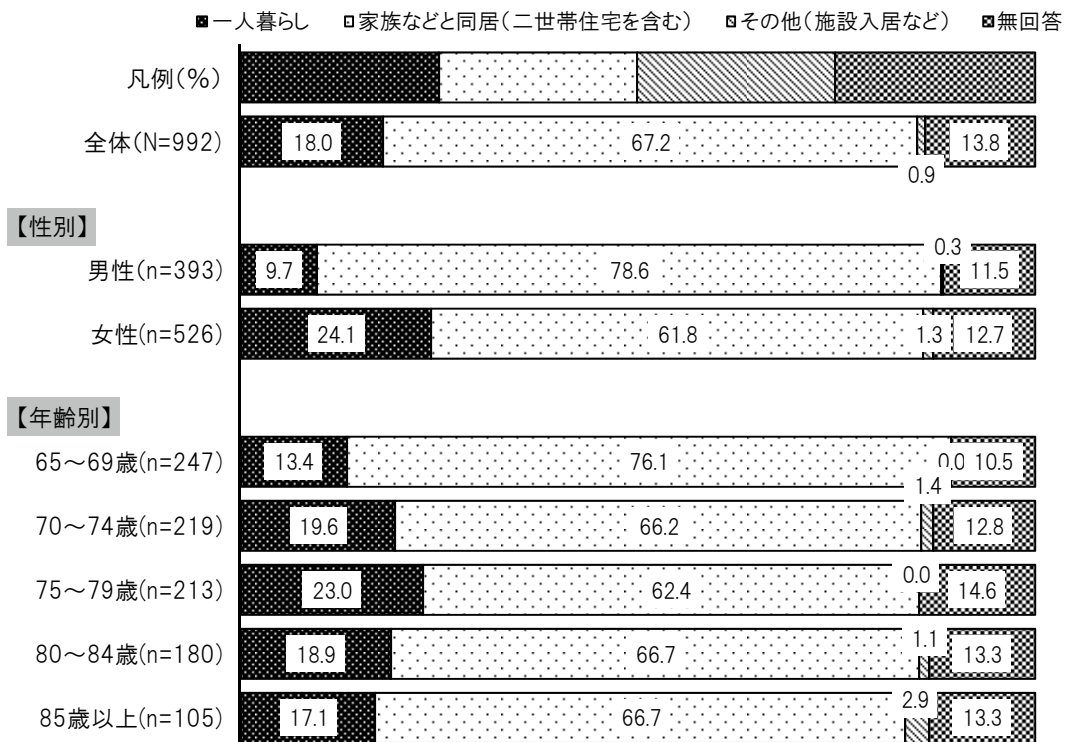
1. 家族構成等

Q 1 家族構成をお教えてください

家族構成は、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が 67.2%と最も多く、「一人暮らし」は 18.0%となっています。

性別では、男性に比べて女性は「一人暮らし」が 24.1%と多くなっています。

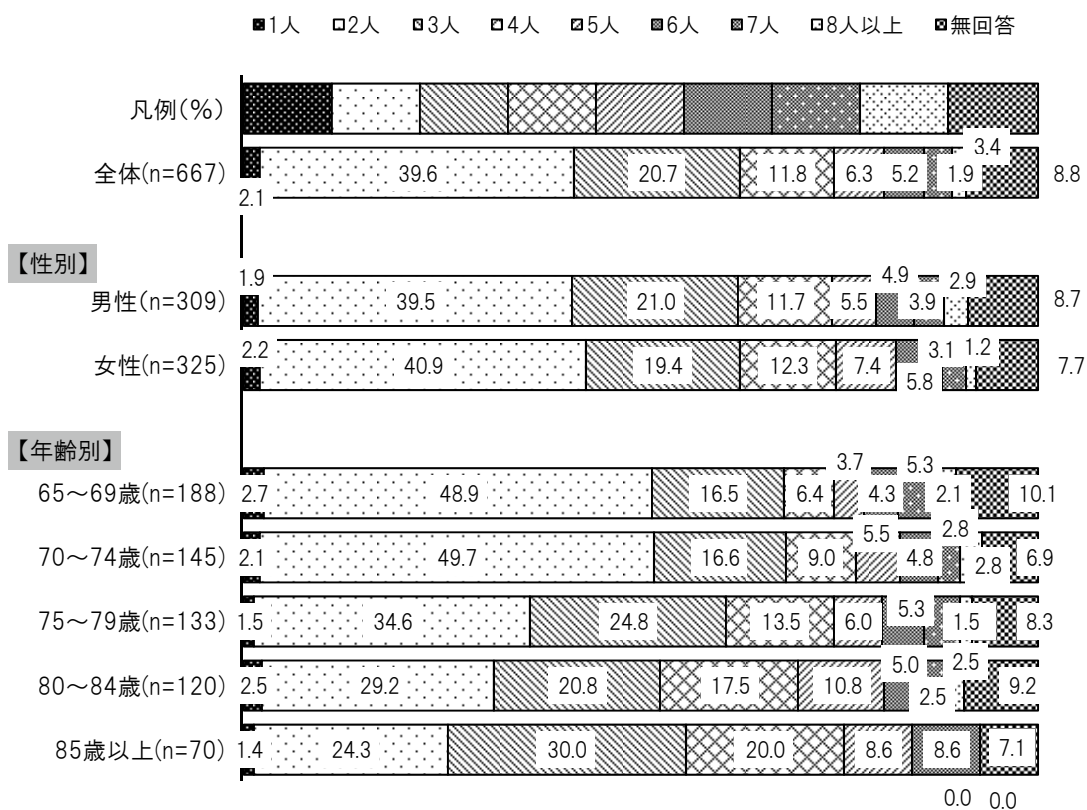
年齢別では、75～79 歳は「一人暮らし」が 23.0%と最も多くなっています。65～69 歳は「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」が 76.1%で最も多くなっています。



Q1-1 (家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか
また、同居されている方はどなたですか (いくつでも)

同居している家族人数は、「2人」が39.6%と4割を占め最も多く、ついで「3人」が20.7%、「4人」が11.8%、「5人」が6.3%、「6人」が5.2%となっています。

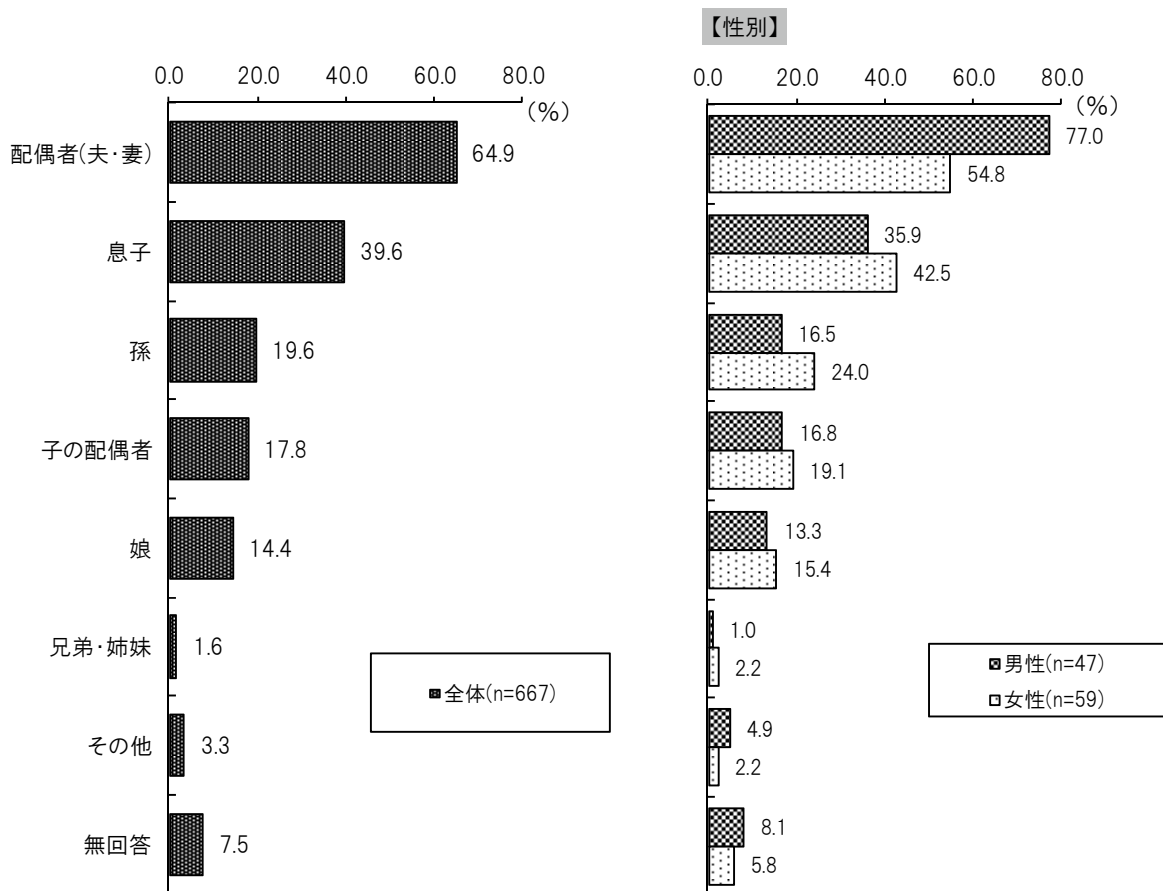
年齢別では、高齢になるにしたがって、「2人」が少なくなり「3人」「4人」が多くなっています。



同居家族構成は、「配偶者（夫・妻）」が64.9%と最も多く、ついで「息子」が39.6%、「孫」が19.6%、「子の配偶者」が17.8%、「娘」が14.4%となっています。

性別では、男性は「配偶者（夫・妻）」が77.0%と8割近くを占めていますが、女性は54.8%と少なくなり、「息子」が42.5%、「孫」が24.0%と多くなっています。

年齢別では、「配偶者（夫・妻）」は65～69歳が80.9%と多いのに対し、85歳以上では37.1%と高年齢になるにしたがって少なくなり、「息子」や「孫」が多くなっています。特に85歳以上は「息子」が60.0%と6割を占め、また「孫」も40.0%となっています。



(%)

区分		同居家族	配偶者 (夫・妻)	息子	孫	子の 配偶者	娘	兄弟・ 姉妹	その他	無 回答
全体(n=667)			64.9	39.6	19.6	17.8	14.4	1.6	3.3	7.5
性別	男性(n=47)		77.0	35.9	16.5	16.8	13.3	1.0	4.9	8.1
	女性(n=59)		54.8	42.5	24.0	19.1	15.4	2.2	2.2	5.8
年齢別	65～69歳(n=188)		80.9	28.7	13.8	7.4	12.2	1.1	4.3	6.9
	70～74歳(n=145)		77.9	33.1	17.2	13.1	10.3	2.1	4.1	6.2
	75～79歳(n=133)		63.2	45.9	23.3	18.0	14.3	1.5	1.5	7.5
	80～84歳(n=120)		43.3	45.0	28.3	26.7	22.5	2.5	4.2	7.5
	85歳以上(n=70)		37.1	60.0	20.0	40.0	14.3	1.4	1.4	8.6

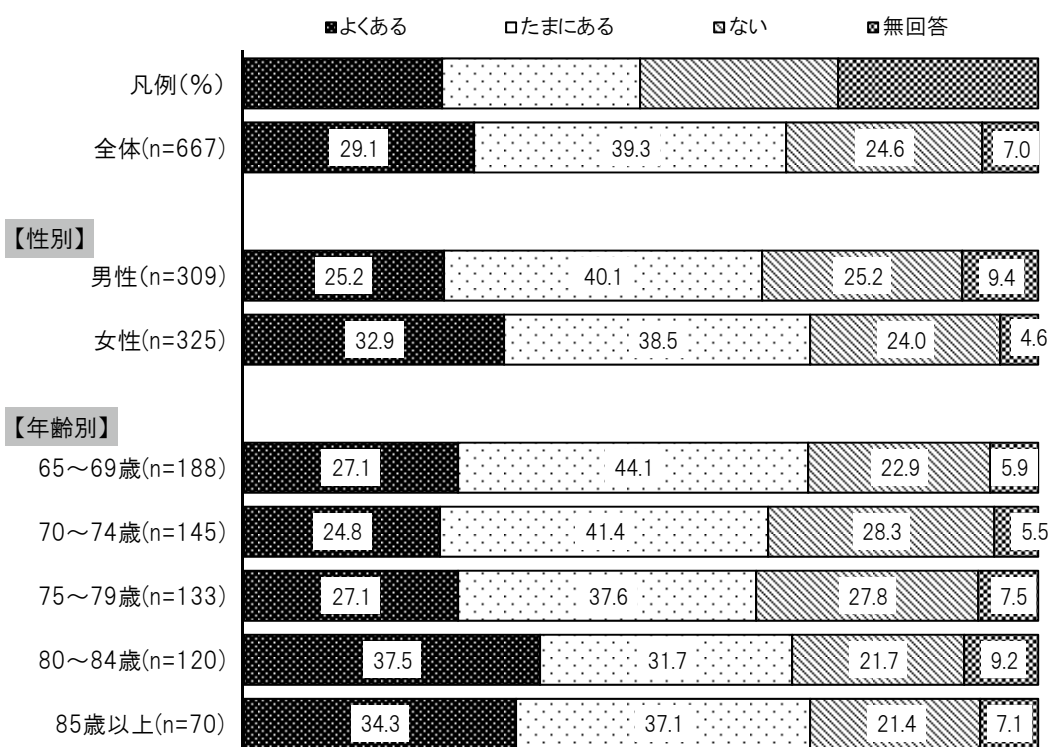
2. 日中、一人になること

Q1-2 (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか

家族などと同居されている方が、日中、一人になることが「よくある」は29.1%、「たまにある」が39.3%で、合わせると68.4%と7割近くが一人になることがあると回答しています。

性別では、「よくある」と「たまにある」を合わせると男性は65.3%ですが、女性は71.4%と女性が多くなっています。

年齢別では、80～84歳は「よくある」が37.5%と多く、85歳以上も34.3%と多くなっています。



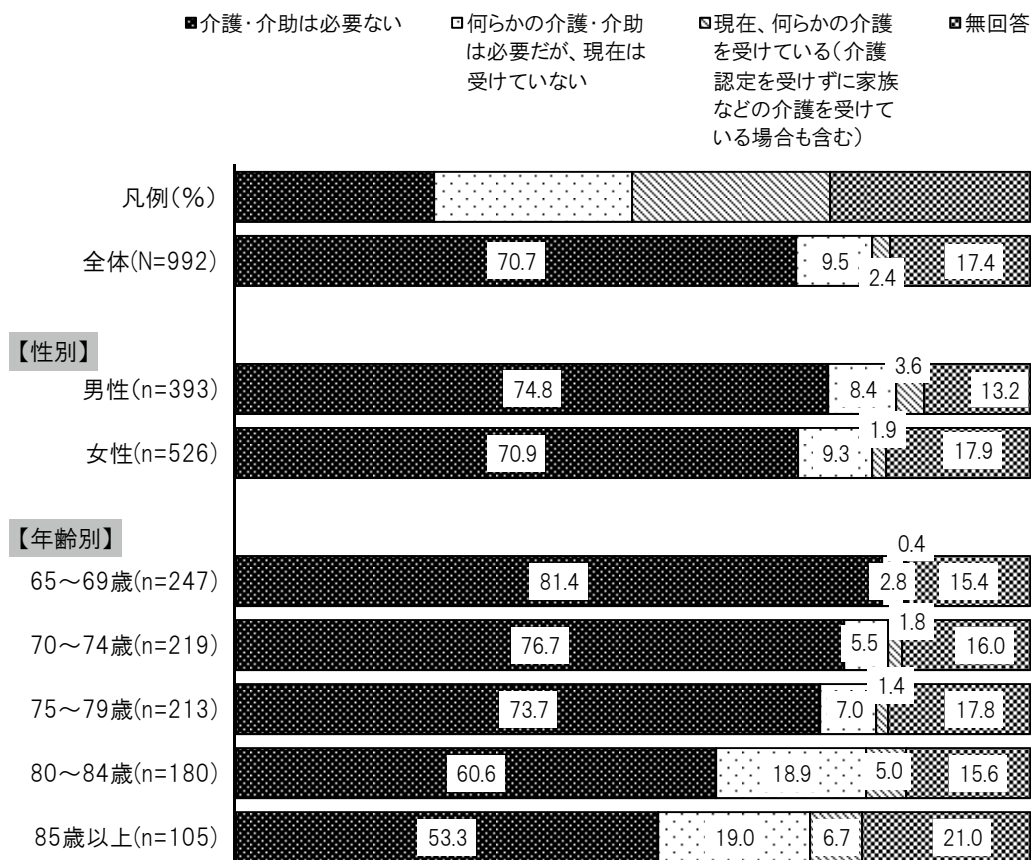
3. 介護・介助の必要性

Q2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が70.7%と7割を占めています。一方で、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の9.5%と「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の2.4%を合計すると、『介護・介助が必要』は11.9%と1割を上回っています。

性別では、男性は女性より「介護・介助は必要ない」がやや多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「介護・介助は必要ない」が81.4%が多いが、85歳以上は53.3%と高齢になるにしたがって少なくなり、『介護・介助が必要』は80～84歳が23.9%、85歳以上が25.7%と多くなっています。

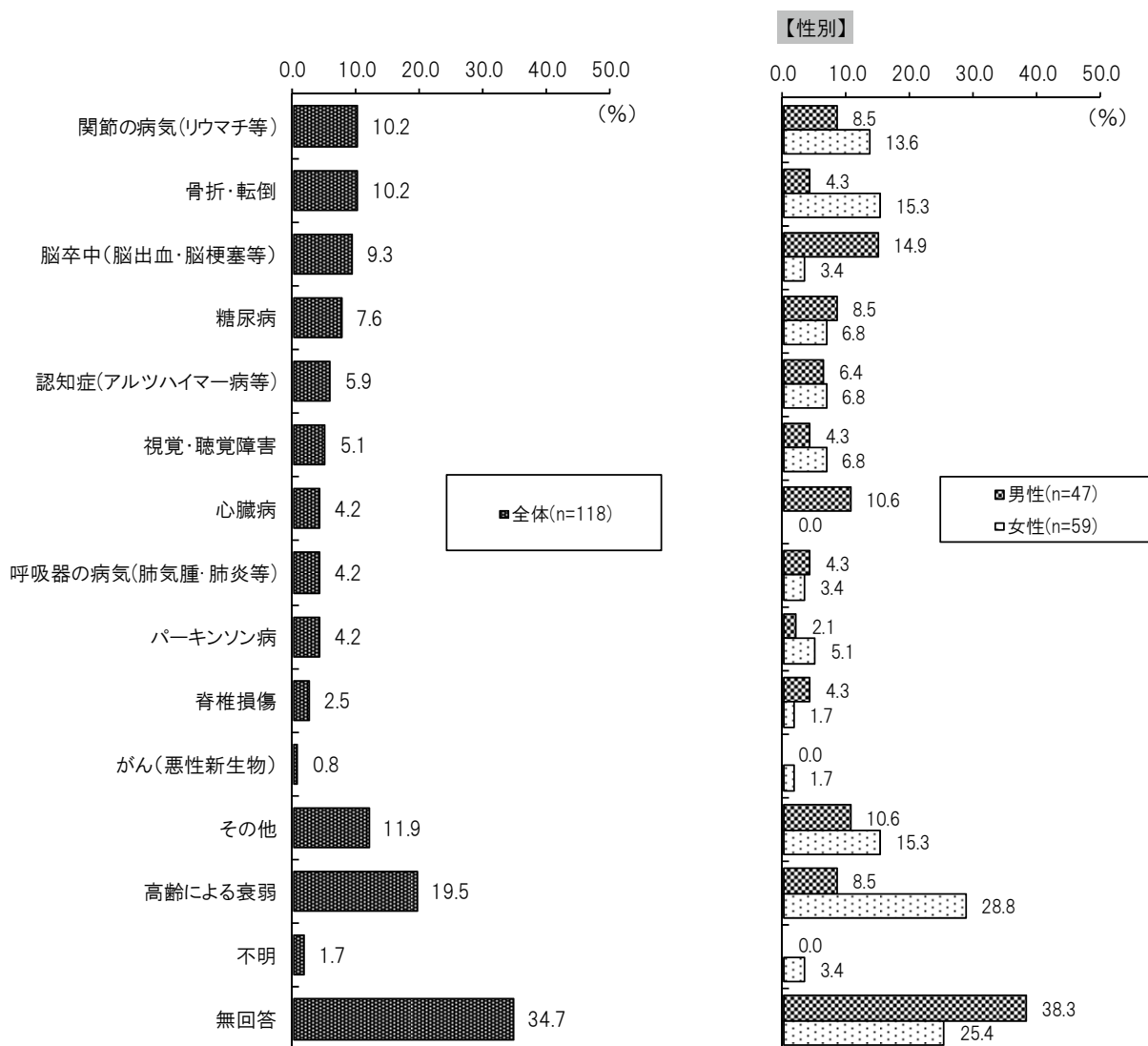


4. 介護・介助が必要な主な原因

Q2-1 (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が19.5%で最も多く、「関節の病気(リウマチ等)」と「骨折・転倒」がともに10.2%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が9.3%、「糖尿病」が7.6%、「認知症(アルツハイマー病等)」が5.9%、「視覚・聴覚障害」が5.1%となっています。

性別では、男性は「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が14.9%で最も多く、「心臓病」が10.6%と続き、いずれも女性より多くなっています。女性は「高齢による衰弱」が28.8%で最も多く、ついで「骨折・転倒」が15.3%、「関節の病気(リウマチ等)」が13.6%と続き、いずれも男性を大幅に上回っています。



年齢別では、65～69歳は「パーキンソン病」が37.5%で、70～74歳は「関節の病気（リウマチ等）」が18.8%で、75～79歳は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が16.7%、80～84歳は「骨折・転倒」が20.9%、85歳以上は「高齢による衰弱」が29.6%でそれぞれ最も多くなっています。（65～69歳は回答サンプルが8人と少数で参考値です）

介護・介助の主な原因		(%)									
		ウ 関 節 の 病 気 （ リ ウ マ チ 等 ）	骨 折 ・ 転 倒	血 脳 卒 中 （ 脳 出 血 ・ 脳 梗 塞 等 ）	糖 尿 病	ハ 認 イ マ 知 症 （ ア ル ツ マ ー 病 等 ）	視 覚 ・ 聴 覚 障 害	心 臓 病	等 （ 呼 吸 器 の 病 気 ・ 肺 気 腫 ・ 肺 気 炎 ）	パ ー キ ン ソ ン 病	脊 椎 損 傷
区分											
	全体(n=118)	10.2	10.2	9.3	7.6	5.9	5.1	4.2	4.2	4.2	2.5
性別	男性(n=47)	8.5	4.3	14.9	8.5	6.4	4.3	10.6	4.3	2.1	4.3
	女性(n=59)	13.6	15.3	3.4	6.8	6.8	6.8	0.0	3.4	5.1	1.7
年齢別	65～69歳(n=8)	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0
	70～74歳(n=16)	18.8	6.3	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	75～79歳(n=18)	11.1	0.0	16.7	11.1	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	11.1
	80～84歳(n=43)	4.7	20.9	4.7	4.7	7.0	9.3	7.0	2.3	0.0	2.3
	85歳以上(n=27)	14.8	0.0	3.7	7.4	11.1	3.7	7.4	0.0	3.7	0.0

介護・介助の主な原因		(%)			
		物 が ん （ 悪 性 新 生 ）	そ の 他	高 齢 に よ る 衰 弱	不 明
区分					
	全体(n=118)	0.8	11.9	19.5	1.7
性別	男性(n=47)	0.0	10.6	8.5	0.0
	女性(n=59)	1.7	15.3	28.8	3.4
年齢別	65～69歳(n=8)	0.0	12.5	0.0	0.0
	70～74歳(n=16)	0.0	18.8	12.5	0.0
	75～79歳(n=18)	0.0	5.6	16.7	0.0
	80～84歳(n=43)	2.3	11.6	20.9	0.0
	85歳以上(n=27)	0.0	14.8	29.6	7.4

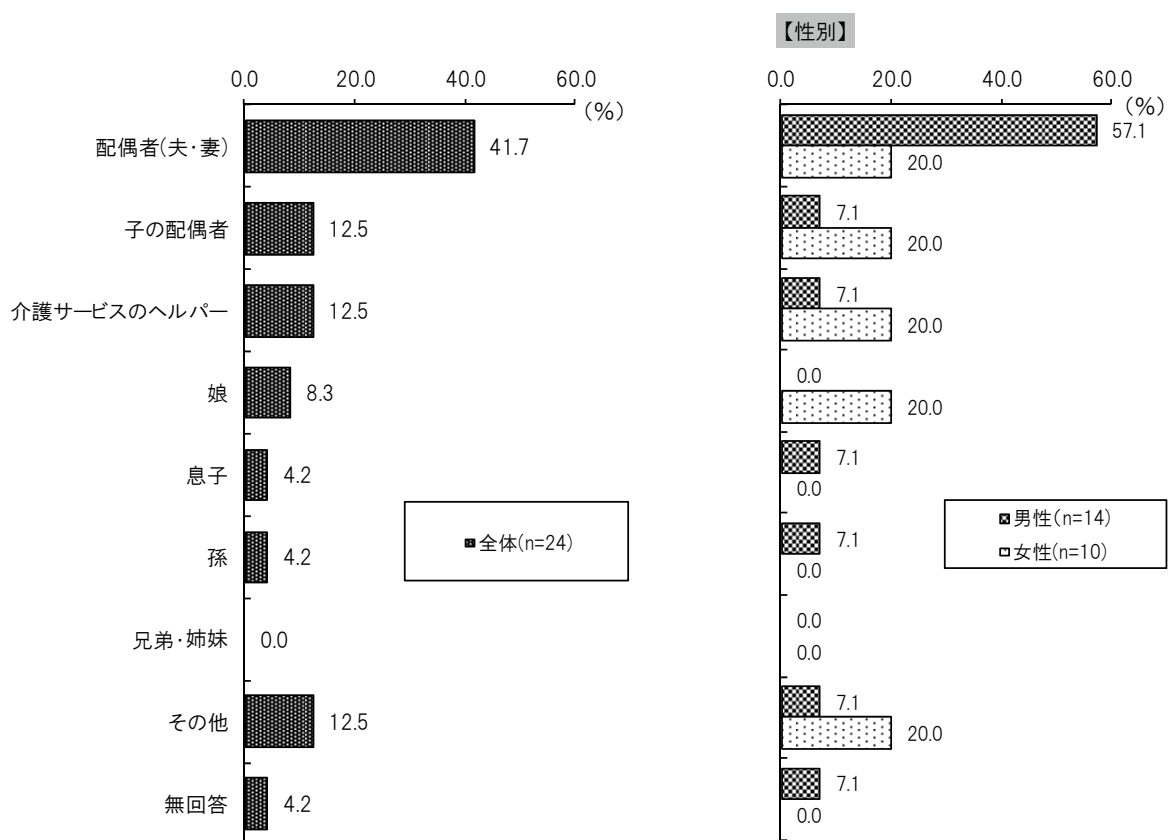
注：表中の「網掛け」は、各クロス集計（性別・年齢別など）において最も高い割合を示しています。
 （例／性別の場合、男性と女性を比べて高い方に、年齢別の場合、最も割合が高い年齢層に網掛け。）
 但し、回答割合が10%未満の項目、n数が10未満の項目、及び「その他」については網掛けしていません。
 また「無回答」は表記から除外しています。
 本報告書においては、以下同様とします。

5. 主な介護・介助者

Q2-2 (介護・介助を受けている方のみ) 主にどなたの介護・介助を受けていますか

介護・介助を受けている方の主な介護・介助者は、「配偶者(夫・妻)」が41.7%と最も多く、ついで「子の配偶者」と「介護サービスのヘルパー」がともに12.5%、「娘」が8.3%、「息子」と「孫」がともに4.2%となっています。

性別では、男性は「配偶者(夫・妻)」が、女性は「配偶者(夫・妻)」「子の配偶者」「介護サービスのヘルパー」「娘」がそれぞれ多くなっています。



年齢別では、各年齢ともに回答サンプルが少数のため参考値です。

(%)

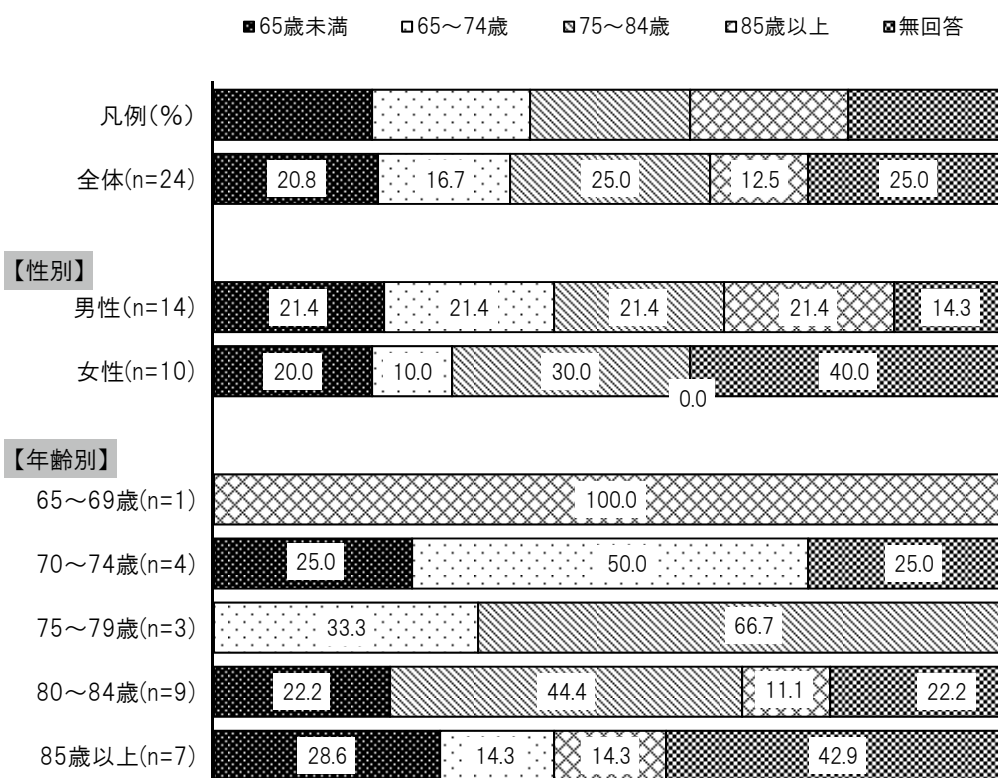
区分		主な介護・介助者	配偶者 (夫・妻)	子の 配偶者	介護 サービス の へ	娘	息子	孫	兄弟・ 姉妹	その他
全体(n=24)			41.7	12.5	12.5	8.3	4.2	4.2	0.0	12.5
性別	男性(n=14)		57.1	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1
	女性(n=10)		20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0
年齢別	65～69歳(n=1)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	70～74歳(n=4)		75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
	75～79歳(n=3)		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80～84歳(n=9)		33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
	85歳以上(n=7)		14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3

6. 介護・介助者の年齢

Q 2 - 3 (介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

主な介護・介助者の年齢は、「75～84歳」が25.0%と最も多く、ついで「65歳未満」が20.8%、「65～74歳」が16.7%、「85歳以上」が12.5%となっています。

性別では、女性は「75～84歳」が30.0%と多くなっています。



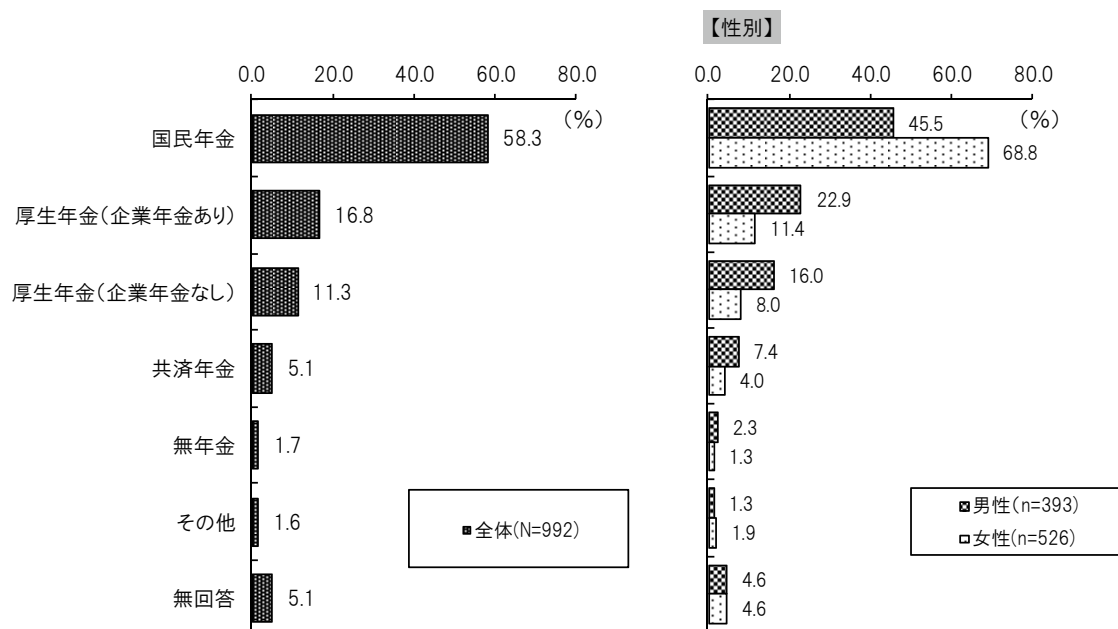
7. 年金の種類

Q3 年金の種類は次のどれですか

年金の種類は、「国民年金」が58.3%と最も多く、ついで「厚生年金（企業年金あり）」が16.8%、「厚生年金（企業年金なし）」が11.3%、「共済年金」が5.1%となっています。

性別では、女性は「国民年金」が68.8%、男性は「厚生年金（企業年金あり）」が22.9%、「厚生年金（企業年金なし）」が16.0%と「厚生年金」が多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「厚生年金（企業年金あり）」が23.5%、「厚生年金（企業年金なし）」が16.2%と「厚生年金」が、85歳以上は「国民年金」が72.4%とそれぞれ多くなっています。



主な年金の種類		(%)					
		国民年金	厚生年金(企業年金あり)	厚生年金(企業年金なし)	共済年金	無年金	その他
区分	全体(N=992)	58.3	16.8	11.3	5.1	1.7	1.6
	性別						
	男性(n=393)	45.5	22.9	16.0	7.4	2.3	1.3
	女性(n=526)	68.8	11.4	8.0	4.0	1.3	1.9
年齢別	65～69歳(n=247)	46.6	23.5	16.2	8.1	0.8	0.4
	70～74歳(n=219)	60.7	15.5	13.7	2.7	1.4	1.4
	75～79歳(n=213)	58.7	19.2	11.3	3.8	1.9	1.4
	80～84歳(n=180)	65.6	9.4	6.1	7.2	3.3	3.3
	85歳以上(n=105)	72.4	10.5	3.8	3.8	1.0	2.9

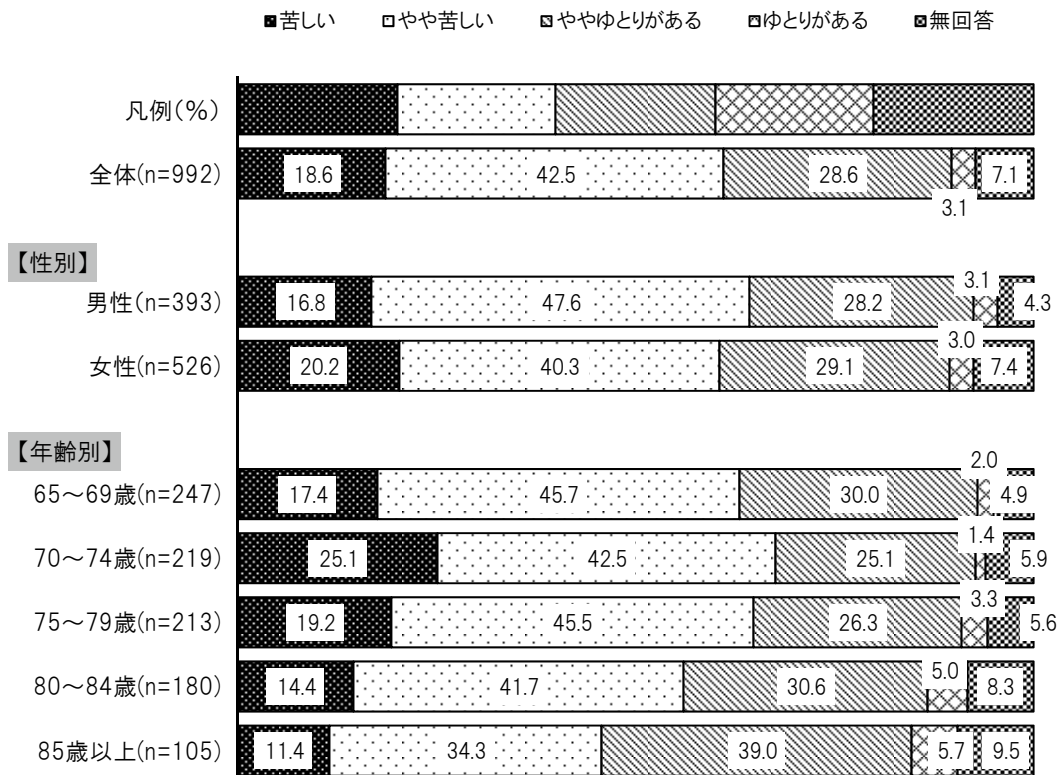
8. 現在の経済的暮らしの状況

Q4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

現在の経済的暮らしの状況は、「やや苦しい」が42.5%と最も多く、「苦しい」の18.6%を合わせると61.1%が暮らしを『苦しい』と回答しています。一方、「ややゆとりがある」は28.6%と「ゆとりがある」の3.1%を合わせると、31.7%が『ゆとりがある』と答えています。

性別では、『苦しい』は男性が64.4%、女性が60.5%で男性がやや多くなっています。

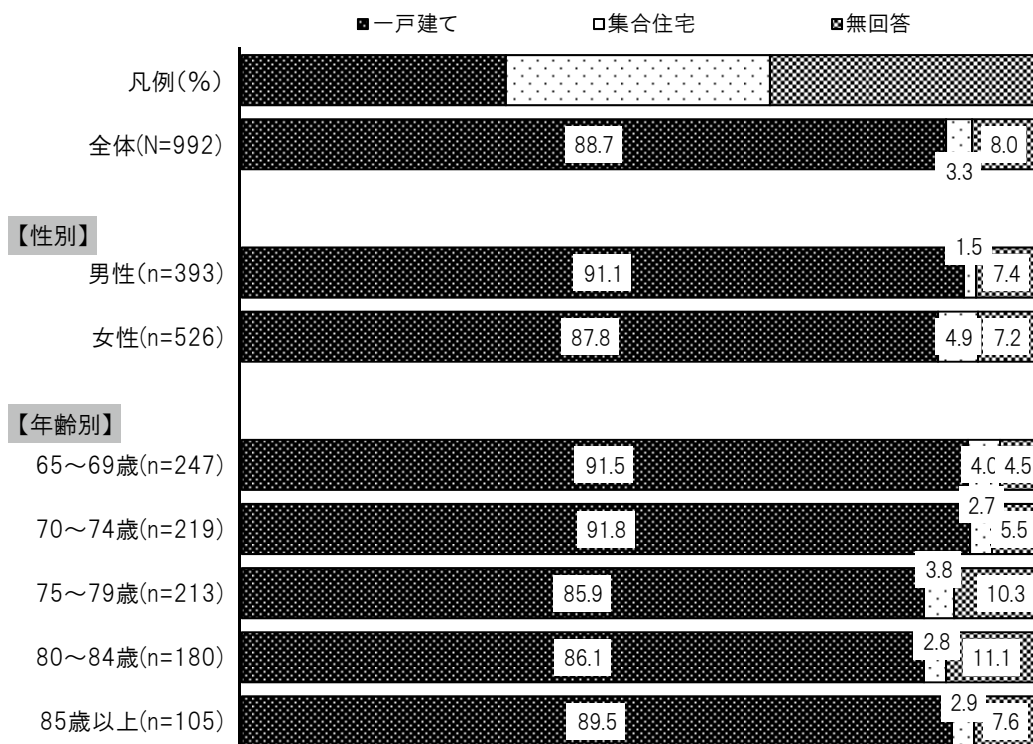
年齢別では、70～74歳は『苦しい』が67.6%で最も多く、75～79歳が64.7%、65～69歳が63.1%と僅差で続いています。一方、85歳以上は『ゆとりがある』が44.7%と多くなり『苦しい』の45.7%とほぼ同じ割合になっています。



9. 住居の種類・形態等

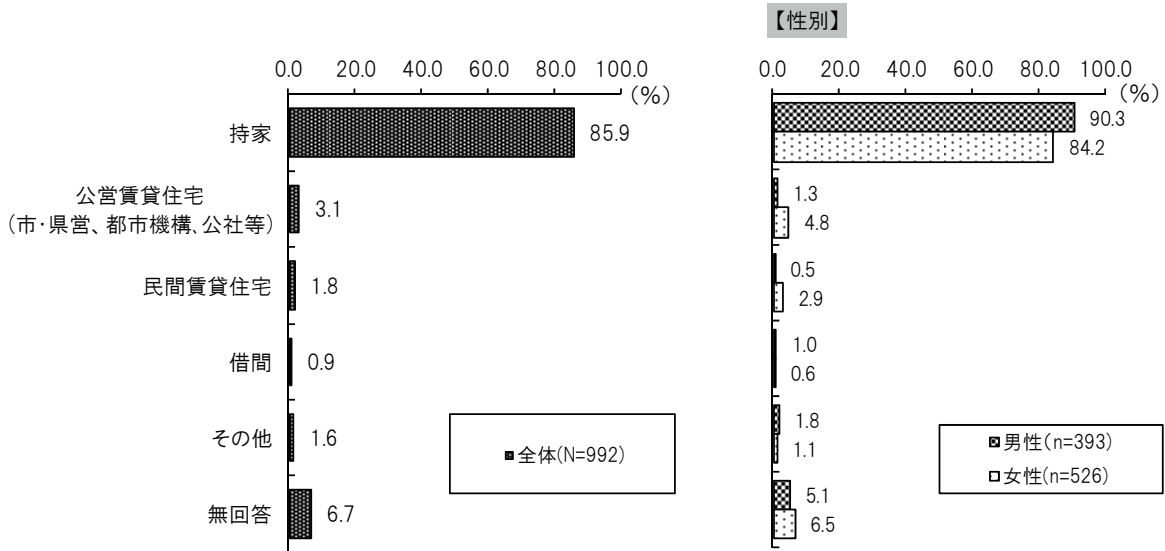
Q5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住居の種類は、「一戸建て」が88.7%と9割近くを占めています。



Q6 お住まいは、次のどれにあたりますか

住居形態は、「持家」が85.9%を占め最も多くなっています。



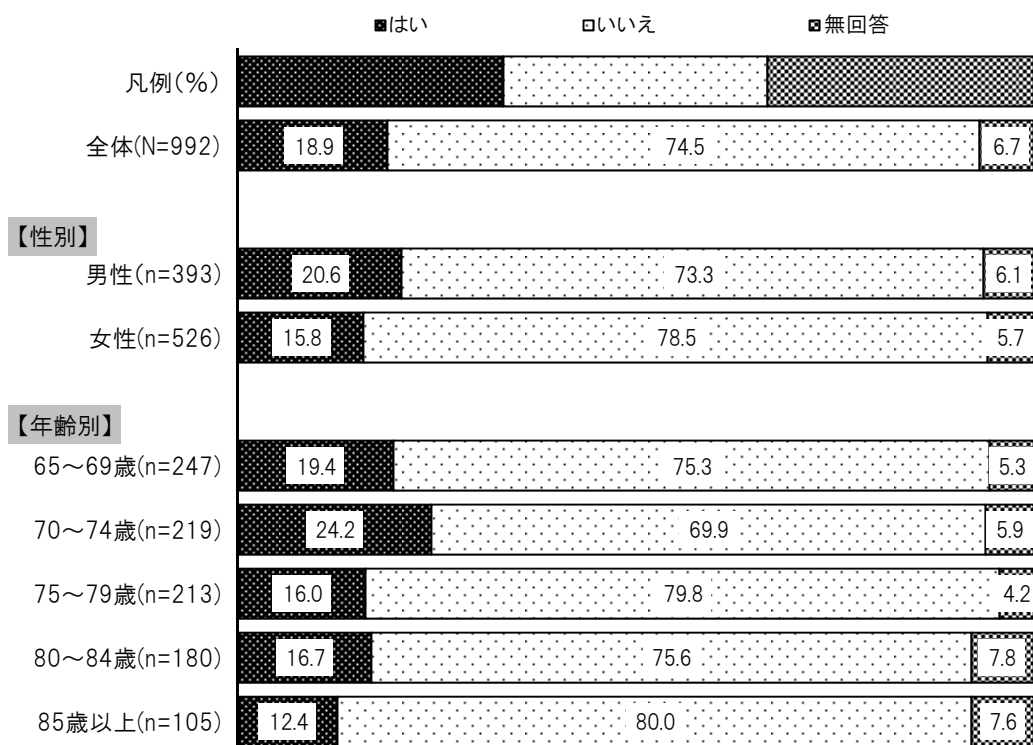
お住まいの種類		区分				
		持家	機 構 （ 公 市 ・ 公 営 賃 貸 住 宅 等 ） 都 市	民間 賃 貸 住 宅	借 間	そ の 他
全体(N=992)		85.9	3.1	1.8	0.9	1.6
性別	男性(n=393)	90.3	1.3	0.5	1.0	1.8
	女性(n=526)	84.2	4.8	2.9	0.6	1.1
年齢別	65～69歳(n=247)	86.6	2.8	2.8	1.2	1.6
	70～74歳(n=219)	86.3	3.7	1.4	0.5	1.8
	75～79歳(n=213)	86.9	3.8	1.9	0.9	2.3
	80～84歳(n=180)	86.1	2.2	1.1	1.1	0.6
	85歳以上(n=105)	87.6	2.9	0.0	0.0	1.0

Q7 お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか

生活する部屋は、「2階以上ではない」が74.5%、「2階以上」が18.9%となっています。

性別では、男性は「2階以上」が20.6%と女性よりやや多くなっています。

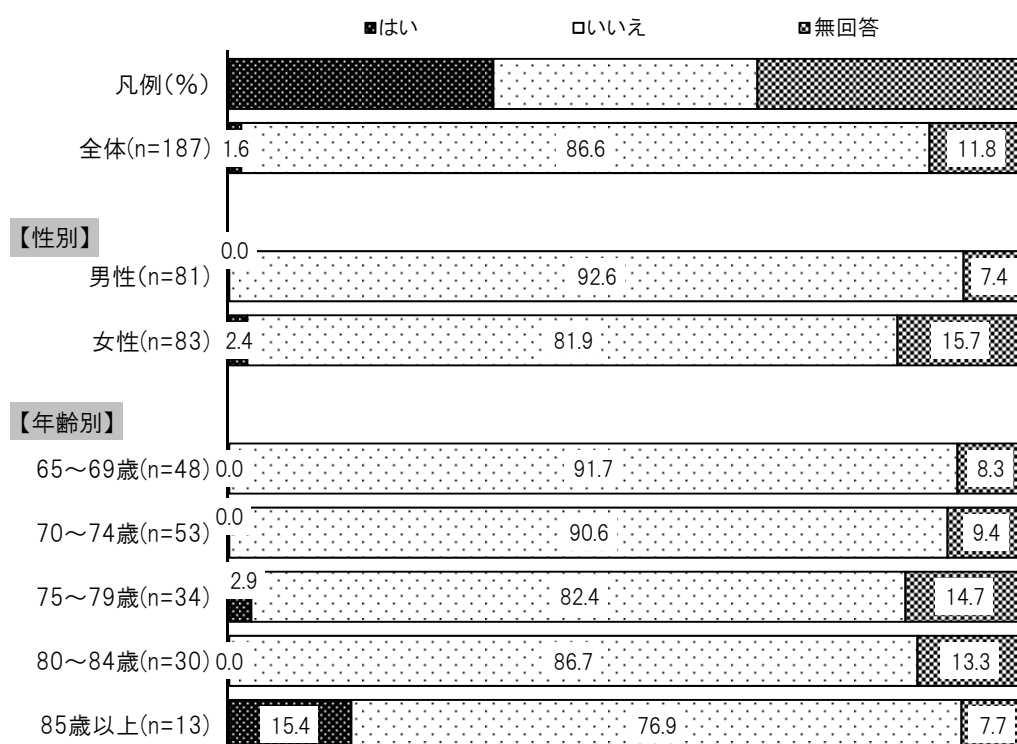
年齢別では、70～74歳は「2階以上」が24.2%と他の年齢より多くなっています。



Q 7 - 1 (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか

生活する部屋が2階以上の住まいのエレベーター設置状況は、86.6%と9割近くが「エレベーターはない」と回答しており、「エレベーターがある」のは1.6%に過ぎません。

年齢別では、85歳以上は「エレベーターがある」が15.4%と多くなっています。



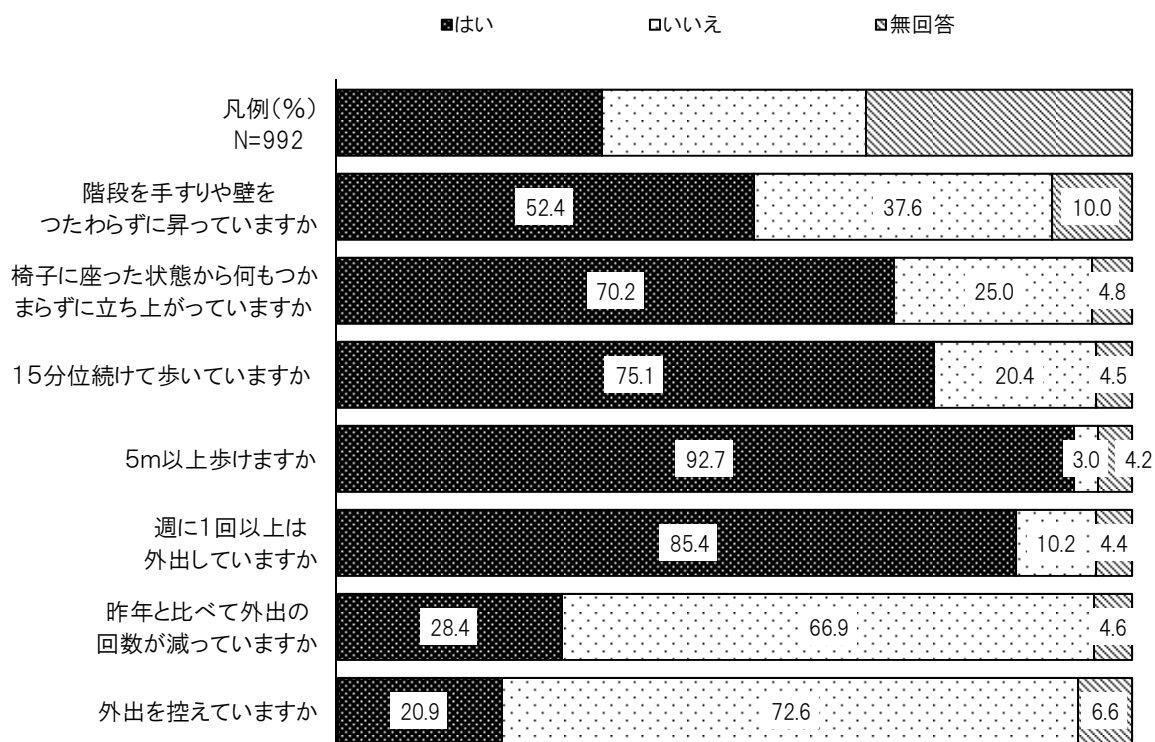
【3】運動・外出状況

1. 運動・外出状況

- Q 1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか
 Q 2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
 Q 3 15分位続けて歩いていますか
 Q 4 5m以上歩けますか
 Q 5 週に1回以上は外出していますか
 Q 6 昨年と比べて外出の回数が減っていますか
 Q 7 外出を控えていますか

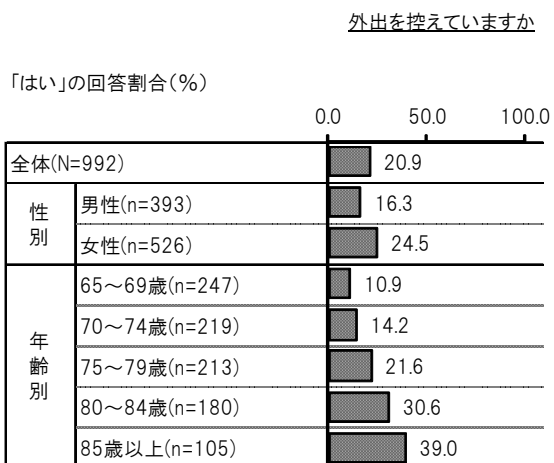
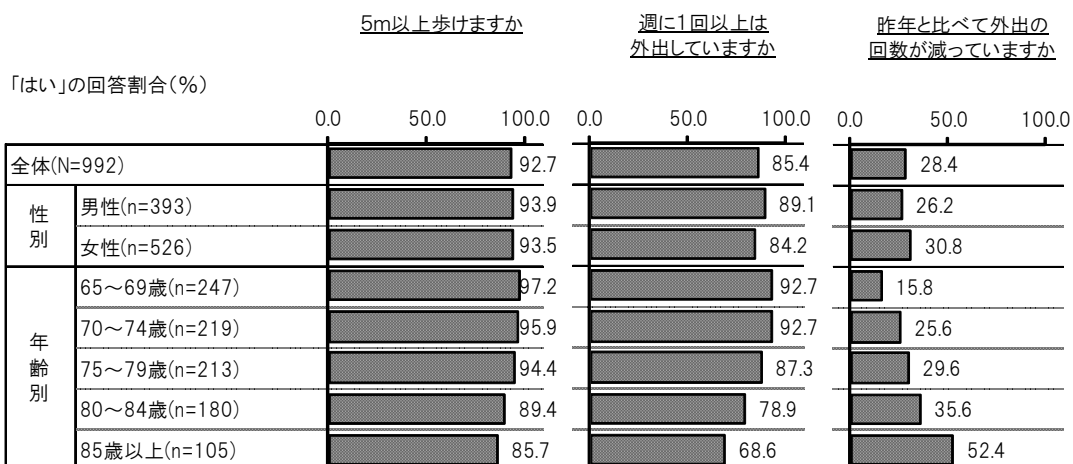
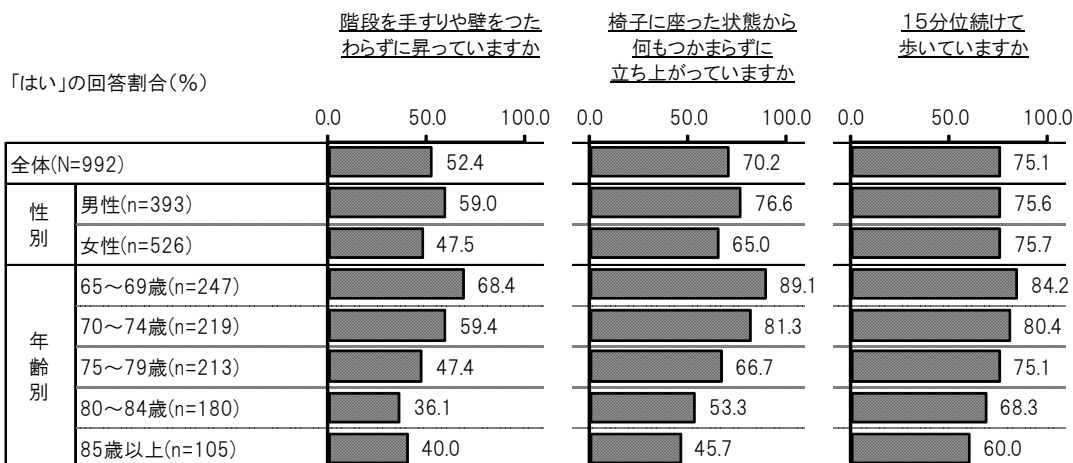
運動・外出状況について、「はい」の割合が高い順に、「5m以上歩けますか」(92.7%)、「週に1回以上は外出していますか」(85.4%)、「15分位続けて歩いていますか」(75.1%)、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」(70.2%)、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」(52.4%)となっています。

一方「いいえ」の割合が高い順に、「外出を控えていますか」(72.6%)、「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」(66.9%)となっています。



性別では、女性よりも男性は「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」「週1回以上は外出していますか」の「はい」の割合が多くなっています。女性は「外出を控えていますか」「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」で「はい」が多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」「15分位続けて歩いていますか」「5m以上歩けますか」「週1回以上は外出していますか」の「はい」の割合が少なくなり、「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」「外出を控えていますか」の「はい」の割合は多くなっています。

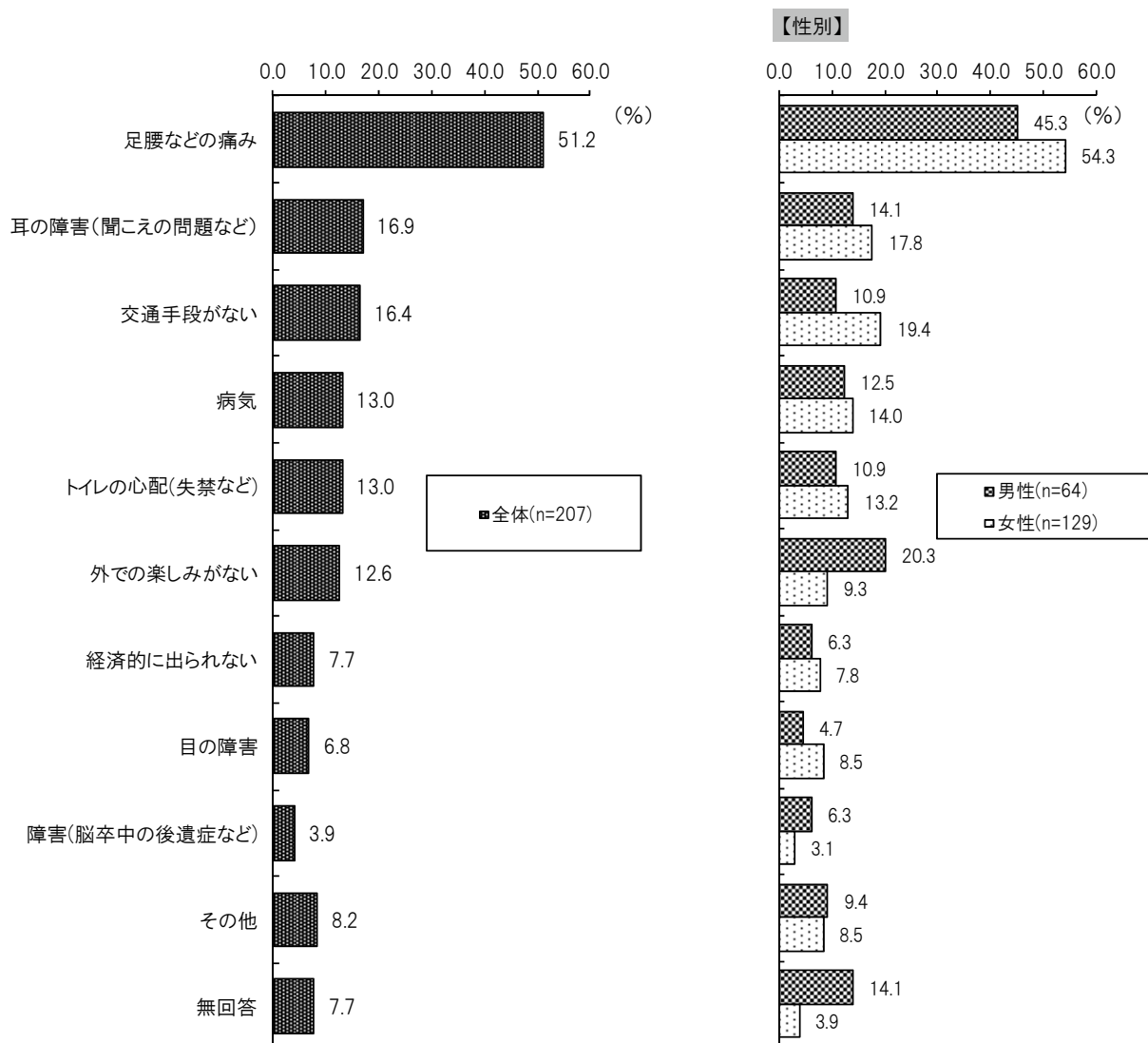


2. 外出を控えている理由

Q7-1 (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が51.2%で最も多く、ついで10%台で「耳の障害(聞こえの問題など)」が16.9%、「交通手段がない」が16.4%、「病気」と「トイレの心配(失禁など)」がともに13.0%、「外での楽しみがない」が12.6%と続いています。

性別では、男性に比べて女性がほとんどの理由で高い割合を示し、「足腰などの痛み」「交通手段がない」は特に高くなっています。男性は「外での楽しみがない」が女性に比べて高い割合になっています。



年齢別では、特に80～84歳は「足腰などの痛み」の61.8%をはじめ「耳の障害（聞こえの問題など）」（23.6%）、「トイレの心配（失禁など）」（21.8%）、「病気」（18.2%）で最も回答率が高くなっています。70～74歳では、「外での楽しみがない」、「経済的に出られない」が、75～79歳では「交通手段がない」「目の病気」がそれぞれ多くなっています。

(%)

外出を控えている理由		足腰などの痛み	え耳の障害など（聞こえの問題）	交通手段がない	病気	（トイレの心配）失禁など	外での楽しみがない	経済的に出られない	目の障害	後遺症（脳卒中など）	その他
区分											
全体(n=207)		51.2	16.9	16.4	13.0	13.0	12.6	7.7	6.8	3.9	8.2
性別	男性(n=64)	45.3	14.1	10.9	12.5	10.9	20.3	6.3	4.7	6.3	9.4
	女性(n=129)	54.3	17.8	19.4	14.0	13.2	9.3	7.8	8.5	3.1	8.5
年齢別	65歳～69歳(n=27)	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0
	70～74歳(n=31)	41.9	9.7	12.9	12.9	3.2	16.1	12.9	0.0	9.7	19.4
	75～79歳(n=46)	47.8	17.4	17.4	13.0	8.7	10.9	2.2	13.0	8.7	8.7
	80～84歳(n=55)	61.8	23.6	12.7	18.2	21.8	9.1	5.5	5.5	1.8	1.8
	85歳以上(n=41)	56.1	19.5	17.1	7.3	12.2	14.6	2.4	9.8	0.0	4.9

3. 外出頻度

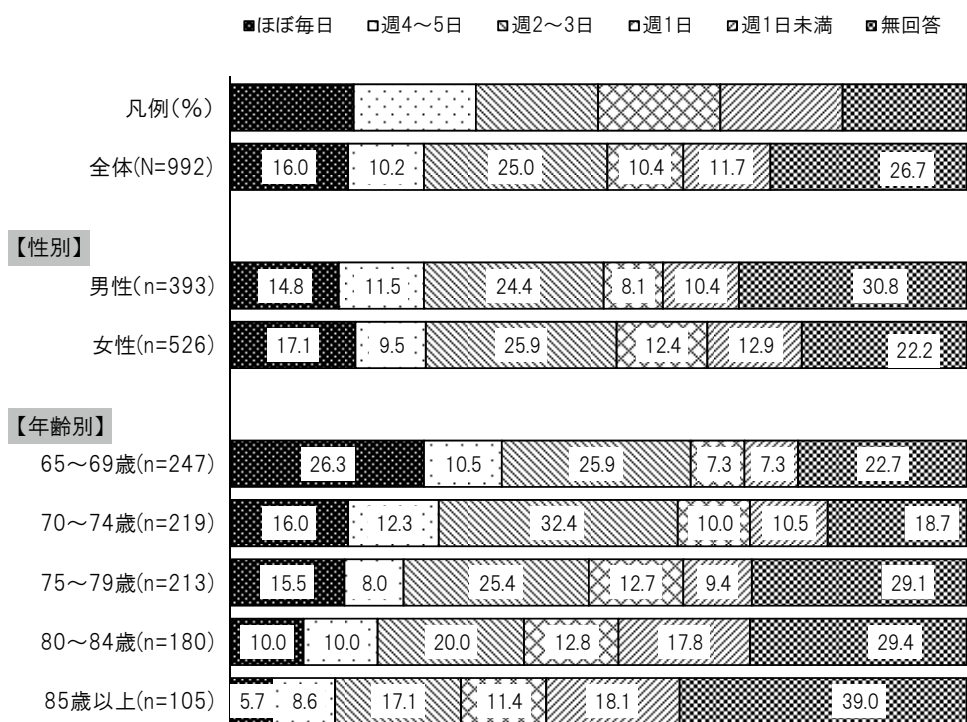
Q 8 買物，散歩で外出する頻度はどのくらいですか（それぞれ1つ）

(1) 買物

買物で外出する頻度は、「週2～3日」が25.0%、ついで「ほぼ毎日」が16.0%、「週1日未満」が11.7%、「週1日」が10.4%、「週4～5日」が10.2%となっています。

性別では、女性は男性に比べ外出頻度は僅かながら高い傾向がみられます。

年齢別では、年齢が上がるほど、買物での外出頻度は低くなる傾向がみられます。

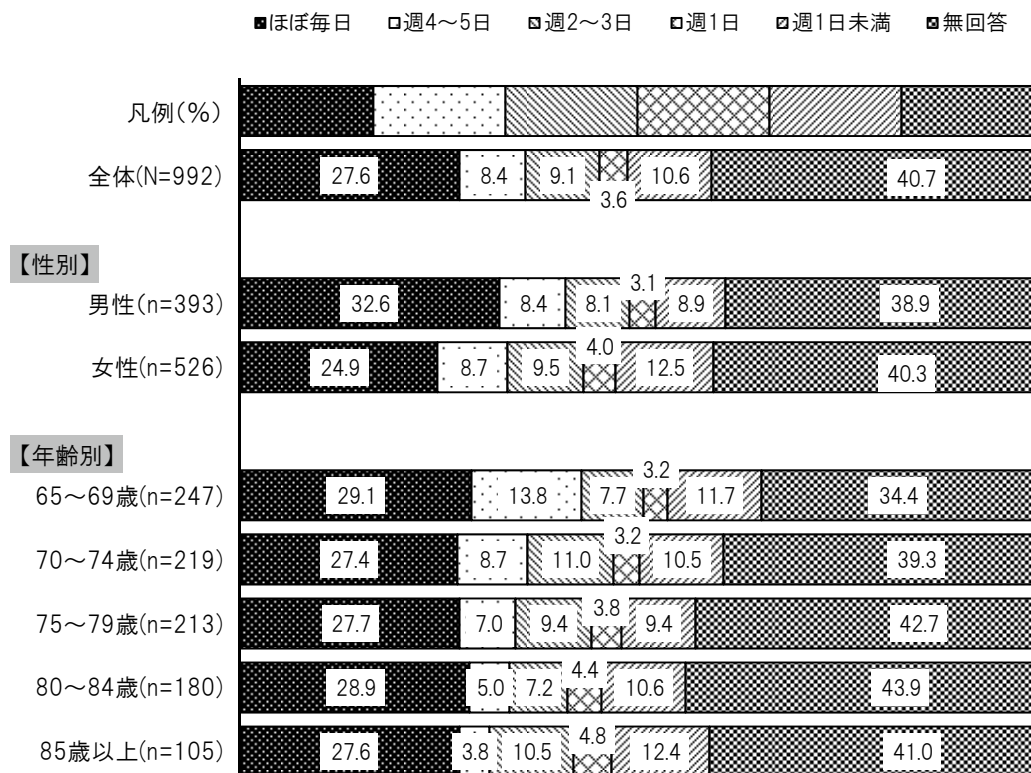


(2) 散歩

散歩で外出する頻度は、「ほぼ毎日」が 27.6%と最も多く、ついで「週1日未満」が 10.6%、「週2～3日」が 9.1%、「週4～5日」が 8.4%となっています。なお、「無回答」が 40.7%と4割を占めています。

性別では、女性に比べて男性は「ほぼ毎日」が 32.6%と多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど散歩での外出頻度は低くなる傾向がみられます。

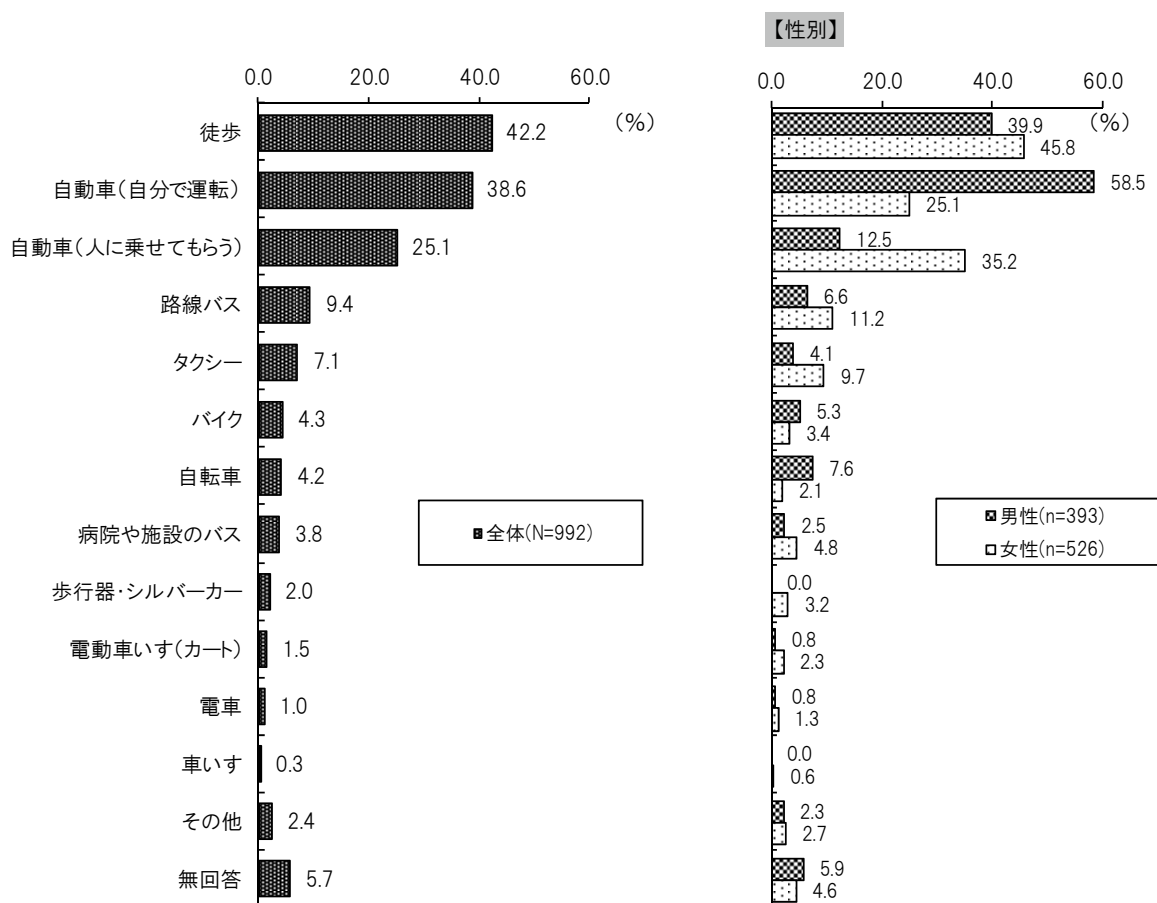


4. 外出の際の移動手段について

Q 9. 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

外出する際の移動手段は、「徒歩」が 42.2%で最も多く、ついで「自動車 (自分で運転)」が 38.6%、「自動車 (人に乗せてもらう)」が 25.1%となっています。

性別では、男性は「自動車 (自分で運転)」が 58.5%で最も多く、ついで「徒歩」の 39.9%となっています。女性は「徒歩」の 45.8%が最も多く、ついで「自動車 (人に乗せてもらう)」が 35.2%と大幅に多くなっています。



年齢別では、若い年齢層ほど、「自動車（自分で運転）」が多く、年齢が上がるほど高、「自動車（人に乗せてもらう）」「路線バス」「タクシー」が多くなっています。

(%)

外出する際の移動手段		徒歩	自動車 （自分で 運転）	自動車 （人に 乗せて もらう）	路線 バス	タク シー	バイク	自 転 車	ス 病 院 や 施 設 の バ ス	歩 行 器 ・ シ ル カ ー	電 動 車 い す （ カ ー ト ）
区分											
全体(N=992)		42.2	38.6	25.1	9.4	7.1	4.3	4.2	3.8	2.0	1.5
性別	男性(n=393)	39.9	58.5	12.5	6.6	4.1	5.3	7.6	2.5	0.0	0.8
	女性(n=526)	45.8	25.1	35.2	11.2	9.7	3.4	2.1	4.8	3.2	2.3
年齢別	65～69歳(n=247)	38.9	66.8	15.4	6.5	4.0	4.9	3.6	0.4	0.0	0.0
	70～74歳(n=219)	40.2	48.4	24.7	6.4	2.7	4.1	5.5	1.4	0.5	0.9
	75～79歳(n=213)	45.1	31.5	26.3	12.2	8.0	4.7	5.6	4.7	0.9	1.4
	80～84歳(n=180)	48.3	16.7	32.8	16.7	11.7	3.3	3.3	9.4	5.0	2.8
	85歳以上(n=105)	41.9	10.5	34.3	4.8	13.3	1.9	2.9	5.7	6.7	4.8

(%)

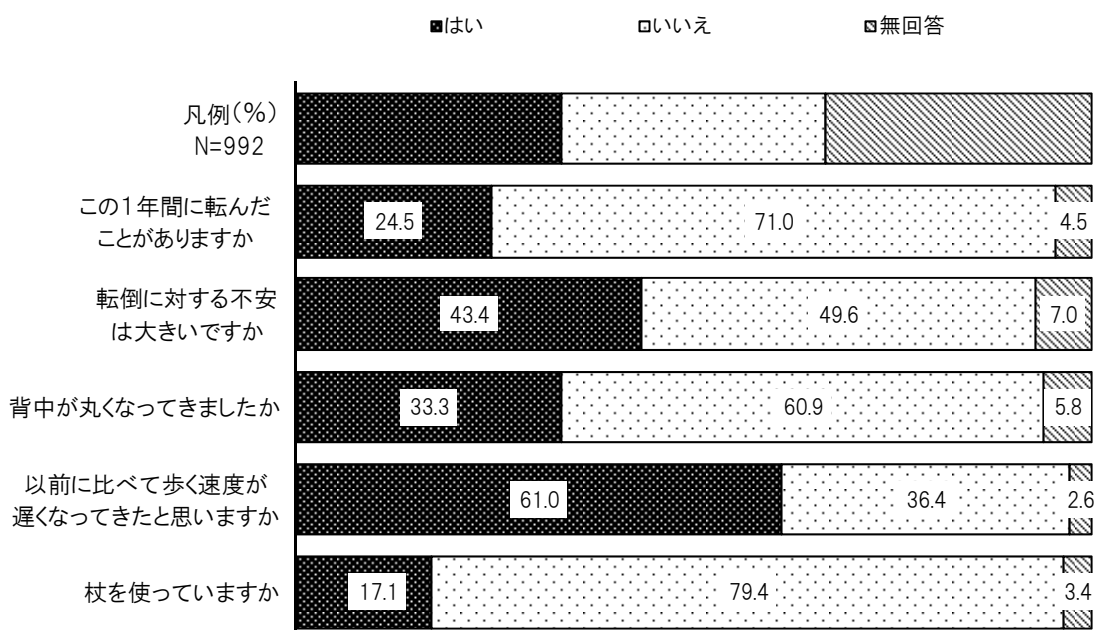
外出する際の移動手段		電車	車 い す	そ の 他
区分				
全体(N=992)		1.0	0.3	2.4
性別	男性(n=393)	0.8	0.0	2.3
	女性(n=526)	1.3	0.6	2.7
年齢別	65～69歳(n=247)	1.6	0.0	0.8
	70～74歳(n=219)	0.0	0.5	1.4
	75～79歳(n=213)	0.5	0.0	5.6
	80～84歳(n=180)	2.2	0.0	1.1
	85歳以上(n=105)	1.0	1.9	3.8

【4】転倒予防

- Q 1 この1年間に転んだことがありますか
 Q 2 転倒に対する不安は大きいですか
 Q 3 背中が丸くなってきましたか
 Q 4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか
 Q 5 杖を使っていますか

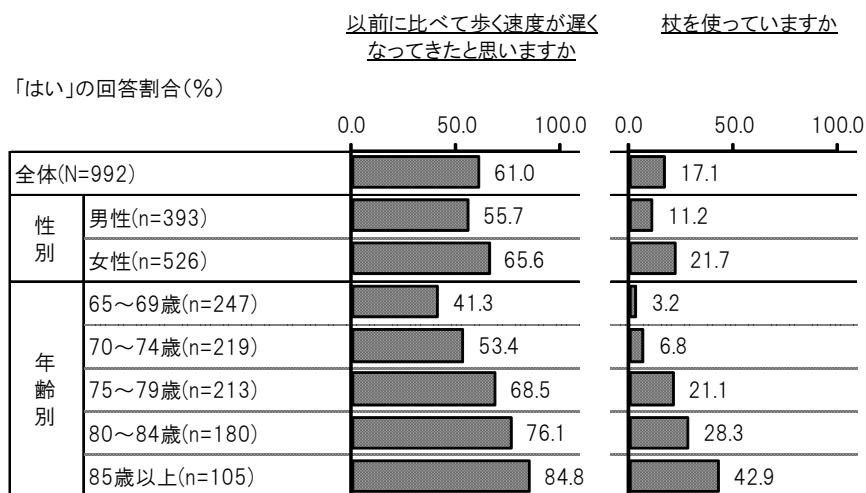
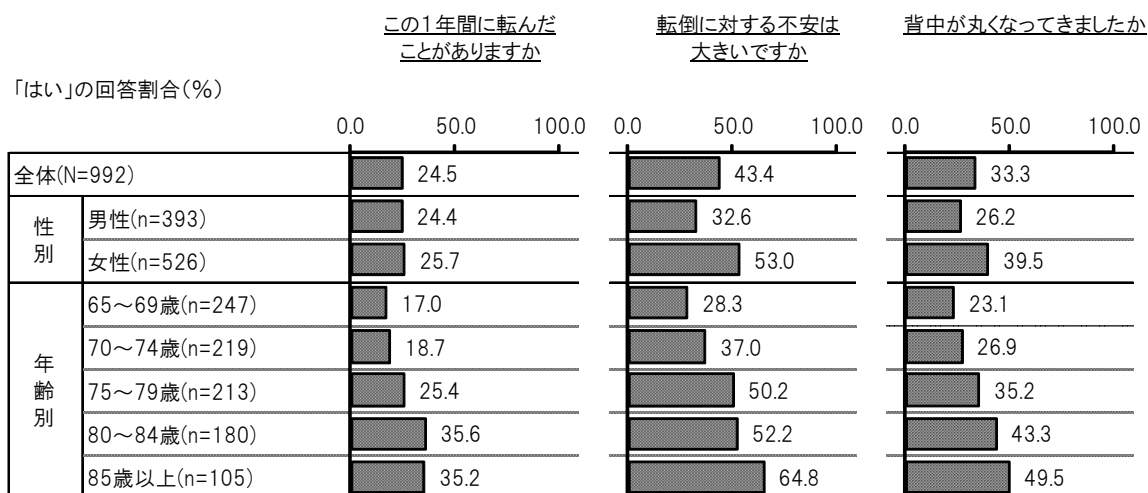
転倒予防について、「はい」の割合が高い順に、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」(61.0%)、「転倒に対する不安は大きいですか」(43.4%)となっています。

一方「いいえ」の割合が高い順に、「杖を使っていますか」(79.4%)、「この1年間に転んだことがありますか」(71.0%)、「背中が丸くなってきましたか」(60.9%)、「転倒に対する不安は大きいですか」(49.6%)となっています。



性別では、「この1年間に転んだことがありますか」に「はい」と答えた割合は男女ほぼ同じであるのを除けば、他のすべての項目は、男性に比べて女性は「はい」と答えた割合が多く、そのなかでも「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」は65.6%が「はい」と答えて最も多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど、すべての項目で「はい」の割合が多くなり、85歳以上では84.8%が「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」に「はい」と答えています。

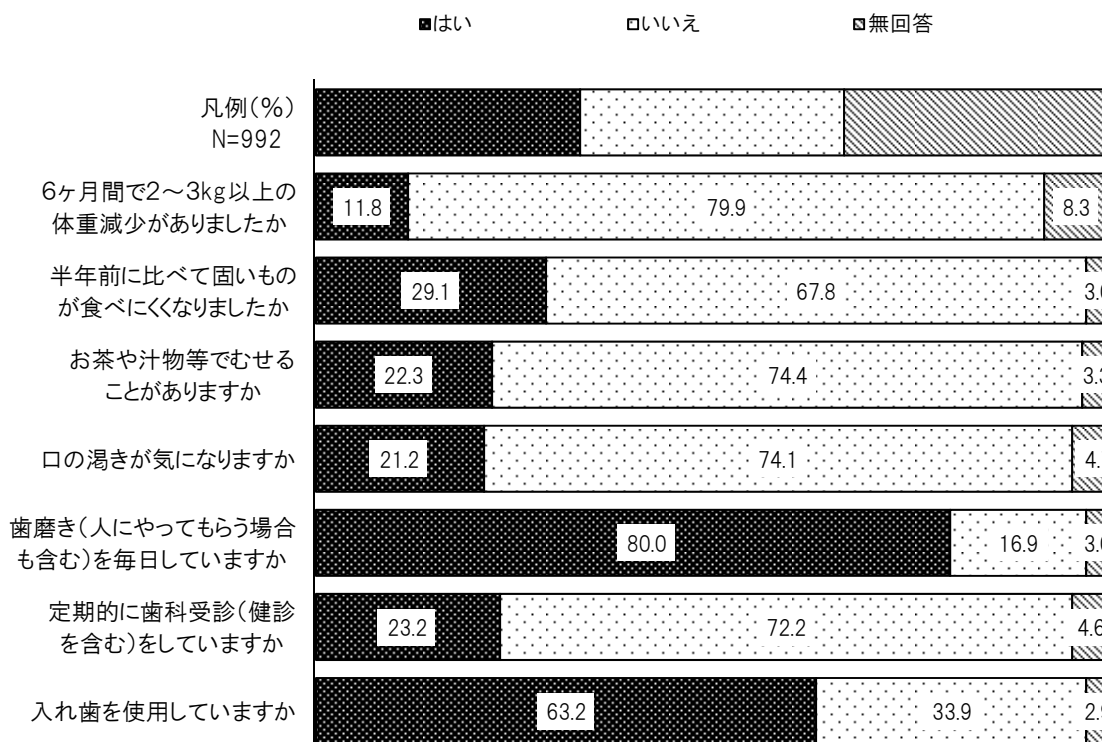


【5】口腔・栄養

1. 口腔・栄養について

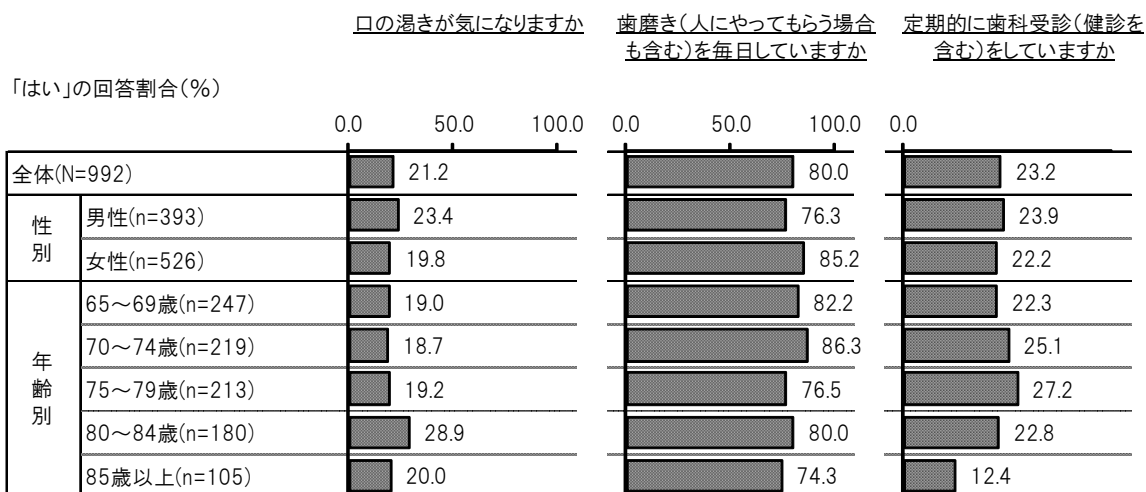
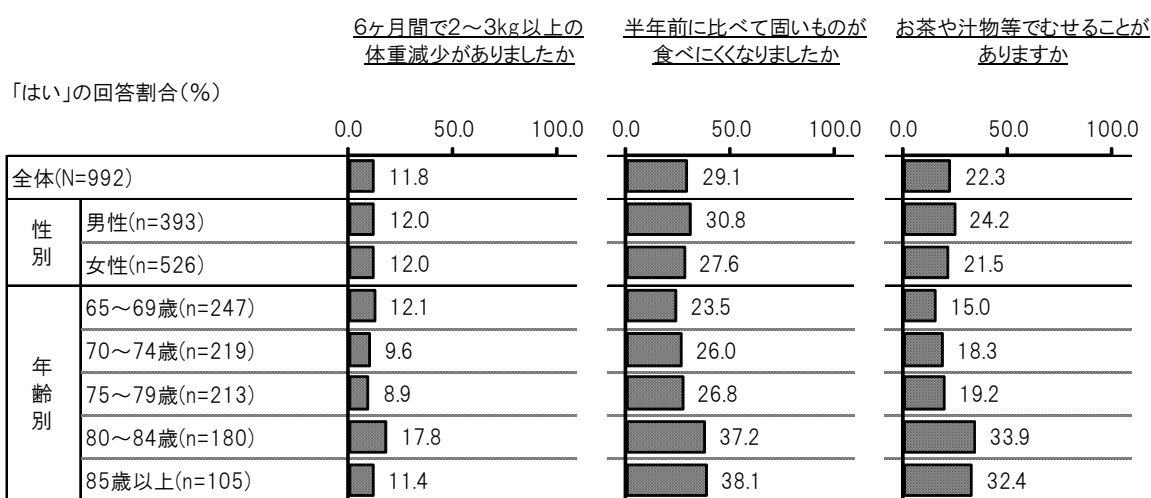
- Q 1 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか
 Q 2 身長 cm/体重 kg
 Q 3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
 Q 4 お茶や汁物等でむせることがありますか
 Q 5 口の渇きが気になりますか
 Q 6 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか
 Q 7 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか
 Q 8 入れ歯を使用していますか

口腔・栄養について、「はい」の割合が高いのは、「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか」（80.0%）、「入れ歯を使用していますか」（63.2%）となっています。一方、「いいえ」は、割合が高い順に、「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」（79.9%）、「お茶や汁物等でむせることがありますか」（74.4%）、「口の渇きが気になりますか」（74.1%）、「定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか」（72.2%）、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」（67.8%）となっています。



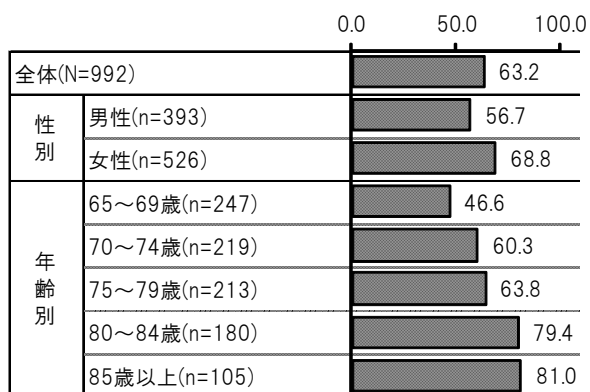
性別では、男性に比べて女性が「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか」「入れ歯を使用していますか」で「はい」割合が多くなっていますが、その他では大きな差は目立ちません。

年齢別では、年齢が上がるほど、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」「お茶や汁物等でむせることがありますか」「入れ歯を使用していますか」の「はい」の割合が多くなっています。74歳以下は75歳以上に比べて「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか」で「はい」と答えた割合が多くなっています。80～84歳は「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」「お茶や汁物等でむせることがありますか」「口の渇きが気になりますか」で「はい」と答えた割合が他の年齢に比べて最も多くなっています。



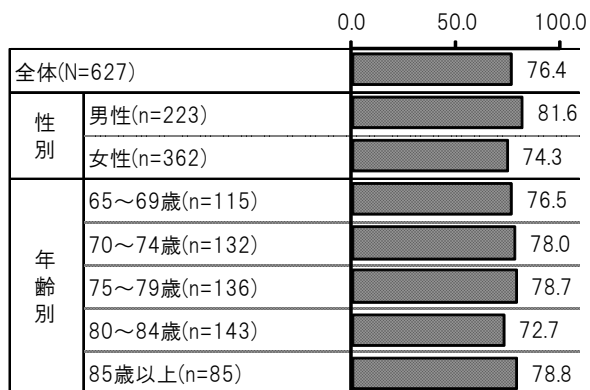
入れ歯を使用していますか

「はい」の回答割合(%)

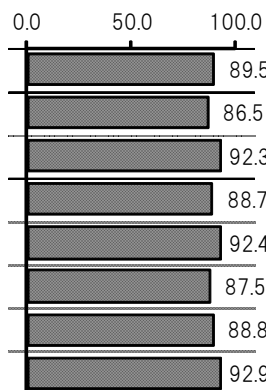


(入れ歯のある方のみ)
噛み合わせは良いですか

「はい」の回答割合(%)



(入れ歯のある方のみ)
毎日入れ歯の手入れを
していますか



2. 身長・体重・BMI値

Q2 身長 cm/体重 kg

全体平均は身長が 155.4cm、体重が 56.4 kg、BMI が 23.29 となっています。

性別では、男性の平均身長が 162.9cm、女性が 149.4cm となっています。平均体重は男性が 62.6 kg、女性が 51.4 kg、平均BMI は男性が 23.58、女性が 23.03 となっています。

年齢別では、69歳以下の平均身長 158.6cm が最も高く、85歳以上の 150.7cm が最も低くなっています。体重は 69歳以下が平均 60.0 kgで最も重く、最も少ないのは 85歳以上が 50.1 kgです。BMI の平均で最も高いのは 69歳以下の 23.76 で、最も低いのは 85歳以上の 22.06 となっています。

身長・体重・BMI		サンプル数	身長 (cm)
全体		854	155.4
性別	男性	356	162.9
	女性	441	149.4
年齢別	69歳以下	230	158.6
	70～74歳	198	156.0
	75～79歳	191	154.7
	80～84歳	143	153.0
	85歳以上	72	150.7

サンプル数	体重 (kg)
874	56.4
359	62.6
459	51.4
229	60.0
200	57.3
191	56.8
155	52.4
79	50.1

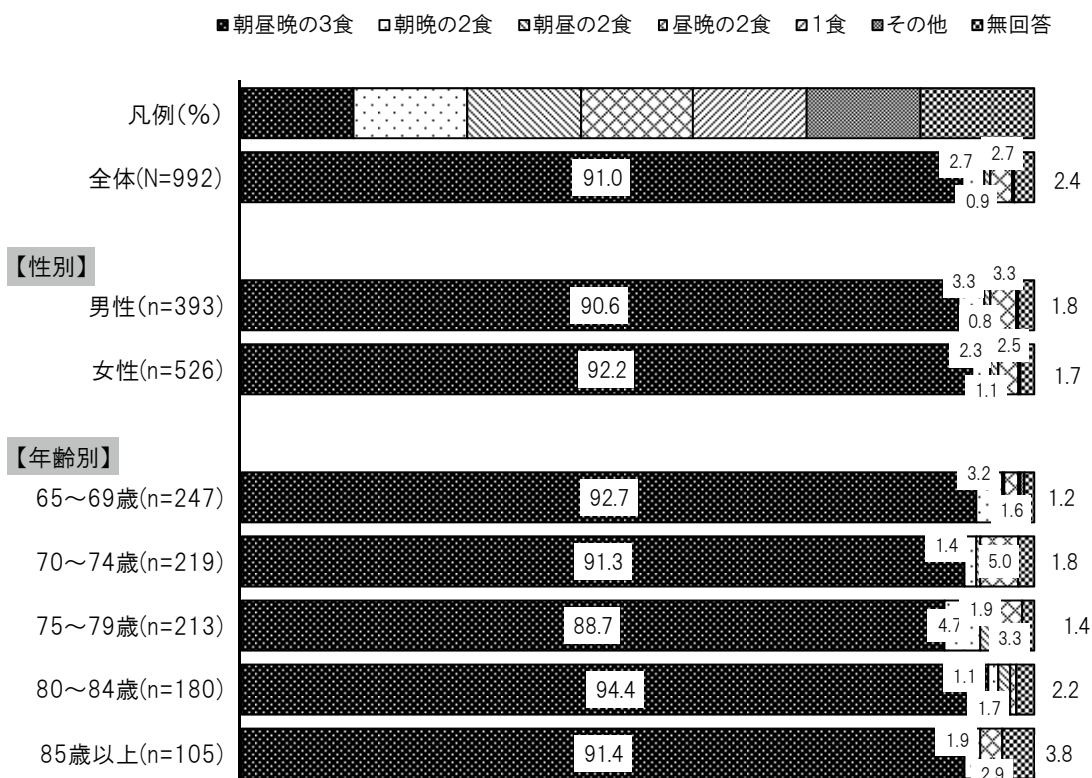
サンプル数	BMI
848	23.29
353	23.58
440	23.03
228	23.76
198	23.38
188	23.68
142	22.48
72	22.06

3. 1日の食事の回数

Q 9 1日の食事の回数は何回ですか

1日の食事の回数については、「朝昼晩の3食」が91.0%と9割以上を占めています。性別でも、男女ともに「朝昼晩の3食」が9割以上となっています。

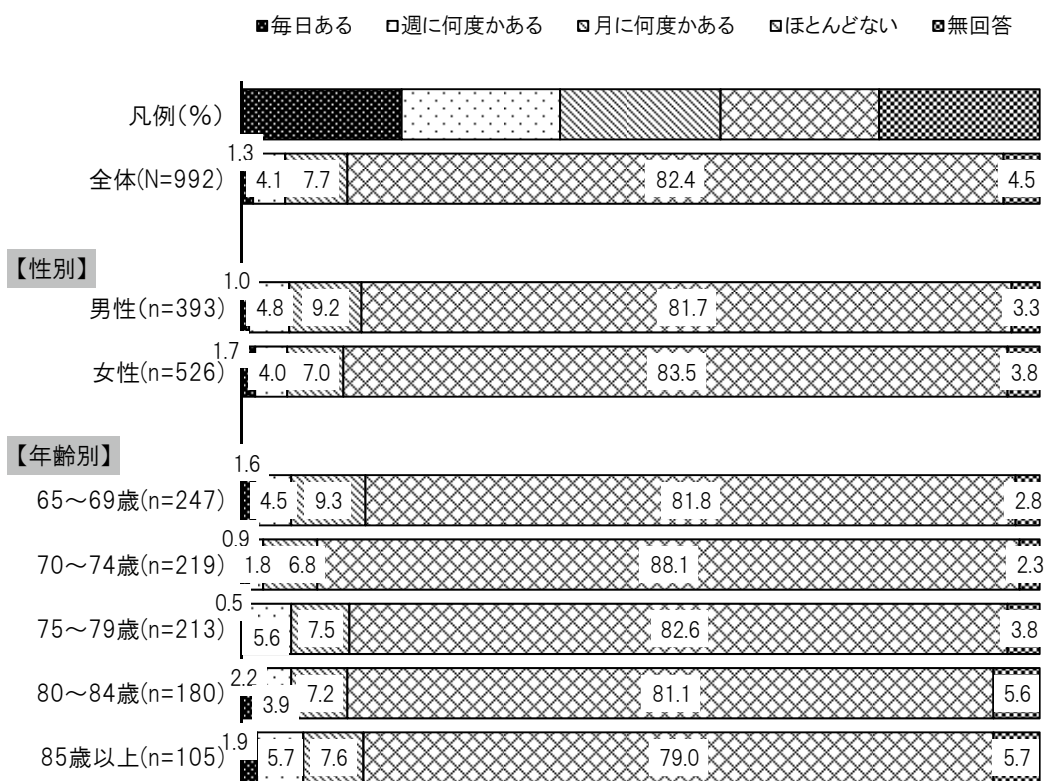
年齢別では、75～79歳は「朝昼晩の3食」が88.7%と9割を下回ってやや少なくなっています。



4. 食事を抜くことについて

Q10 食事を抜くことがありますか

食事を抜くことについては、「ほとんどない」が82.4%と最も多くなっています。性別、年齢別では、ほとんど差はみられません。



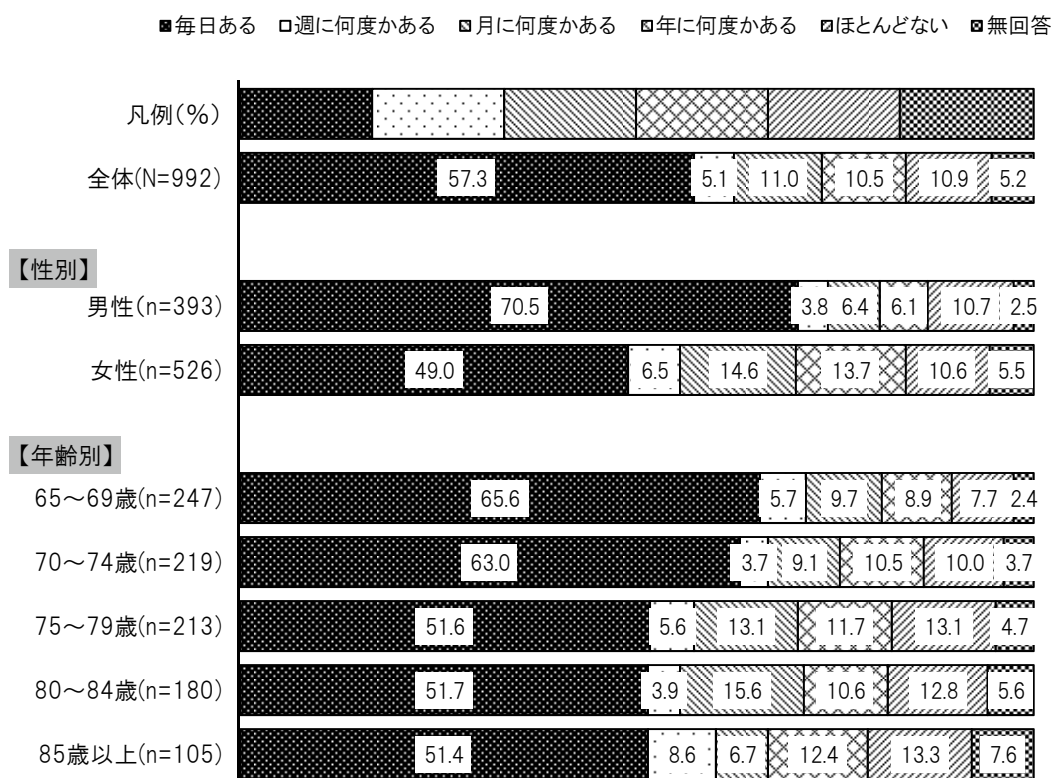
5. だれかと食事をする機会

Q11 自分一人でなく、どなたかと食事をもとにする機会がありますか

だれかと食事をする機会については、「毎日ある」が 57.3%と最も多く、ついで「月に何度かある」(11.0%)、「年に何度かある」(10.5%)がほぼ同じ割合で並び、「週に何度かある」が 5.1%となっています。「ほとんどない」が 10.9%と 1 割みられます。

性別では、男性は「毎日ある」が 70.5%と多く、女性は 49.0%と少なくなっています。

年齢別では、74 歳以下は「毎日ある」が 65%前後ですが、75 歳以上は 51%台と少なくなっています。



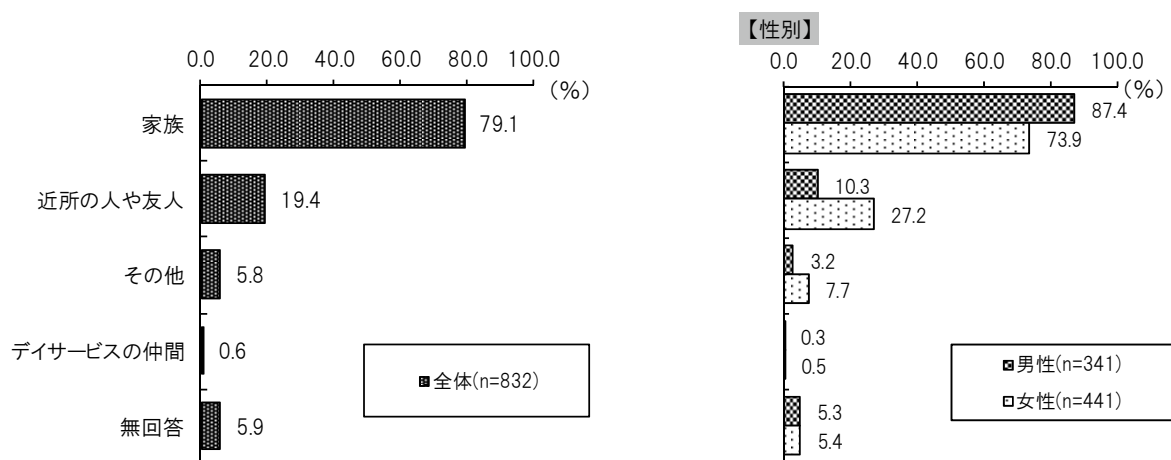
6. 食事をとにもする相手

Q11-1 (どなたかと食事をとにもする機会がある方のみ) 食事をとにもする人はどなたですか (いくつでも)

食事をとにもする相手については、「家族が」が79.1%と多数を占め、「近所の人や友人」が19.4%となっています。

性別では、男性は「家族」が87.4%と9割近いですが、女性は73.9%と少なくなっています。女性は「近所の人や友人」が27.2%と多くなっています。

年齢別では、「家族」は85歳以上の86.7%が最も多く、「近所の人や友人」は75～79歳の24.6%が最も多くなっています。



食事をとにもする人		区分			
		家族	近所の人や友人	デイサービスの仲間	その他
全体(n=832)		79.1	19.4	0.6	5.8
性別	男性(n=341)	87.4	10.3	0.3	3.2
	女性(n=441)	73.9	27.2	0.5	7.7
年齢別	65～69歳(n=222)	84.7	18.9	0.5	8.1
	70～74歳(n=189)	76.7	21.2	0.5	3.7
	75～79歳(n=175)	74.3	24.6	0.0	5.1
	80～84歳(n=147)	76.9	16.3	1.4	6.1
	85歳以上(n=83)	86.7	12.0	0.0	4.8

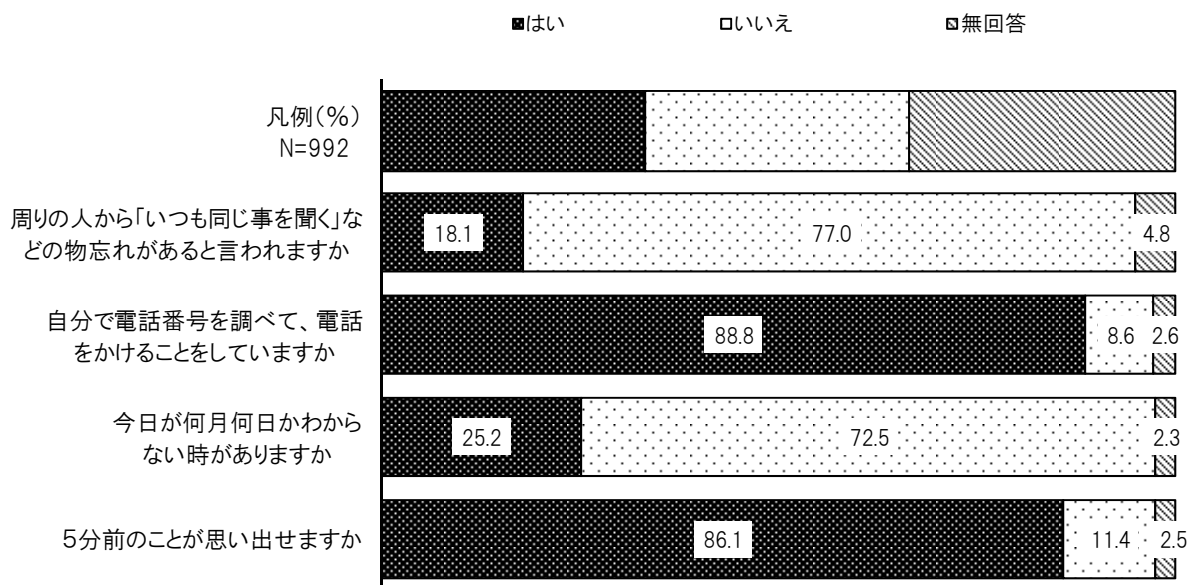
【6】物忘れ

1. 物忘れについて

- Q 1 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか
Q 2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
Q 3 今日が何月何日かわからない時がありますか
Q 4 5分前のことが思い出せますか

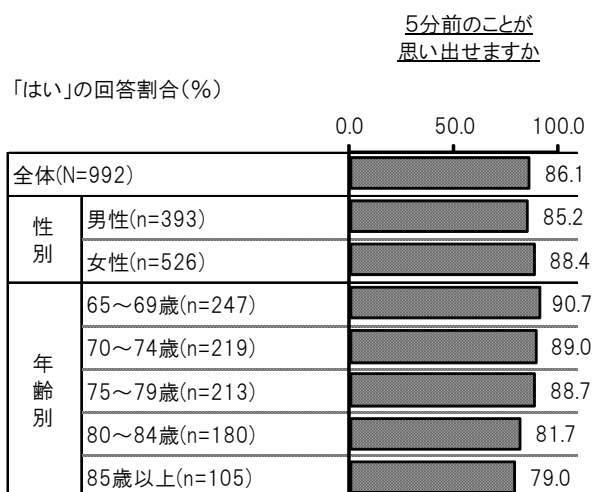
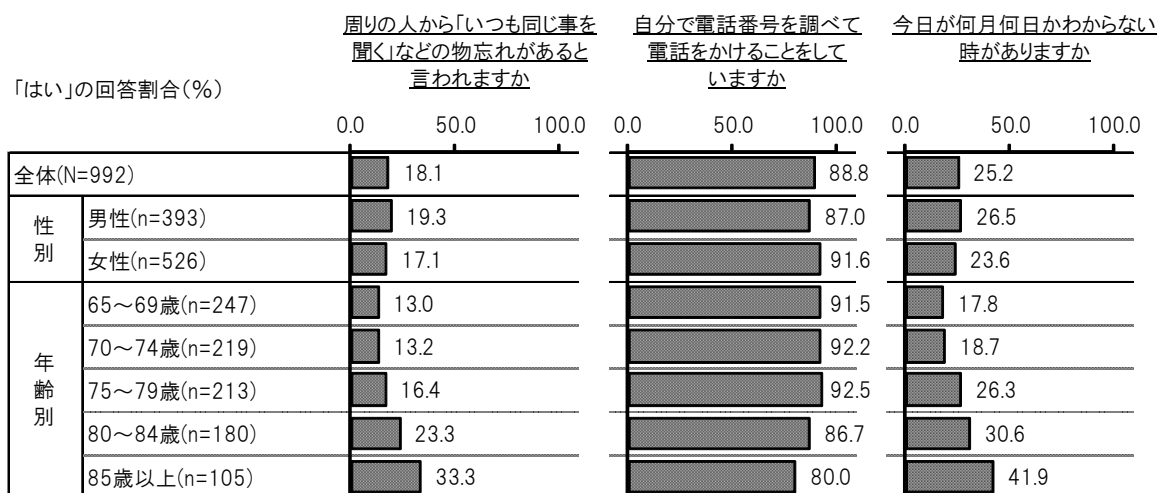
物忘れについては、「はい」の割合が高いのは、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」(88.8%)、「5分前のことが思い出せますか」(86.1%)となっています。

一方、「周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされますか」は77.0%が、「今日が何月何日かわからない時がありますか」は72.5%が、「いいえ」と答え、「はい」はそれぞれ18.1%、25.2%と2割以下となっています。



性別では、いずれの項目も男女差は僅かではほぼ同じ割合を示しています。

年齢別では、年齢が上がるほど、「周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされますか」「今日が何月何日かわからない時がありますか」については「はい」が多くなっています。一方、「自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか」「5分前のことが思い出せますか」については79歳以下に比べて80歳以上は「はい」が少なくなっています。



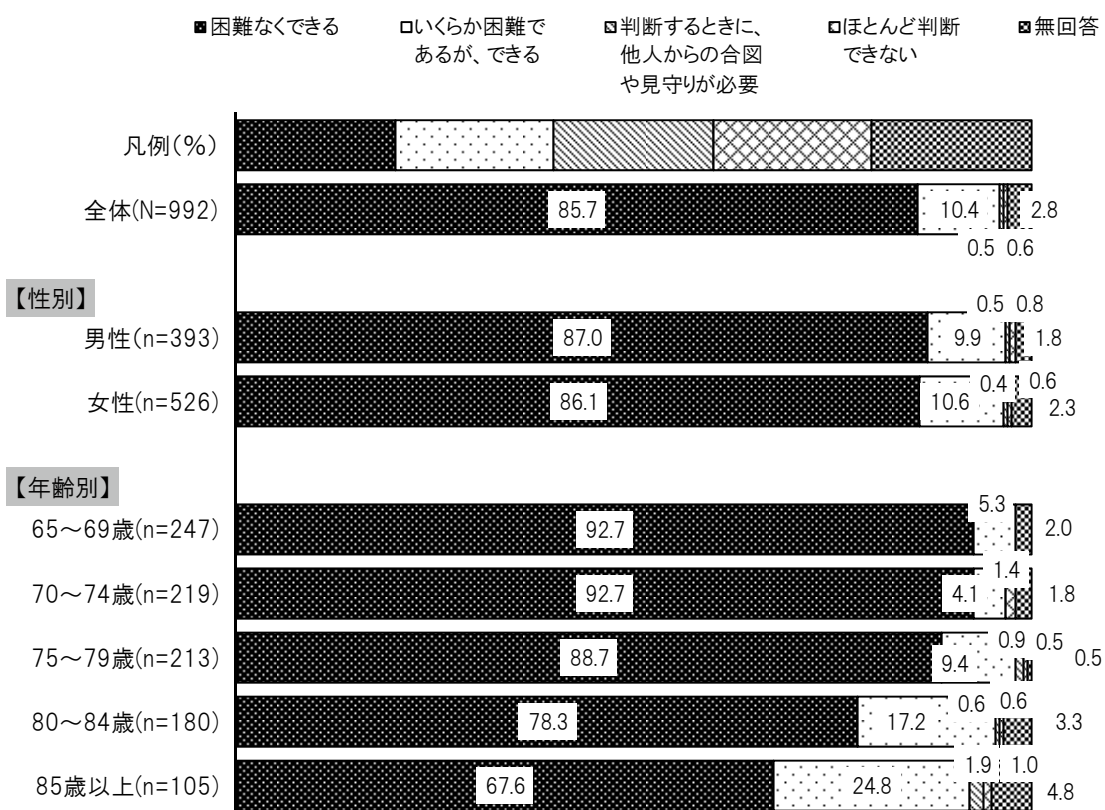
2. 活動（食事をする、衣服を選ぶなど）の自己判断について

Q 5 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか

その日の活動を自分で判断できますかについては、「困難なくできる」が 85.7%と最も多く、「いくらか困難であるが、できる」の 10.4%を合わせると 96.1%とほぼ全員が『できる』と答えています。

性別では、ほぼ同じ割合で、ほとんど差はみられません。

年齢別では、年齢が上がるほど、「困難なくできる」が少なくなっています。



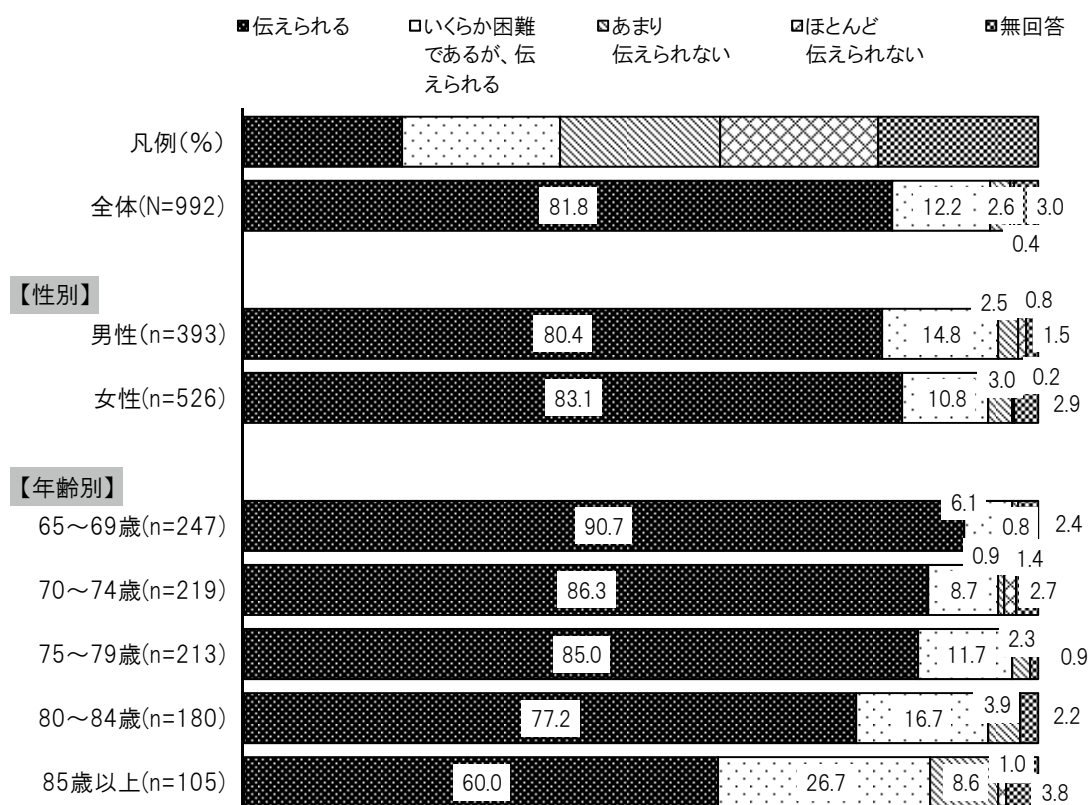
3. 意思伝達について

Q6 人に自分の考えをうまく伝えられますか

人に自分の考えをうまく伝えることについては、「伝えられる」が81.8%と最も多く、「いくらか困難であるが、伝えられる」の12.2%を合わせると9割以上が『伝えられる』と答えています。

性別では、男女ともほぼ同じ割合で、ほとんど差はみられません。

年齢別では、年齢が上がるほど、「伝えられる」が少なくなり、65～69歳の90.7%から85歳以上では60.0%と減少しています。



4. 支援サービスの利用状況

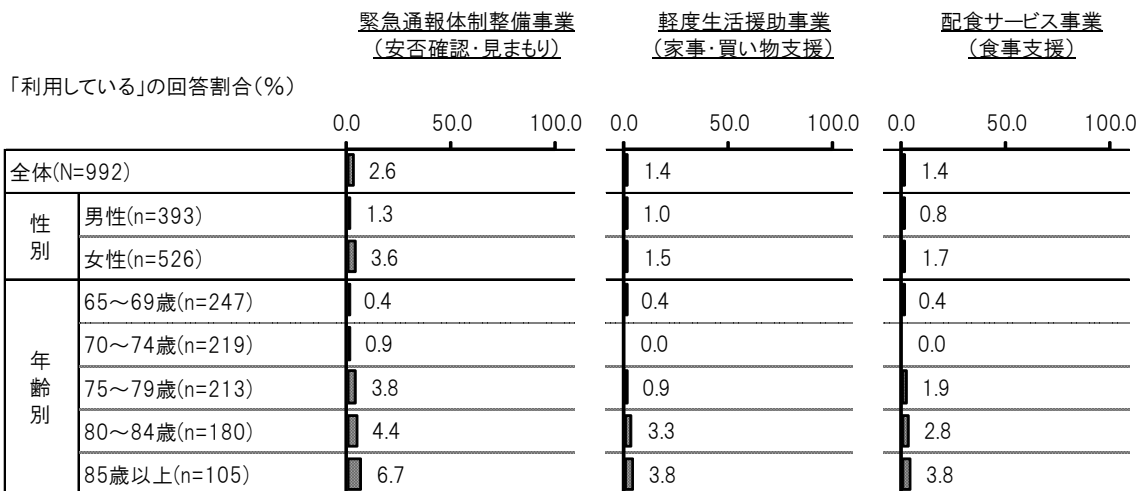
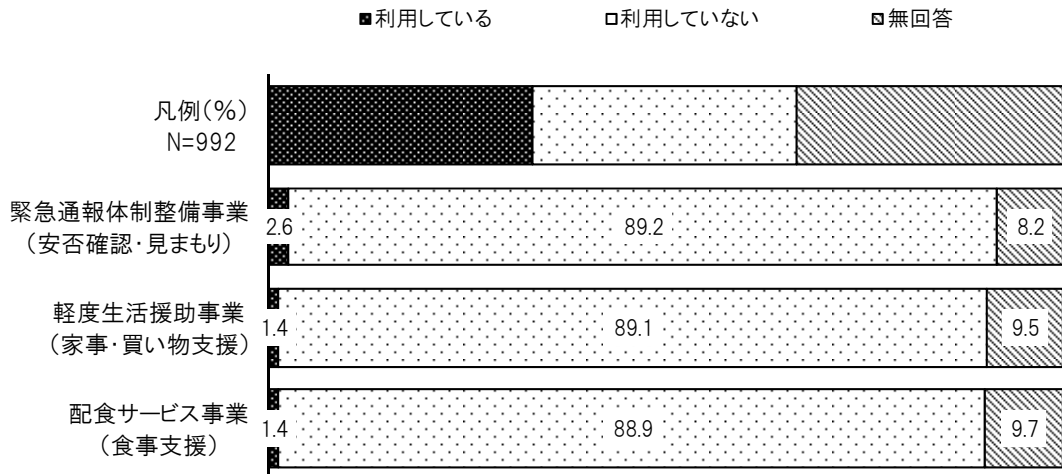
Q7 現在、どの生活支援サービスを利用していますか

- (1) 緊急通報体制整備事業（安否確認・見まもり）
- (2) 軽度生活援助事業（ホームヘルパー・家事・買い物支援事業）
- (3) 配食サービス事業（食事支援）

支援サービスの利用状況をみると、3事業ともに「利用している」は2%前後と少数で「利用していない」が約9割と多数を占めています。

性別では、3事業の中では「緊急通報体制整備事業（安否確認・見まもり）」の女性の利用が最も多くみられますが、3.6%と少数に止まっています。

年齢別では、3事業ともに年齢が上がるほど、「利用している」が多くなっていますが、その中で85歳以上の「緊急通報体制整備事業（安否確認・見まもり）」が6.7%で最も多く利用されています。

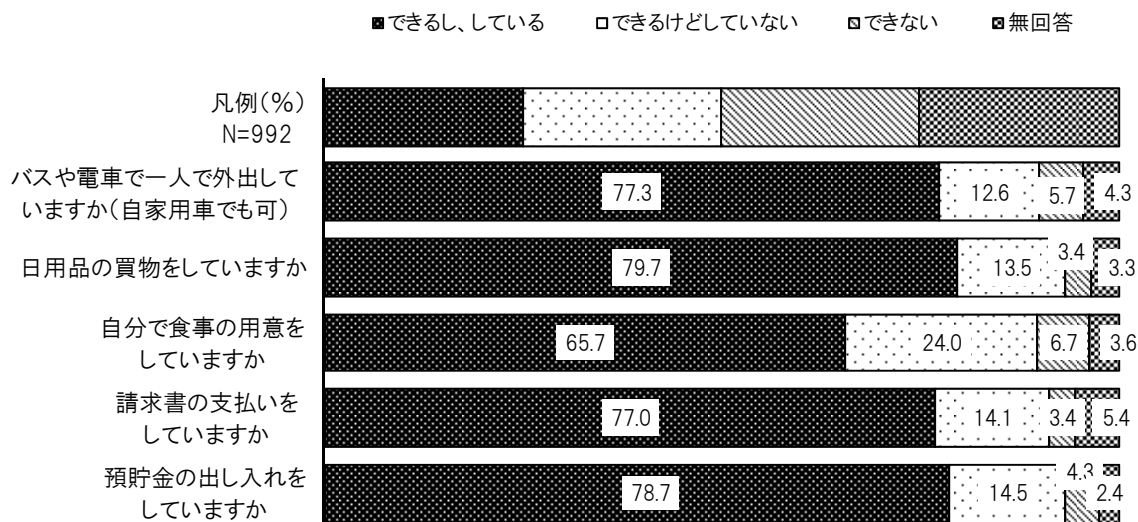


【7】日常生活

1. 手段的自立度

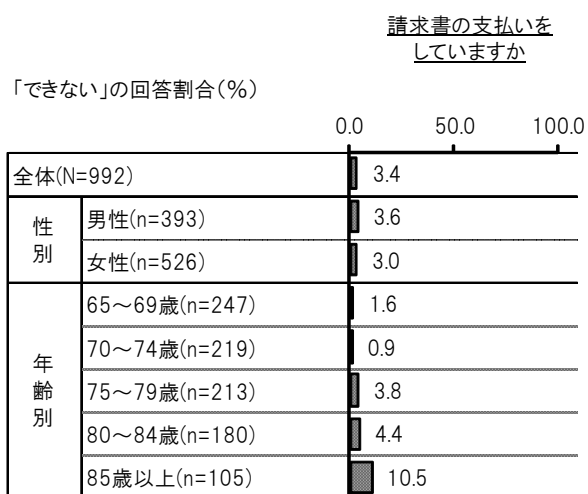
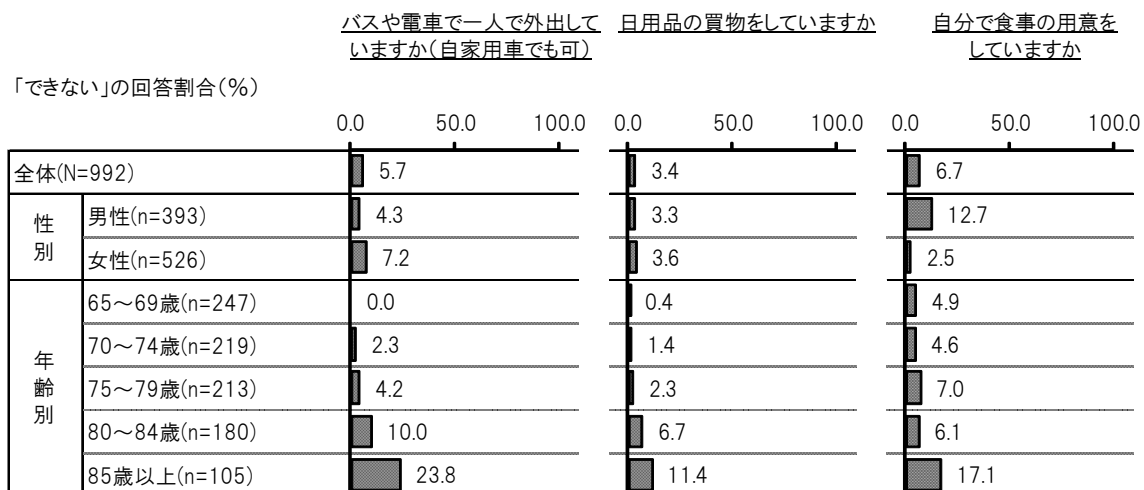
- Q 1 バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）
 Q 2 日用品の買物をしていますか
 Q 3 自分で食事の用意をしていますか
 Q 4 請求書の支払いをしていますか
 Q 5 預貯金の出し入れをしていますか

手段的自立度については、「自分で食事の用意をしていますか」は「できるし、している」が65.7%と他の4項目に比べて少なくなっていますが、「できるけどしていない」を合わせた『できる』はすべての項目が9割前後でほぼ同じ割合となっています。「できない」と答えた割合では「自分で食事の用意をしていますか」(6.7%)と「バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）」(5.7%)が多いですが、他の項目とほとんど差はみられません。



性別では、男性は女性に比べて「自分で食事の用意をしていますか」が12.7%、女性は男性に比べて「バスや電車で一人で外出していますか」が7.2%と「できない」が多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど、すべての項目で「できない」が多くなり、85歳以上は「バスや電車で一人で外出していますか」では23.8%が「できない」と答えています。



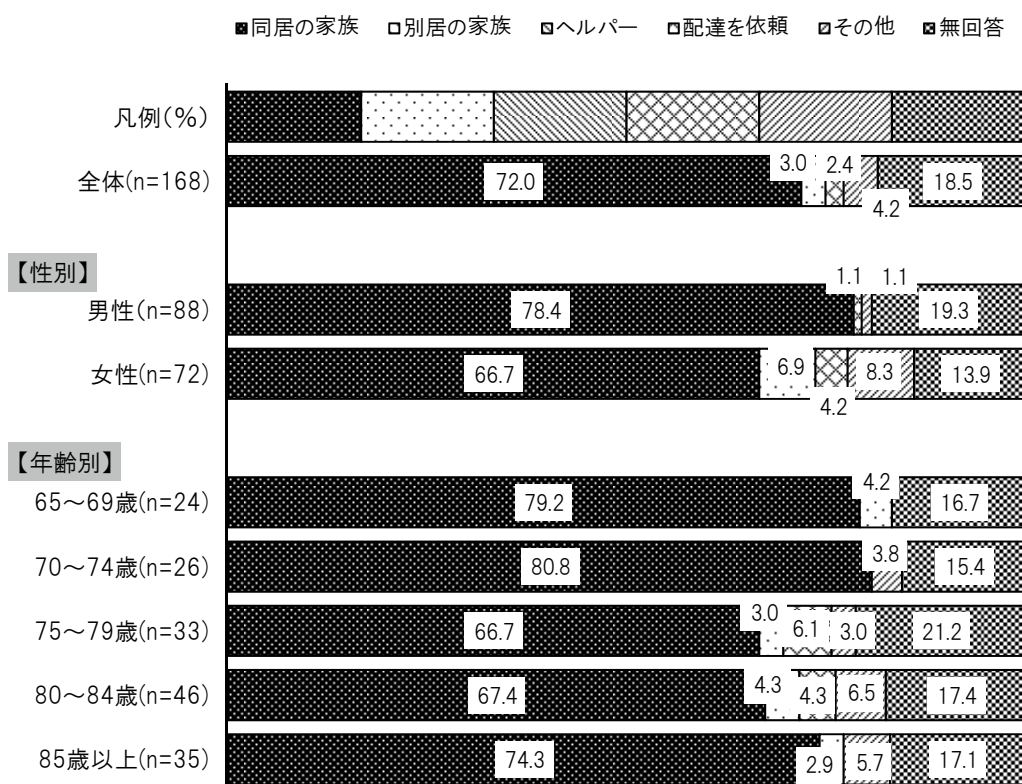
2. 日用品の買い物をする人について

Q2-1 (日用品の買物をしていない、できない方のみ) 日用品の買物をする人は主にどなたですか

日用品の買い物をする人については、「同居の家族」が72.0%と多数を占め、「別居の家族」「配達を依頼」は3%以下と少数に止まり、「ヘルパー」は0%となっています。

性別では、男性は「同居の家族」が78.4%と、女性は「別居の家族」が6.9%とそれぞれ多くなっています。

年齢別では、74歳以下は「同居の家族」が80%前後で多く、75～84歳は67%前後と少なくなっています。

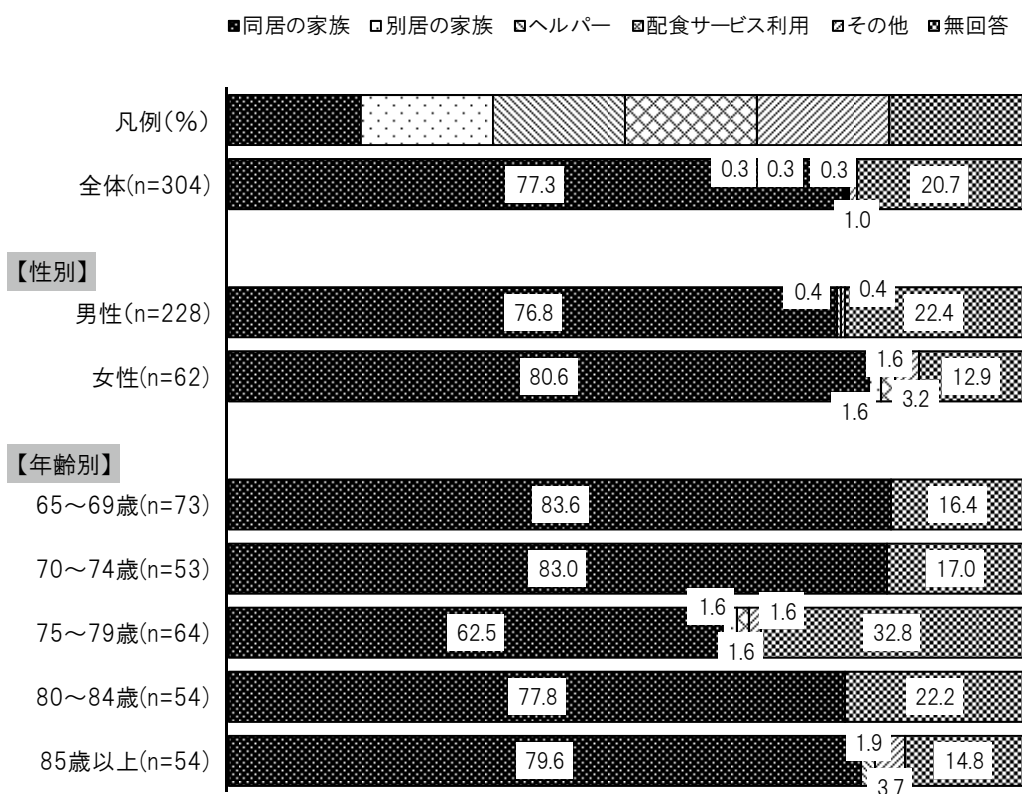


3. 食事の用意をする人について

Q 3-1 (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ) 食事の用意をする人は主にどなたですか

食事の用意をする人については、「同居の家族」が77.3%と多数を占めています。性別では、女性は男性に比べ「同居の家族」がやや多くなっています。

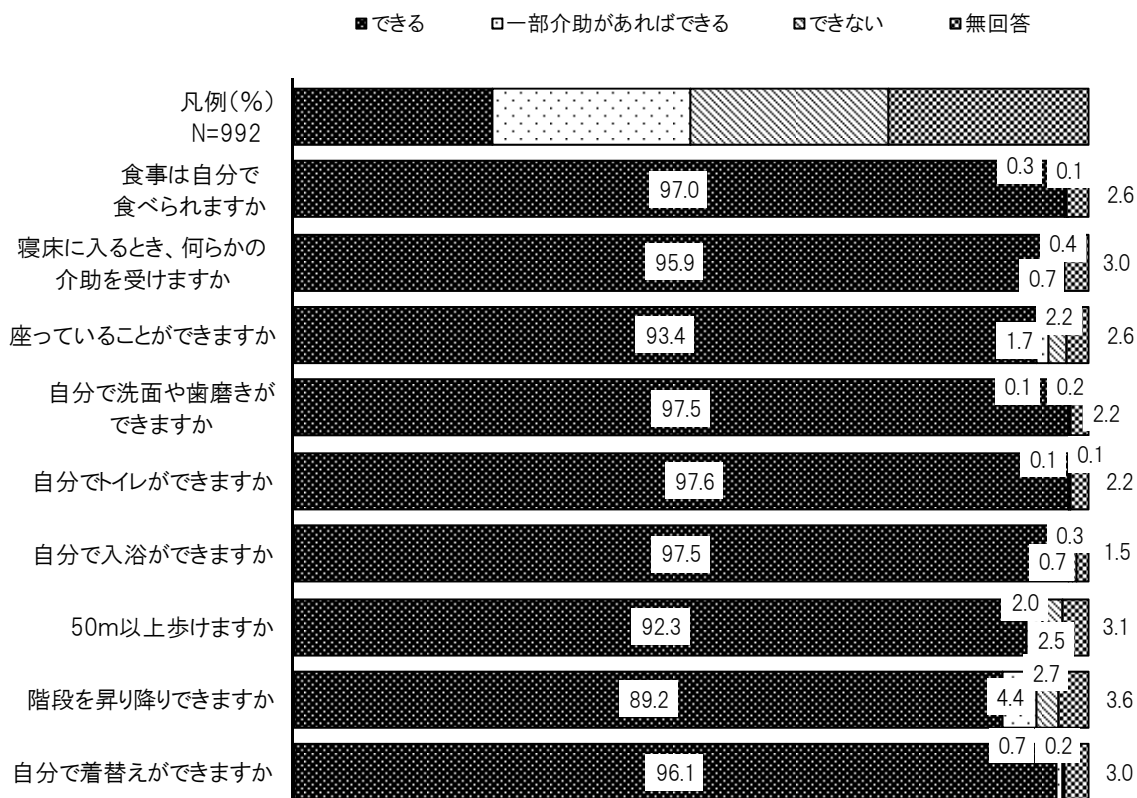
年齢別では、「同居の家族」は74歳以下が8割台、80歳以上が7割台ですが、75～79歳は62.5%と少なくなっています。



4. 日常生活について

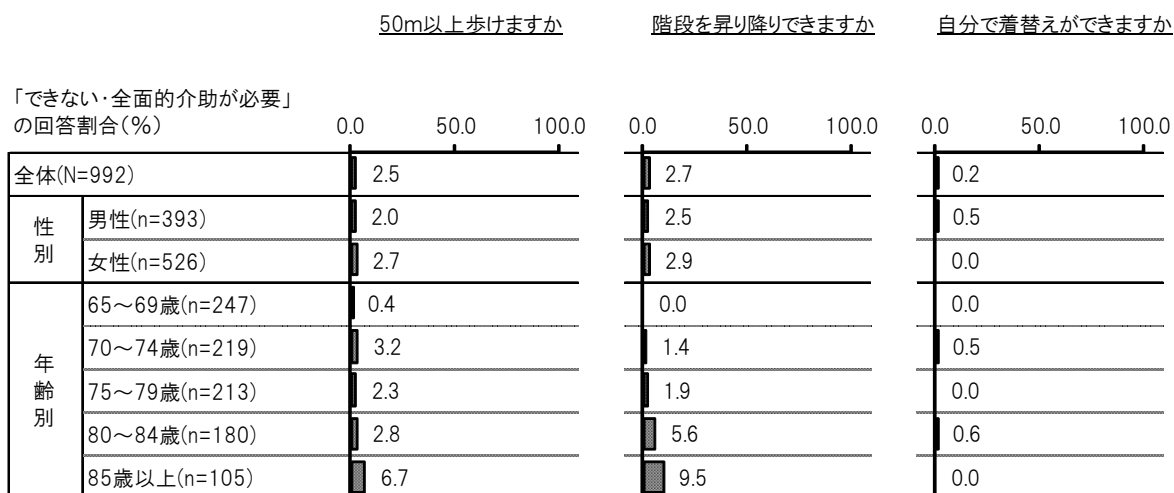
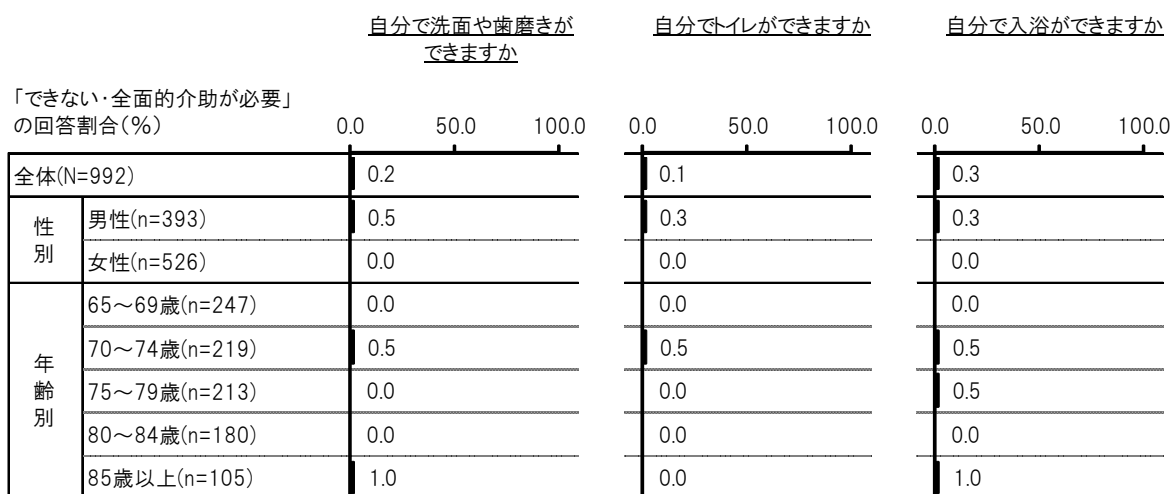
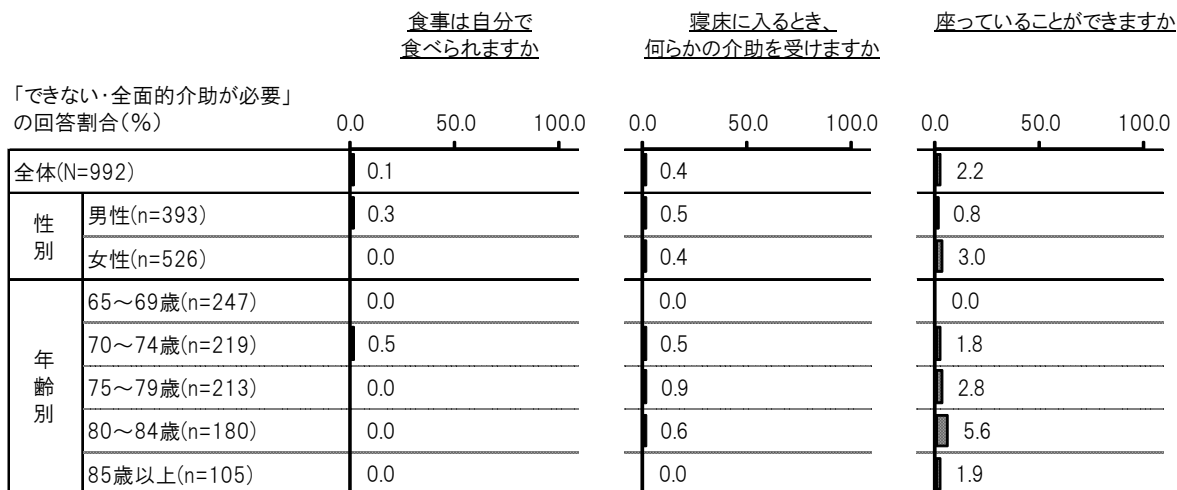
- Q 6 食事は自分で食べられますか
 Q 7 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか
 Q 8 座っていることができますか
 Q 9 自分で洗面や歯磨きができますか
 Q 10 自分でトイレができますか
 Q 11 自分で入浴ができますか
 Q 12 50m以上歩けますか
 Q 13 階段を昇り降りできますか
 Q 14 自分で着替えができますか

日常生活については、ほぼすべての項目で「できる」が9割以上を占めています。



性別でも、男女ともいずれの項目も9割以上が「できる」と答え、男女間に差はみられません。

年齢別は、年齢が上がるほど、「階段を昇り降りできますか」「50m以上歩けますか」で「できない」がやや多くなっている傾向がみられます。



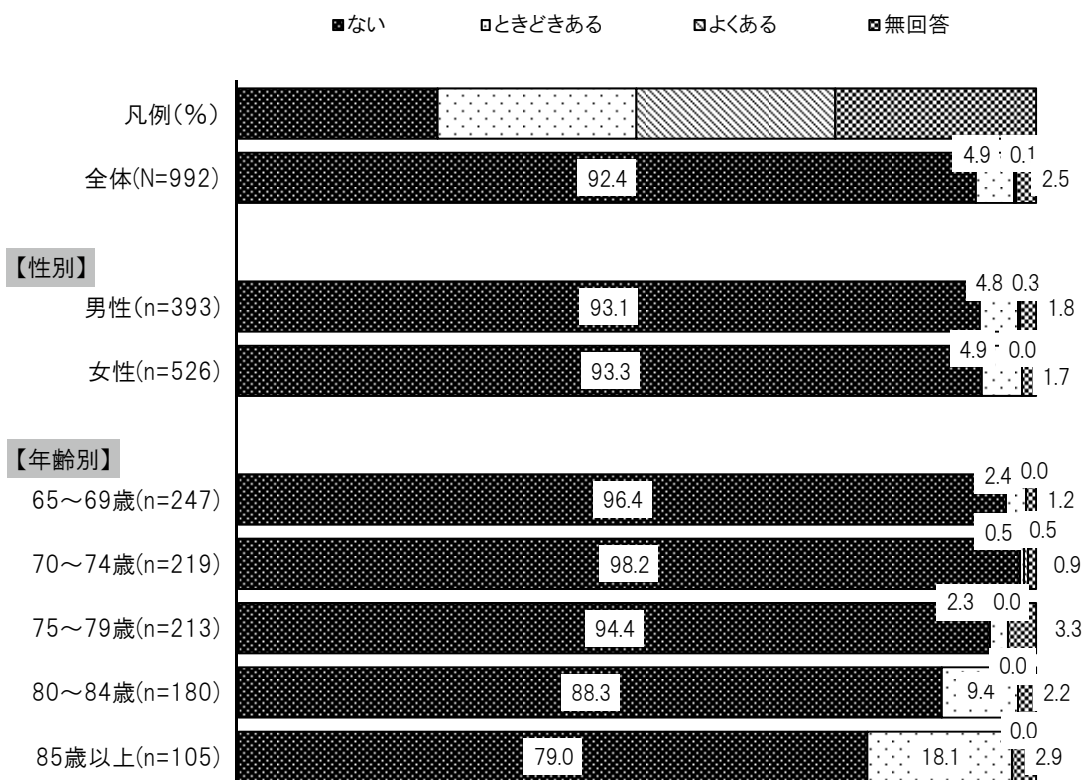
5. 大便の失敗について

Q 1 5 大便の失敗がありますか

排便コントロールは、失敗が「ない」が92.4%、「ときどきある」が4.9%、「よくある」が0.1%と「ない」が多数を占めています。

性別では、男女間に差はみられません。

年齢別では「ときどきある」が80～84歳から多くなり、85歳以上では18.1%と多くなっています。



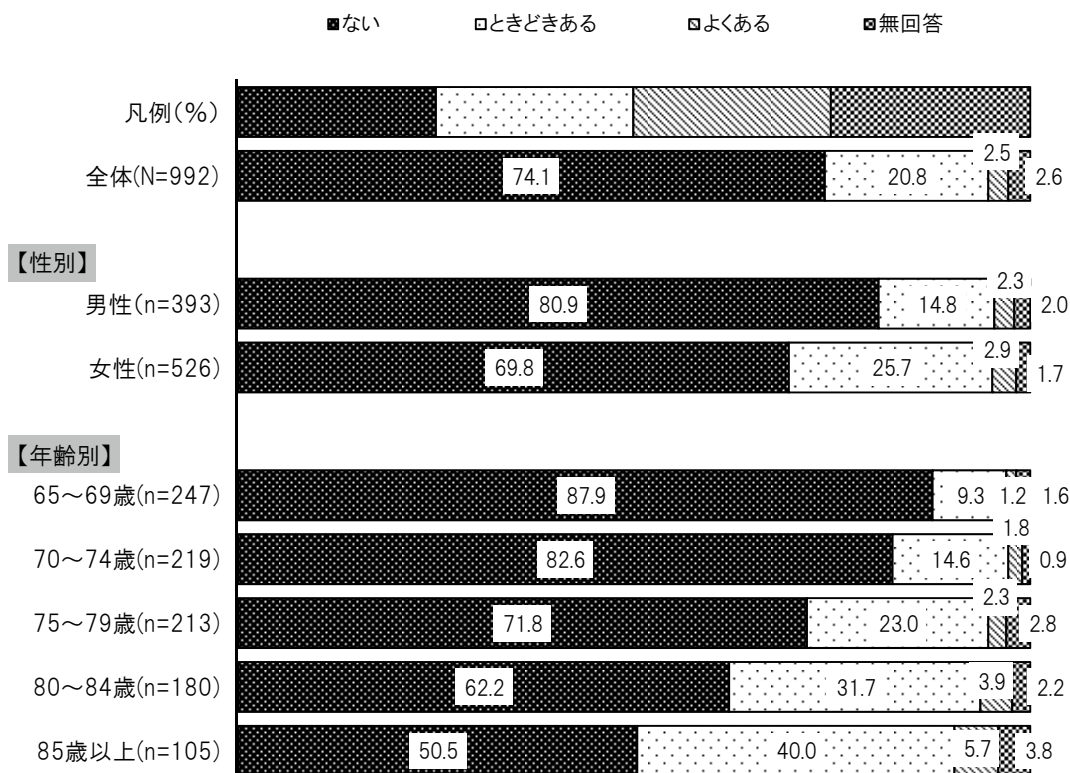
6. 尿もれや尿失禁について

Q 1 6 尿もれや尿失禁がありますか

排尿コントロールは、尿もれや尿失禁が「ない」が74.1%、「ときどきある」が20.8%、「よくある」が2.5%となっています。

性別では、女性は「ときどきある」が25.7%と多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「ときどきある」が多くなり、85歳以上では40.0%、「よくある」も5.7%と多くなっています。



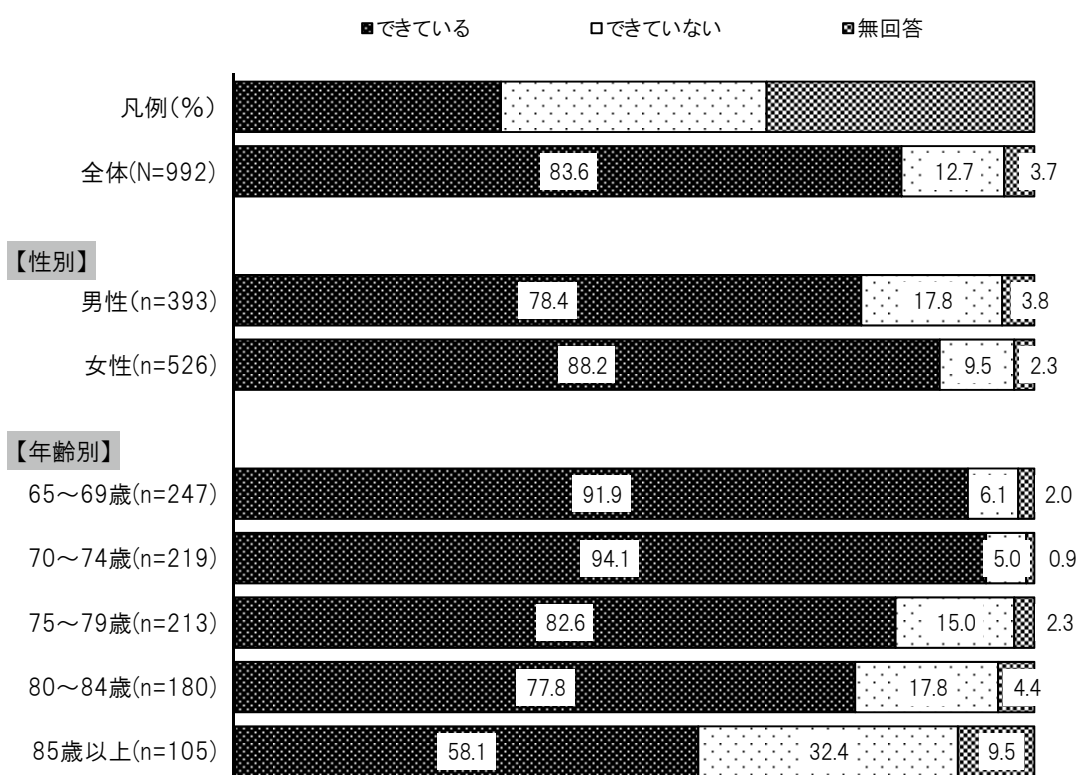
7. 家事全般について

Q17 家事全般ができていますか

家事全般については、「できている」が 83.6%、「できていない」が 12.7%と「できている」が多数を占めています。

性別では、男性に比べて女性が「できている」が多くなっています。

年齢別では、75歳以上から「できていない」が多くなり、85歳以上では 32.4%が「できていない」と答えています。

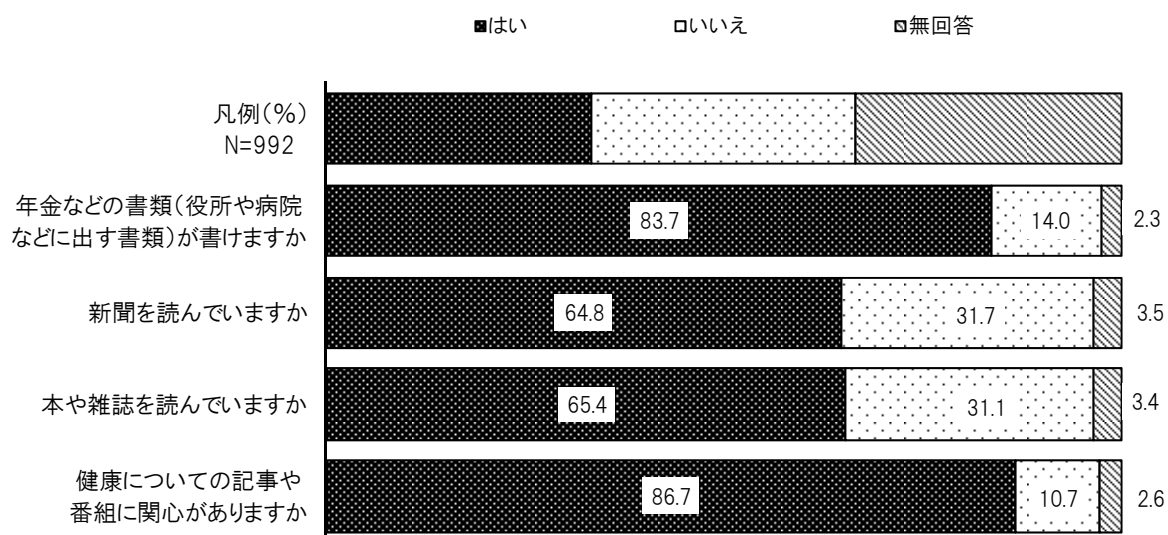


【8】社会参加

1. 社会参加について

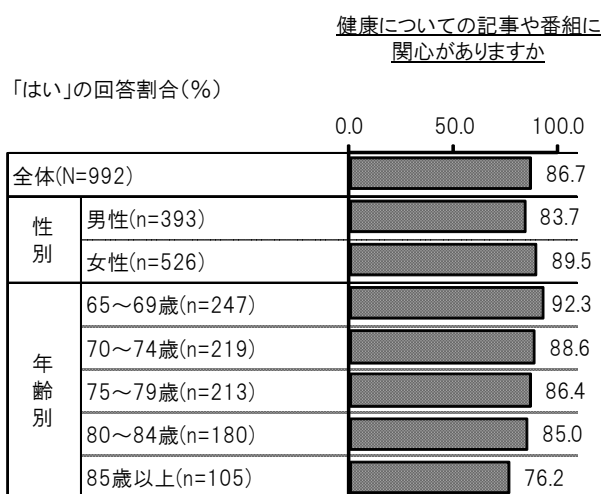
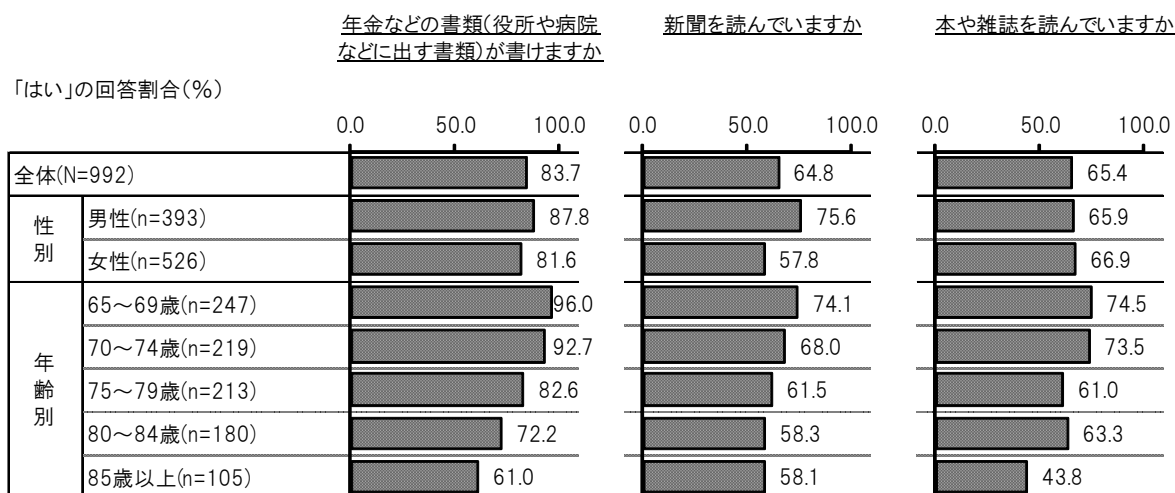
- Q 1 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか
 Q 2 新聞を読んでいますか
 Q 3 本や雑誌を読んでいますか
 Q 4 健康についての記事や番組に関心がありますか

社会参加については、「健康についての記事や番組に関心がありますか」は 86.7%、「年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか」は 83.7%が「はい」と答えていますが、「本や雑誌を読んでいますか」は 65.4%、「新聞を読んでいますか」は 64.8%と少なくなっています。



性別では、男性は女性に比べて「年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか」「新聞を読んでいますか」で「はい」と答えた割合が多くみられます。女性は「健康についての記事や番組に関心がありますか」で「はい」が男性に比べてやや多くなっています。

年齢別では、いずれの項目も年齢が上がるほど「はい」が少なくなり、特に「本や雑誌を読んでいますか」では85歳以上は43.8%と5割を下回っています。

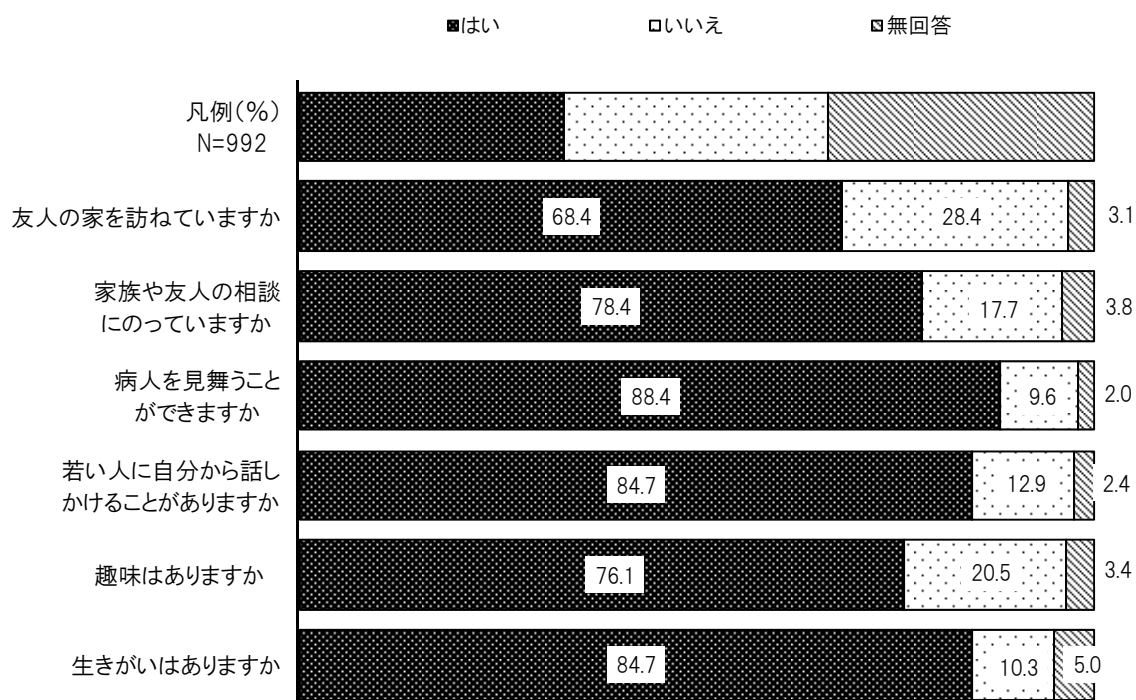


2. 社会的役割等について

- Q 5 友人の家を訪ねていますか
 Q 6 家族や友人の相談にのっていますか
 Q 7 病人を見舞うことができますか
 Q 8 若い人に自分から話しかけることがありますか
 Q 9 趣味はありますか
 Q 10 生きがいはありますか

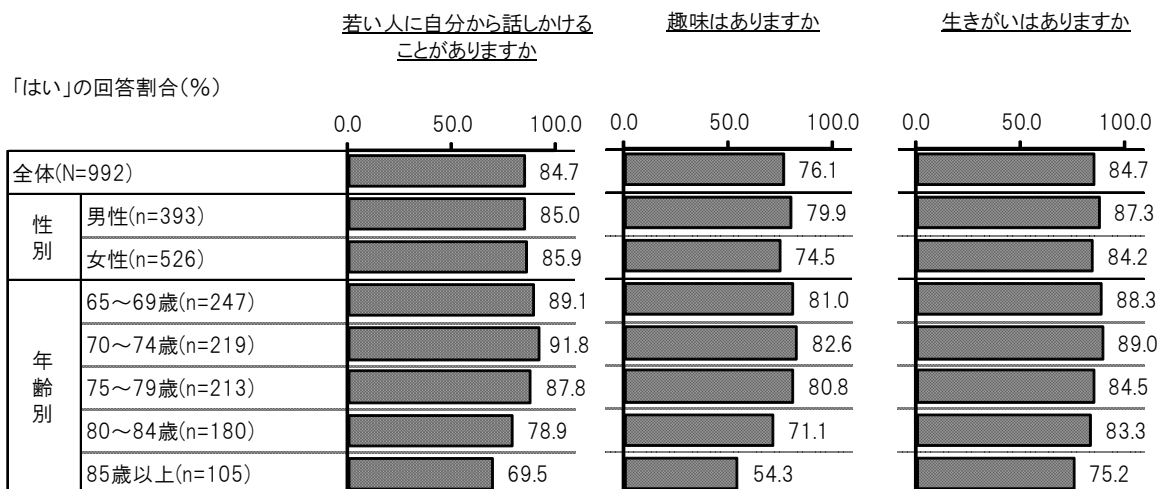
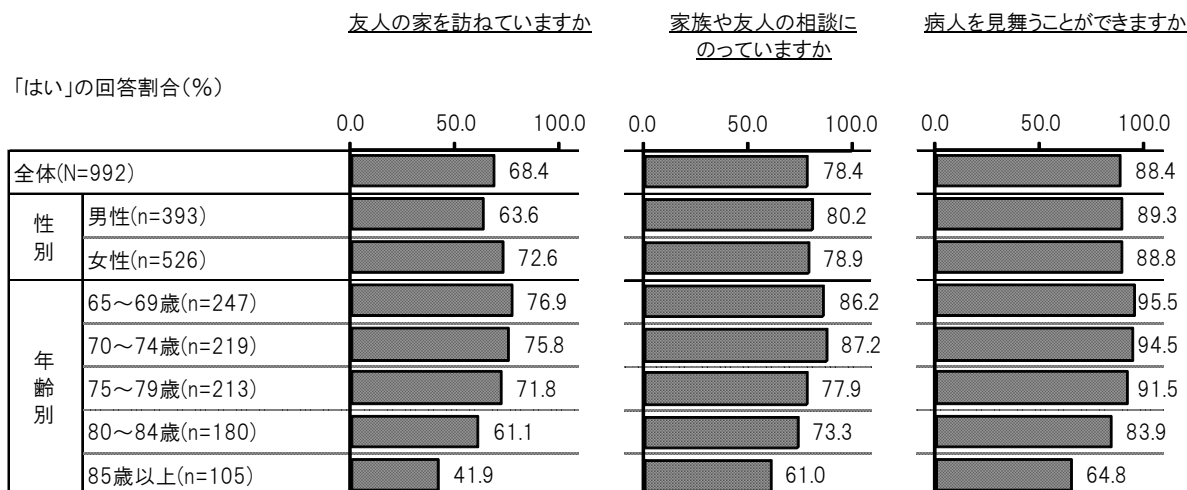
社会的役割等については、「はい」の割合は、「病人を見舞うことができますか」(88.4%)が最も多く、以下「生きがいはありますか」「若い人に自分から話しかけることがありますか」(ともに84.7%)、「家族や友人の相談にのっていますか」(78.4%)、「趣味はありますか」(76.1%)、「友人の家を訪ねていますか」(68.4%)となっています。

一方、「いいえ」は「友人の家を訪ねていますか」の28.4%、「趣味はありますか」の20.5%が他の項目に比べて多くなっています。



性別では、男性に比べて女性は、「友人の家を訪ねていますか」で「はい」が多く、男性は「趣味はありますか」「生きがいはありますか」で「はい」が女性より多い傾向がみられます。

年齢別では、おおむねすべての項目で、年齢が上がるほど「はい」が少なくなっています。

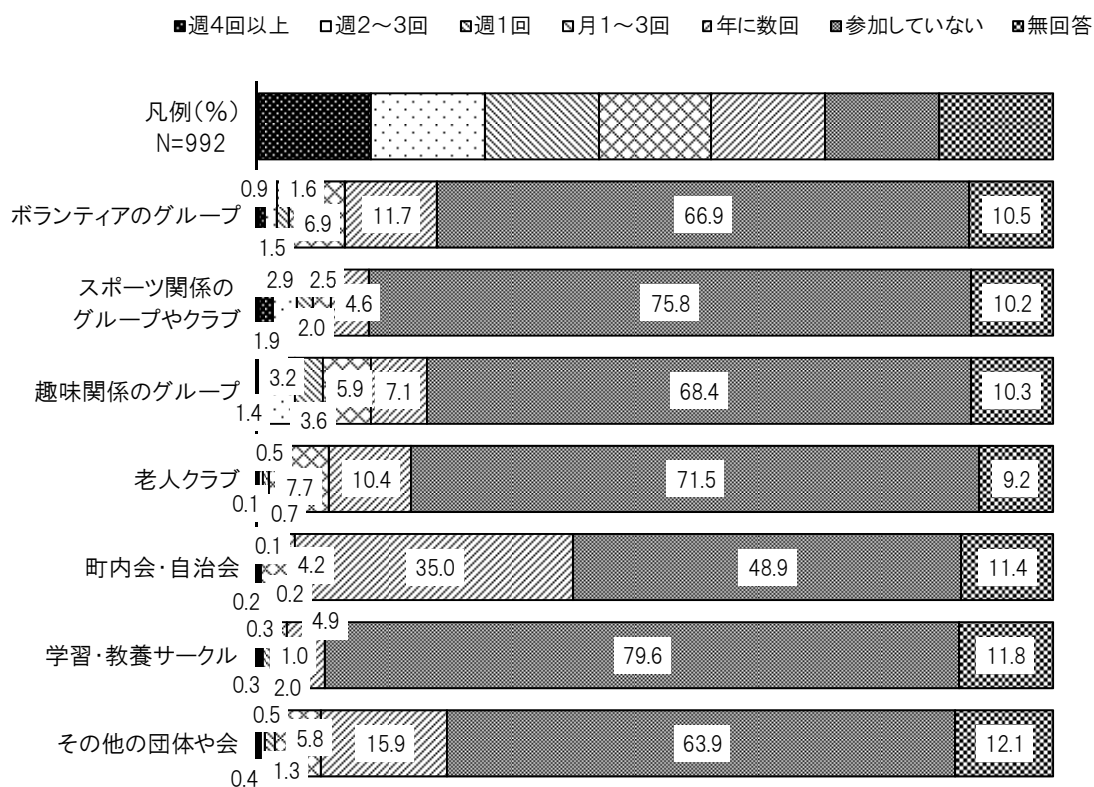


3. 地域グループ等の参加頻度

Q11 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

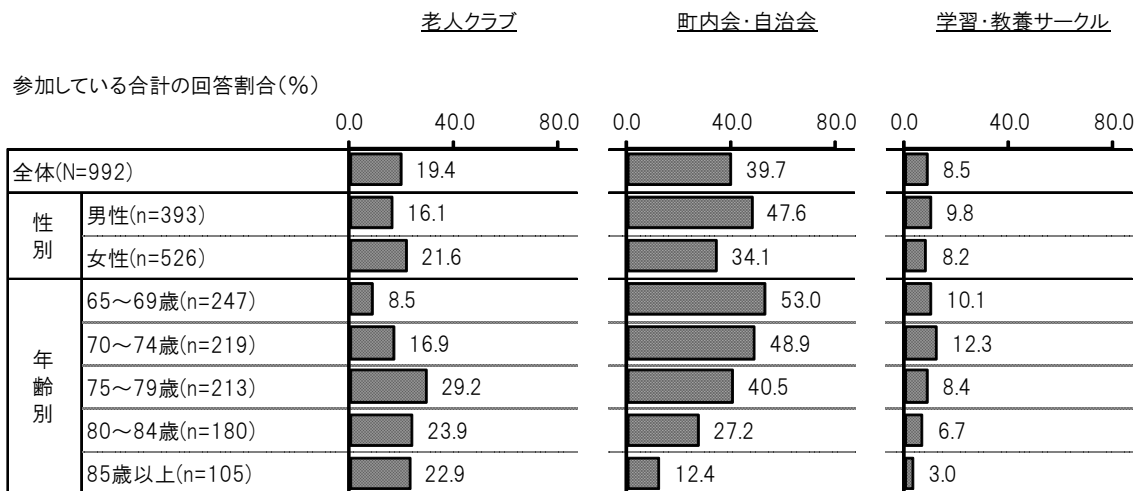
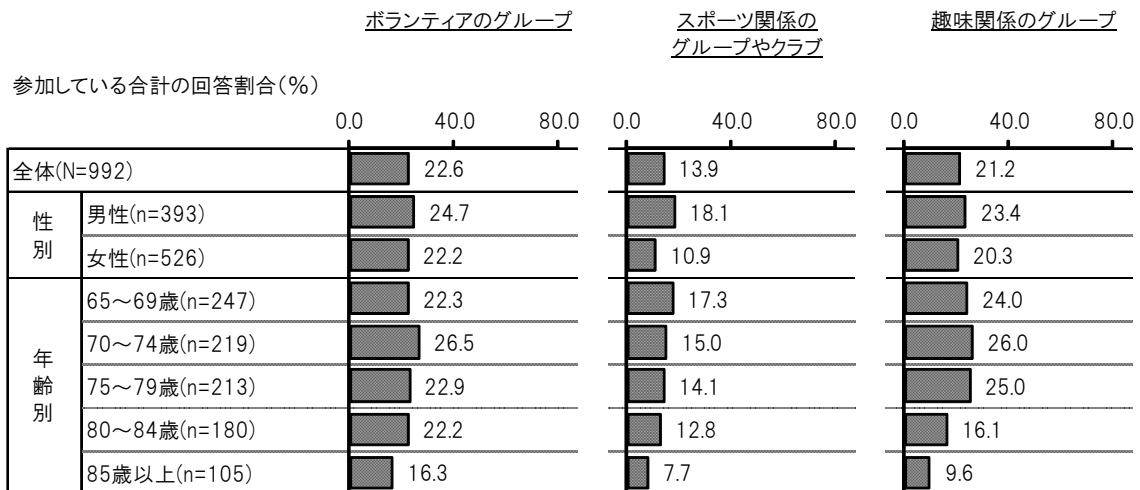
- (1) ボランティアのグループ
- (2) スポーツ関係のグループやクラブ
- (3) 趣味関係のグループ
- (4) 老人クラブ
- (5) 町内会・自治会
- (6) 学習・教養サークル
- (7) その他の団体や会

地域グループ等の参加頻度について、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた参加率でみると、「町内会、自治会」が39.7%と最も高く、ついで「その他の団体や会」(23.9%)、「ボランティアのグループ」(22.6%)、「趣味関係のグループ」(21.2%)、「老人クラブ」(19.4%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(13.9%)、「学習、教養サークル」(8.5%)となっています。



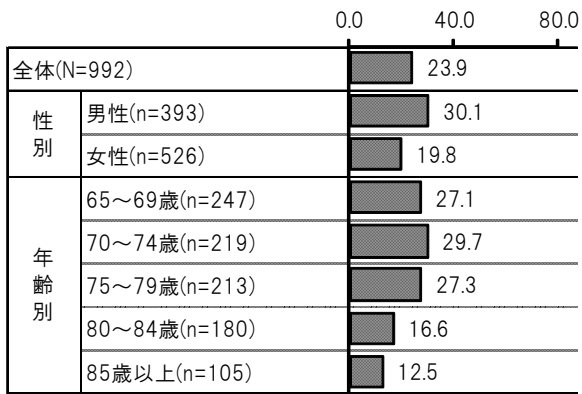
性別では、女性に比べて男性は「町内会、自治会」「スポーツ関係のグループやクラブ」「その他の団体や会」の参加率が高くなっています。女性は「老人クラブ」の参加率が男性より高くなっています。

年齢別では、「老人クラブ」以外の「町内会、自治会」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「ボランティアのグループ」「学習・教養サークル」「その他の団体や会」といずれも若い年齢層ほど参加率も高い傾向がみられます。



その他の団体や会

参加している合計の回答割合(%)



4. 地域活動等の参加頻度

Q 1 2 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動

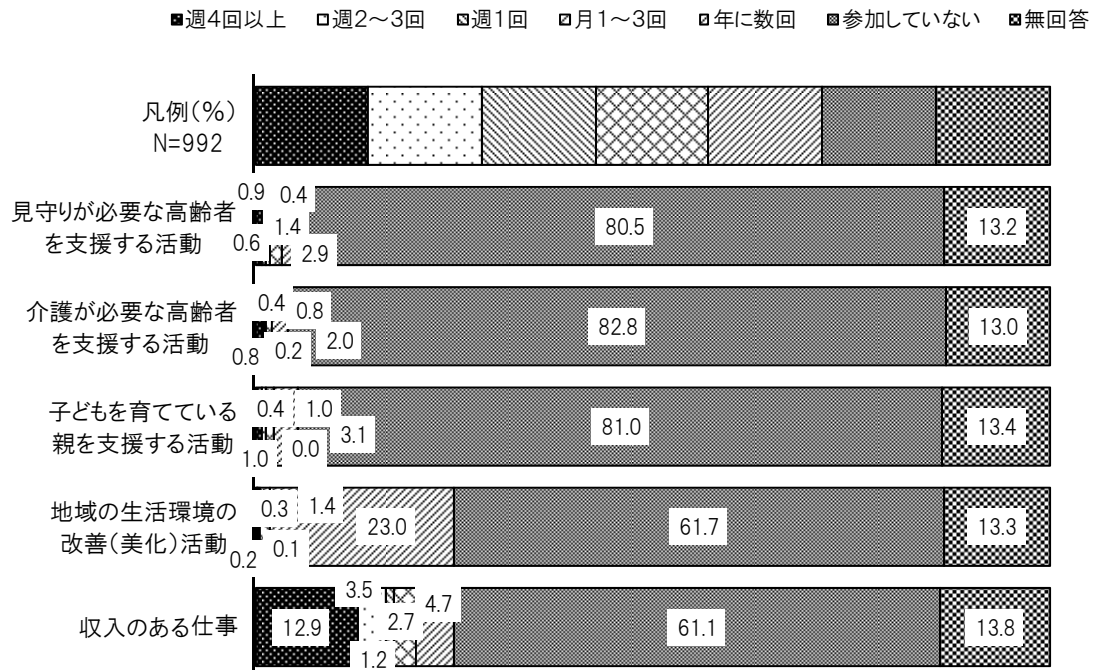
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動

(3) 子どもを育てている親を支援する活動

(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動

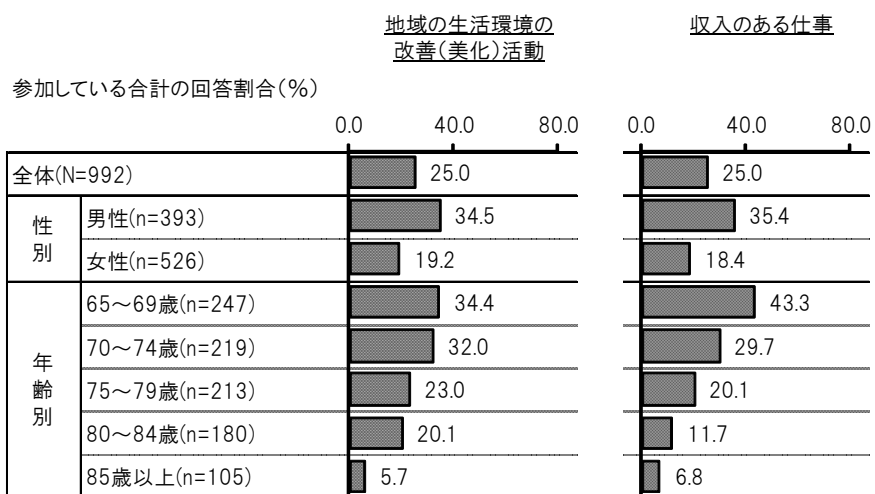
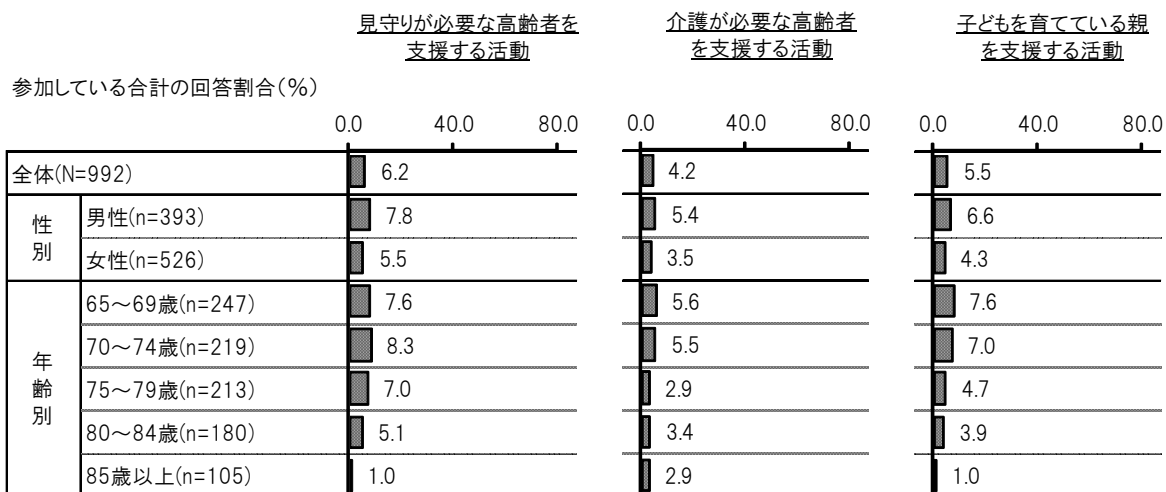
(5) 収入のある仕事

地域活動等の参加頻度について、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた参加率でみると、「収入のある仕事」と「地域の生活環境の改善（美化）活動」がともに25.0%で高く、「見守りが必要な高齢者を支援する活動」「介護が必要な高齢者を支援する活動」「子どもを育てている親を支援する活動」は4%～6%の参加率に止まっています。



性別では、女性に比べて男性は「地域の生活環境の改善（美化）活動」「収入のある仕事」の参加率がそれぞれ高くなっています。

年齢別では、若い年齢層ほど「収入のある仕事」の参加率が高く、65～69歳では43.3%と4割以上となっています。「地域の生活環境の改善（美化）活動」の参加率も若い年齢ほど高くなっています。



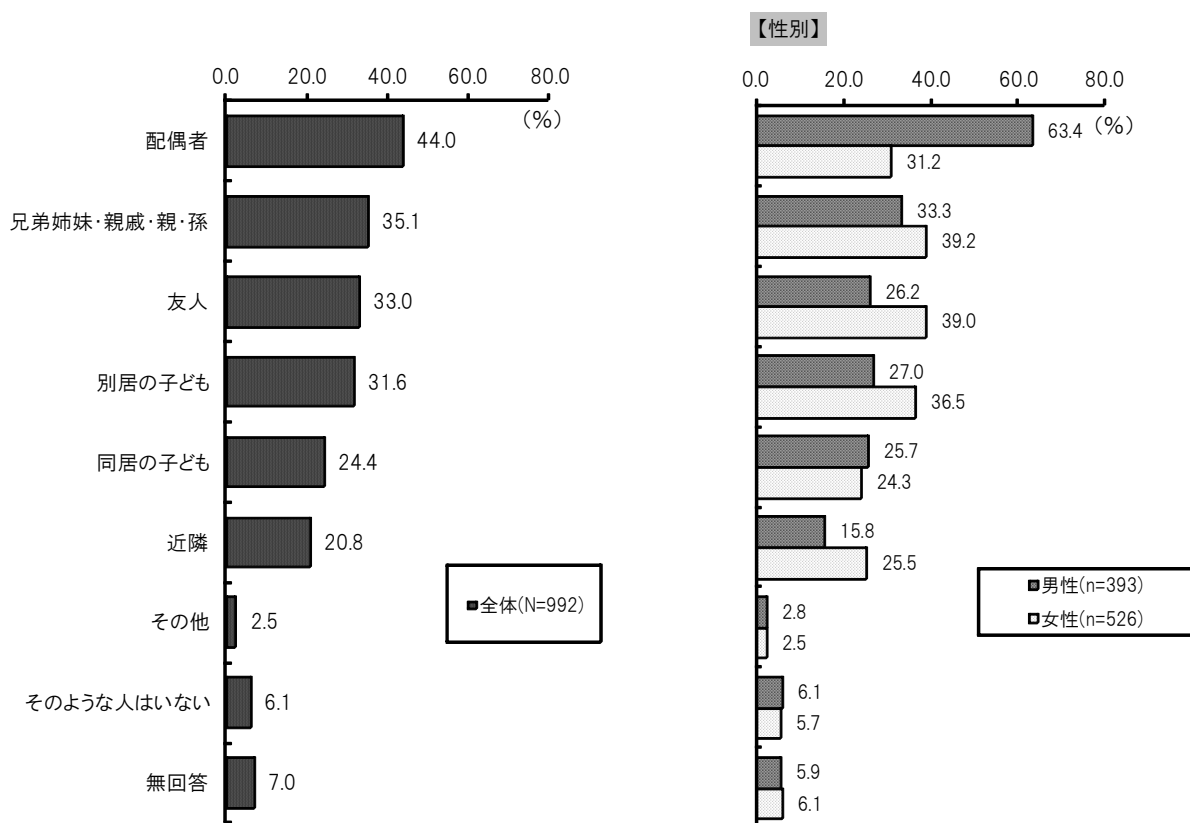
5. 「たすけあい」について

Q13 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
 あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」が44.0%と最も多く、ついで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が35.1%、「友人」が33.0%、「別居の子ども」が31.6%、「同居の子ども」が24.4%、「近隣」が20.8%と続いています。

性別では、男性は「配偶者」が63.4%を占めていますが、女性は31.2%と少なく、女性は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」「別居の子ども」「近隣」が男性より多くなっています。



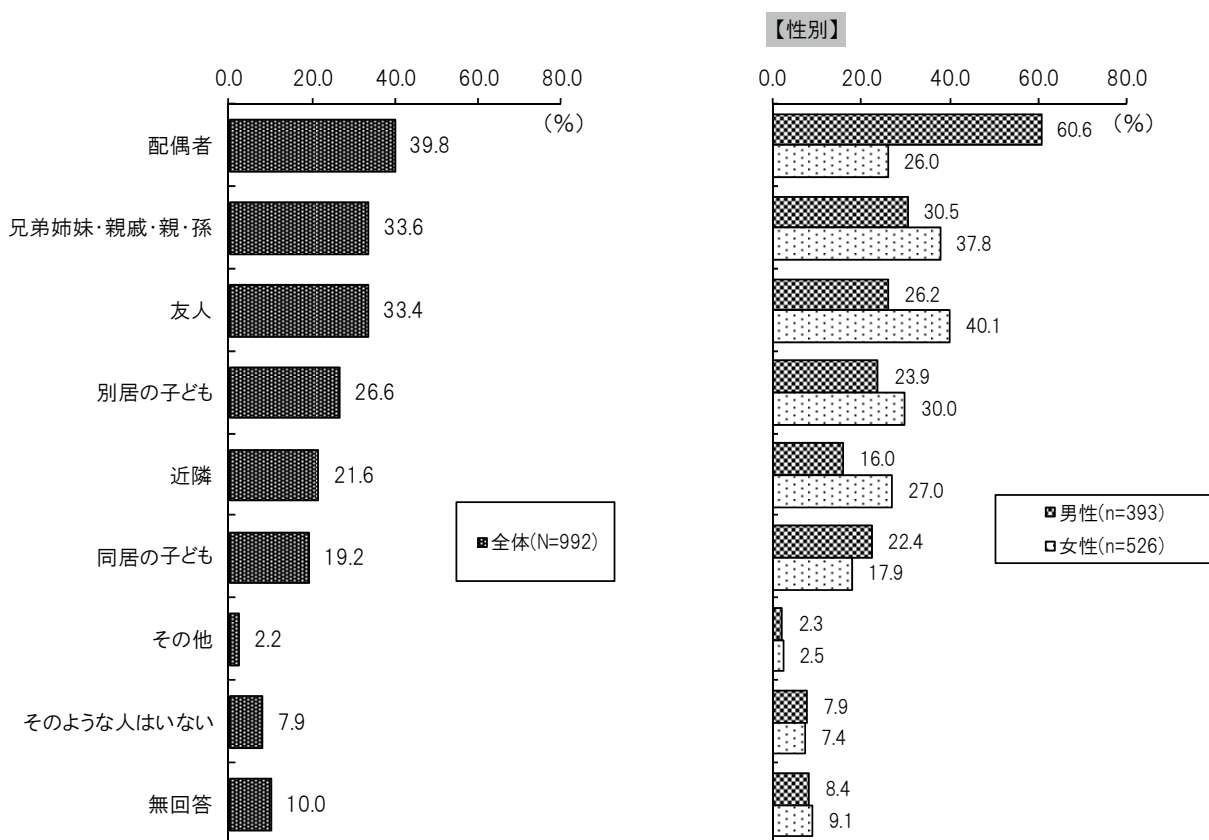
年齢別では、65～69歳は「配偶者」が、70～74歳は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と「友人」が、75～79歳は「近隣」が、85歳以上は「別居の子ども」と「同居の子ども」がそれぞれ最も多くなっています。

区分		(%)								
		心配事や愚痴を聞いてくれる人	配偶者	兄弟姉妹・親戚・孫・親	友人	別居の子ども	同居の子ども	近隣	その他	いそなのような人は
全体(N=992)			44.0	35.1	33.0	31.6	24.4	20.8	2.5	6.1
性別	男性(n=393)		63.4	33.3	26.2	27.0	25.7	15.8	2.8	6.1
	女性(n=526)		31.2	39.2	39.0	36.5	24.3	25.5	2.5	5.7
年齢別	65～69歳(n=247)		64.4	38.1	38.1	30.4	21.9	19.8	2.4	2.8
	70～74歳(n=219)		52.1	39.3	41.6	29.7	17.4	19.2	1.4	8.2
	75～79歳(n=213)		40.4	32.4	35.2	31.5	24.4	27.7	0.9	8.0
	80～84歳(n=180)		27.2	32.8	23.9	34.4	31.7	20.0	3.9	5.0
	85歳以上(n=105)		20.0	33.3	15.2	39.0	37.1	15.2	4.8	6.7

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「配偶者」が 39.8%と最も多く、ついで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 33.6%、「友人」が 33.4%、「別居の子ども」が 26.6%、「近隣」が 21.6%と続いています。

性別では、男性は「配偶者」が 60.6%と 6 割を占めていますが、女性は 26.0%と 3 割を下回っています。男性に比べて女性は「友人」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「別居の子ども」「近隣」が多くなっています。



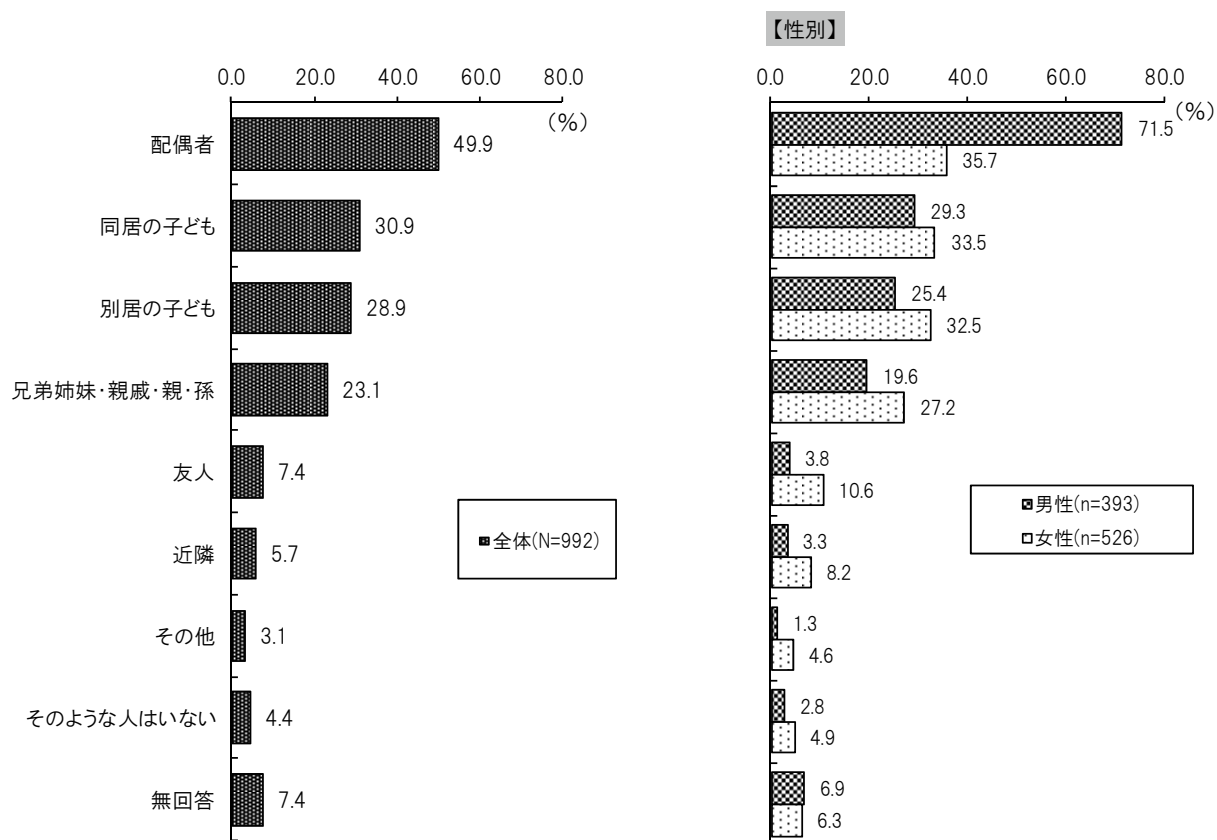
年齢別では、65～69歳は「配偶者」「友人」「別居の子ども」が、70～74歳は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が、75～79歳は「近隣」が、85歳以上は「同居の子ども」がそれぞれ最も多くなっています。

区分		(%)								
		心配事や愚痴を聞いてあげる人	配偶者	兄弟・弟・親・姉・妹・孫・親	友人	別居の子ども	近隣	同居の子ども	その他	いそなのような人は
全体(N=992)			39.8	33.6	33.4	26.6	21.6	19.2	2.2	7.9
性別	男性(n=393)		60.6	30.5	26.2	23.9	16.0	22.4	2.3	7.9
	女性(n=526)		26.0	37.8	40.1	30.0	27.0	17.9	2.5	7.4
年齢別	65～69歳(n=247)		58.3	38.9	42.5	31.2	23.5	19.0	2.8	3.6
	70～74歳(n=219)		46.1	39.3	40.6	28.8	25.1	19.2	1.4	9.1
	75～79歳(n=213)		39.0	31.0	35.7	24.4	26.3	19.7	1.9	7.5
	80～84歳(n=180)		22.2	30.0	20.6	23.9	16.7	19.4	2.8	9.4
	85歳以上(n=105)		18.1	24.8	14.3	25.7	11.4	22.9	2.9	11.4

(3) 看病や世話をしてくれる人

看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が49.9%と最も多く、ついで「同居の子ども」が30.9%、「別居の子ども」が28.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.1%となっています。

性別では、男性は「配偶者」が71.5%と7割を超えていますが、女性は35.7%と4割を下回っています。女性は男性に比べて「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」「近隣」が多くなっています。



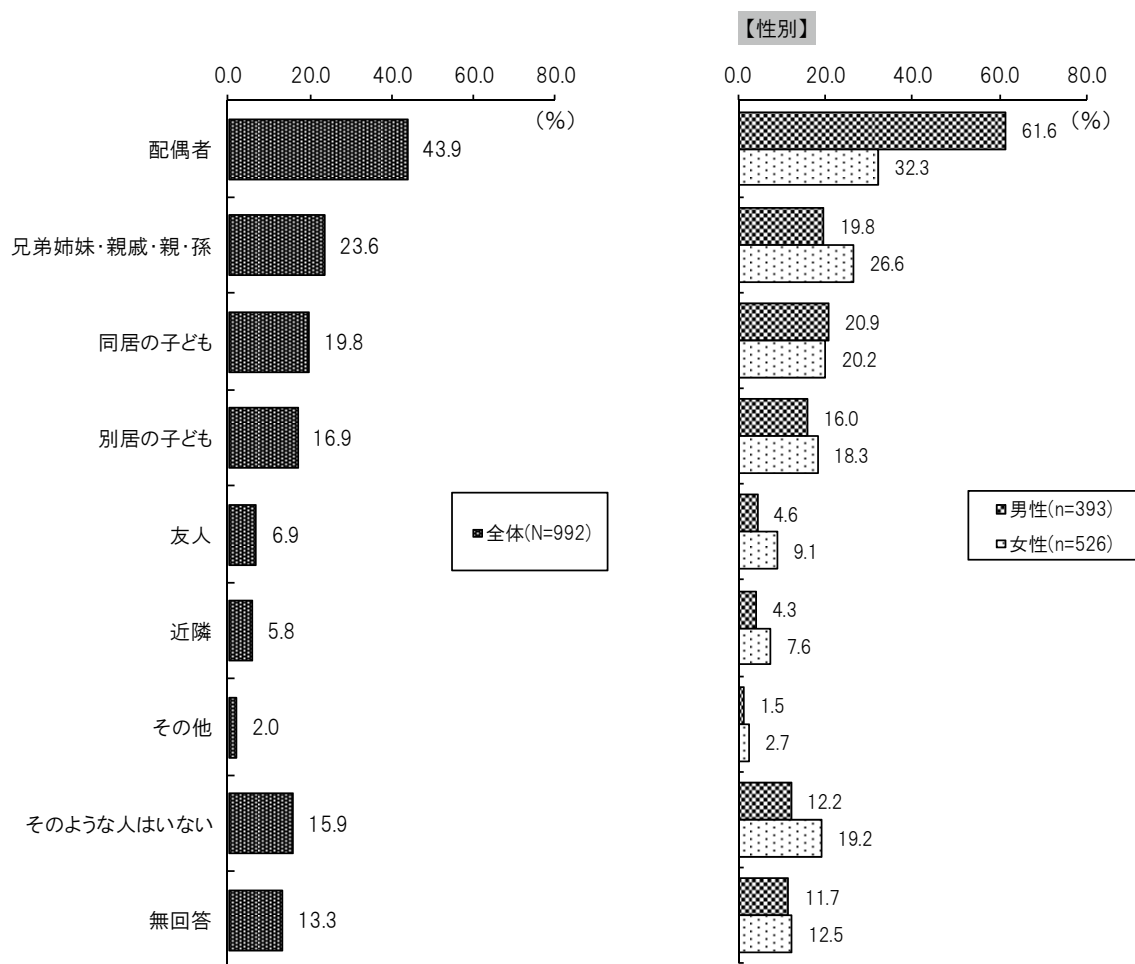
年齢別では、65～69歳は「配偶者」が、75～79歳は「友人」が、85歳以上は「同居の子ども」「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」がそれぞれ最も多くなっています。

区分		(%)							
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	友人	近隣	その他	いそなような人は
全体(N=992)		49.9	30.9	28.9	23.1	7.4	5.7	3.1	4.4
性別	男性(n=393)	71.5	29.3	25.4	19.6	3.8	3.3	1.3	2.8
	女性(n=526)	35.7	33.5	32.5	27.2	10.6	8.2	4.6	4.9
年齢別	65～69歳(n=247)	68.4	23.5	26.3	23.9	7.3	4.5	2.0	2.8
	70～74歳(n=219)	61.2	24.2	26.5	20.5	8.7	4.1	3.7	5.5
	75～79歳(n=213)	46.9	31.0	31.5	23.5	10.8	9.4	1.9	8.0
	80～84歳(n=180)	31.7	39.4	31.7	23.9	4.4	5.6	4.4	1.7
	85歳以上(n=105)	22.9	51.4	33.3	26.7	3.8	6.7	4.8	3.8

(4) 看病や世話をしあける人

看病や世話をしあける人は、「配偶者」が43.9%で最も多く、ついで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が23.6%、「同居の子ども」が19.8%、「別居の子ども」が16.9%と続いています。「そのような人はいない」が15.9%みられます。

性別では、男性は「配偶者」が61.6%と6割を超えています、女性は32.3%と3割に止まっています。女性は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が男性に比べて多く、また「そのような人はいない」も男性に比べて多くなっています。



年齢別では、若い年齢層ほど「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「別居の子ども」が多くなり、65～69歳は最も多くなっています。85歳以上は「そのような人はいない」が33.3%と多くみられます。

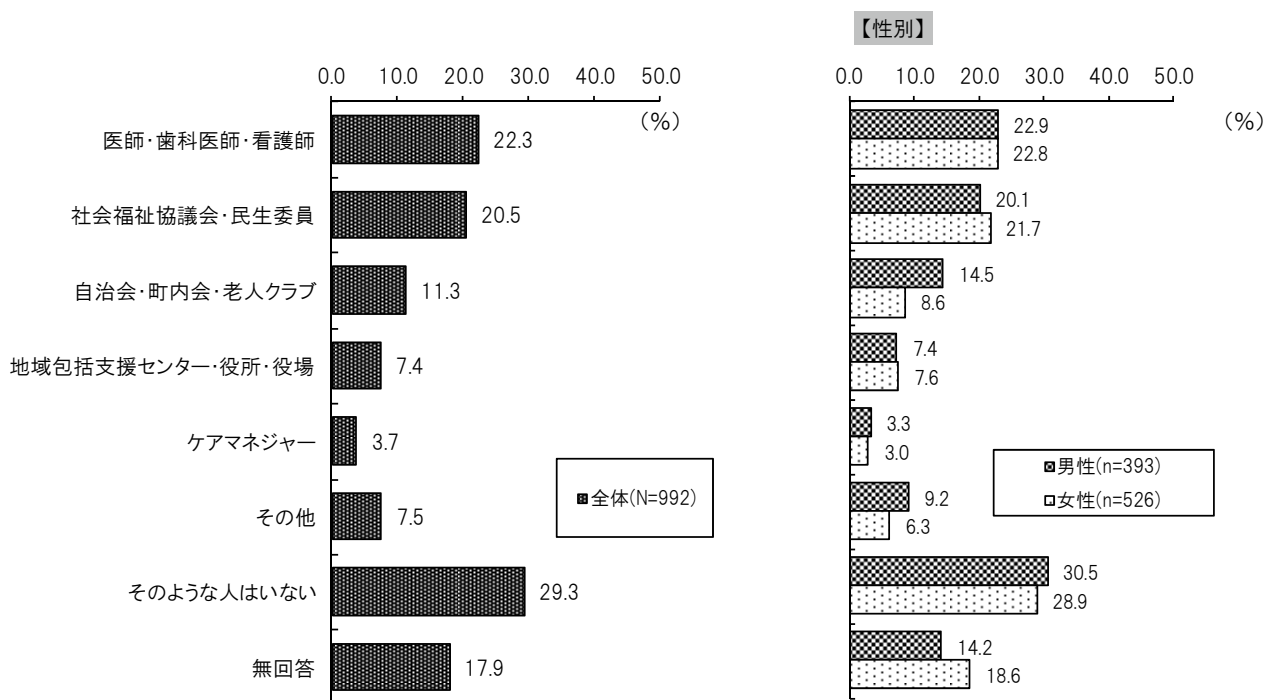
区分		(%)							
		配偶者	兄弟姉妹・親戚・親	同居の子ども	別居の子ども	友人	近隣	その他	いそのような人は
全体(N=992)		43.9	23.6	19.8	16.9	6.9	5.8	2.0	15.9
性別	男性(n=393)	61.6	19.8	20.9	16.0	4.6	4.3	1.5	12.2
	女性(n=526)	32.3	26.6	20.2	18.3	9.1	7.6	2.7	19.2
年齢別	65～69歳(n=247)	60.3	30.0	16.6	21.5	9.3	9.3	2.4	9.3
	70～74歳(n=219)	54.3	25.6	18.3	16.9	7.8	7.3	2.3	14.2
	75～79歳(n=213)	44.6	20.2	23.5	19.2	9.4	5.6	0.0	16.0
	80～84歳(n=180)	26.1	22.2	23.3	15.0	2.8	3.3	4.4	18.3
	85歳以上(n=105)	16.2	15.2	21.0	6.7	1.0	1.0	1.0	33.3

6. 家族や友人・知人以外の相談相手

Q14 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

家族や友人・知人以外の相談相手は、「医師・歯科医師・看護師」が22.3%、「社会福祉協議会・民生委員」が20.5%でほぼ並び、「自治会・町内会・老人クラブ」が11.3%、「地域包括支援センター・役所・役場」が7.4%となっています。「そのような人はいない」が29.3%みられます。

性別では、男性は「自治会・町内会・老人クラブ」が女性よりやや多くなっています。



年齢別では、75～79歳は「医師・歯科医師・看護師」「社会福祉協議会・民生委員」「自治会・町内会・老人クラブ」が多く、65～69歳は「そのような人はいない」が35.2%と多くみられます。

区分		(%)						
		何かあったときに相談する相手	医師・看護師・歯科医師	社会福祉協議会・民生委員	自治会・老人クラブ	地域包括支援センター	ケアマネジャー	その他
全体(N=992)		22.3	20.5	11.3	7.4	3.7	7.5	29.3
性別	男性(n=393)	22.9	20.1	14.5	7.4	3.3	9.2	30.5
	女性(n=526)	22.8	21.7	8.6	7.6	3.0	6.3	28.9
年齢別	65～69歳(n=247)	18.6	20.2	13.4	8.5	4.5	9.3	35.2
	70～74歳(n=219)	22.8	20.5	8.7	7.3	2.7	5.5	32.9
	75～79歳(n=213)	25.4	23.0	17.4	7.0	3.3	7.5	23.9
	80～84歳(n=180)	23.9	18.3	9.4	7.8	3.9	9.4	26.1
	85歳以上(n=105)	23.8	21.9	3.8	5.7	3.8	2.9	26.7

7. 友人関係について

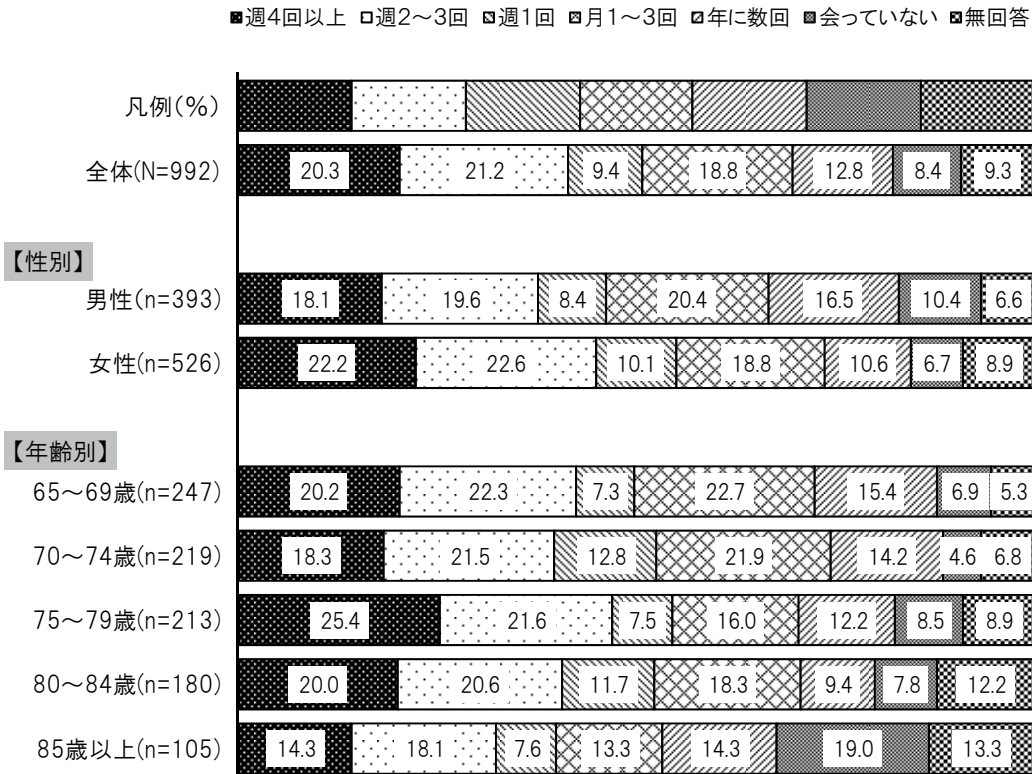
Q15 友人関係についておうかがいします

(1) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度は、「週2～3回」が21.2%と最も多く、ついで「週4回以上」が20.3%、「月1～3回」が18.8%、「年に数回」が12.8%、「週1回」が9.4%、「会っていない」が8.4%となっています。「週1回」から「週4回以上」までを合わせた『週1回以上』は50.9%となっています。

性別では、女性は『週1回以上』が54.9%で男性の46.1%を上回っています。

年齢別では、75～79歳は「週4回以上」が25.4%と多く、『週1回以上』でも、54.5%で他の年齢に比べて多くなっています。

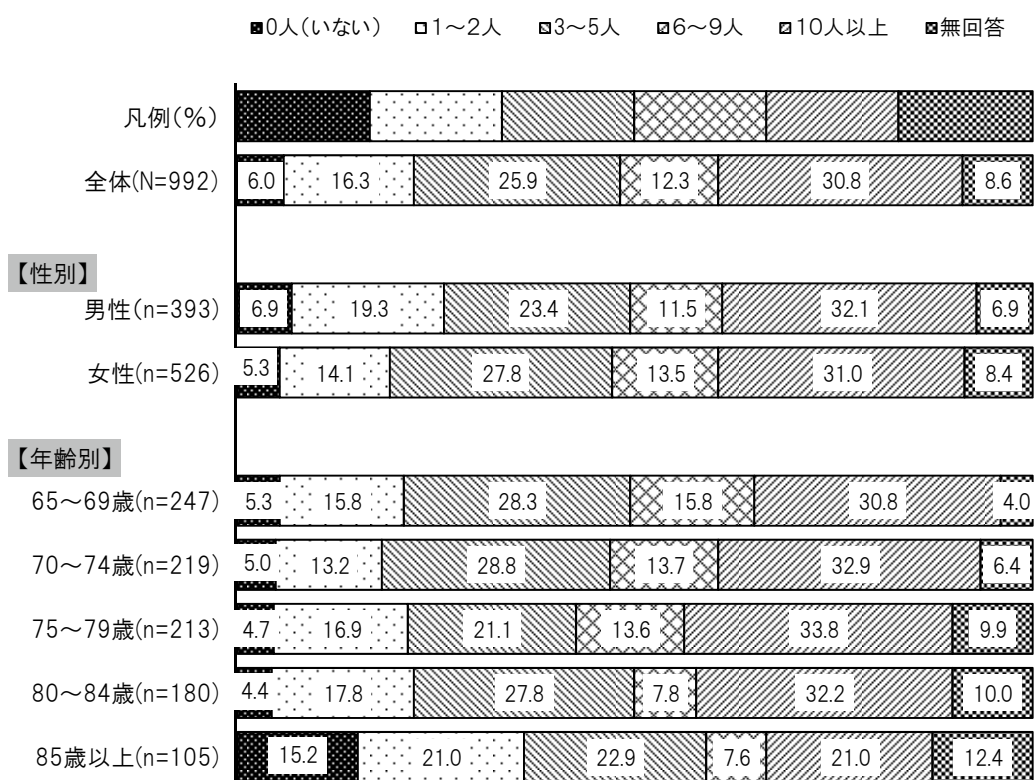


(2) 最近1ヶ月に会った友人・知人の数

最近1ヶ月に会った友人・知人の数は、「10人以上」が30.8%と最も多く、ついで「3～5人」が25.9%、「1～2人」が16.3%、「6～9人」が12.3%、「0人」が6.0%となっています。

性別では、男性は「1～2人」が19.3%と多くなり、女性は「3～5人」が27.8%と多くなっています。

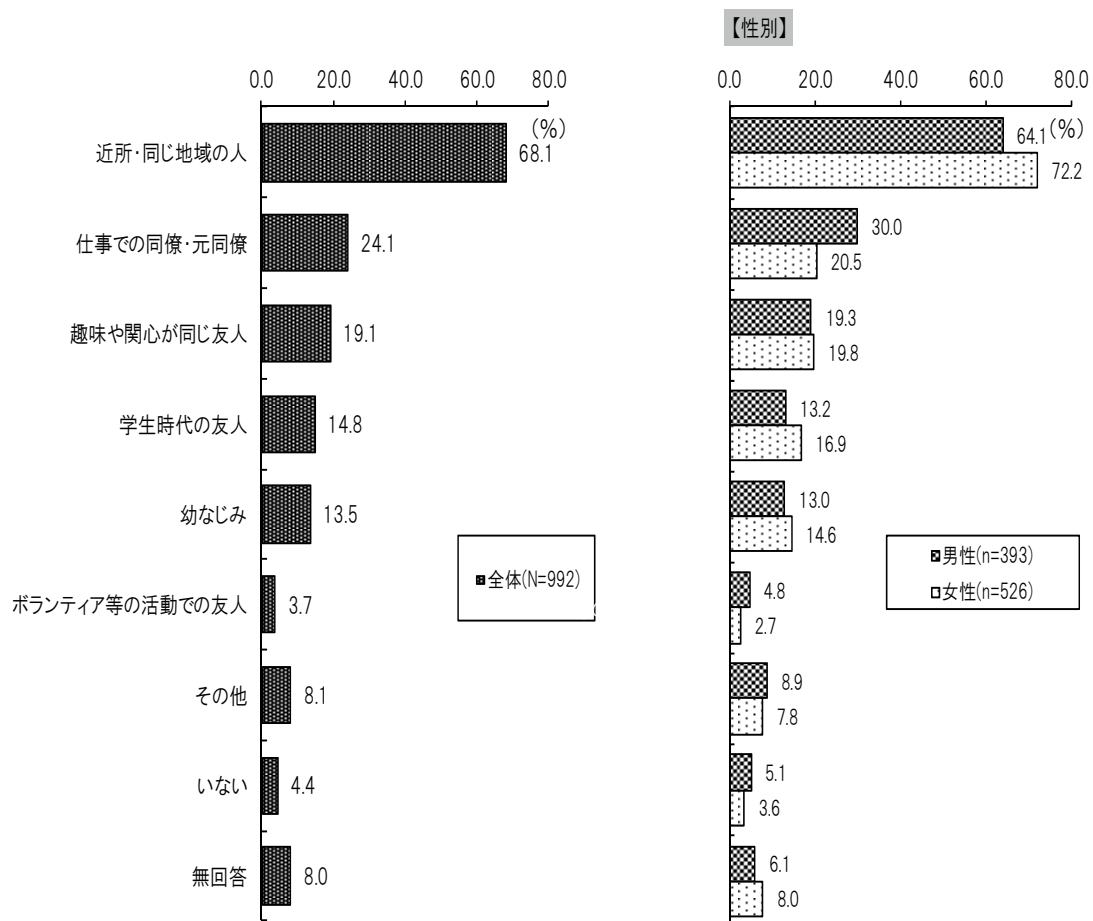
年齢別では、85歳以上は「1～2人」が21.0%、「0人」が15.2%で、合わせて『2人以下』が36.2%と年齢別の中では最近1ヶ月に会った友人・知人が最も少ない割合となっています。



(3) よく会う友人・知人について

よく会う友人・知人は、「近所・同じ地域の人」が 68.1%と最も多く、ついで「仕事での同僚・元同僚」が 24.1%、「趣味や関心が同じ友人」が 19.1%、「学生時代の友人」が 14.8%、「幼なじみ」が 13.5%となっています。

性別では、女性は「近所・同じ地域の人」、男性は「仕事での同僚・元同僚」がそれぞれ多くなっています。



年齢別では、65～69歳は「仕事での同僚・元同僚」が、70～74歳は「学生時代の友人」「幼なじみ」が、75～79歳は「趣味や関心が同じ友人」が、80～84歳は「近所・同じ地域の人」がそれぞれ最も多くなっています。

(%)

区分		よく会う友人・知人							
		の近所・同じ地域	元仕事での同僚・	じ趣味や関心が同	学生時代の友人	幼なじみ	のボランティア友人等	その他	いない
全体(N=992)		68.1	24.1	19.1	14.8	13.5	3.7	8.1	4.4
性別	男性(n=393)	64.1	30.0	19.3	13.2	13.0	4.8	8.9	5.1
	女性(n=526)	72.2	20.5	19.8	16.9	14.6	2.7	7.8	3.6
年齢別	65～69歳(n=247)	64.0	39.7	22.3	17.0	15.0	4.9	9.3	3.2
	70～74歳(n=219)	67.1	28.3	21.9	21.0	16.0	6.4	6.8	3.7
	75～79歳(n=213)	68.5	20.7	22.5	14.1	8.9	2.3	9.4	3.8
	80～84歳(n=180)	76.7	14.4	15.6	11.1	14.4	2.8	8.9	2.8
	85歳以上(n=105)	65.7	3.8	8.6	6.7	13.3	1.0	4.8	11.4

【9】健康状態

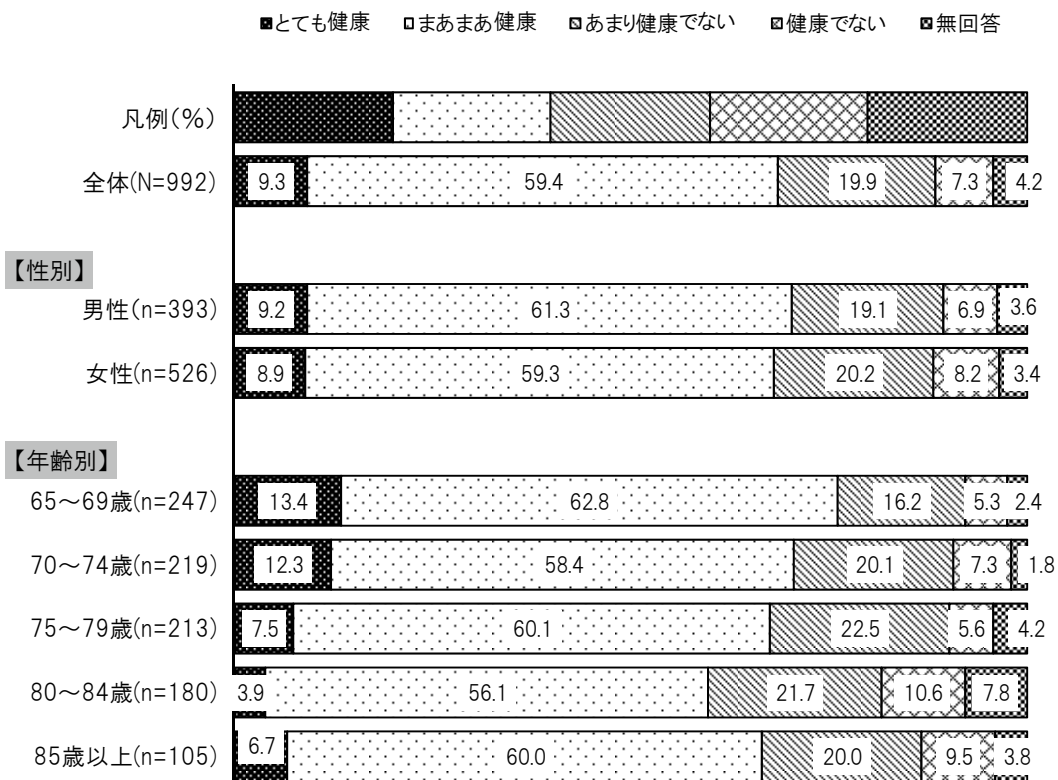
1. 健康状態について

Q 1 普段、ご自分で健康だと思いますか

健康状態は、「とても健康」の9.3%と「まあまあ健康」の59.4%を合わせた68.7%が『健康』と答え、一方、「健康でない」の7.3%と「あまり健康でない」の19.9%を合わせると、27.2%が『健康でない』と回答しています。

性別では、男女ともほぼ同じ分布でほとんど差はみられません。

年齢別では、85歳以上でやや少なくなるものの、年齢が上がるほど『健康でない』が多くなっています。

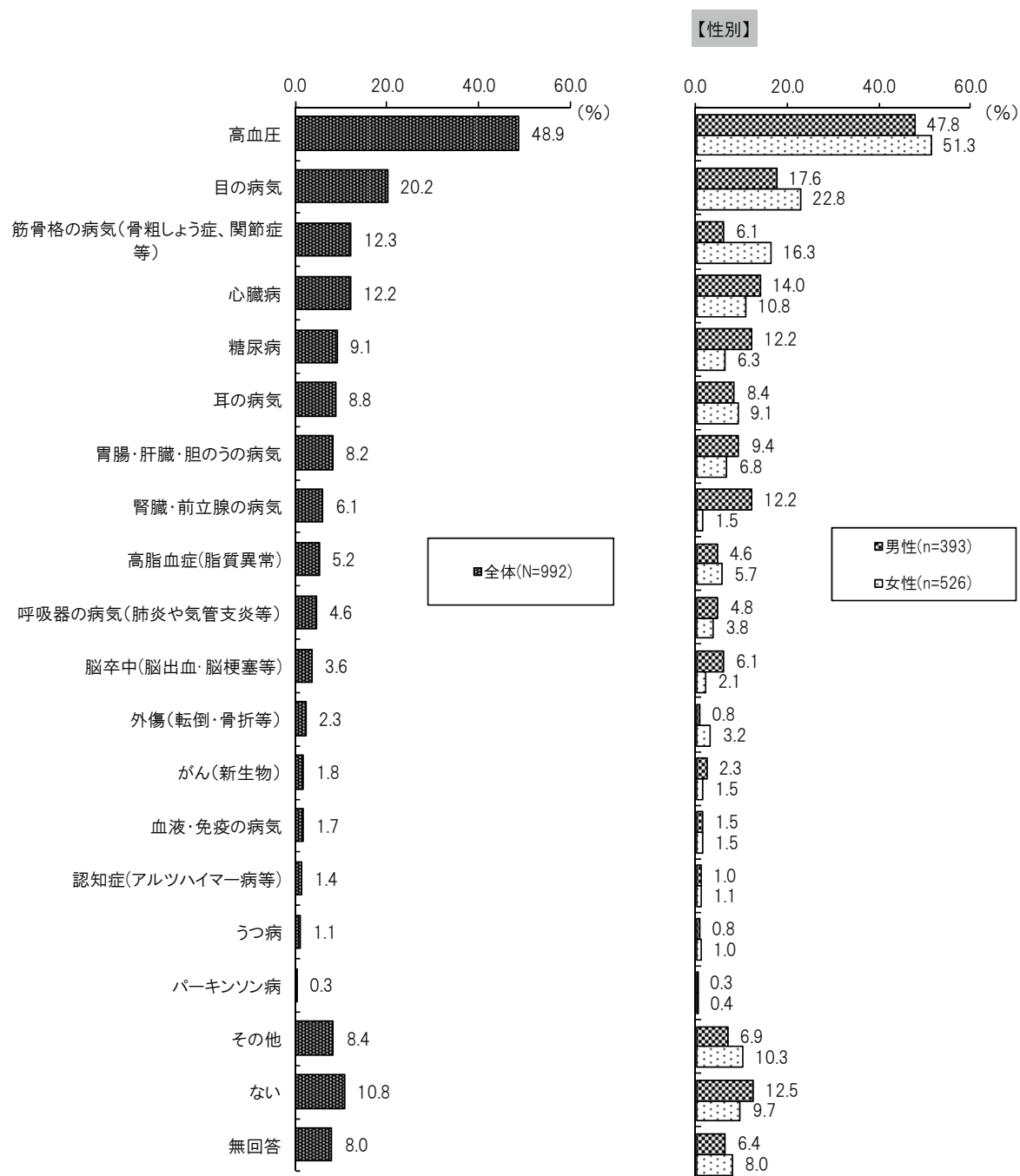


2. 治療中・後遺症のある病気

Q2 現在治療中，または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

現在治療中または、または後遺症のある病気としては、「高血圧」が48.9%で最も多く、ついで「目の病気」が20.2%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が12.3%、「心臓病」が12.2%、「糖尿病」が9.1%、「耳の病気」が8.8%となっています。

性別では、女性は「目の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が男性に比べて多く、男性は「糖尿病」「腎臓・前立腺の病気」が女性に比べて多くなっています。



年齢別では、「目の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症・関節症等）」「心臓病」「耳の病気」は年齢が上がるほど多くなっています。75～79歳は「高血圧」が多くみられます。

区分		高血圧	目の病気	症（筋骨格の病気、関節症等）	心臓病	糖尿病	耳の病気	の胃腸の病気・肝臓・胆	病腎臓・前立腺の	異常（高脂血症（脂質	炎（呼吸器の病気や気管支
全体(N=992)		48.9	20.2	12.3	12.2	9.1	8.8	8.2	6.1	5.2	4.6
性別	男性(n=393)	47.8	17.6	6.1	14.0	12.2	8.4	9.4	12.2	4.6	4.8
	女性(n=526)	51.3	22.8	16.3	10.8	6.3	9.1	6.8	1.5	5.7	3.8
年齢別	65～69歳(n=247)	44.9	15.8	5.7	8.1	11.7	5.3	5.3	3.2	7.3	4.0
	70～74歳(n=219)	51.6	16.9	11.0	7.3	7.8	5.5	10.0	7.8	7.8	4.6
	75～79歳(n=213)	54.5	21.1	12.2	14.6	8.9	8.9	8.0	4.7	3.8	3.8
	80～84歳(n=180)	45.0	23.9	17.8	17.8	8.3	11.7	8.9	8.9	2.8	4.4
	85歳以上(n=105)	51.4	28.6	18.1	18.1	6.7	19.0	8.6	8.6	1.9	7.6

区分		血脳卒中（脳梗塞等）	折外等傷（転倒・骨	がん（新生物）	気血液・免疫の病	ハ認イ知マ（アルツ	うつ病	パーキンソン病	その他	ない
全体(N=992)		3.6	2.3	1.8	1.7	1.4	1.1	0.3	8.4	10.8
性別	男性(n=393)	6.1	0.8	2.3	1.5	1.0	0.8	0.3	6.9	12.5
	女性(n=526)	2.1	3.2	1.5	1.5	1.1	1.0	0.4	10.3	9.7
年齢別	65～69歳(n=247)	2.0	2.4	2.4	1.6	0.8	1.6	0.8	6.1	19.0
	70～74歳(n=219)	4.1	2.7	0.9	0.9	0.9	0.9	0.0	10.5	11.9
	75～79歳(n=213)	5.2	0.9	1.9	1.4	0.5	0.5	0.0	11.3	6.6
	80～84歳(n=180)	3.3	2.2	2.8	2.8	2.2	0.0	0.0	6.1	8.3
	85歳以上(n=105)	4.8	1.9	1.0	2.9	2.9	1.9	1.0	8.6	3.8

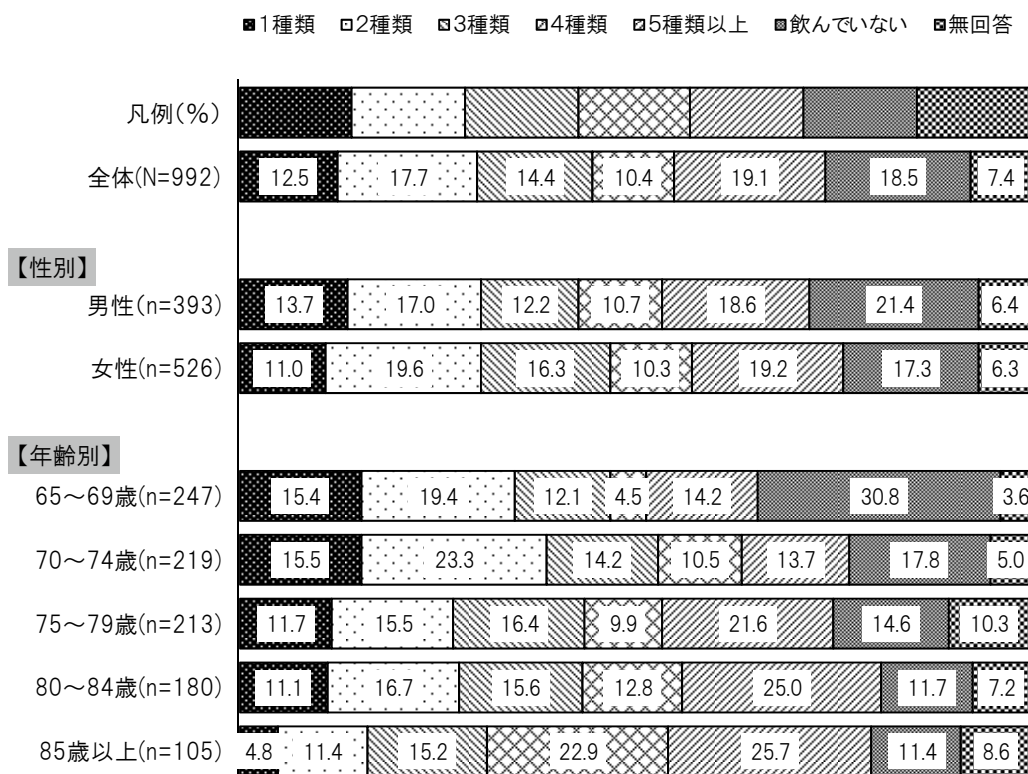
3. 薬の種類

Q3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいきますか

医師が処方した薬の服用状況は、「5種類以上」が19.1%、「2種類」が17.7%、「3種類」が14.4%、「1種類」が12.5%、「4種類」が10.4%、「飲んでいない」が18.5%となっています。服用の割合は74.1%となります。

性別では、男性の服用割合が72.2%に対して、女性は76.4%と女性がやや多くなっています。

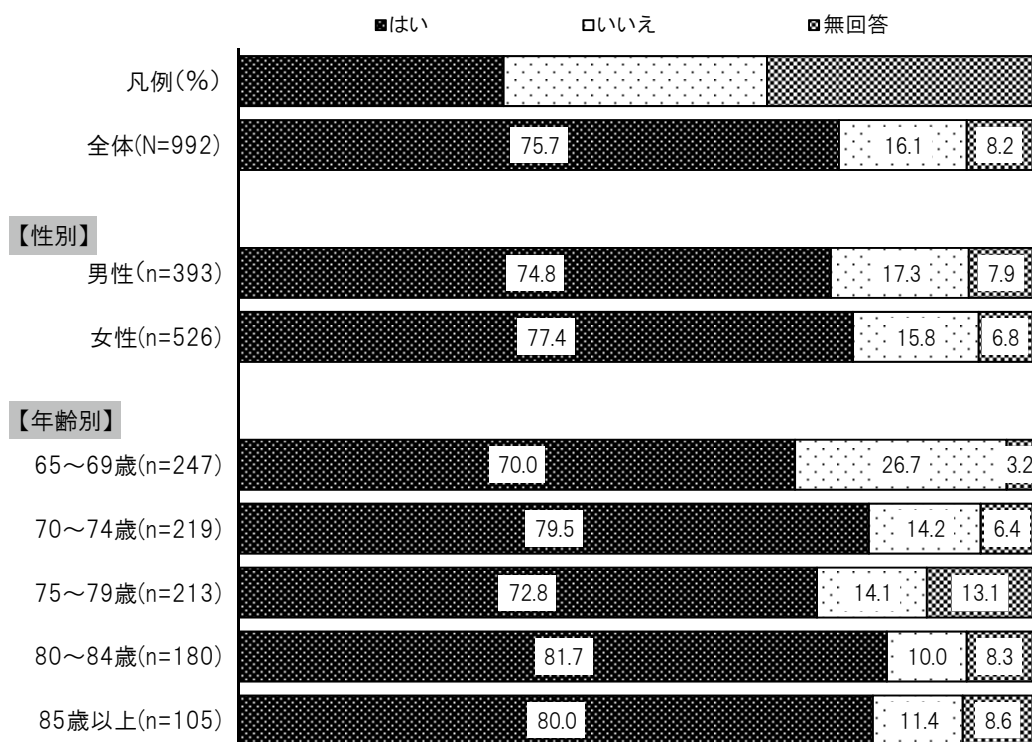
年齢別では、年齢が上がるほど、「5種類以上」が多くなり、服用割合も高くなっています。



4. 通院の有無

Q 4 現在、病院・医院（診療所，クリニック）に通院していますか

現在の通院状況は、「はい（通院している）」が75.7%と多数を占めています。
性別では、ほぼ同じ「はい」の割合となっています。
年齢別では、70～74歳と85歳以上で「はい」の割合が多くなっています。



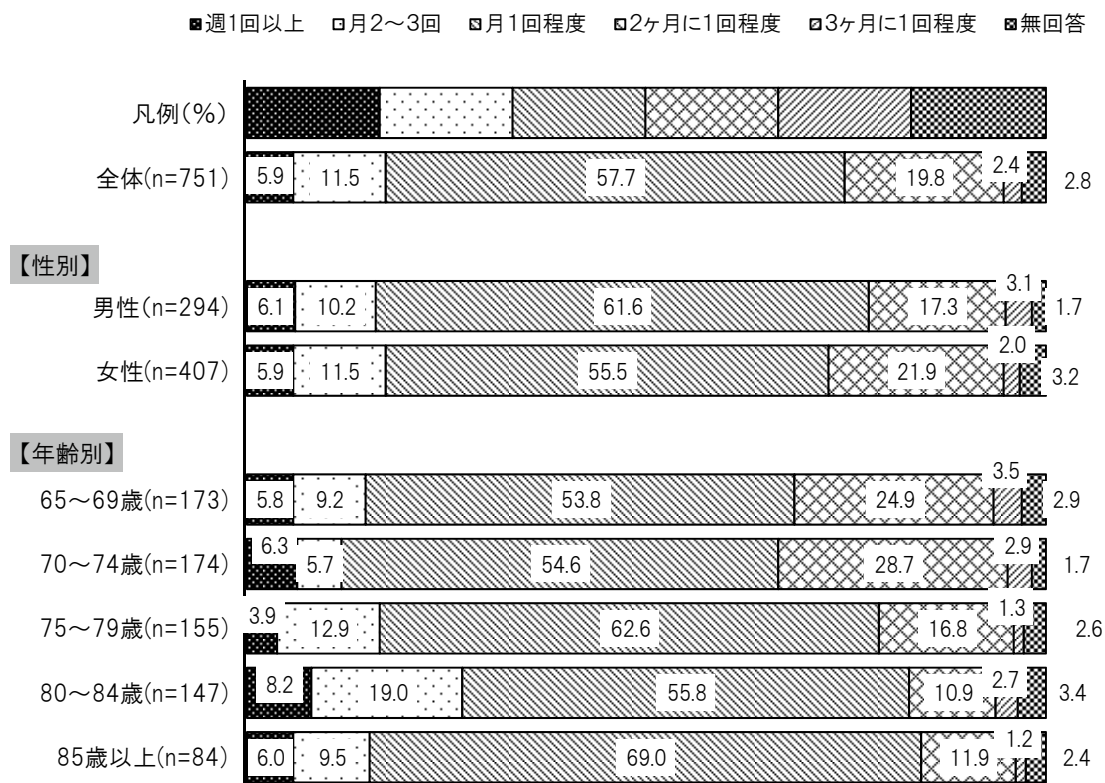
5. 通院頻度

Q4-1 (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか。

通院頻度は、「月1回程度」が57.7%と最も多く、「2ヶ月に1回程度」が19.8%、「月2～3回」が11.5%、「週1回以上」が5.9%、「3ヶ月に1回程度」が2.4%となっています。

性別では、男性は「月1回程度」が女性に比べて多く、女性は「2ヶ月に1回程度」が男性に比べてやや多くなっています。

年齢別では、80～84歳が「週1回以上」と「月2～3回」が他の年齢に比べて多くなっています。



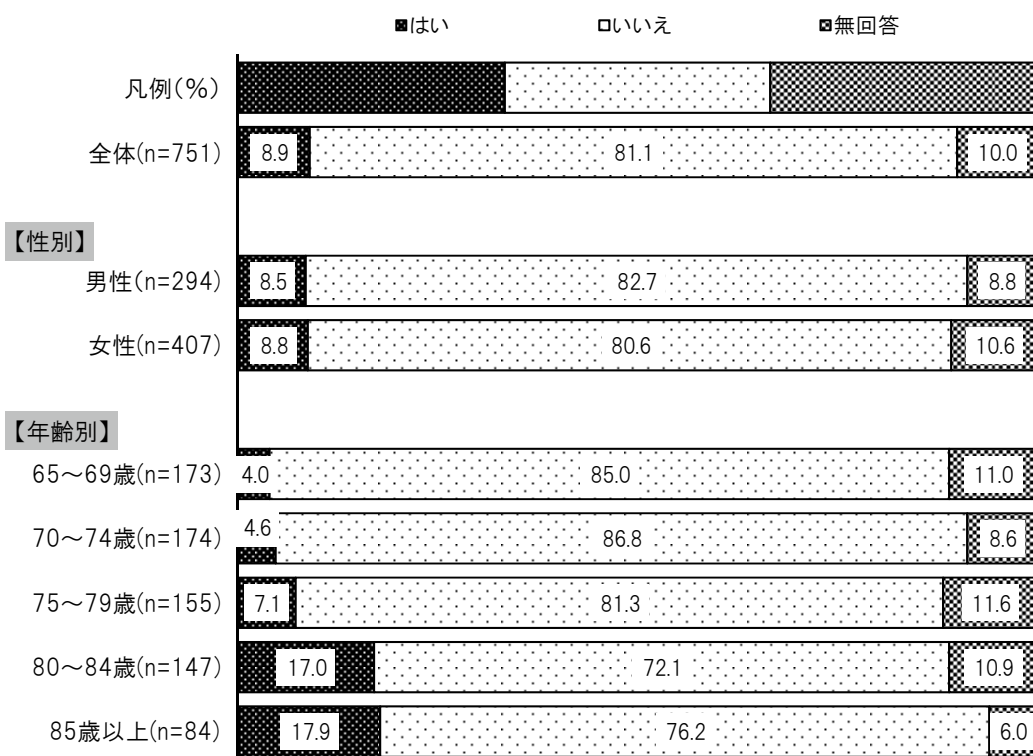
6. 通院時の介助の必要性

Q 4 - 2 (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか

通院時の介助の必要性は、「いいえ (介助が必要でない)」が 81.1% と多く、「はい (介助が必要)」は 8.9% と少数に止まっています。

性別では、ほぼ同じ割合で男女間に差はみられません。

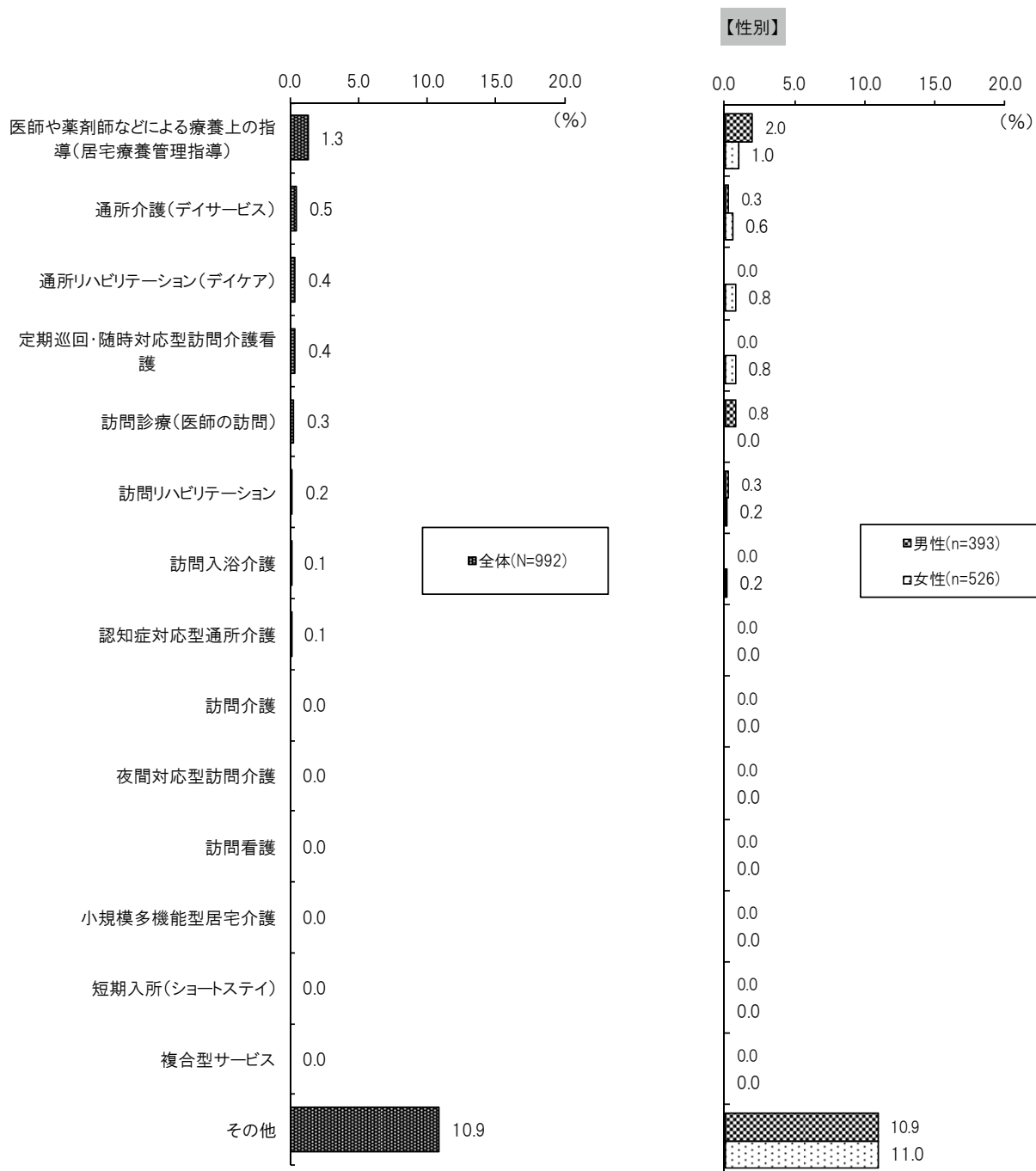
年齢別では、年齢が上がるほど、「はい」が多くなっています。



7. 在宅サービスの利用状況

Q5 以下の在宅サービスを利用していますか（いくつでも）

在宅サービスの利用状況は、どのサービスもほとんど利用されておらず、「医師や薬剤師などによる療養上の指導（居宅療養管理指導）」の1.3%が最も多く利用されています。



(%)

区分		利用している 在宅サービス	医師や薬剤師などによる療 養上の指導（居宅療養管理 指導）	通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション （デイケア）	定期巡回・随時対応型訪問 介護看護	訪問診療（医師の訪問）	訪問リハビリテーション	訪問入浴介護	認知症対応型通所介護	訪問介護	夜間対応型訪問介護
性別	男性(n=393)		2.0	0.3	0.0	0.0	0.8	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性(n=526)		1.0	0.6	0.8	0.8	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳(n=247)		2.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(n=219)		0.9	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	75～79歳(n=213)		0.9	0.0	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80～84歳(n=180)		2.2	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0
	85歳以上(n=105)		0.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

区分		利用している 在宅サービス	訪問看護	小規模多機能型居宅介護	イ短期入所（ショートステ）	複合型サービス	その他
性別	男性(n=393)		0.0	0.0	0.0	0.0	10.9
	女性(n=526)		0.0	0.0	0.0	0.0	11.0
年齢別	65～69歳(n=247)		0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
	70～74歳(n=219)		0.0	0.0	0.0	0.0	8.2
	75～79歳(n=213)		0.0	0.0	0.0	0.0	10.3
	80～84歳(n=180)		0.0	0.0	0.0	0.0	14.4
	85歳以上(n=105)		0.0	0.0	0.0	0.0	9.5

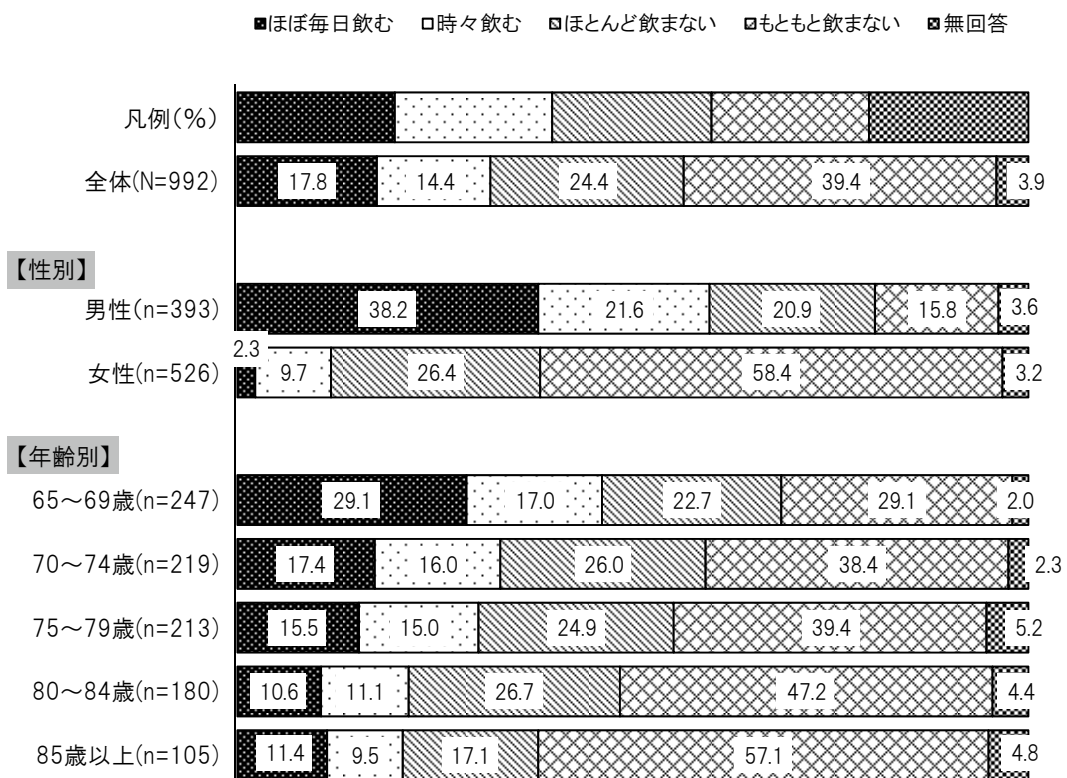
8. 飲酒の程度

Q6 お酒は飲みますか

飲酒の程度は、「もともと飲まない」が39.4%と最も多く、「ほとんど飲まない」が24.4%と続いています。一方、「ほぼ毎日飲む」は17.8%、「時々飲む」が14.4%で『飲酒』割合は32.2%となります。

性別では、男性は「ほぼ毎日飲む」が38.2%と多く『飲酒』割合は59.8%となっています。女性は「もともと飲まない」が58.4%、「ほとんど飲まない」が26.4%と『飲まない』が84.8%と多数を占めています。

年齢別では、年齢が上がるほど「もともと飲まない」が多くなり、『飲酒』割合が少なくなっています。



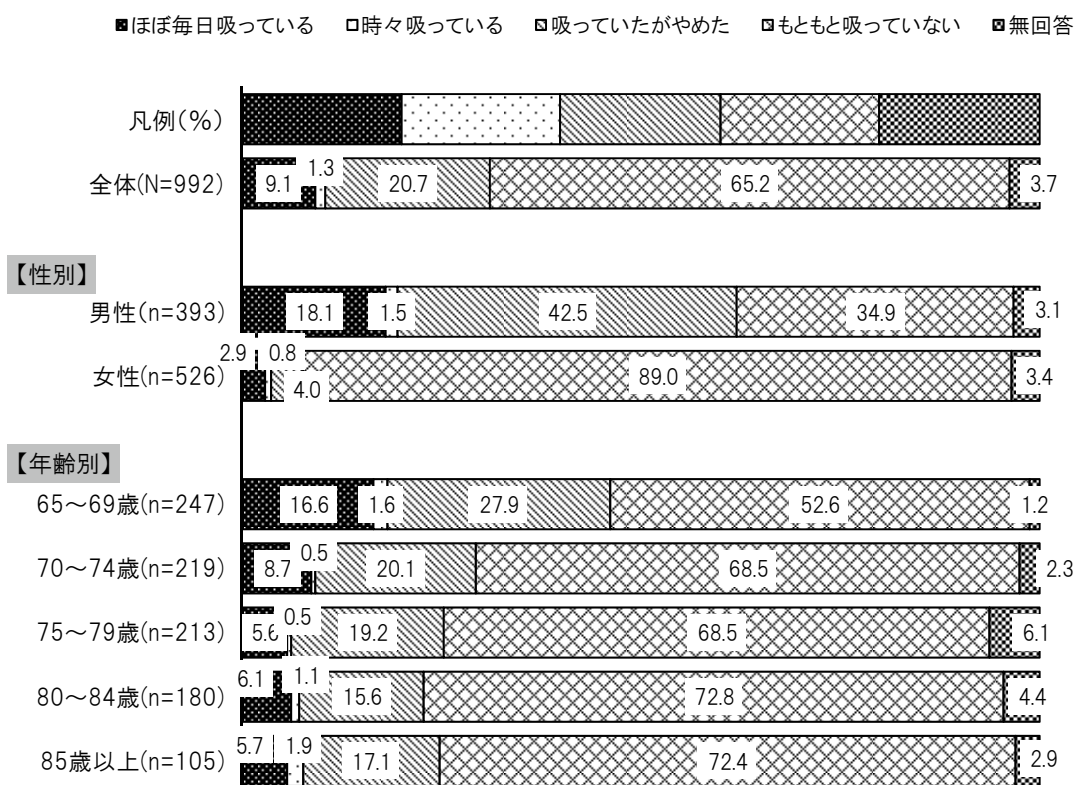
9. 喫煙状況

Q7 タバコは吸っていますか

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が65.2%と最も多く、「吸っていたがやめた」が20.7%です。「ほぼ毎日吸っている」が9.1%、「時々吸っている」が1.3%で、合わせると、喫煙率は10.4%となっています。

性別では、男性の喫煙率は19.6%、女性は3.7%となっています。男性では「吸っていたがやめた」が42.5%と多くなり、女性では「もともと吸っていない」が89.0%と多数を占めています。

年齢別では、65～69歳の喫煙が18.2%と最も多くなっています。



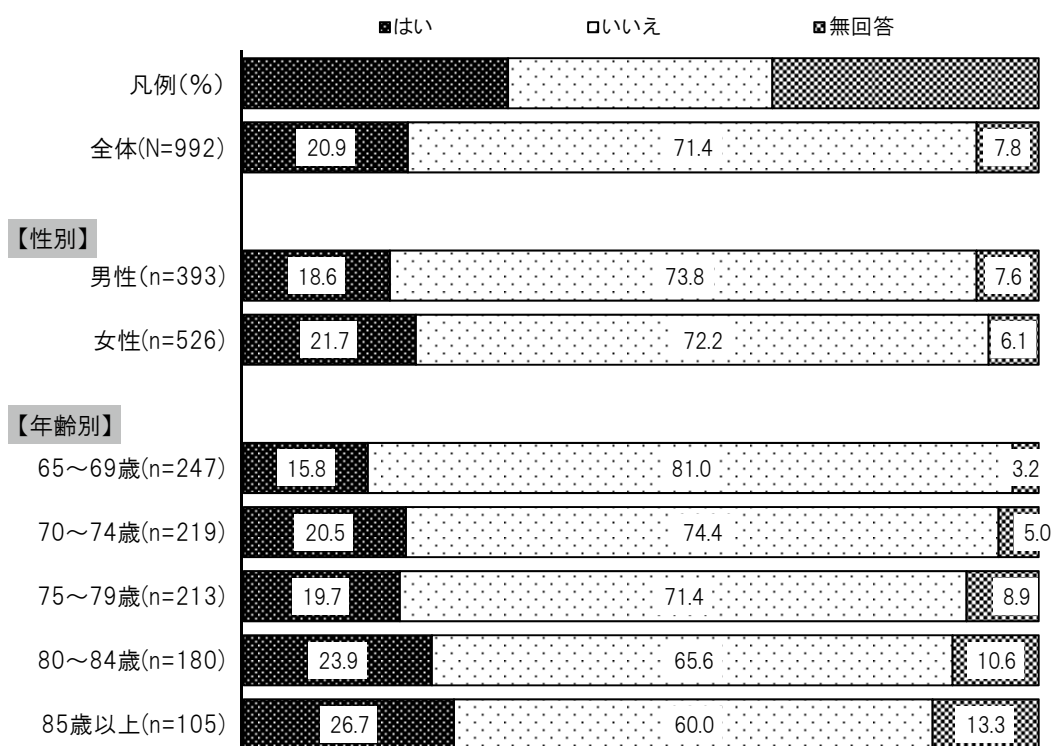
9. 毎日の生活の充実感の有無

Q 8 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない

毎日の生活の充実感の有無については、「はい(充実感がない)」が20.9%、「いいえ(充実感がある)」が71.4%と多くなっています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」が多くなる傾向がみられます。



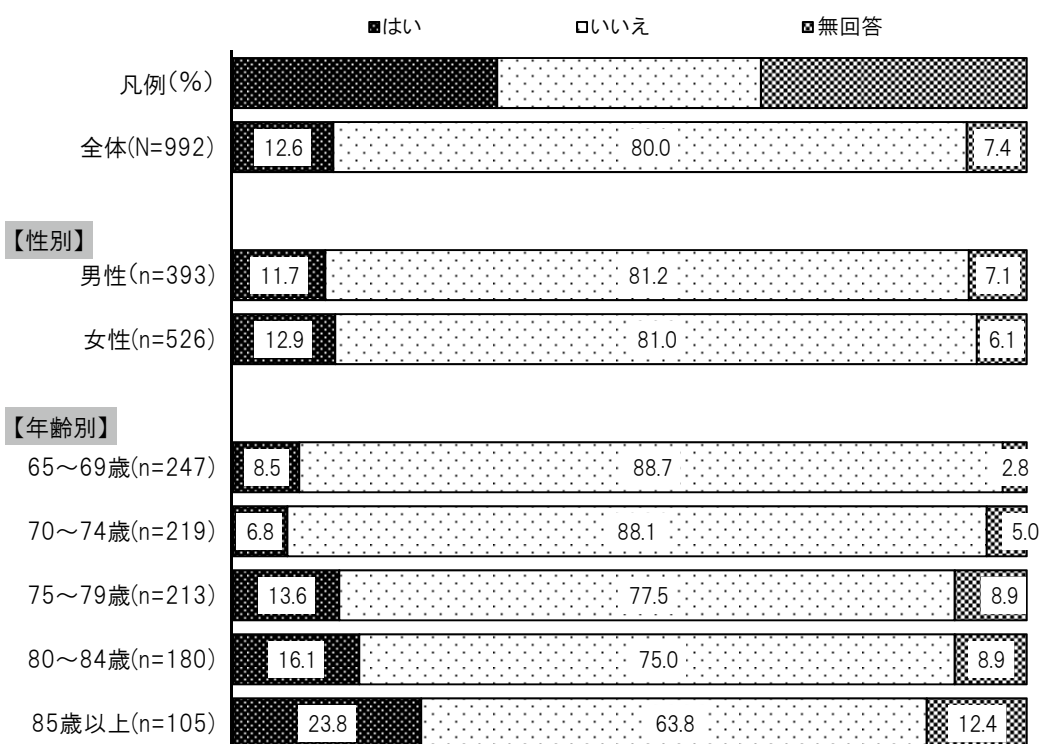
10. 楽しんでやれていたことが楽しめなくなったことについて

Q9 (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったことについては、「はい (楽しめなくなった)」が12.6%、「いいえ (楽しめる)」が80.0%となっています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」が多くなっています。



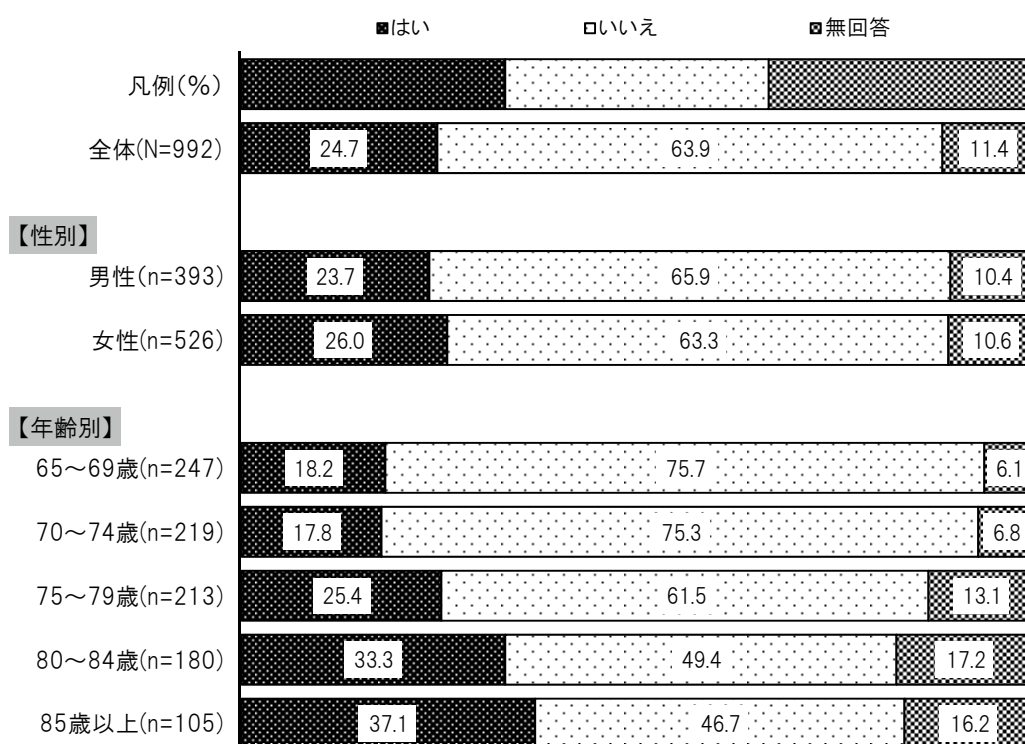
11. 以前よりおっくうに感じられることについて

Q10 (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる

以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられることについては、「はい (おっくうに感じられる)」が24.7%、「いいえ (おっくうに感じない)」が63.9%と6割以上となっています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」が多くなっています。



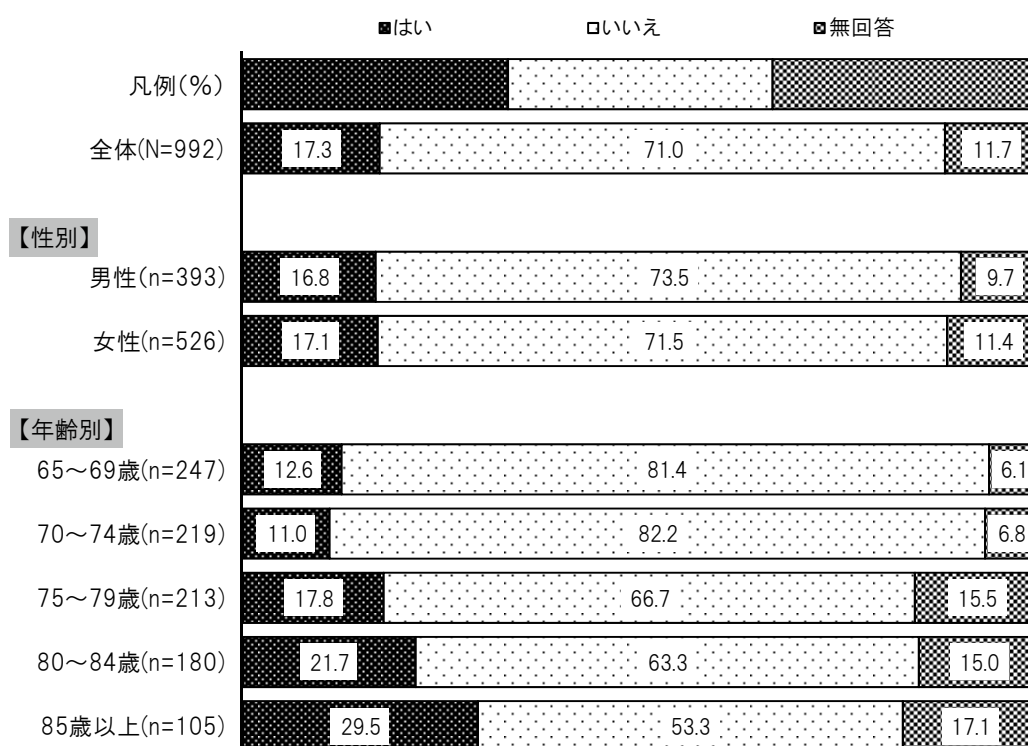
12. 自分が役に立つ人間だと思えないことについて

Q11 (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない

自分が役に立つ人間だと思えないことについては、「はい(役立つとは思えない)」が17.3%、「いいえ(役立つと思える)」が71.0%と多くなっています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」が多くなっています。



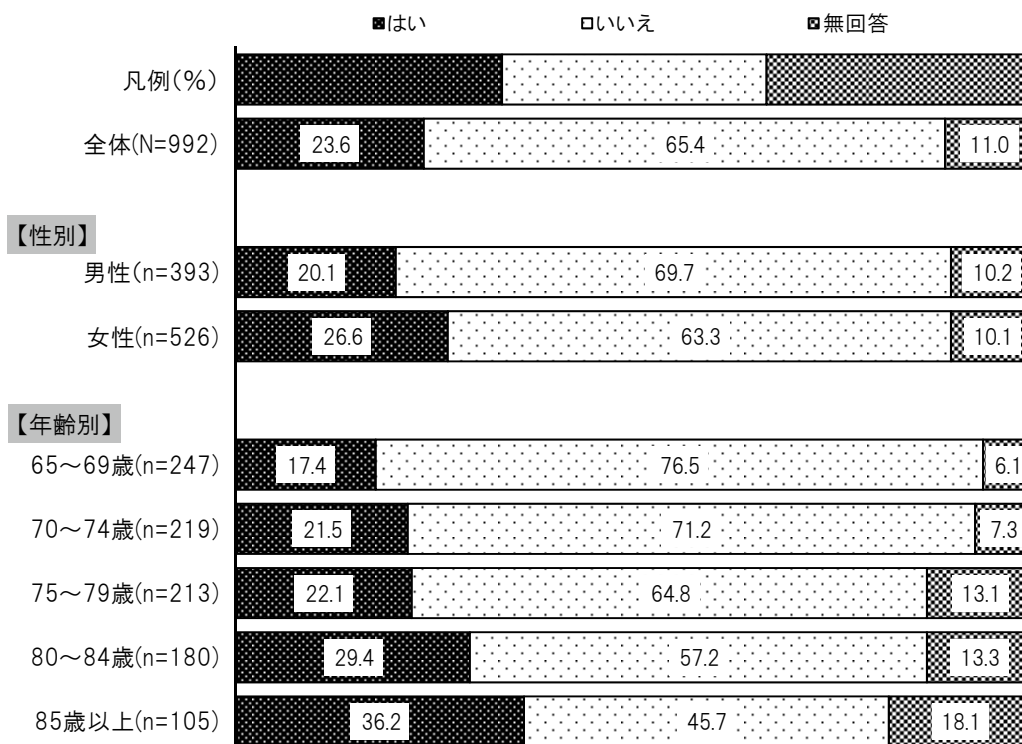
13. わけもなく疲れたような感じがすることについて

Q12 (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする

わけもなく疲れたような感じがすることについては、「はい(疲れた感じがする)」が23.6%で、「いいえ(疲れた感じがしない)」が65.4%と多くなっています。

性別では、男性に比べて女性が「はい」が多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「はい」が多くなっています。



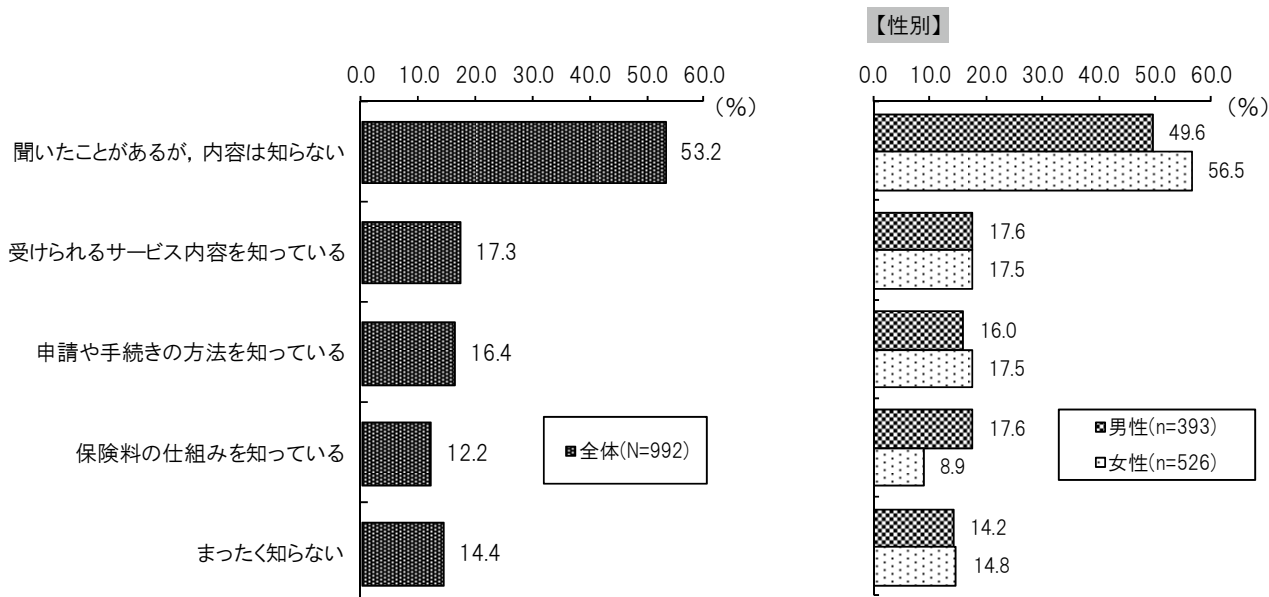
【10】介護保険制度、高齢者福祉

1. 介護保険制度の認知状況

Q1 あなたは介護保険制度についてどの程度知っていますか（いくつでも）

介護保険制度の認知状況は、「聞いたことがあるが、内容は知らない」が53.2%と半数を超えて最も多く、「受けられるサービス内容を知っている」が17.3%、「申請や手続きの方法を知っている」が16.4%、「保険料の仕組みを知っている」が12.2%、「まったく知らない」が14.4%となっています。

性別では、男性は「保険料の仕組みを知っている」が女性に比べて多く、女性は「聞いたことがあるが、内容は知らない」が男性に比べて多くなっています。



年齢別では、70～74歳は「受けられるサービス内容を知っている」「申請や手続きの方法を知っている」「保険料の仕組みを知っている」について、他の年齢に比べて高い認知がみられます。85歳以上は「まったく知らない」が22.9%と多くなっています。

(%)

区分		介護保険制度についての認知				
		い が 聞 、 い た 内 容 こ は と 知 ら あ ら な い	る ス 受 内 容 を 知 る サ ー ビ ス	法 申 を 請 や 知 っ 手 続 き の 方	知 保 っ て 料 の 仕 組 み を	ま っ た く 知 ら な い
全体(N=992)		53.2	17.3	16.4	12.2	14.4
性別	男性(n=393)	49.6	17.6	16.0	17.6	14.2
	女性(n=526)	56.5	17.5	17.5	8.9	14.8
年齢別	65～69歳(n=247)	53.0	18.6	15.0	16.6	14.2
	70～74歳(n=219)	45.7	22.4	25.6	17.8	15.1
	75～79歳(n=213)	57.3	15.5	18.8	9.4	10.3
	80～84歳(n=180)	58.3	13.9	11.1	7.2	14.4
	85歳以上(n=105)	54.3	14.3	7.6	6.7	22.9

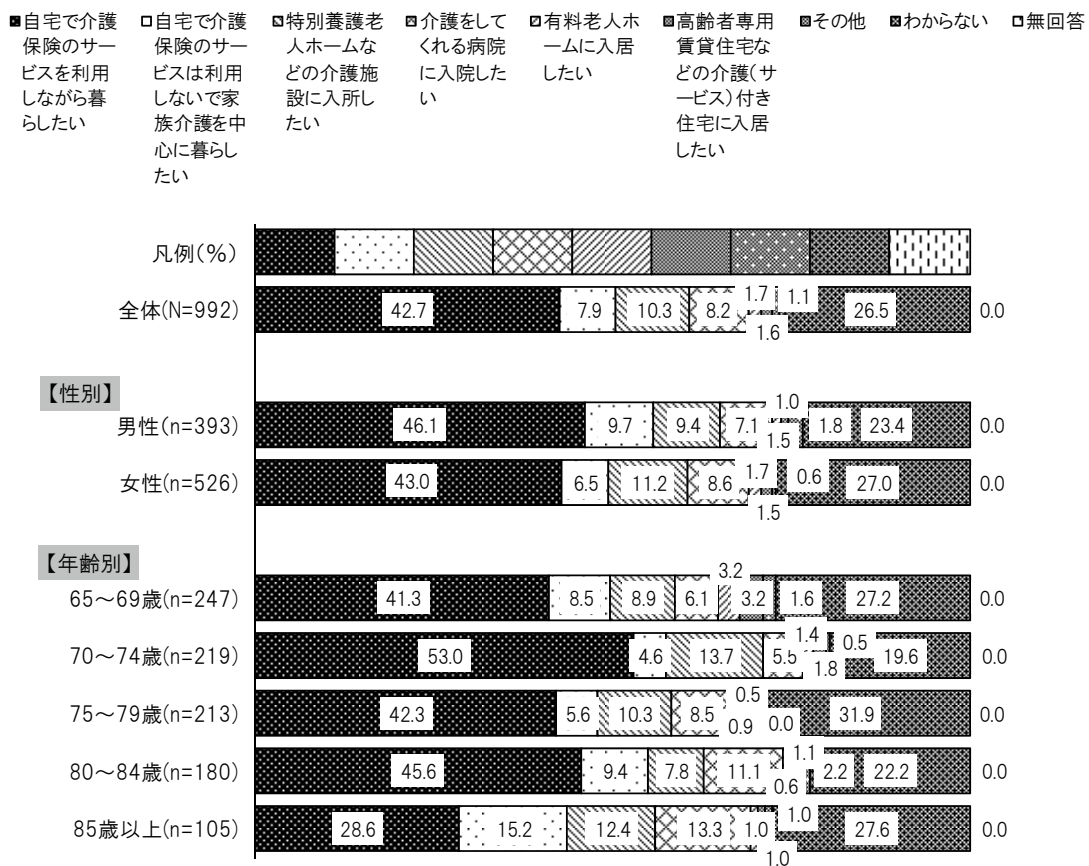
2. 介護が必要になった場合の対応について

Q2 あなたが日常生活をおくる上で介護が必要になった場合、どのようにしたいと思いますか（1つに○）

日常生活をおくる上で介護が必要になった場合、「自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」が42.7%で最も多く、ついで「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所したい」が10.3%、「介護をしてくれる病院に入院したい」が8.2%、「自宅で介護保険のサービスは利用しないで家族介護を中心に暮らしたい」が7.9%となっています。

性別では、男性は女性に比べ「自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」「自宅で介護保険のサービスは利用しないで家族介護を中心に暮らしたい」と『自宅での介護』で暮らしたいが多くみられ、女性は「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所したい」「介護をしてくれる病院に入院したい」など『施設での介護』で暮らしたいが男性に比べてやや多い傾向がみられます。

年齢別では、70～74歳は「自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」が53.0%で最も多くなっています。85歳以上は「自宅で介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」は28.6%と少なくなり、「自宅で介護保険のサービスは利用しないで家族介護を中心に暮らしたい」「特別養護老人ホームなどの介護施設に入所したい」「介護をしてくれる病院に入院したい」が他の年齢に比べて多くなっています。



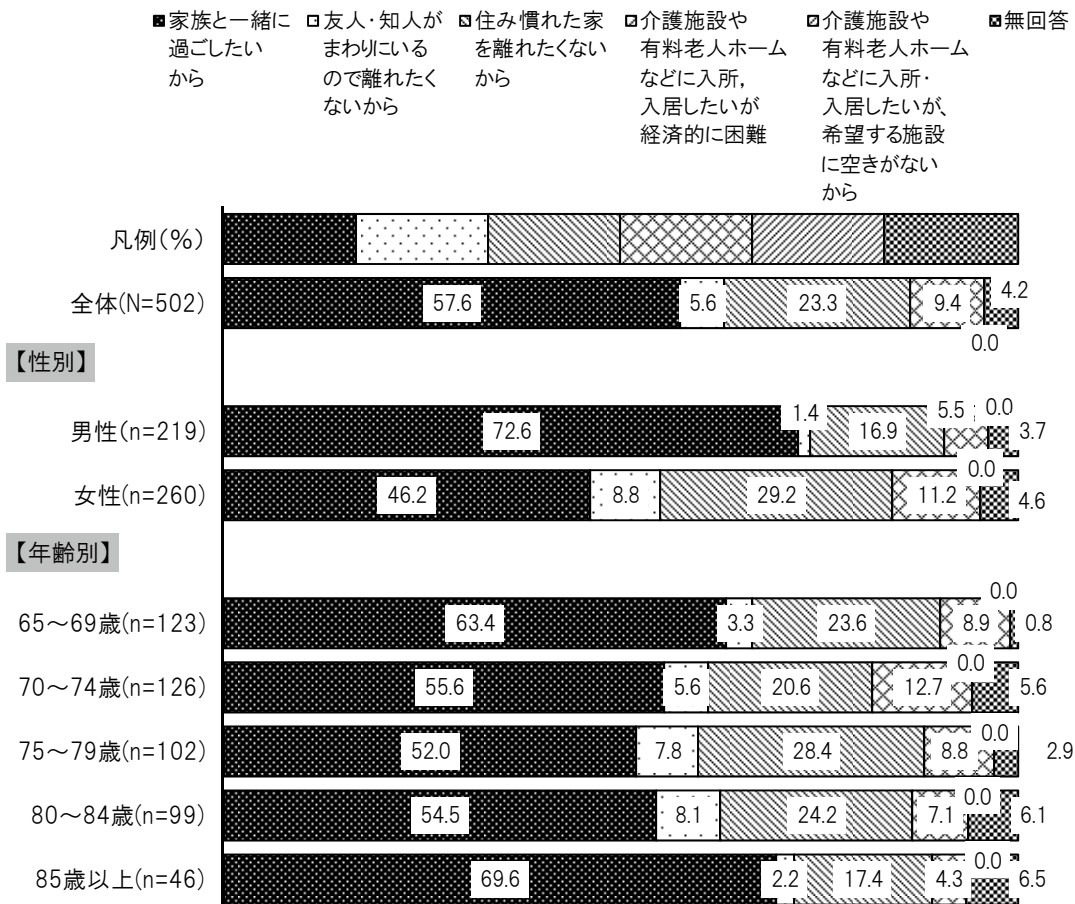
3. 在宅で介護を受けたい理由

Q2-1 Q2で「1～2」に○を付けた方にお尋ねします。「在宅で介護を受けたい」と思う理由は何ですか（1つに○）

在宅で介護を受けたい理由では、「家族と一緒に過ごしたいから」が57.6%で最も多く、ついで「住み慣れた家を離れたくないから」が23.3%、「介護施設や有料老人ホームなどに入所、入居したいが、経済的に困難」が9.4%、「友人・知人がまわりにいるので離れたくないから」が5.6%となっています。

性別では、男性は「家族と一緒に過ごしたいから」が72.6%と多く、女性は「住み慣れた家を離れたくないから」「友人・知人がまわりにいるので離れたくないから」が男性に比べて多くみられます。

年齢別では、85歳以上は「家族と一緒に過ごしたいから」が69.6%と他の年齢に比べて多くみられます。



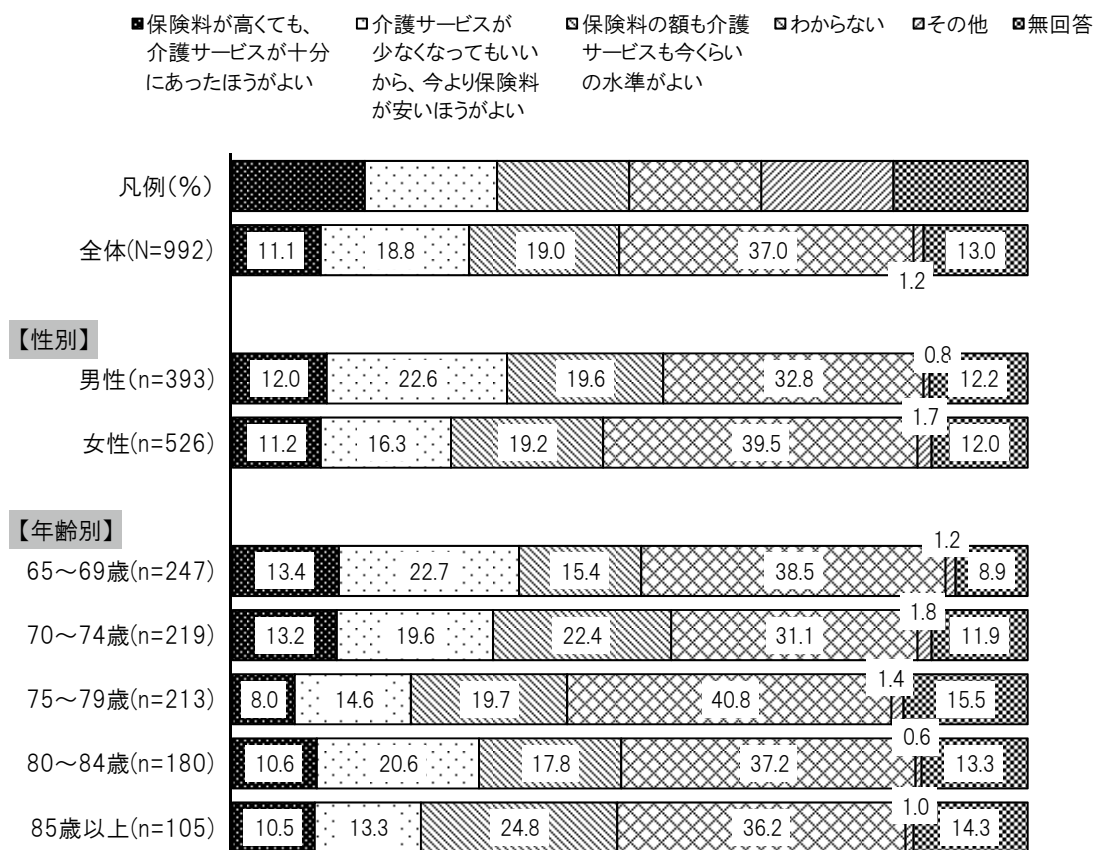
4. 介護保険の保険料について

Q 3 介護保険の保険料についてどのようにお考えですか（1つに○）

介護保険の保険料については、「わからない」が37.0%と多く、「保険料の額も介護サービスも今くらいの水準がよい」が19.0%、「介護サービスが少なくなってもいいから、今より保険料が安いほうがよい」が18.8%、「保険料が高くて、介護サービスが十分にあったほうがよい」が11.1%となっています。

性別では、男性は女性に比べて「介護サービスが少なくなってもいいから、今より保険料が安いほうがよい」が多く、女性は「わからない」が男性より多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「介護サービスが少なくなってもいいから、今より保険料が安いほうがよい」が、85歳以上は「保険料の額も介護サービスも今くらいの水準がよい」がそれぞれ年齢別でやや多くみられる。75～79歳は「わからない」が40.8%と最も多くなっています。

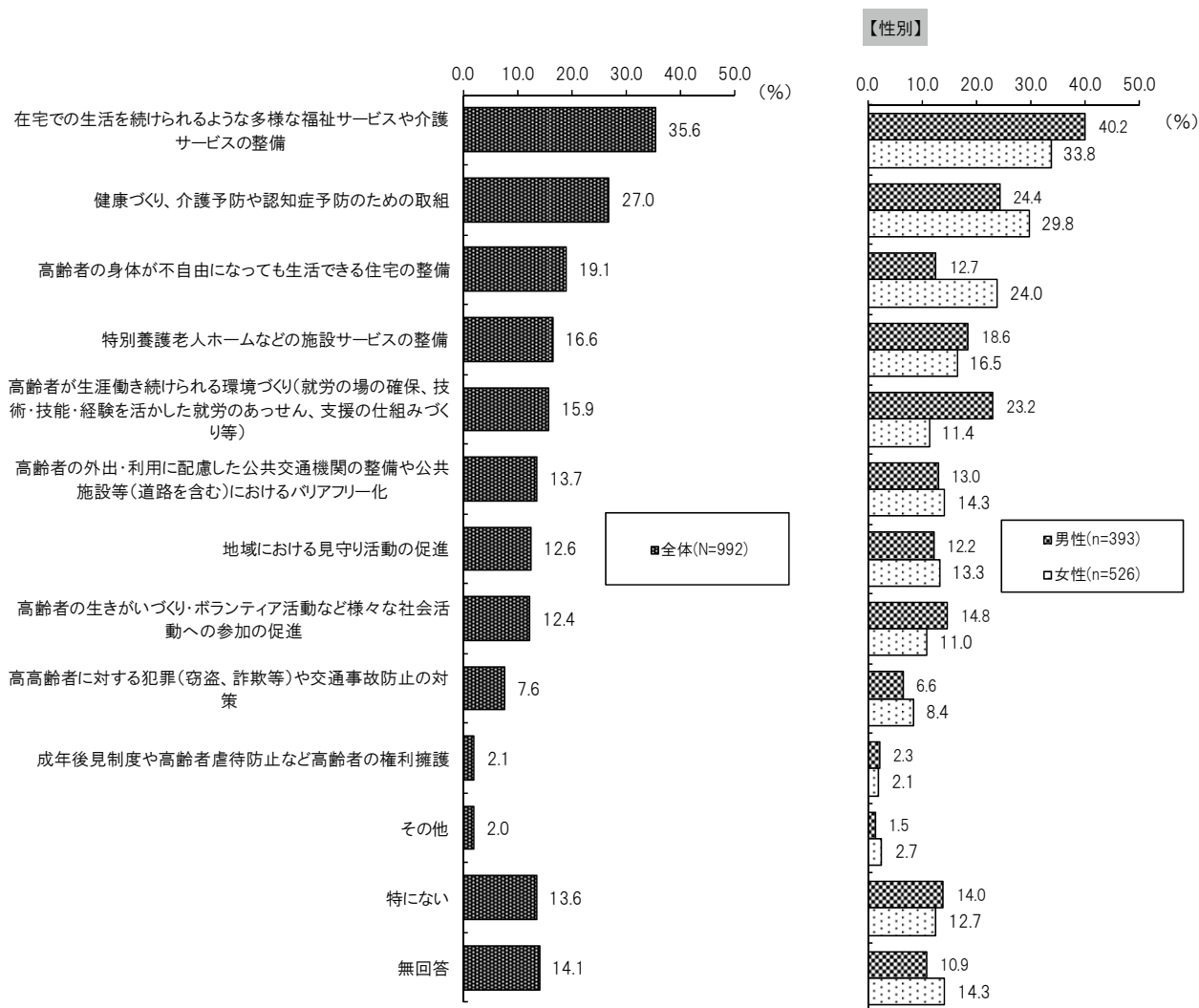


5. 平戸市の高齢者福祉施策で力を入れるべきものについて

Q4 平戸市の高齢者福祉施策（介護保険サービス以外）について、今後どんな点に力を入れるべきだと思いますか（3つまでに○）

市の高齢者福祉施設（介護保険サービス以外）について力を入れるべき点としては、「在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備」が35.6%で最も多く、ついで「健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組」が27.0%、「高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備」が19.1%、「特別養護老人ホームなどの施設サービスの整備」が16.6%、「高齢者が生涯働き続けられる環境づくり」が15.9%と続いています。

性別では、男性では「在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備」「高齢者が生涯働き続けられる環境づくり」が女性に比べて多く、女性では「健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組」「高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備」が男性より多くみられます。



年齢別では、70～74歳は「在宅での生活を続けられるような多様な福祉サービスや介護サービスの整備」「高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備」が、75～79歳は「健康づくり、介護予防や認知症予防のための取組」が他の年齢に比べて多くなっています。「高齢者が生涯働き続けられる環境づくり」「高齢者の外出・利用に配慮した公共交通機関の整備や公共施設等におけるバリアフリー化」は若い年齢層ほど多い傾向がみられます。

平戸市の高齢者福祉施策で今後力を入れるべきもの		(%)							
		多様な福祉サービスを続けられるような	健康づくり、介護予防や認知症予防	高齢者の身体が不自由になっても生活できる住宅の整備	特別養護老人ホームなどの施設	技能・経験を活かした就労の機会づくり等	高齢者が生涯働き続けられる環境づくり	公共交通機関の整備や公共施設等	地域における見守り活動の促進
全体(N=992)		35.6	27.0	19.1	16.6	15.9	13.7	12.6	12.4
性別	男性(n=393)	40.2	24.4	12.7	18.6	23.2	13.0	12.2	14.8
	女性(n=526)	33.8	29.8	24.0	16.5	11.4	14.3	13.3	11.0
年齢別	65～69歳(n=247)	35.6	30.0	18.6	17.4	23.1	15.8	16.6	13.8
	70～74歳(n=219)	41.1	25.6	25.6	19.6	20.1	13.2	9.1	11.4
	75～79歳(n=213)	39.4	31.0	18.3	14.6	10.8	11.7	10.8	14.1
	80～84歳(n=180)	33.9	27.2	18.3	17.8	10.0	14.4	11.7	12.8
	85歳以上(n=105)	23.8	18.1	11.4	15.2	9.5	13.3	17.1	6.7

平戸市の高齢者福祉施策で今後力を入れるべきもの		(%)			
		高齢者や交通に対する犯罪の対策	高齢者の権利擁護	その他	特になし
全体(N=992)		7.6	2.1	2.0	13.6
性別	男性(n=393)	6.6	2.3	1.5	14.0
	女性(n=526)	8.4	2.1	2.7	12.7
年齢別	65～69歳(n=247)	7.3	2.8	1.2	14.6
	70～74歳(n=219)	9.1	1.8	1.8	11.0
	75～79歳(n=213)	4.2	1.4	1.9	8.5
	80～84歳(n=180)	7.8	3.3	3.3	13.9
	85歳以上(n=105)	10.5	1.0	2.9	24.8

【11】安全状況、介護予防

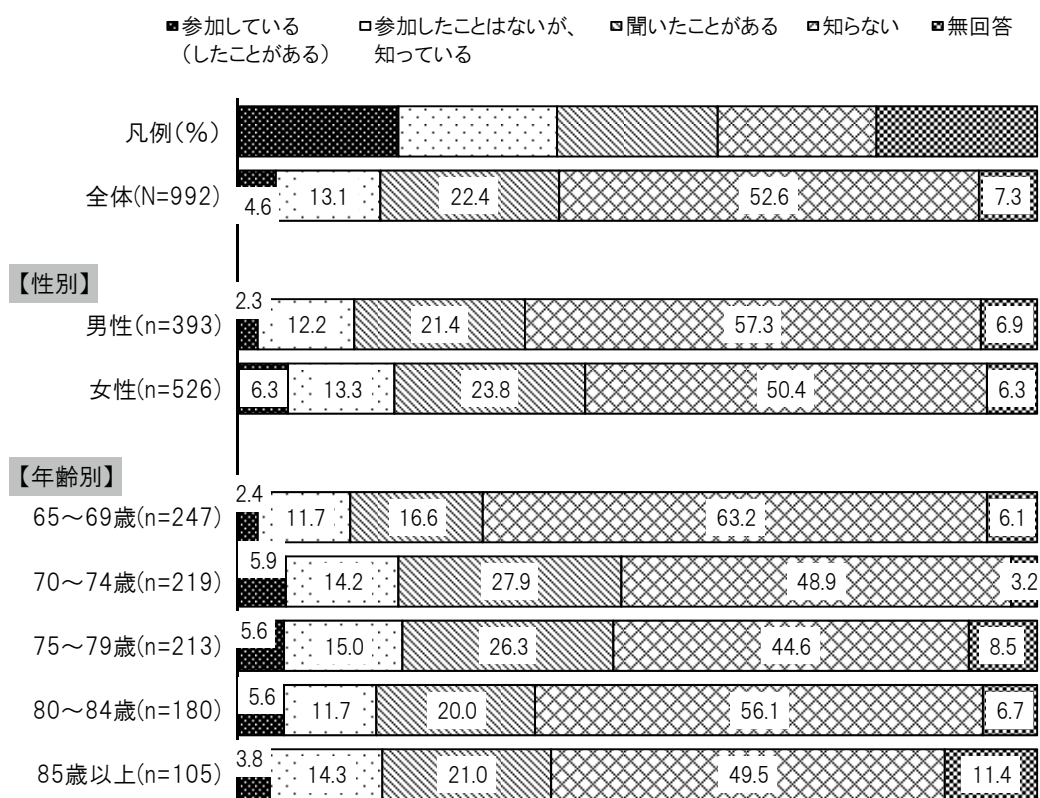
1. 介護予防事業の認知状況

Q1 平戸市では、このままだと介護が必要になるおそれがある高齢者を対象に、介護予防事業を実施しています。「介護予防事業」について知っていますか（1つに○）

介護予防事業の認知状況は、「知らない」が52.6%と半数以上を占め、「聞いたことがある」が22.4%、「参加したことはないが、知っている」が13.1%、「参加している（したことがある）」が4.6%となっています。「聞いたことがある」を合わせた認知率は40.1%となります。

性別では、女性の認知率は43.4%で、男性の35.9%より高くなっています。男性は「知らない」が57.3%と多くなっています。

年齢別では、70～79歳は認知率が47%前後ですが、80歳以上は39%前後と低くなっています。65～69歳は「知らない」が6割以上と多数を占めています。

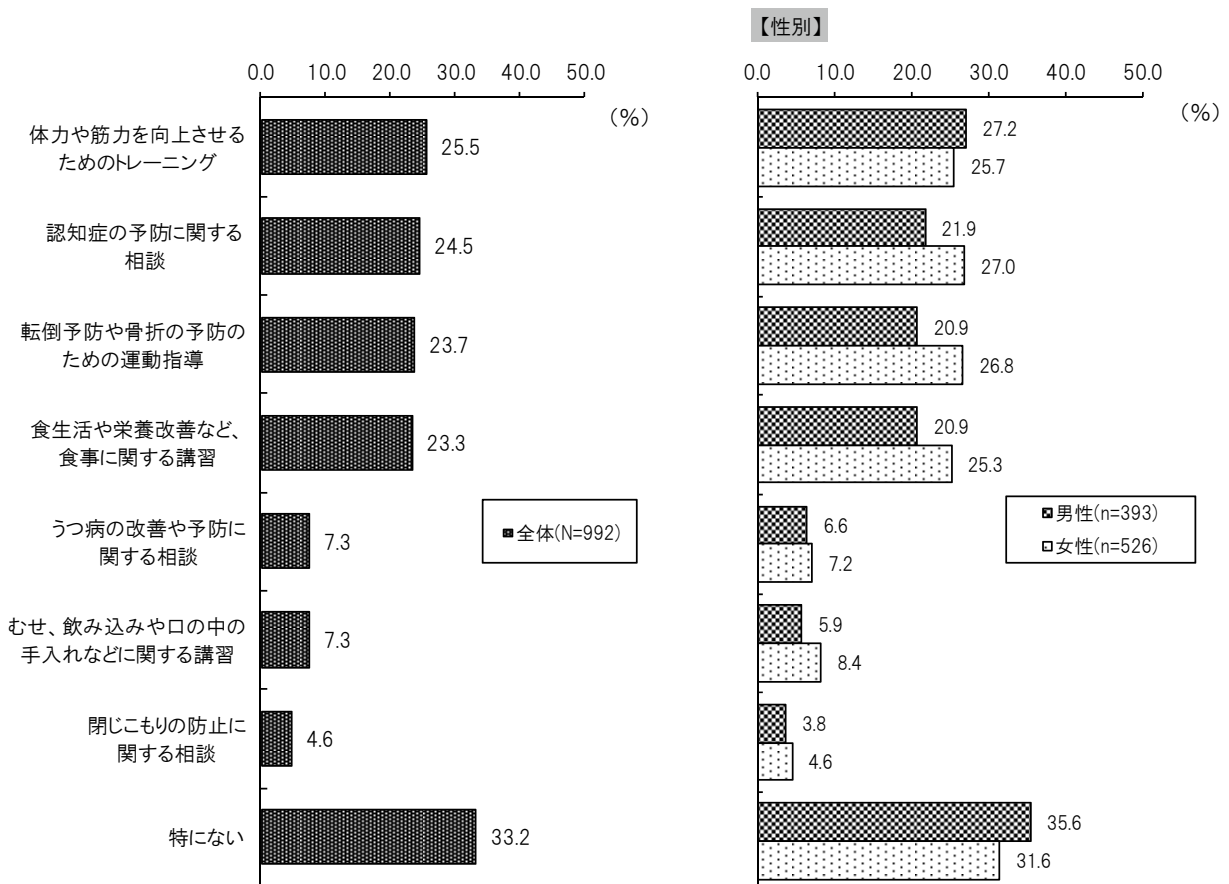


2. 介護予防事業の利用意向・認知意向

Q2 「介護予防事業」には、要介護（支援）状態になることを予防するために行う、以下の選択肢のような事業があります。この中で、やってみたい・知りたいと思うものはありますか（いくつでも）

介護予防事業のうちやってみたい・知りたいものは、「体力や筋力を向上させるためのトレーニング」が25.5%と最も多く、僅差で「認知症の予防に関する相談」(24.5%)、「転倒予防や骨折の予防のための運動指導」(23.7%)、「食生活や栄養改善など、食事に関する講習」(23.3%)が続いています。「特にない」が33.2%と3割以上みられます。

性別では、女性で「認知症の予防に関する相談」、「転倒予防や骨折の予防のための運動指導」、「食生活や栄養改善など、食事に関する講習」が男性に比べて多くなっています。



年齢別では、「体力や筋力を向上させるためのトレーニング」「認知症の予防に関する相談」は若い年齢層ほど多い傾向がみられます。85歳以上はほとんどの事業で他の年齢より少なく、「特にない」が4割を超えています。

区分									(%)
		た 体 め 力 の や ト 筋 レ 力 ー を ニ 向 ン 上 グ さ せ る	相 認 談 知 症 の 予 防 に 関 す る	た 転 め 倒 の 予 運 防 動 や 指 骨 導 折 の 予 防 の	食 食 事 生 に 活 関 や す 栄 る 養 講 改 習 善 な ど、	関 う す つ る 病 相 の 談 改 善 や 予 防 に	手 む 入 せ れ、 飲 飲 み に 込 み や 口 の 講 中 習 の	関 閉 す じ る こ 相 も 談 り の 防 止 に	特 に な い
全体(N=992)		25.5	24.5	23.7	23.3	7.3	7.3	4.6	33.2
性別	男性(n=393)	27.2	21.9	20.9	20.9	6.6	5.9	3.8	35.6
	女性(n=526)	25.7	27.0	26.8	25.3	7.2	8.4	4.6	31.6
年齢別	65～69歳(n=247)	30.8	25.5	22.7	26.3	7.3	6.9	4.0	33.2
	70～74歳(n=219)	30.6	27.9	24.7	24.2	7.8	7.8	5.0	32.9
	75～79歳(n=213)	25.4	25.8	28.2	22.5	5.6	7.0	4.2	29.6
	80～84歳(n=180)	21.7	22.2	24.4	25.0	6.7	7.8	5.6	34.4
	85歳以上(n=105)	11.4	16.2	18.1	15.2	7.6	6.7	2.9	41.0

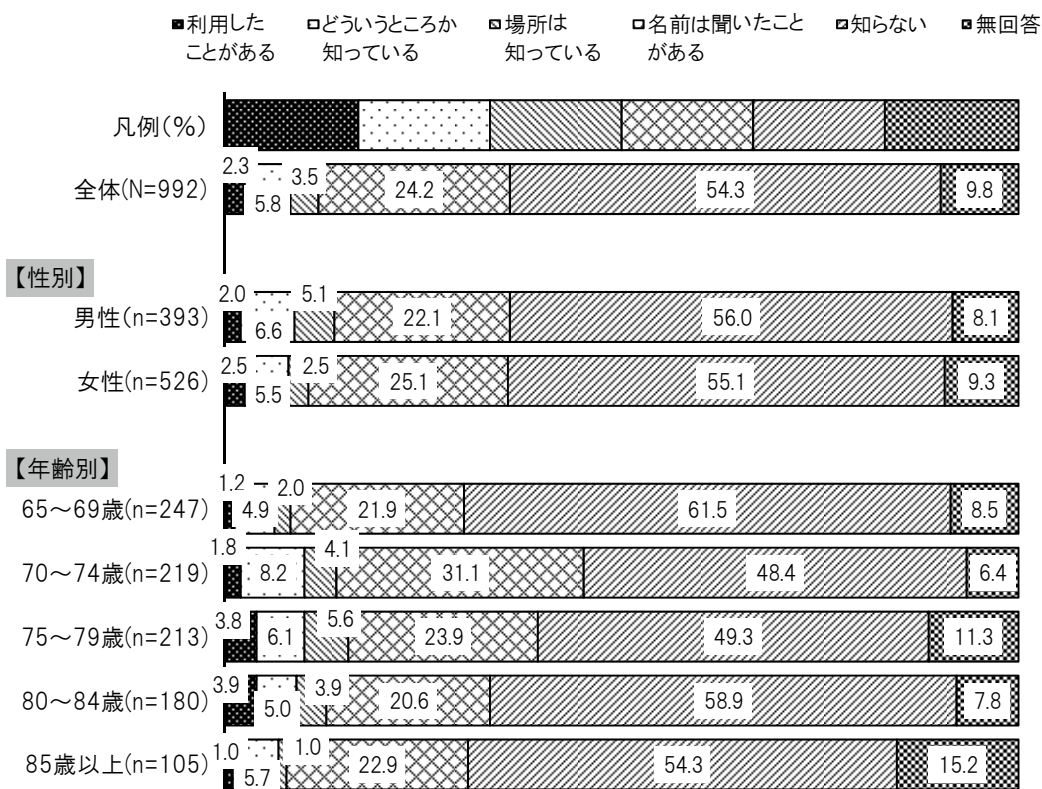
3. 「地域包括支援センター」の認知状況

Q3 介護予防の拠点であり、高齢介護に関する相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか（1つに○）

「地域包括支援センター」の認知状況は、「利用したことがある」が2.3%、「どういふところか知っている」が5.8%、「場所は知っている」が3.5%、「名前は聞いたことがある」が24.2%で、それらを合わせた認知率は35.8%となっています。一方、54.3%が「知らない」と回答しています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、65～69歳は「知らない」が61.5%と6割以上を占めています。70～74歳は「名前は聞いたことがある」が31.1%と多く、70歳以上では、高年齢になるにしたがって、認知率は低くなっています。

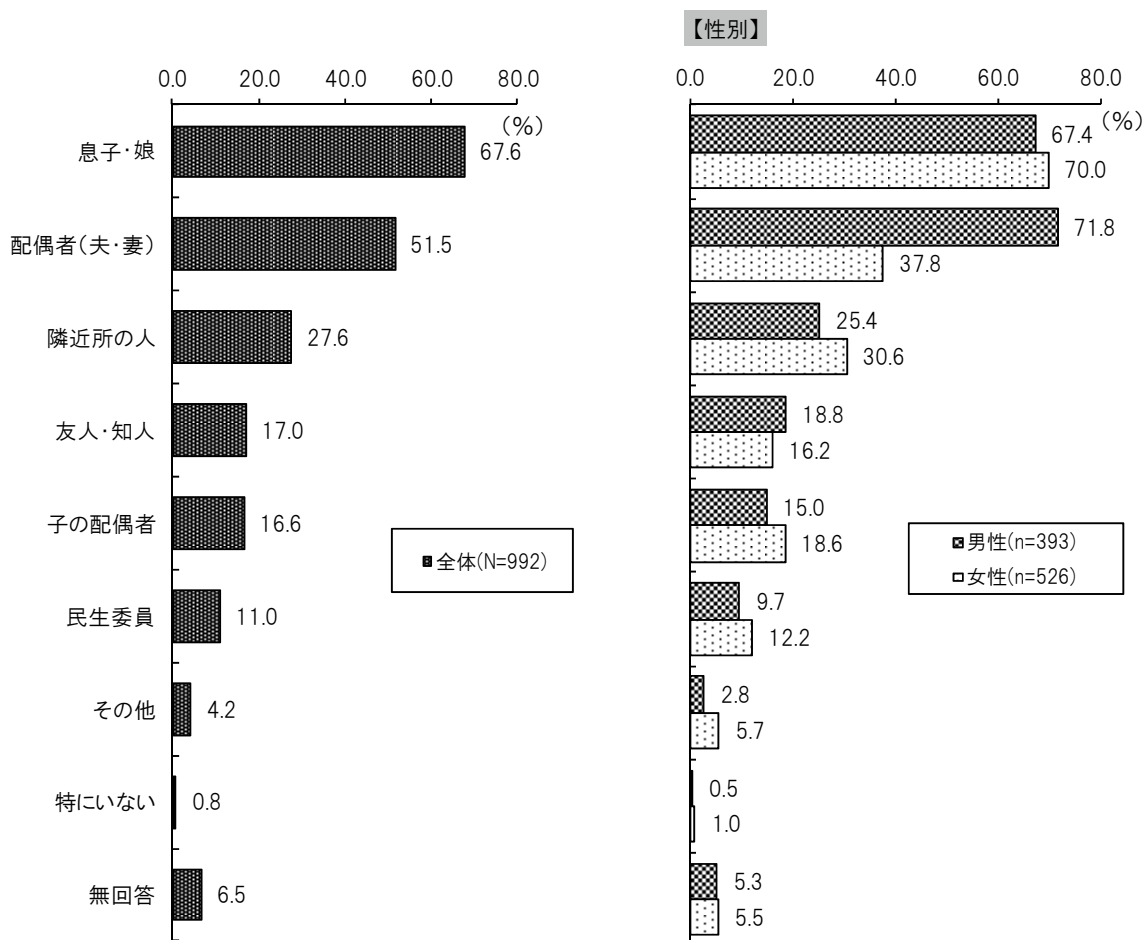


4. 緊急時に連絡できる人について

Q 4 緊急時に連絡できる方はどなたですか (いくつでも)

緊急時に連絡できる人は、「息子・娘」が 67.6%で最も多く、「配偶者 (夫・妻)」が 51.5%、「隣近所の人」が 27.6%、「友人・知人」が 17.0%、「子の配偶者」が 16.6%、「民生委員」が 11.0%となっています。

性別では、男性で「配偶者 (夫・妻)」が 71.8%と大幅に増えています。



年齢別では、「配偶者（夫・妻）」「友人・知人」は年齢が上がるほど少なくなっています。85歳以上は「息子・娘」「子の配偶者」「民生委員」が他の年齢に比べて最も多くなっています。

区分									(%)
		緊急時に連絡できる人	息子・娘	配偶者（夫・妻）	隣近所の人	友人・知人	子の配偶者	民生委員	その他
全体(N=992)		67.6	51.5	27.6	17.0	16.6	11.0	4.2	0.8
性別	男性(n=393)	67.4	71.8	25.4	18.8	15.0	9.7	2.8	0.5
	女性(n=526)	70.0	37.8	30.6	16.2	18.6	12.2	5.7	1.0
年齢別	65～69歳(n=247)	69.6	70.9	24.3	19.8	12.1	10.5	4.9	0.4
	70～74歳(n=219)	69.9	63.5	30.1	19.2	17.8	10.5	2.7	0.5
	75～79歳(n=213)	62.0	47.4	27.2	17.8	13.1	11.3	3.8	1.4
	80～84歳(n=180)	68.3	32.8	31.7	14.4	20.6	11.1	6.7	1.7
	85歳以上(n=105)	75.2	23.8	27.6	11.4	28.6	13.3	3.8	0.0

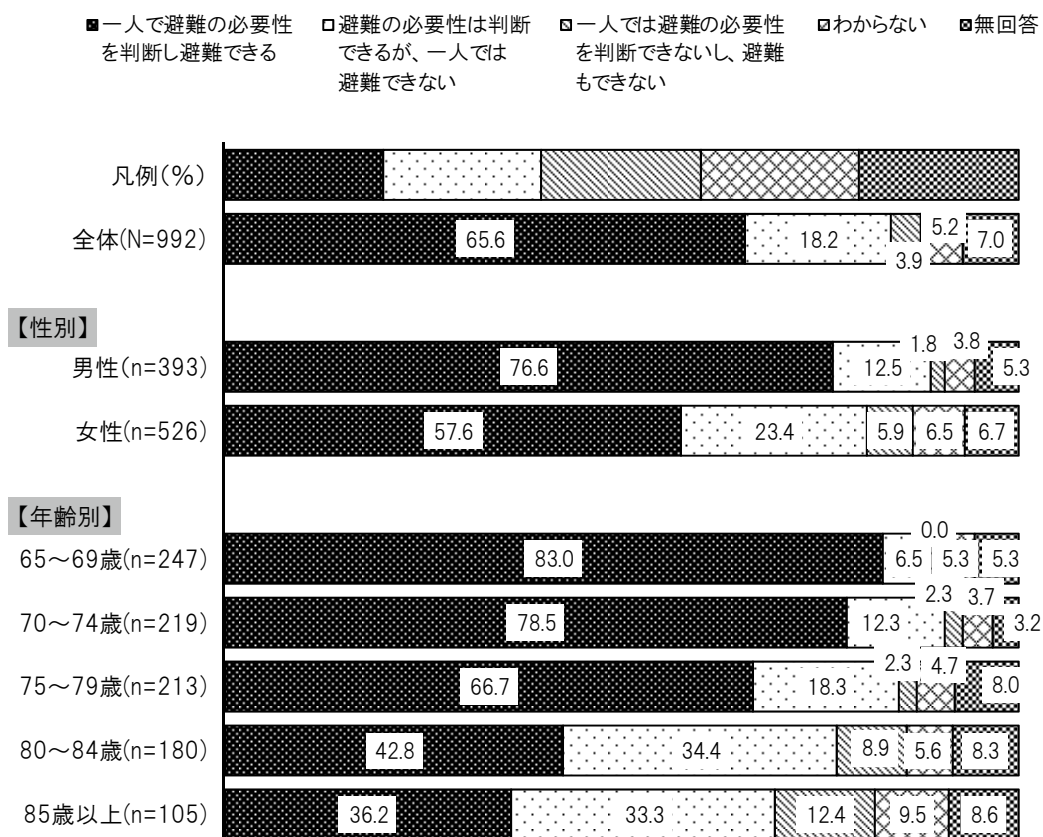
5. 災害時に一人で避難の必要性を判断、避難場所まで避難することについて

Q 5 あなたは、災害時（台風や地震等）に、一人で避難の必要性を判断し、避難場所まで避難することができますか（1つに○）

災害時に一人で避難の必要性を判断し、避難場所まで避難することについては、「一人で避難の必要性を判断し避難できる」が65.6%と最も多く、「避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」が18.2%、「一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない」が3.9%となっています。

性別では、男性は「一人で避難の必要性を判断し避難できる」が76.6%ですが、女性は57.6%と少なく、「避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」が23.4%と男性の12.5%より多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「一人で避難の必要性を判断し避難できる」が少なくなり、「避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」「一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない」が多くなっています。85歳以上では「一人で避難の必要性を判断し避難できる」は36.2%と4割を下回っています。



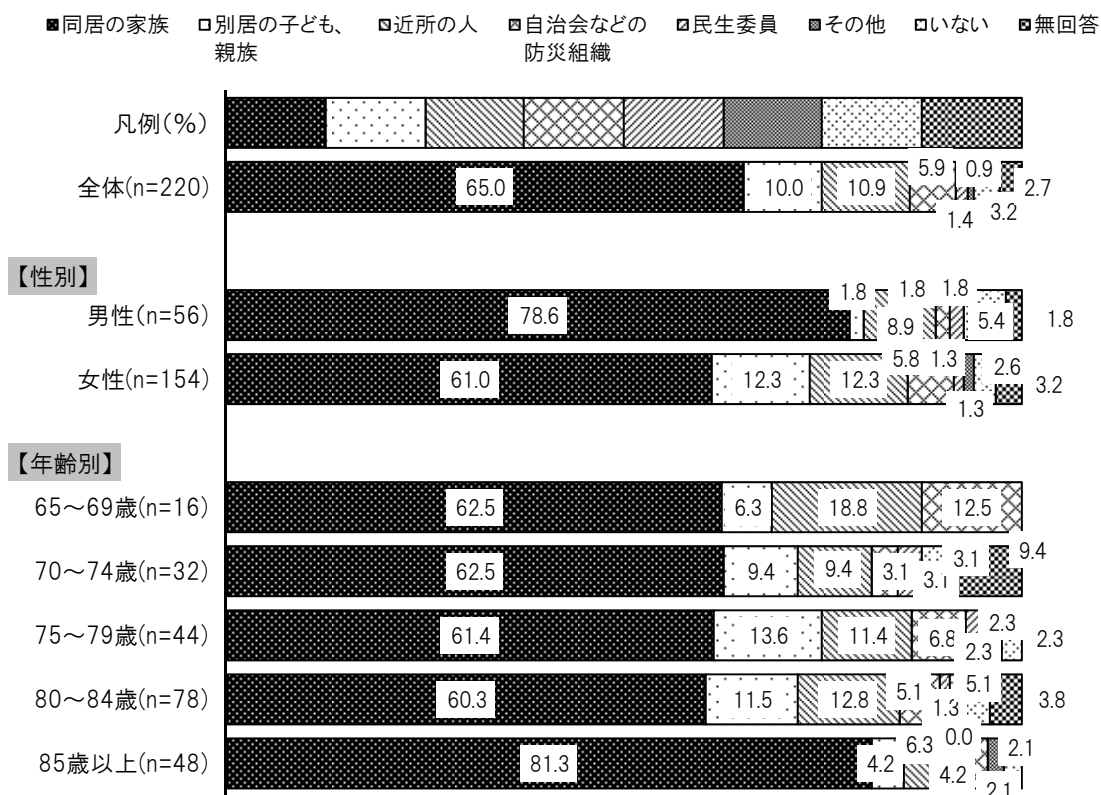
6. 災害時に手助けを頼める人について

Q5-1 Q5で「2 避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」又は「3 一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない」と答えた方にお尋ねします。災害時に避難するとき、近くに手助けを頼める人がいますか。手助けを頼める人がいる場合にはそれは誰ですか（1つに○）

災害時に手助けを頼める人は、「同居の家族」が65.0%で最も多く、ついで「近所の人」が10.9%、「別居の子ども、親族」が10.0%、「自治会などの防災組織」が5.9%となっています。

性別では、男性は「同居の家族」が78.6%と多くなり、女性は「近所の人」「別居の子ども、親族」「自治会などの防災組織」が多くなっています。

年齢別では、85歳以上は「同居の家族」が81.3%と多数を占めています。



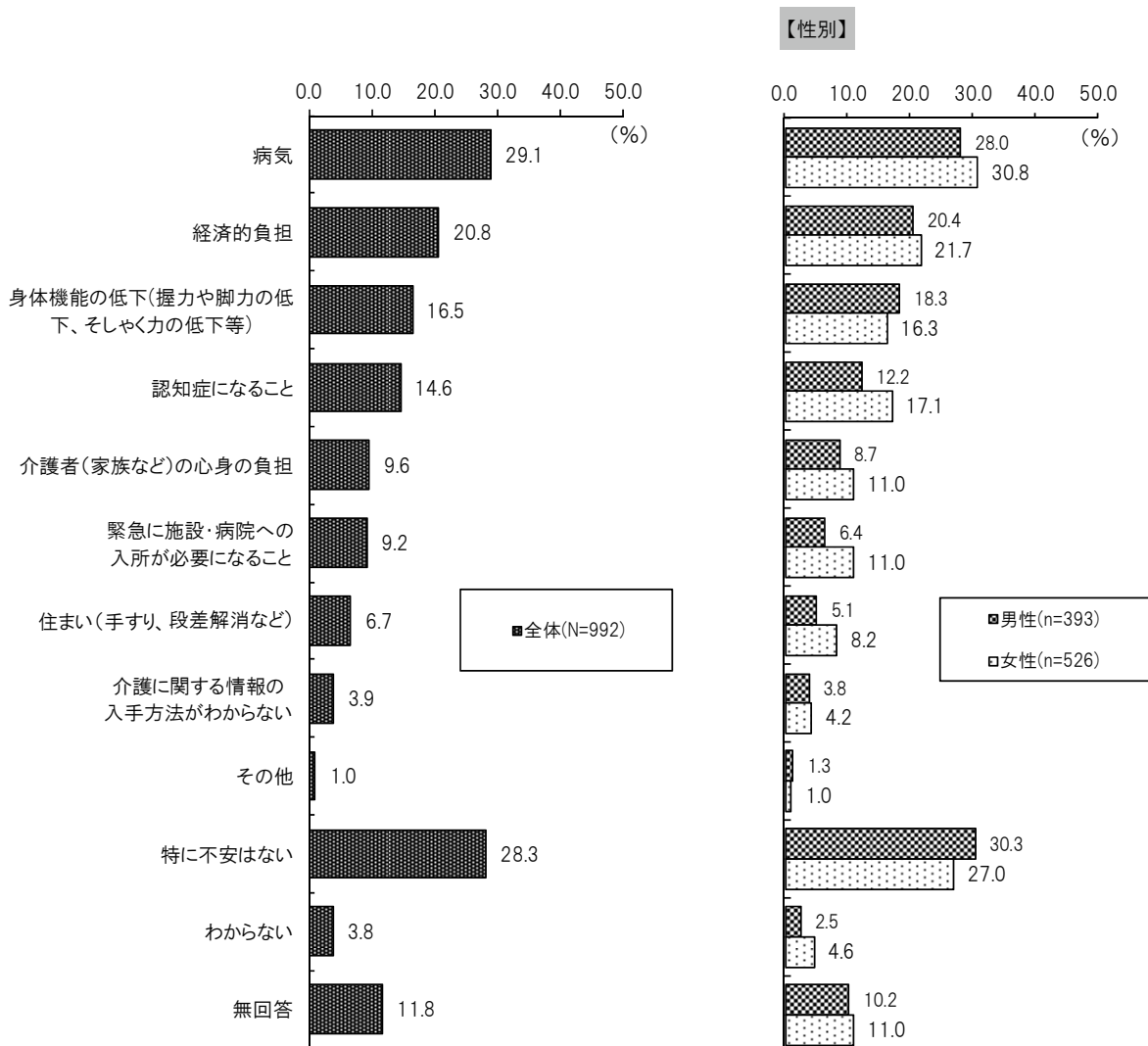
7. 生活の中で困っていること

Q6 あなたは生活の中で、どのようなことに困っていますか（いくつでも）

（1）介護・医療・住まいに関すること

介護・医療・住まいに関して困っていることでは、「病気」が29.1%で最も多く、「経済的負担」が20.8%、「身体機能の低下（握力や脚力の低下、そしゃく力の低下等）」が16.5%、「認知症になること」が14.6%、「介護者（家族など）の心身の負担」が9.6%、「緊急に施設・病院への入所が必要になること」が9.2%となっています。「特に不安はない」は28.3%となっています。

性別では、女性はほとんどの項目で男性を上回っていますが、それほど大きな差はみられません。



年齢別では、年齢が上がるほど「身体機能の低下（握力や脚力の低下、そしゃく力の低下等）」が多くなっています。また85歳以上は少ないものの、65～84歳では「病気」「住まい（手すり、段差解消など）」は年齢が上がるほど多くなっています。65～69歳は「特に不安はない」が40.1%と多くなっています。

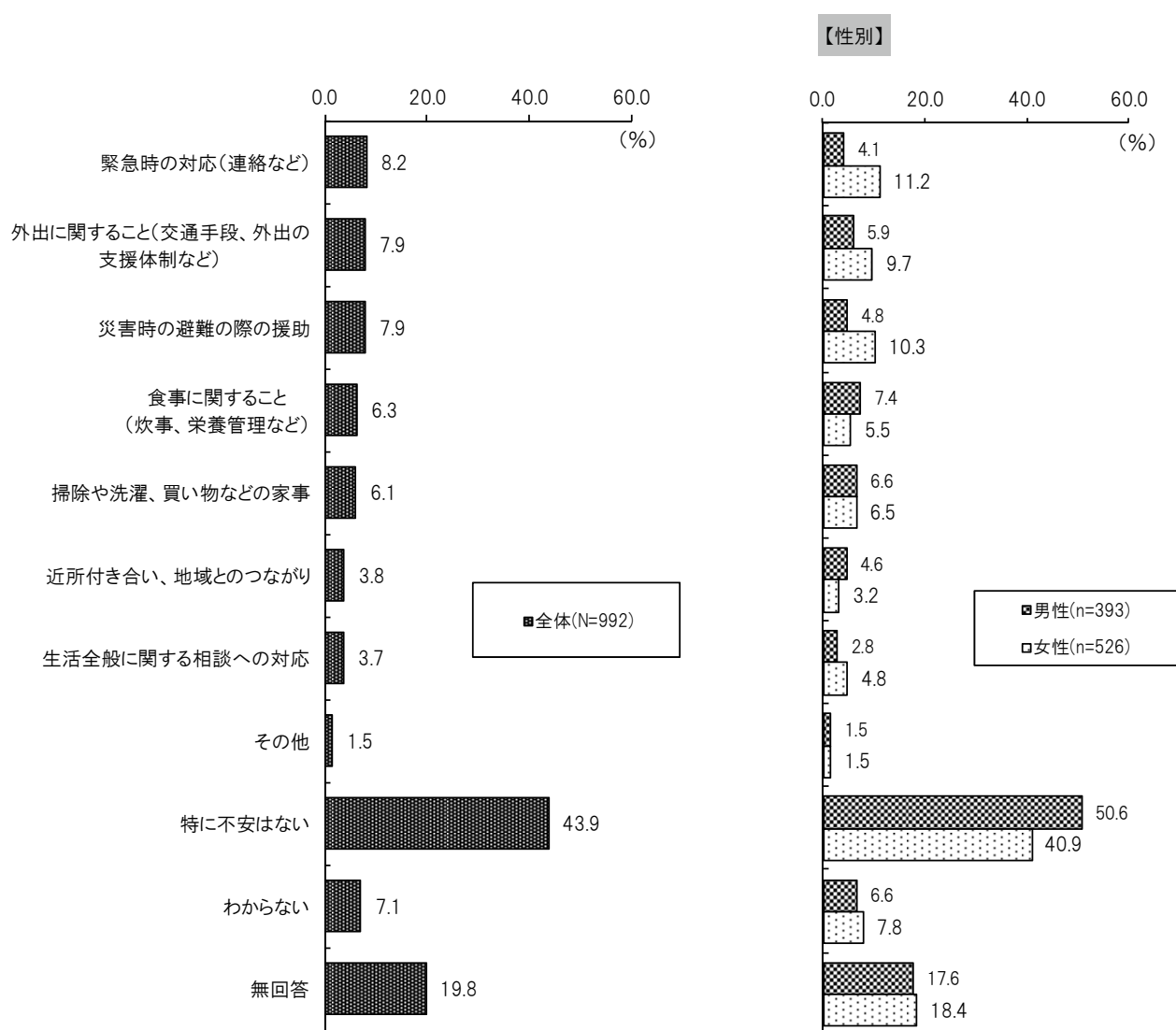
区分		(%)							
		病気	経済的負担	くや身 力の脚 の力機 の能の 低下低 等下、 下（握 しや力	認知症 になる こと	心介 身の護 の者者 負担（家 族など） の	入緊 所急 がに 必要 に施 に設 なる こと への	解住 消まい など（手 すり、 段差	入介 手護 方関 が関 わす らる 情情 報報 のの ない
全体(N=992)		29.1	20.8	16.5	14.6	9.6	9.2	6.7	3.9
性別	男性(n=393)	28.0	20.4	18.3	12.2	8.7	6.4	5.1	3.8
	女性(n=526)	30.8	21.7	16.3	17.1	11.0	11.0	8.2	4.2
年齢別	65～69歳(n=247)	23.1	21.5	10.9	12.1	7.7	8.1	4.9	2.8
	70～74歳(n=219)	29.7	25.1	15.5	14.6	10.0	7.8	4.6	4.1
	75～79歳(n=213)	32.4	20.2	17.4	20.7	10.3	11.3	7.0	3.8
	80～84歳(n=180)	37.8	20.0	18.9	12.2	11.7	10.6	11.1	3.9
	85歳以上(n=105)	22.9	12.4	27.6	13.3	9.5	7.6	6.7	6.7

区分		(%)		
		その他	特に不安はない	わからない
全体(N=992)		1.0	28.3	3.8
性別	男性(n=393)	1.3	30.3	2.5
	女性(n=526)	1.0	27.0	4.6
年齢別	65～69歳(n=247)	0.4	40.1	3.6
	70～74歳(n=219)	0.0	30.1	3.2
	75～79歳(n=213)	2.3	22.1	4.7
	80～84歳(n=180)	0.6	19.4	2.8
	85歳以上(n=105)	2.9	28.6	4.8

(2) 生活支援に関すること

生活支援に関して困っていることでは、「特に不安はない」が43.9%と4割以上を占めています。不安としてあげられた中で、「緊急時の対応（連絡など）」が8.2%で最も多く、ついで「外出に関すること（交通手段、外出の支援体制など）」と「災害時の避難の際の援助」がともに7.9%、「食事に関すること（炊事、栄養管理など）」が6.3%、「掃除や洗濯、買い物などの家事」が6.1%など、いずれも10%以下となっています。

性別では、男性は「特に不安はない」が女性より多く、女性では「緊急時の対応（連絡など）」「外出に関すること（交通手段、外出の支援体制など）」「災害時の避難の際の援助」が男性よりやや多くなっています。



年齢別では、65～69歳は「特に不安はない」が53.4%と半数を上回っています。80～84歳は「緊急時の対応（連絡など）」「外出に関すること（交通手段、外出の支援体制など）」「災害時の避難の際の援助」が14%前後で他の年齢より多くあげられています。

(%)

区分		困っていること (生活支援に 関すること)	緊急時の 対応（連 絡	支（外 援交 体通 制手 段な ど） 外 出に 関 する こ と	災 害 時 の 避 難 の 際 の 援 助	食 事 に 関 する こ と （炊 事、 栄 養 管 理 な ど）	掃 除 や 洗 濯 、 買 い 物 な ど の 家 事	近 所 つ な が り 、 地 域	生 活 全 般 に 関 する 相 談	そ の 他
全体(N=992)			8.2	7.9	7.9	6.3	6.1	3.8	3.7	1.5
性別	男性(n=393)		4.1	5.9	4.8	7.4	6.6	4.6	2.8	1.5
	女性(n=526)		11.2	9.7	10.3	5.5	6.5	3.2	4.8	1.5
年齢別	65～69歳(n=247)		4.9	5.3	4.5	6.1	4.0	2.4	2.4	1.6
	70～74歳(n=219)		6.8	6.4	5.5	4.1	7.3	4.1	3.7	2.3
	75～79歳(n=213)		7.5	7.5	8.5	8.0	6.1	4.2	5.2	0.9
	80～84歳(n=180)		15.0	14.4	13.9	8.3	6.7	4.4	3.9	1.1
	85歳以上(n=105)		8.6	5.7	7.6	5.7	9.5	5.7	4.8	1.9

(%)

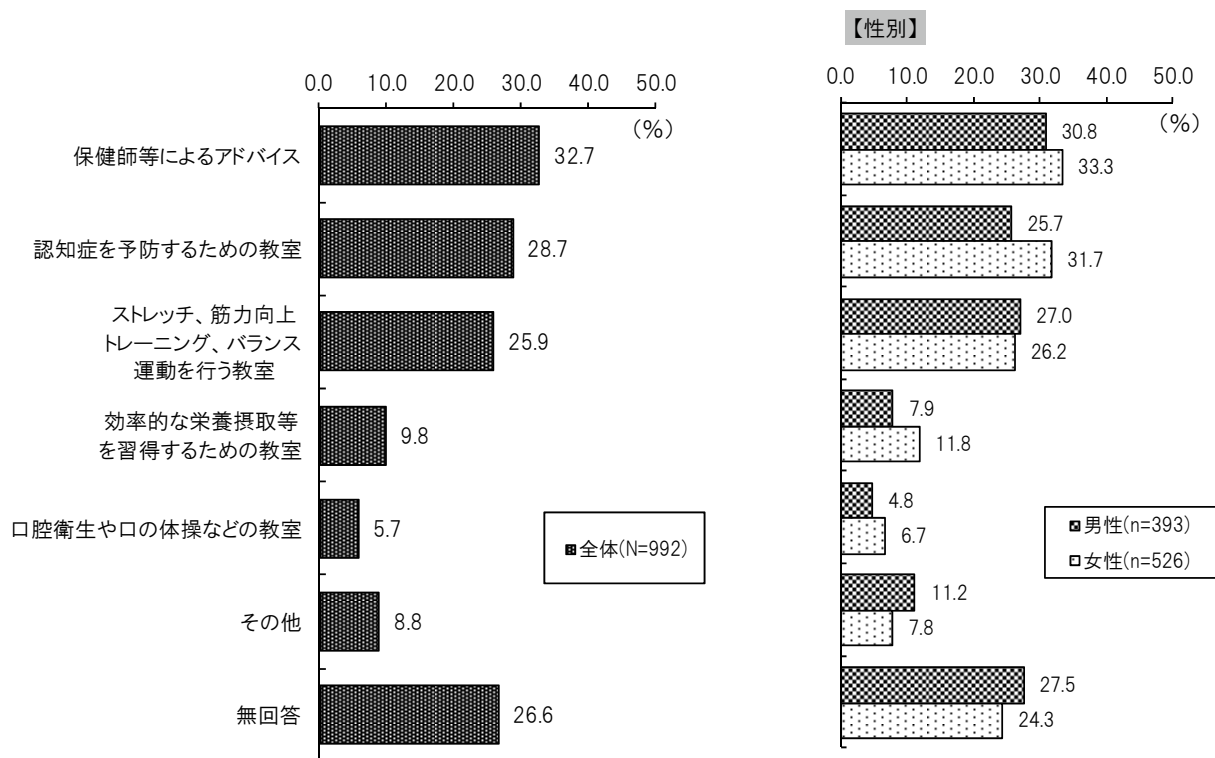
区分		困っていること (生活支援に 関すること)	特 に 不 安 は な い	わ か ら な い			
					全体(N=992)	男性(n=393)	女性(n=526)
全体(N=992)			43.9	7.1			
性別	男性(n=393)		50.6	6.6			
	女性(n=526)		40.9	7.8			
年齢別	65～69歳(n=247)		53.4	8.5			
	70～74歳(n=219)		49.8	4.1			
	75～79歳(n=213)		36.6	7.5			
	80～84歳(n=180)		35.6	7.2			
	85歳以上(n=105)		41.9	10.5			

8. 介護予防ためのサービス利用意向

Q7 あなたは、今後介護を必要とする状態にならないようにするために（または状態が悪くならないようにするため）どのようなサービスを利用したいと思いますか（いくつでも）

介護予防のために利用したいサービスは、「保健師等によるアドバイス」が 32.7%で最も多く、ついで「認知症を予防するための教室」が 28.7%、「ストレッチ、筋力向上トレーニング、バランス運動を行う教室」が 25.9%となっています。

性別では、女性は「認知症を予防するための教室」が男性に比べてやや多くなっていますが、そのほかの項目についてはそれほど大きな差はみられません。



年齢別では、「ストレッチ、筋力向上トレーニング、バランス運動を行う教室」は年齢が上がるほど少なくなっています。「保健師等によるアドバイス」は75～79歳が少なくなっています。「認知症を予防するための教室」は79歳以下が多く80歳以上は少なくなっています。

(%)

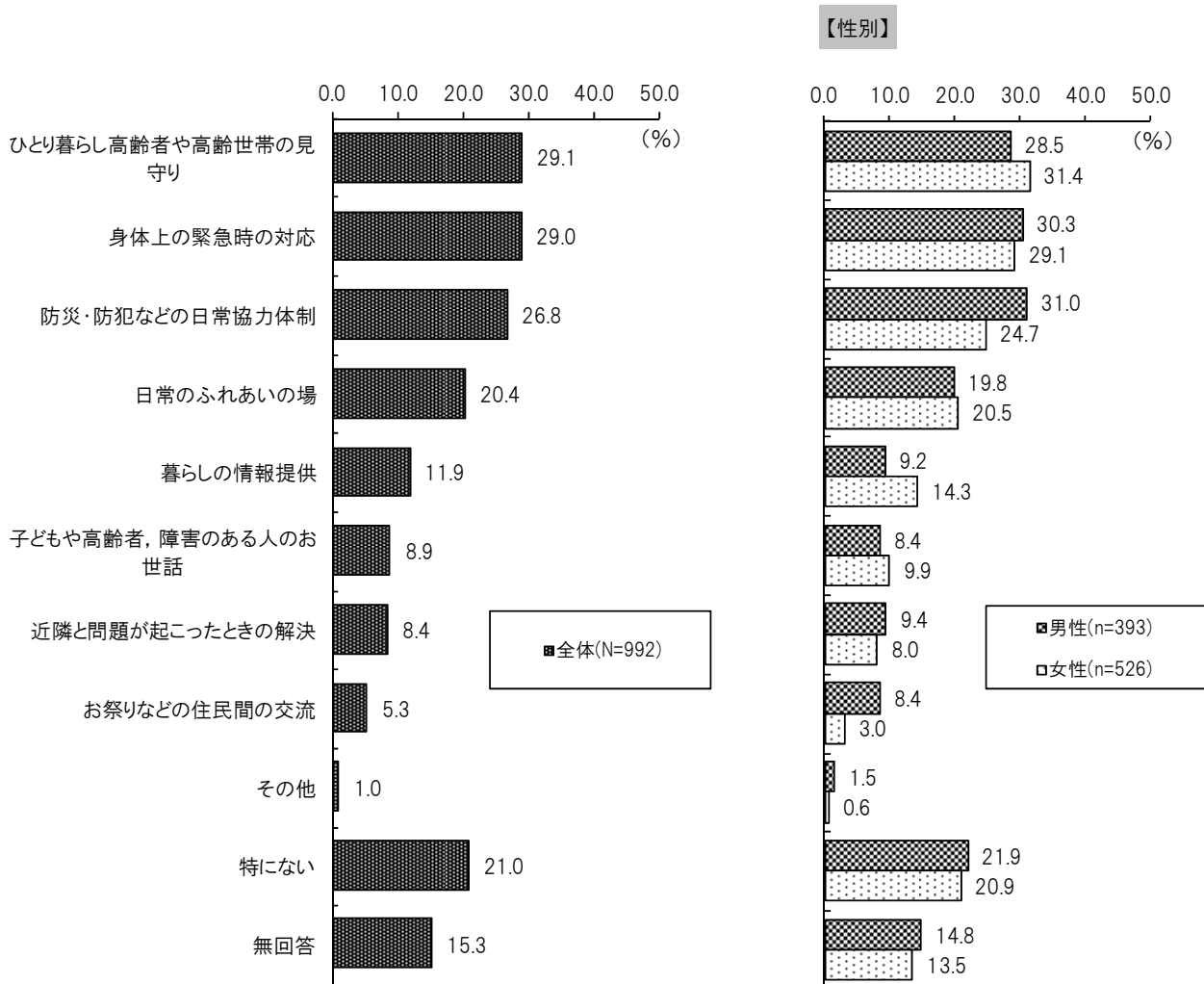
介護予防のために 利用したいサービス		ス保健 師等 による アド バイ	教認 室知 症を 予防 する ため の	運ト 動レ をレ 行ニ うツ 教チ 室ゲ 、筋 バ力 ラ向 ン上 ス	を効 習率 得的 する な栄 ため の養 取摂 の教 室等	の口 腔衛 生や 口の 体操 など	そ の 他
区分							
全体(N=992)		32.7	28.7	25.9	9.8	5.7	8.8
性別	男性(n=393)	30.8	25.7	27.0	7.9	4.8	11.2
	女性(n=526)	33.3	31.7	26.2	11.8	6.7	7.8
年齢別	65～69歳(n=247)	34.4	30.8	36.4	12.6	4.9	7.3
	70～74歳(n=219)	33.8	30.1	30.6	11.0	4.1	7.8
	75～79歳(n=213)	27.7	32.9	21.6	6.1	8.5	7.5
	80～84歳(n=180)	35.0	23.3	19.4	10.6	7.8	11.1
	85歳以上(n=105)	33.3	23.8	13.3	8.6	2.9	14.3

9. 地域に期待する役割

Q 8 地域にどのような役割を期待したいと思いますか（いくつでも）

地域に期待する役割としては、「ひとり暮らし高齢者や高齢世帯の見守り」と「身体上の緊急時の対応」がともに29%台で多く、「防災・防犯などの日常協力体制」が26.8%、「日常のふれあいの場」が20.4%で続いています。「特にない」は21.0%となっています。

性別では、男性は女性に比べて「防災・防犯などの日常協力体制」がやや多く、女性は「暮らしの情報提供」がやや多くなっています。



年齢別では、「防災・防犯などの日常協力体制」と「日常のふれあいの場」は65～69歳が最も多く、年齢が上がるほど少なくなっています。「ひとり暮らし高齢者や高齢世帯の見守り」は74歳以下が多く、75歳以上では少なくなっています。「暮らしの情報提供」は65～69歳が他の年齢よりやや多くなっています。

地域に期待する役割		(%)									
		ひとり暮らし高齢世帯の見守り者	身体上の緊急時の対応	防災協力・防犯などの日常	日常のふれあいの場	暮らしの情報提供	子どもや高齢者お世話、障害	近隣と問題が起きたときの解決	お祭りなどの住民間交流	その他	特にな
区分											
	全体(N=992)	29.1	29.0	26.8	20.4	11.9	8.9	8.4	5.3	1.0	21.0
性別	男性(n=393)	28.5	30.3	31.0	19.8	9.2	8.4	9.4	8.4	1.5	21.9
	女性(n=526)	31.4	29.1	24.7	20.5	14.3	9.9	8.0	3.0	0.6	20.9
年齢別	65～69歳(n=247)	32.4	27.5	33.6	26.7	15.0	8.5	10.1	6.9	0.8	15.8
	70～74歳(n=219)	34.7	31.1	29.2	21.0	11.4	11.0	5.9	6.8	1.4	20.5
	75～79歳(n=213)	26.8	28.6	23.5	17.4	10.3	7.5	11.3	4.7	0.5	23.0
	80～84歳(n=180)	28.3	31.1	24.4	17.2	10.6	10.0	5.6	2.2	1.1	25.0
	85歳以上(n=105)	17.1	28.6	20.0	15.2	10.5	7.6	6.7	5.7	1.0	27.6

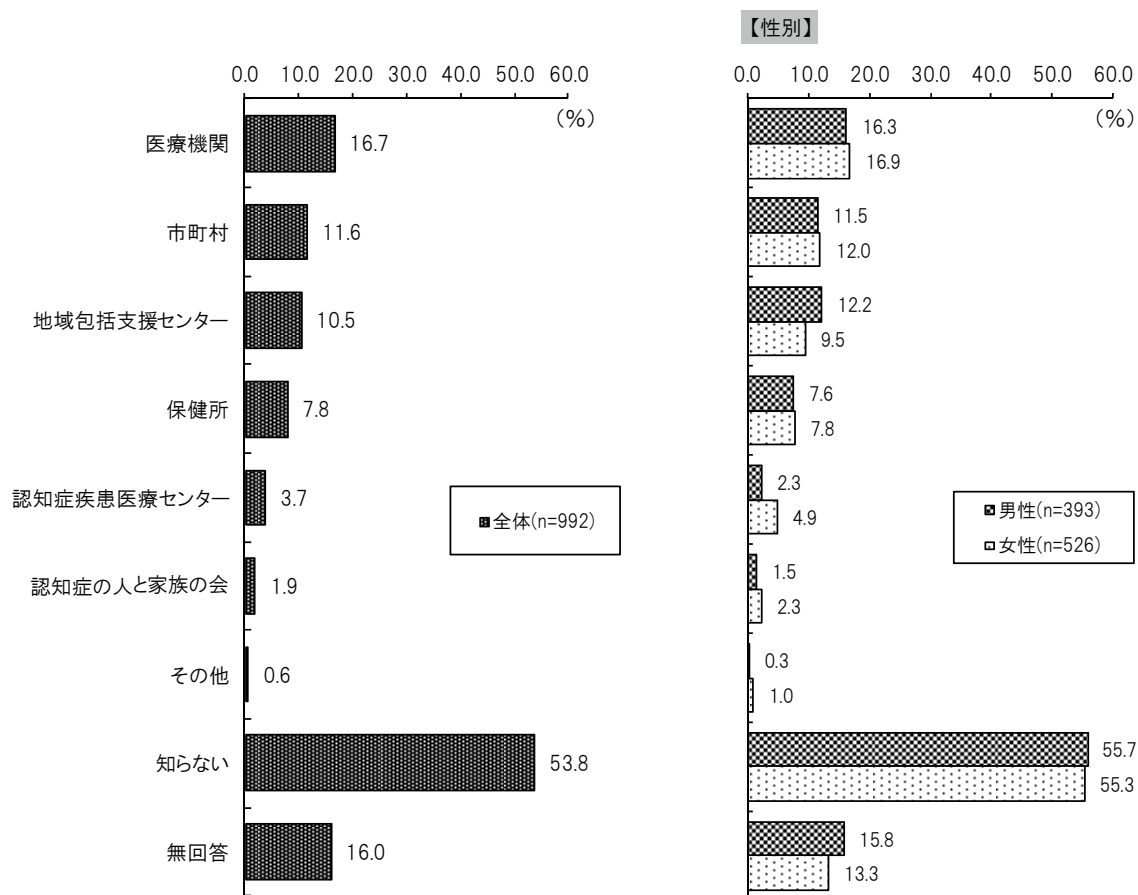
【12】認知症について

1. 認知症相談窓口の認知状況

Q1 あなたは、認知症の相談窓口を知っていますか。知っている場合、どの相談窓口を知っていますか（いくつでも）

認知症の相談窓口について知っているのは、「医療機関」が16.7%で最も多く、「市町村」が11.6%、「地域包括支援センター」が10.5%と少数に止まり、「知らない」が53.8%と半数を超えています。

性別では、ほとんど差はみられません。



年齢別では、65～69歳は「知らない」が62.3%と6割を超えて多数を占めています。70～74歳は「地域包括支援センター」と「保健所」が他の年齢に比べてやや多くなっています。

(%)

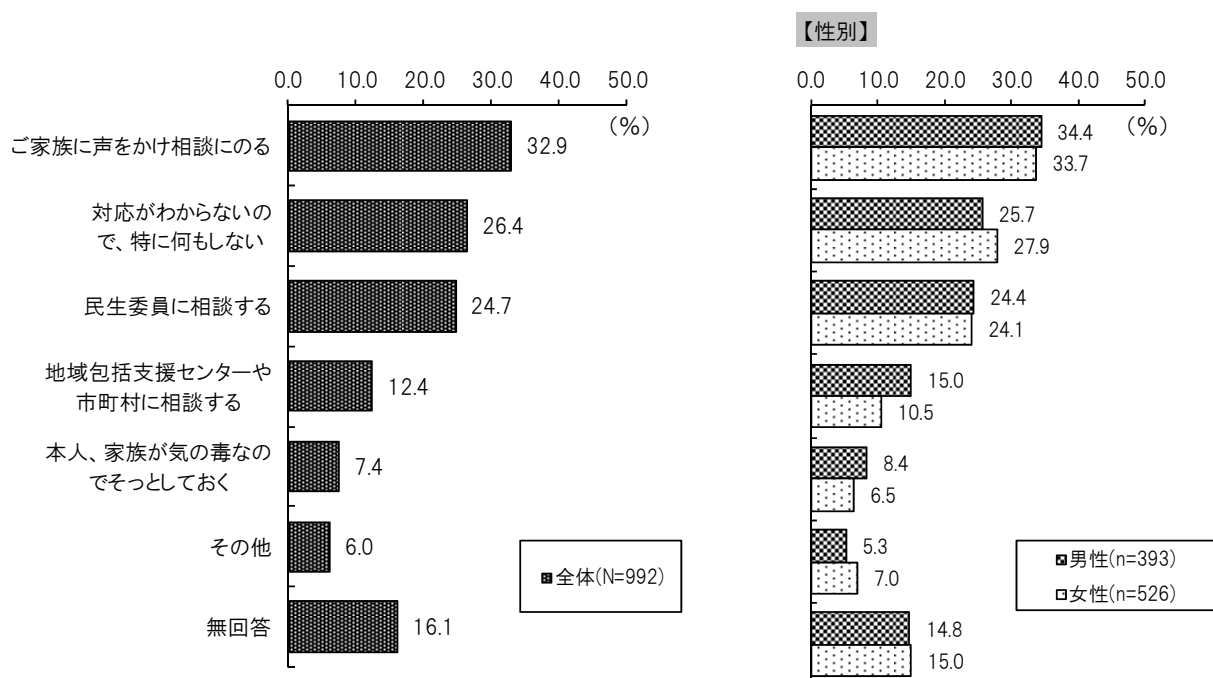
区分		知っている認知症の 相談窓口	医療 機関	市 町村	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	保 健 所	認 知 症 疾 患 医 療 セ ン タ ー	認 知 症 の 人 と 家 族 の 会	そ の 他	知 ら な い
全体(n=992)		16.7	11.6	10.5	7.8	3.7	1.9	0.6	53.8	
性 別	男性(n=393)	16.3	11.5	12.2	7.6	2.3	1.5	0.3	55.7	
	女性(n=526)	16.9	12.0	9.5	7.8	4.9	2.3	1.0	55.3	
年 齢 別	65～69歳(N=247)	16.6	13.8	9.3	5.7	2.8	0.8	0.4	62.3	
	70～74歳(n=219)	16.9	13.2	16.4	11.4	7.3	3.2	0.9	48.4	
	75～79歳(n=213)	18.3	10.8	11.7	8.0	2.3	1.4	0.0	50.2	
	80～84歳(n=180)	17.2	10.6	7.2	8.9	3.3	2.8	0.6	53.9	
	85歳以上(n=105)	12.4	8.6	5.7	3.8	1.9	1.9	1.9	60.0	

2. 認知症と思われる人への接し方について

Q2 あなたは、もし認知症と思われる方が近くにいたら、どのように接したいと思いますか。(いくつでも)

認知症と思われる人への接し方については、「ご家族に声をかけ相談にのる」が32.9%で最も多く、「対応がわからないので、特に何もしない」が26.4%、「民生委員に相談する」が24.7%、「地域包括支援センターや市町村に相談する」が12.4%となっています。

性別では、男性は「地域包括支援センターや市町村に相談する」が女性に比べてやや多くなっていますが、全般としてほとんど差はみられません。



年齢別では、「ご家族に声をかけ相談にのる」は若い年齢層ほど多くなり、65～69歳がやや少ないものの、70歳以上では「民生委員に相談する」「地域包括支援センターや市町村に相談する」も若い年齢層ほど多くなっています。80歳以上は「対応がわからないので、特に何もしない」が79歳以下に比べて多くなっています。

区分							(%)
		ご家族に声をかけ相談にのる	対応がわからぬ	民生委員に相談する	地域包括支援センターや市町村に相談する	本人、家族がお気の毒なので	その他
全体(N=992)		32.9	26.4	24.7	12.4	7.4	6.0
性別	男性(n=393)	34.4	25.7	24.4	15.0	8.4	5.3
	女性(n=526)	33.7	27.9	24.1	10.5	6.5	7.0
年齢別	65～69歳(n=247)	37.7	26.7	26.3	13.4	9.3	6.9
	70～74歳(n=219)	36.5	26.9	32.4	16.0	3.2	5.0
	75～79歳(n=213)	34.7	20.7	21.1	12.7	7.0	5.6
	80～84歳(n=180)	28.3	30.0	21.1	10.0	12.2	7.2
	85歳以上(n=105)	22.9	33.3	19.0	7.6	4.8	5.7

【13】地域力について

Q1 以下の項目について、あなたのお考えや経験に最も近いものはどれですか（①～⑨それぞれについて、あてはまる番号に○）

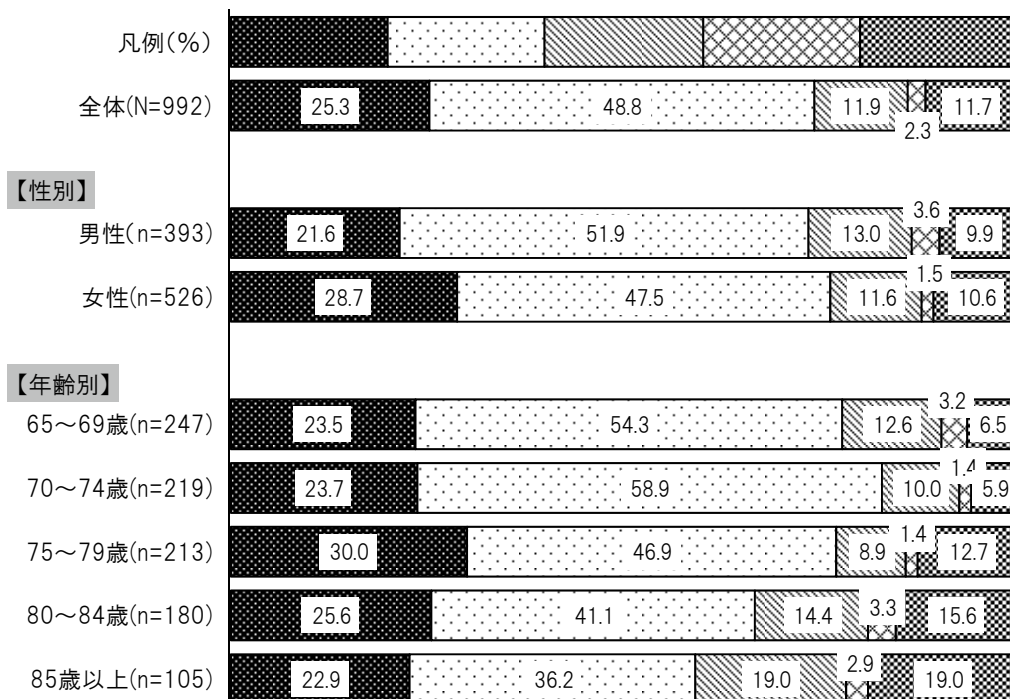
①高齢者問題への関心度

高齢者問題への関心度は、「とても関心がある」が25.3%、「ある程度関心がある」が48.8%で、合わせると『関心がある』は74.1%、一方「まったく関心がない」が2.3%、「あまり関心がない」が11.9%で、合わせると『関心がない』が14.2%となっています。

性別では、女性は「とても関心がある」が28.7%と多く、『関心がある』でもやや女性が多くなっています。

年齢別では、75～79歳は「とても関心がある」が30.0%と最も多くなっています。年齢が上がるほど『関心がある』が少なくなっています。

■とても関心がある □ある程度関心がある ▨あまり関心がない □まったく関心がない ■無回答

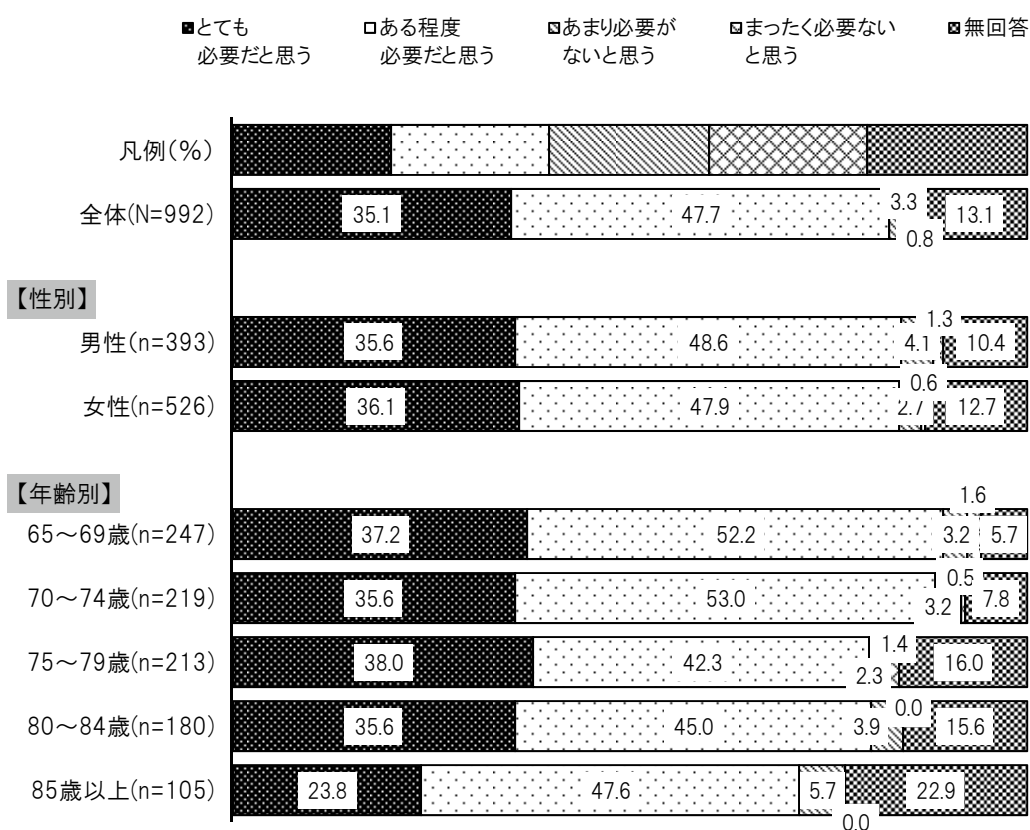


②高齢者問題解決への取組の必要性

高齢者問題解決へ向けた取組の必要性は、「とても必要だと思う」が35.1%、「ある程度必要だと思う」が47.7%で、合わせると『必要だと思う』は82.8%と8割を超えています。

性別では、ほとんど差はありません。

年齢別では、85歳以上は「とても必要だと思う」が最も少なく、年齢が上がるほど『必要だと思う』が少なくなっています。

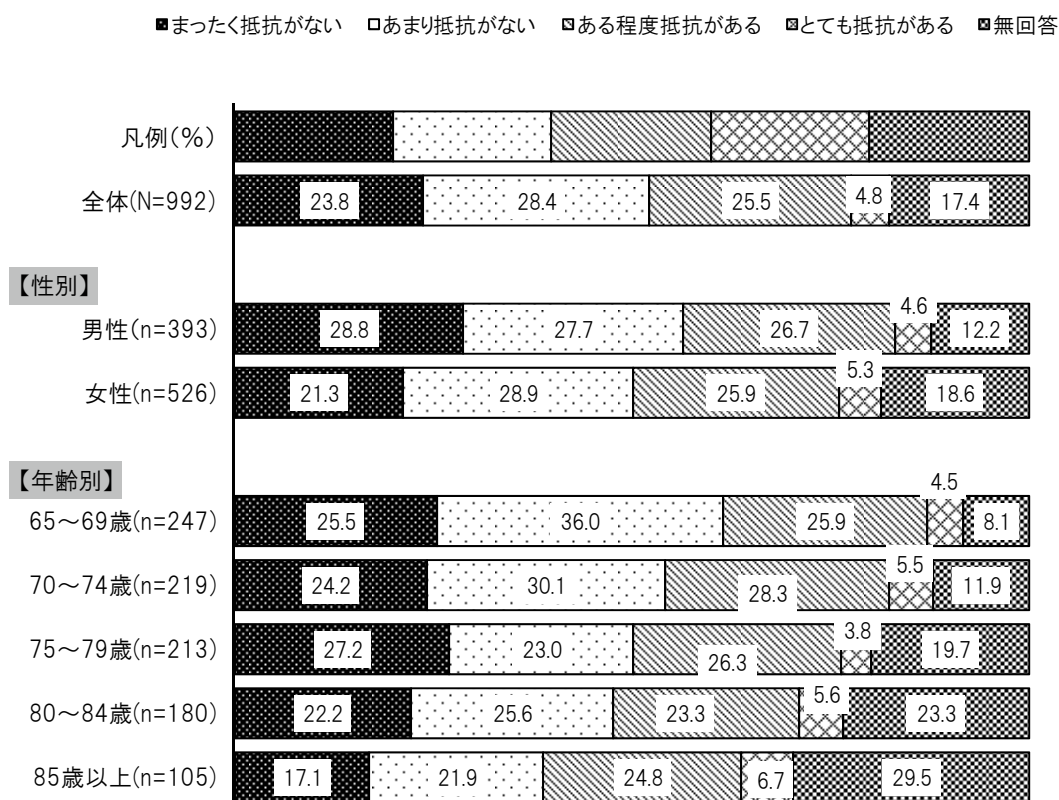


③家族を介護することへの抵抗度

家族を介護することへの抵抗度は、「まったく抵抗がない」が23.8%、「あまり抵抗がない」が28.4%で、合わせると『抵抗がない』は52.2%となっています。一方、「とても抵抗がある」が4.8%、「ある程度抵抗がある」が25.5%で、合わせると『抵抗がある』は30.3%となっています。

性別では、男性は『抵抗がない』は56.5%、女性が50.2%と男性がやや多くなっています。

年齢別では、65～69歳は『抵抗がない』が61.5%と6割を超えていますが、年齢が上がるほど少なくなり、85歳以上では39.0%に減少しています。年齢が上がるほど「無回答」が多くなって85歳以上では29.5%となっています。

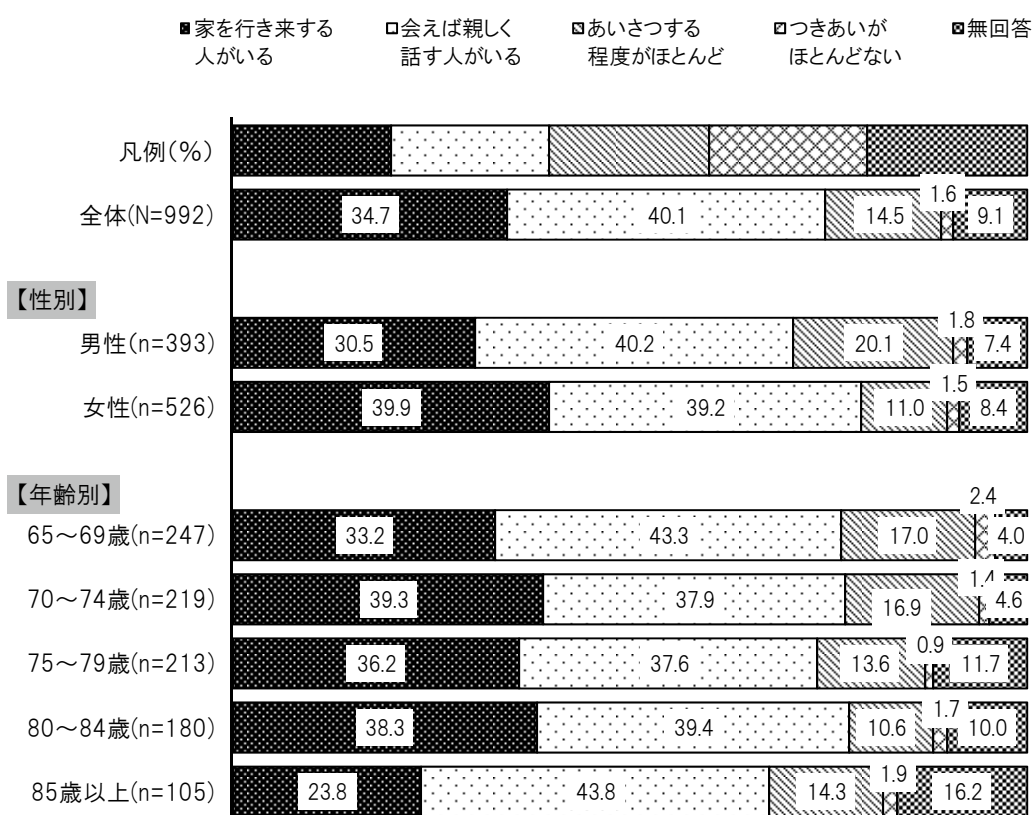


④近所づきあいの程度

近所づきあいの程度は、「会えば親しく話す人がいる」が40.1%で最も多く、「家を行き来する人がいる」が34.7%、「あいさつする程度がほとんど」が14.5%となっています。

性別では、女性は男性に比べて「家を行き来する人がいる」が多くなっています。

年齢別では、70～84歳は「家を行き来する人がいる」が30%台後半ですが、85歳以上は23.8%と少なくなっています。65～69歳と85歳以上は「会えば親しく話す人がいる」が他の年齢よりも多くなっています。

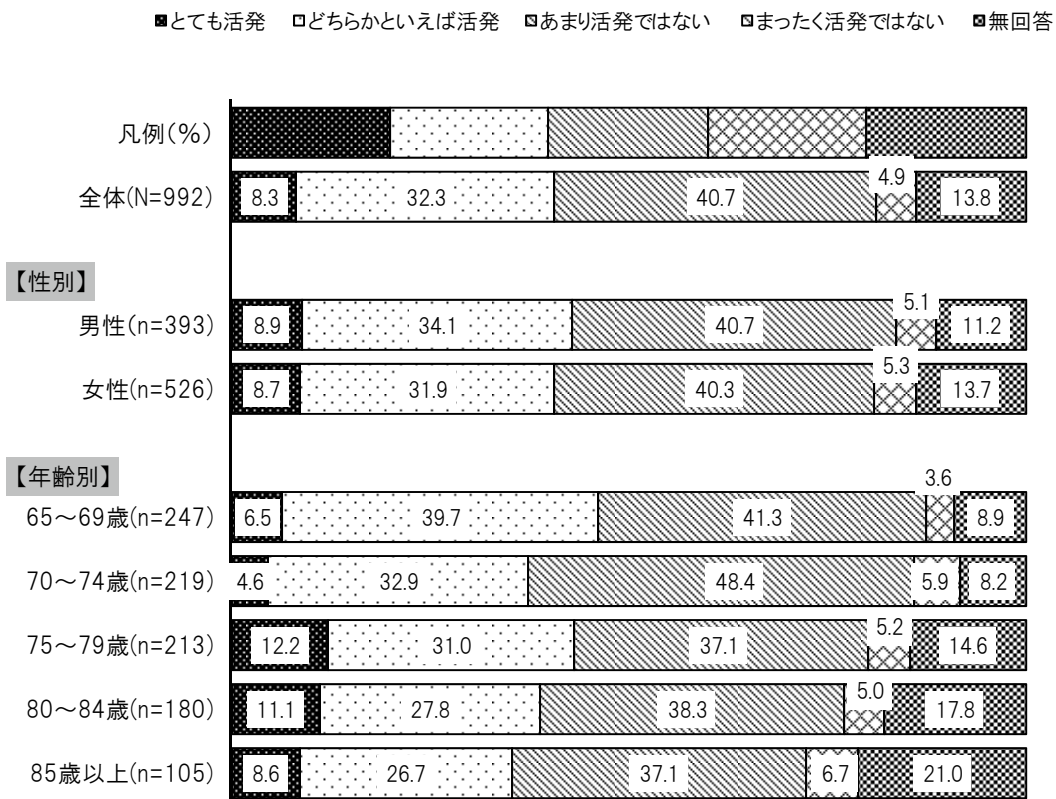


⑤地域活動・行事の活発度

地域活動や行事の活発度は、「とても活発」が8.3%、「どちらかといえば活発」が32.3%で、合わせると『活発である』は40.6%、一方「まったく活発でない」が4.9%、「あまり活発でない」が40.7%で、合わせると『活発でない』が45.6%となっています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、70～74歳がやや少ないものの、年齢が上がるほど『活発である』が少なくなっています。70～74歳は『活発でない』が54.3%と半数を超えて他の年齢と比べて最も多くなっています。

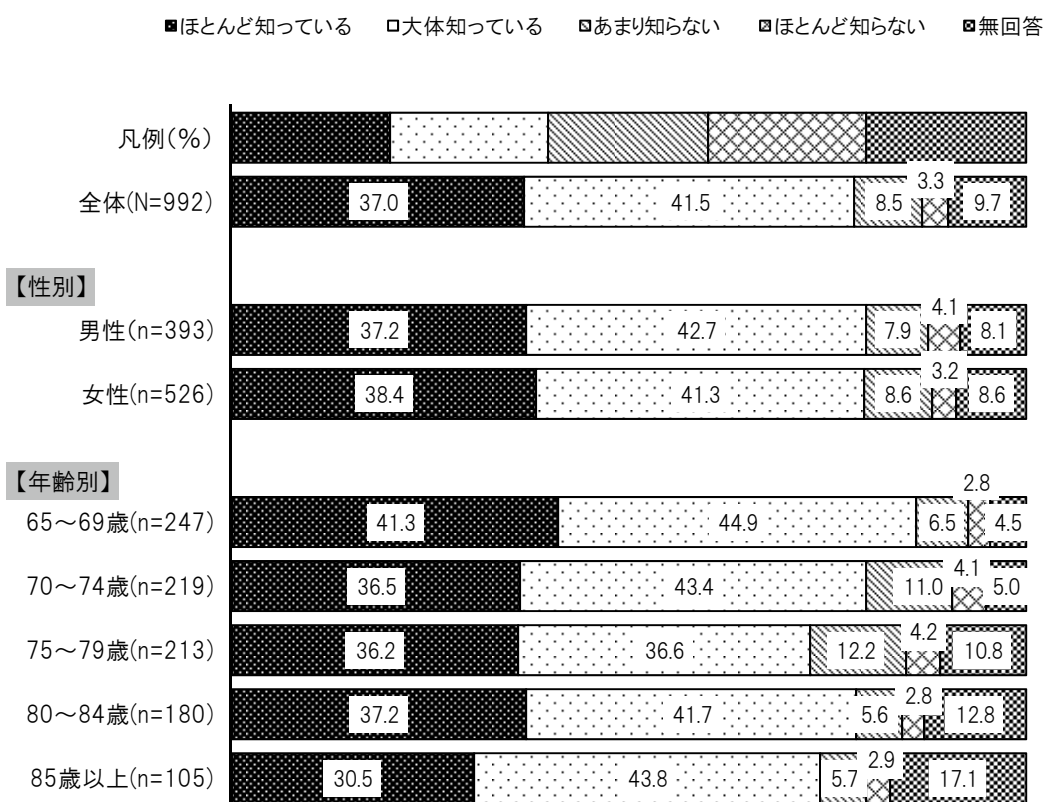


⑥隣近所の家族構成の認知度

隣近所の家族構成認知度は、「ほとんど知っている」が37.0%、「大体知っている」が41.5%で、合わせると『知っている』は78.5%と多数を占めています。一方「ほとんど知らない」が3.3%、「あまり知らない」が8.5%で、合わせると『知らない』が11.8%となっています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、65～69歳は「ほとんど知っている」が41.3%で最も多く、70～84歳は36～37%台で並び、85歳以上は30.5%で最も少なくなっています。

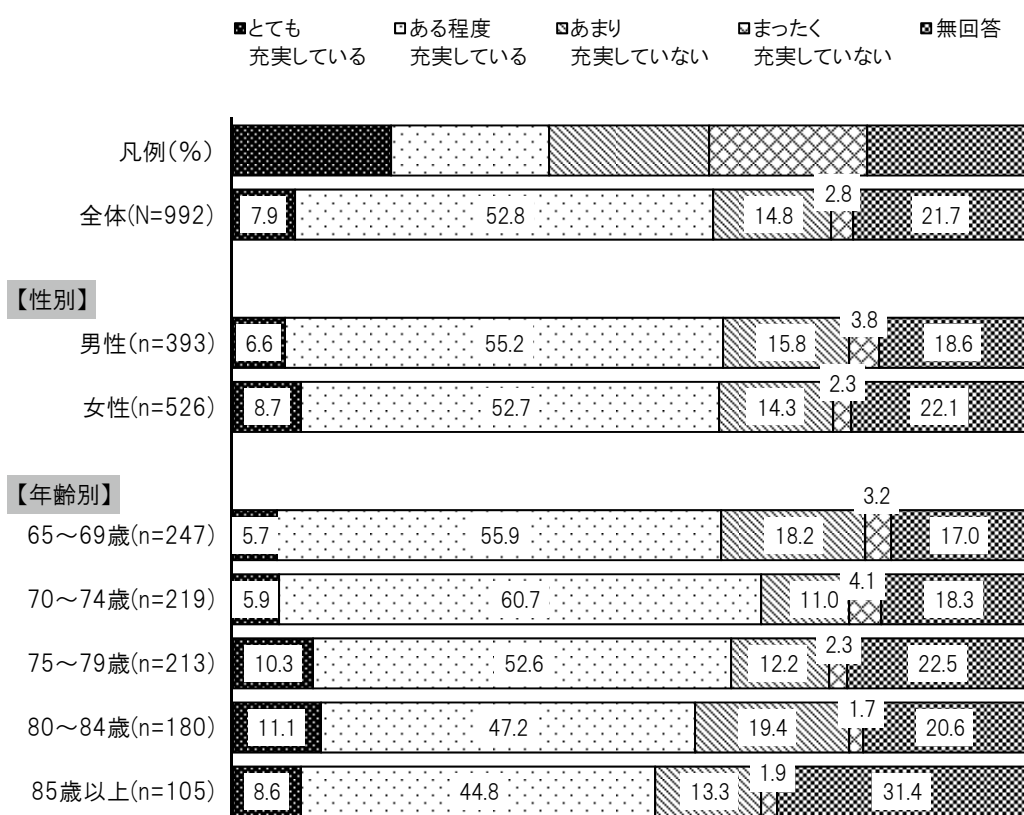


⑦介護保険サービスの充実度

介護保険サービスの充実度は、「とても充実している」が7.9%、「ある程度充実している」が52.8%で、合わせると『充実している』は60.7%、一方「まったく充実していない」が2.8%、「あまり充実していない」が14.8%で、合わせると『充実していない』が17.6%となっています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、70～74歳は『充実している』が66.6%で最も多く、以下年齢が上がるほど少なくなっています。

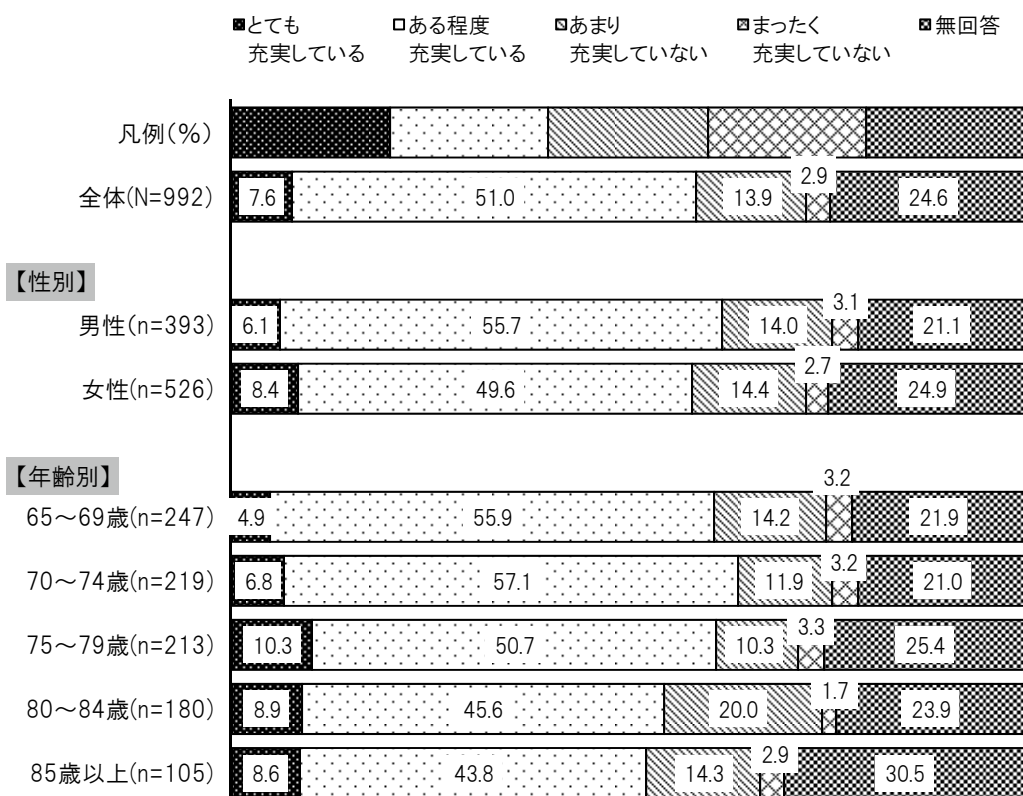


⑧介護・福祉相談窓口の充実度

介護や福祉の相談窓口の充実度は、「とても充実している」が7.6%、「ある程度充実している」が51.0%で、合わせると『充実している』は58.6%、一方「まったく充実していない」が2.9%、「あまり充実していない」が13.9%で、合わせると『充実していない』が16.8%となっています。

性別では、ほとんど差はみられません。

年齢別では、70～74歳は『充実している』が63.9%で最も多く、75～79歳が61.0%、65～69歳が60.8%と6割台ですが、80歳以上は5割台と少なくなっています。

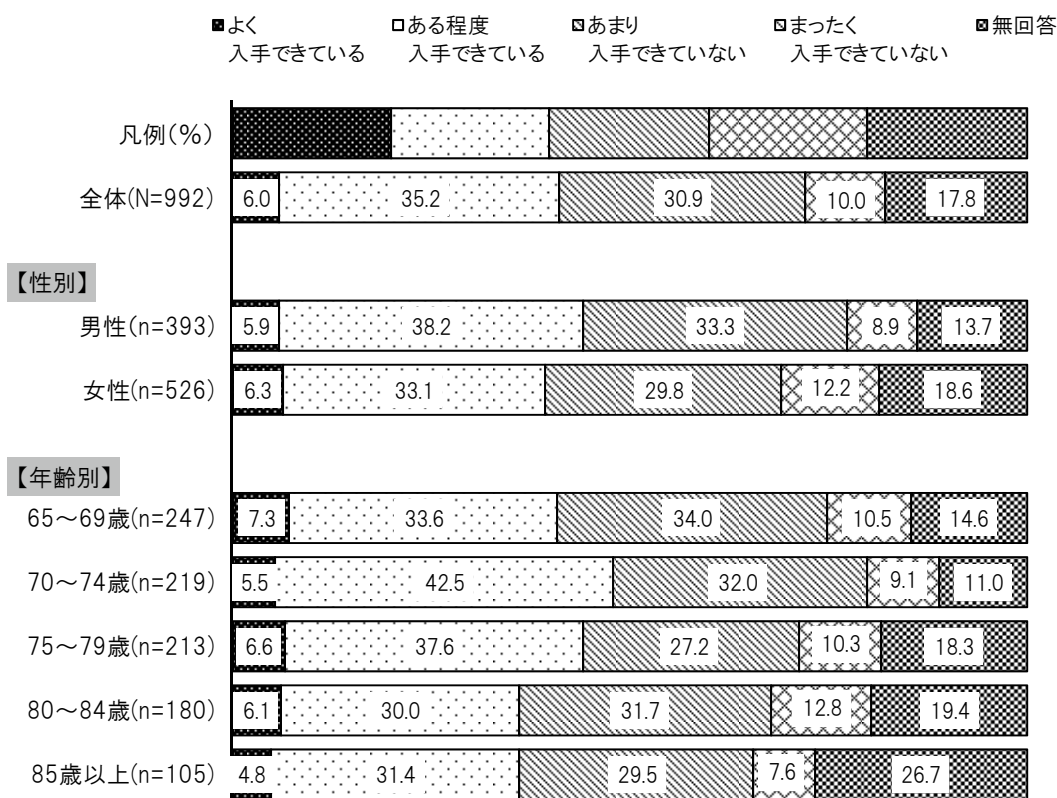


⑨介護・福祉に関する情報入手程度

介護・福祉に関する情報の入手については、「よく入手できている」が 6.0%、「ある程度入手できている」が 35.2%で、合わせると『入手できている』は 41.2%となり、一方「まったく入手できていない」が 10.0%、「あまり入手できていない」が 30.9%で、合わせると『入手できていない』が 40.9%となっています。

性別では、男性が『入手できている』がやや多くなっています。

年齢別では、70～74歳は「ある程度入手できている」が 42.5%と最も多く、『入手できている』でも 48.0%で最も多くなっています。80歳以上では『入手できている』が 36%台で少なくなっています。



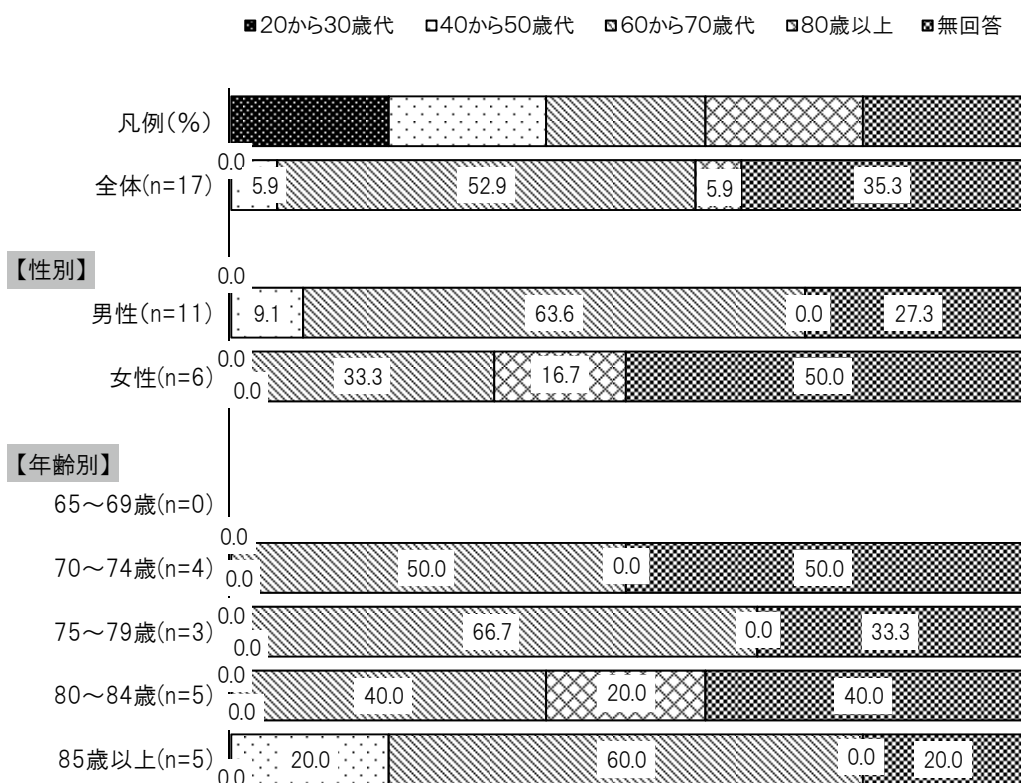
【14】《介護者対象》介護をしている状況

1. 介護者の年齢

Q1 あなた（介護をしている方）の年齢はおいくつですか（1つに○）

介護者の年齢は、「60 から 70 歳代」が 52.9%で最も多く、「40 から 50 歳代」と「80 歳以上」がともに 5.9%となっています。

（性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です）

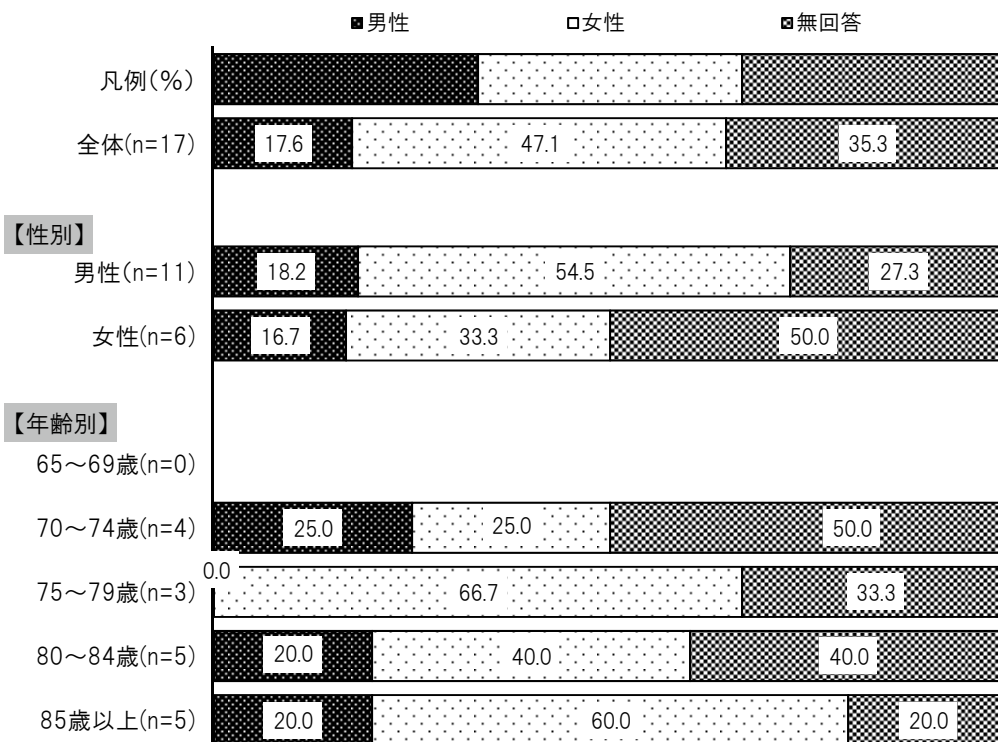


2. 介護者の性別

Q2 あなた（介護をしている方）の性別は。当てはまる方を選んでください（1つに○）

介護者の性別は、「男性」が17.6%、「女性」が47.1%です。

（性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です）

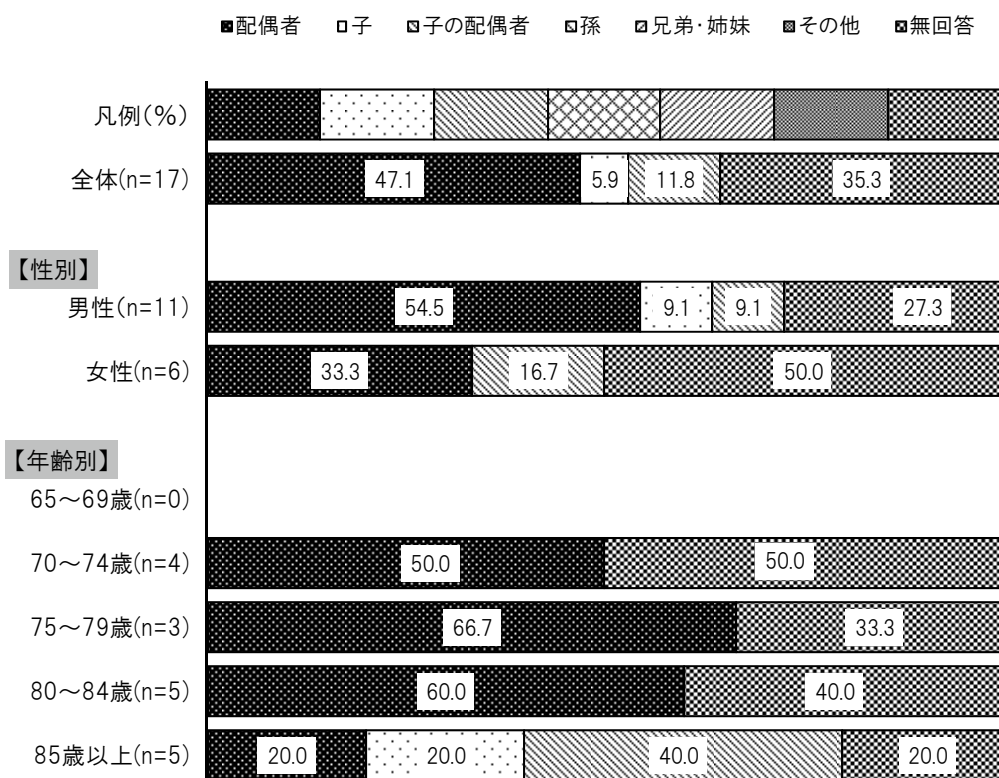


3. 介護を受けている人からみた介護者の続柄

Q3 介護を受けている方ご本人からみた、あなた（介護をしている方）の続柄は（1つに○）

介護を受けている人からみた介護者の続柄は、「配偶者」が47.1%で最も多く、「子の配偶者」が11.8%、「子」が5.9%となっています。

（性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です）



4. 介護者の家族状況

Q4 Q3で「2子」、「3子の配偶者」、「4孫」と答えた方にお尋ねします。あなた（介護をしている方）の家族状況についてうかがいます

(1) 介護している人数

介護者が介護している人数は、平均介護人数は1.0人となっています。（ただし、この質問での該当回答サンプルは3人です）

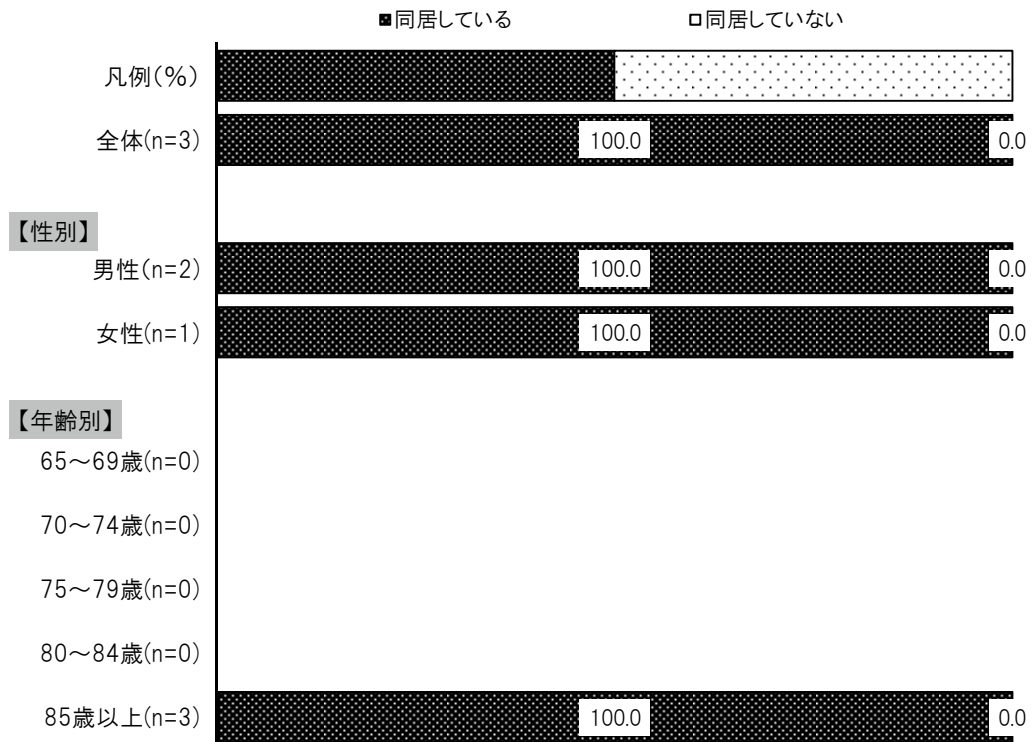
（性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です）

介護している人数 (何人介護しているか)		サ ン プ ル 数	平 均
区分			
全体(N=992)		3	1.0
性別	男性(n=393)	2	1.0
	女性(n=526)	1	1.0
年齢別	69歳以下(n=247)	-	-
	70～74歳(n=219)	-	-
	75～79歳(n=213)	-	-
	80～84歳(n=180)	-	-
	85歳以上(n=105)	3	1.0

(2) 介護を受けている人との同居について

介護を受けている人との同居状況は、「同居している」が 100.0%です。(ただし、この質問での該当回答サンプルは3人です)

(性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です)



(2) 介護者の家族構成

介護者の家族人数は、平均 3.67 人です。(ただし、この質問での該当回答サンプルは 3 人です)

(性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です)

介護者の家族人数		人
区分		
全体(N=3)		3.67
性別	男性(n=2)	2.50
	女性(n=1)	6.00
年齢別	69歳以下(n=0)	-
	70～74歳(n=0)	-
	75～79歳(n=0)	-
	80～84歳(n=0)	-
	85歳以上(n=3)	3.67

介護者の家族構成は、「母」が1人、「配偶者」が1人、「兄弟・姉妹」が1人となっています。(ただし、この質問での該当回答サンプルは3人です)

(性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です)

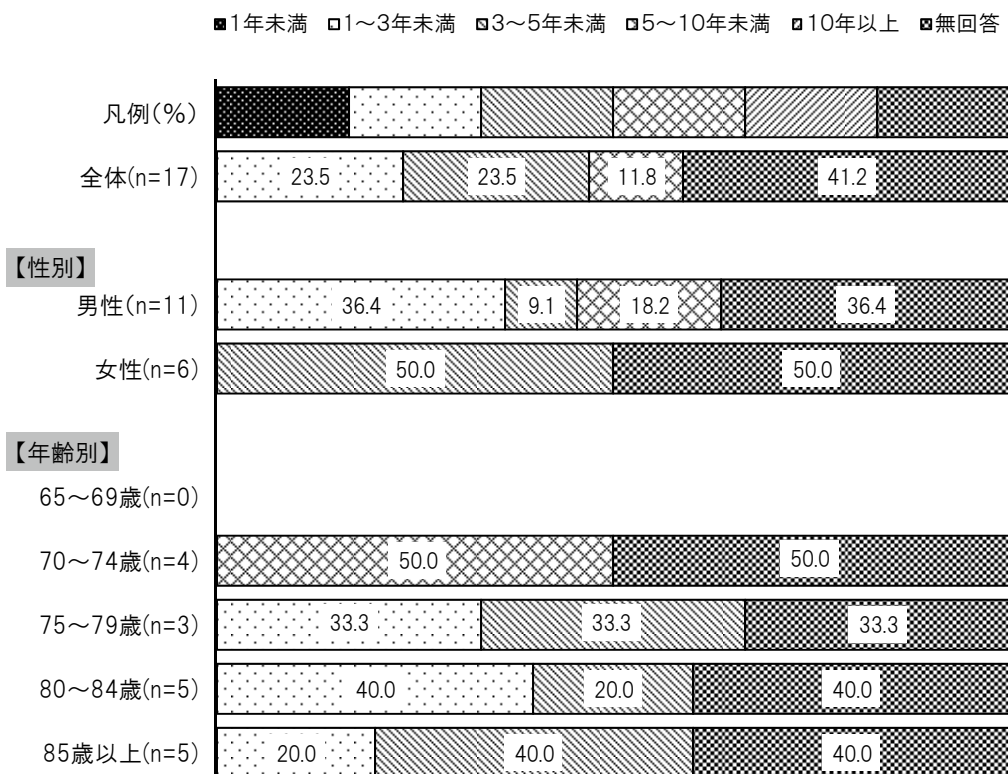
同居されている方 区分		(%)							
		母	配偶者 (夫・妻)	兄弟・ 姉妹	父	子	子の 配偶者	祖 父母	そ 他
全体(n=3)		33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=2)	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性(n=1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	69歳以下(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75～79歳(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80～84歳(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	85歳以上(n=3)	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5. 介護者の介護期間

Q5 介護をはじめてどのくらいですか (1つに○)

介護者が介護をはじめてからの期間は、「1～3年未満」と「3～5年未満」がともに23.5%、「5～10年未満」が11.8%となっています。

(性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です)

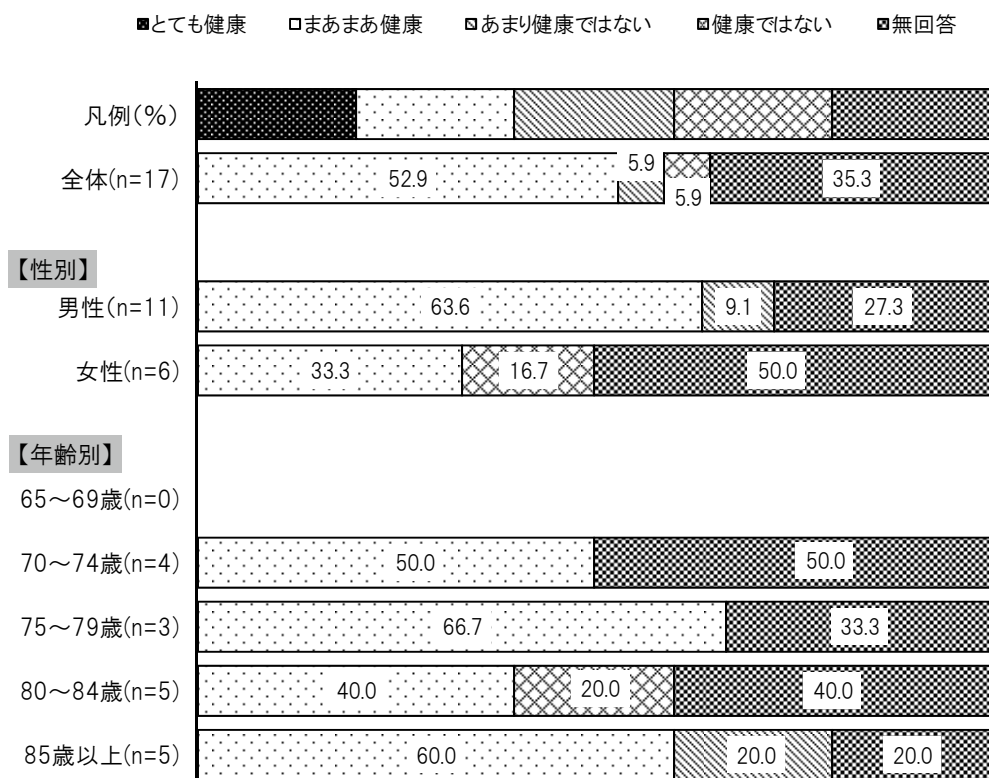


6. 介護者の健康状態

Q6 あなた（介護をしている方）ご自身の現在の健康状態はどうか（1つに○）

介護者の健康状態は、「まあまあ健康」が52.9%、「あまり健康でない」と「健康でない」がともに5.9%となっています。

（性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です）

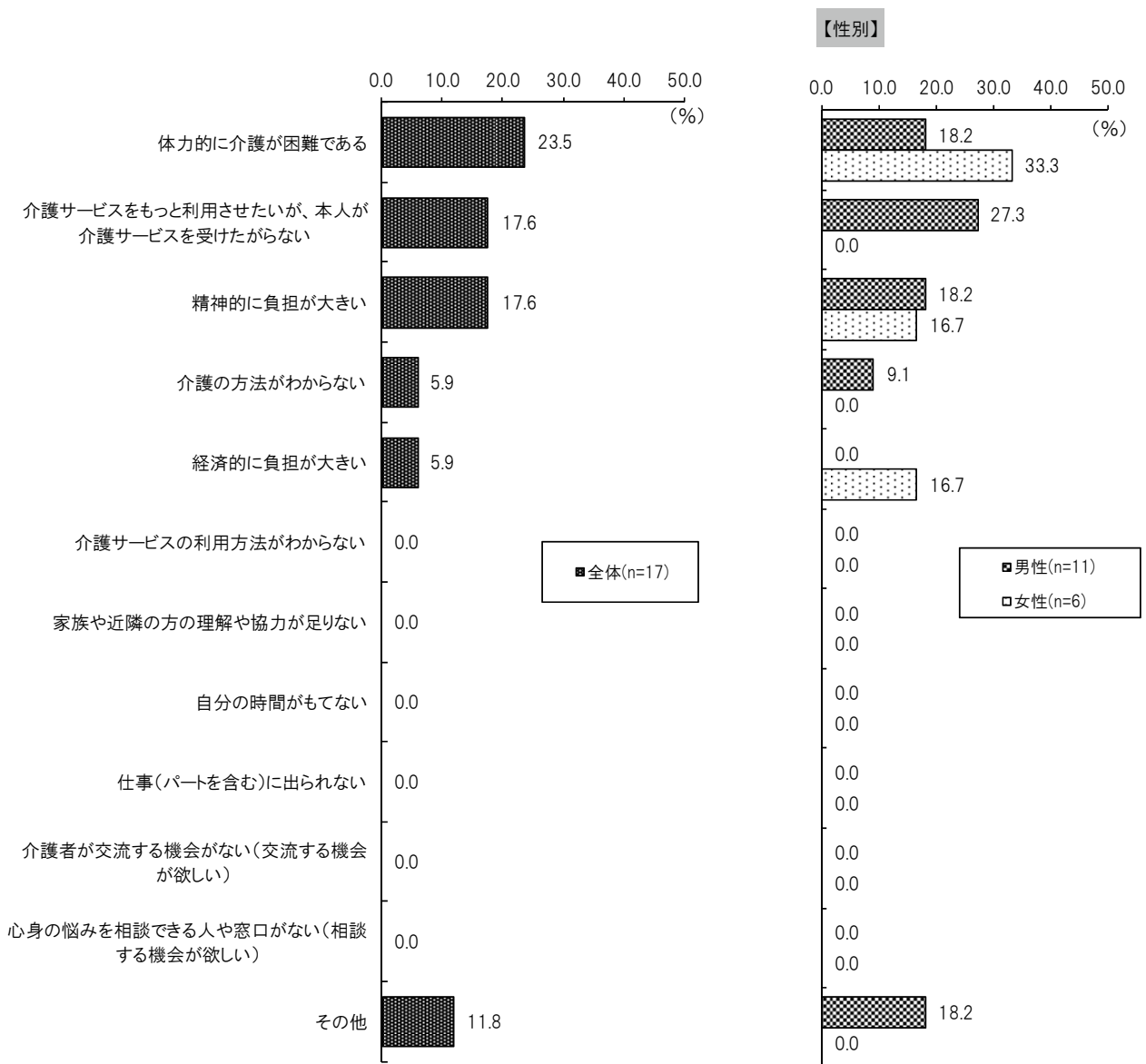


7. 介護で困っていること・望んでいること

Q7 介護を行う上で困っていることや望んでいることはなんですか（3つまでに○）

介護で困っていること・望んでいることは、「体力的に介護が困難である」が23.5%、「介護サービスをもっと利用させたいが、本人が介護サービスを受けたがらない」と「精神的に負担が大きい」がともに17.6%、「介護の方法がわからない」と「経済的に負担が大きい」がともに5.9%となっています。

（性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です）



(%)

区分		介護を行う上で困っていること・望んでいること	体力的に介護が困難である	介護サービスを受けたいが、本人が介護サービスを受けない	精神的に負担が大きい	介護の方法がわからない	経済的に負担が大きい	介護サービスの利用方法がわからない	家族や近隣の方の理解や協力が足りない	自分の時間がもてない	仕事（パートを含む）に出られない
全体(n=17)			23.5	17.6	17.6	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=11)		18.2	27.3	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性(n=6)		33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	69歳以下(n=0)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(n=4)		25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	75～79歳(n=3)		66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	80～84歳(n=5)		20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	85歳以上(n=5)		0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(%)

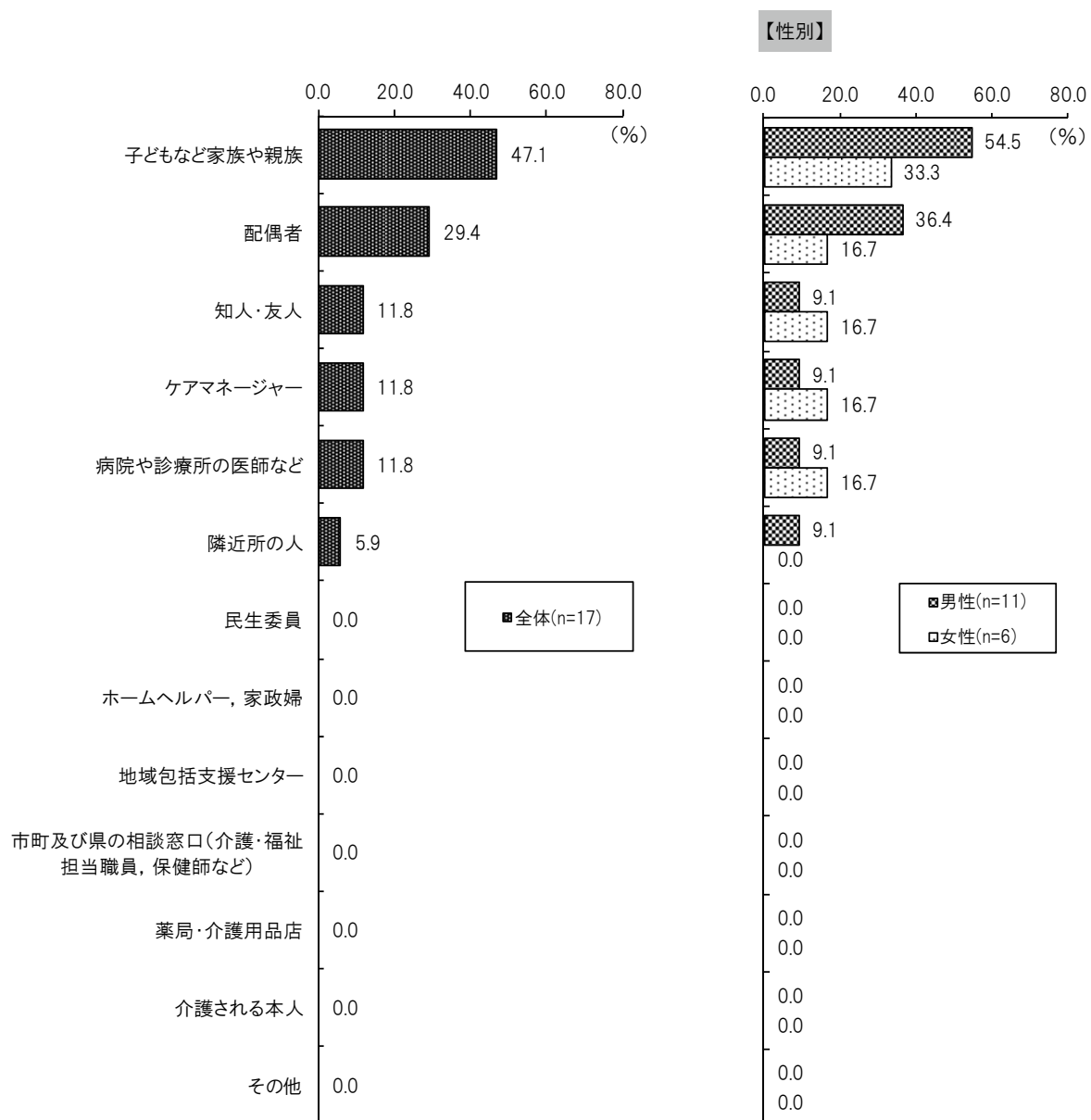
区分		介護を行う上で困っていること・望んでいること	（介護者が交流する機会が欲しい）	（窓心口が交流する機会がない）	（窓心口が交流する機会がない）	その他
全体(n=17)			0.0	0.0		11.8
性別	男性(n=11)		0.0	0.0		18.2
	女性(n=6)		0.0	0.0		0.0
年齢別	69歳以下(n=0)		0.0	0.0		0.0
	70～74歳(n=4)		0.0	0.0		25.0
	75～79歳(n=3)		0.0	0.0		33.3
	80～84歳(n=5)		0.0	0.0		0.0
	85歳以上(n=5)		0.0	0.0		0.0

8. 介護の相談相手

Q8 困ったとき、誰に相談していますか (3つまでに○)

介護の相談相手は、「子どもなど家族や親族」が47.1%、「配偶者」が29.4%、「知人・友人」「ケアマネジャー」「病院や診療所の医師など」がともに11.8%、「隣近所の人」が5.9%となっています。

(性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です)



(%)

区分		相談相手	子どもなど家族や親族	配偶者	知人・友人	ケアマネジャー	ど病院や診療所の医師な	隣近所の人	民生委員	婦ホームヘルパー、家政	地域包括支援センター
		全体(n=17)		47.1	29.4	11.8	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0
性別	男性(n=11)	54.5	36.4	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	
	女性(n=6)	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢別	69歳以下(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	70～74歳(n=4)	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
	75～79歳(n=3)	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80～84歳(n=5)	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	85歳以上(n=5)	60.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(%)

区分		相談相手	員（市町及び保健師など）	薬局・介護用品店	介護される本人	その他
		全体(n=17)		0.0	0.0	0.0
性別	男性(n=11)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性(n=6)	0.0	0.0	0.0	0.0	
年齢別	69歳以下(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	70～74歳(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	75～79歳(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80～84歳(n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	
	85歳以上(n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	

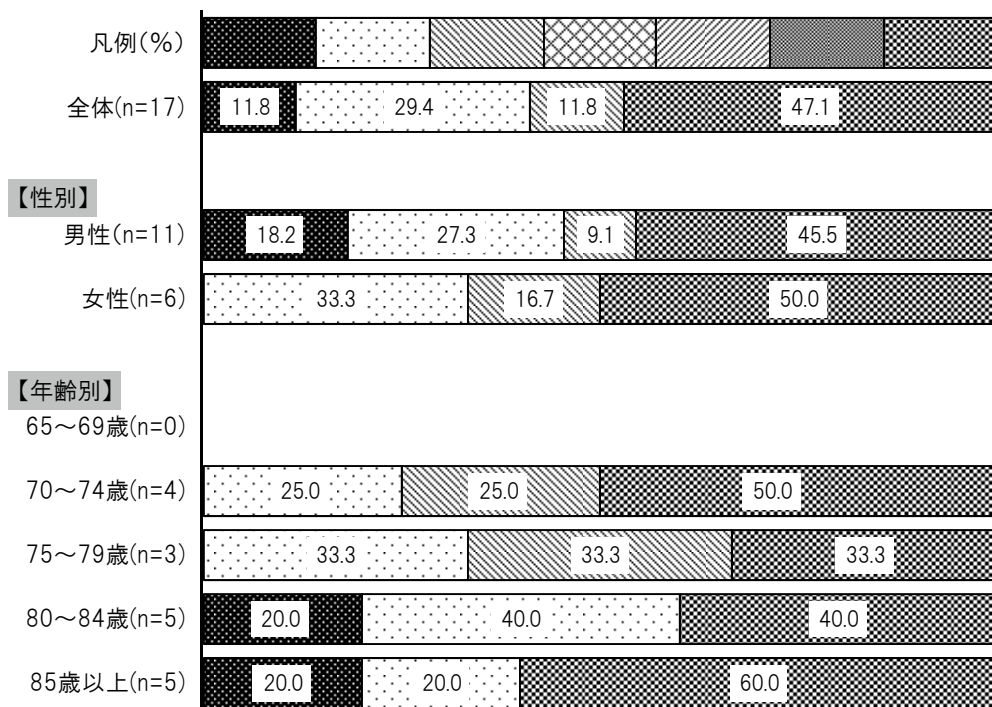
9. 今後の介護方法

Q9 今後、どのような介護をしたいと思いますか (1つに○)

今後の介護方法は、「介護保険サービス（ホームヘルパー等）や福祉サービスを活用しながら在宅で介護したい」が 29.4%、「なるべく家族のみで、在宅で介護したい」と「グループホームのように小規模で家庭的な施設に入所させたい」がともに 11.8% となっています。

(性別、年齢別は回答サンプルが少数のため数値は参考値です)

- なるべく家族のみで、在宅で介護したい
- 介護保険サービス(ホームヘルパー等)や福祉サービスを活用しながら在宅で介護したい
- ▣グループホームのように小規模で家庭的な施設に入所させたい
- ▤特別養護老人ホームや老人保健施設などの大きな施設に入所(院)させたい
- ▥要介護にならない(自立)配偶者と一緒に生活できる施設に入所させたい
- その他
- 無回答



Ⅲ 認定者の調査結果

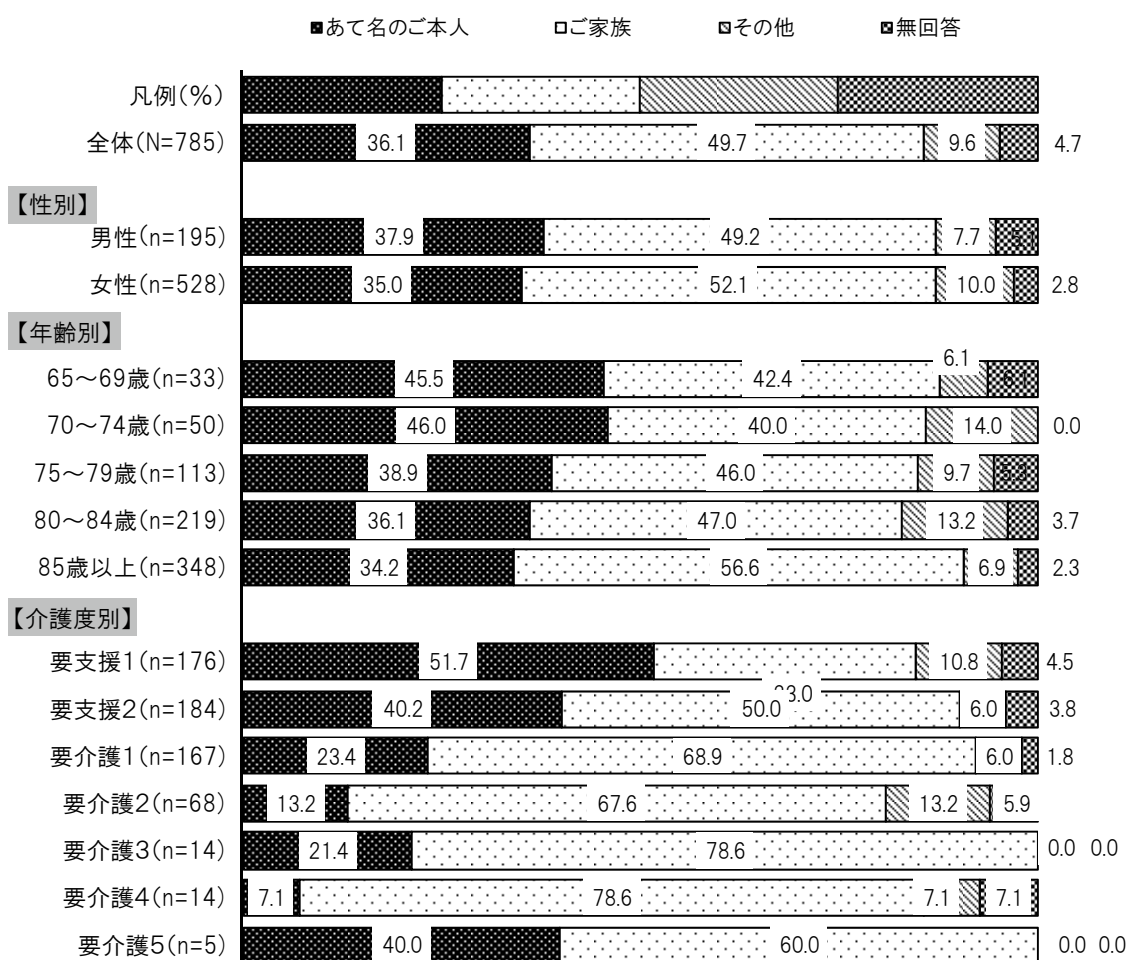
【1】属性

1. 調査票の記入者

調査票の記入者は、「あて名のご本人」が36.1%、「ご家族」が49.7%、「その他」が9.6%となっています。

年齢別では、65～69歳は「あて名のご本人」が45.5%、70～74歳は46.0%ですが、75～79歳は38.9%、80～84歳は36.1%と高年齢になるにしたがって少なくなり、85歳以上では34.2%となっています。

介護度別ではより大きな差があり、要支援1は「あて名のご本人」が51.7%となっているのに対し、要支援2は40.2%、要介護1は23.4%、要介護2は13.2%と少なくなっています。

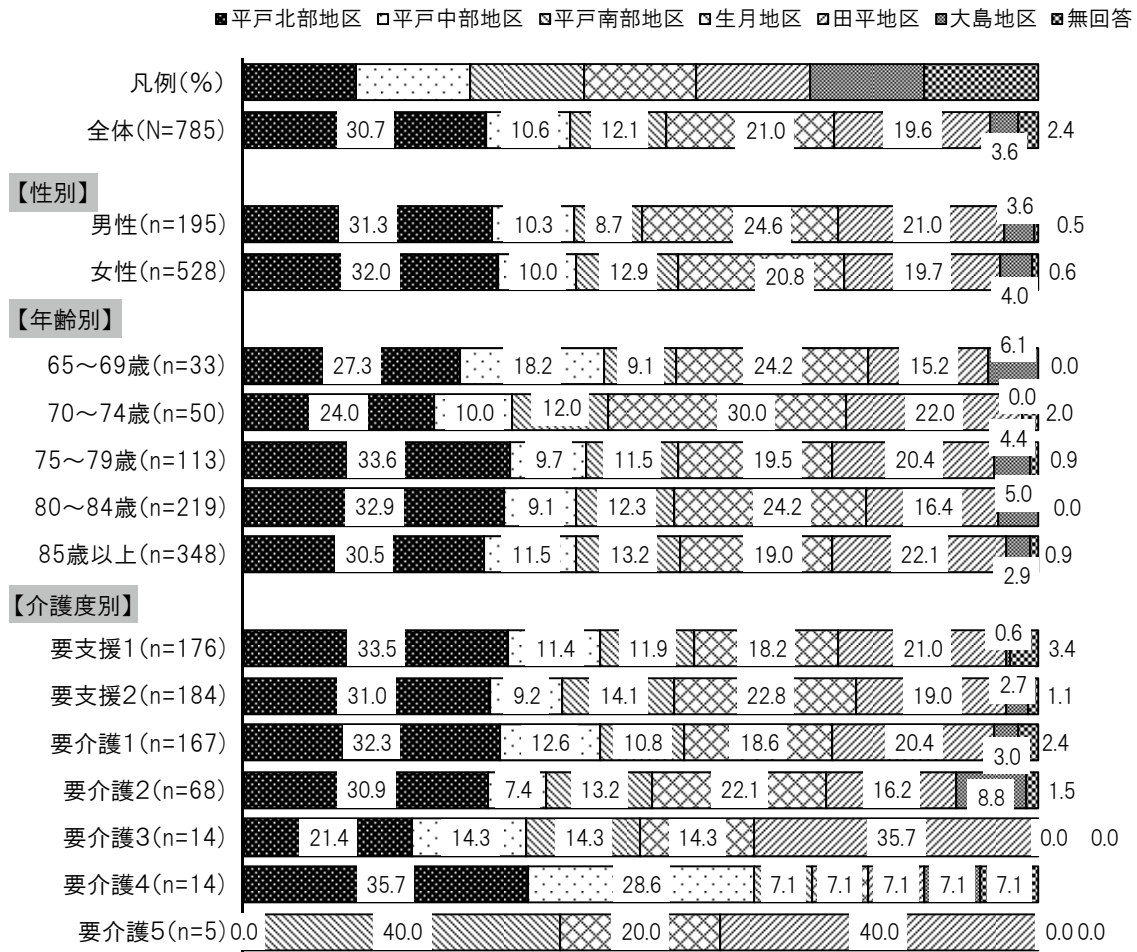


2. 居住地構成

回答者の居住地構成は、「平戸北部地区」が30.7%と最も多く、ついで「生月地区」が21.0%、「田平地区」が19.6%、「平戸南部地区」が12.1%、「平戸中部地区」が10.6%、「大島地区」が3.6%となっています。

年齢別では、70～74歳は「生月地区」が30.0%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除くと、明確な傾向はみられません。

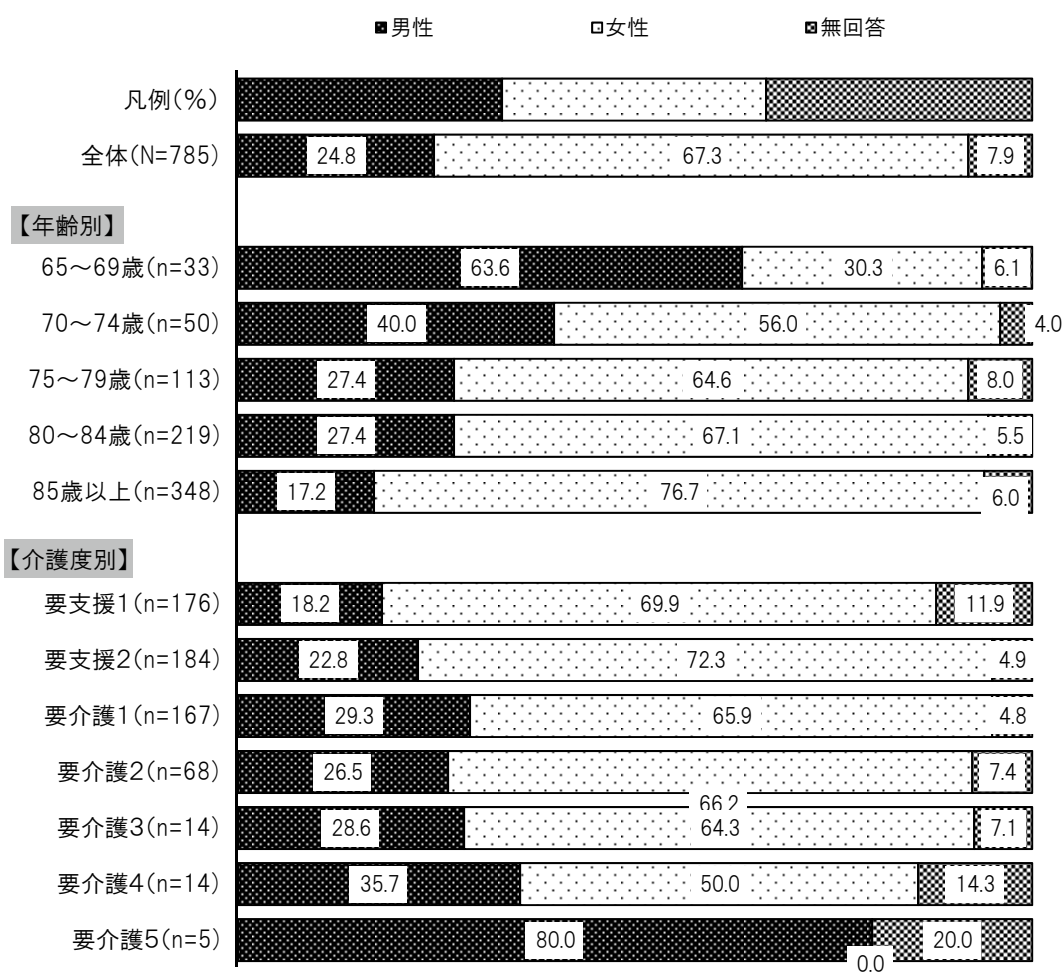


3. 性別構成

性別構成は、「男性」が24.8%、「女性」が67.3%となっています。

年齢別では年齢が上がるほど女性の割合が高くなっており、65～69歳は「男性」が63.6%、「女性」が30.3%に対し、85歳以上は「男性」が17.2%、「女性」が76.7%となっています。

介護度別では、介護度が高いほど「男性」の割合が高くなる傾向がみられ、要支援1は「男性」が18.2%と少数であるのに対し、要介護4は35.7%、要介護5は80.0%と多くなっています。

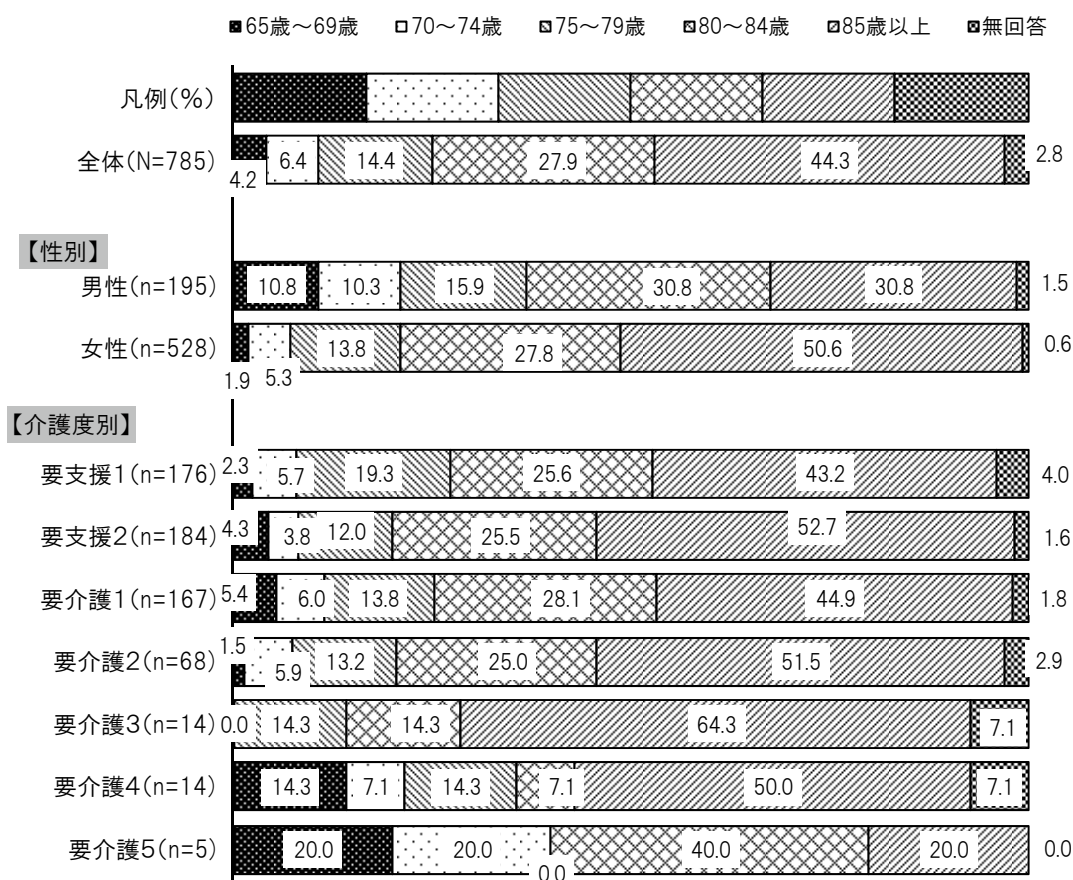


4. 年齢別構成

年齢別構成は、「85歳以上」が44.3%で最も多く、ついで「80歳～84歳」が27.9%、「75歳～79歳」が14.4%、「70歳～74歳」が6.4%、「65歳～69歳」が4.2%となっています。

性別では、男性は「85歳以上」が30.8%であるのに対し、女性は50.6%となっており、女性の平均年齢が高くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「85歳以上」の占める割合が高くなっています。



【2】 家族や生活状況

1. 家族構成等

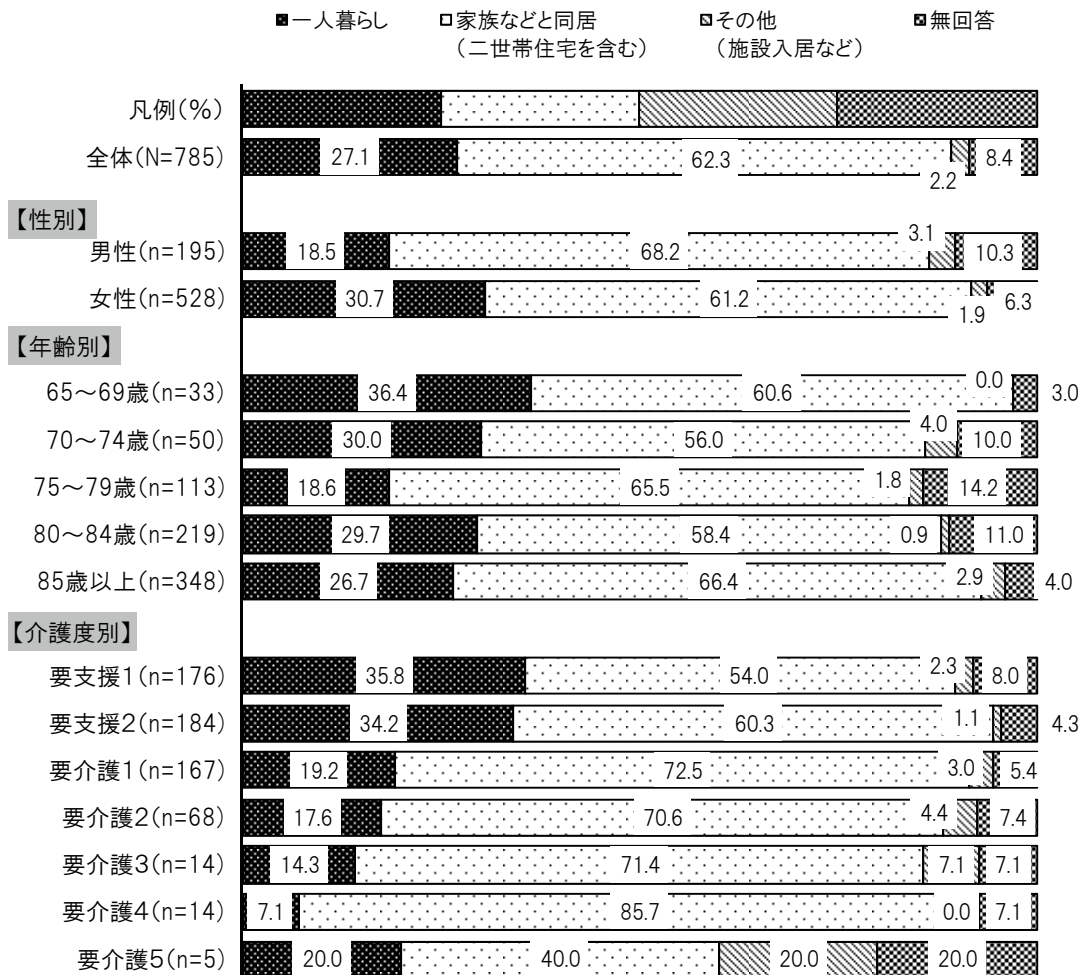
Q 1 家族構成をお教えてください

家族構成は、「一人暮らし」が27.1%、「家族などと同居(二世帯住宅を含む)」が62.3%、「その他(施設入居など)」が2.2%となっています。

性別では、男性は「一人暮らし」が18.5%と少なくなっています。

年齢別では、65～69歳は「一人暮らし」が36.4%と多く、逆に75～79歳は18.6%に止まります。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「一人暮らし」の割合が少なくなっています。



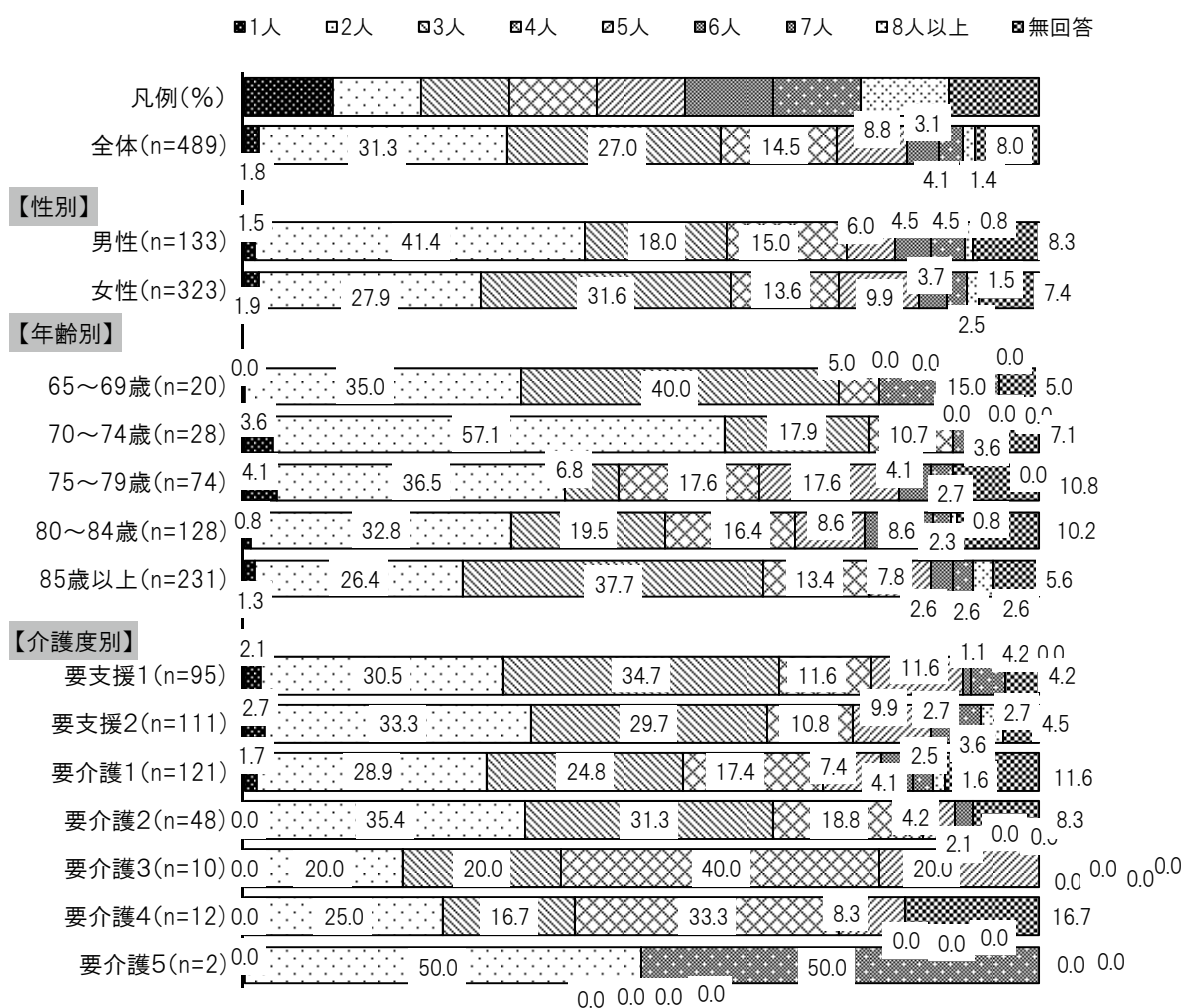
Q1-1 (家族など同居されている方のみ) ご自分を含めて何人で暮らしていますか
また、同居されている方はどなたですか (いくつでも)

同居している家族人数は、「2人」が31.3%と最も多く、ついで「3人」が27.0%、「4人」が14.5%、「5人」が8.8%となっています (他は回答率5%未満)。

性別では、男性は「2人」が41.4%と多く、女性は「3人」が31.6%と多くなっています。

年齢別では、70~74歳は「2人」が57.1%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除くと、明確な傾向はみられません。

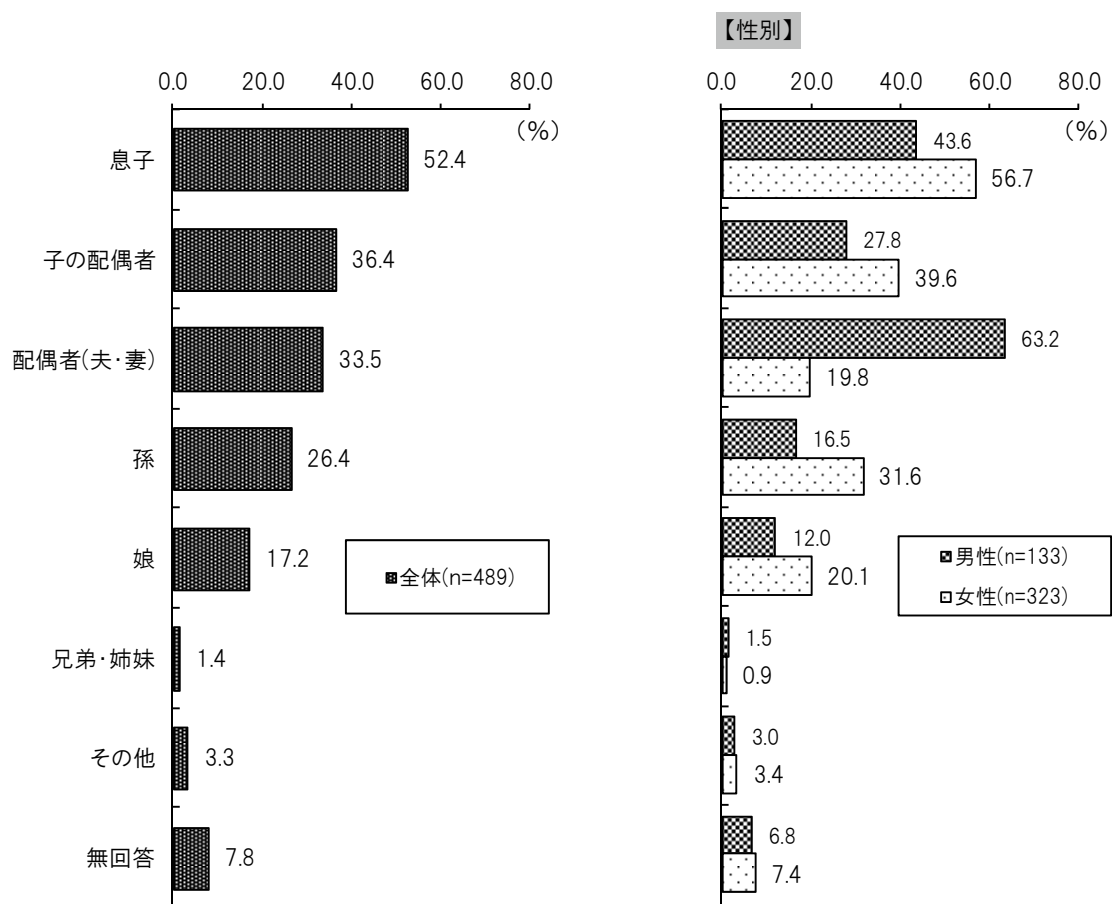


同居家族構成は、「息子」が52.4%と最も多く、「子の配偶者」が36.4%、「配偶者(夫・妻)」が33.5%、「孫」が26.4%、「娘」が17.2%、「兄弟・姉妹」が1.4%、「その他」が3.3%となっています。

性別では、男性は「配偶者(夫・妻)」が63.2%と多く、逆に女性は19.8%に止まります。

年齢別では、65～69歳と70～74歳は「配偶者(夫・妻)」がそれぞれ60.0%、67.9%と多く、それ以上の年齢では「息子」が多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除くと、明確な傾向はみられません。



(%)

区分		同居家族	息子	子の配偶者	妻（配偶者） （夫・	孫	娘	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体(n=489)			52.4	36.4	33.5	26.4	17.2	1.4	3.3	7.8
性別	男性(n=133)		43.6	27.8	63.2	16.5	12.0	1.5	3.0	6.8
	女性(n=323)		56.7	39.6	19.8	31.6	20.1	0.9	3.4	7.4
年齢別	65～69歳(n=20)		35.0	20.0	60.0	15.0	25.0	0.0	10.0	10.0
	70～74歳(n=28)		32.1	10.7	67.9	7.1	14.3	7.1	0.0	7.1
	75～79歳(n=74)		52.7	37.8	48.6	29.7	9.5	0.0	0.0	9.5
	80～84歳(n=128)		46.9	30.5	43.0	28.9	12.5	2.3	4.7	10.9
	85歳以上(n=231)		59.3	43.3	16.9	27.3	22.1	0.9	3.5	5.2
介護度別	要支援1(n=95)		56.8	31.6	32.6	29.5	15.8	1.1	1.1	3.2
	要支援2(n=111)		55.0	39.6	30.6	24.3	21.6	0.9	6.3	4.5
	要介護1(n=121)		51.2	43.0	32.2	29.8	16.5	0.0	2.5	8.3
	要介護2(n=48)		54.2	39.6	31.3	10.4	16.7	2.1	0.0	14.6
	要介護3(n=10)		50.0	50.0	40.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	要介護4(n=12)		58.3	50.0	33.3	25.0	25.0	0.0	0.0	8.3
	要介護5(n=2)		0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0

2. 日中、一人になること

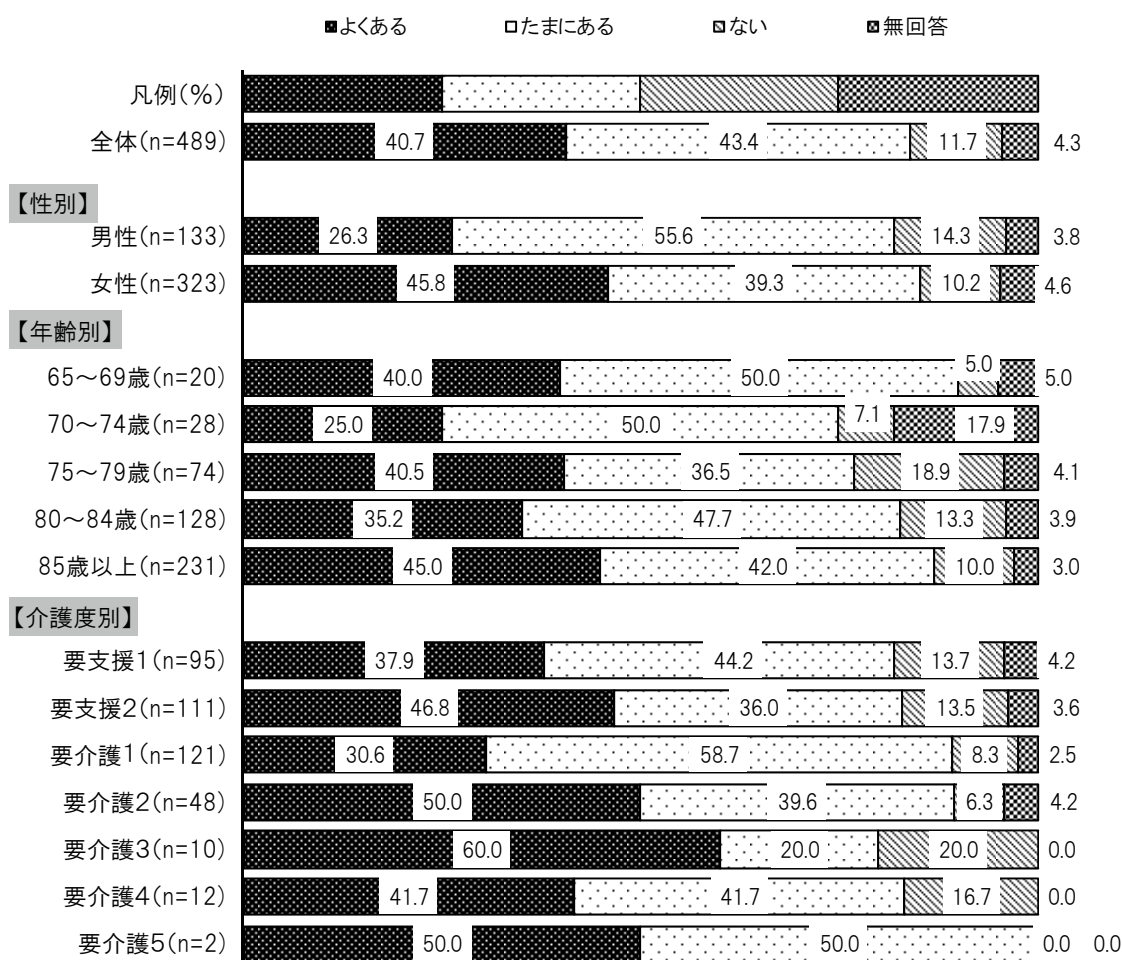
Q1-2 (家族などと同居されている方のみ) 日中、一人になることがありますか

家族などと同居されている方が、日中、一人になることが「よくある」は40.7%、「たまにある」が43.4%で、合わせると84.1%が一人になることがあると回答しており、「ない」は11.7%に止まります。

性別では、男性は「よくある」が26.3%と少なくなっています。

年齢別では70～74歳は「ない」が17.9%と多くなっています。

介護度別では、明確な傾向はみられません。



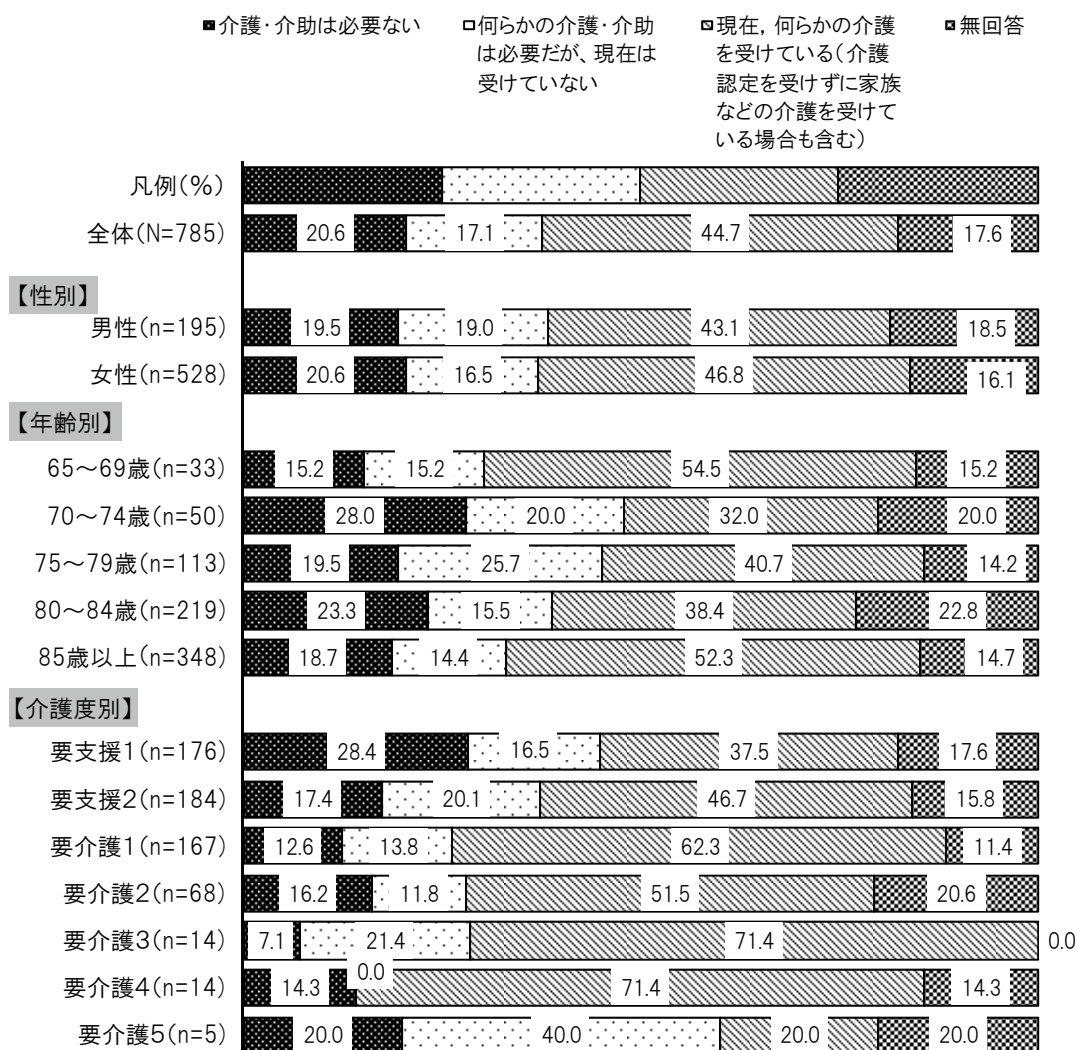
3. 介護・介助の必要性

Q 2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

「介護・介助は必要ない」が 20.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の 17.1%と「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家事などの介護を受けている場合も含む）」の 44.7%を合計すると、『介護・介助が必要』は 61.8%と 6 割を上回っています。

年齢別では、65～69 歳は「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家事などの介護を受けている場合も含む）」が 54.5%で他の年齢に比べ多くなっています。

介護度別では、要支援 1 は「介護・介助は必要ない」が 28.4%と多く、回答数が少ない要介護 5 を除き、要介護 1 以上で過半数が「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家事などの介護を受けている場合も含む）」と回答しています。

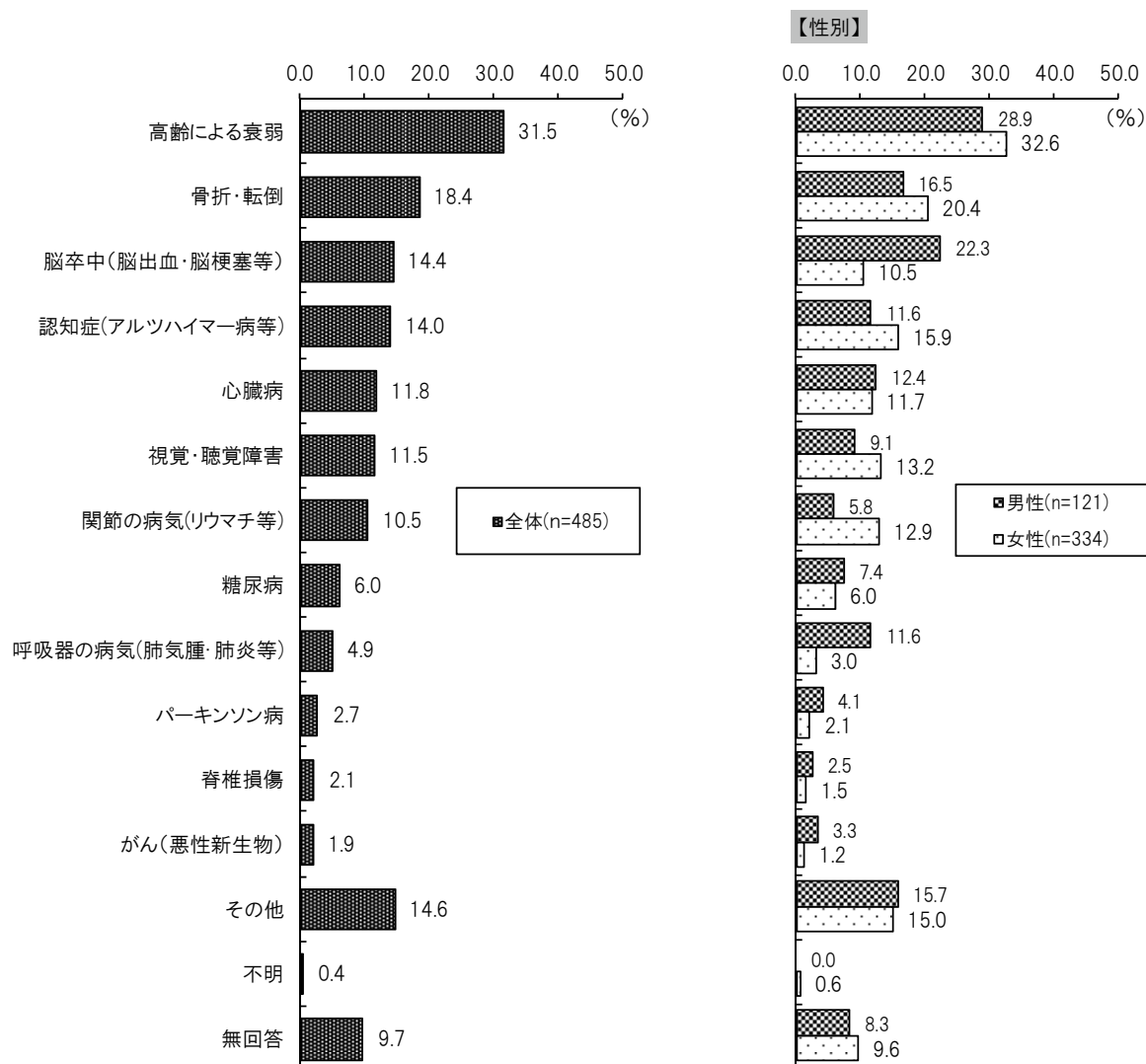


4. 介護・介助が必要な主な原因

Q2-1 (介護・介助が必要な方のみ) 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」が31.5%と最も多く、「骨折・転倒」が18.4%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が14.4%、「認知症(アルツハイマー病等)」が14.0%、「心臓病」が11.8%、「視覚・聴覚障害」が11.5%、「関節の病気(リウマチ等)」が10.5%となっています。

性別では、男性は「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」の22.3%や「呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)」の11.6%が女性の倍以上と多くなっています。女性は「関節の病気(リウマチ等)」が12.9%と男性を大幅に上回っています。



年齢別では、60～69歳は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が60.9%、70～74歳は「心臓病」が23.1%、「視覚・聴覚障害」が19.2%、85歳以上は「高齢による衰弱」が43.5%と多くなっています。

介護度別では、要介護1は「認知症（アルツハイマー病等）」が27.6%、要介護2は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が32.6%、要介護3は「高齢による衰弱」が53.8%と多くなっています。

介護・介助の主な原因 区分		(%)									
		弱高齢による衰	骨折・転倒	等血脳卒 等ハイマ 等ツ知症 等ハイマ 等ツ知症 等ハイマ 等ツ知症	心臓病	害視 害聴	等（関 等（リ 等（ウ 等（節 等（の 等（病 等（チ 等（気	糖 尿 病	炎（呼 等（肺 等（吸 等（器 等（腫 等（の 等（病 等（肺 等（気	病 バ ー キ ン ソ ン	
全体(n=485)		31.5	18.4	14.4	14.0	11.8	11.5	10.5	6.0	4.9	2.7
性別	男性(n=121)	28.9	16.5	22.3	11.6	12.4	9.1	5.8	7.4	11.6	4.1
	女性(n=334)	32.6	20.4	10.5	15.9	11.7	13.2	12.9	6.0	3.0	2.1
年齢別	65～69歳(n=23)	8.7	8.7	60.9	4.3	0.0	4.3	8.7	8.7	0.0	4.3
	70～74歳(n=26)	11.5	19.2	23.1	7.7	23.1	19.2	11.5	11.5	7.7	0.0
	75～79歳(n=75)	13.3	16.0	18.7	18.7	10.7	6.7	12.0	8.0	8.0	6.7
	80～84歳(n=118)	30.5	14.4	12.7	16.1	10.2	13.6	8.5	7.6	5.1	1.7
	85歳以上(n=232)	43.5	22.4	7.8	13.8	13.4	12.5	11.2	3.9	4.3	2.2
介護度別	要支援1(n=95)	34.7	16.8	9.5	6.3	14.7	11.6	17.9	3.2	3.2	1.1
	要支援2(n=123)	33.3	21.1	8.9	8.1	14.6	14.6	13.0	5.7	6.5	1.6
	要介護1(n=127)	29.1	18.1	15.0	27.6	7.9	9.4	5.5	9.4	4.7	7.1
	要介護2(n=43)	27.9	23.3	32.6	20.9	16.3	9.3	7.0	11.6	7.0	0.0
	要介護3(n=13)	53.8	23.1	15.4	7.7	7.7	0.0	15.4	0.0	7.7	7.7
	要介護4(n=10)	30.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5(n=3)	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

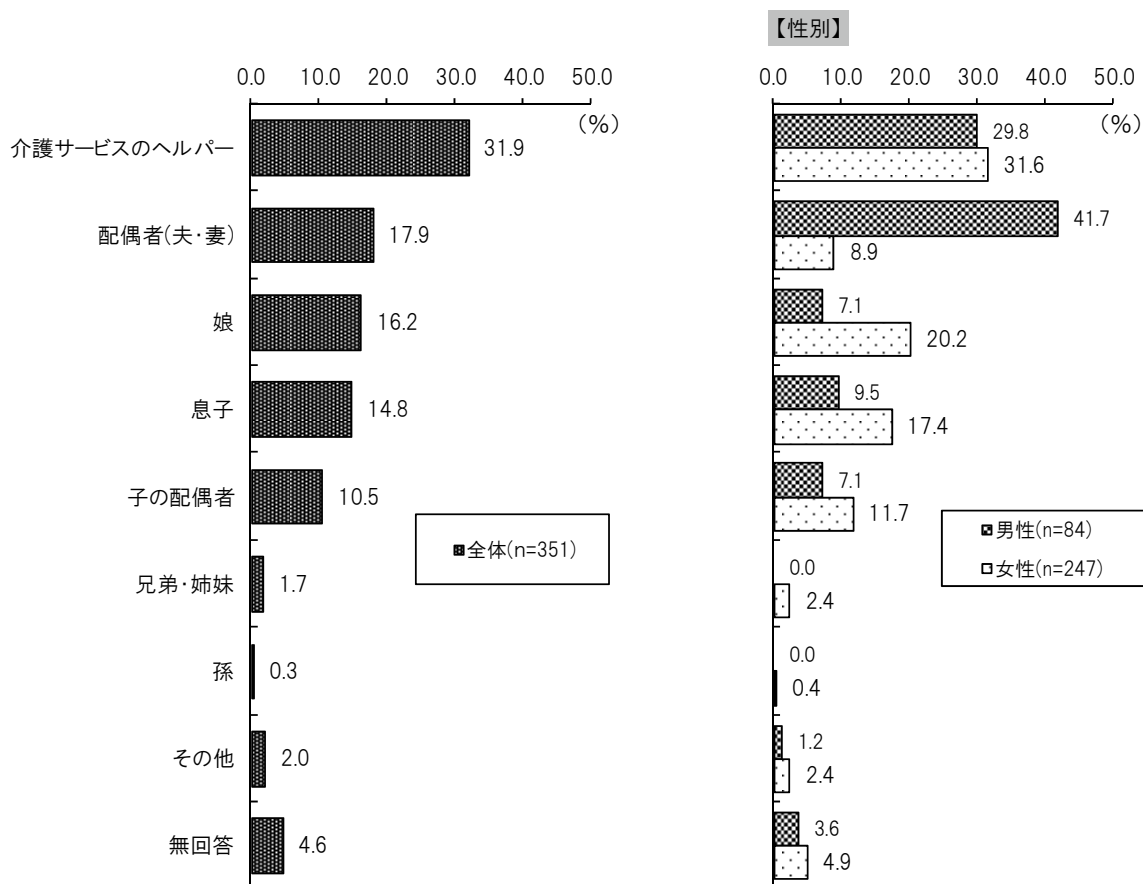
介護・介助の主な原因 区分		(%)				
		脊 椎 損 傷	生 が ん （ 悪 性 新 ）	そ の 他	不 明	無 回 答
全体(n=485)		2.1	1.9	14.6	0.4	9.7
性別	男性(n=121)	2.5	3.3	15.7	0.0	8.3
	女性(n=334)	1.5	1.2	15.0	0.6	9.6
年齢別	65～69歳(n=23)	0.0	0.0	21.7	0.0	0.0
	70～74歳(n=26)	0.0	0.0	23.1	0.0	7.7
	75～79歳(n=75)	1.3	1.3	12.0	0.0	10.7
	80～84歳(n=118)	2.5	1.7	16.9	0.8	11.0
	85歳以上(n=232)	2.2	2.2	13.4	0.4	8.6
介護度別	要支援1(n=95)	4.2	2.1	12.6	0.0	9.5
	要支援2(n=123)	3.3	3.3	17.1	0.0	12.2
	要介護1(n=127)	1.6	2.4	12.6	0.0	6.3
	要介護2(n=43)	0.0	0.0	14.0	0.0	2.3
	要介護3(n=13)	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	要介護4(n=10)	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0
	要介護5(n=3)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5. 主な介護・介助者

Q 2 - 2 (介護・介助を受けている方のみ) 主にどなたの介護・介助を受けていますか

介護・介助を受けている方の主な介護・介助者は、「介護サービスのヘルパー」が 31.9%と最も多く、ついで「配偶者(夫・妻)」が 17.9%、「娘」が 16.2%、「息子」が 14.8%、「子の配偶者」が 10.5%となっています。

性別では、男性は「配偶者(夫・妻)」が 41.7%と目立って多く、女性は「娘」が 20.2%、「息子」が 17.4%と多くなっています。



年齢別では、65～69歳と70～74歳は「配偶者（夫・妻）」がそれぞれ55.6%、43.8%と多く、75～79歳は「息子」が23.9%、80～84歳は「介護サービスのヘルパー」が38.1%と多くなっています。

介護度別では、要支援1で「介護サービスのヘルパー」が50.0%と多くなっています。

区分		(%)							
		主な介護・介助者のヘルパーサービス	配偶者（夫・妻）	娘	息子	子の配偶者	兄弟・姉妹	孫	その他
全体(n=351)		31.9	17.9	16.2	14.8	10.5	1.7	0.3	2.0
性別	男性(n=84)	29.8	41.7	7.1	9.5	7.1	0.0	0.0	1.2
	女性(n=247)	31.6	8.9	20.2	17.4	11.7	2.4	0.4	2.4
年齢別	65～69歳(n=18)	33.3	55.6	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(n=16)	25.0	43.8	0.0	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0
	75～79歳(n=46)	28.3	30.4	8.7	23.9	4.3	0.0	0.0	2.2
	80～84歳(n=84)	38.1	19.0	14.3	4.8	13.1	2.4	0.0	2.4
	85歳以上(n=182)	29.7	8.2	22.0	18.7	12.1	1.6	0.5	2.2
介護度別	要支援1(n=66)	50.0	9.1	13.6	13.6	4.5	0.0	0.0	3.0
	要支援2(n=86)	33.7	15.1	16.3	15.1	9.3	3.5	1.2	2.3
	要介護1(n=104)	18.3	21.2	20.2	15.4	16.3	1.9	0.0	1.9
	要介護2(n=35)	34.3	20.0	20.0	14.3	8.6	0.0	0.0	0.0
	要介護3(n=10)	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	要介護4(n=10)	20.0	50.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

6. 介護・介助者の年齢

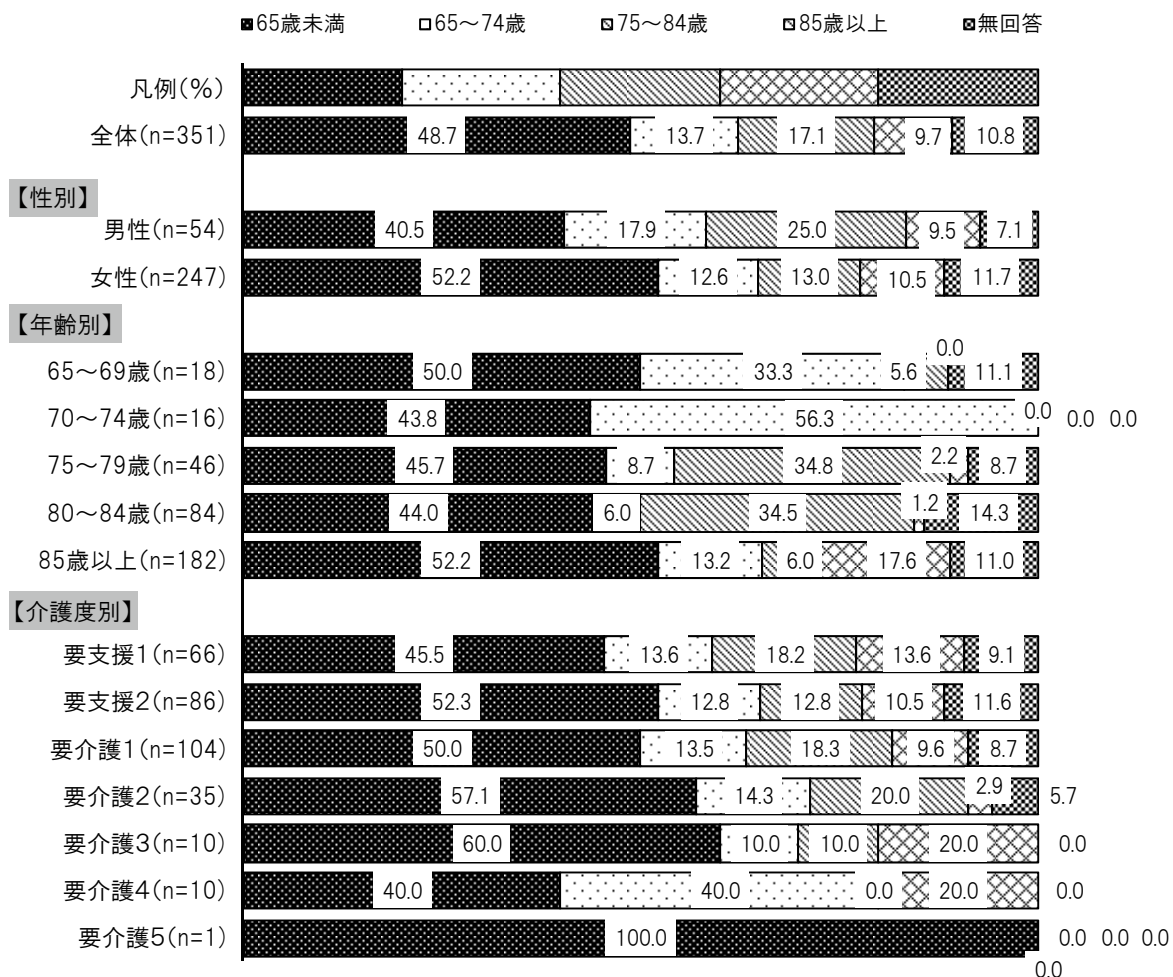
Q2-3 (介護・介助を受けている方のみ) 主に介護・介助している方の年齢は、次のどれですか

主な介護・介助者の年齢は、「65歳未満」が48.7%と最も多く、ついで「75～84歳」が17.1%、「65～74歳」が13.7%、「85歳以上」が9.7%となっています。

性別では、男性は「65歳未満」が40.5%と少なくなっています。

年齢別では、「65歳未満」はどの年齢層でも半数前後とあまり変わらないものの、それ以外の介護者・介助者の年齢は回答の年齢が上がるほど高くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「65歳未満」という回答が多くなっています。

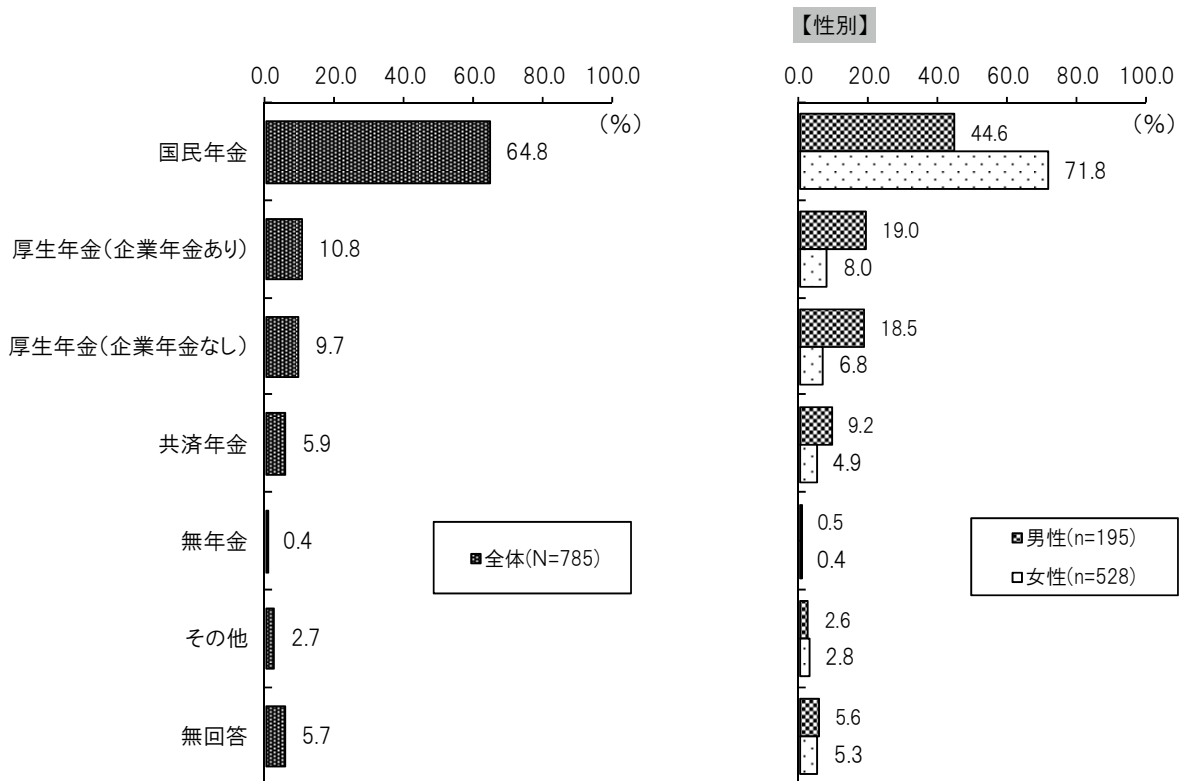


7. 年金の種類

Q3 年金の種類は次のどれですか

年金の種類は、「国民年金」が64.8%と最も多く、ついで「厚生年金（企業年金あり）」が10.8%、「厚生年金（企業年金なし）」が9.7%、「共済年金」が5.9%、「無年金」が0.4%、「その他」が2.7%となっています。

性別では、女性は「国民年金」が71.8%と多く、男性は「厚生年金（企業年金あり）」が19.0%、「厚生年金（企業年金なし）」が18.5%で、「厚生年金」が多くなっています。



年齢別では、どの年齢層でも「国民年金」が最も多くなっており、特に 85 歳以上では 71.3%を占めています。

介護度別でも「国民年金」が最も多く、特に要介護 3、要介護 2、要支援 2 では 7 割を超えています。

(%)

主な年金の種類		国民年金	厚生年金あり(企業)	厚生年金なし(企業)	共済年金	無年金	その他
区分							
全体(N=785)		64.8	10.8	9.7	5.9	0.4	2.7
性別	男性(n=195)	44.6	19.0	18.5	9.2	0.5	2.6
	女性(n=528)	71.8	8.0	6.8	4.9	0.4	2.8
年齢別	65～69歳(n=33)	54.5	12.1	12.1	9.1	0.0	6.1
	70～74歳(n=50)	56.0	12.0	16.0	2.0	2.0	4.0
	75～79歳(n=113)	64.6	16.8	5.3	2.7	0.0	1.8
	80～84歳(n=219)	59.8	11.0	13.2	6.4	0.9	1.8
	85歳以上(n=348)	71.3	8.3	7.5	6.6	0.0	2.9
介護度別	要支援1(n=179)	59.7	14.2	10.8	6.8	0.0	2.3
	要支援2(n=184)	70.1	7.6	8.7	4.3	0.5	1.6
	要介護1(n=167)	57.5	11.4	14.4	9.6	0.6	3.0
	要介護2(n=68)	75.0	7.4	5.9	7.4	0.0	1.5
	要介護3(n=14)	85.7	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1
	要介護4(n=14)	57.1	7.1	7.1	7.1	0.0	14.3
	要介護5(n=5)	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0

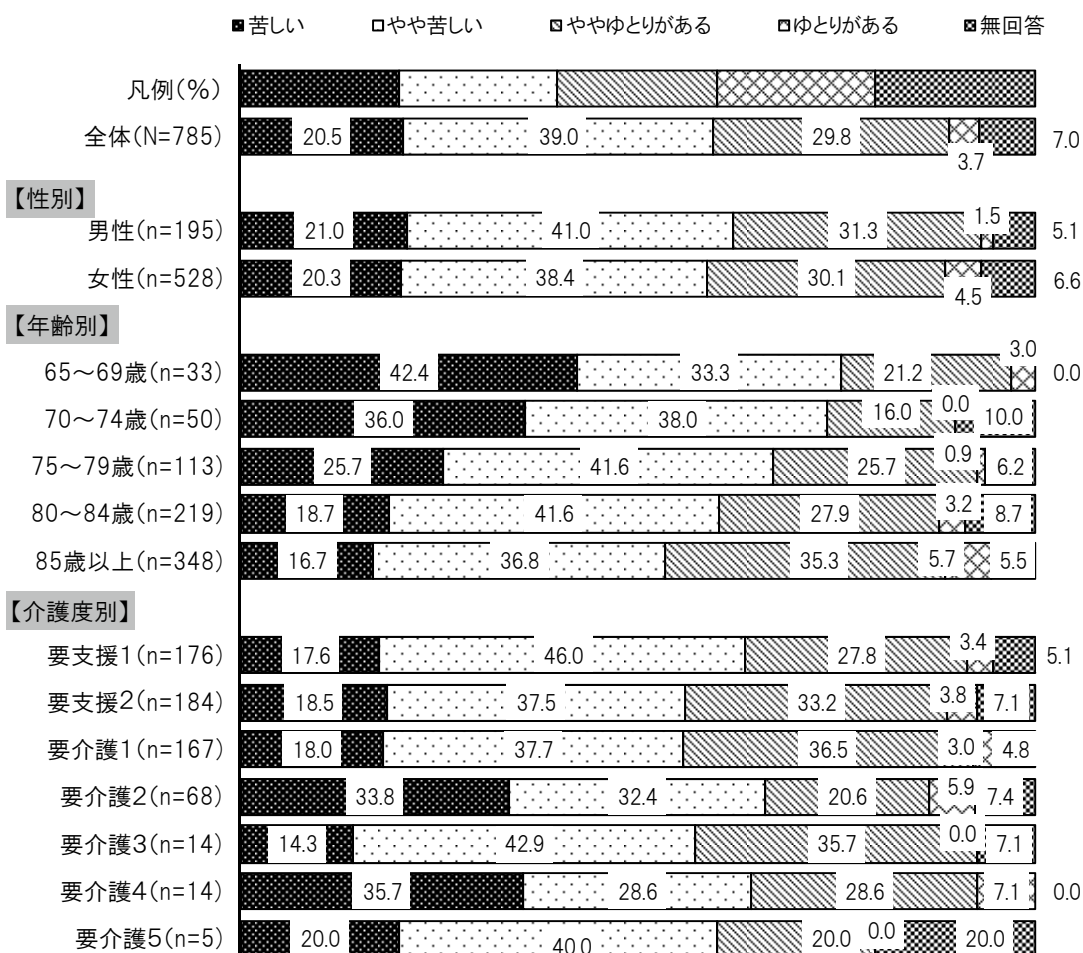
8. 現在の経済的暮らしの状況

Q4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

現在の経済的暮らしの状況は、「やや苦しい」が39.0%と最も多く、「苦しい」の20.5%を合わせると59.5%が暮らしを『苦しい』と回答しています。一方、「ややゆとりがある」は29.8%、「ゆとりがある」の3.7%を合わせると33.5%が『ゆとりがある』と回答しています。

年齢別では、年齢が下がるほど「苦しい」という回答が多くなっています。

介護度別では、要介護2は「苦しい」が33.8%、要介護4は35.7%と多くなっています。



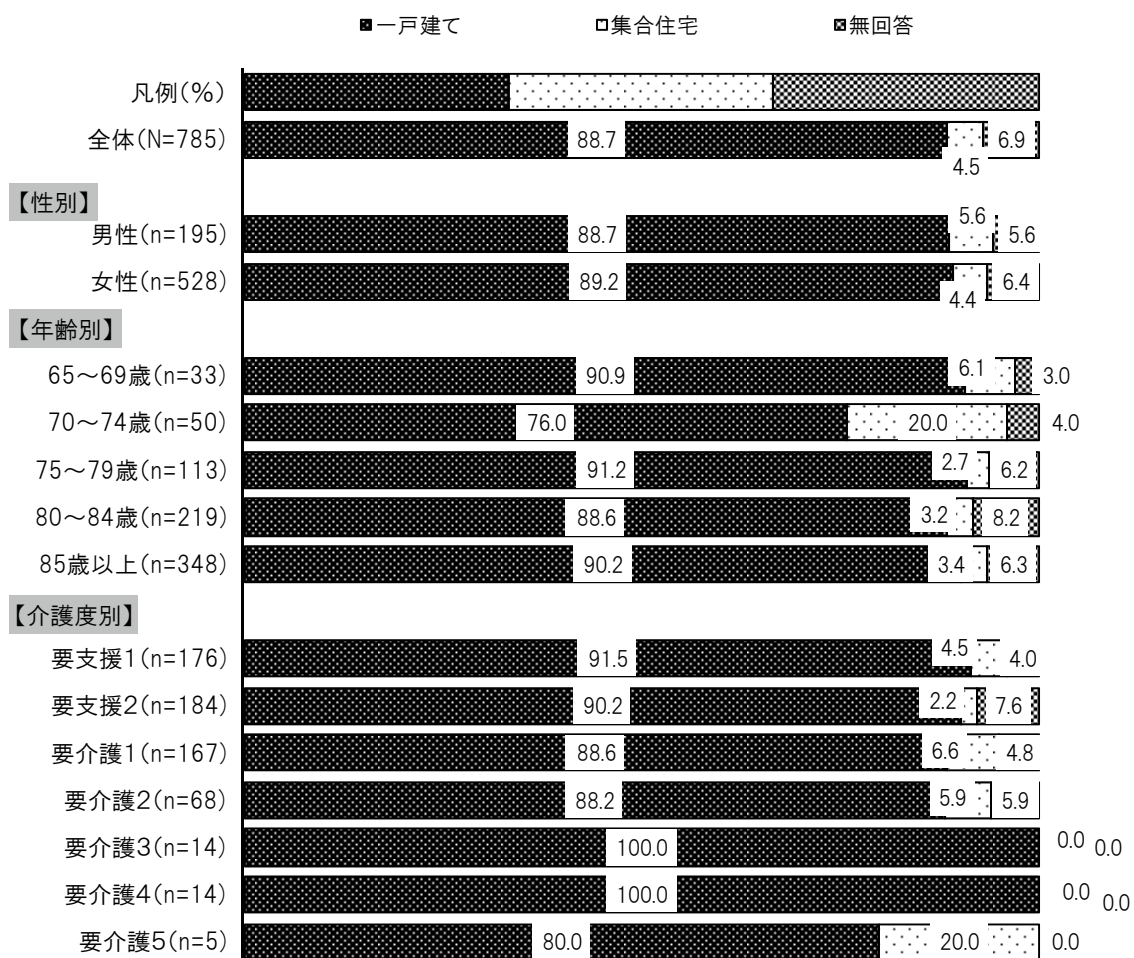
9. 住居の種類・形態等

Q 5 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

住居の種類は、「一戸建て」が 88.7% で 9 割近くを占め、「集合住宅」は 4.5% に止まります。

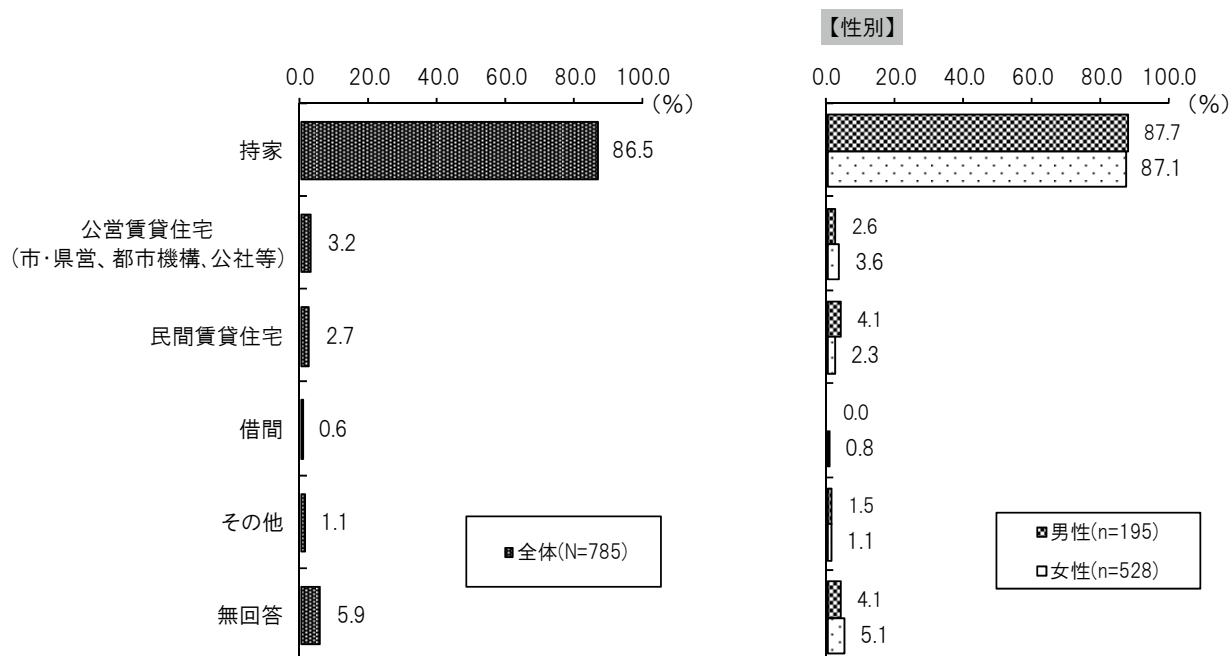
年齢別では 70～74 歳は「集合住宅」が 20.0% と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護 3 以上を除くと、明確な傾向はみられません



Q6 お住まいは、次のどれにあたりますか

住居形態は、「持家」が86.5%を占め最も多くなっています。



年齢別では、75～79歳は「持家」が91.2%で最も多く、65～69歳は「民間賃貸住宅」が12.1%と多く、70～74歳では「公営賃貸住宅(市・県営、都市機構・公社等)」が12.0%と多くなっています。

介護度別では、明確な傾向はみられません。

(%)

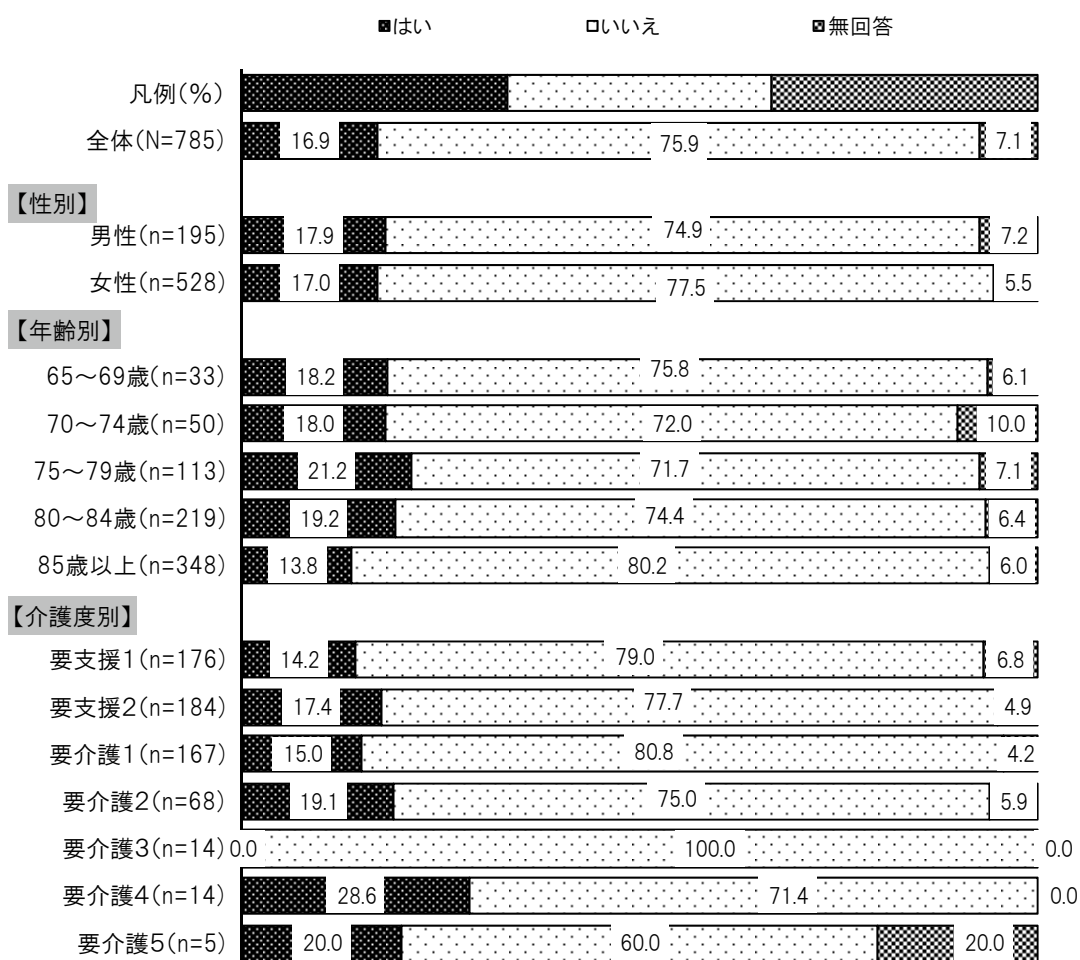
区分		住居形態				
		持家	構(公 市・ 公 営 社 等 等) 都 市 機 構	民間 賃 貸 住 宅	借 間	そ の 他
全体(N=785)		86.5	3.2	2.7	0.6	1.1
性別	男性(n=195)	87.7	2.6	4.1	0.0	1.5
	女性(n=528)	87.1	3.6	2.3	0.8	1.1
年齢別	65～69歳(n=33)	78.8	6.1	12.1	0.0	0.0
	70～74歳(n=50)	76.0	12.0	6.0	0.0	0.0
	75～79歳(n=113)	91.2	1.8	0.9	0.9	0.9
	80～84歳(n=219)	86.3	3.2	2.7	0.5	0.0
	85歳以上(n=348)	88.5	2.0	2.0	0.9	2.0
介護度別	要支援1(n=179)	87.5	2.8	1.1	1.7	2.3
	要支援2(n=184)	89.7	1.6	3.3	0.5	0.0
	要介護1(n=167)	84.4	4.2	4.2	0.0	1.8
	要介護2(n=68)	85.3	2.9	4.4	0.0	0.0
	要介護3(n=14)	85.7	0.0	0.0	7.1	0.0
	要介護4(n=14)	92.9	0.0	7.1	0.0	0.0
	要介護5(n=5)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0

Q7 お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか

生活する部屋は、「2階以上ではない」が75.9%、「2階以上」が16.9%となっています。

年齢別では、85歳以上は「2階以上」が13.8%とやや少なくなっています。

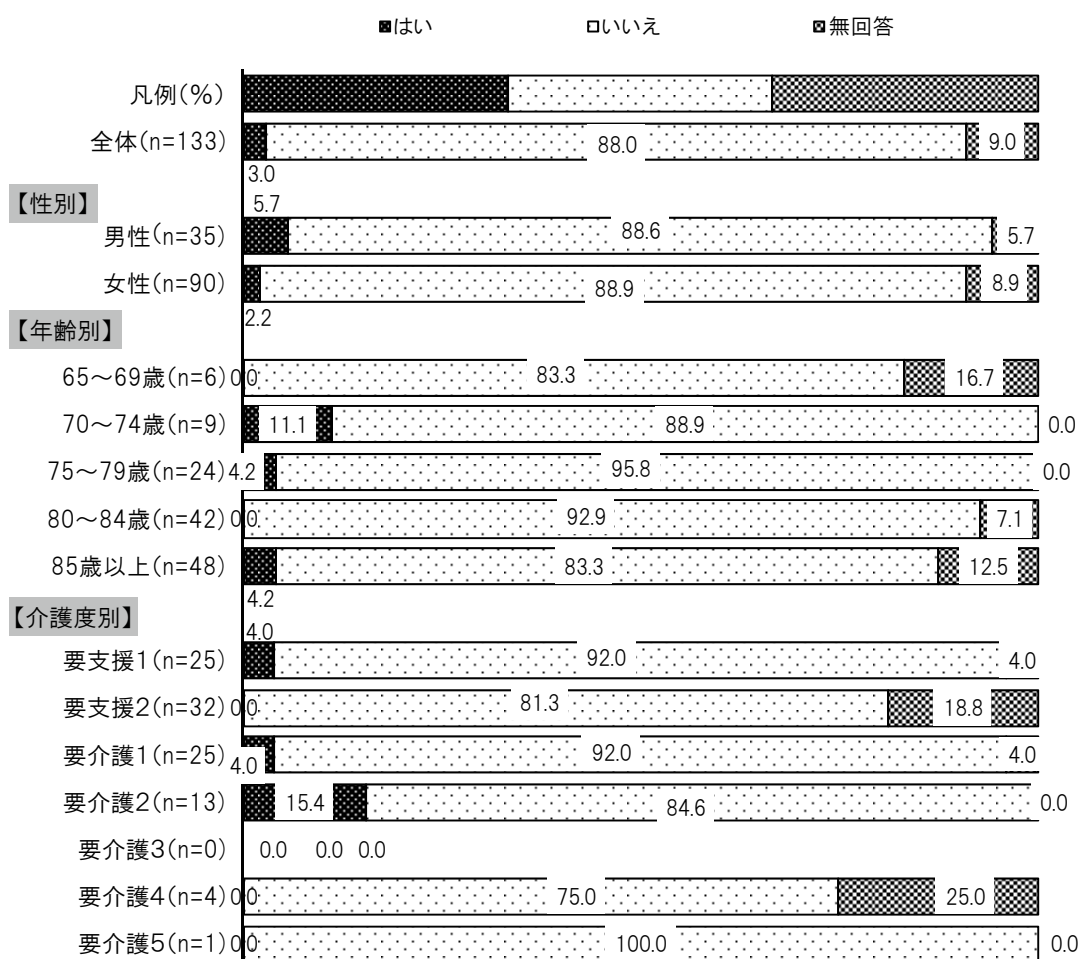
介護度別では、回答数が少ない要介護3以上除くと、明確な傾向はみられません。



Q7-1 (2階以上の方)お住まいにエレベーターは設置されていますか

生活する部屋が2階以上の住まいのエレベーター設置状況は、88.0%と9割近くが「エレベーターはない」と回答しており、「エレベーターがある」のは3.0%となっています。

年齢別では、70～74歳は「エレベーターがある」が11.1%と多くなっています。
介護度別では、要介護2は「エレベーターがある」が15.4%と多くなっています。



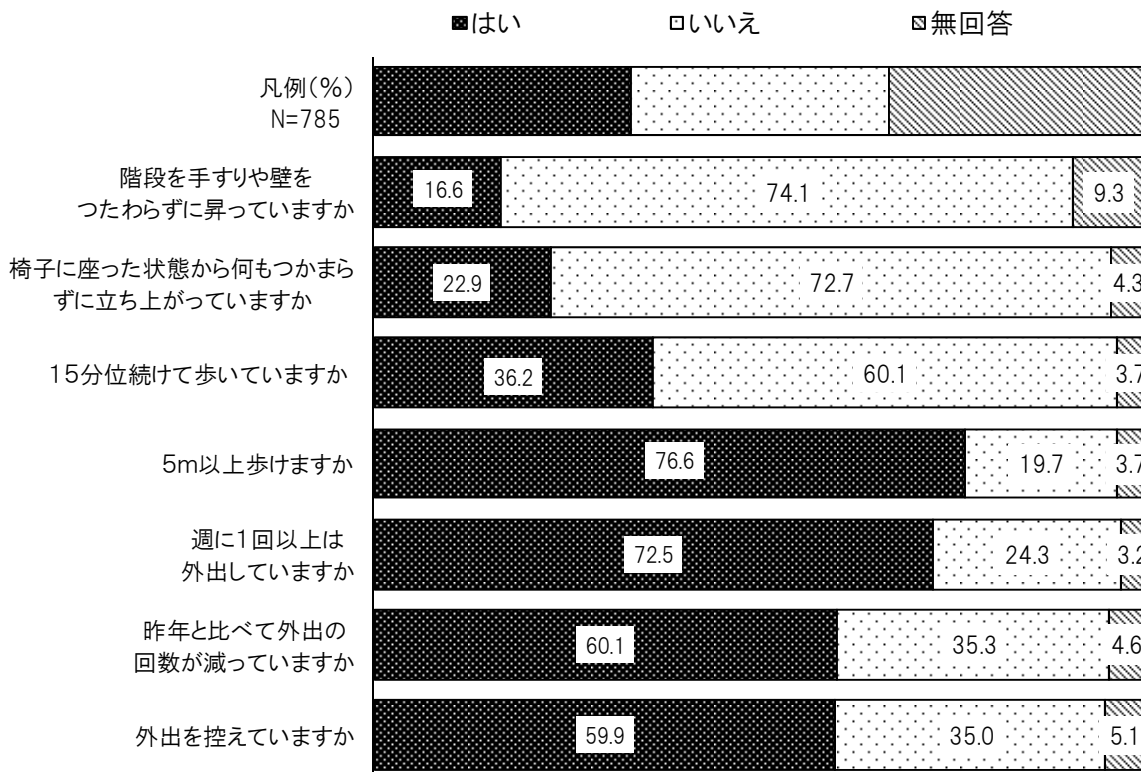
【3】運動・外出状況

1. 運動・外出状況

- Q 1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか
 Q 2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか
 Q 3 15分位続けて歩いていますか
 Q 4 5m以上歩けますか
 Q 5 週に1回以上は外出していますか
 Q 6 昨年と比べて外出の回数が減っていますか
 Q 7 外出を控えていますか

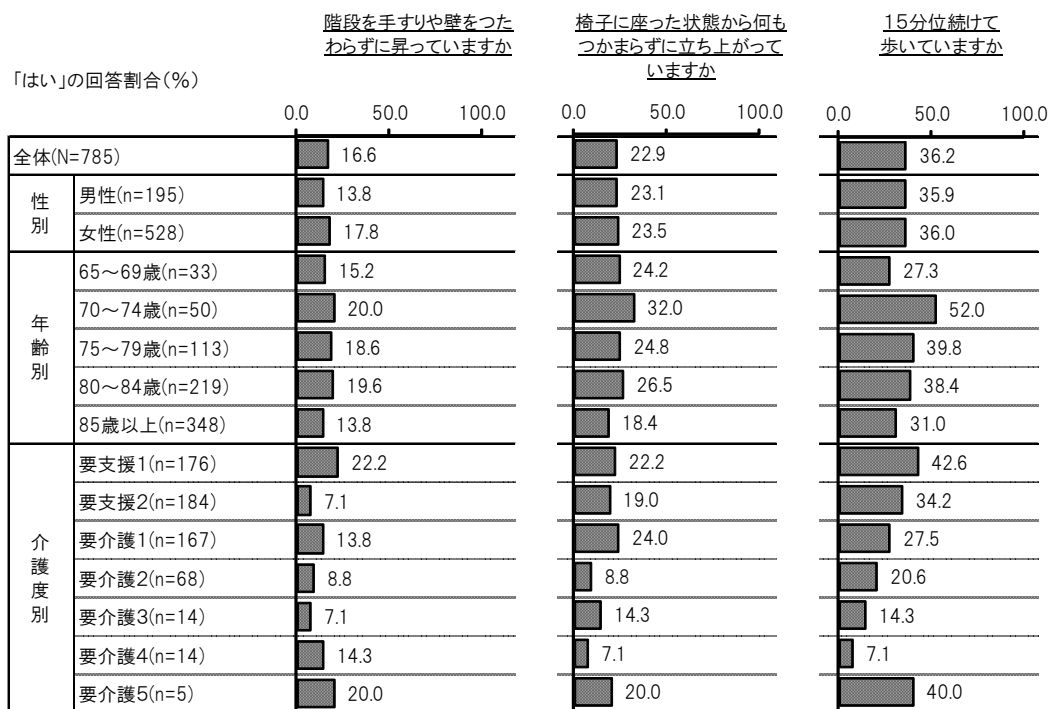
運動・外出状況について、「はい」の割合が高い順に、「5m以上歩けますか」(76.6%)、「週に1回以上は外出していますか」(72.5%)、「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」(60.1%)、「外出を控えていますか」(59.9%)、「15分位続けて歩いていますか」(36.2%)、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」(22.9%)、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」(16.6%)となっています。

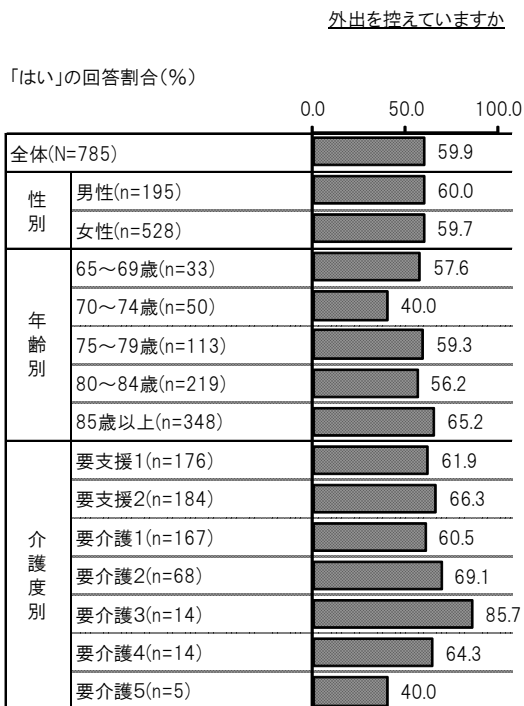
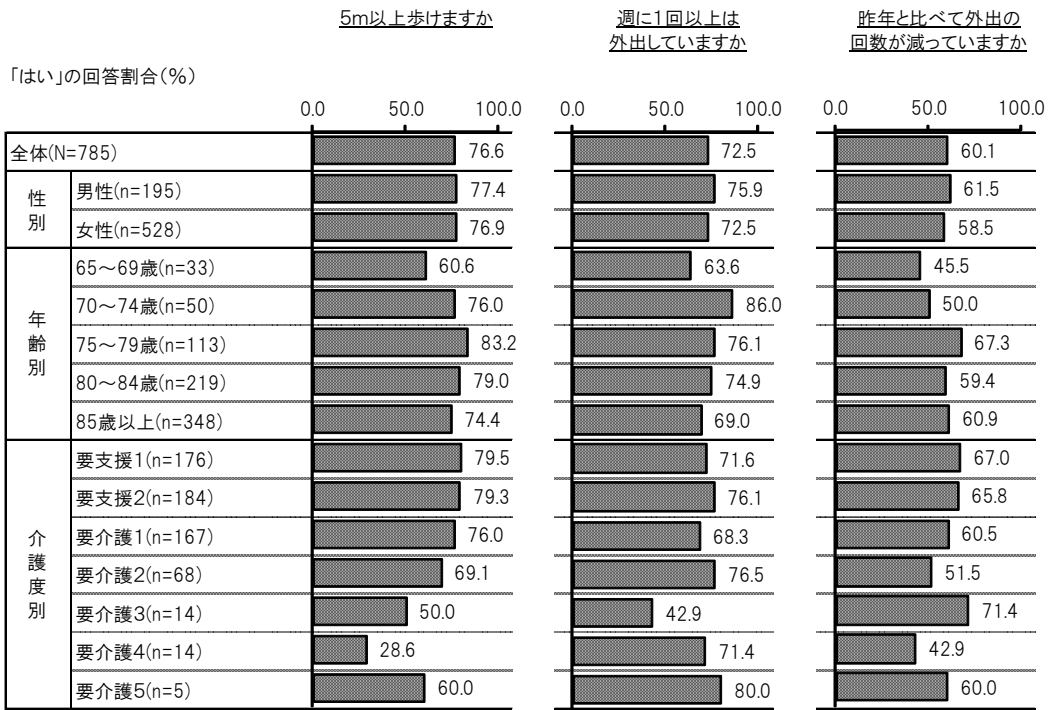
一方「いいえ」の割合が高い順に、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」(74.1%)、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」(72.7%)、「15分位続けて歩いていますか」(60.1%)となっています。



年齢別では、「15分位続けて歩いていますか」では70～74歳は「はい」が52.0%と多く、「週に1回以上は外出していますか」では70～74歳が86.0%、「昨年と比べて外出の回数が減っていますか」では75～79歳が67.3%と多くなっています。一方で、「外出を控えていますか」では70～74歳は「はい」が40%と少なくなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「15分位続けて歩いていますか」と「5m以上歩けますか」で、介護度が低い方が「はい」が多くなっています。



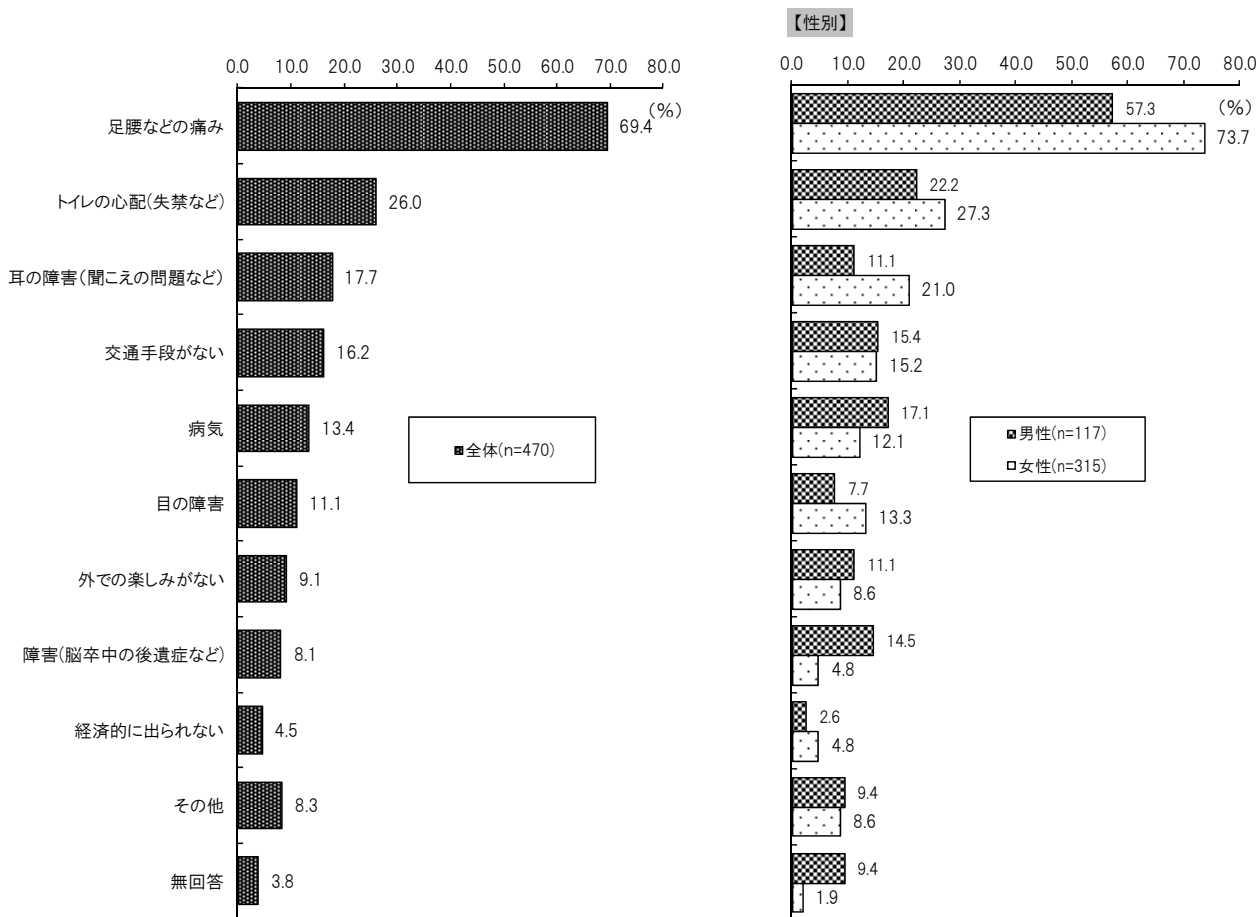


2. 外出を控えている理由

Q7-1 (外出を控えている方のみ) 外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が69.4%で最も多く、ついで「トイレの心配(失禁など)」が26.0%、「耳の障害(聞こえの問題など)」が17.7%、「交通手段がない」が16.2%、「病気」が13.4%、「目の障害」が11.1%、「外での楽しみがない」が9.1%、「障害(脳卒中の後遺症など)」が8.1%、「経済的に出られない」が4.5%、「その他」が8.3%となっています。

性別では、女性は「足腰などの痛み」が73.7%、「耳の障害(聞こえの問題など)」が21.0%と多く、男性は「障害(脳卒中の後遺症など)」が14.5%と多くなっています。



年齢別では、65～69歳で「障害（脳卒中の後遺症など）」が36.8%、70～74歳で「足腰などの痛み」が75.0%、「病気」が30.0%、「目の障害」が15.0%、75～79歳で「外での楽しみがない」が14.9%と多くなっています。

介護度別では、要支援1は「交通手段がない」が25.7%、要支援2は「足腰などの痛み」が77.9%、「耳の障害（聞こえの問題など）」が24.6%、要介護2は「障害（脳卒中の後遺症など）」が19.1%、要介護3は「トイレの心配（失禁など）」が41.7%と多くなっています。

(%)

区分		外出を控えている理由	み足腰などの痛み	（トイレの心配など）	（耳の障害など）	交通手段がない	病気	目の障害	外での楽しみがない	障害（脳卒中の後遺症など）	経済的に出られない	その他
全体(n=470)			69.4	26.0	17.7	16.2	13.4	11.1	9.1	8.1	4.5	8.3
性別	男性(n=117)		57.3	22.2	11.1	15.4	17.1	7.7	11.1	14.5	2.6	9.4
	女性(n=315)		73.7	27.3	21.0	15.2	12.1	13.3	8.6	4.8	4.8	8.6
年齢別	65～69歳(n=19)		47.4	5.3	0.0	5.3	21.1	0.0	5.3	36.8	0.0	21.1
	70～74歳(n=20)		75.0	20.0	20.0	15.0	30.0	15.0	10.0	20.0	5.0	5.0
	75～79歳(n=67)		64.2	23.9	16.4	17.9	22.4	9.0	14.9	9.0	6.0	3.0
	80～84歳(n=123)		73.2	28.5	14.6	19.5	10.6	14.6	8.9	6.5	5.7	5.7
	85歳以上(n=227)		70.9	26.9	22.0	15.0	10.6	10.6	7.9	4.4	3.5	11.0
介護度別	要支援1(n=109)		75.2	21.1	19.3	25.7	9.2	11.0	3.7	6.4	5.5	10.1
	要支援2(n=122)		77.9	31.1	24.6	14.8	12.3	13.1	11.5	3.3	5.7	5.7
	要介護1(n=101)		63.4	27.7	13.9	11.9	17.8	13.9	13.9	7.9	4.0	8.9
	要介護2(n=47)		63.8	34.0	12.8	10.6	12.8	4.3	10.6	19.1	4.3	4.3
	要介護3(n=12)		50.0	41.7	16.7	8.3	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	25.0
	要介護4(n=9)		55.6	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2
	要介護5(n=2)		0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

3. 外出頻度

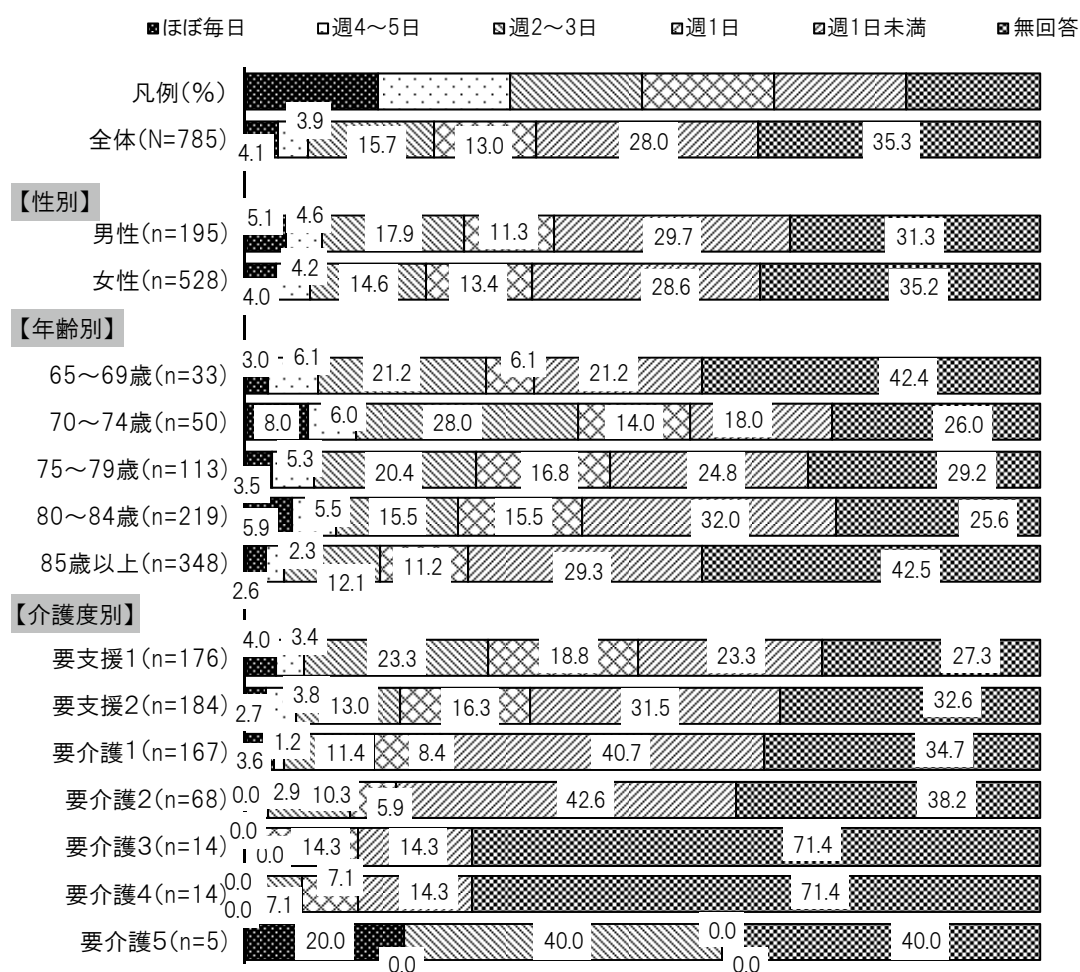
Q 8 買物，散歩で外出する頻度はどのくらいですか（それぞれ1つ）

(1) 買物

買物で外出する頻度は、「週1日未満」が28.0%、ついで「週2～3日」が15.7%、「週1日」が13.0%、「ほぼ毎日」が4.1%、「週4～5日」が3.9%となっています。

年齢別では、65～69歳と85歳以上で無回答が多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど無回答の比率が高くなっています。



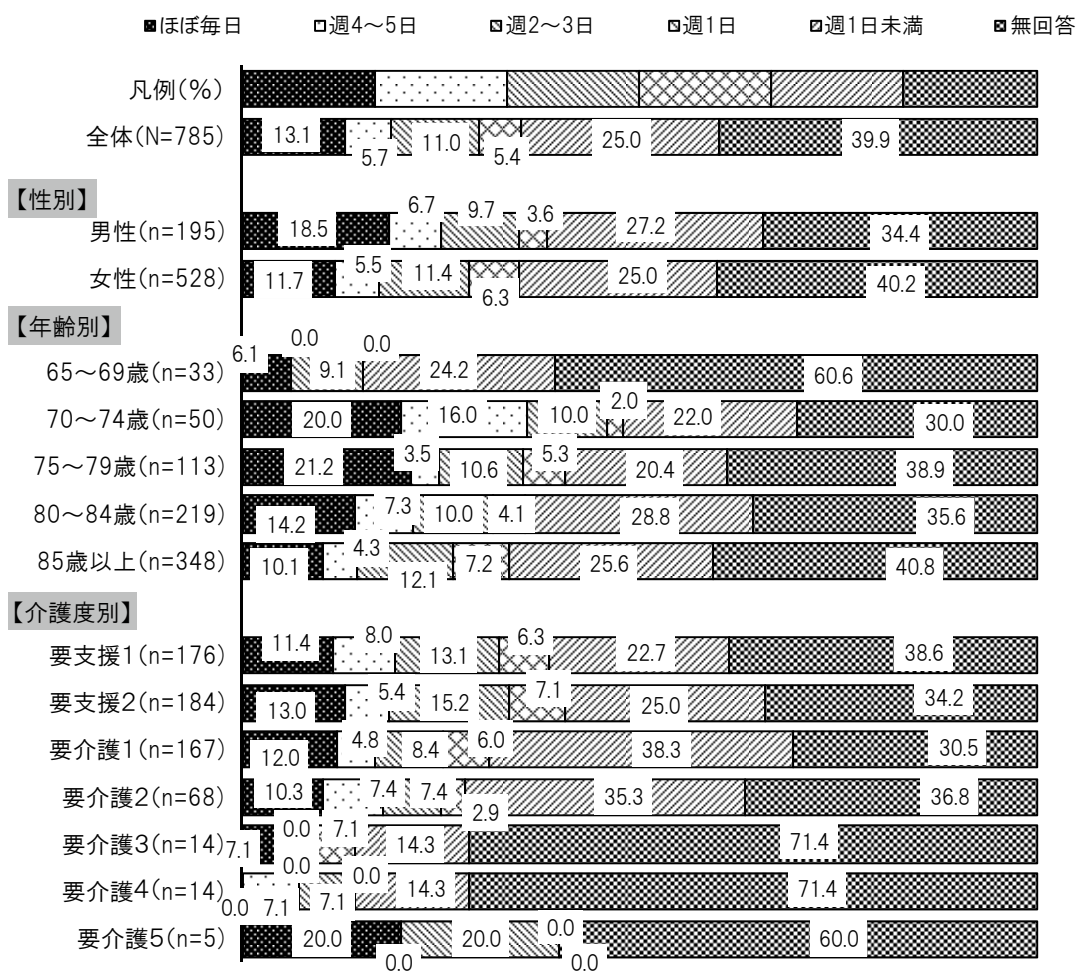
(2) 散歩

散歩で外出する頻度は、「週1日未満」が25.0%、ついで「ほぼ毎日」が13.1%、「週2～3日」が11.0%、「週4～5日」が5.7%、「週1日」が5.4%となっています。

性別では、男性は「ほぼ毎日」が18.5%と女性よりやや多くなっています。

年齢別では、65～69歳で無回答が多くなっています。

介護度別では、要介護度が高いほど散歩の頻度は少なくなっています。

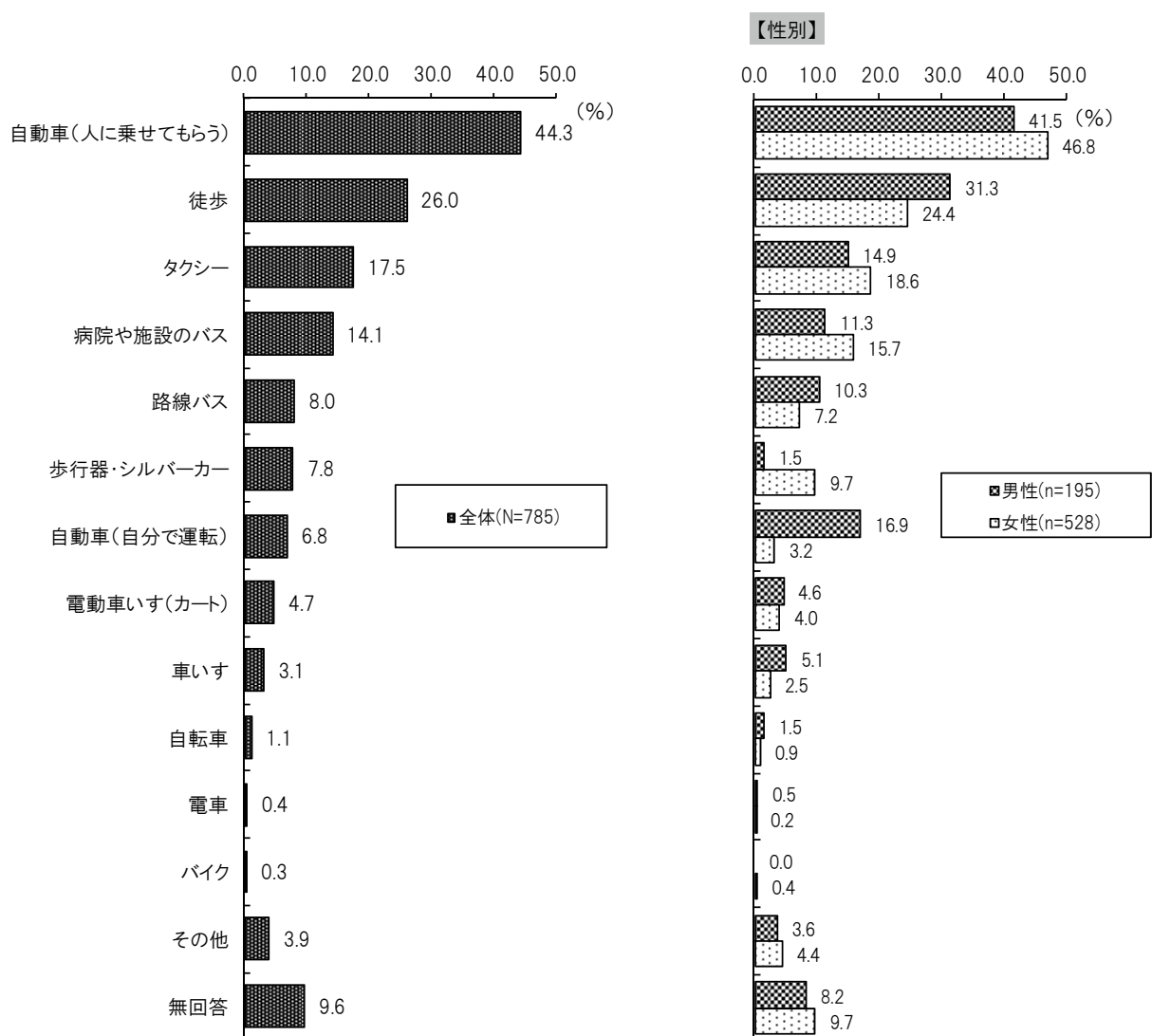


4. 外出の際の移動手段について

Q9 外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）

外出する際の移動手段は、「自動車（人に乗せてもらう）」が44.3%と最も多く、ついで「徒歩」が26.0%、「タクシー」が17.5%、「病院や施設のバス」が14.1%、「路線バス」が8.0%、「歩行器・シルバーカー」が7.8%、「自動車（自分で運転）」が6.8%となっています。

性別では、男性は「徒歩」が31.3%、「自動車（自分で運転）」が16.9%と多くっており、女性は「自動車（人に乗せてもらう）」が46.8%、「病院や施設のバス」が15.7%とやや多くなっています。



年齢別では、65～69歳は「車いす」が24.2%と多く、70～74歳は「徒歩」が36.0%、「自動車（自分で運転）」が22.0%、75～79歳は「路線バス」が15.0%と多くなっています。

介護度別では、どの介護度でも「自動車（人に乗せてもらう）」が最も多く、「徒歩」は介護度が高いほど少なくなっています。

(%)

区分		外出する際の移動手段									
		乗せてもらう自動車（人）	徒歩	タクシー	病院や施設のバス	路線バス	歩行器・シルパーカー	で自動車（自分で運転）	（カート）電動車いす	車いす	自転車
全体(N=785)		44.3	26.0	17.5	14.1	8.0	7.8	6.8	4.7	3.1	1.1
性別	男性(n=195)	41.5	31.3	14.9	11.3	10.3	1.5	16.9	4.6	5.1	1.5
	女性(n=528)	46.8	24.4	18.6	15.7	7.2	9.7	3.2	4.0	2.5	0.9
年齢別	65～69歳(n=33)	48.5	15.2	6.1	15.2	6.1	6.1	9.1	0.0	24.2	0.0
	70～74歳(n=50)	50.0	36.0	12.0	8.0	14.0	2.0	22.0	4.0	0.0	4.0
	75～79歳(n=113)	37.2	35.4	14.2	14.2	15.0	6.2	11.5	4.4	0.9	0.9
	80～84歳(n=219)	41.1	27.9	20.1	12.3	7.3	6.8	6.4	6.8	0.5	0.5
	85歳以上(n=348)	48.0	21.8	18.1	15.8	5.7	9.5	2.9	4.0	4.0	1.1
	介護度別	要支援1(n=179)	40.3	29.0	23.3	14.8	12.5	8.5	9.7	5.7	0.6
要支援2(n=184)		42.9	27.2	21.2	13.6	9.2	11.4	9.8	3.8	1.6	1.1
要介護1(n=167)		54.5	23.4	14.4	16.8	4.2	4.8	3.0	3.0	4.2	1.2
要介護2(n=68)		61.8	14.7	16.2	19.1	4.4	10.3	0.0	2.9	10.3	0.0
要介護3(n=14)		42.9	7.1	7.1	7.1	0.0	21.4	7.1	14.3	7.1	7.1
要介護4(n=14)		28.6	0.0	7.1	21.4	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3	7.1
要介護5(n=5)		0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0

(%)

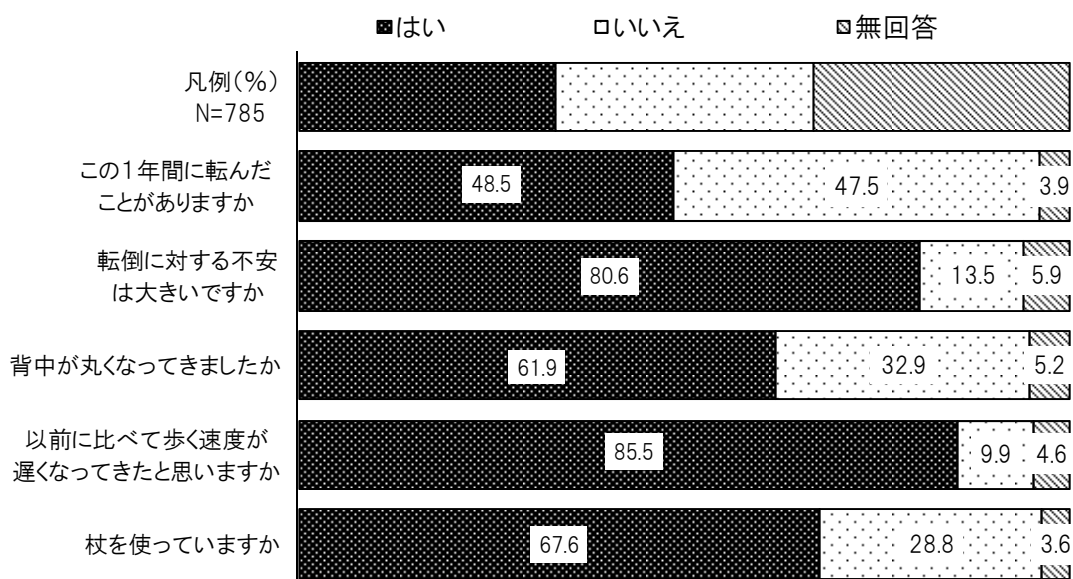
区分		外出する際の移動手段		
		電車	バイク	その他
全体(N=785)		0.4	0.3	3.9
性別	男性(n=195)	0.5	0.0	3.6
	女性(n=528)	0.2	0.4	4.4
年齢別	65～69歳(n=33)	0.0	0.0	3.0
	70～74歳(n=50)	2.0	0.0	0.0
	75～79歳(n=113)	0.0	0.0	1.8
	80～84歳(n=219)	0.0	0.9	5.5
	85歳以上(n=348)	0.3	0.0	4.3
介護度別	要支援1(n=179)	0.6	0.6	5.1
	要支援2(n=184)	0.0	0.0	3.3
	要介護1(n=167)	0.6	0.0	4.2
	要介護2(n=68)	0.0	0.0	2.9
	要介護3(n=14)	0.0	0.0	0.0
	要介護4(n=14)	0.0	0.0	7.1
	要介護5(n=5)	0.0	0.0	0.0

【4】転倒予防

- Q 1 この1年間に転んだことがありますか
 Q 2 転倒に対する不安は大きいですか
 Q 3 背中が丸くなってきましたか
 Q 4 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか
 Q 5 杖を使っていますか

転倒予防について、「はい」の割合の高い順に、「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」(85.5%)、「転倒に対する不安は大きいですか」(80.6%)、「杖を使っていますか」(67.6%)、「背中が丸くなってきましたか」(61.9%)、「この1年間に転んだことがありますか」(48.5%)となっています。

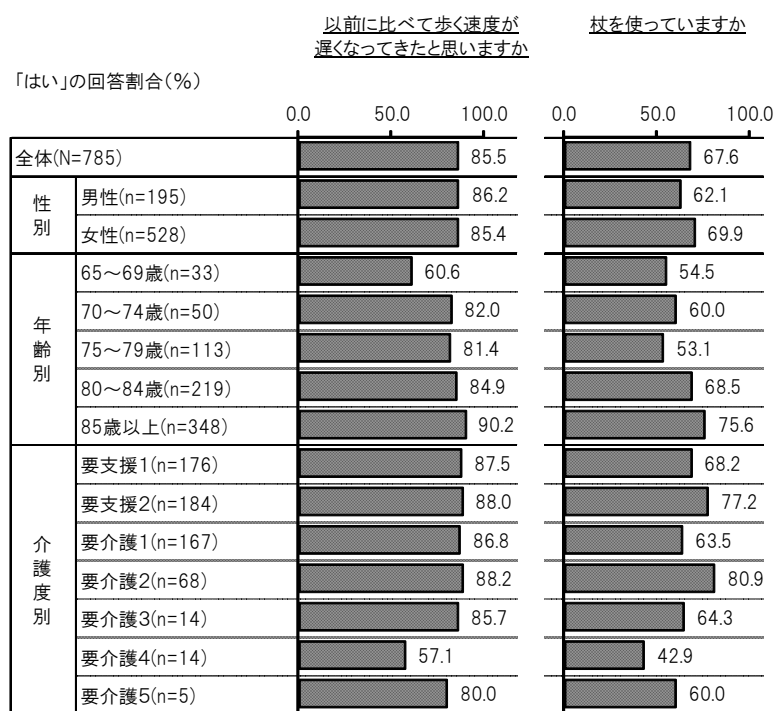
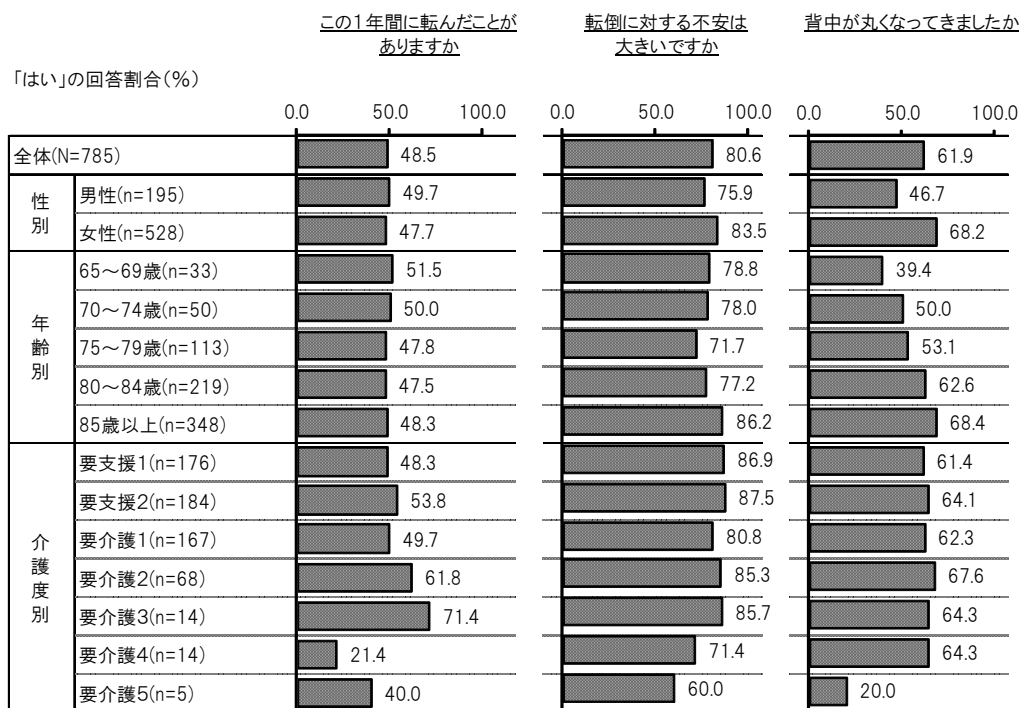
一方「いいえ」の割合が高いのは、「この1年間に転んだことがありますか」(47.5%)、「背中が丸くなってきましたか」(32.9%)となっています。



性別では、「背中が丸くなってきましたか」で男性は「はい」が46.7%に対し女性は68.2%と女性の方が多くなっています。

年齢別では、「背中が丸くなってきましたか」「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」の2つで年齢が上がるほど「はい」が多くなる傾向があります。

介護度別では、要介護2と3は「この1年間に転んだことがありますか」（それぞれ61.8%、71.4%）で「はい」が多くなっていますが、それ以外では明確な傾向はみられません。



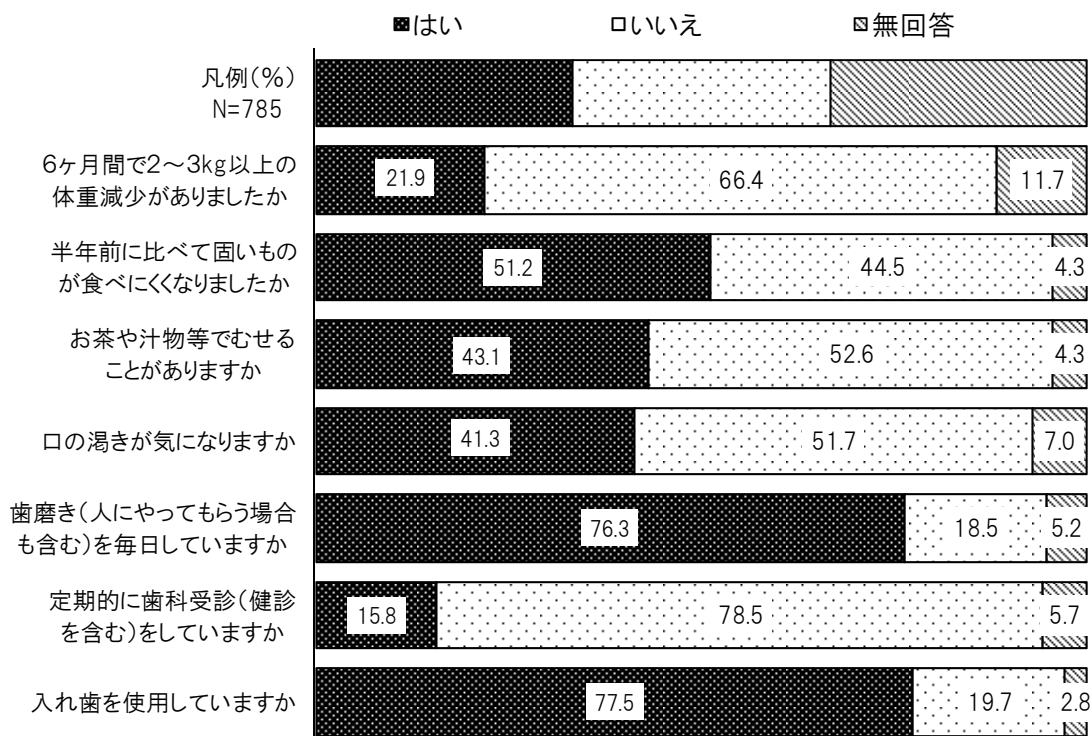
【5】口腔・栄養

1. 口腔・栄養について

- Q 1 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか
 Q 2 身長 cm／体重 kg
 Q 3 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
 Q 4 お茶や汁物等でむせることがありますか
 Q 5 口の渇きが気になりますか
 Q 6 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか
 Q 7 定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか
 Q 8 入れ歯を使用していますか

口腔・栄養について、「はい」の割合が高いのは、「入れ歯を使用していますか」(77.5%)、「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか」(76.3%)、「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」(51.2%)となっています。

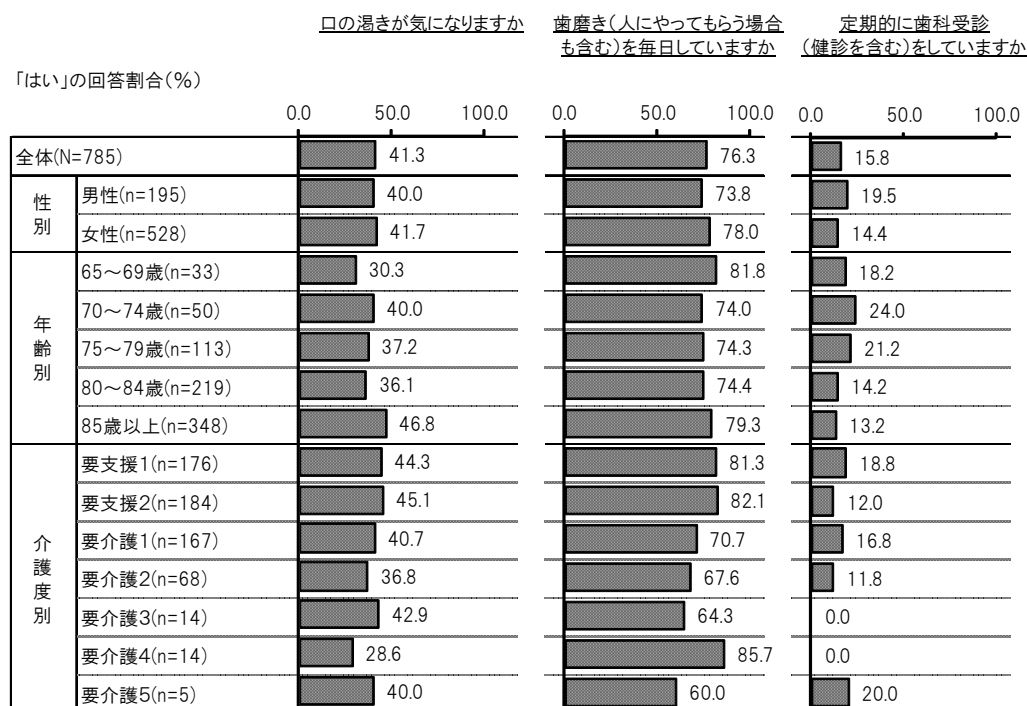
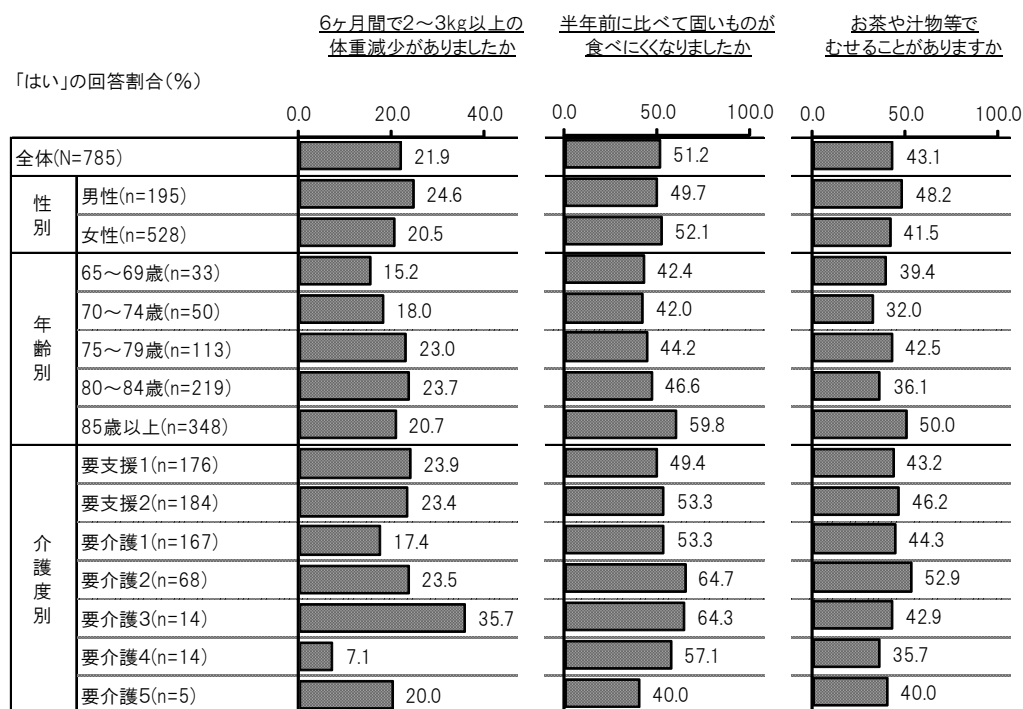
一方「いいえ」は、割合が高い順に、「定期的に歯科受診（検診を含む）をしていますか」(78.5%)、「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」(66.4%)、「お茶や汁物等でむせることがありますか」(52.6%)、「口の渇きが気になりますか」(51.7%)となっています。

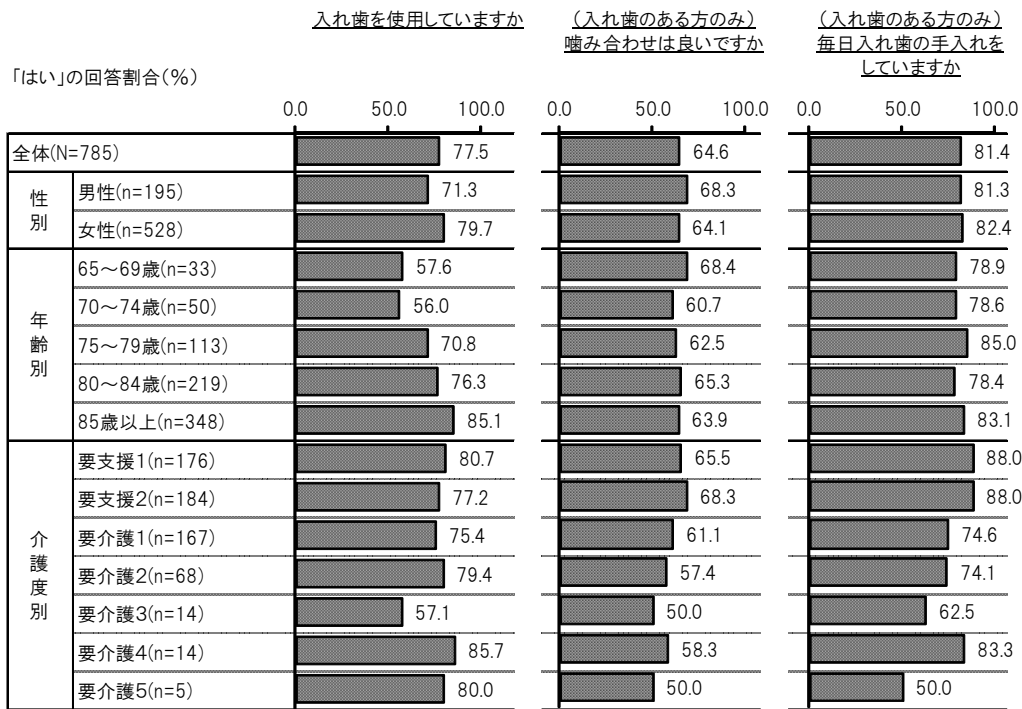


性別では、「お茶や汁物等でむせることがありますか」で男性は「はい」が48.2%と女性の41.5%に比べて多くなっています。

年齢別では、「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」と「半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか」「入れ歯を使用していますか」について、一部の年齢を除き、年齢が上がるほど「はい」の割合が増える傾向がみられます。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援より要介護の方が「歯磨き（人にやってもらう場合を含む）を毎日していますか」の「はい」が少なくなっています。





2. 身長・体重・BMI値

Q 2 身長 cm/体重 kg

全体平均は身長が 150.5cm、体重が 9.7kg となっています。

性別では、男性の平均身長が 160.5cm、女性が 146.8cm となっています。平均体重は男性が 56.3kg、女性が 47.4kg となっています。

年齢別では年齢が上がるほど身長は低くなり、体重は軽くなる傾向にあります。

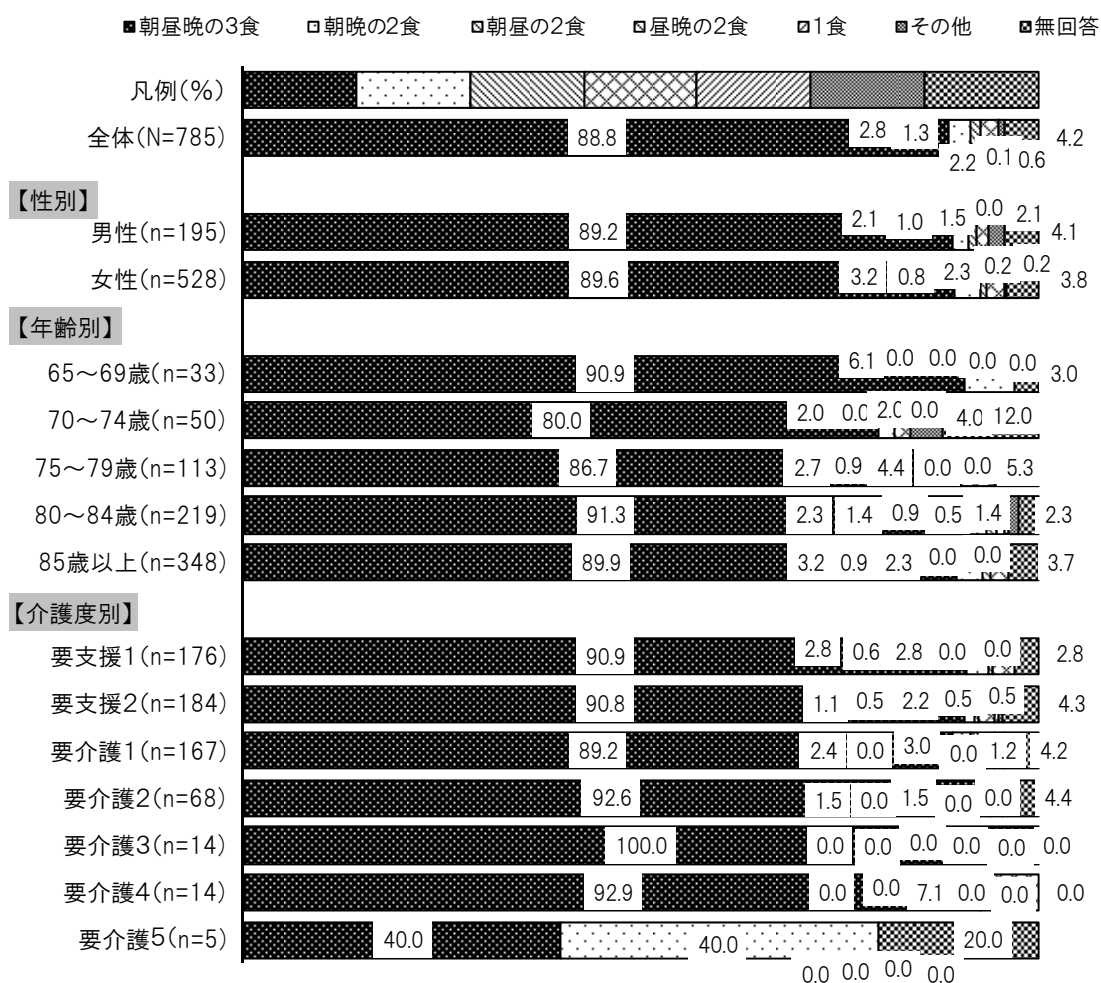
介護度別には身長、体重ともに大きな差はありません。

身長・体重・BMI		サ ン プ ル 数	c m	サ ン プ ル 数	k g	B M I
区分						
全体(N=785)		587	150.5	637	49.7	22.0
性別	男性(n=195)	148	160.5	155	56.3	21.8
	女性(n=528)	393	146.8	433	47.4	22.0
年齢別	65～69歳(n=33)	24	158.5	24	60.2	24.0
	70～74歳(n=50)	37	155.6	39	55.3	22.9
	75～79歳(n=113)	79	151.9	88	52.0	22.5
	80～84歳(n=219)	168	151.7	178	49.5	21.5
	85歳以上(n=348)	263	147.7	291	47.4	21.7
介護度別	要支援1(n=179)	143	149.5	151	50.4	22.5
	要支援2(n=184)	142	149.7	156	48.7	21.7
	要介護1(n=167)	131	151.0	142	48.3	21.2
	要介護2(n=68)	49	151.6	55	49.8	21.7
	要介護3(n=14)	7	150.4	8	44.5	19.7
	要介護4(n=14)	9	152.7	10	50.1	21.5
	要介護5(n=5)	4	160.5	4	61.8	24.0

3. 1日の食事の回数

Q 9 1日の食事の回数は何回ですか

1日の食事の回数については、「朝昼晩の3食」が88.8%と9割を占めています。
 回答数が少ないですが、要介護5で「朝昼晩の3食」が40%台と低くなっているのを除き、性別・年齢別・介護度別で大きな差はありません。



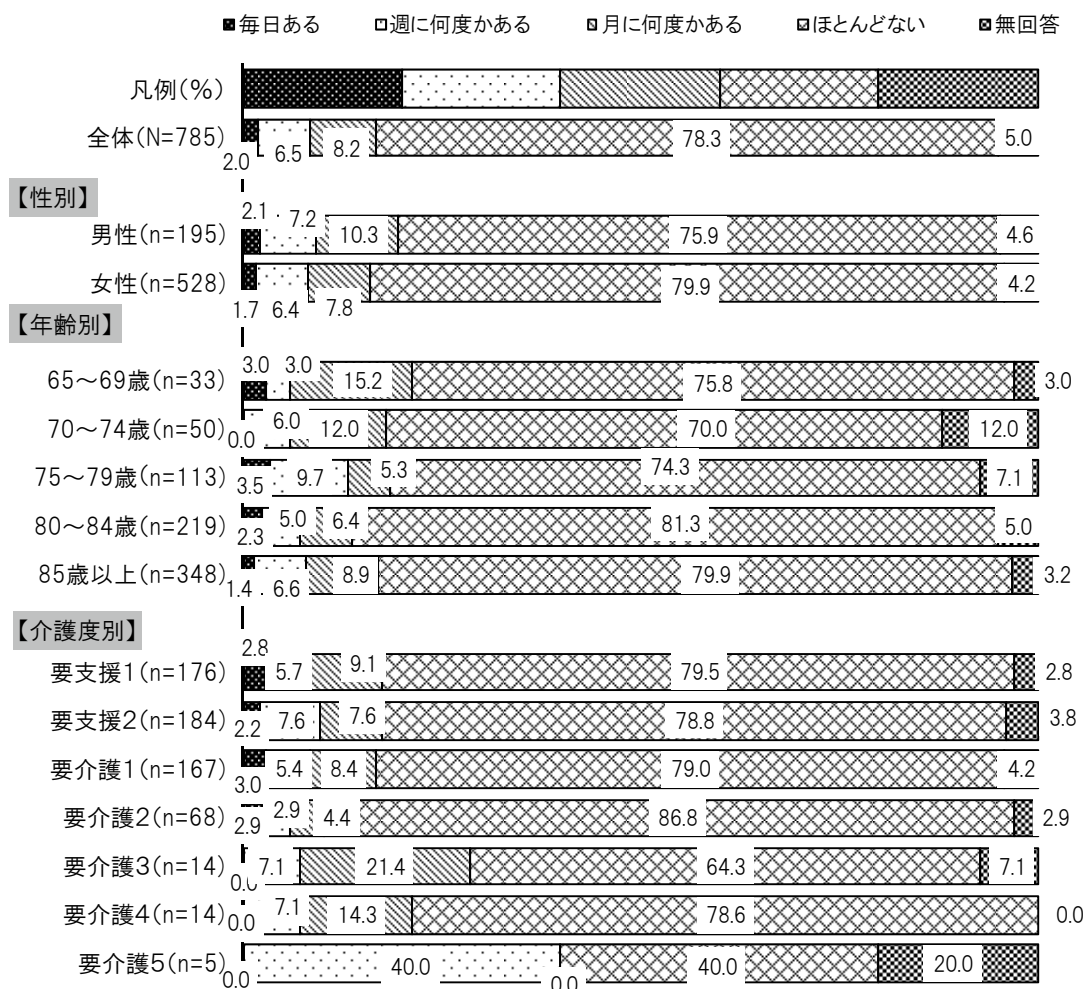
4. 食事を抜くことについて

Q10 食事を抜くことがありますか

食事を抜くことについては、「ほとんどない」が78.3%と最も多く、「月に何度かある」が8.2%、「週に何度かある」が6.5%、「毎日ある」が2.0%となっています。

性別・年齢別で大きな差はありません。

介護度別では、回答数が少ないものの、「月に何度かある」が要介護3で21.4%、要介護4で14.3%と多く、また要介護5は「週に何度かある」が40.0%になっています。



5. だれかと食事をする機会

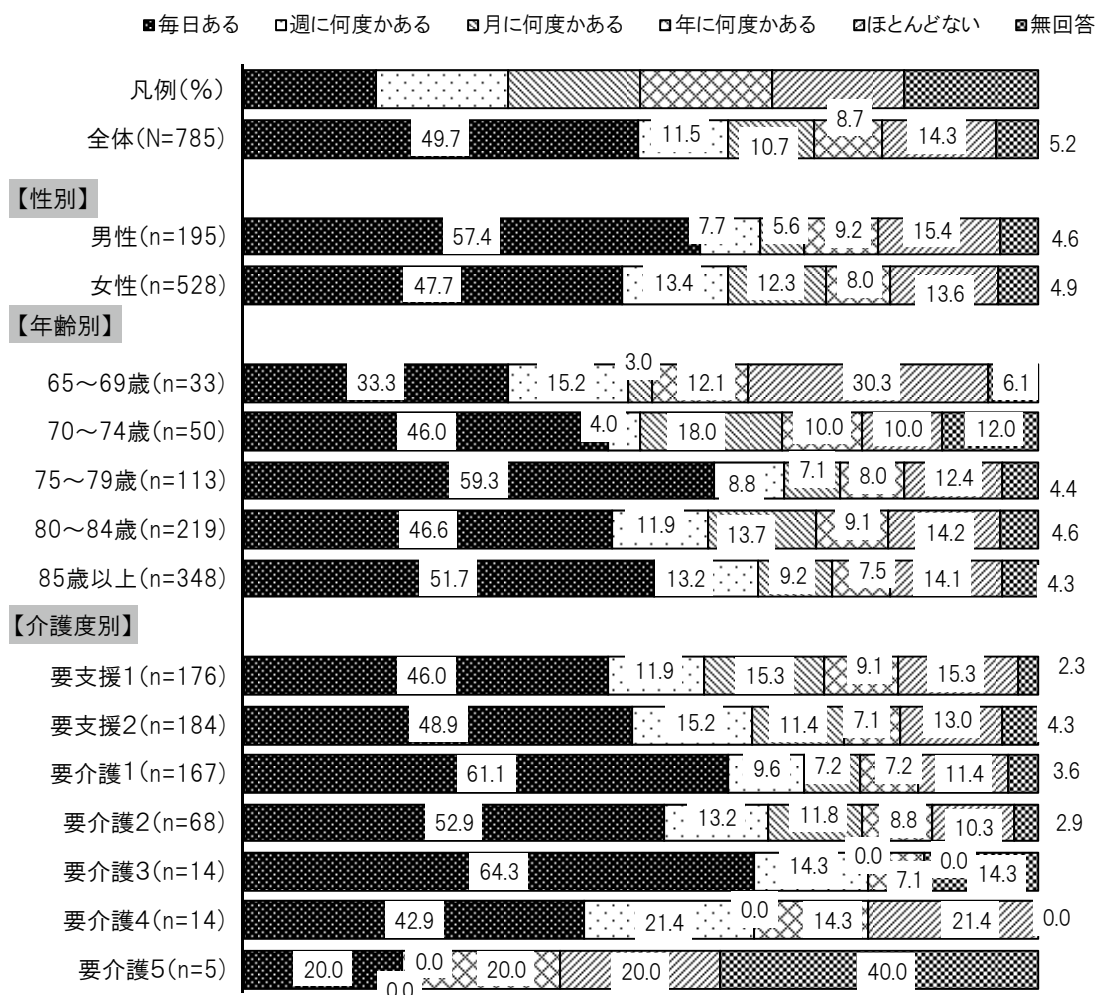
Q11 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか

だれかと食事をする機会については、「毎日ある」が49.7%、「週に何度かある」が11.5%、「月に何度かある」が10.7%、「年に何度かある」が8.7%、「ほとんどない」が14.3%となっています。

性別では、男性は「毎日ある」が57.4%あるのに対し、女性は47.7%とやや少なくなっています。

年齢別では、65～69歳は「毎日ある」が33.3%と少なく、75～79歳は59.3%と多くなっています。

介護度別では、「毎日ある」が要介護1（61.1%）、要介護3（64.3%）で多く、要介護5は20.0%と少なくなっています。

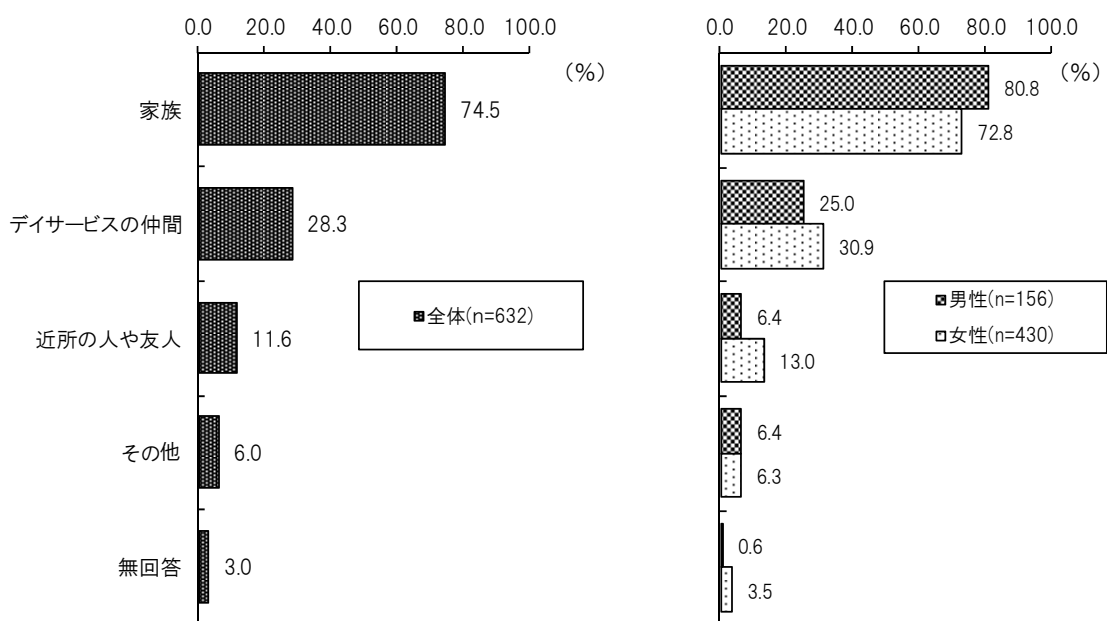


6. 食事をとにもする相手

Q11-1 (どなたかと食事をとにもする機会がある方のみ) 食事をとにもする人はどなたですか (いくつでも)

食事をとにもする相手については、「家族」が74.5%と多数を占め、「デイサービスの仲間」が28.3%、「近所の人や友人」が11.6%、「その他」が6.0%と続きます。

性別では、男性は「家族」が80.8%とやや多く、女性は「デイサービスの仲間」が30.9%、「近所の人や友人」が13.0%とやや多くなっています。



年齢別では、70～74歳は「近所の人や友人」が20.5%と多く、85歳以上は「デイサービスの仲間」が34.9%と多くなっています。

介護度別では、要支援1は「近所の人や友人」が16.6%、要介護2は「デイサービスの仲間」が44.1%と全体より多くなっています。

(%)

区分		食事をともにする人	家族	仲間 デ イ サ ー ビ ス の	近 所 の 人 や 友 人	そ の 他
全体(n=632)			74.5	28.3	11.6	6.0
性別	男性(n=156)		80.8	25.0	6.4	6.4
	女性(n=430)		72.8	30.9	13.0	6.3
年齢別	65～69歳(n=21)		61.9	28.6	14.3	4.8
	70～74歳(n=39)		71.8	20.5	20.5	5.1
	75～79歳(n=94)		75.5	26.6	7.4	6.4
	80～84歳(n=178)		73.6	22.5	14.0	7.9
	85歳以上(n=284)		76.1	34.9	8.8	5.3
介護度別	要支援1(n=145)		73.8	22.1	16.6	7.6
	要支援2(n=152)		73.0	31.6	11.8	4.6
	要介護1(n=142)		79.6	34.5	4.2	7.7
	要介護2(n=59)		67.8	44.1	10.2	5.1
	要介護3(n=12)		100.0	41.7	0.0	0.0
	要介護4(n=11)		72.7	36.4	0.0	0.0
	要介護5(n=2)		50.0	0.0	50.0	0.0

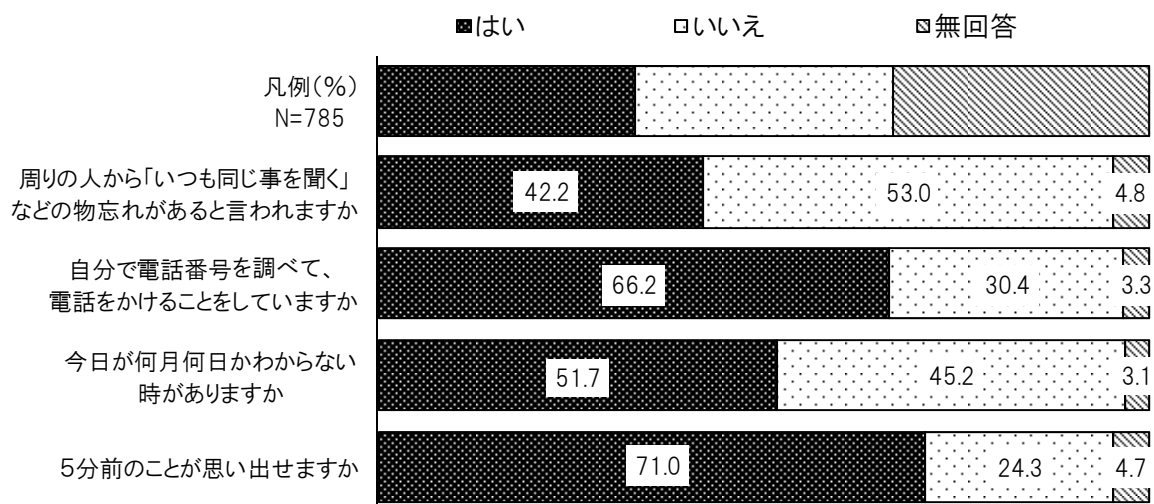
【6】物忘れ

1. 物忘れについて

- Q 1 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか
Q 2 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか
Q 3 今日が何月何日かわからない時がありますか
Q 4 5分前のことが思い出せますか

物忘れについては、「はい」の割合が高いのは、「5分前のことが思い出せますか」(71.0%)、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」(66.2%)、「今日が何月何日かわからない時がありますか」(51.7%)となっています。

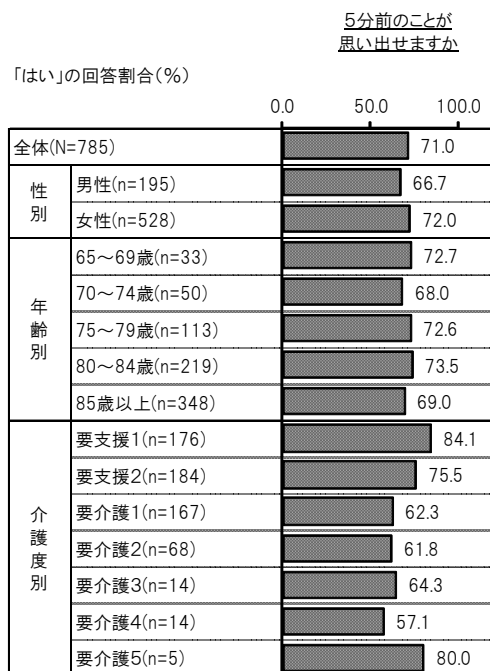
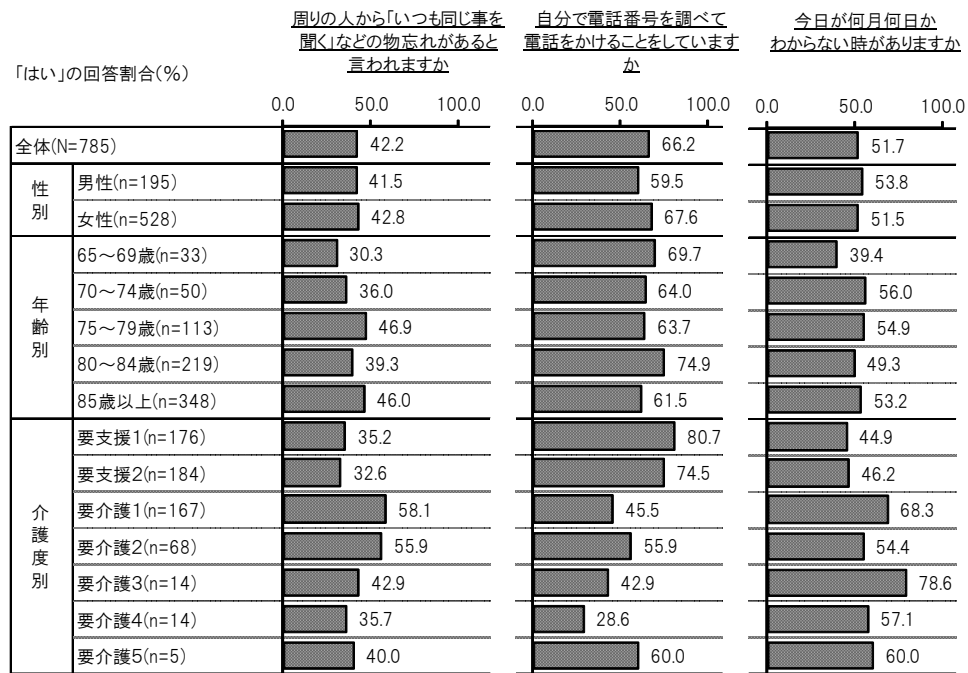
一方、「いいえ」の割合が高いのは「周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか」で53.0%となっています。



性別では、男性は「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」は「はい」が59.5%で若干少なくなっています。

年齢別では、65～69歳は「周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか」の30.3%と「今日が何月何日かわからない時がありますか」の39.4%が少なく、70～74歳は「周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか」が36.0%と少なくなっています。

介護度別では、「自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか」について要支援の方が要介護より「はい」が多くなっています。



2. 活動（食事をする、衣服を選ぶなど）の自己判断について

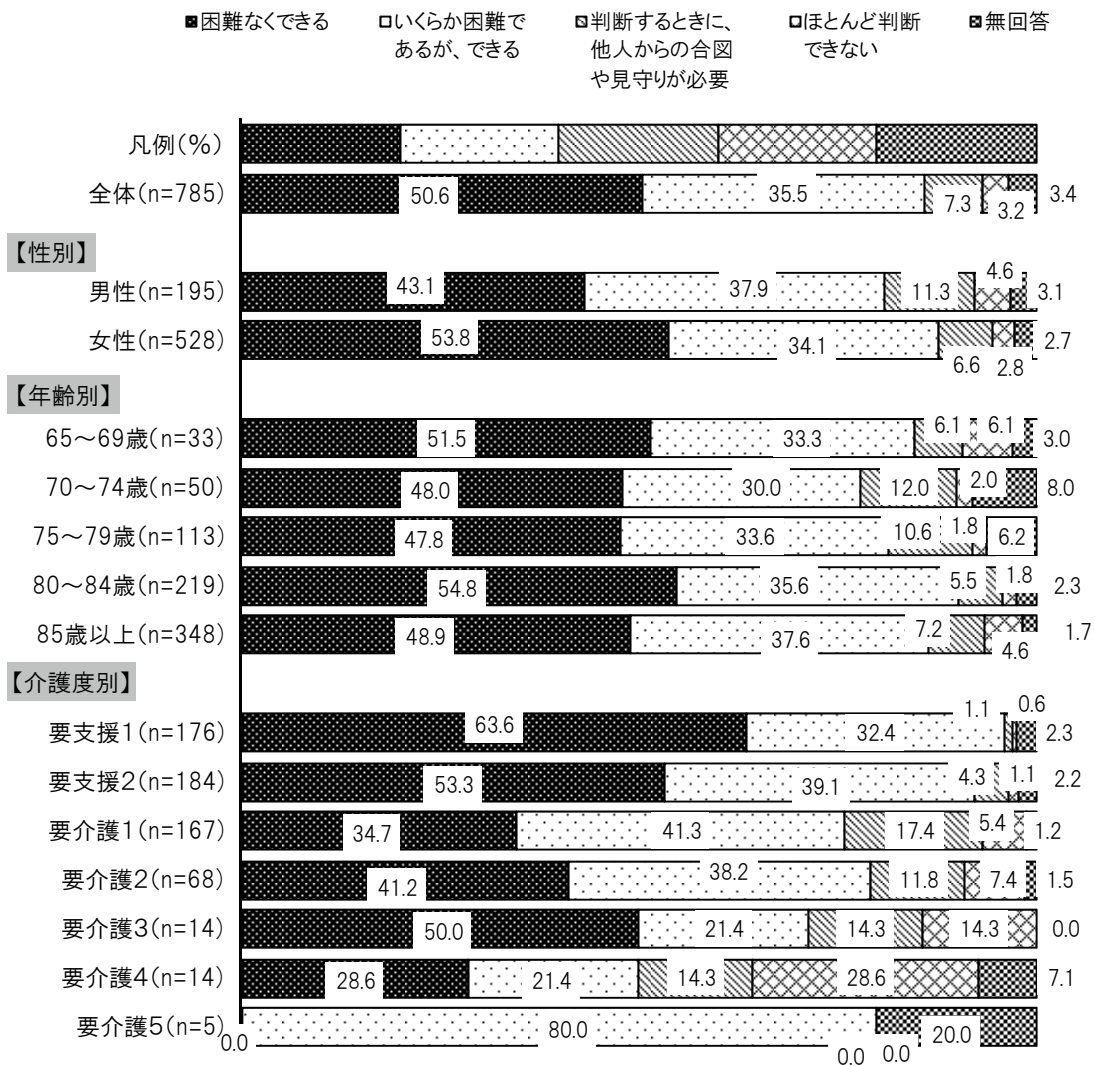
Q 5 その日の活動（食事をする、衣服を選ぶなど）を自分で判断できますか

その日の活動を自分で判断できますかについては、「困難なくできる」が50.6%、「い
 くらか困難ではあるが、できる」の35.5%を合わせると86.1%が『できる』と答えて
 います。

性別では、女性は「困難なくできる」が53.8%で、男性の43.1%に比べて多くなっ
 ています。

年齢別では、年齢に従った明確な傾向はみられません。

介護度別では、要支援の方が要介護よりも「困難なくできる」が多くなっています。



3. 意思伝達について

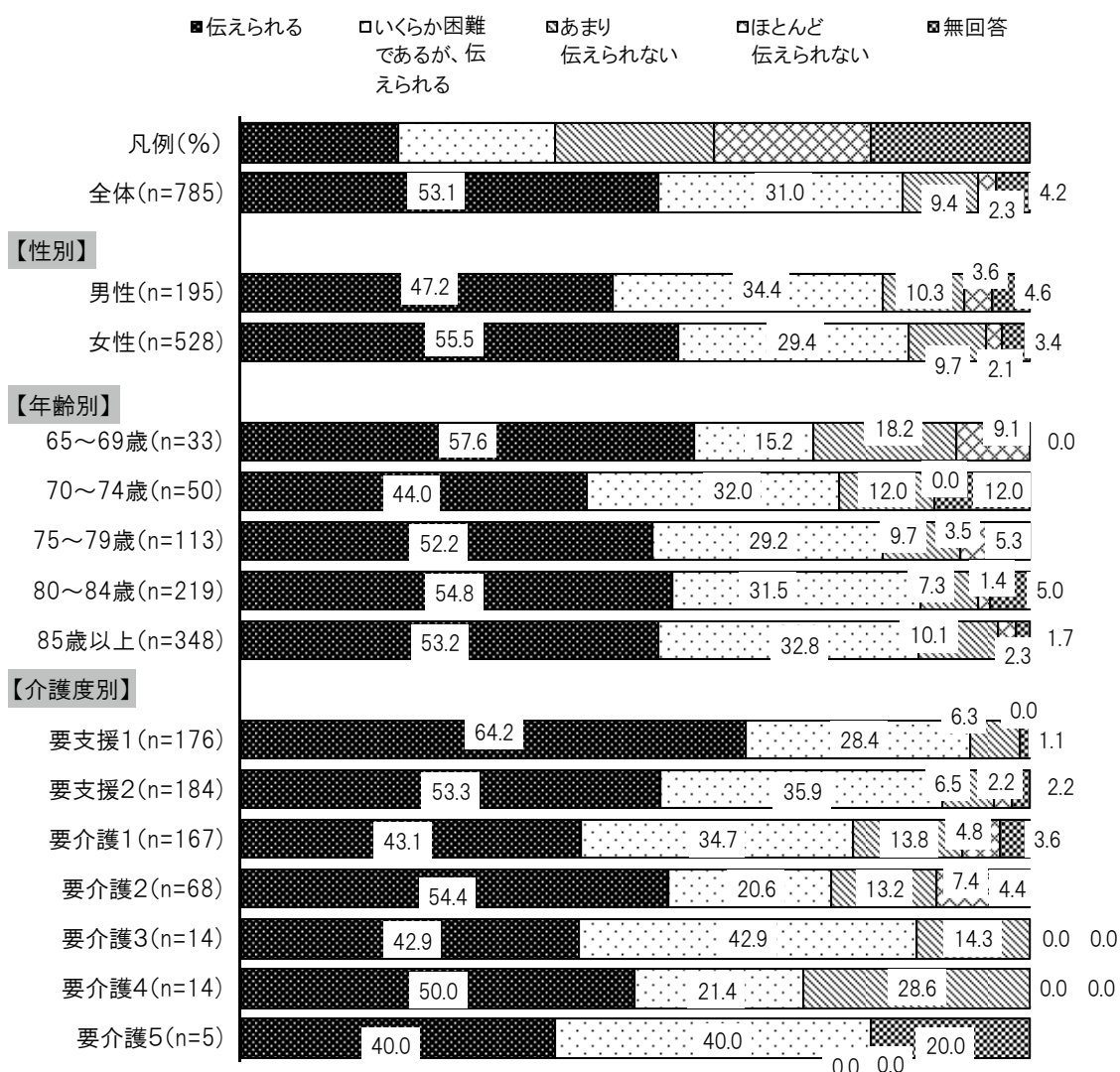
Q6 人に自分の考えをうまく伝えられますか

人に自分の考えをうまく伝えることについては、「伝えられる」が53.1%、「いづらか困難であるが、伝えられる」の31.0%を合わせると84.1%が『伝えられる』と答えています。「あまり伝えられない」が9.4%、「ほとんど伝えられない」が2.3%となっています。

性別では、女性は「伝えられる」が55.5%で、男性の47.2%より多くなっています。

年齢別では、年齢に従った明確な傾向はみられません。

介護度別では、要支援1は「伝えられる」が64.2%と多くなっています。



4. 支援サービスの利用状況

Q7 現在、どの生活支援サービスを利用していますか

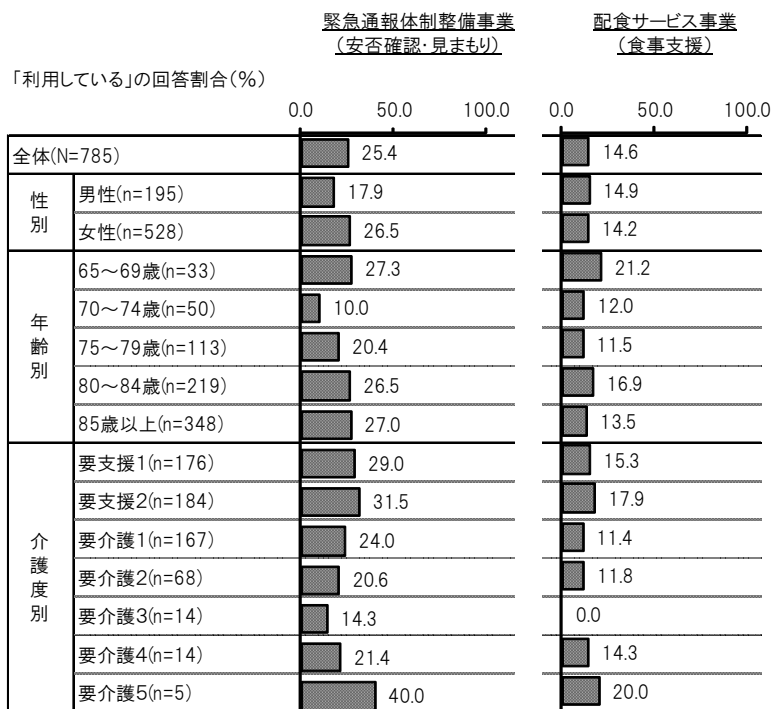
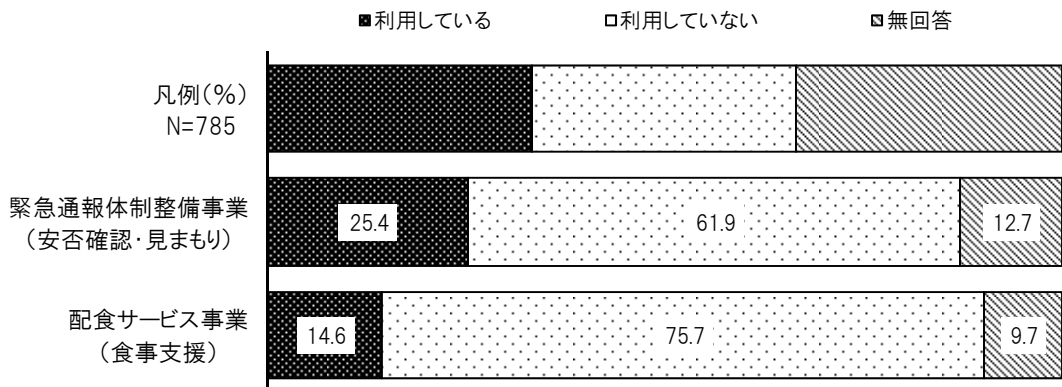
- (1) 緊急通報体制整備事業（安否確認・見まもり）
- (2) 配食サービス事業（食事支援）

支援サービスの利用状況では、「緊急通報体制整備事業（安否確認・見まもり）」が25.4%、「配食サービス事業（食事支援）」が14.6%となっています。

性別では「緊急通報体制整備事業（安否確認・見まもり）」は女性が26.5%と男性の17.9%より多くなっています。

年齢別では「緊急通報体制整備事業（安否確認・見まもり）」で70～74歳が10.0%と少なく、「配食サービス事業（食事支援）」が65～69歳は21.2%と多くなっています。

介護度別では、「緊急通報体制整備事業（安否確認・見まもり）」で、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援で利用率がやや高くなっています。



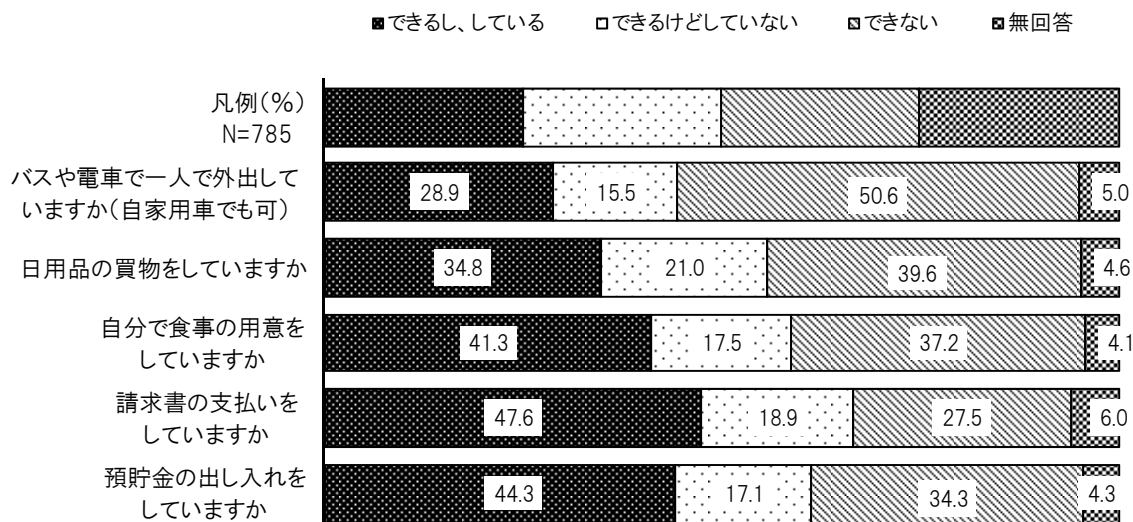
【7】日常生活

1. 手段的自立度

- Q 1 バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）
 Q 2 日用品の買物をしていますか
 Q 3 自分で食事の用意をしていますか
 Q 4 請求書の支払いをしていますか
 Q 5 預貯金の出し入れをしていますか

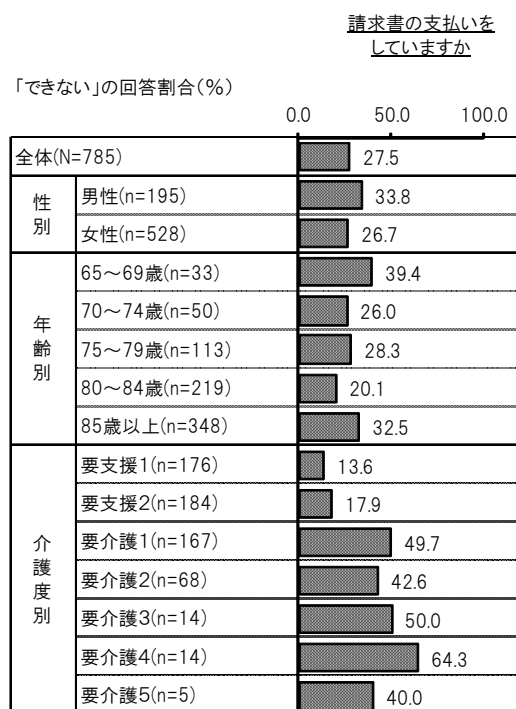
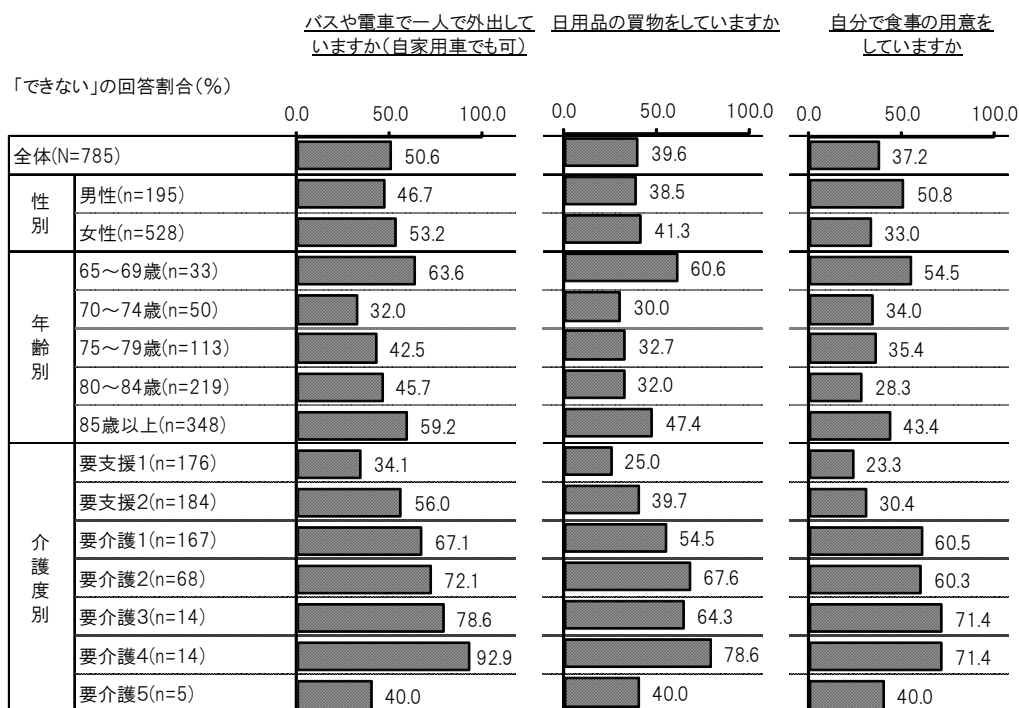
手段的自立度については、「できるし、している」は「請求書の支払いをしていますか」が 47.6%で最も多く、ついで「預貯金の出し入れをしていますか」(44.3%)、「自分で食事の用意をしていますか」(41.3%)、「日用品の買物をしていますか」(34.8%)、「バスや電車で一人で外出していますか(自家用車でも可)」(28.9%)となっています。

「できない」と答えた割合は、「バスや電車で一人で外出していますか（自家用車でも可）」(50.6%)が最も高く、半数となっています。



性別では、男性は「自分で食事の用意をしていますか」で「できない」が50.8%と女性の33.0%より多く、「請求書の支払いをしていますか」も33.8%で男性のほうがやや多くなっています。

年齢別では、65～69歳の「できない」の割合が全ての項目で最も多くなっています。介護度別では、要支援より要介護の方が「できない」の割合が多くなっています。



2. 日用品の買い物をする人について

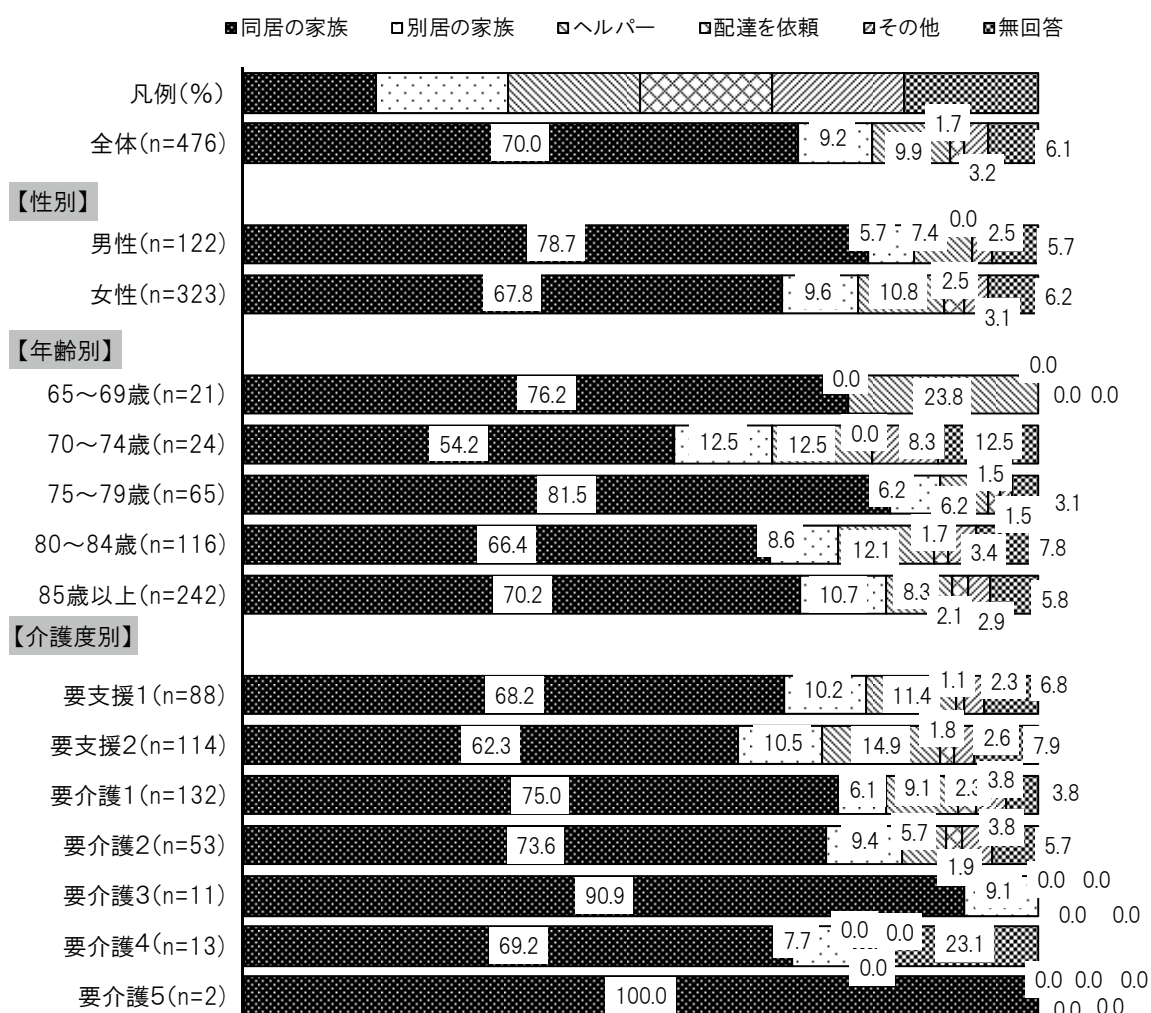
Q2-1 (日用品の買物をしていない、できない方のみ) 日用品の買物をする人は主にどなたですか

日用品の買い物をする人については、「同居の家族」が70.0%と最も多く、「ヘルパー」が9.9%、「別居の家族」が9.2%、「その他」が3.2%、「配達を依頼」が1.7%となっています。

性別では、男性は「同居の家族」が78.7%と多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「ヘルパー」が23.8%、75～79歳は「同居の家族」が81.5%と多くなっています。

介護度別では、「同居の家族」が要支援より要介護の方で多くなっています。



3. 食事の用意をする人について

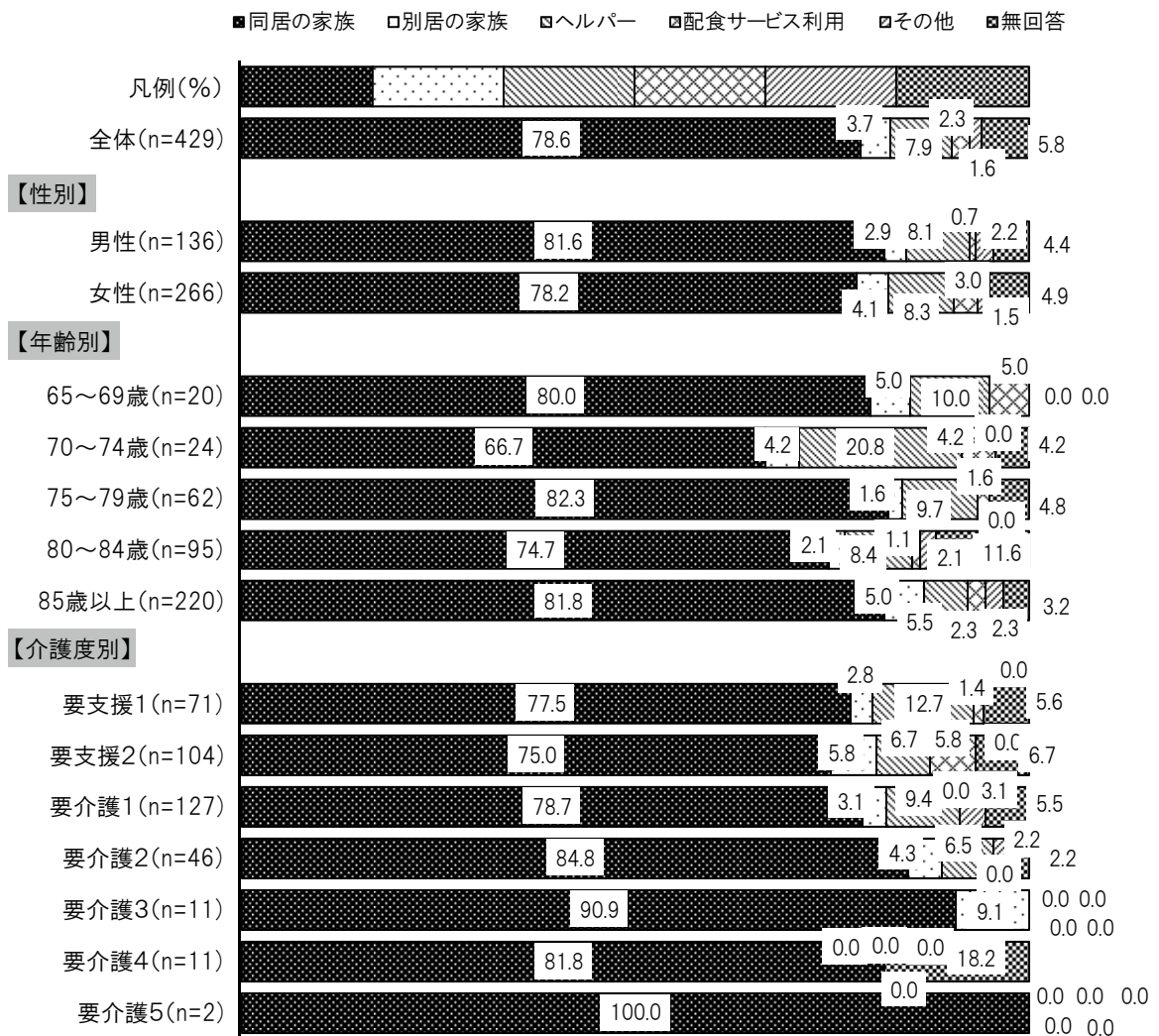
Q3-1 (自分で食事の用意をしていない、できない方のみ) 食事の用意をする人は主にどなたですか

食事の用意をする人については、「同居の家族」が78.6%と多数を占めています。「別居の家族」が3.7%、「ヘルパー」が7.9%、「配食サービス利用」が2.3%、「その他」が1.6%となっています。

性別での大きな差はみられませんが、女性は男性に比べ「配食サービス利用」がやや多くなっています。

年齢別では、70～74歳は「ヘルパー」が20.8%と多くなっています。

介護度別では、「同居の家族」が要支援より要介護の方で多くなっています。

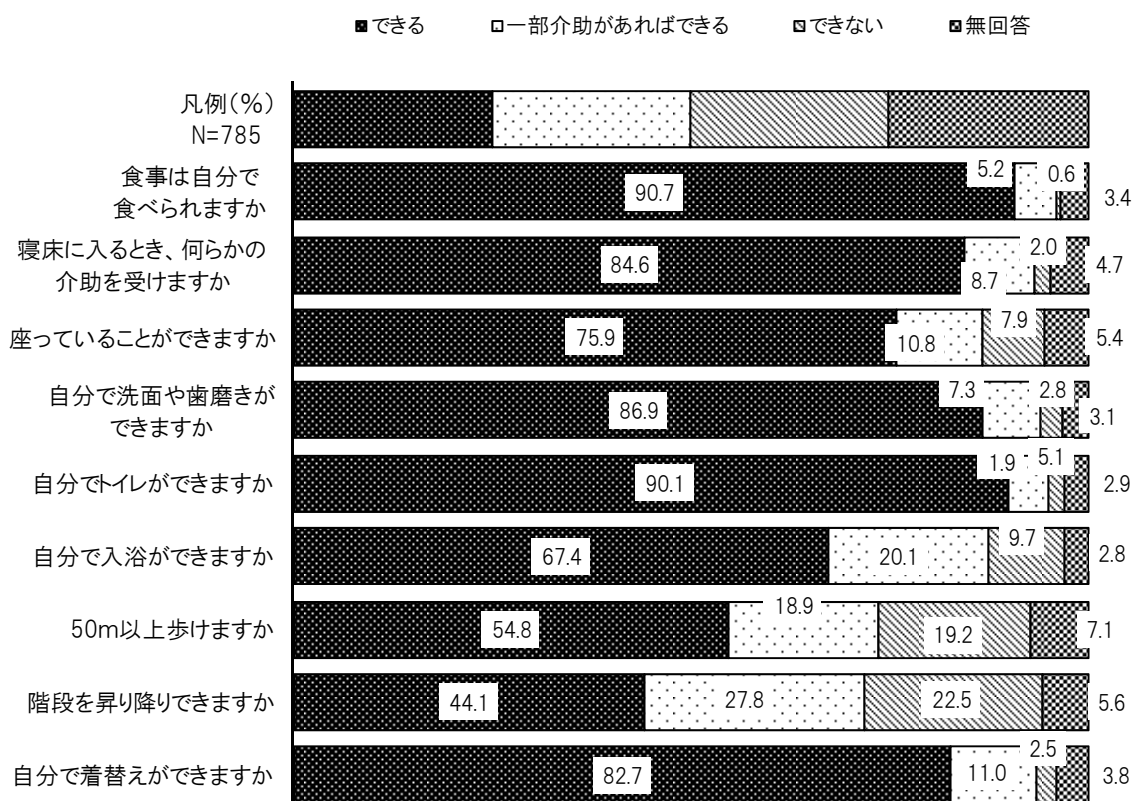


4. 日常生活について

- Q 6 食事は自分で食べられますか
 Q 7 寝床に入るとき、何らかの介助を受けますか
 Q 8 座っていることができますか
 Q 9 自分で洗面や歯磨きができますか
 Q 10 自分でトイレができますか
 Q 11 自分で入浴ができますか
 Q 12 50m以上歩けますか
 Q 13 階段を昇り降りできますか
 Q 14 自分で着替えができますか

日常生活については、「できない」をみていくと、「階段を昇り降りできますか」(22.5%)が最も多く、ついで「50m以上歩けますか」(19.2%)、「自分で入浴ができますか」(9.7%)、「座っていることができますか」(7.9%)となっています。

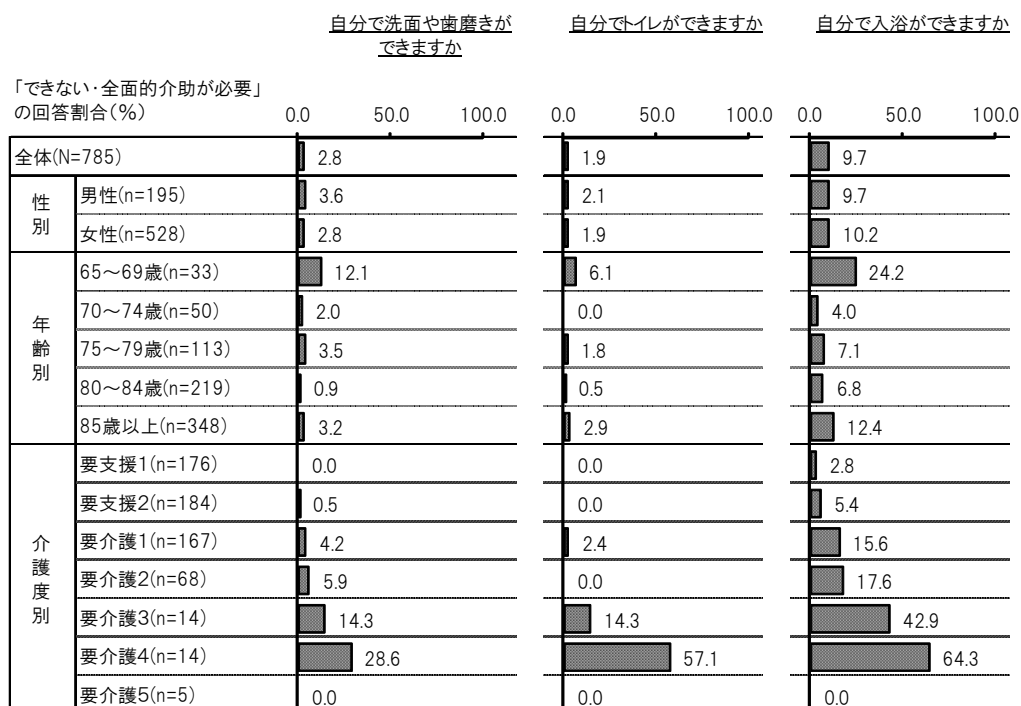
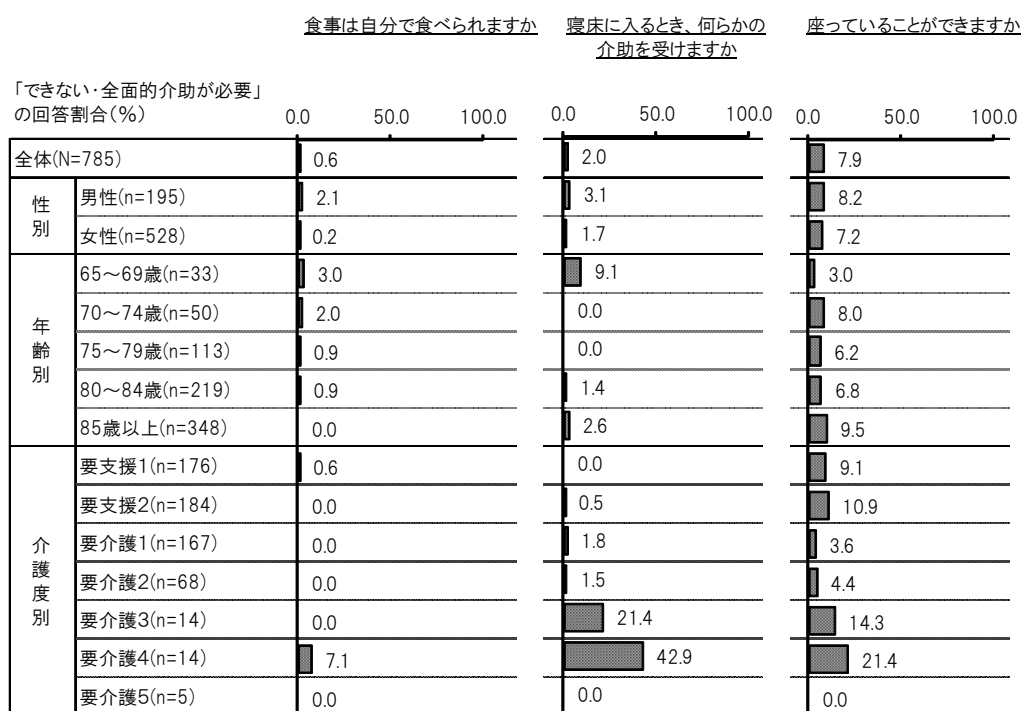
「一部介助があればできる」は、「階段を昇り降りできますか」(27.8%)、「自分で入浴ができますか」(20.1%)、「50m以上歩けますか」(18.9%)で多くなっています。



性別では、「階段を昇り降りできますか」で「できない・全面的介助が必要」が、男性 17.9%に対し女性 24.1%と女性がやや多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「自分で入浴ができますか」が 24.2%、「50m以上歩けますか」が 27.3%、「階段を昇り降りできますか」が 39.4%で「できない・全面的介助が必要」が多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、全項目で介護度が高いほど回答が多くなる傾向がみられます。

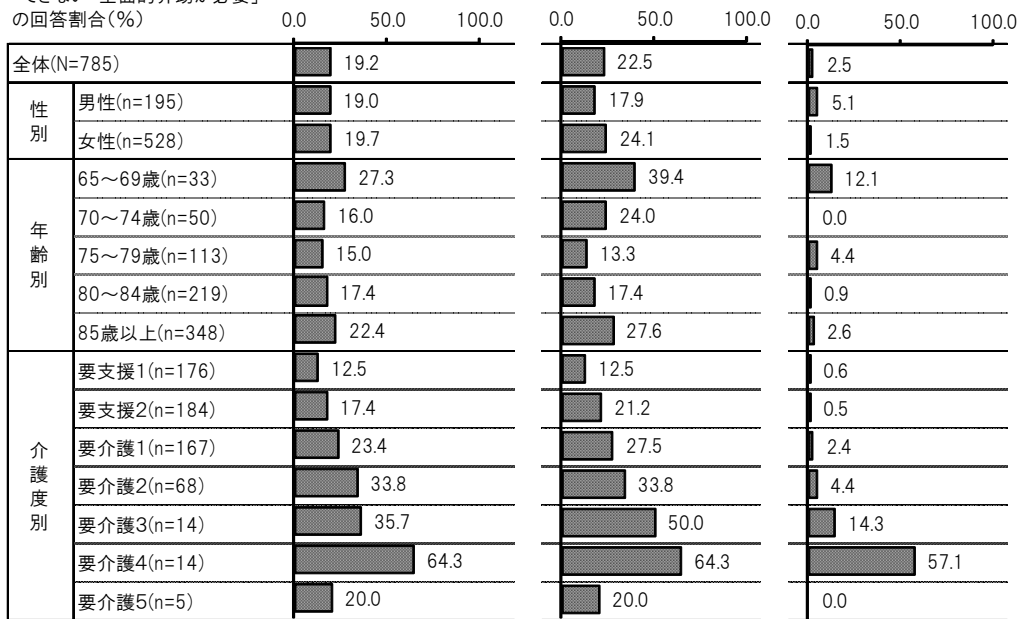


50m以上歩けますか

階段を昇り降りできますか

自分で着替えができますか

「できない・全面的介助が必要」
の回答割合(%)



5. 大便の失敗について

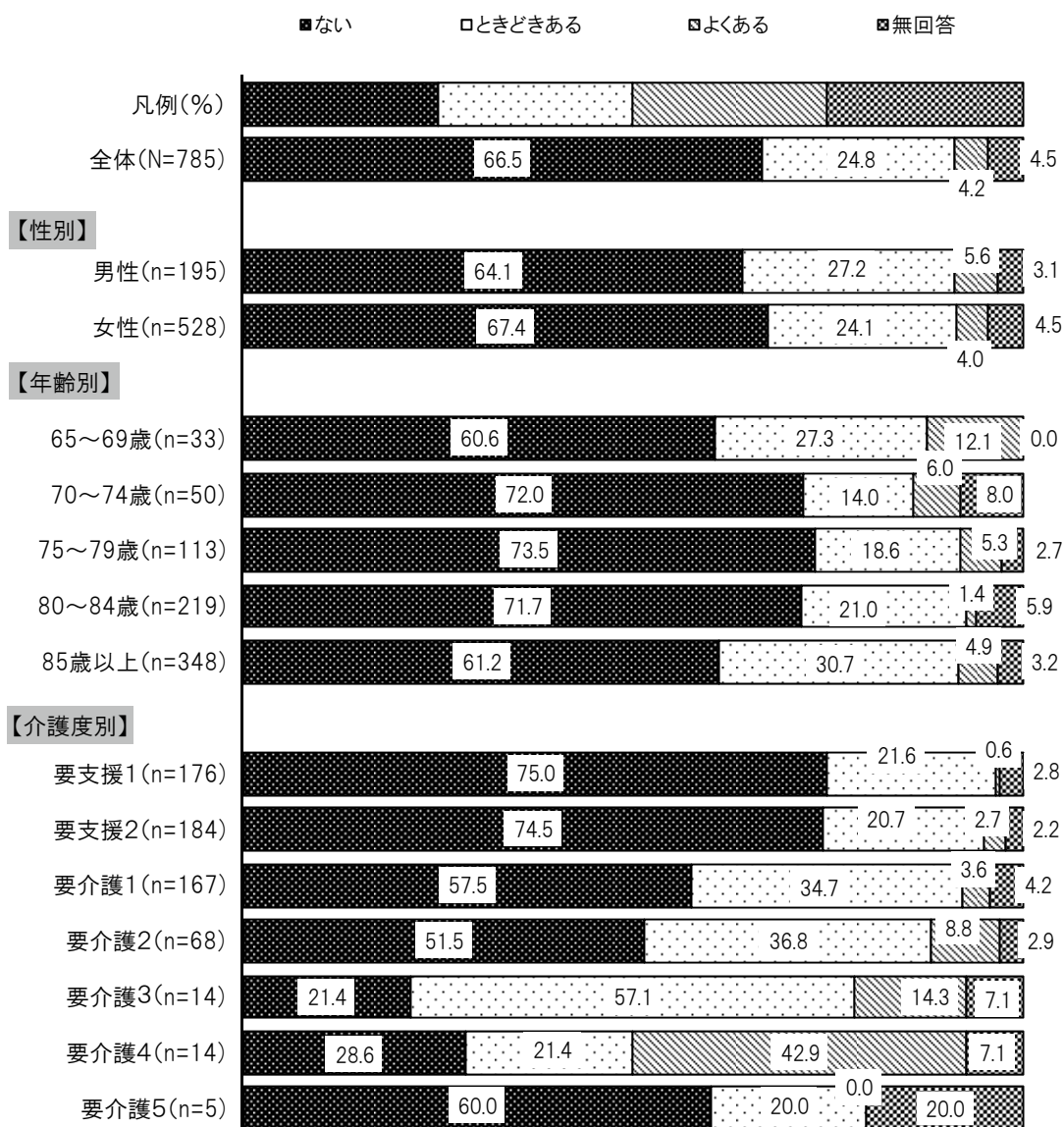
Q15 大便の失敗がありますか

排便コントロールは、失敗は「ない」が 66.5%、「ときどきある」が 24.8%、「よくある」が 4.2%となっています。

性別では、大きな差はみられません。

年齢別では、65～69歳と85歳以上は「ない」がそれぞれ60.6%、61.2%と少なくなっています。

介護度別では、要介護3で「ときどきある」が57.1%、要介護4で「よくある」が42.9%と多く、「ない」が少なくなっています。



6. 尿もれや尿失禁について

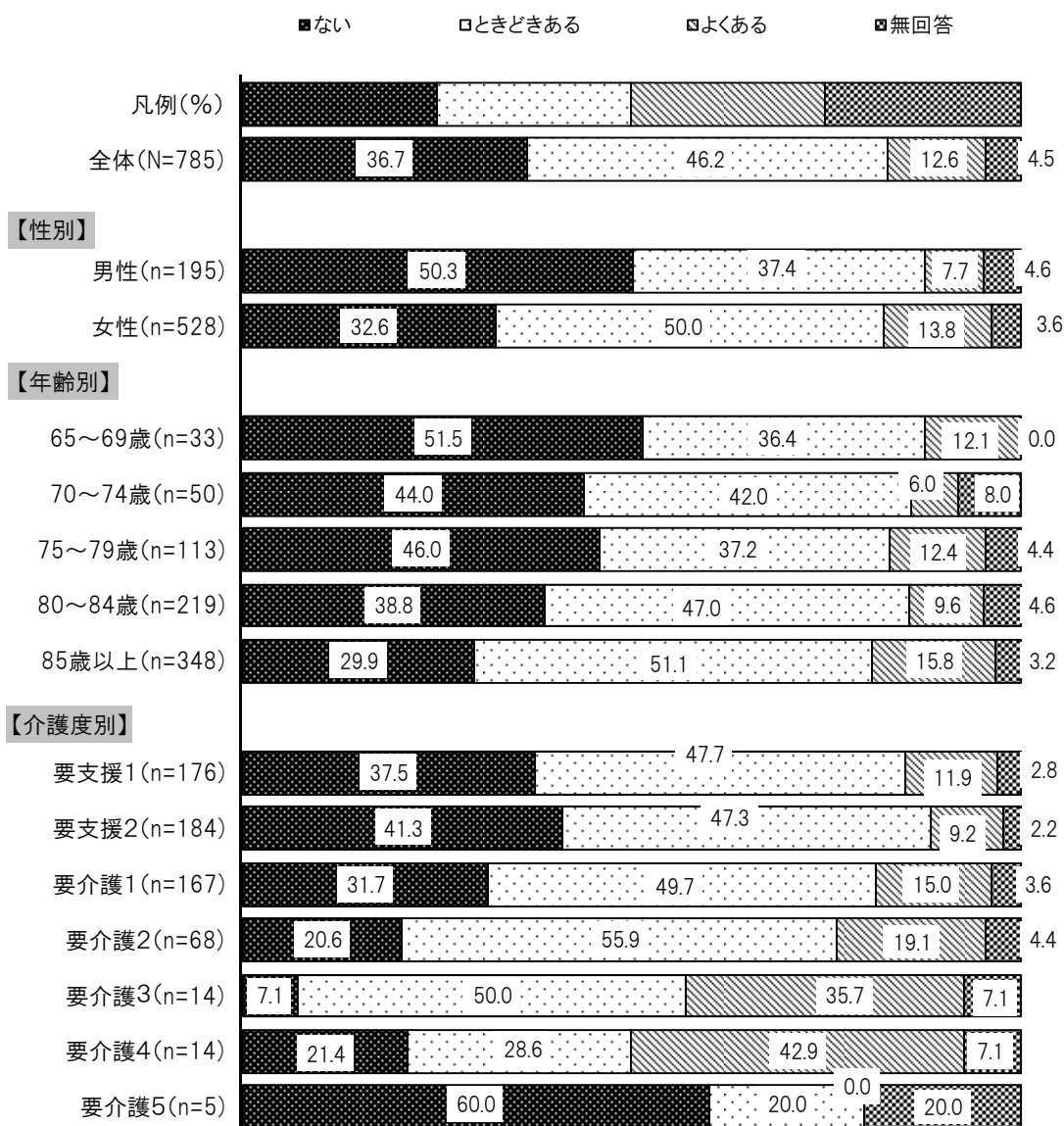
Q16 尿もれや尿失禁がありますか

排尿コントロールは、尿もれや尿失禁が「ない」が36.7%、「ときどきある」が46.2%、「よくある」が12.6%となっています。

性別では、男性は「ない」が50.3%と多くなっています。

年齢別では、年齢が下がるほど「ない」が多くなる傾向がみられます。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援の方が要介護より「ない」が多くなっています。



7. 家事全般について

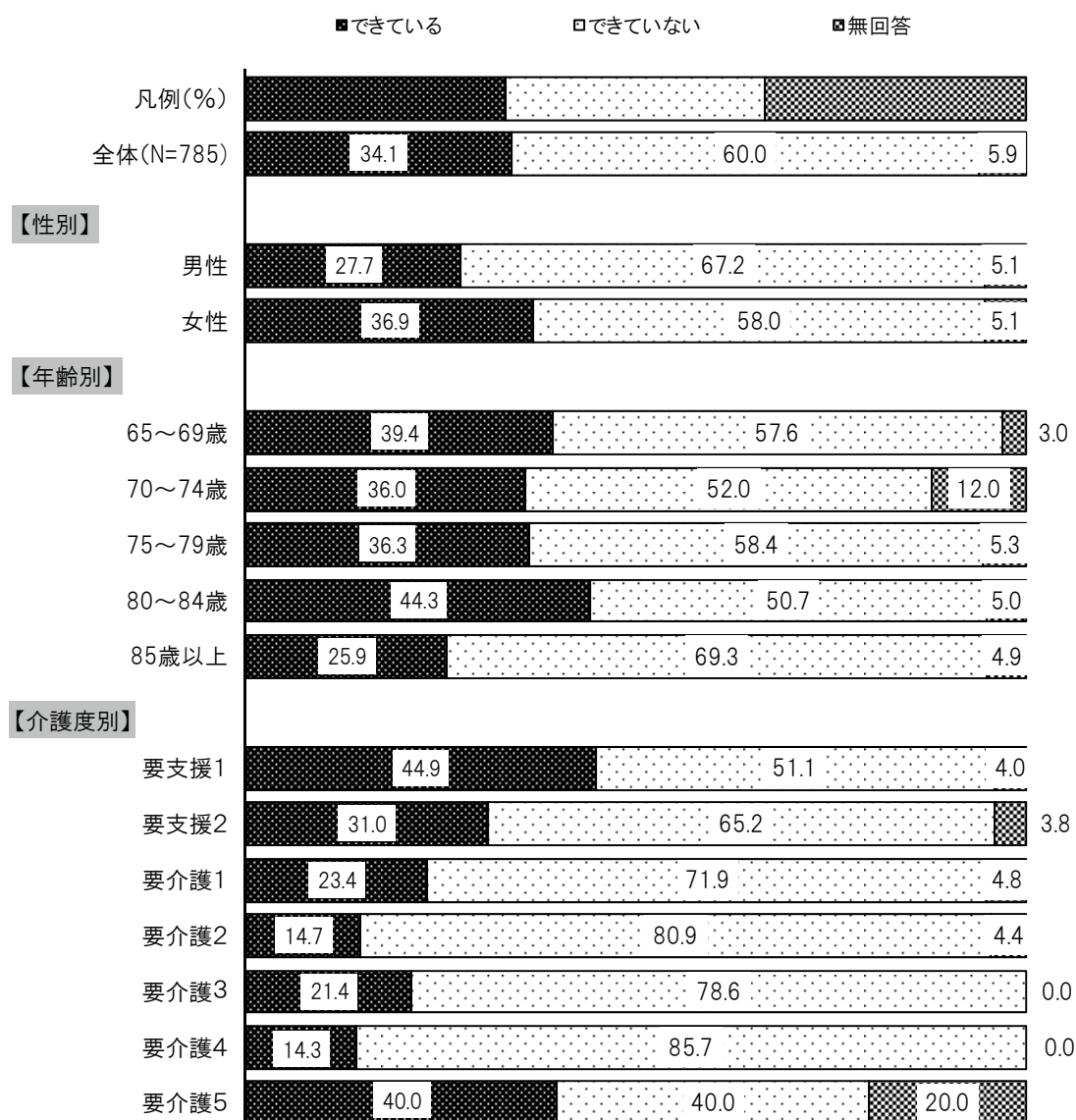
Q17 家事全般ができていますか

家事全般については、「できている」が 34.1%、「できていない」が 60.0%となっています。

性別では、女性は「できている」が 36.9%で多くなっています。

年齢別では、85歳以上は「できている」が 25.9%と少なくなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援の方が要介護より「できている」が多くなっています。

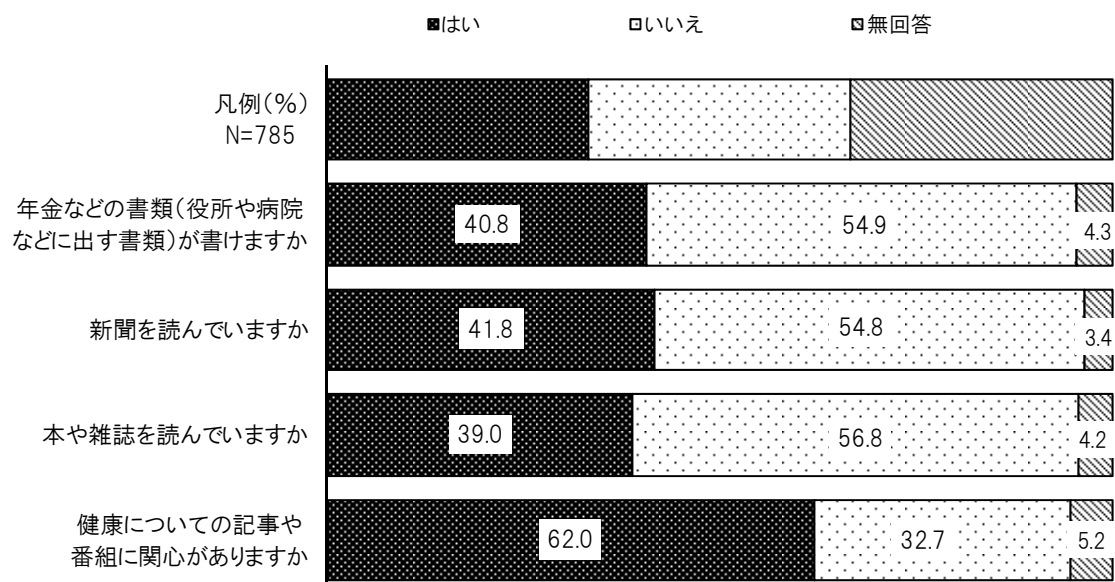


【8】社会参加

1. 社会参加について

- Q 1 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか
Q 2 新聞を読んでいますか
Q 3 本や雑誌を読んでいますか
Q 4 健康についての記事や番組に関心がありますか

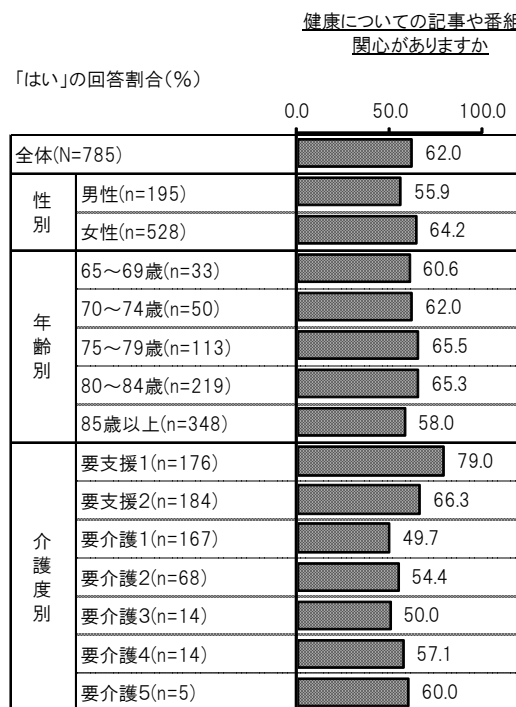
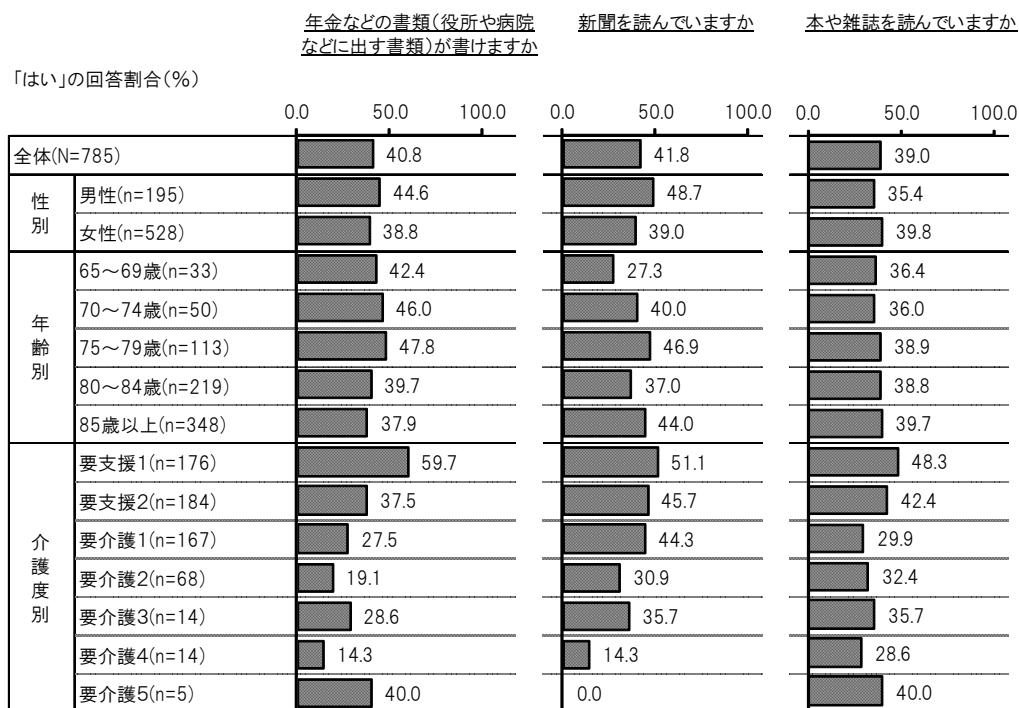
社会参加については、「健康についての記事や番組に関心がありますか」は 62.0%が「はい」と答えていますが、「新聞を読んでいますか」は 41.8%、「年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか」は 40.8%、「本や雑誌を読んでいますか」は 39.0%と少なくなっています。



性別では、男性は「新聞を読んでいますか」の「はい」が48.7%と多く、女性では「健康についての記事や番組に関心がありますか」が64.2%と多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「新聞を読んでいますか」が27.3%と少なくなっています。

介護度別では、全項目で、要支援の方が要介護より「はい」が多くなっています。

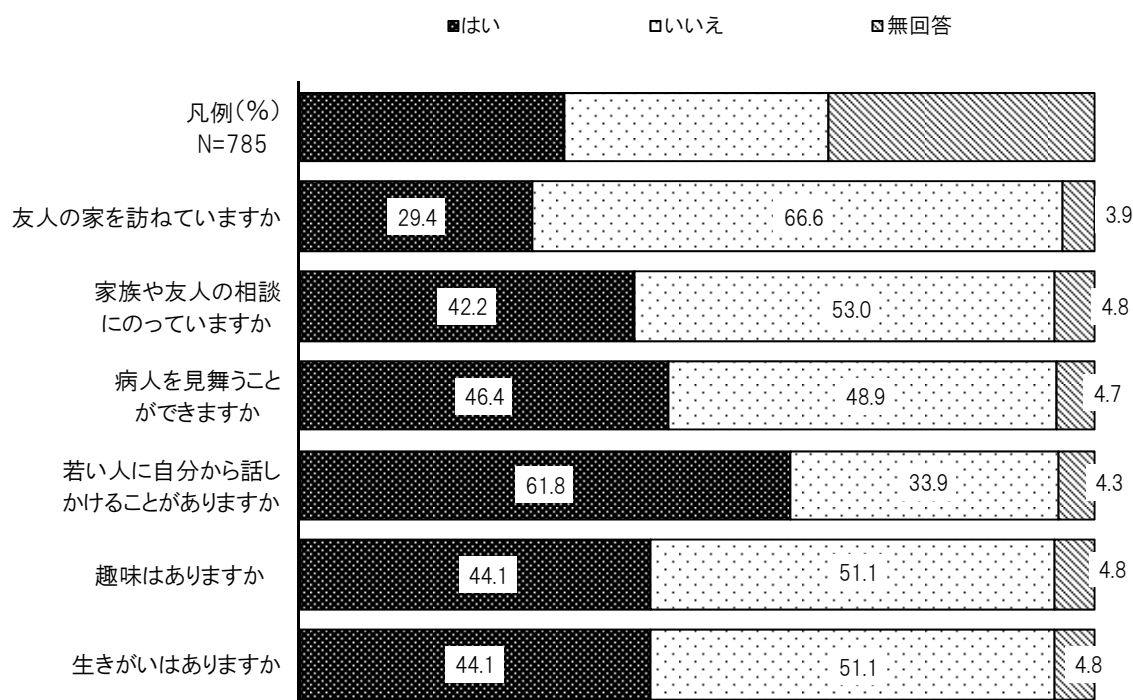


2. 社会的役割等について

- Q 5 友人の家を訪ねていますか
 Q 6 家族や友人の相談にのっていますか
 Q 7 病人を見舞うことができますか
 Q 8 若い人に自分から話しかけることがありますか
 Q 9 趣味はありますか
 Q 10 生きがいはありますか

社会的役割等については、「はい」の割合は、「若い人に自分から話しかけることがありますか」(61.8%)が最も多く、以下「病人を見舞うことができますか」(46.4%)、「趣味はありますか」「生きがいはありますか」(ともに44.1%)、「家族や友人の相談にのっていますか」(42.2%)、「友人の家を訪ねていますか」(29.4%)となっています。

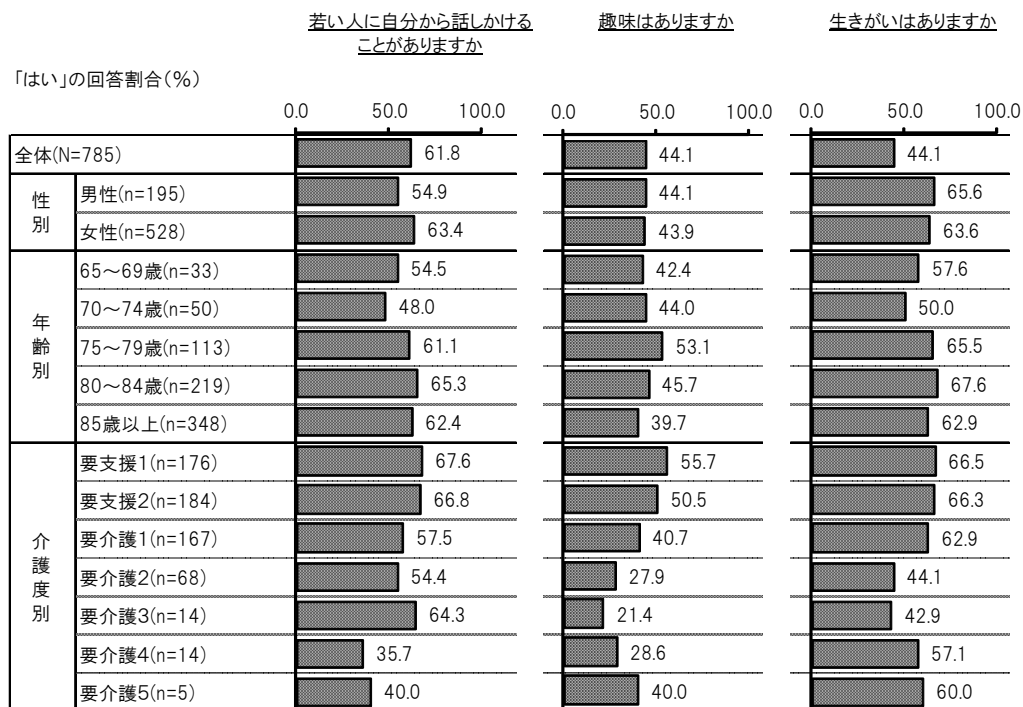
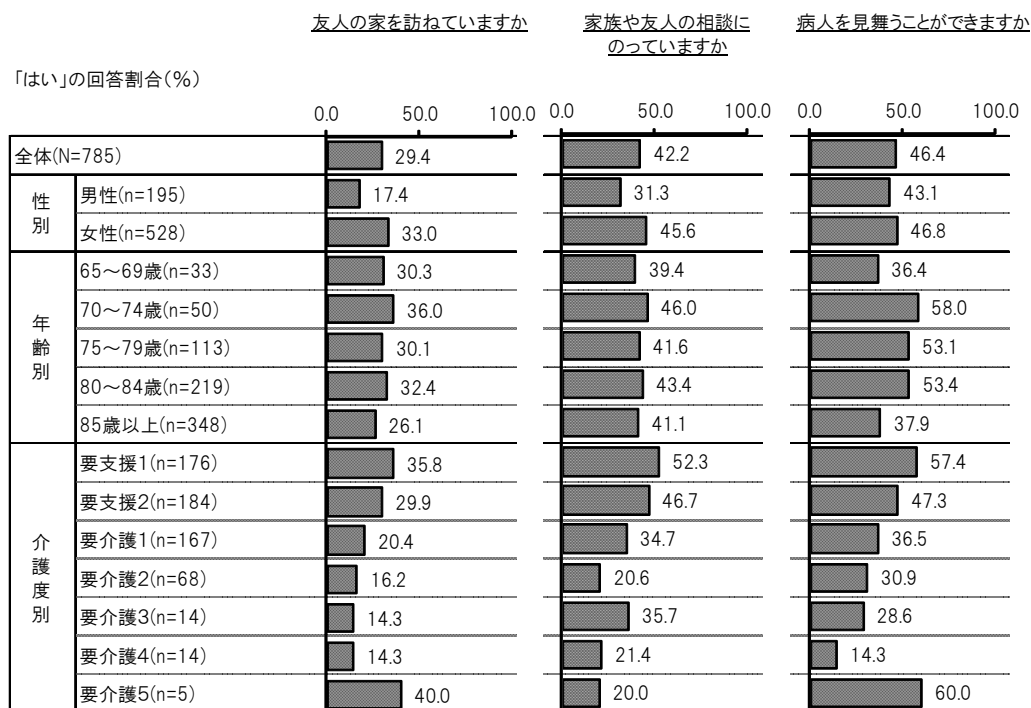
一方、「いいえ」は「友人の家を訪ねていますか」が66.6%と多くなっています。



性別では、男性は「友人の家を訪ねていますか」が7.4%、「家族や友人の相談にのっていますか」が31.3%と「はい」が女性より少なくなっています。

年齢別では70～74歳は「病人を見舞うことができますか」で「はい」が58.0%と多くなっています。

介護度別では、全項目で要支援の方が要介護より「はい」が多くなっています。

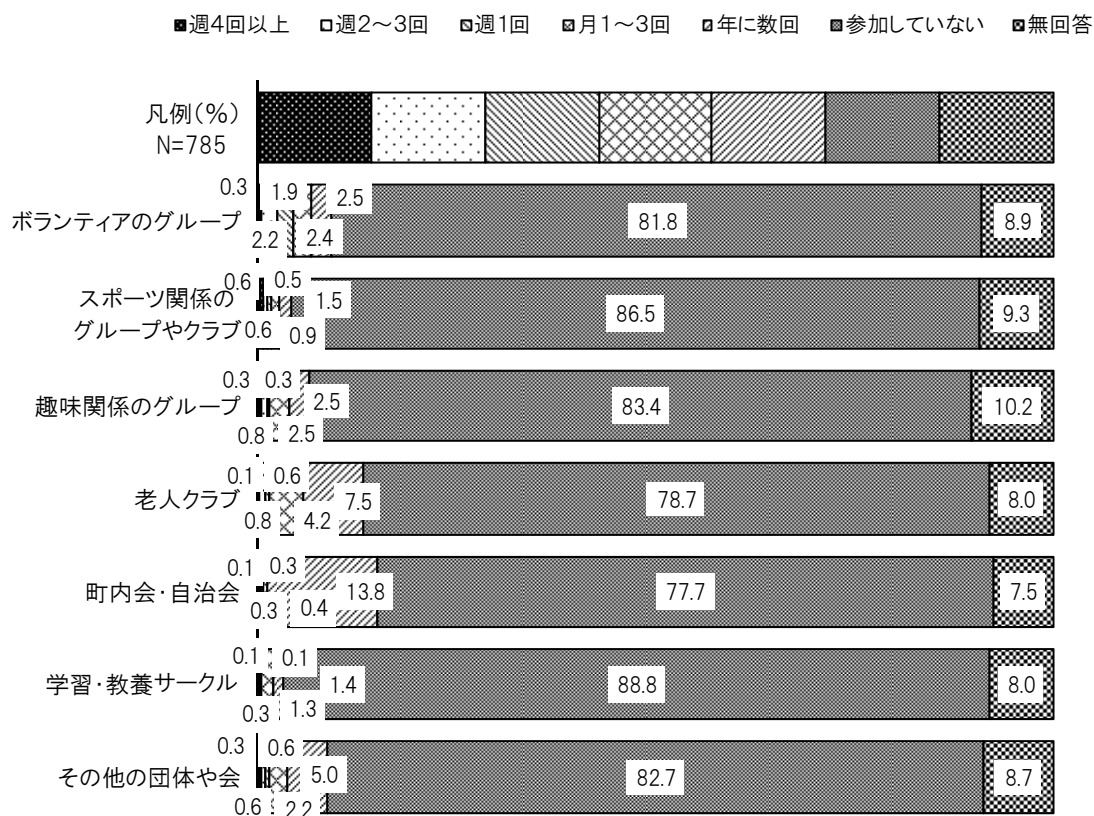


3. 地域グループ等の参加頻度

Q11 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

- (1) ボランティアのグループ
- (2) スポーツ関係のグループやクラブ
- (3) 趣味関係のグループ
- (4) 老人クラブ
- (5) 町内会・自治会
- (6) 学習・教養サークル
- (7) その他の団体や会

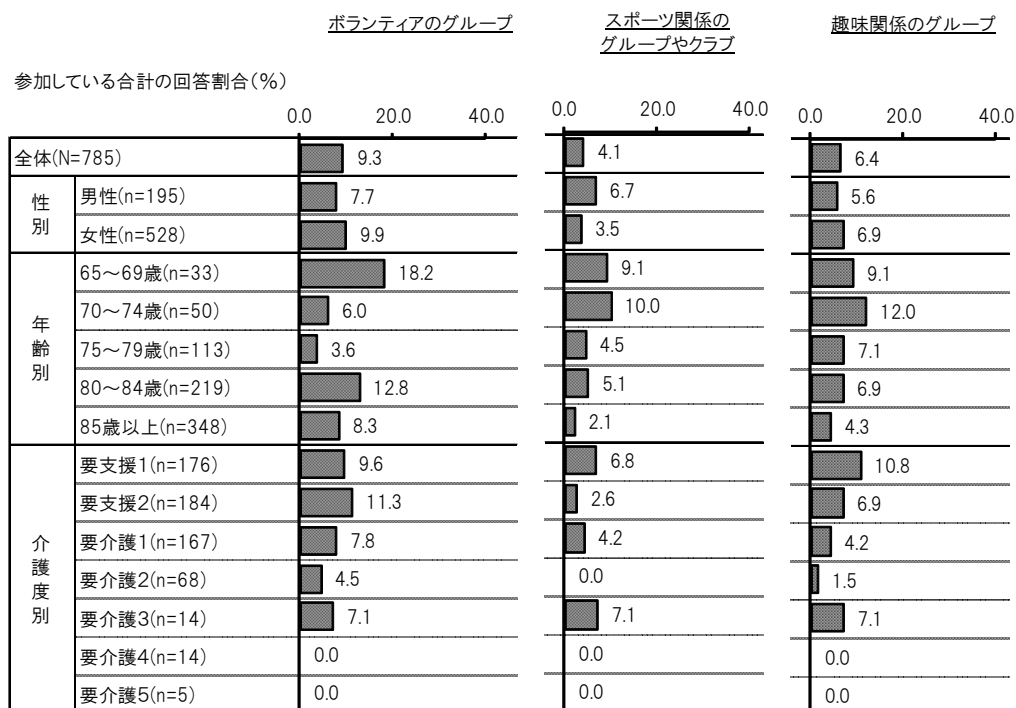
地域グループ等の参加頻度について、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた参加率でみると、「町内会・自治会」が14.9%と最も高く、ついで「老人クラブ」(13.2%)、「ボランティアのグループ」(9.3%)、「その他の団体や会」(8.7%)、「趣味関係のグループ」(6.4%)、「スポーツ関係のグループやクラブ」(4.1%)、「学習・教養サークル」(3.2%)となっています。



性別では、女性は「老人クラブ」の15.9%をはじめ、ほとんどのグループ活動への参加率が男性より高くなっています。

年齢別では65～69歳は「ボランティアのグループ」の参加率が18.2%、「学習・教養サークル」が9.1%、70～74歳で「スポーツ関係のグループやクラブ」が10.0%、「趣味関係のグループ」が12.0%、「その他の団体や会」が18.0%、75～79歳は「町内会・自治会」が23.9%、80～84歳は「老人クラブ」が18.3%と高くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、全項目で、要支援の方が要介護より参加率が高くなっています。

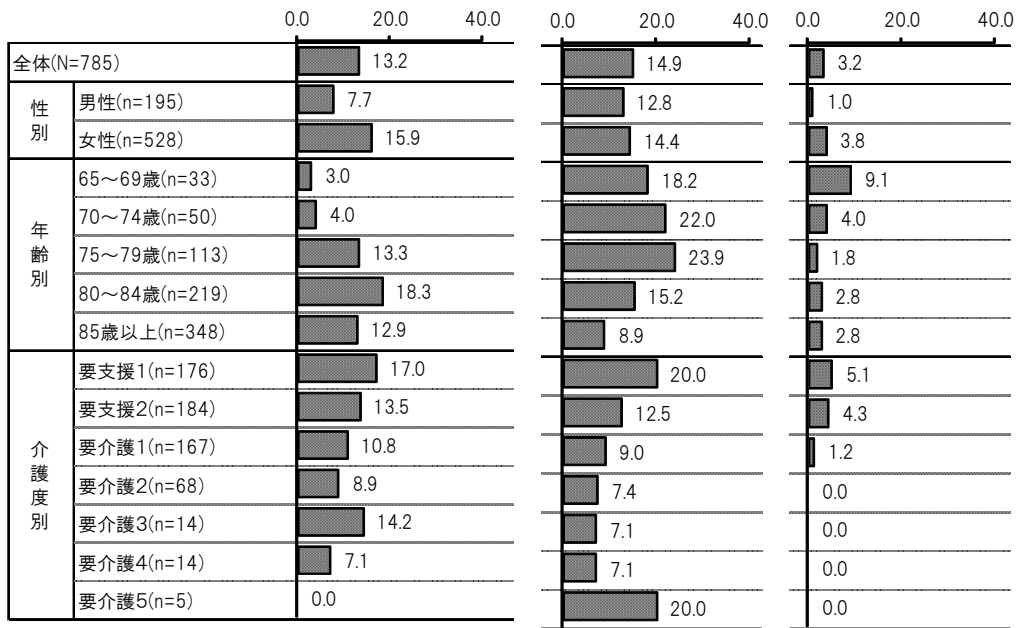


老人クラブ

町内会・自治会

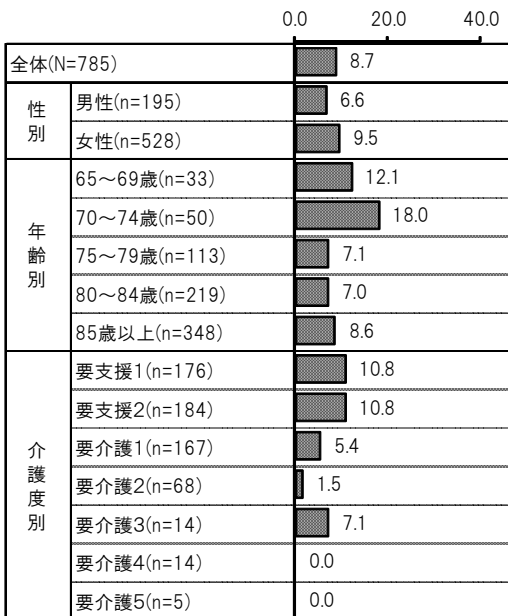
学習・教養サークル

参加している合計の回答割合(%)



その他の団体や会

参加している合計の回答割合(%)



4. 地域活動等の参加頻度

Q12 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動

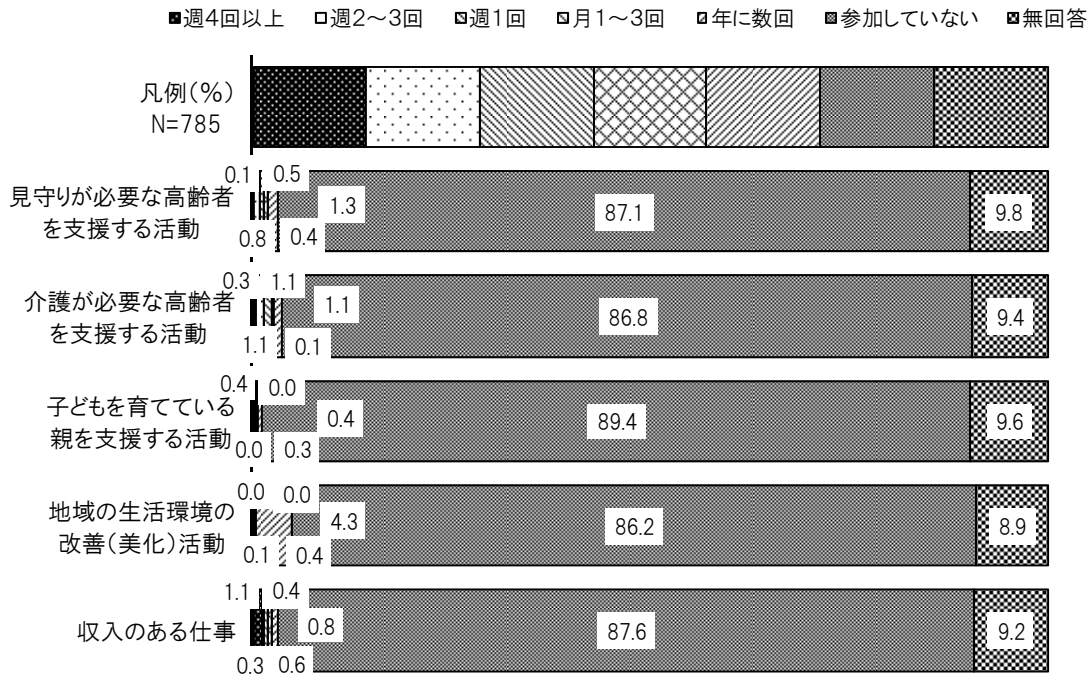
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動

(3) 子どもを育てている親を支援する活動

(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動

(5) 収入のある仕事

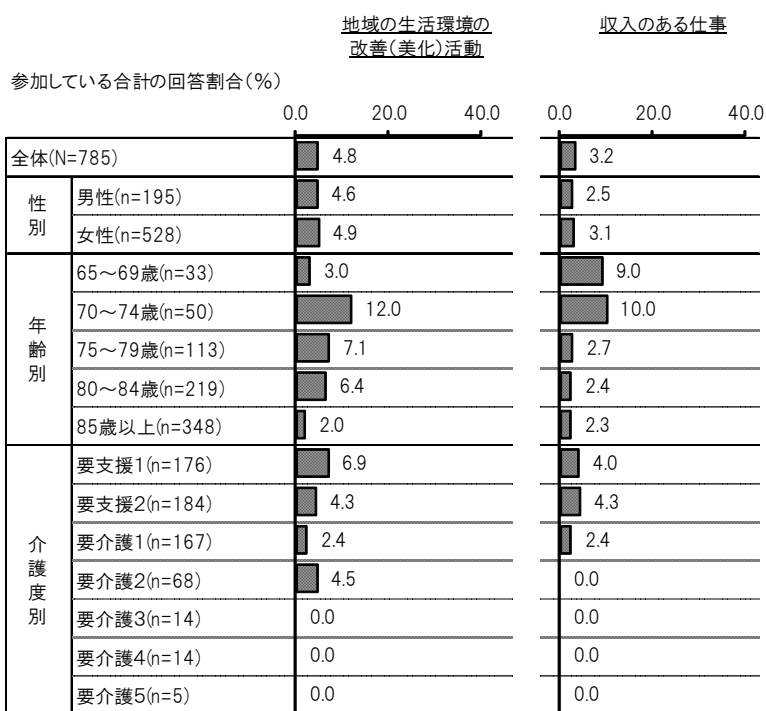
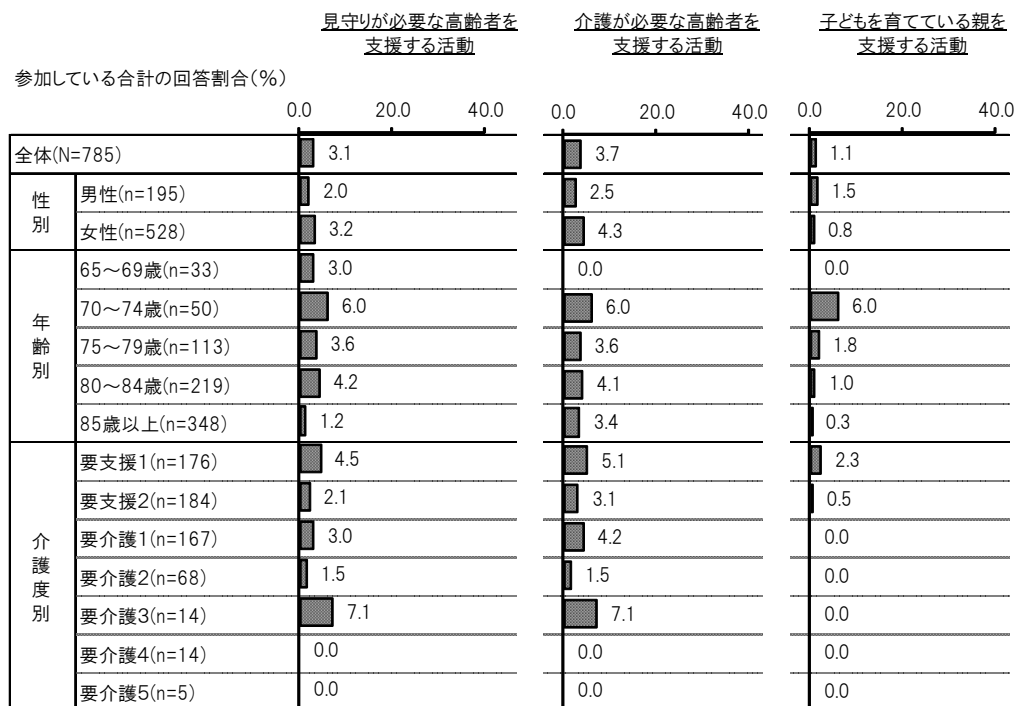
地域活動等の参加頻度について、「週4回以上」から「年に数回」までを合わせた参加率でみると、最も高いのは「地域の生活環境の改善（美化）活動」の4.8%となっており、ついで「介護が必要な高齢者を支援する活動」(3.7%)、「収入のある仕事」(3.2%)、「見守りが必要な高齢者を支援する活動」(3.1%)、「子どもを育てている親を支援する活動」(1.1%)となっています。



性別では、「介護が必要な高齢者を支援する活動」が女性は 4.3%でやや多いものの、男女で大きな差はみられません。

年齢別では、70～74歳が全項目で参加率が高くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援の方が要介護より参加率がやや高い傾向が見られます。



5. 「たすけあい」について

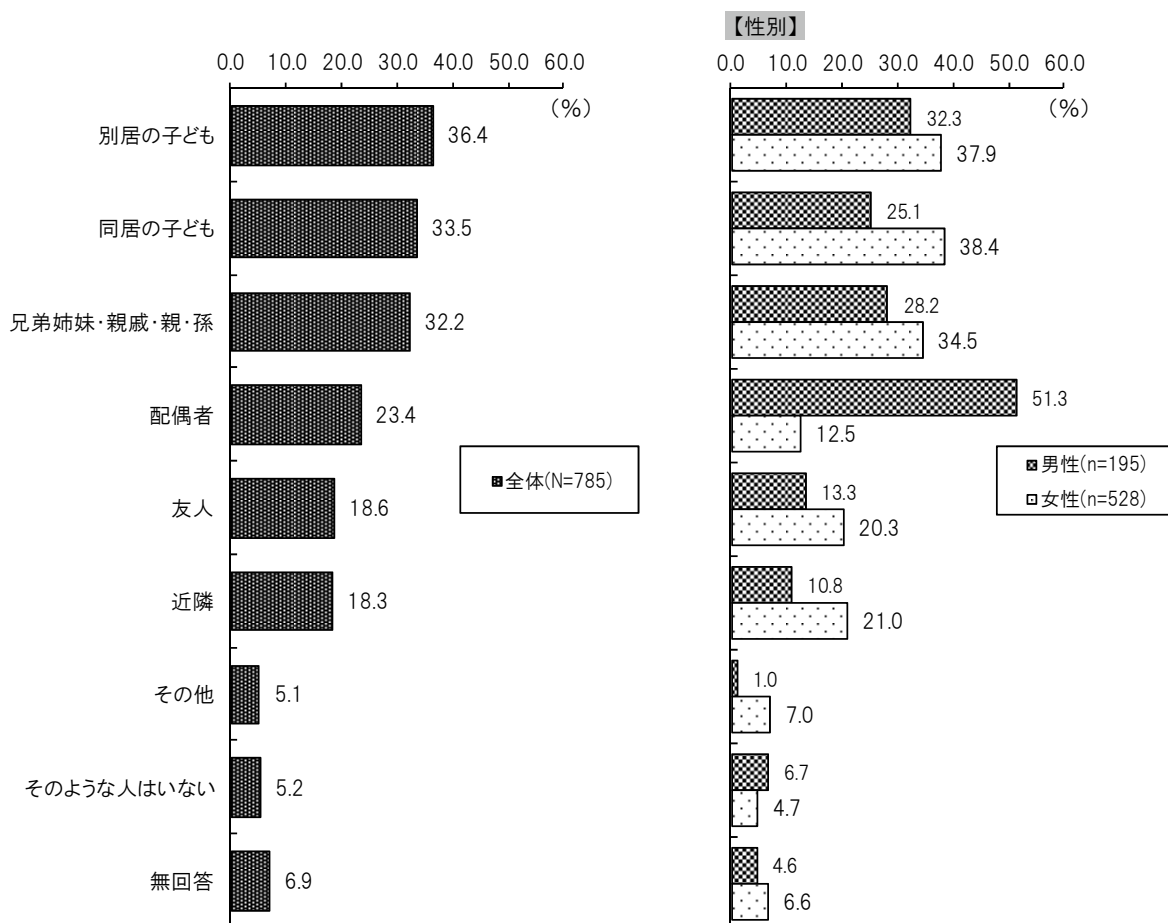
Q13 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください

(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「別居の子ども」が36.4%で最も多く、ついで「同居の子ども」が33.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が32.2%、「配偶者」が23.4%、「友人」が18.6%、「近隣」が18.3%、「その他」が5.1%と続いています。「そのような人はいない」は5.2%に止まっています。

性別では、男性は「配偶者」が51.3%と特に多く、ほかの項目については女性の方が多いという結果で、男性と女性で明確な違いがみられます。



年齢別では、65～69歳は「配偶者」が45.5%、70～74歳では「友人」が26.0%、75～79歳では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が38.9%、80～84歳では「別居の子ども」が40.2%、85歳以上では「同居の子ども」が41.7%と多くなっています。

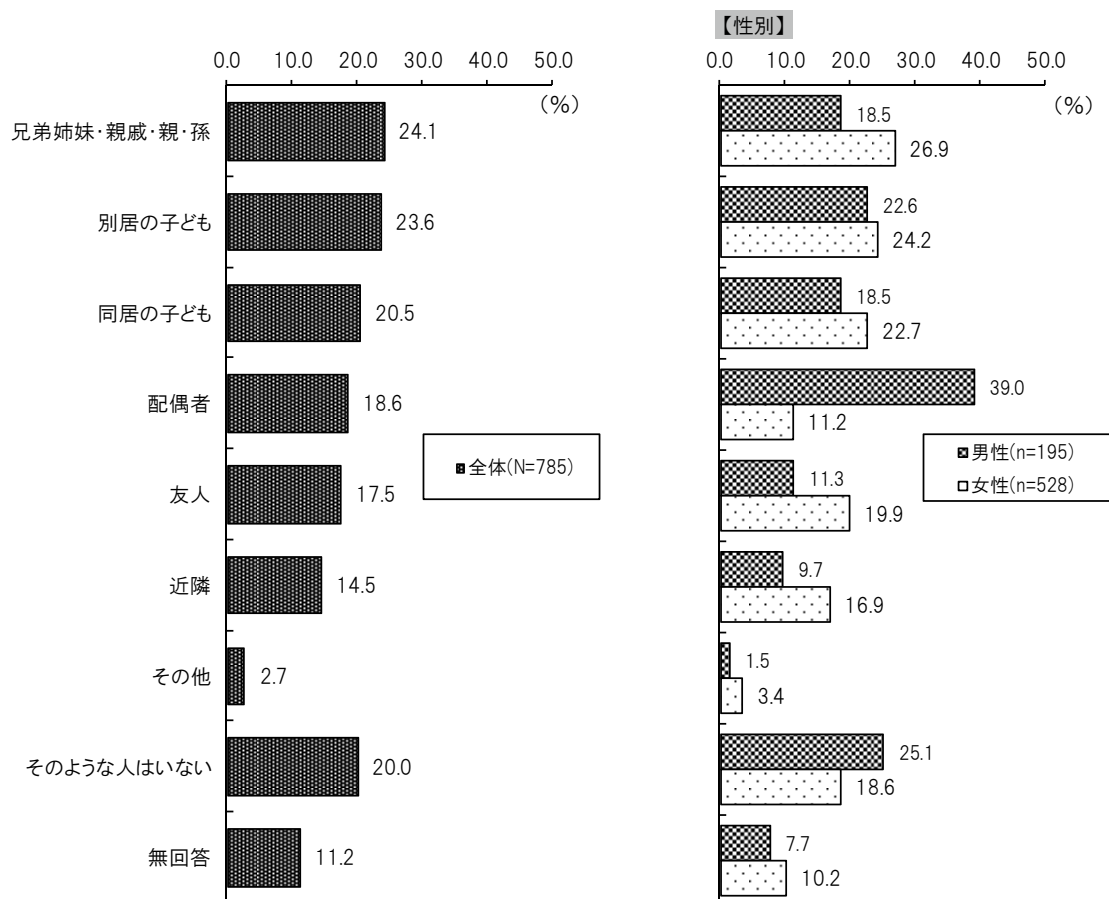
介護度別では、「別居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」「近隣」で、要支援の方が要介護より多い傾向がみられます。

区分		(%)								
		心配事や愚痴を聞いてくれる人	別居の子ども	同居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	配偶者	友人	近隣	その他	いそいそするような人は
全体(N=785)			36.4	33.5	32.2	23.4	18.6	18.3	5.1	5.2
性別	男性(n=195)		32.3	25.1	28.2	51.3	13.3	10.8	1.0	6.7
	女性(n=528)		37.9	38.4	34.5	12.5	20.3	21.0	7.0	4.7
年齢別	65～69歳(n=33)		18.2	21.2	30.3	45.5	24.2	12.1	6.1	3.0
	70～74歳(n=50)		38.0	18.0	34.0	42.0	26.0	10.0	2.0	4.0
	75～79歳(n=113)		39.8	31.9	38.9	37.2	20.4	19.5	2.7	4.4
	80～84歳(n=219)		40.2	27.9	34.7	27.9	21.9	15.5	5.0	6.4
	85歳以上(n=348)		34.8	41.7	29.9	11.8	14.7	21.8	6.3	5.5
介護度別	要支援1(n=176)		44.9	30.1	38.6	21.6	27.3	21.0	5.1	5.1
	要支援2(n=184)		37.0	33.2	34.2	16.8	19.0	22.8	4.9	4.9
	要介護1(n=167)		38.3	44.9	32.9	28.1	10.2	15.6	6.0	3.0
	要介護2(n=68)		33.8	35.3	27.9	27.9	19.1	19.1	2.9	4.4
	要介護3(n=14)		21.4	50.0	7.1	28.6	14.3	0.0	7.1	0.0
	要介護4(n=14)		21.4	28.6	21.4	35.7	14.3	14.3	14.3	0.0
	要介護5(n=5)		20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0

(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が24.1%で最も多く、ついで「別居の子ども」が23.6%、「同居の子ども」が20.5%、「配偶者」が18.6%、「友人」が17.5%、「近隣」が14.5%、「その他」が2.7%となっています。また、「そのような人はいない」は20.0%と多くなっています。

性別では、男性は「配偶者」が39.0%、「そのような人はいない」が25.1%と多く、他の項目では女性の方が多くなっています。



年齢別では、「配偶者」「友人」「近隣」は年齢が下がるほど多くなっています。

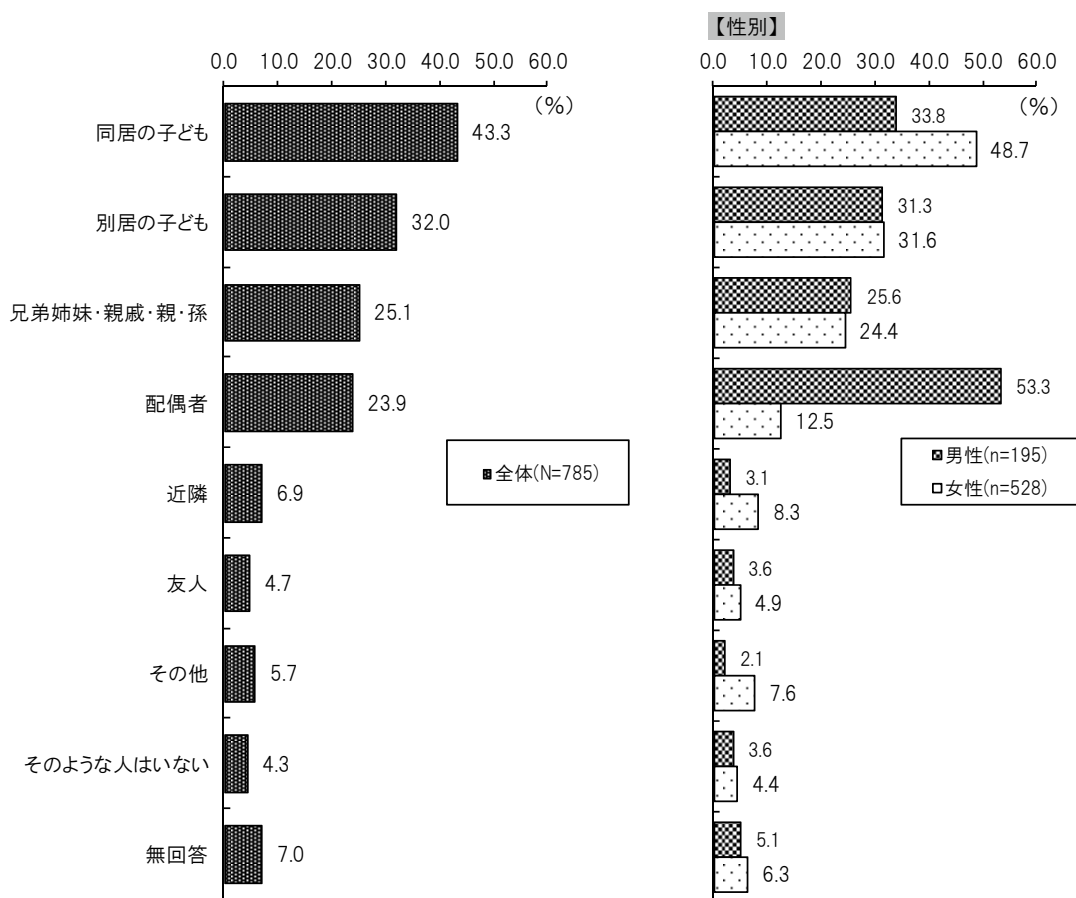
介護度別では、要支援1で「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.1%、「別居の子ども」が27.8%、「友人」が23.3%、要支援2で「近隣」が22.3%とやや多くなっています。

区分		(%)							
		心配事や愚痴を聞いてあげる人	戚兄弟姉妹・孫・親	別居の子ども	同居の子ども	配偶者	友人	近隣	その他
全体(N=785)		24.1	23.6	20.5	18.6	17.5	14.5	2.7	20.0
性別	男性(n=195)	18.5	22.6	18.5	39.0	11.3	9.7	1.5	25.1
	女性(n=528)	26.9	24.2	22.7	11.2	19.9	16.9	3.4	18.6
年齢別	65～69歳(n=33)	18.2	9.1	15.2	36.4	27.3	18.2	3.0	21.2
	70～74歳(n=50)	28.0	28.0	16.0	34.0	24.0	12.0	4.0	12.0
	75～79歳(n=113)	26.5	24.8	23.9	32.7	17.7	14.2	2.7	16.8
	80～84歳(n=219)	32.0	27.4	14.2	20.5	21.0	14.2	1.4	16.9
	85歳以上(n=348)	19.3	21.3	25.6	9.2	13.5	14.7	3.2	25.0
介護度別	要支援1(n=176)	30.1	27.8	21.0	17.6	23.3	13.6	1.7	17.0
	要支援2(n=184)	26.6	24.5	22.8	15.8	21.7	22.3	2.7	18.5
	要介護1(n=167)	19.8	25.1	21.6	18.6	10.2	11.4	3.6	25.1
	要介護2(n=68)	22.1	20.6	17.6	17.6	16.2	11.8	0.0	27.9
	要介護3(n=14)	7.1	14.3	35.7	21.4	21.4	7.1	0.0	28.6
	要介護4(n=14)	21.4	14.3	7.1	21.4	7.1	7.1	21.4	21.4
	要介護5(n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0

(3) 看病や世話をしてくれる人

看病や世話をしてくれる人は、「同居の子ども」が43.3%で最も多く、ついで「別居の子ども」が32.0%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が25.1%、「配偶者」が23.9%、「近隣」が6.9%、「友人」が4.7%、「その他」が5.7%となっています。「そのような人はいない」は4.3%に止まります。

性別では、男性は「配偶者」が53.3%と多く、女性では「同居の子ども」が48.7%と多くなっています。



年齢別では、65～69歳は「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が36.4%、「そのような人はいない」が12.1%、70～74歳は「配偶者」が42.0%、80～84歳は「別居の子ども」が37.0%、85歳以上は「同居の子ども」が53.2%と多くなっています。

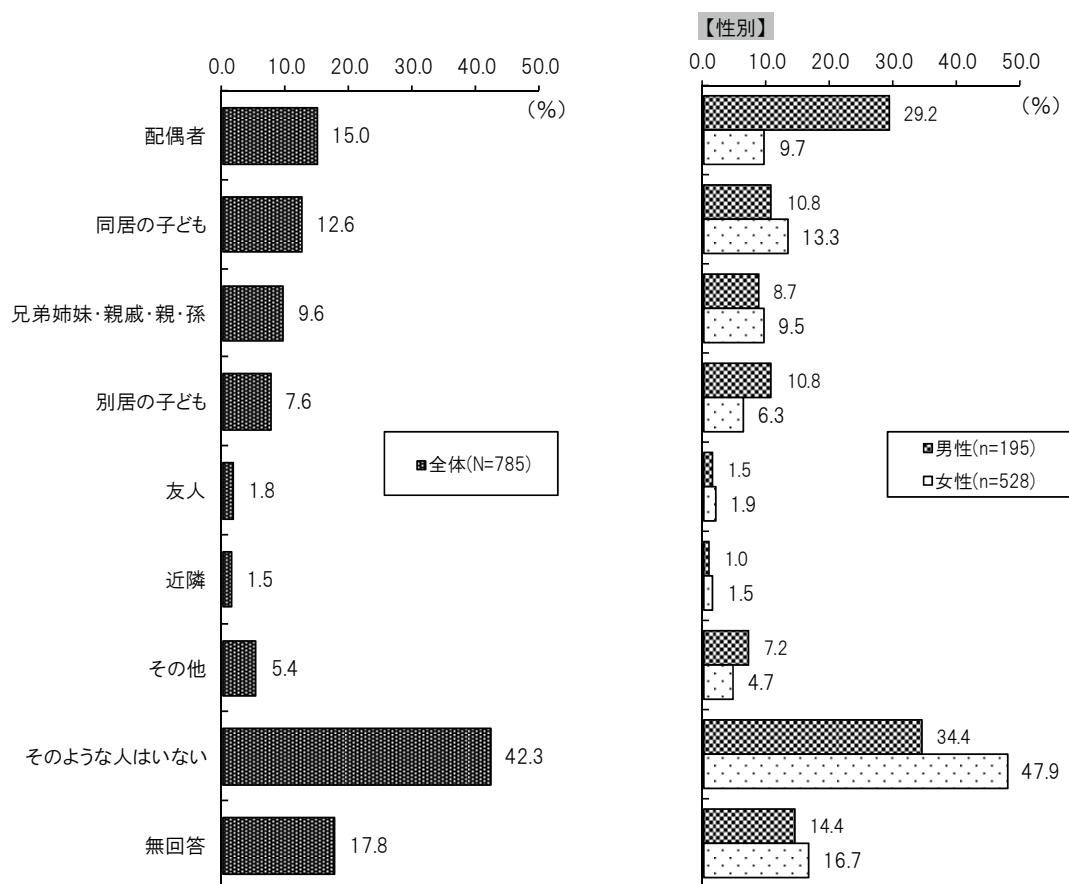
介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援より要介護で「同居の子ども」「配偶者」が多い傾向がみられます。

区分		(%)								
		看病や世話をしてくれる人	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親	配偶者	近隣	友人	その他	いそなような人は
全体(N=785)			43.3	32.0	25.1	23.9	6.9	4.7	5.7	4.3
性別	男性(n=195)		33.8	31.3	25.6	53.3	3.1	3.6	2.1	3.6
	女性(n=528)		48.7	31.6	24.4	12.5	8.3	4.9	7.6	4.4
年齢別	65～69歳(n=33)		24.2	9.1	36.4	36.4	3.0	3.0	3.0	12.1
	70～74歳(n=50)		24.0	28.0	24.0	42.0	6.0	2.0	4.0	8.0
	75～79歳(n=113)		43.4	29.2	22.1	38.9	6.2	4.4	3.5	3.5
	80～84歳(n=219)		37.0	37.0	27.4	28.8	7.8	6.4	3.2	5.9
	85歳以上(n=348)		53.2	32.8	24.1	12.9	6.9	4.0	8.9	2.6
介護度別	要支援1(n=176)		39.2	30.7	24.4	19.9	5.7	8.5	6.8	5.7
	要支援2(n=184)		40.8	38.0	26.6	18.5	8.2	3.8	5.4	4.3
	要介護1(n=167)		53.3	29.3	24.6	27.5	4.8	5.4	7.2	2.4
	要介護2(n=68)		54.4	35.3	25.0	26.5	7.4	2.9	5.9	2.9
	要介護3(n=14)		78.6	28.6	0.0	28.6	7.1	0.0	7.1	0.0
	要介護4(n=14)		50.0	14.3	7.1	35.7	0.0	0.0	7.1	7.1
	要介護5(n=5)		20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0

(4) 看病や世話をしている人

看病や世話をしている人は、「配偶者」が15.0%で最も多く、ついで「同居の子ども」が12.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が9.6%、「別居の子ども」が7.6%、「その他」が5.4%、「友人」が1.8%、「近隣」が1.5%と続いています。「そのような人はいない」は42.3%にのびります。

性別では、男性は「配偶者」が29.2%と多く、女性では「そのような人はいない」が47.9%と多くなっています。



年齢別では、70～74歳は「配偶者」が30.0%、「別居の子ども」が16.0%と多く、75～79歳では「同居の子ども」が18.6%、85歳以上では「そのような人はいない」が50.3%と多くなっています。

介護度別では、要支援1は「配偶者」が20.5%とやや多くなっています。

(%)

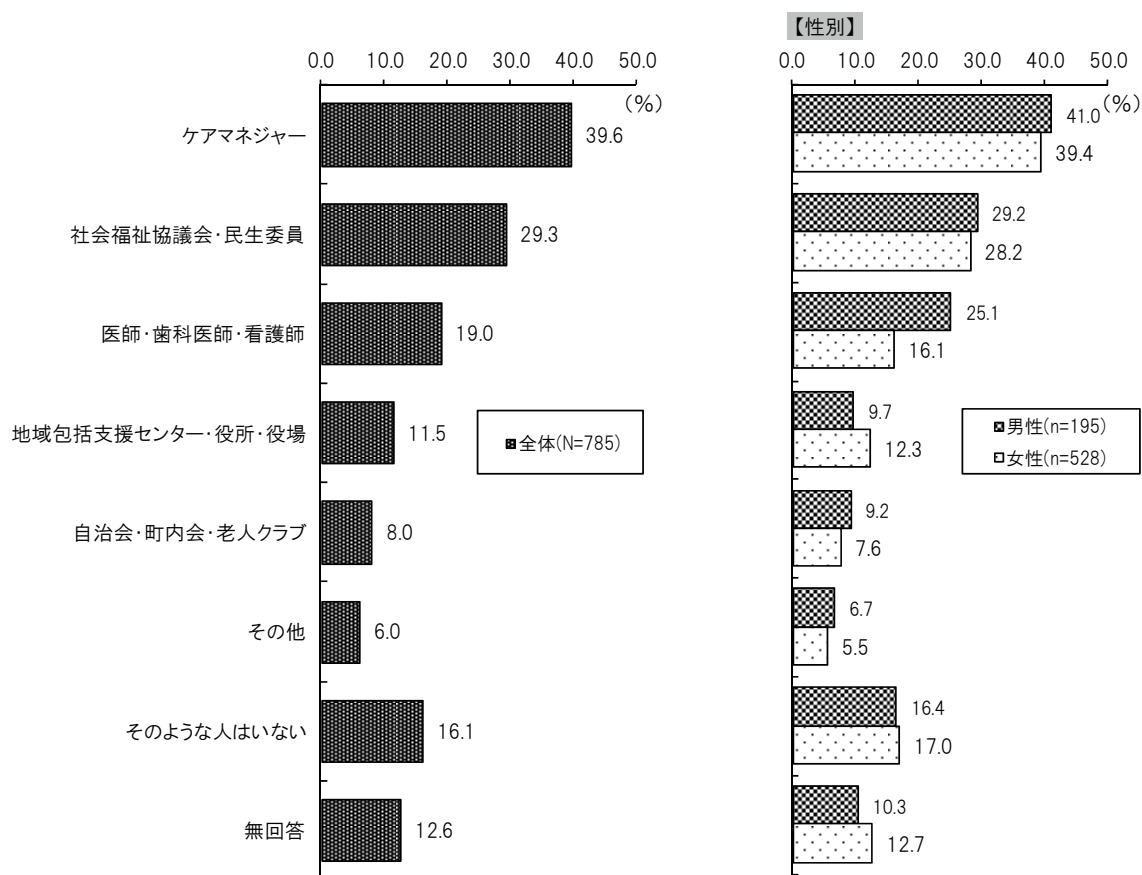
区分		看病や世話を してあげる人							
		配偶者	同居の子ども	兄弟・姉妹・孫・親	別居の子ども	友人	近隣	その他	いそなような人は
全体(N=785)		15.0	12.6	9.6	7.6	1.8	1.5	5.4	42.3
性別	男性(n=195)	29.2	10.8	8.7	10.8	1.5	1.0	7.2	34.4
	女性(n=528)	9.7	13.3	9.5	6.3	1.9	1.5	4.7	47.9
年齢別	65～69歳(n=33)	18.2	15.2	6.1	0.0	0.0	0.0	27.3	24.2
	70～74歳(n=50)	30.0	10.0	14.0	16.0	2.0	0.0	4.0	30.0
	75～79歳(n=113)	23.9	18.6	13.3	5.3	1.8	0.0	4.4	31.0
	80～84歳(n=219)	18.3	10.5	11.4	11.0	2.3	1.8	4.1	42.9
	85歳以上(n=348)	8.0	12.9	6.9	5.7	1.4	1.7	4.9	50.3
介護度別	要支援1(n=176)	20.5	14.2	10.8	7.4	2.8	1.1	5.1	38.1
	要支援2(n=184)	12.0	10.9	8.2	9.8	1.6	1.6	6.5	44.6
	要介護1(n=167)	12.0	13.8	13.8	6.0	1.8	1.8	5.4	49.1
	要介護2(n=68)	8.8	11.8	0.0	4.4	2.9	1.5	4.4	50.0
	要介護3(n=14)	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	50.0
	要介護4(n=14)	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3	42.9
要介護5(n=5)	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	

6. 家族や友人・知人以外の相談相手

Q14 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）

家族や友人・知人以外の相談相手は、「ケアマネジャー」が39.6%で最も多く、ついで「社会福祉協議会・民生委員」が29.3%、「医師・歯科医師・看護師」が19.0%、「地域包括支援センター・役所・役場」が11.5%、「自治会・町内会・老人クラブ」が8.0%、「その他」が6.0%と続きます。「そのような人はいない」は16.1%みられます。

性別では、男性は「医師・歯科医師・看護師」が25.1%と多くなっています。



年齢別では、65～69歳は「医師・歯科医師・看護師」が24.2%、「そのような人はいない」が21.2%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除くと、「ケアマネジャー」で要支援より要介護の方が、「社会福祉協議会・民生委員」で要介護より要支援の方が多くなっています。

(%)

区分		家族や友人・知人以外の相談相手	ケアマネジャー	社会福祉協議会・民生委員	医師・看護師・歯科医師	地域包括支援センター	自治会・老人クラブ	その他	いそなような人は
全体(N=785)			39.6	29.3	19.0	11.5	8.0	6.0	16.1
性別	男性(n=195)		41.0	29.2	25.1	9.7	9.2	6.7	16.4
	女性(n=528)		39.4	28.2	16.1	12.3	7.6	5.5	17.0
年齢別	65～69歳(n=33)		42.4	24.2	24.2	12.1	3.0	3.0	21.2
	70～74歳(n=50)		38.0	30.0	16.0	16.0	8.0	10.0	8.0
	75～79歳(n=113)		39.8	25.7	21.2	10.6	10.6	4.4	13.3
	80～84歳(n=219)		32.0	27.9	21.9	12.3	10.5	5.9	17.4
	85歳以上(n=348)		44.5	31.9	16.1	10.6	6.3	6.3	17.2
介護度別	要支援1(n=176)		35.8	32.4	22.7	17.6	10.2	4.5	17.6
	要支援2(n=184)		41.3	35.3	16.8	14.1	7.1	5.4	14.1
	要介護1(n=167)		54.5	25.1	22.2	4.8	6.6	7.2	15.0
	要介護2(n=68)		52.9	27.9	13.2	11.8	16.2	7.4	13.2
	要介護3(n=14)		50.0	14.3	21.4	0.0	0.0	0.0	28.6
	要介護4(n=14)		57.1	21.4	35.7	28.6	0.0	0.0	14.3
	要介護5(n=5)		20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0

7. 友人関係について

Q15 友人関係についておうかがいします

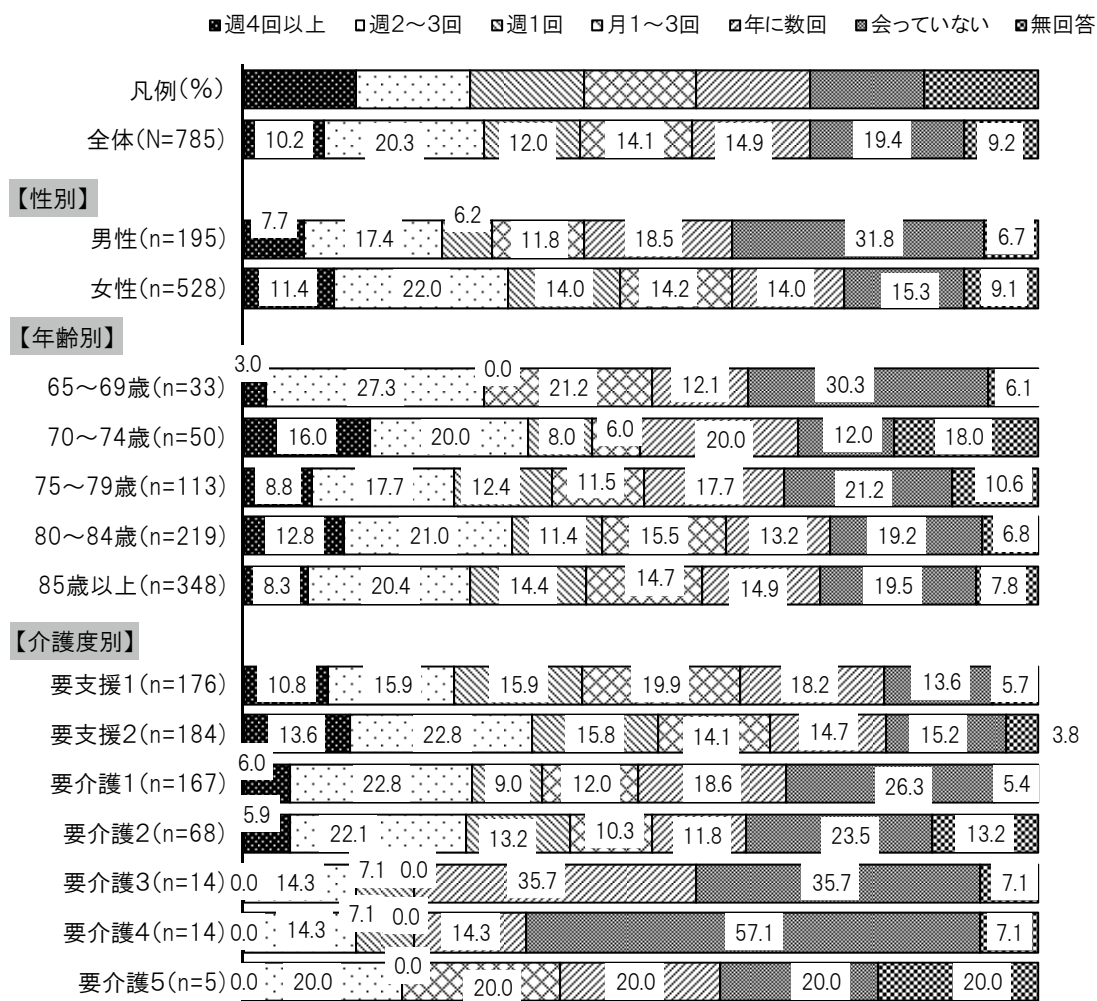
(1) 友人・知人と会う頻度

友人・知人と会う頻度は、「週2～3回」が20.3%と最も多く、ついで「年に数回」が14.9%、「月1～3回」が14.1%、「週1回」が12.0%、「週4回以上」が10.2%となっています。「会っていない」は19.4%となっています。「週1回」から「週4回以上」までを合わせた『週1回以上』は42.5%となっています。

性別では、男性は「会っていない」が31.8%と多くなっています。女性では「会っていない」が15.3%と少なく、その分、友人・知人と会う頻度が多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「週2～3回」が27.3%、「会っていない」が30.3%、70～74歳では「週4回以上」が16.0%と多くなっています。

介護度別では、「週4回以上」「週2～3回」「週1回」で、要支援が要介護より多くなっています。



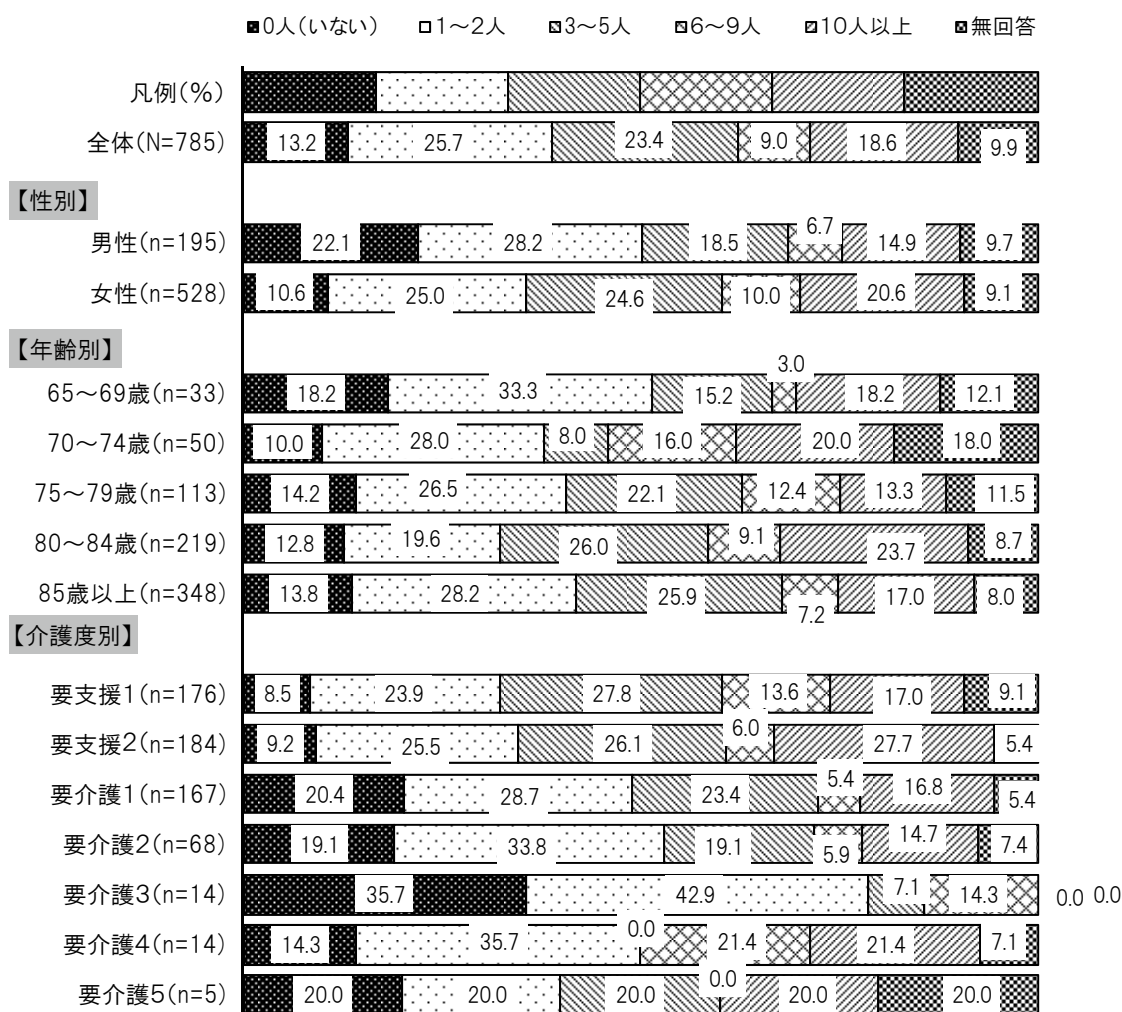
(2) 最近1ヶ月に会った友人・知人の数

最近1ヶ月に会った友人・知人の数は、「1～2人」が25.7%と最も多く、「3～5人」が23.4%、「10人以上」が18.6%、「0人」が13.2%、「6～9人」が9.0%となっています。

性別では、男性で「0人」が22.1%と多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「0人」が18.2%、「1～2人」が33.3%、70～74歳では「6～9人」が16.0%、80～84歳で「10人以上」が23.7%と多くなっています。

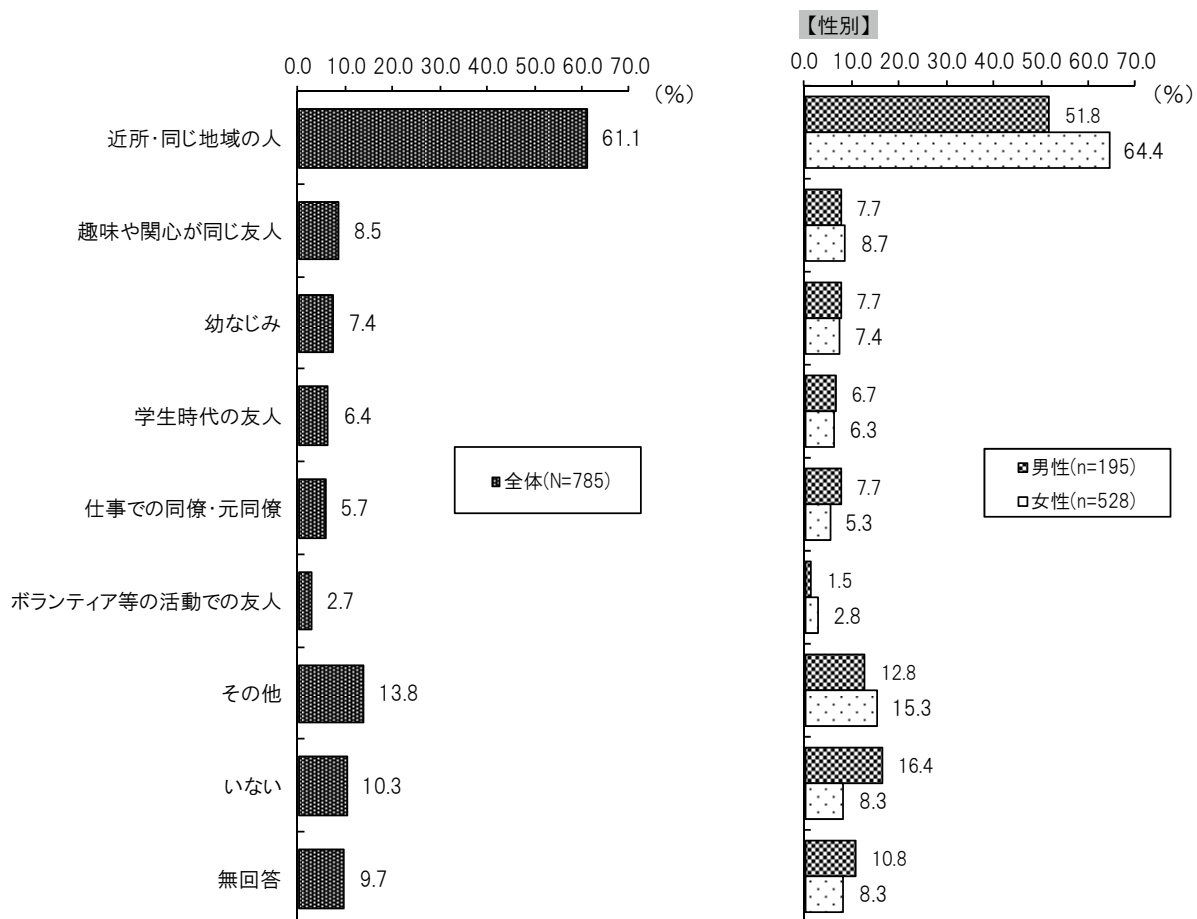
介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「0人」「1～2人」が要支援より要介護で多くなっています。



(3) よく会う友人・知人について

よく会う友人・知人は、「近所・同じ地域の人」が 61.1%と最も多く、ついで「その他」が 13.8%、「趣味や関心が同じ友人」が 8.5%、「幼なじみ」が 7.4%、「学生時代の友人」が 6.4%、「仕事での同僚・元同僚」が 5.7%、「ボランティア等の活動での友人」が 2.7%と続いています。「いない」は 10.3%となっています。

性別では、女性は「近所・同じ地域の人」が 64.4%と多くなっています。



年齢別では、70～74歳は「趣味や関心が同じ友人」が18.0%、「学生時代の友人」が14.0%、75～79歳では「近所・同じ地域の人」が66.4%と多くなっています。

介護度別では「近所・同じ地域の人」「趣味や関心が同じ友人」「学生時代の友人」で要支援の方が要介護より多くなっています。

区分									(%)
		よく会う友人・知人の近所・同じ地域	趣味や関心が同じ友人	幼なじみ	学生時代の友人	元仕事での同僚・	ボランティアの友人等	その他	いない
全体(N=785)		61.1	8.5	7.4	6.4	5.7	2.7	13.8	10.3
性別	男性(n=195)	51.8	7.7	7.7	6.7	7.7	1.5	12.8	16.4
	女性(n=528)	64.4	8.7	7.4	6.3	5.3	2.8	15.3	8.3
年齢別	65～69歳(n=33)	57.6	3.0	12.1	3.0	9.1	3.0	24.2	12.1
	70～74歳(n=50)	56.0	18.0	12.0	14.0	6.0	2.0	8.0	8.0
	75～79歳(n=113)	66.4	10.6	4.4	10.6	7.1	3.5	7.1	10.6
	80～84歳(n=219)	59.8	9.1	8.2	6.4	6.4	2.7	14.6	11.9
	85歳以上(n=348)	61.8	6.3	6.6	4.3	4.3	2.6	15.8	10.1
介護度別	要支援1(n=176)	71.0	15.9	7.4	10.2	6.8	4.0	11.4	8.5
	要支援2(n=184)	66.3	8.7	4.3	6.0	7.6	1.6	13.0	6.0
	要介護1(n=167)	57.5	6.0	7.2	3.0	5.4	3.0	19.2	14.4
	要介護2(n=68)	61.8	4.4	13.2	4.4	4.4	2.9	8.8	17.6
	要介護3(n=14)	57.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6
	要介護4(n=14)	50.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
	要介護5(n=5)	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0

【9】健康状態

1. 健康状態について

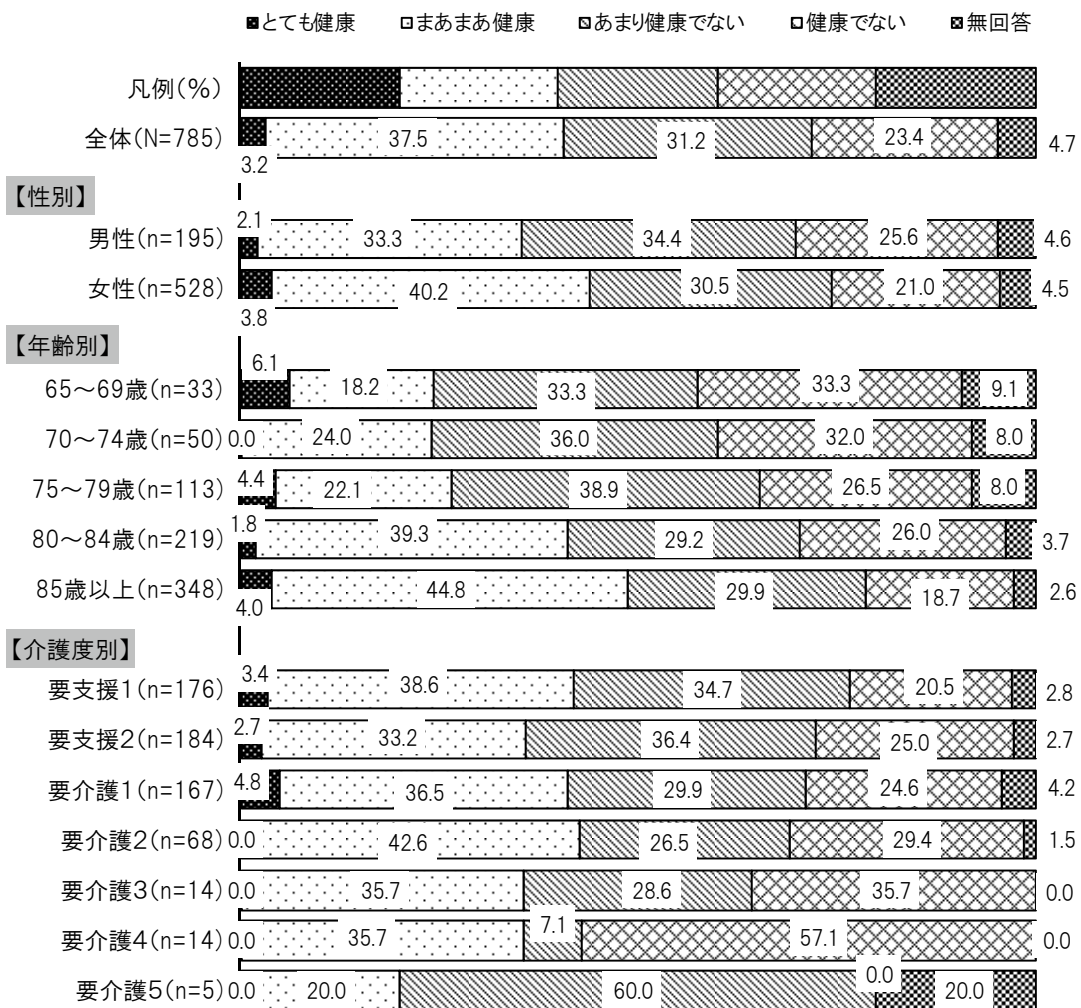
Q1 普段、ご自分で健康だと思いますか

健康状態は、「とても健康」の3.2%と「まあまあ健康」の37.5%を合わせた40.7%が『健康』と答え、一方、「健康でない」の23.4%と「あまり健康でない」の31.2%、を合わせると54.6%が『健康でない』と回答しています。

性別では、女性は『健康』が44.0%と男性の35.4%を上回っています。

年齢別では、年齢が上がるほど、『健康』が多くなる傾向がみられます。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「健康でない」が多くなっています。

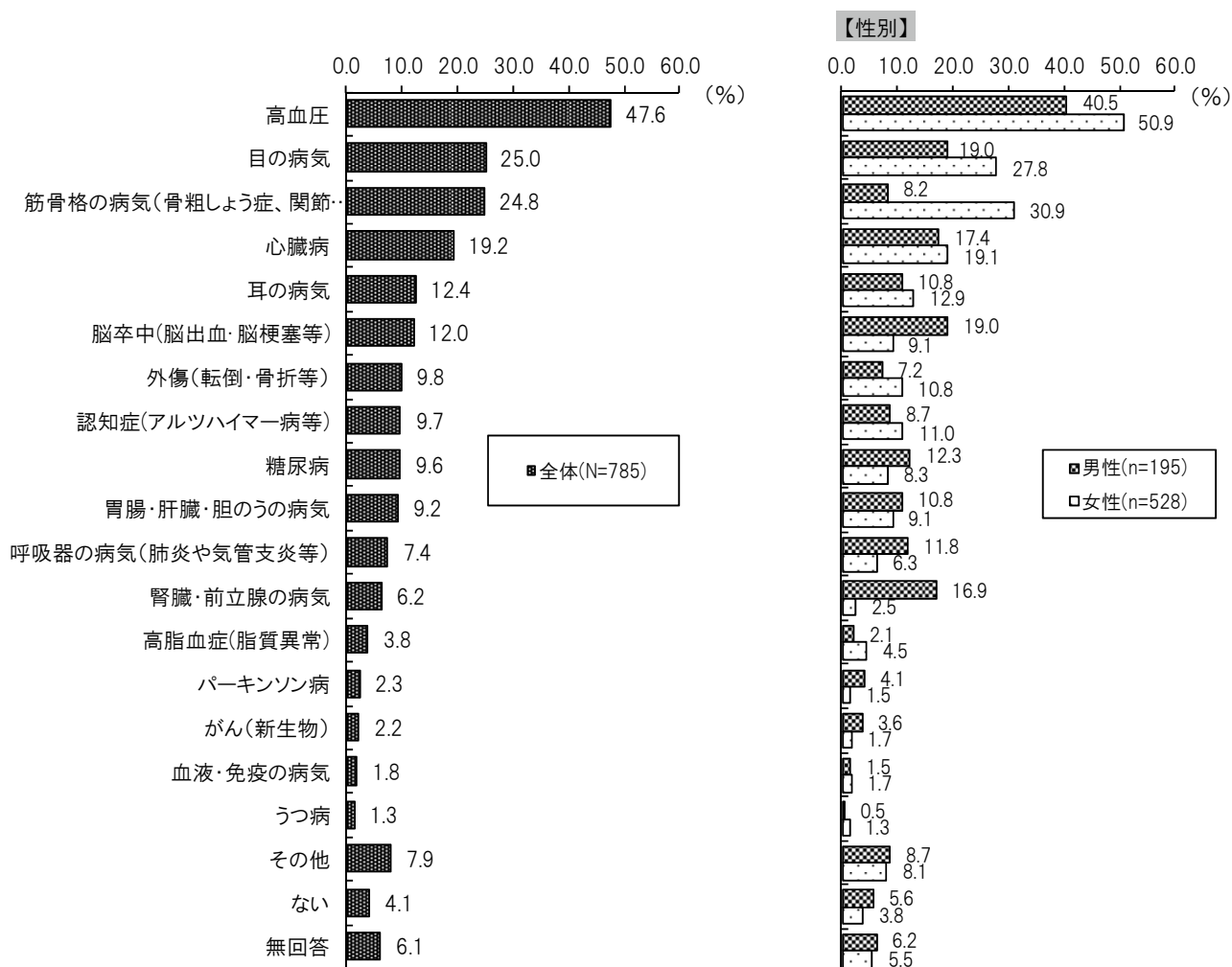


2. 治療中・後遺症のある病気

Q2 現在治療中，または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

現在治療中、または後遺症のある病気としては、「高血圧」が47.6%で最も多く、ついで「目の病気」が25.0%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が24.8%、「心臓病」が19.2%、「耳の病気」が12.4%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が12.0%と続きます。「ない」は4.1%に止まります。

性別では、女性は「高血圧」が50.9%、「目の病気」が27.8%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が30.9%と多く、男性は、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が19.0%、「呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）」が11.8%、「腎臓・前立腺の病気」が16.9%と多くなっています。



年齢別では、65～69歳は「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が51.5%、「糖尿病」が21.2%と多く、85歳以上では「高血圧」が53.4%と多くなっています。

介護度別では、「高血圧」「目の病気」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」で要支援の方が要介護より多く、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」「認知症（アルツハイマー病等）」「糖尿病」では要介護の方が要支援より多くなっています。

区分		現在治療中、または後遺症のある病気										
		高血圧	目の病気	症（筋骨格の病気、関節しょう症等）	心臓病	耳の病気	血脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	折外傷（転倒・骨等）	ハイ認知症（アルツハイマー病等）	糖尿病	の胃腸の病気（肝臓・胆）	炎（呼吸器の病気、気管支等）
全体(N=785)		47.6	25.0	24.8	19.2	12.4	12.0	9.8	9.7	9.6	9.2	7.4
性別	男性(n=195)	40.5	19.0	8.2	17.4	10.8	19.0	7.2	8.7	12.3	10.8	11.8
	女性(n=528)	50.9	27.8	30.9	19.1	12.9	9.1	10.8	11.0	8.3	9.1	6.3
年齢別	65～69歳(n=33)	36.4	12.1	12.1	9.1	0.0	51.5	3.0	3.0	21.2	3.0	3.0
	70～74歳(n=50)	26.0	16.0	18.0	20.0	6.0	16.0	12.0	10.0	10.0	6.0	14.0
	75～79歳(n=113)	40.7	20.4	21.2	23.0	12.4	16.8	8.8	13.3	14.2	4.4	8.8
	80～84歳(n=219)	48.9	25.1	26.5	15.5	9.1	10.5	10.0	10.5	9.1	11.4	7.8
	85歳以上(n=348)	53.4	29.0	27.3	21.8	16.7	7.2	10.6	9.2	6.6	10.3	6.3
介護度別	要支援1(n=176)	53.4	30.7	27.3	22.2	15.3	6.8	10.8	5.1	6.8	10.2	6.8
	要支援2(n=184)	51.1	32.1	33.7	22.3	13.0	11.4	12.0	3.8	11.4	9.2	9.8
	要介護1(n=167)	49.1	20.4	19.8	15.0	9.6	13.2	7.8	25.7	12.0	10.2	9.0
	要介護2(n=68)	47.1	22.1	19.1	29.4	14.7	25.0	14.7	11.8	14.7	8.8	7.4
	要介護3(n=14)	50.0	21.4	21.4	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	7.1
	要介護4(n=14)	21.4	21.4	21.4	7.1	7.1	21.4	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0
	要介護5(n=5)	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0

区分		現在治療中、または後遺症のある病気							
		病腎臓・前立腺の病気	異常高脂血症（脂質）	パーキンソン病	がん（新生物）	気血液・免疫の病	うつ病	その他	ない
全体(N=785)		6.2	3.8	2.3	2.2	1.8	1.3	7.9	4.1
性別	男性(n=195)	16.9	2.1	4.1	3.6	1.5	0.5	8.7	5.6
	女性(n=528)	2.5	4.5	1.5	1.7	1.7	1.3	8.1	3.8
年齢別	65～69歳(n=33)	3.0	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	21.2	12.1
	70～74歳(n=50)	4.0	6.0	2.0	2.0	2.0	4.0	12.0	2.0
	75～79歳(n=113)	7.1	4.4	6.2	4.4	4.4	1.8	6.2	2.7
	80～84歳(n=219)	7.8	4.6	0.9	1.8	0.9	1.4	7.8	3.2
	85歳以上(n=348)	5.7	3.2	2.0	2.0	1.4	0.6	7.2	4.9
介護度別	要支援1(n=176)	6.8	7.4	1.1	4.5	3.4	2.8	9.1	6.3
	要支援2(n=184)	6.0	1.6	1.1	2.7	1.6	1.1	5.4	2.2
	要介護1(n=167)	9.6	5.4	6.0	2.4	0.6	0.6	8.4	1.8
	要介護2(n=68)	4.4	1.5	1.5	0.0	2.9	0.0	7.4	1.5
	要介護3(n=14)	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
	要介護4(n=14)	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	28.6	0.0
	要介護5(n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3. 薬の種類

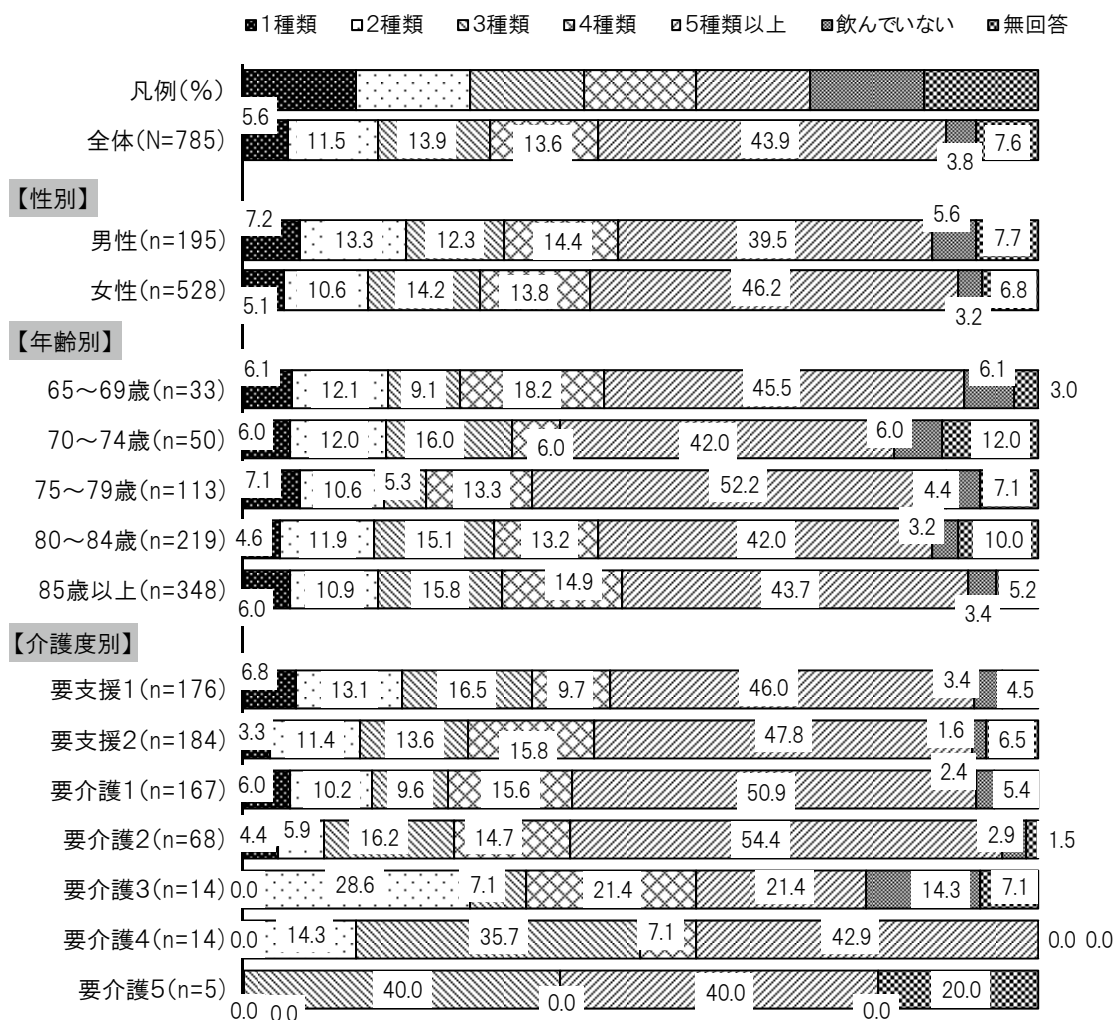
Q3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいますか

医師が処方した薬の種類は、「5種類以上」が43.6%と最も多く、「3種類」が13.9%、「4種類」が13.6%、「2種類」が11.5%、「1種類」が5.6%となっています。「飲んでいない」は3.8%です。

性別では、女性は「5種類以上」が46.2%と男性の39.5%を上回っています。

年齢別では、75～79歳は「5種類以上」が52.2%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「5種類以上」が多くなっています。



4. 通院の有無

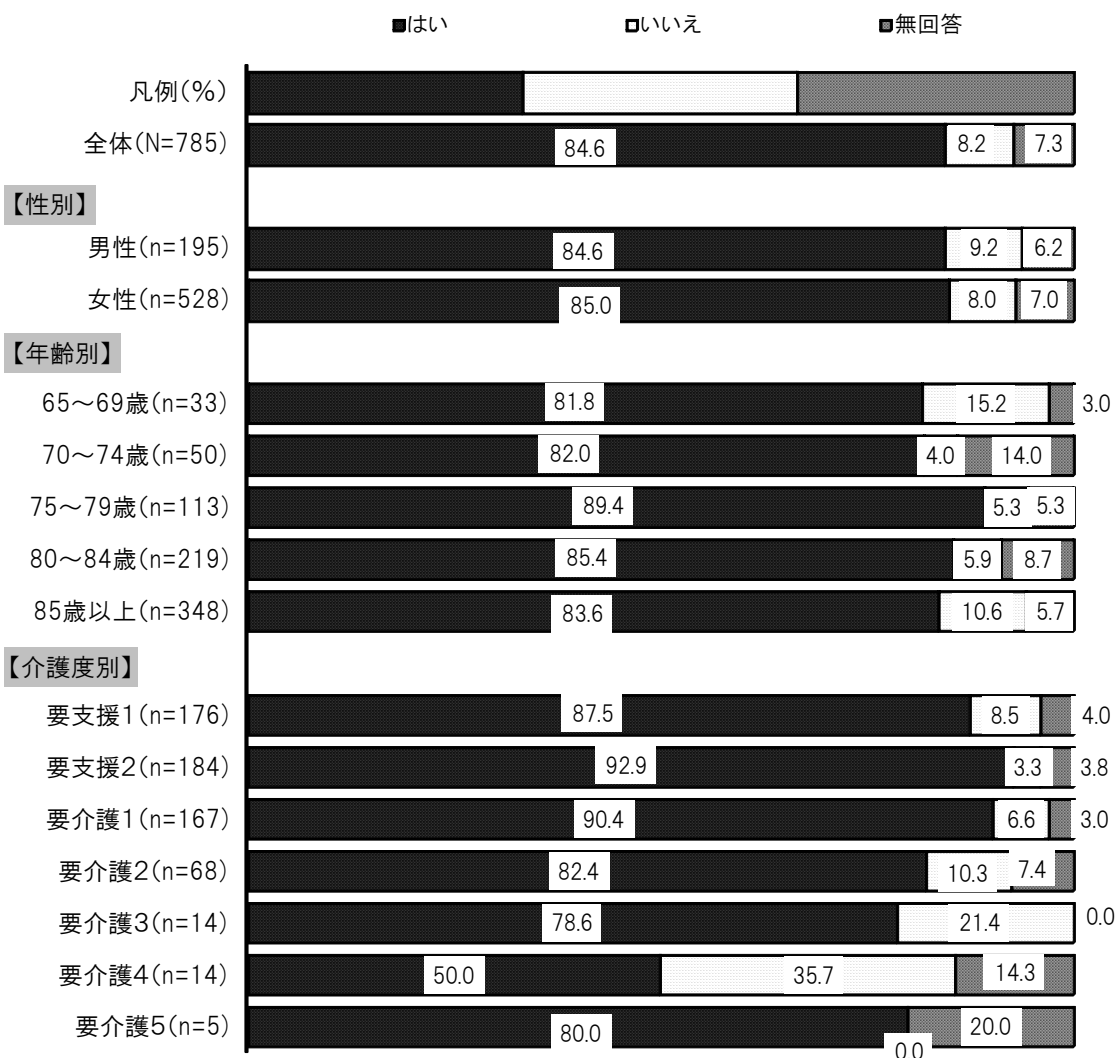
Q 4 現在、病院・医院（診療所，クリニック）に通院していますか

現在の通院状況は、「はい（通院している）」が 84.6%、「いいえ」が 8.2%となっています。

性別では、大きな差はみられません。

年齢別では、65～69歳は「いいえ」が 15.2%と多く、75～79歳では「はい」が 89.4%と若干多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援の方が要介護より「はい」が多くなっています。



5. 通院頻度

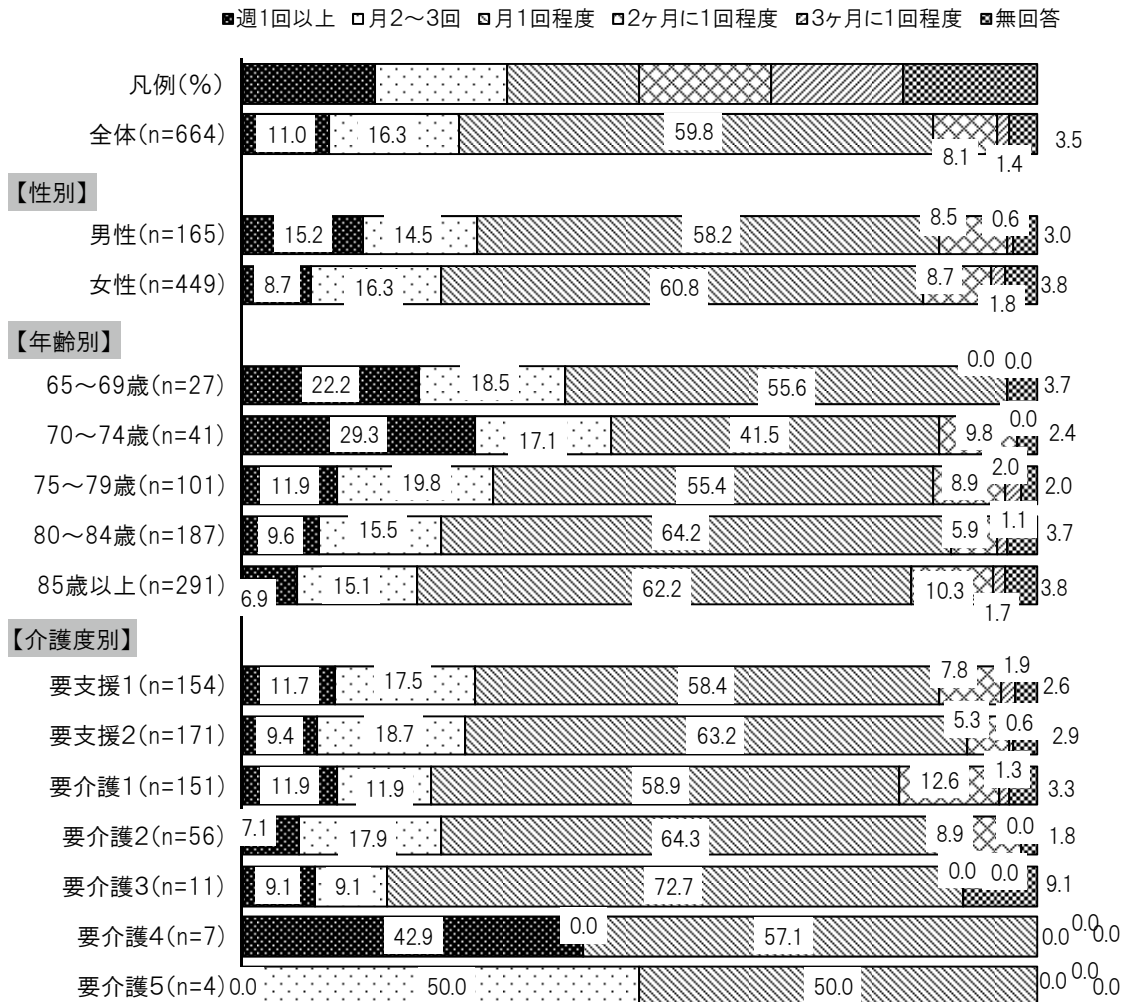
Q4-1 (通院している方のみ) その頻度は次のどれですか

通院頻度は、「月1回程度」が59.8%と最も多く、「月2～3回」が16.3%、「週1回以上」が11.0%、「2ヶ月に1回程度」が8.1%、「3ヶ月に1回程度」が1.4%となっています。

性別では、男性は「週1回以上」が15.2%と若干多くなっています。

年齢別では、65～69歳と70～74歳は「週1回以上」がそれぞれ22.2%、29.3%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「週1回以上」「月2～3回」の合計が要介護より要支援の方が多い傾向がみられます。



6. 通院時の介助の必要性

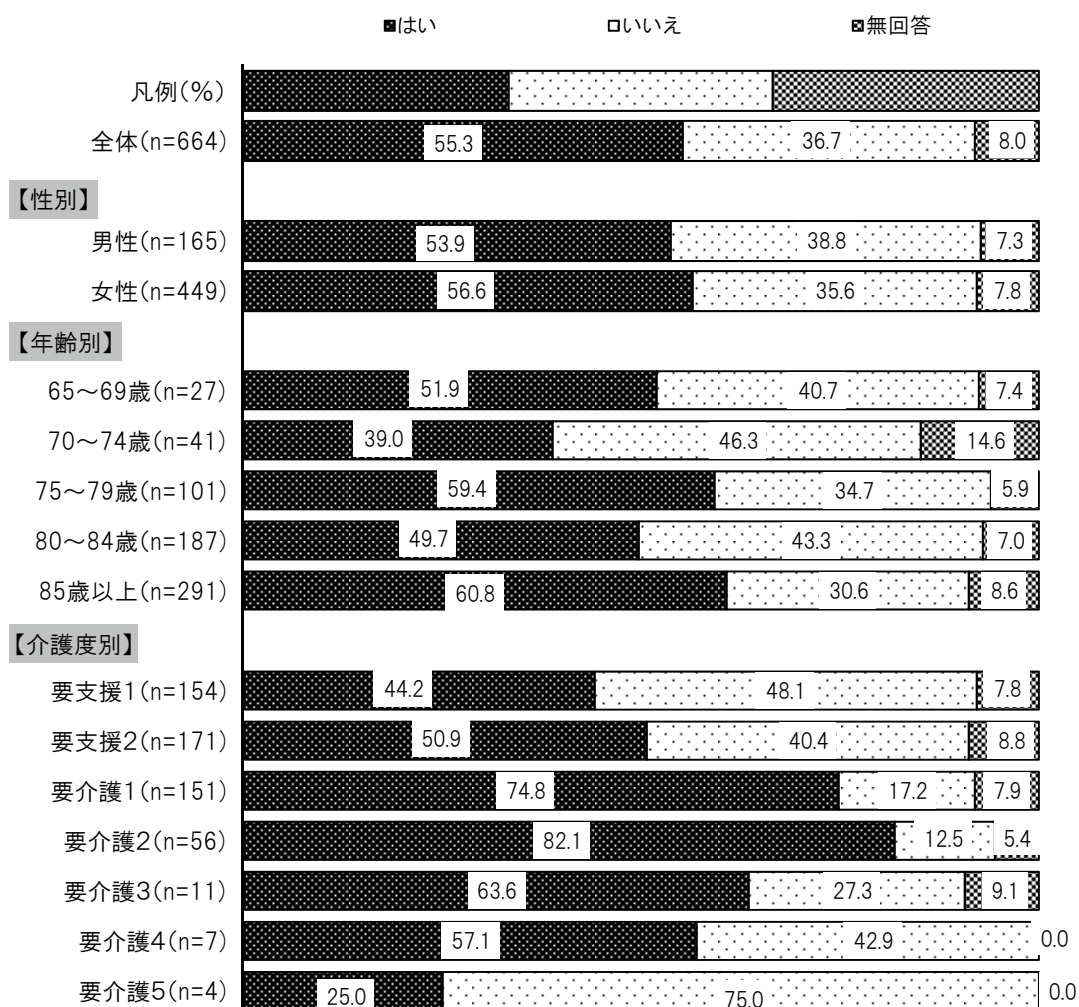
Q4-2 (通院している方のみ) 通院に介助が必要ですか

通院時の介助の必要性は、「はい (介助が必要)」が 55.3%、「いいえ (介助が必要でない)」が 36.7%となっています。

性別では、大きな差はみられません。

年齢別では、70～74歳は「いいえ」が 46.3%と多く、75～79歳と 85歳以上では「はい」がそれぞれ 59.4%、60.8%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要介護の方が要支援より「はい」が多くなっています。

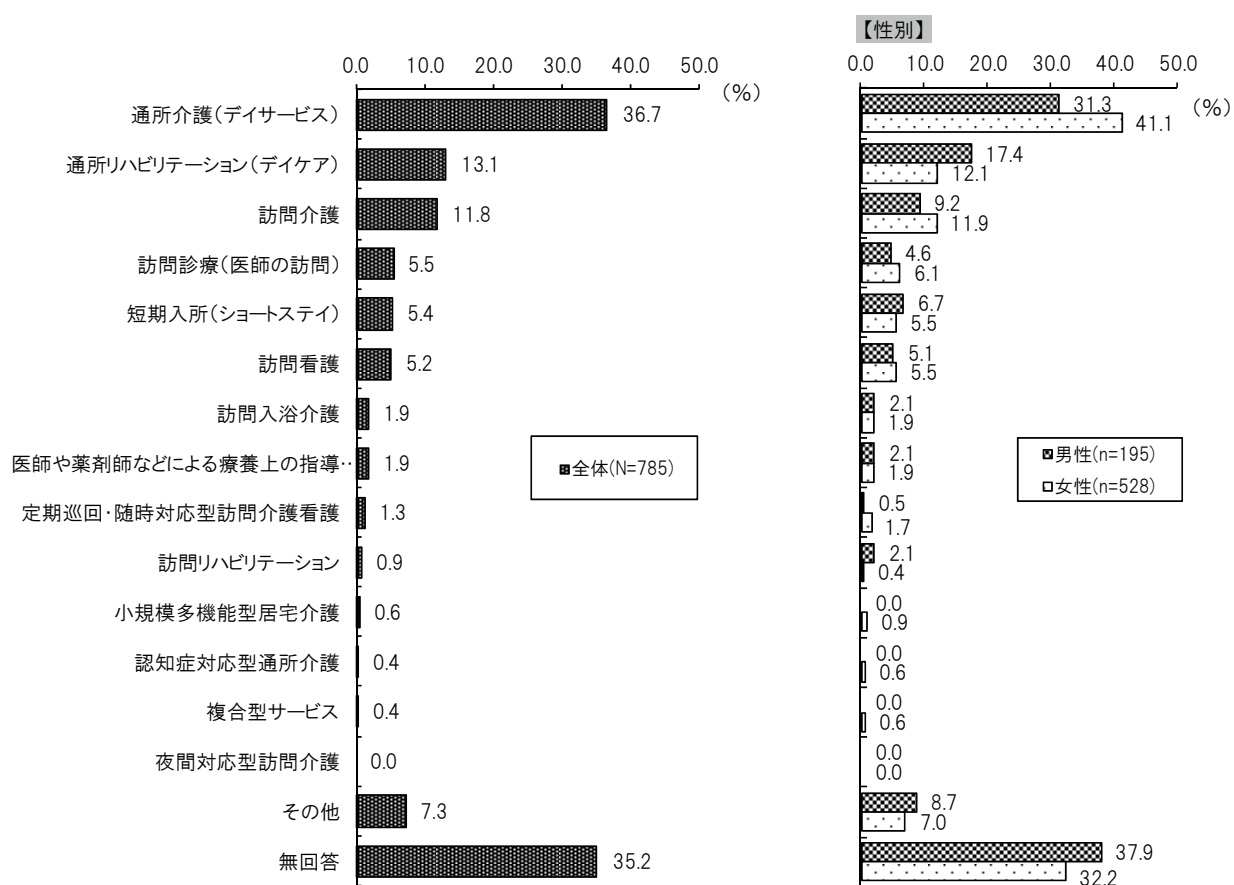


7. 在宅サービスの利用状況

Q 5 以下の在宅サービスを利用していますか (いくつでも)

在宅サービスの利用状況では、「通所介護 (デイサービス)」が 36.7%と最も多く、ついで「通所リハビリテーション (デイケア)」が 13.1%、「訪問介護」が 11.8%、「訪問診療 (医師の訪問)」が 5.5%、「短期入所 (ショートステイ)」が 5.4%、「訪問看護」が 5.2%となっています。

性別では、女性は「通所介護 (デイサービス)」が 41.1%と多く、男性では「通所リハビリテーション (デイケア)」が 17.4%とやや多くなっています。



年齢別では、75～79歳は「通所リハビリテーション（デイケア）」が18.6%とやや多く、85歳以上では「通所介護（デイサービス）」が44.5%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「通所介護（デイサービス）」通所リハビリテーション（デイケア）」「短期入所（ショートステイ）」で要介護の方が要支援より多くなっています。

区分		利用しているサービス (%)									
		通所介護（デイサービス）	通所リハビリテーション（デイケア）	訪問介護	訪問診療（医師の訪問）	短期入所（ショートステイ）	訪問看護	訪問入浴介護	（居宅療養管理指導） 医師や薬剤師などによる療養上の指導	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	訪問リハビリテーション
全体(N=785)		36.7	13.1	11.8	5.5	5.4	5.2	1.9	1.9	1.3	0.9
性別	男性(n=195)	31.3	17.4	9.2	4.6	6.7	5.1	2.1	2.1	0.5	2.1
	女性(n=528)	41.1	12.1	11.9	6.1	5.5	5.5	1.9	1.9	1.7	0.4
年齢別	65～69歳(n=33)	36.4	18.2	15.2	9.1	3.0	6.1	9.1	0.0	0.0	6.1
	70～74歳(n=50)	18.0	6.0	8.0	4.0	4.0	4.0	0.0	2.0	0.0	2.0
	75～79歳(n=113)	31.0	18.6	11.5	2.7	4.4	2.7	1.8	0.9	0.0	0.9
	80～84歳(n=219)	33.3	8.2	15.5	3.2	1.8	5.5	1.4	0.9	1.8	0.0
	85歳以上(n=348)	44.5	15.2	9.8	7.8	8.3	6.0	2.0	2.6	1.1	0.6
介護度別	要支援1(n=176)	27.8	12.5	12.5	5.7	2.3	4.0	1.7	4.5	1.7	1.1
	要支援2(n=184)	40.8	12.5	12.5	4.3	4.3	6.5	2.2	1.6	1.6	0.5
	要介護1(n=167)	52.1	18.6	12.0	4.2	12.0	7.2	3.0	0.6	0.6	0.6
	要介護2(n=68)	51.5	22.1	13.2	11.8	7.4	4.4	0.0	0.0	2.9	2.9
	要介護3(n=14)	42.9	14.3	0.0	7.1	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0
	要介護4(n=14)	42.9	14.3	35.7	42.9	14.3	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0
	要介護5(n=5)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分		利用しているサービス (%)				
		介護小規模多機能型居宅	認知症対応型通所介護	複合型サービス	夜間対応型訪問介護	その他
全体(N=785)		0.6	0.4	0.4	0.0	7.3
性別	男性(n=195)	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7
	女性(n=528)	0.9	0.6	0.6	0.0	7.0
年齢別	65～69歳(n=33)	0.0	0.0	0.0	0.0	12.1
	70～74歳(n=50)	2.0	0.0	0.0	0.0	4.0
	75～79歳(n=113)	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1
	80～84歳(n=219)	0.9	0.9	0.0	0.0	7.8
	85歳以上(n=348)	0.6	0.0	0.9	0.0	6.9
介護度別	要支援1(n=176)	0.0	0.0	0.6	0.0	9.1
	要支援2(n=184)	1.1	0.0	0.5	0.0	3.8
	要介護1(n=167)	1.8	1.2	0.0	0.0	4.8
	要介護2(n=68)	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3
	要介護3(n=14)	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1
	要介護4(n=14)	0.0	0.0	7.1	0.0	14.3
	要介護5(n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

8. 飲酒の程度

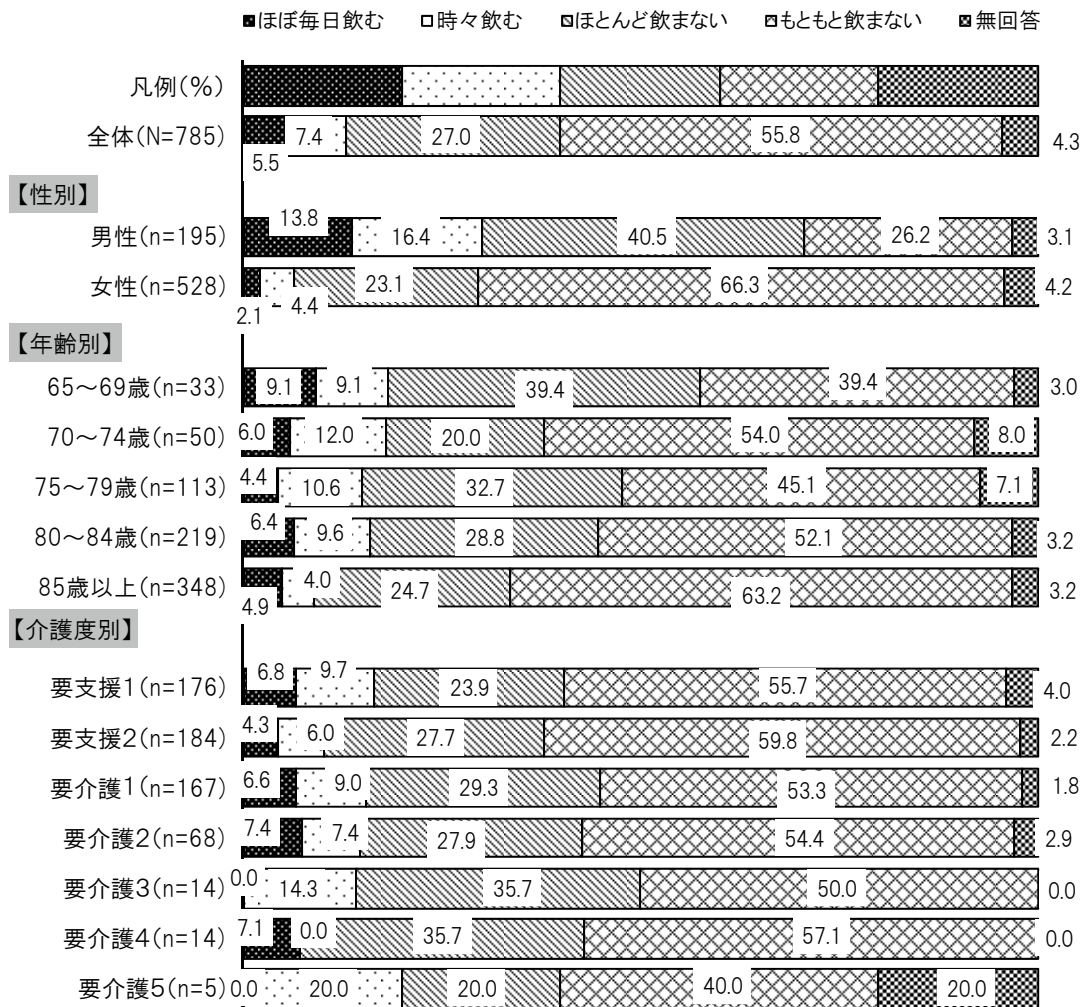
Q 6 お酒は飲みますか

飲酒の程度は、「もともと飲まない」が 55.8%と最も多く、「ほとんど飲まない」が 27.0%と続いています。一方、「時々飲む」は 7.4%、「ほぼ毎日飲む」が 5.5%で『飲酒』割合は 12.9%となります。

性別では、男性は「ほぼ毎日飲む」が 13.8%、「時々飲む」が 16.4%と多く、『飲酒』割合は 30.2%となります。逆に女性は「もともと飲まない」が 66.3%と多くなっています。

年齢別では、65～69歳と 75～79歳は「ほとんど飲まない」がそれぞれ 39.4%と 32.7%と多く、85歳以上では「もともと飲まない」が 63.2%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要介護の方が要支援より「ほとんど飲まない」が多い傾向がみられます。



9. 喫煙状況

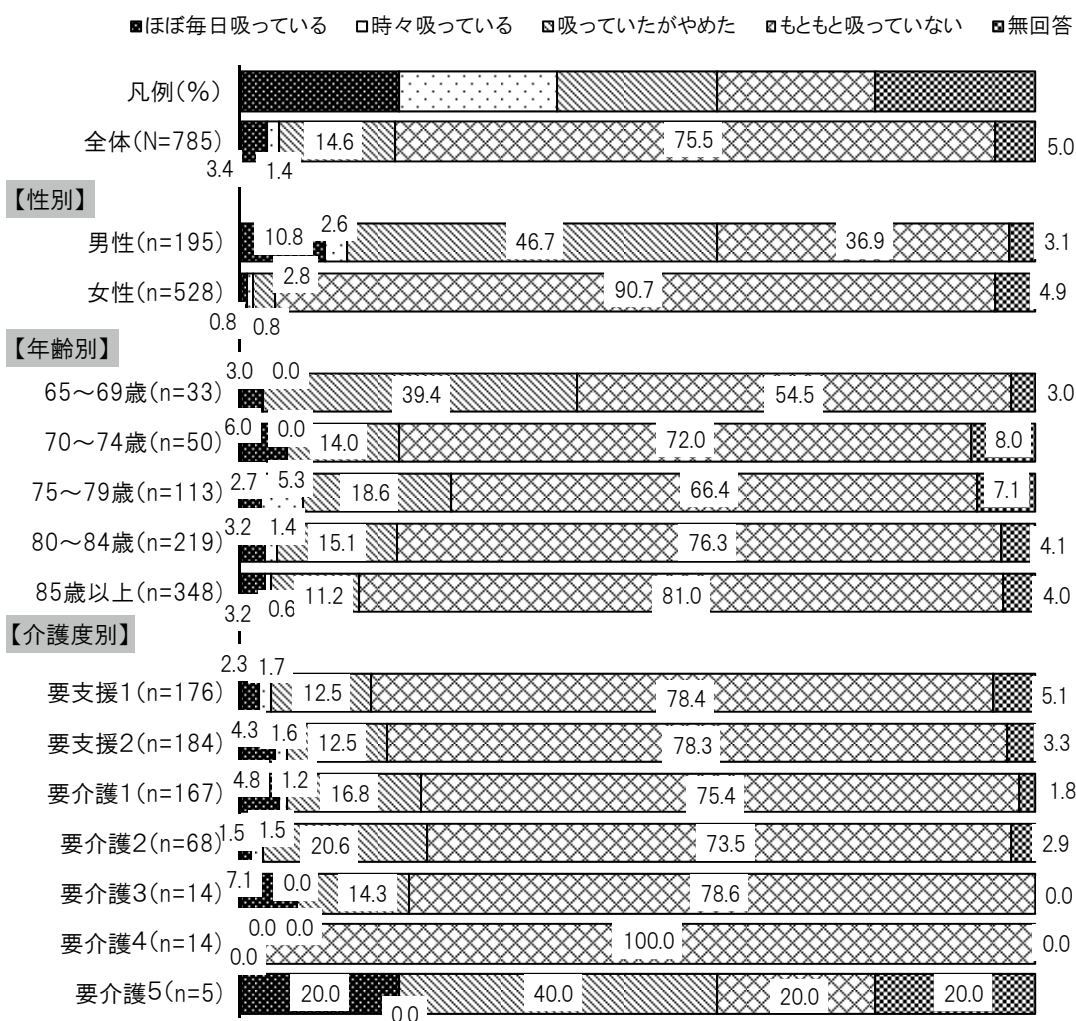
Q7 タバコは吸っていますか

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が75.5%と最も多く、「吸っていたがやめた」が14.6%となっている。「ほぼ毎日吸っている」が3.4%、「時々吸っている」が1.4%、合わせると、喫煙率は4.8%となっています。

性別では、男性の喫煙率は13.4%、女性は1.6%となっています。男性は「ほぼ毎日吸っている」が10.8%、「吸っていたがやめた」が46.7%と多く、女性は「もともと吸っていない」が90.7%と集中しています。

年齢別では、65～69歳は「吸っていたがやめた」が39.4%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「吸っていたがやめた」が多い傾向がみられます。



10. 毎日の生活の充実感の有無

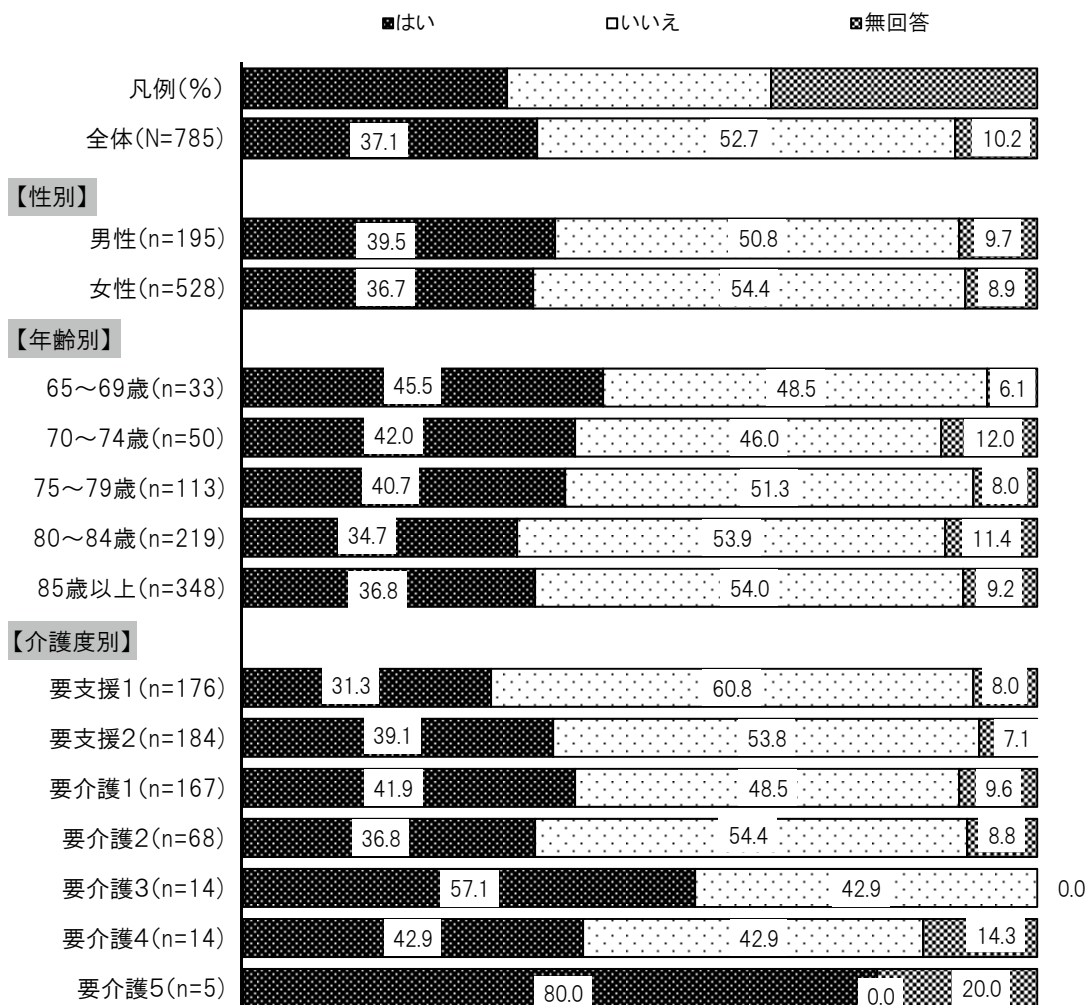
Q 8 (ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない

毎日の生活の充実感の有無については、「はい(充実感がない)」が37.1%、「いいえ(充実感がある)」は52.7%となっています。

性別では大きな差はみられません。

年齢別では、年齢が上がるほど「いいえ」が多くなっています。

介護度別では、明確な傾向はみられません。



11. 楽しんでやれていたことが楽しめなくなったことについて

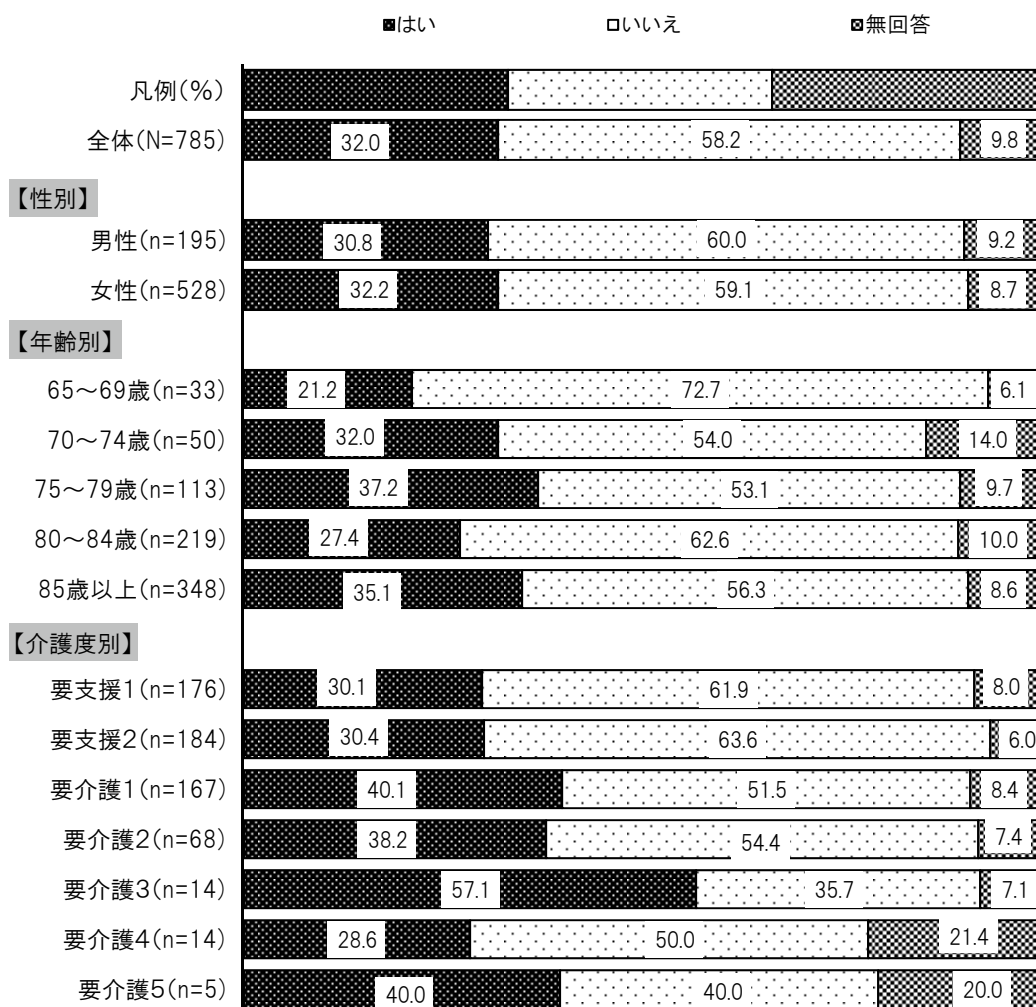
Q9 (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなったことについては、「はい (楽しめなくなった)」が32.0%、「いいえ (楽しめる)」が58.2%となっています。

性別では大きな差はみられません。

年齢別では、65～69歳は「いいえ」が72.7%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援より要介護の方が「はい」が多くなっています。



12. 以前よりおっくうに感じられることについて

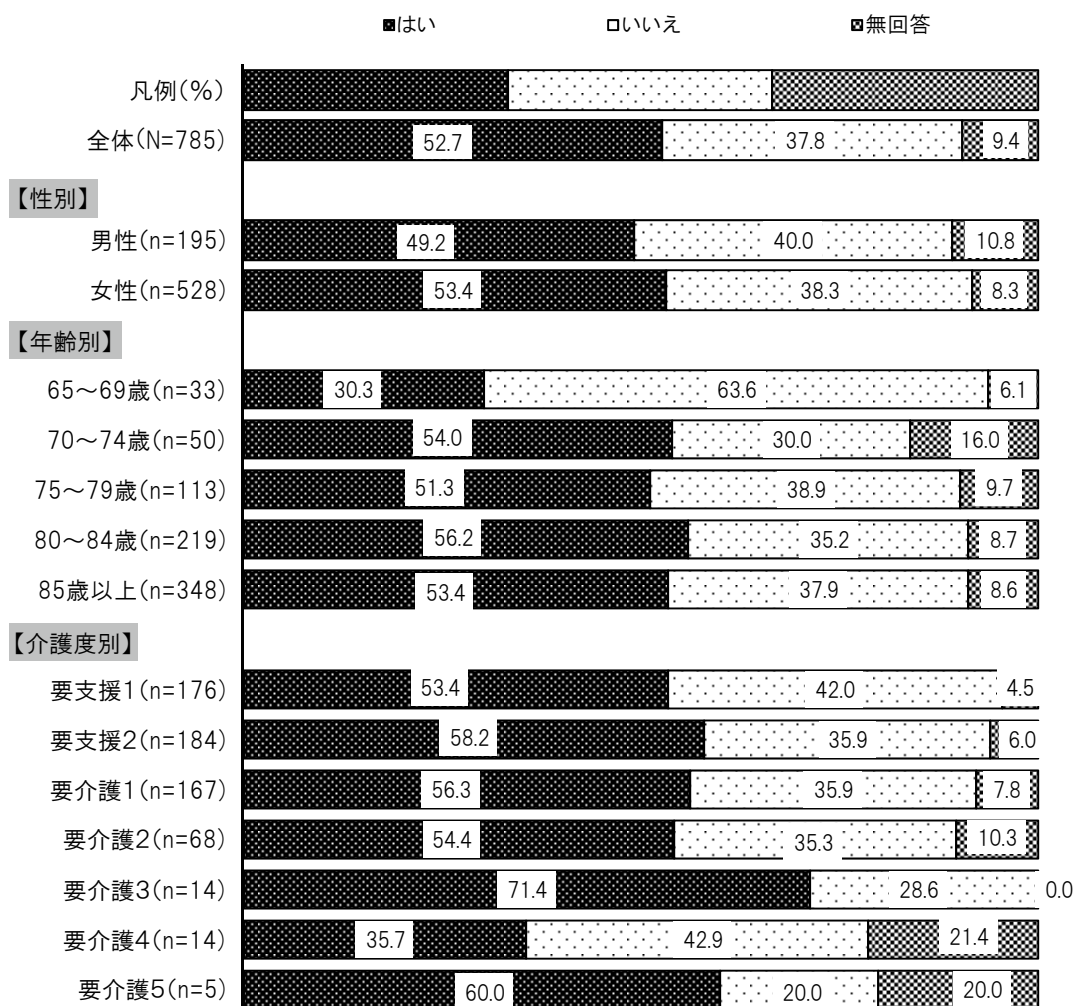
Q10 (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる

以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられることについては、「はい(おっくうに感じられる)」が52.7%、「いいえ(おっくうに感じない)」が37.8%となっています。

性別では、女性は「はい」が53.4%と、男性の49.2%を上回っています。

年齢別では、65～69歳は「はい」が30.3%と少なくなっている。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除くと、明確な傾向はみられません。



13. 自分が役に立つ人間だと思えないことについて

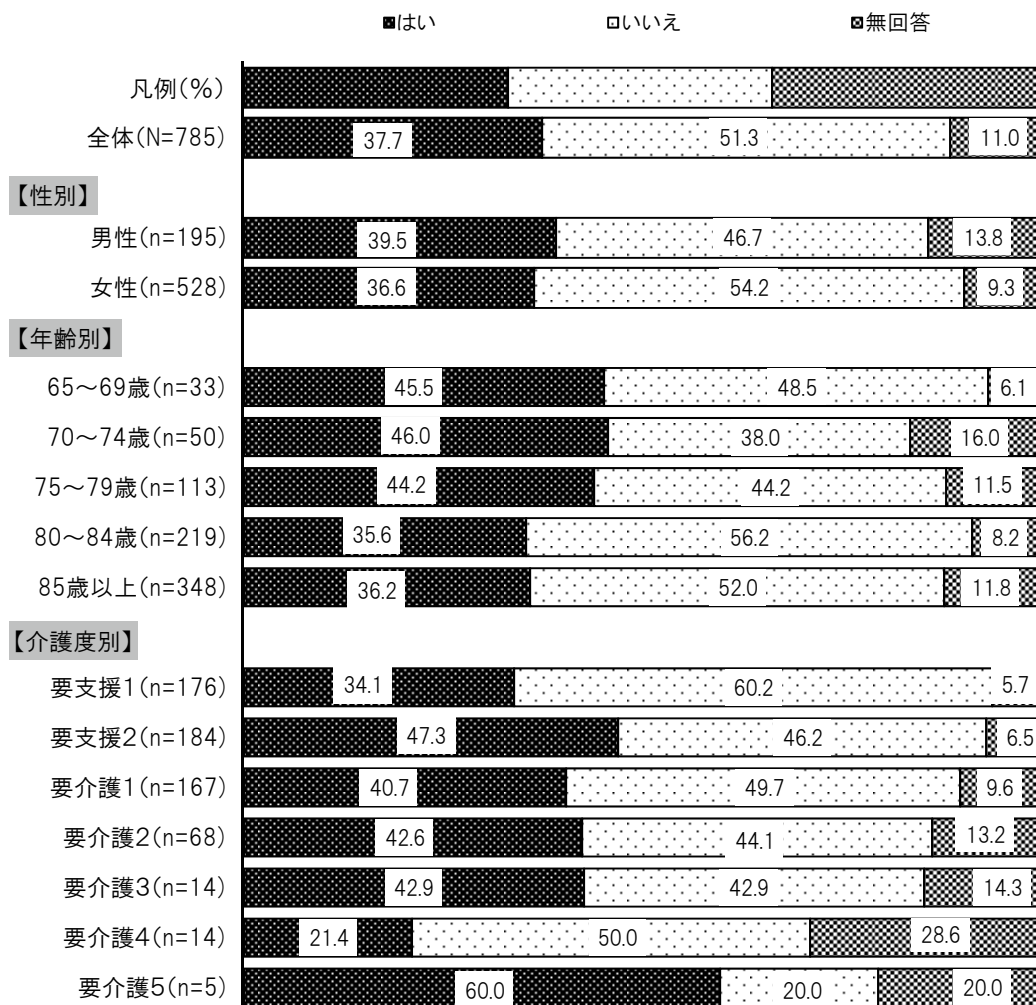
Q11 (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない

自分が役に立つ人間だと思えないことについては、「はい(役立つとは思えない)」が37.7%、「いいえ(役立つと思える)」が51.3%となっています。

性別では、大きな差はみられません。

年齢別では、79歳までの方が、80歳以上よりも「はい」が多くなっています。

介護度別では、明確な傾向はみられません。



14. わけもなく疲れたような感じがすることについて

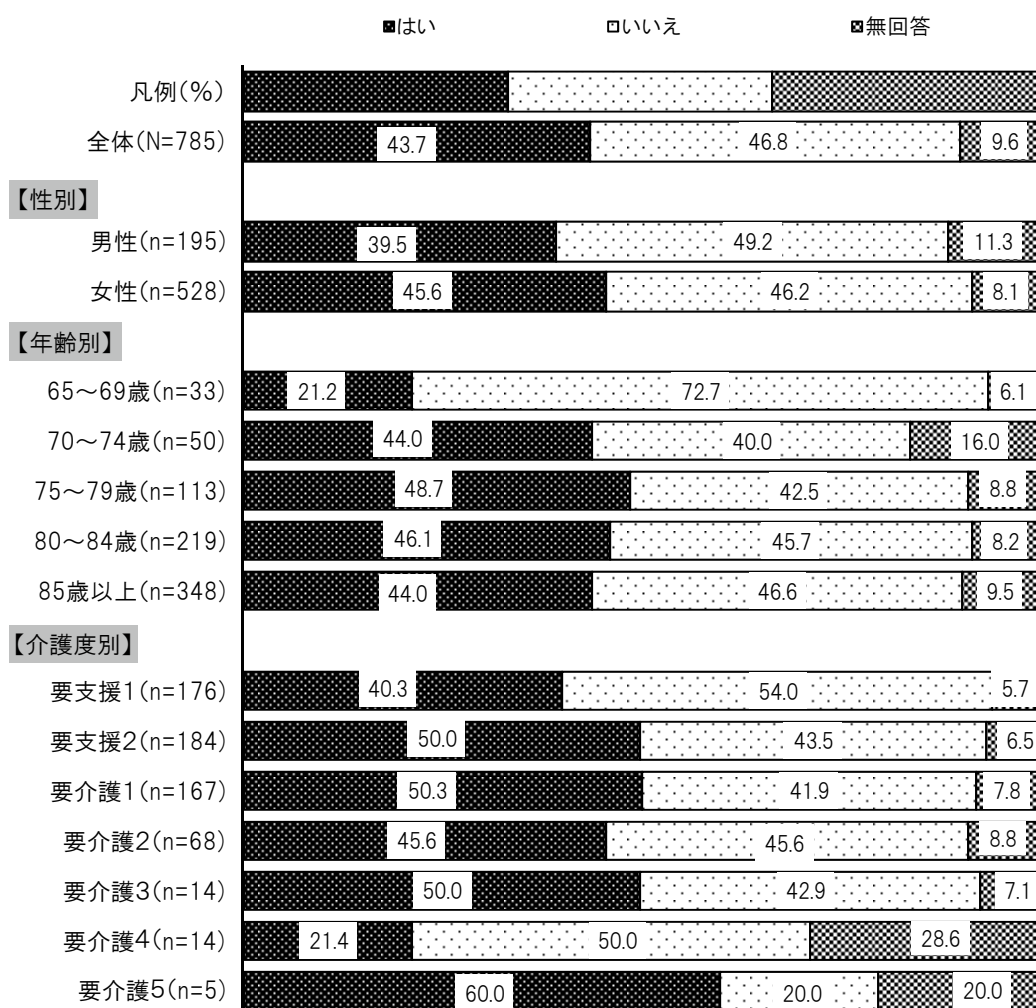
Q12 (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする

わけもなく疲れたような感じがすることについては、「はい(疲れた感じがする)」が43.7%、「いいえ(疲れた感じがしない)」が46.8%となっています。

性別では、女性は「はい」が45.6%と多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「いいえ」が72.7%と多くなっています。

介護度別では、明確な傾向はみられません。



【10】介護保険制度

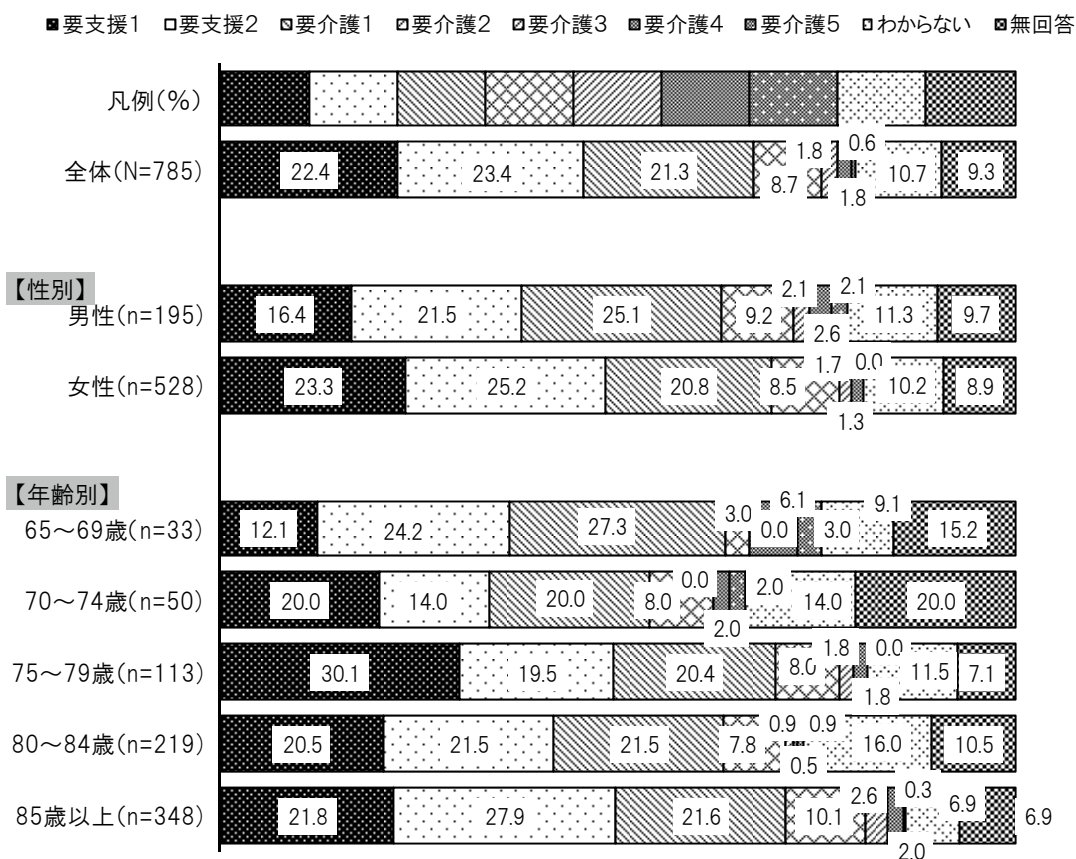
1. 要介護度

Q1 あなたの現在の要介護度は、次のどれですか（1つに○）

要介護度は、「要支援1」が22.4%、「要支援2」が23.4%、「要介護1」が21.3%、「要介護2」が8.7%、「要介護3」「要介護4」がともに1.8%、「要介護5」が0.6%、「わからない」が10.7%となっています。

性別では、男性は「要支援1」が16.4%と少なくなっています。

年齢別では、65～69歳は「要介護1」が27.3%、75～79歳は「要支援1」が30.1%と多く、70～74歳は「要支援2」が14.0%と少なくなっています。



2. 介護保険サービスの利用状況

Q2 介護保険サービスを利用していますか（1つに○）

介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が62.4%、「利用していない」が27.4%となっています。

性別では、女性は「利用している」が64.6%と若干多くなっています。

年齢別では、70～74歳は「利用している」が34.0%と少なく、85歳以上では70.7%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「利用している」が多くなっています。



3. 介護保険サービス利用による変化

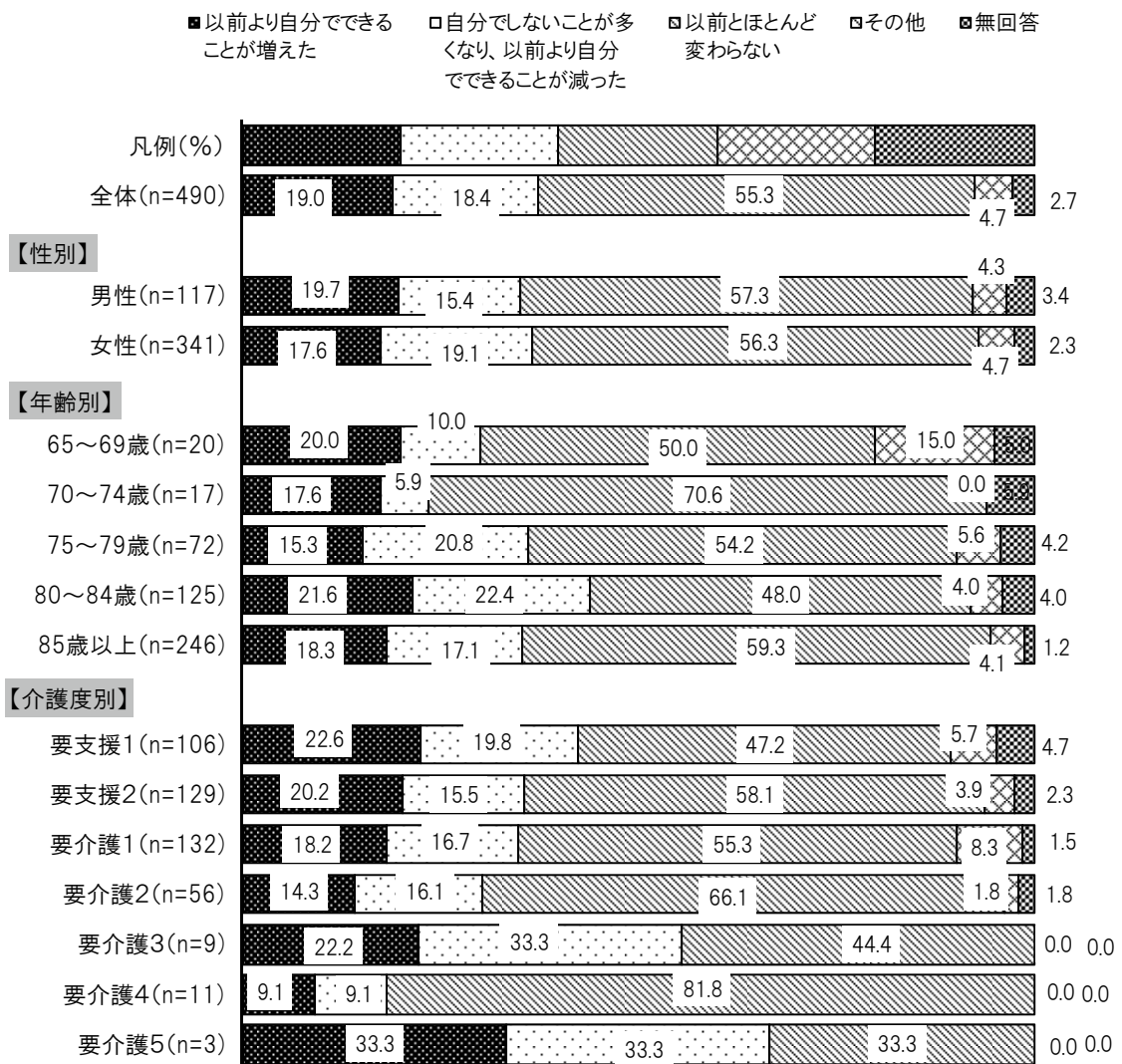
Q2-1 Q2で「1. 利用している」を選んだ方におたずねします。サービスを利用することにより、御自身にどのような変化がありましたか（1つに○）

介護保険サービス利用による変化については、「以前より自分でできることが増えた」が19.0%、「自分でしないことが多くなり、以前より自分でできることが減った」が18.4%、「以前とほとんど変わらない」が55.3%、「その他」が4.7%となっています。

性別では、大きな差はみられません。

年齢別では、65～69歳は「自分でしないことが多くなり、以前より自分でできることが減った」が10.0%と少なくなっています。また、70～74歳では「自分でしないことが多くなり、以前より自分でできることが減った」が5.9%とさらに少なく、「以前とほとんど変わらない」が70.6%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「以前より自分でできることが増えた」が少なくなっています。

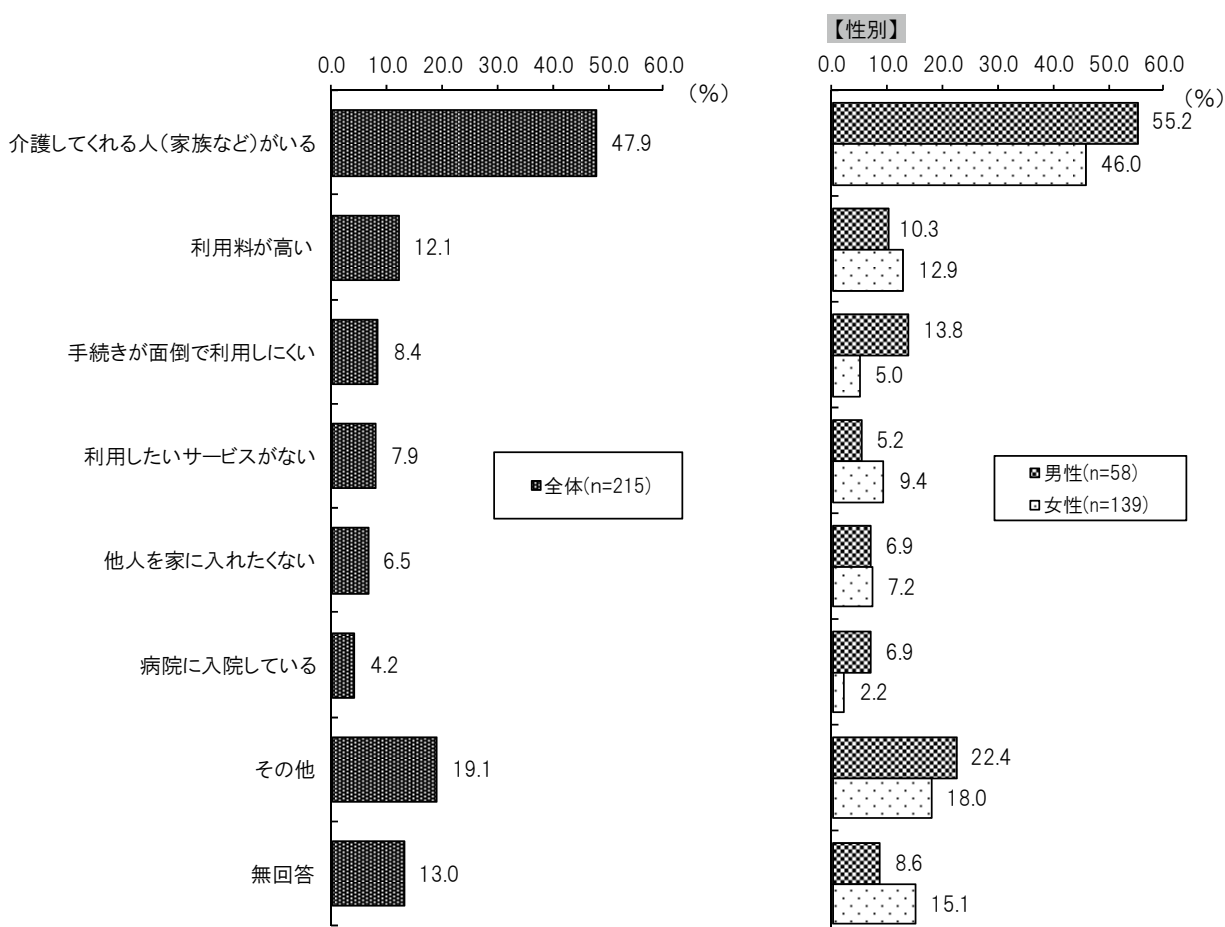


4. 介護保険サービスを利用しない理由

Q2-2 Q2で「2. 利用していない」を選んだ方におたずねします。サービスを利用しない理由は何ですか（いくつでも）

介護保険サービスを利用しない理由は、「介護してくれる人（家族など）がいる」が47.9%と最も多く、ついで「その他」が19.1%、「利用料が高い」が12.1%、「手続きが面倒で利用しにくい」が8.4%、「利用したいサービスがない」が7.9%、「他人を家に入れたくない」が6.5%、「病院に入院している」が4.2%となっています。

性別では、男性は「介護してくれる人（家族など）がいる」が55.2%、「手続きが面倒で利用しにくい」が13.8%と多くなっています。



年齢別では、65～69歳は「介護してくれる人（家族など）がいる」が66.7%、「利用料が高い」が33.3%、「手続きが面倒で利用しにくい」が33.3%と多くなっています。

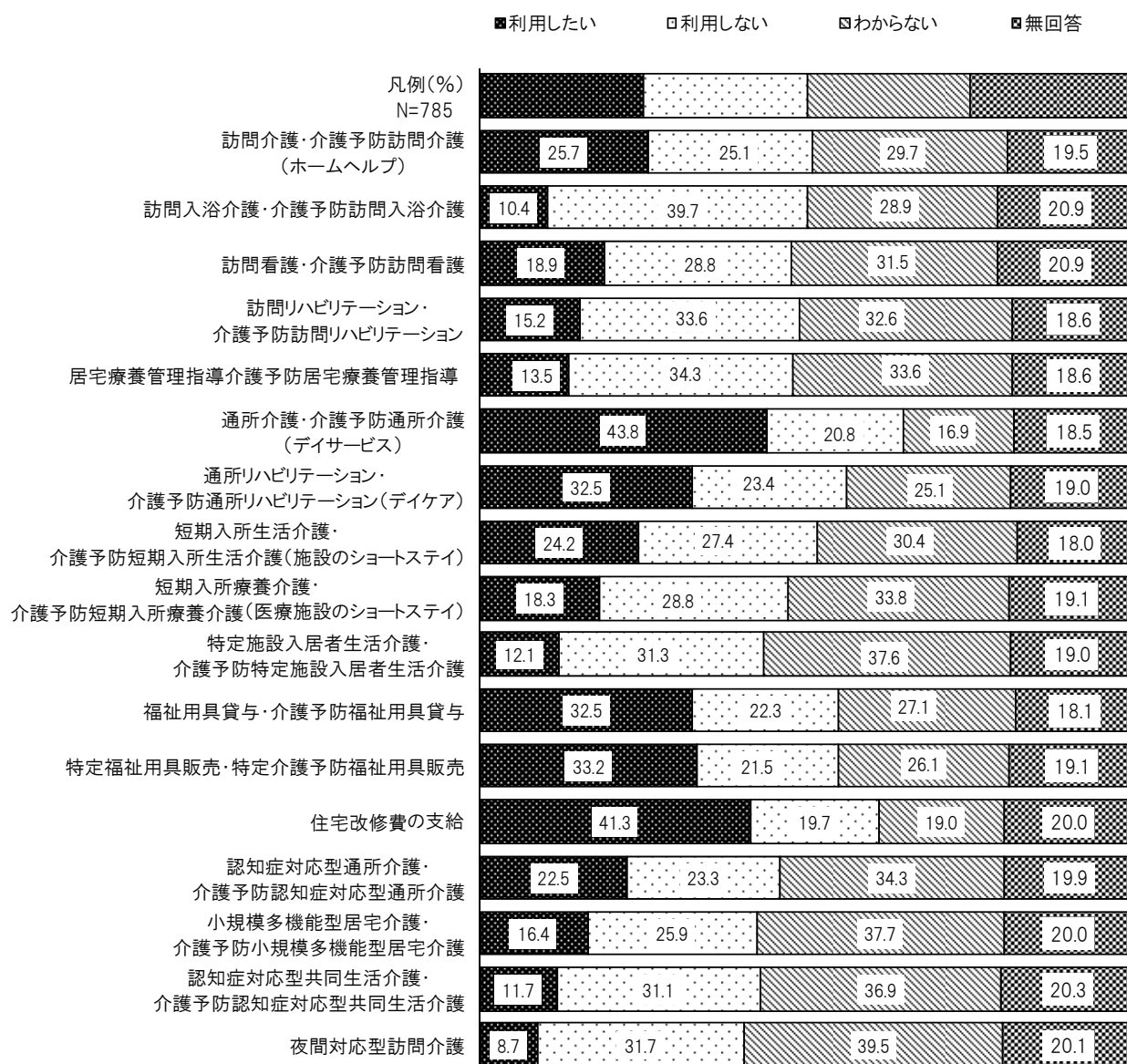
介護度別では、回答数が少ない要介護2以上を除くと、「介護してくれる人（家族など）がいる」「他人を家に入れたくない」では介護度が高いほど多くなっています。一方、「利用したいサービスがない」については、介護度が高いほど少なくなっています。

区分		サービスを利用しない理由 (%)						
		介護してくれる人（家族など）がいる	利用料が高い	利用手続きが面倒	利用がしたいサービスがない	他人を家に入れない	病院に入院して	その他
全体(n=215)		47.9	12.1	8.4	7.9	6.5	4.2	19.1
性別	男性(n=58)	55.2	10.3	13.8	5.2	6.9	6.9	22.4
	女性(n=139)	46.0	12.9	5.0	9.4	7.2	2.2	18.0
年齢別	65～69歳(n=9)	66.7	33.3	33.3	11.1	0.0	0.0	11.1
	70～74歳(n=23)	47.8	4.3	8.7	8.7	8.7	0.0	26.1
	75～79歳(n=32)	53.1	9.4	6.3	3.1	3.1	0.0	15.6
	80～84歳(n=73)	43.8	9.6	4.1	11.0	5.5	2.7	28.8
	85歳以上(n=72)	48.6	16.7	8.3	6.9	9.7	8.3	8.3
介護度別	要支援1(n=61)	44.3	4.9	3.3	13.1	3.3	4.9	24.6
	要支援2(n=46)	58.7	19.6	13.0	8.7	8.7	4.3	13.0
	要介護1(n=26)	69.2	11.5	7.7	3.8	11.5	0.0	30.8
	要介護2(n=8)	25.0	37.5	12.5	0.0	25.0	12.5	12.5
	要介護3(n=4)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	要介護4(n=2)	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	要介護5(n=1)	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

5. 介護保険サービスの利用意向

Q3 以下の介護保険サービス（居宅サービス・地域密着型サービス）について、それぞれの利用意向を教えてください（①～⑦それぞれ1つに○）

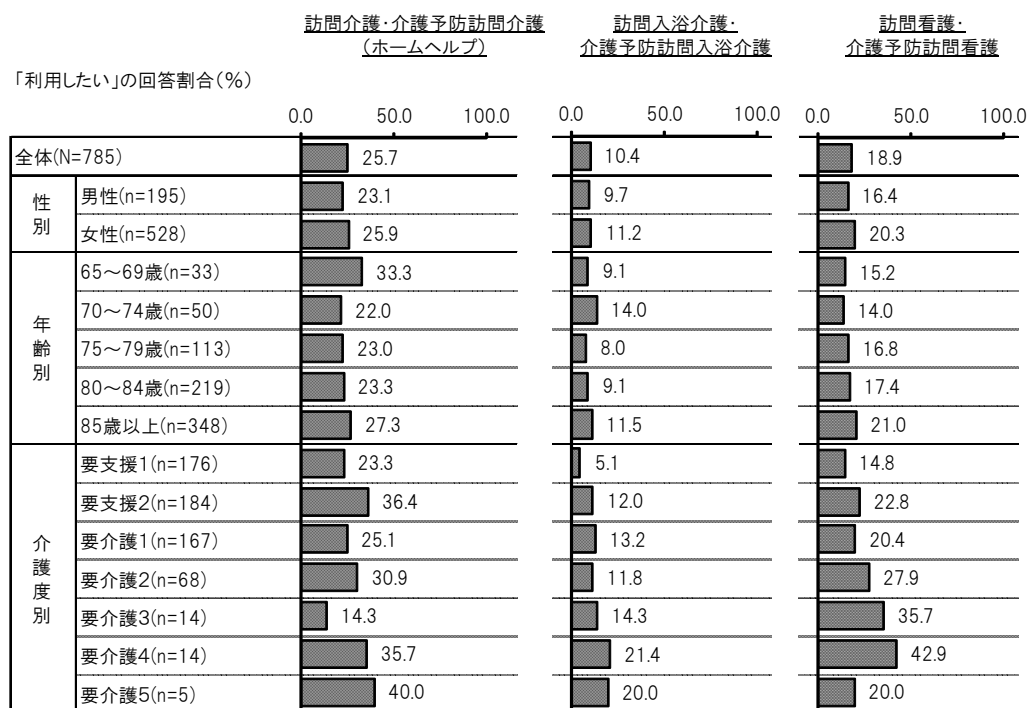
介護保険サービスのうち利用意向が高い順に、「通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）」（43.8%）、「住宅改修費の支給」（41.3%）、「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」（33.2%）、「福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与」「通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション（デイケア）」（ともに32.5%）、「訪問介護・介護予防訪問介護（ホームヘルプ）」（25.7%）、「短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（施設のショートステイ）」（24.2%）、「認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護」（22.5%）となっています。

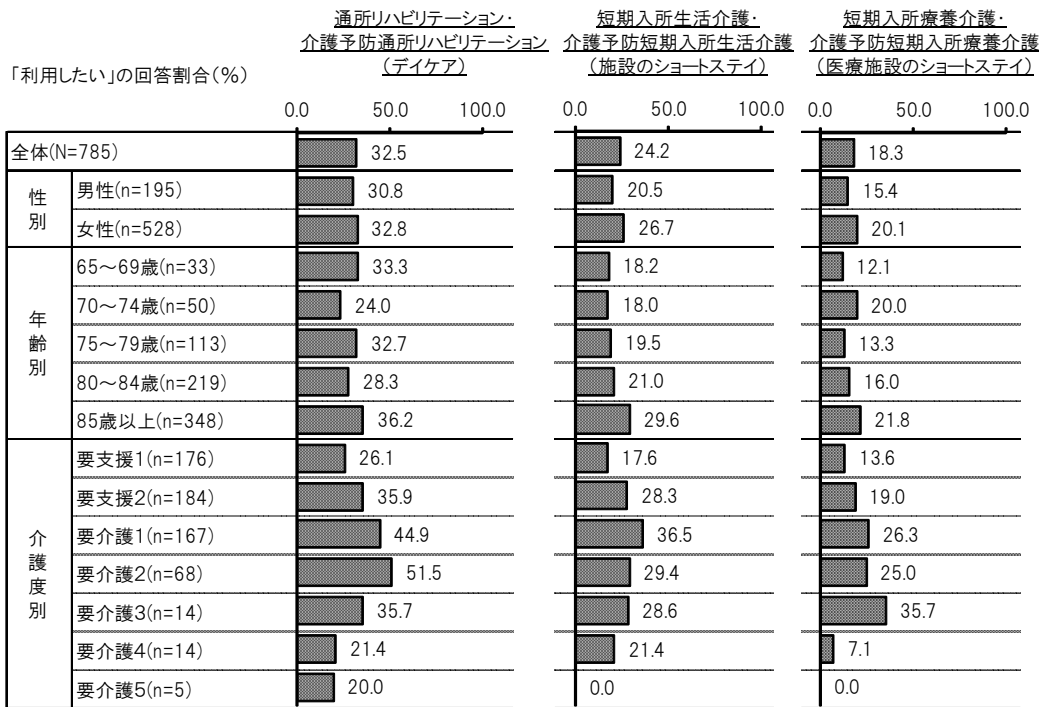
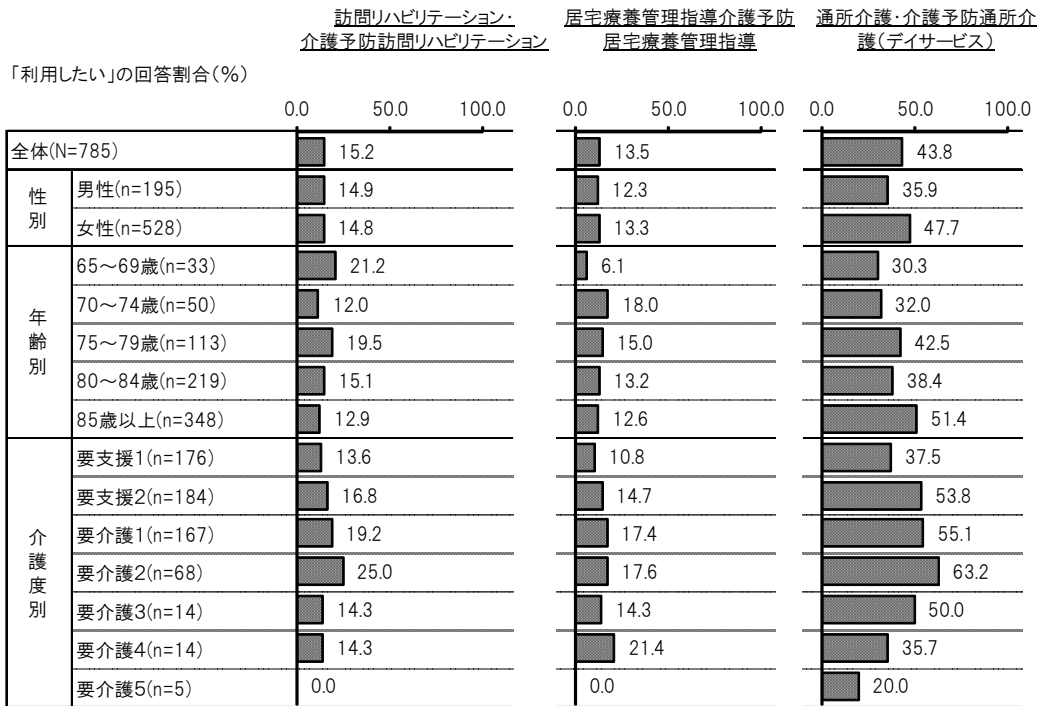


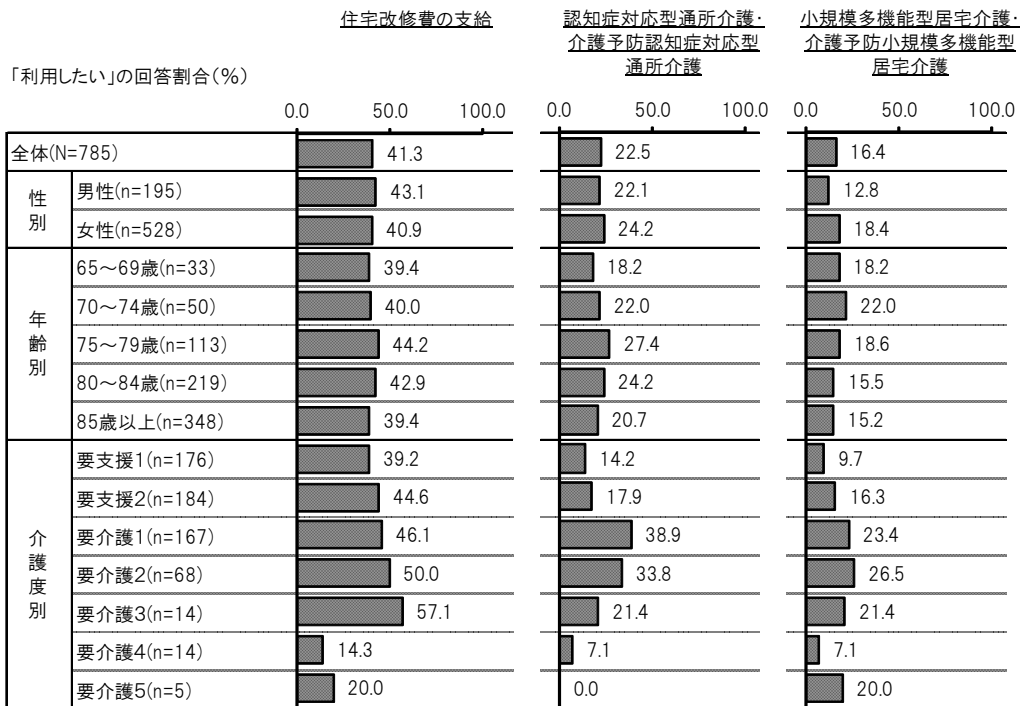
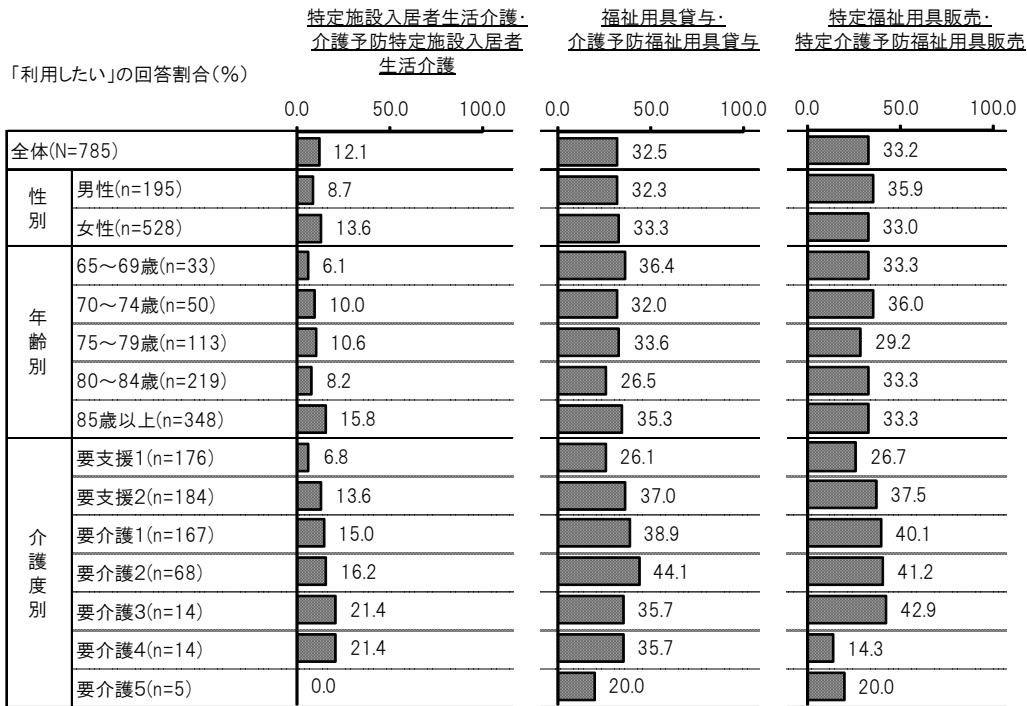
性別では、女性は「通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）」（47.7%）、「短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（施設のショートステイ）」（26.7%）が多くなっています。

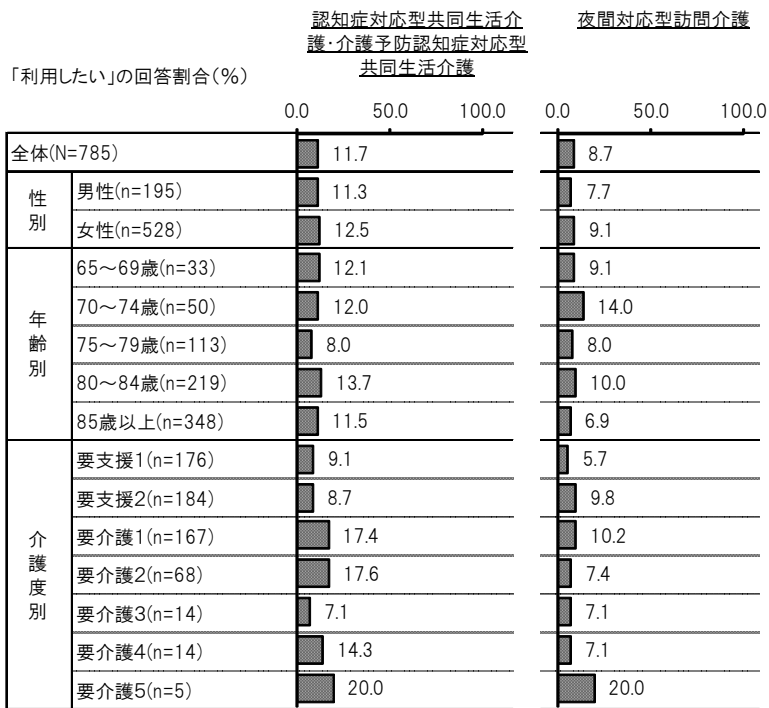
年齢別では、65～69歳は「訪問介護・介護予防訪問介護（ホームヘルプ）」（33.3%）、85歳以上では「通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）」（51.4%）、「短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（施設のショートステイ）」（29.6%）の利用意向が多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「訪問看護・介護予防訪問看護」「通所介護・介護予防通所介護（デイサービス）」「通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション（デイケア）」「特定施設入居者生活介護・介護予防特定施設入居者生活介護」「福祉用具貸与・介護予防福祉用具貸与」「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」「住宅改修費の支給」「小規模多機能型居宅介護・介護予防小規模多機能型居宅介護」で、介護度が高いほど利用意向が多くなっています。









6. 施設サービスの入所意向

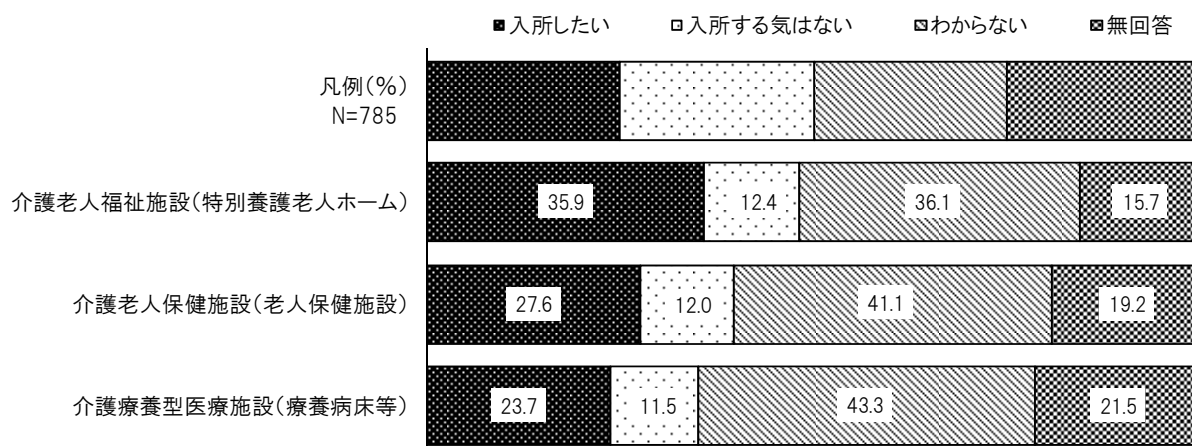
Q 4 以下の施設サービスについて、将来的に、もし介護が必要となった場合の入所の意向をそれぞれ教えてください（①～③それぞれ1つに○）

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

②介護老人保健施設（老人保健施設）

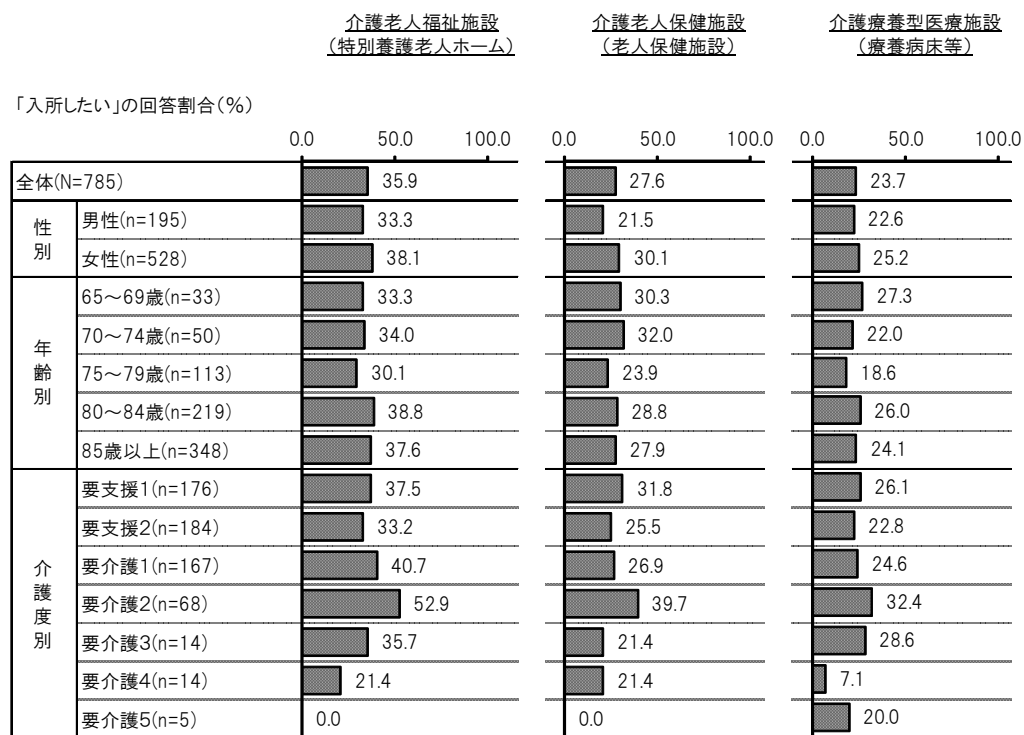
③介護療養型医療施設（療養病床等）

施設サービスへの入所意向では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 35.9%と最も高く、ついで「介護老人保健施設（老人保健施設）」（27.6%）、「介護療養型医療施設（療養病床等）」（23.7%）となっています。



性別では、女性は「介護老人保健施設（老人保健施設）」（30.1%）の入所意向が多く、年齢別では、75～79歳では「介護療養型医療施設（療養病床等）」（18.6%）が若干少なくなっています。

介護度別では、要介護2で、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（52.9%）、「介護老人保健施設（老人保健施設）」（39.7%）、「介護療養型医療施設（療養病床等）」（32.4%）の全てで入所意向が多くなっています。



7. 介護保険料について

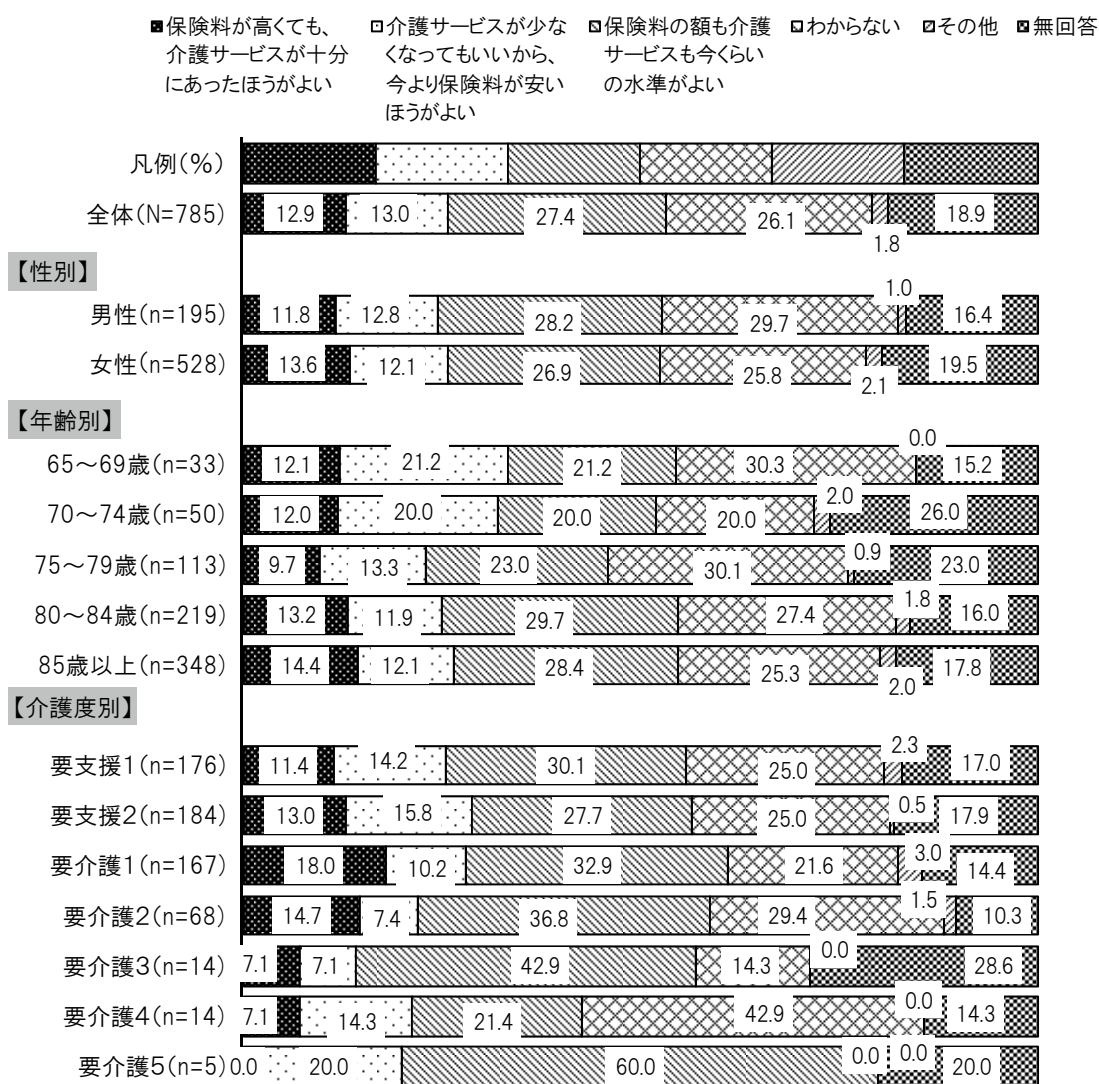
Q 5 介護保険の保険料についてどのようにお考えですか（1つに○）

介護保険の保険料については、「保険料の額も介護サービスも今くらいの水準がよい」が27.4%と最も多く、「わからない」が26.1%、「介護サービスが少なくなってもいいから、今より保険料が安いほうがよい」が13.0%、「保険料が高くて、介護サービスが十分にあったほうがよい」が12.9%、「その他」が1.8%となっています。

性別では、大きな差はありません。

年齢別では、65～69歳と70～74歳で「介護サービスが少なくなってもいいから、今より保険料が安いほうがよい」がそれぞれ21.2%、20.0%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「介護サービスが少なくなってもいいから、今より保険料が安いほうがよい」が要介護より要支援の方が多くなっています。

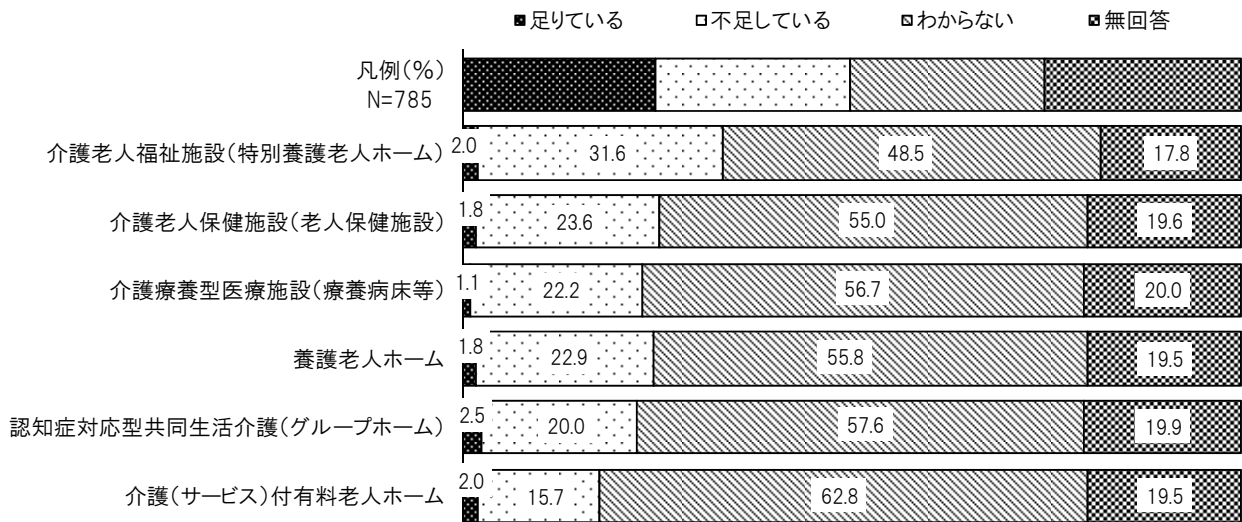


8. 福祉施設等の設備状況について

Q 6 次の福祉施設等の設備状況についてどう思いますか (①～⑥それぞれ1つに○)

- ①介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
- ②介護老人保健施設 (老人保健施設)
- ③介護療養型医療施設 (療養病床等)
- ④養護老人ホーム
- ⑤認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)
- ⑥介護 (サービス) 付有料老人ホーム

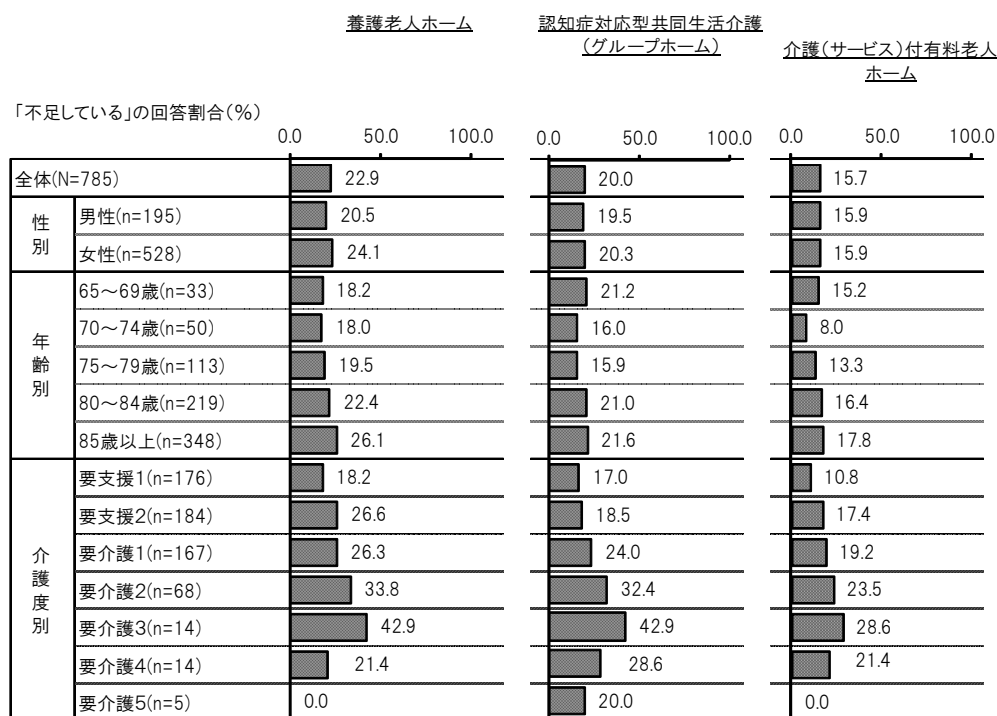
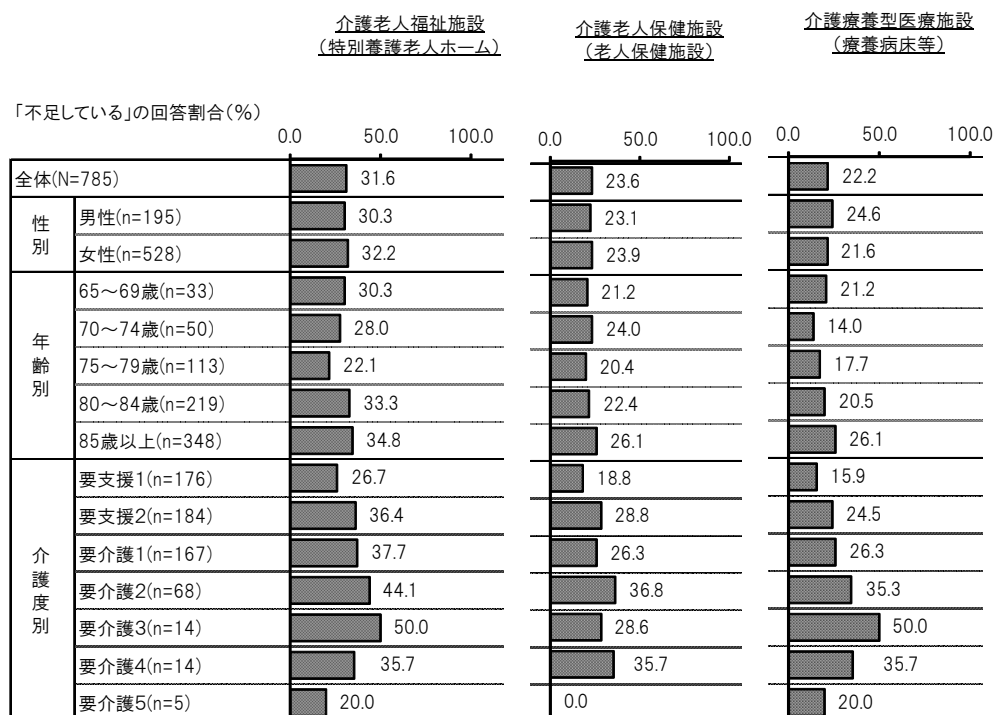
福祉施設等の設備状況については、「不足している」で見ると、「介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)」が 31.6%で最も多く、ついで「介護老人保健施設 (老人保健施設)」が 23.6%、「養護老人ホーム」が 22.9%、「介護療養型医療施設 (療養病床等)」が 22.2%、「認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)」が 20.0%、「介護 (サービス) 付有料老人ホーム」が 15.7%となっています。



性別では、大きな差はみられません。

年齢別では、70～74歳は「介護療養型医療施設（療養病床等）」が14.0%、「介護（サービス）付有料老人ホーム」が8.0%と「不足している」が少なく、75～79歳では「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が22.1%と少なくなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「介護老人保健施設（老人保健施設）」以外の全ての施設で、介護度が高いほど「不足している」が多くなる傾向がみられます。



【11】安全状況、介護予防

1. 「地域包括支援センター」の認知状況

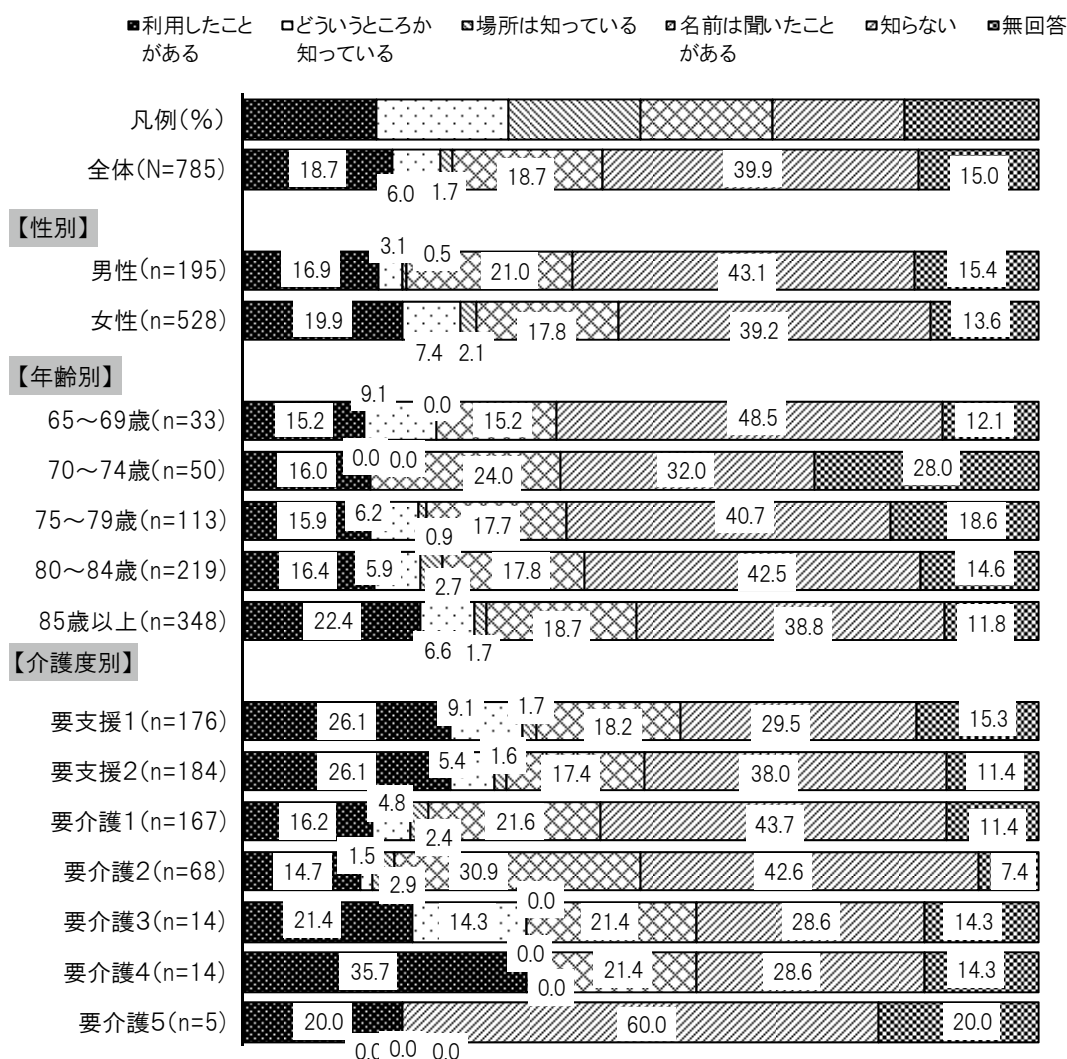
Q1 介護予防の拠点であり、高齢介護に関する相談窓口である「地域包括支援センター」について知っていますか（1つに○）

「地域包括支援センター」の認知状況は、「利用したことがある」が18.7%、「どこか知っている」が6.0%、「場所は知っている」が1.7%、「名前は聞いたことがある」が18.7%、「知らない」が39.9%となっています。

性別では、女性は「利用したことがある」が19.9%、「どこか知っている」が7.4%と若干多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「知らない」が48.5%と多く、一方85歳以上では「利用したことがある」が22.4%とやや多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「利用したことがある」が少なくなっています。

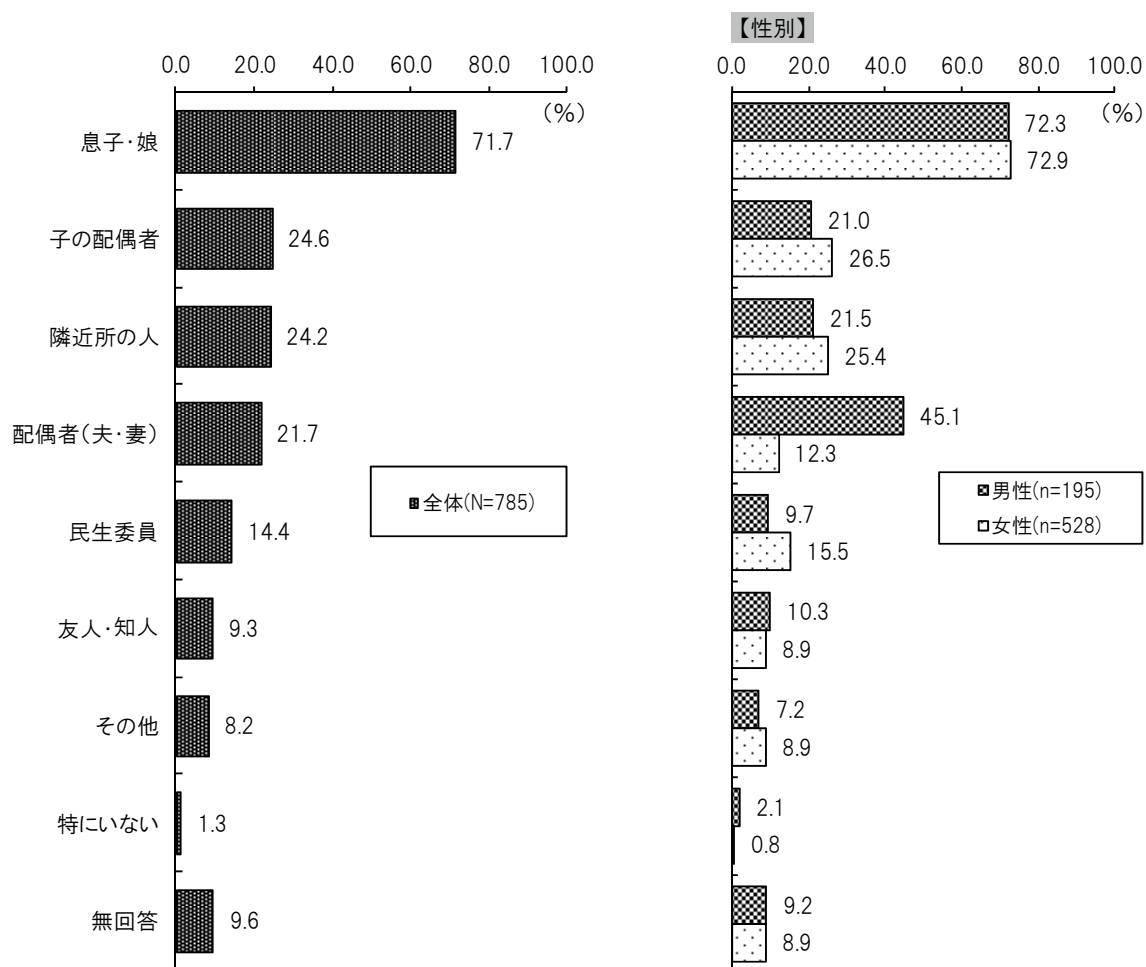


2. 緊急時に連絡できる人について

Q2 緊急時に連絡できる方はどなたですか（いくつでも）

緊急時に連絡できる人は、「息子・娘」が71.7%と最も多く、「子の配偶者」が24.6%、「隣近所の人」が24.2%、「配偶者（夫・妻）」が21.7%、「民生委員」が14.4%、「友人・知人」が9.3%、「その他」が8.2%となっています。「特にいない」は1.3%に止まります。

性別では、男性は「配偶者（夫・妻）」が45.1%と多くなっています。



年齢別では、65～59歳と70～74歳は「息子・嫁」がそれぞれ54.5%、58.0%、「子の配偶者」がそれぞれ15.2%、10.0%と少なく、「配偶者(夫・妻)」がそれぞれ39.4%、40.0%と多くなっています。また、65～69歳では「民生委員」が3.0%と少なくなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「友人・知人」で要支援の方が要介護より多い傾向がみられます。

緊急時に連絡できる方 区分		(%)							
		息子・娘	子の配偶者	隣近所の人	妻配偶者(夫・妻)	民生委員	友人・知人	その他	特 に い な い
全体(N=785)		71.7	24.6	24.2	21.7	14.4	9.3	8.2	1.3
性別	男性(n=195)	72.3	21.0	21.5	45.1	9.7	10.3	7.2	2.1
	女性(n=528)	72.9	26.5	25.4	12.3	15.5	8.9	8.9	0.8
年齢別	65～69歳(n=33)	54.5	15.2	24.2	39.4	3.0	9.1	21.2	3.0
	70～74歳(n=50)	58.0	10.0	24.0	40.0	12.0	12.0	8.0	2.0
	75～79歳(n=113)	74.3	20.4	22.1	32.7	12.4	10.6	2.7	3.5
	80～84歳(n=219)	73.5	22.8	25.6	24.7	16.0	10.0	8.7	0.5
	85歳以上(n=348)	75.0	29.9	24.4	11.8	15.8	8.6	8.6	0.6
介護度別	要支援1(n=176)	73.9	21.0	23.3	21.6	14.8	13.6	8.0	1.7
	要支援2(n=184)	73.4	22.3	28.3	19.0	18.5	12.0	10.9	1.1
	要介護1(n=167)	73.7	33.5	19.8	22.2	10.8	3.6	8.4	0.6
	要介護2(n=68)	76.5	25.0	22.1	22.1	16.2	8.8	8.8	0.0
	要介護3(n=14)	85.7	50.0	7.1	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護4(n=14)	100.0	50.0	7.1	35.7	7.1	7.1	0.0	0.0
	要介護5(n=5)	20.0	20.0	60.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0

3. 災害時に一人で避難の必要性を判断、避難場所まで避難することについて

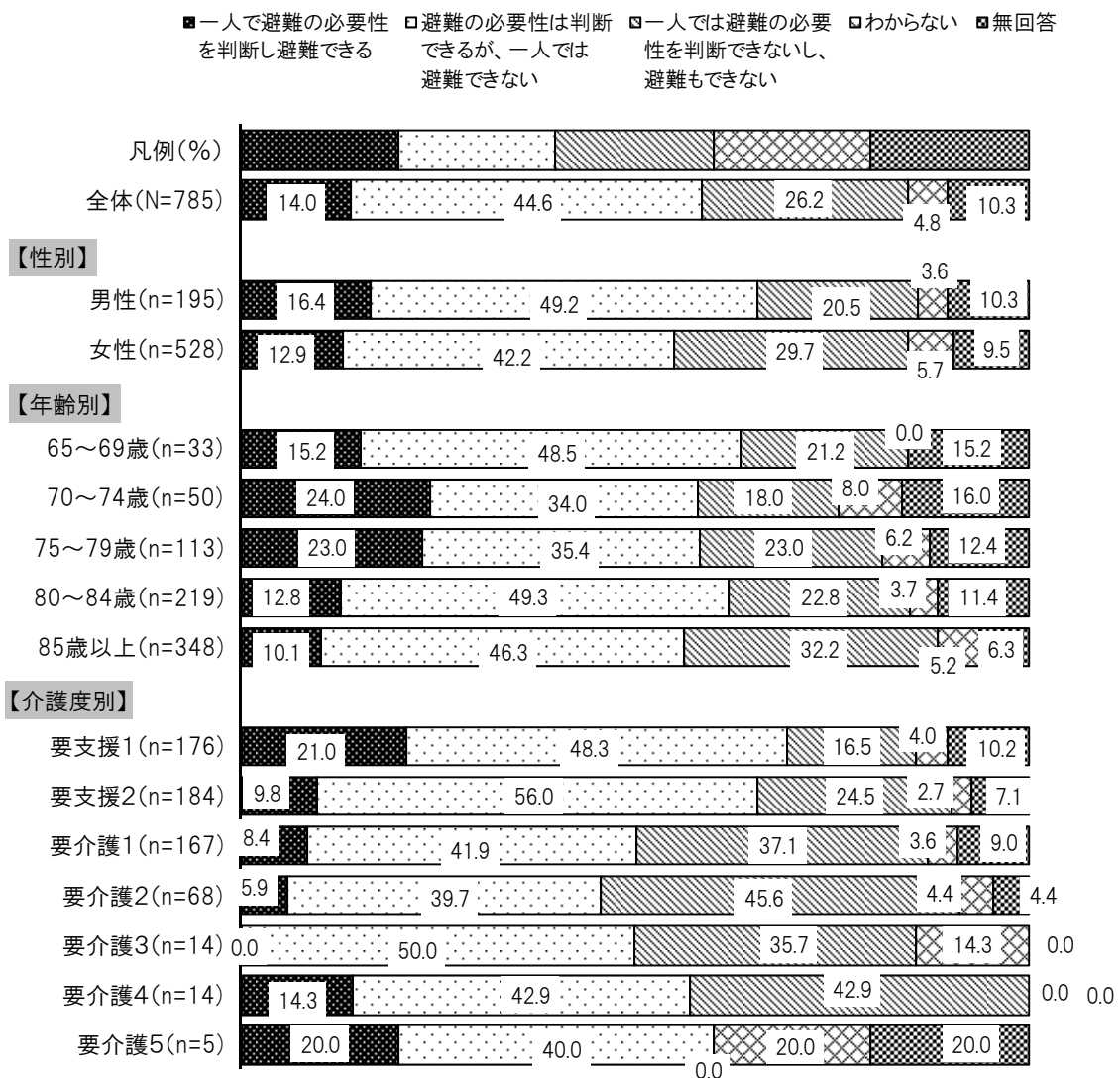
Q3 あなたは、災害時（台風や地震等）に、一人で避難の必要性を判断し、避難場所まで避難することができますか（1つに○）

災害時に一人で避難の必要性を判断し、避難場所まで避難することについては、「避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」が44.6%と最も多く、「一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない」が26.2%、「一人で避難の必要性を判断し避難できる」が14.0%、「わからない」が4.8%となっています。

性別では、男性は「一人で避難の必要性を判断し避難できる」が16.4%、「避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」が49.2%とやや多くなっています。

年齢別では、70～74歳と75～79歳は「一人で避難の必要性を判断し避難できる」がそれぞれ24.0%、23.0%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、介護度が高いほど「一人で避難の必要性を判断し避難できる」が少なくなっています。



4. 災害時に手助けを頼める人について

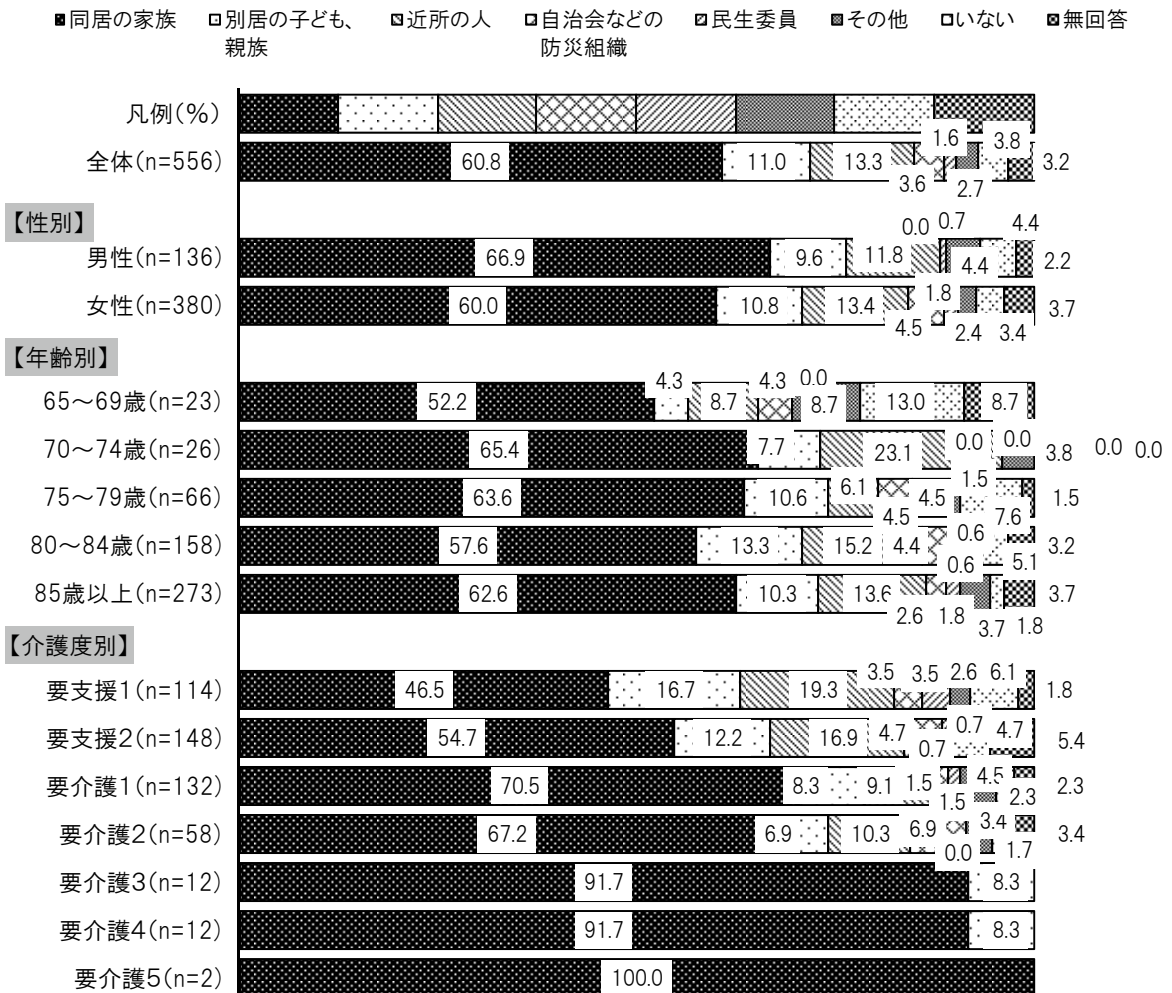
Q3-1 Q3で「2 避難の必要性は判断できるが、一人では避難できない」又は「3 一人では避難の必要性を判断できないし、避難もできない」と答えた方にお尋ねします。災害時に避難するとき、近くに手助けを頼める人がいますか。手助けを頼める人がいる場合にはそれは誰ですか（1つに○）

災害時に手助けを頼める人は、「同居の家族」が60.8%と最も多く、ついで「近所の人」が13.3%、「別居の子ども、親族」が11.0%、「自治会などの防災組織」が3.6%、「その他」が2.7%、「民生委員」が1.6%、「いない」は3.8%です。

性別では、男性は「同居の家族」が66.9%と若干多くなっています。

年齢別では、65～69歳は「同居の家族」が52.2%と少なく、70～74歳では「近所の人」が23.1%と多くなっています。

介護度別では、介護度が高いほど「同居の家族」が多くなっています。



5. となり近所とのつきあいについて

Q 4 となり近所とのつきあいはどうですか（1つに○）

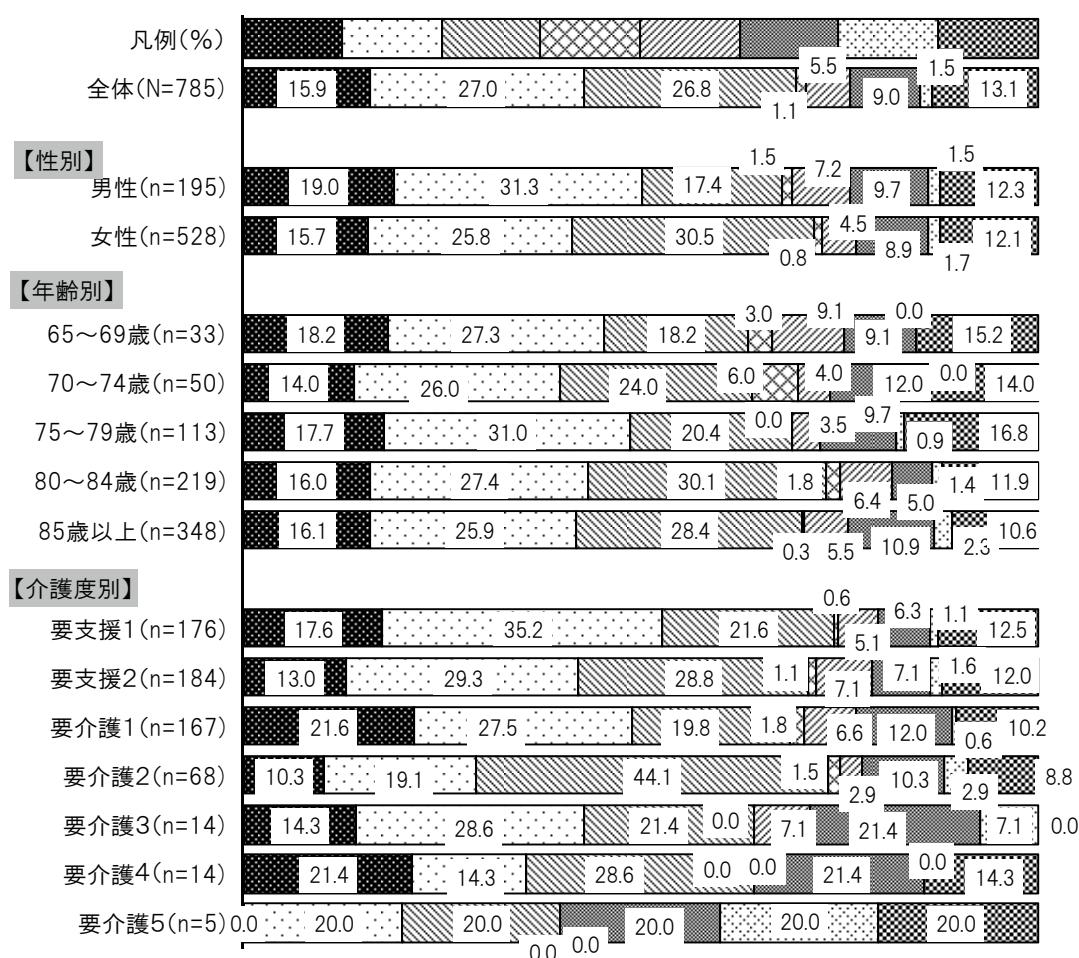
となり近所とのつきあいについては、「ときどき立ち話をする程度」が 27.0%と最も多く、「家へ上がって話をする近所の人がある」が 26.8%、「あいさつをする程度」が 15.9%、「ほとんどつきあいはない」が 9.0%、「困っているときに、相談したり助け合ったりしている人がある」が 5.5%、「その他」が 1.5%、「食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている」が 1.1%となっています。

性別では、女性は「家へ上がって話をする近所の人がある」が 30.5%と多くなっています。

年齢別では、70～74 歳を除き、「あいさつをする程度」は年齢が上がるほど少なくなっています。

介護度別では、要支援より要介護の方が「ほとんどつきあいはない」が多くなっています。

■あいさつをする程度 □ときどき立ち話をする程度 ▨家へ上がって話をする近所の人がある ▩食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている □困っているときに、相談したり助け合ったりしている人がある ■ほとんどつきあいはない □その他 ■無回答



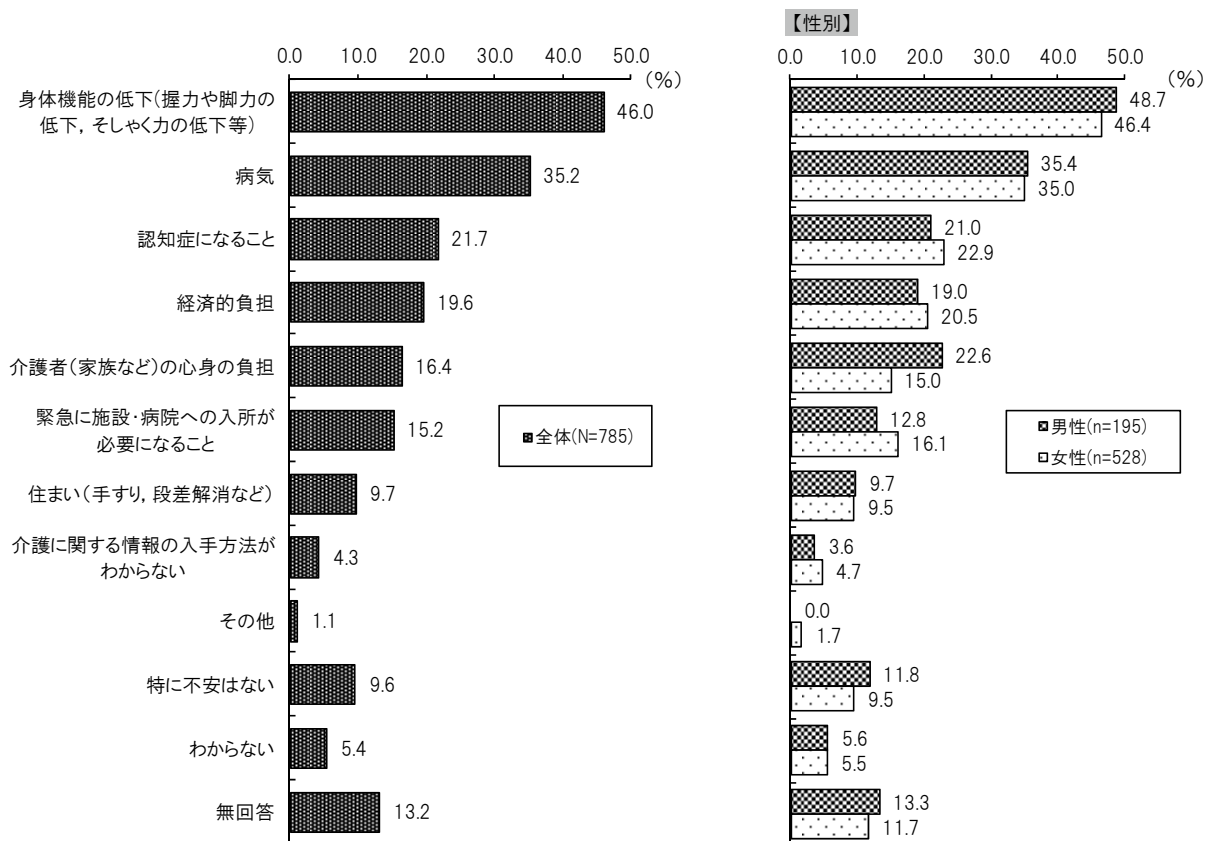
6. 生活の中で困っていること

Q5 あなたは生活の中で、どのようなことに困っていますか（いくつでも）

(1) 介護・医療・住まいに関すること

介護・医療・住まいに関して困っていることでは、「身体機能の低下（握力や脚力の低下、そしゃく力の低下等）」が46.0%と最も多く、ついで「病気」が35.2%、「認知症になること」が21.7%、「経済的負担」が19.6%、「介護者（家族など）の心身の負担」が16.4%、「緊急に施設・病院への入所が必要になること」が15.2%、「住まい（手すり、段差解消など）」が9.7%、「介護に関する情報の入手方法がわからない」が4.3%、「その他」が1.1%と続いています。「特に不安はない」は9.6%となっています。

性別では、男性は「介護者（家族など）の心身の負担」が22.6%と若干多くなっています。



年齢別では、70～74歳は「経済的負担」が32.0%と多く、75～79歳では「病気」が43.4%、「住まい（手すりの段差解消など）」が17.7%と多くなっています。

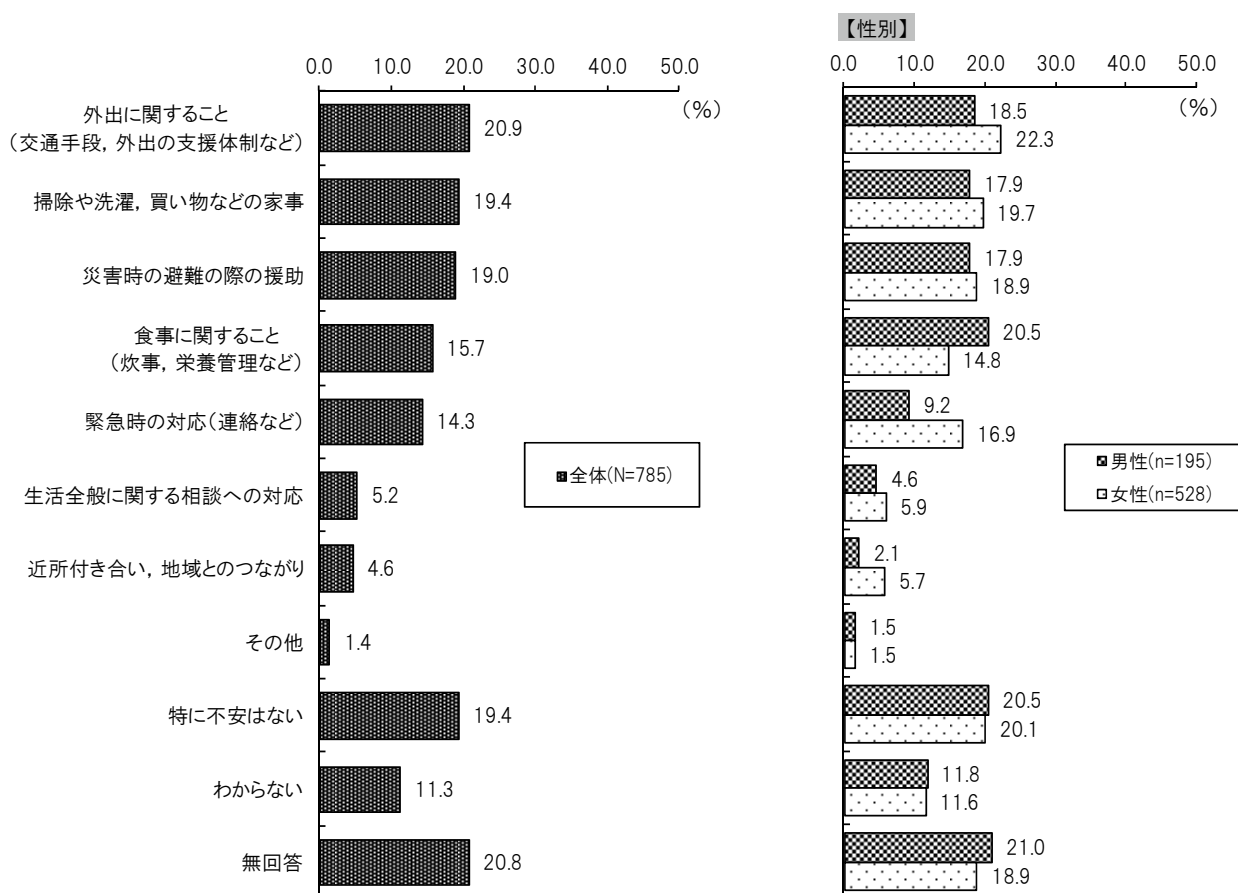
介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「介護者（家族など）の心身の負担」は介護度が高いほど多くなっています。

区分		困っていること (介護・医療・住まいに 関すること)	し力身 やや体 く脚機 力の力の 低下の低下 、(握 下、)	病 気	認 知 症 に な る こ と	経 済 的 負 担	ど介 護者 (家 族 な り) の 心 身 の 負 担	必 要 に な る こ と	へ の 入 所 が 必 要 に な る こ と	緊 急 に 施 設 ・ 病 院	段 差 解 消 な ど	住 ま い (手 す り 、 等)	わ か ら な い 方 法 が あ ら ず	介 護 に 関 する 情 報	そ の 他	特 に 不 安 は な い	わ か ら な い
全体(N=785)		46.0	35.2	21.7	19.6	16.4	15.2	9.7	4.3	1.1	9.6	5.4					
性別	男性(n=195)	48.7	35.4	21.0	19.0	22.6	12.8	9.7	3.6	0.0	11.8	5.6					
	女性(n=528)	46.4	35.0	22.9	20.5	15.0	16.1	9.5	4.7	1.7	9.5	5.5					
年齢別	65～69歳(n=33)	51.5	39.4	15.2	18.2	18.2	12.1	9.1	3.0	0.0	12.1	3.0					
	70～74歳(n=50)	46.0	38.0	12.0	32.0	16.0	8.0	14.0	8.0	0.0	10.0	0.0					
	75～79歳(n=113)	43.4	43.4	21.2	27.4	16.8	12.4	17.7	5.3	0.0	8.8	3.5					
	80～84歳(n=219)	42.0	37.9	23.3	18.3	14.6	17.4	9.1	4.1	1.8	5.9	7.8					
	85歳以上(n=348)	50.6	31.0	23.9	17.2	18.4	16.7	6.6	3.7	1.4	11.2	5.5					
介護度別	要支援1(n=176)	42.6	37.5	19.3	18.8	13.6	16.5	10.2	3.4	0.6	9.1	4.5					
	要支援2(n=184)	56.5	40.8	18.5	20.7	14.1	16.8	10.9	5.4	1.6	7.6	4.3					
	要介護1(n=167)	49.7	32.3	34.1	18.0	22.8	15.0	10.8	3.0	1.2	9.0	2.4					
	要介護2(n=68)	54.4	42.6	26.5	29.4	26.5	22.1	8.8	4.4	1.5	5.9	7.4					
	要介護3(n=14)	42.9	28.6	21.4	21.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3					
	要介護4(n=14)	57.1	28.6	14.3	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1					
	要介護5(n=5)	40.0	60.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0					

(2) 生活支援に関すること

生活支援に関して困っていることでは、「外出に関すること（交通手段、外出の支援体制など）」の20.9%が最も高く、ついで「掃除や洗濯、買い物などの家事」が19.4%、「災害時の避難の際の援助」が19.0%、「食事に関すること（炊事、栄養管理など）」が15.7%、「緊急時の対応（連絡など）」が14.3%、「生活全般に関する相談への対応」が5.2%、「近所付き合い、地域とのつながり」が4.6%、「その他」が1.4%となっています。「特に不安はない」は19.4%、「わからない」は11.3%です。

性別では、男性は「食事に関すること（炊事、栄養管理など）」が20.5%と多く、女性では「緊急時の対応（連絡など）」が16.9%と多くなっています。



年齢別では、65～69歳と70～74歳は「食事に関すること（炊事、栄養管理など）」がそれぞれ27.3%、32.0%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「外出に関すること（交通手段、外出の支援体制など）」は介護度が高いほど多くなっています。

(%)

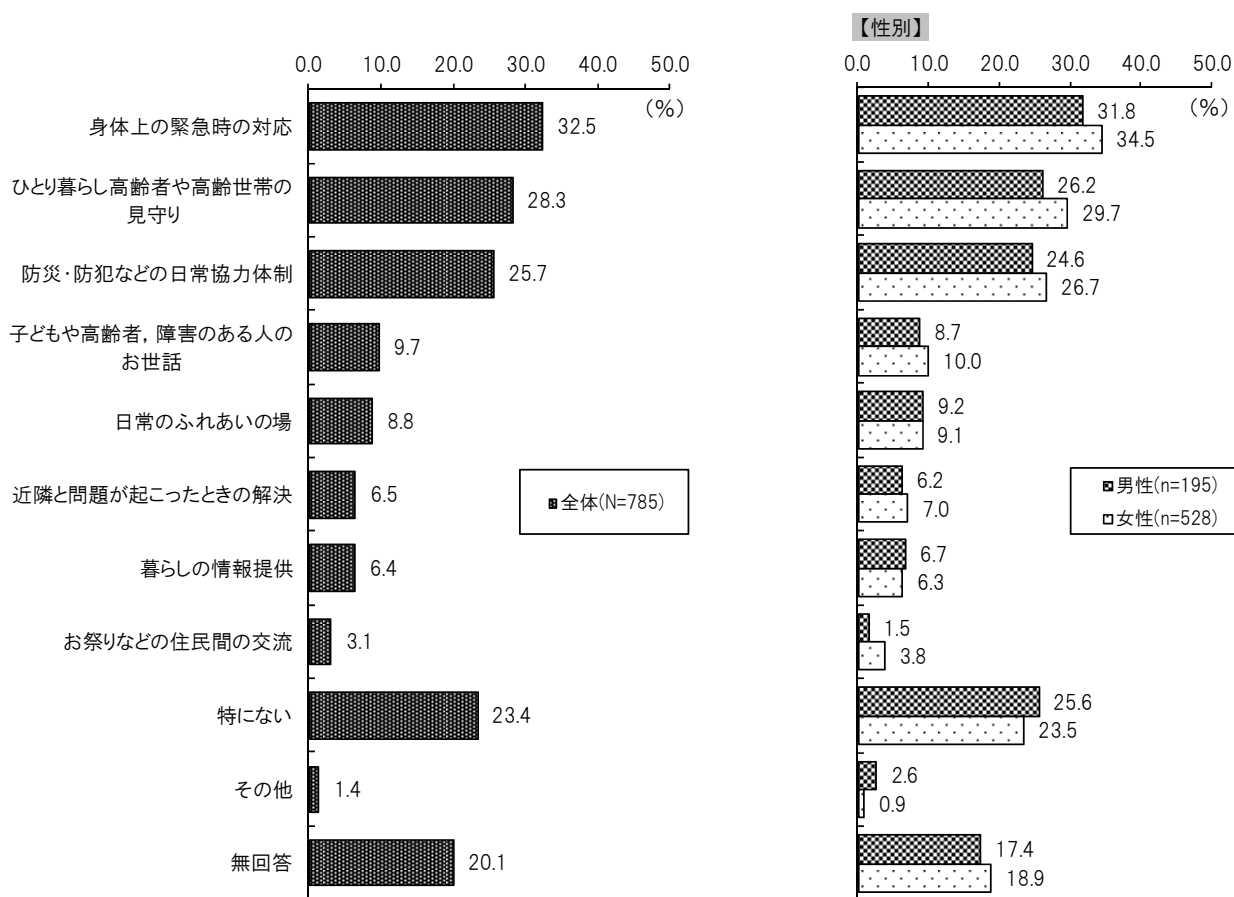
区分		困っていること (生活支援に 関すること)	のへ外 支交出 援通に 体手関 制段す る、外 こと	物掃 な除 どの の洗 家事、 買い	の災 害助 時の 避難 の際	なへ食 ど炊事 に関 する 栄養 管理 と	絡緊 な急 時の 対応 (連	相生 談活 への 全般 に 関 する	域近 との 所付 つき なが いり、 地	そ の 他	特 に 不 安 は な い	わ か ら な い
全体(N=785)		20.9	19.4	19.0	15.7	14.3	5.2	4.6	1.4	19.4	11.3	
性別	男性(n=195)	18.5	17.9	17.9	20.5	9.2	4.6	2.1	1.5	20.5	11.8	
	女性(n=528)	22.3	19.7	18.9	14.8	16.9	5.9	5.7	1.5	20.1	11.6	
年齢別	65～69歳(n=33)	18.2	15.2	18.2	27.3	18.2	3.0	3.0	0.0	12.1	9.1	
	70～74歳(n=50)	18.0	18.0	16.0	32.0	10.0	6.0	2.0	0.0	14.0	8.0	
	75～79歳(n=113)	15.9	15.0	17.7	15.0	18.6	6.2	3.5	0.0	19.5	9.7	
	80～84歳(n=219)	25.1	24.7	21.0	16.0	13.7	5.5	6.4	1.8	13.2	12.3	
	85歳以上(n=348)	21.6	18.4	19.0	12.9	13.8	4.9	4.6	2.0	24.1	12.4	
介護度別	要支援1(n=176)	23.9	20.5	18.8	12.5	14.8	4.5	3.4	0.0	17.0	11.4	
	要支援2(n=184)	23.9	26.6	23.4	20.1	15.8	7.6	4.3	2.2	17.4	8.7	
	要介護1(n=167)	24.0	18.0	15.0	19.8	12.0	5.4	6.6	1.2	24.6	10.8	
	要介護2(n=68)	26.5	20.6	27.9	11.8	19.1	1.5	4.4	2.9	14.7	10.3	
	要介護3(n=14)	7.1	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3	
	要介護4(n=14)	7.1	7.1	7.1	14.3	14.3	7.1	0.0	0.0	14.3	28.6	
	要介護5(n=5)	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	

7. 地域に期待する役割

Q 6 地域にどのような役割を期待したいと思いますか（いくつでも）

地域に期待する役割としては、「身体上の緊急時の対応」の32.5%が最も多く、「ひとり暮らし高齢者や高齢世帯の見守り」が28.3%、「防災・防犯などの日常協力体制」が25.7%、「子どもや高齢者、障害のある人のお世話」が9.7%、「日常のふれあいの場」が8.8%、「近隣と問題が起こったときの解決」が6.5%、「暮らしの情報提供」が6.4%、「お祭りなどの住民間の交流」が3.1%、「その他」が1.4%と続いています。「特にない」は23.4%となっています。

性別では、大きな差はみられません。



年齢別では、70～74歳は「身体上の緊急時の対応」が42.0%、「日常のふれあいの場」が14.0%、80～84歳では「ひとり暮らし高齢者や高齢世帯の見守り」が32.9%、「防災・防犯などの日常協力体制」が32.0%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「子どもや高齢者障害のある人のお世話」で、要支援より要介護の方が多い傾向がみられます。

(%)

地域に期待する役割		対身体上の緊急時の	見守りやひとり暮らし高齢世帯の高齢	日常防災協力体制などの	お世話の子どもや高齢者、	場日常のふれあいの	こ近隣と問題が起決	暮らしの情報提供	間お祭りなどの住民	特にな	その他
区分											
全体(N=785)		32.5	28.3	25.7	9.7	8.8	6.5	6.4	3.1	23.4	1.4
性別	男性(n=195)	31.8	26.2	24.6	8.7	9.2	6.2	6.7	1.5	25.6	2.6
	女性(n=528)	34.5	29.7	26.7	10.0	9.1	7.0	6.3	3.8	23.5	0.9
年齢別	65～69歳(n=33)	30.3	27.3	18.2	12.1	3.0	3.0	6.1	0.0	18.2	3.0
	70～74歳(n=50)	42.0	22.0	24.0	10.0	14.0	4.0	2.0	2.0	20.0	0.0
	75～79歳(n=113)	38.9	28.3	28.3	12.4	11.5	6.2	8.0	3.5	20.4	1.8
	80～84歳(n=219)	33.3	32.9	32.0	11.0	5.9	9.6	5.5	2.7	21.0	1.4
	85歳以上(n=348)	29.6	27.6	22.7	8.3	9.8	5.5	7.2	3.7	27.0	1.4
介護度別	要支援1(n=176)	34.7	29.0	26.1	8.0	10.8	6.3	10.2	4.5	21.0	1.1
	要支援2(n=184)	35.3	35.3	26.6	8.7	8.7	6.0	8.2	4.9	22.3	2.2
	要介護1(n=167)	30.5	29.9	25.7	13.8	9.6	8.4	4.2	1.2	26.3	0.0
	要介護2(n=68)	33.8	26.5	35.3	11.8	8.8	7.4	5.9	1.5	22.1	0.0
	要介護3(n=14)	14.3	21.4	7.1	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	42.9	0.0
	要介護4(n=14)	35.7	28.6	35.7	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0
	要介護5(n=5)	0.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0

【12】《介護者対象》介護をしている状況

1. 年齢

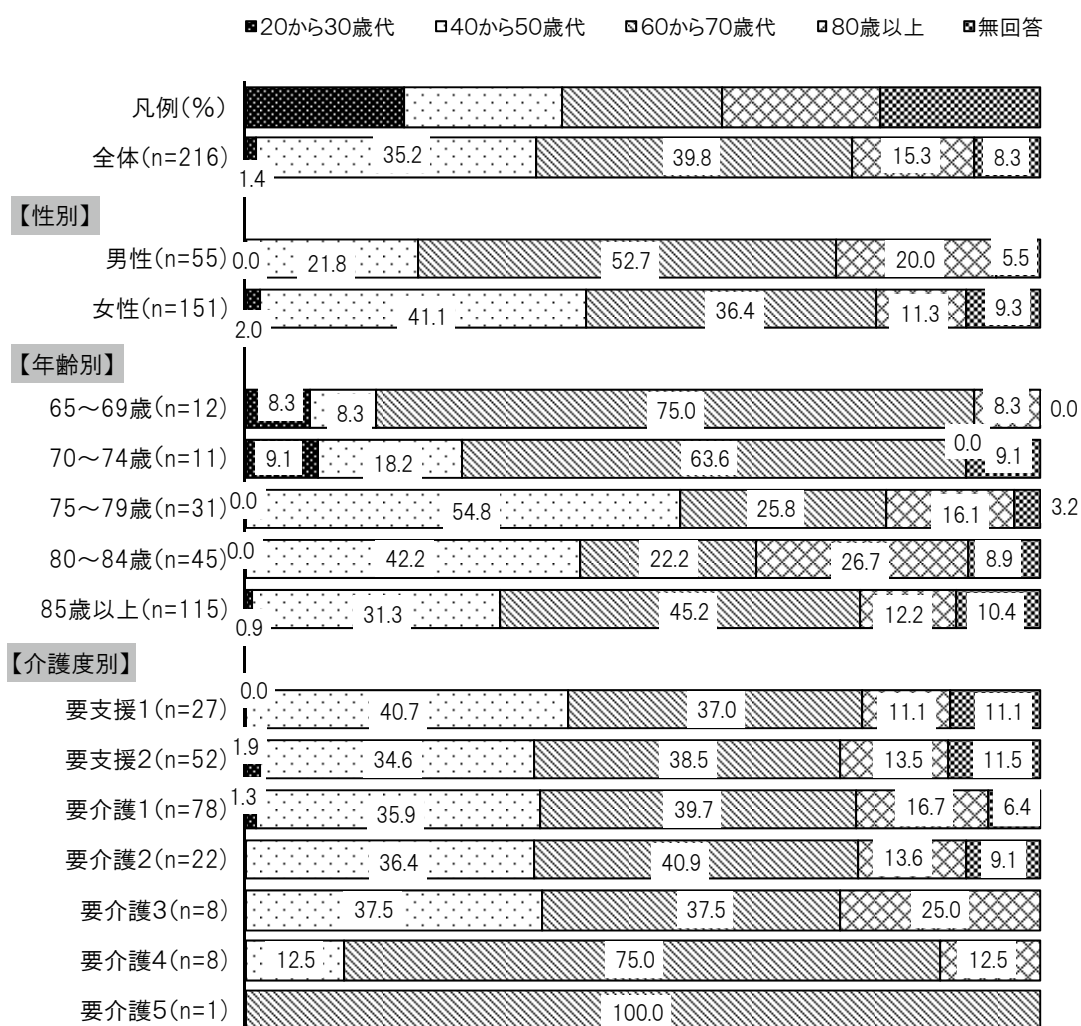
Q1 あなた（介護をしている方）の年齢はおいくつですか（1つに○）

介護者の年齢は、「60から70歳代」が39.8%で最も多く、「40から50歳代」が35.2%、「80歳以上」が15.3%、「20から30歳代」が1.4%となっています。

性別では、男性は「60から70歳代」が52.7%と多く、女性では「40から50歳代」が41.1%と多くなっています。

年齢別では、65～69歳と70～74歳、85歳以上は「60から70歳代」がそれぞれ75.0%、63.6%、45.2%と多く、75～79歳は「40から50歳代」が54.8%、80～84歳は「40から50歳代」の42.2%と「80歳以上」の26.7%が多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除くと、明確な傾向はみられません。



2. 介護者の性別

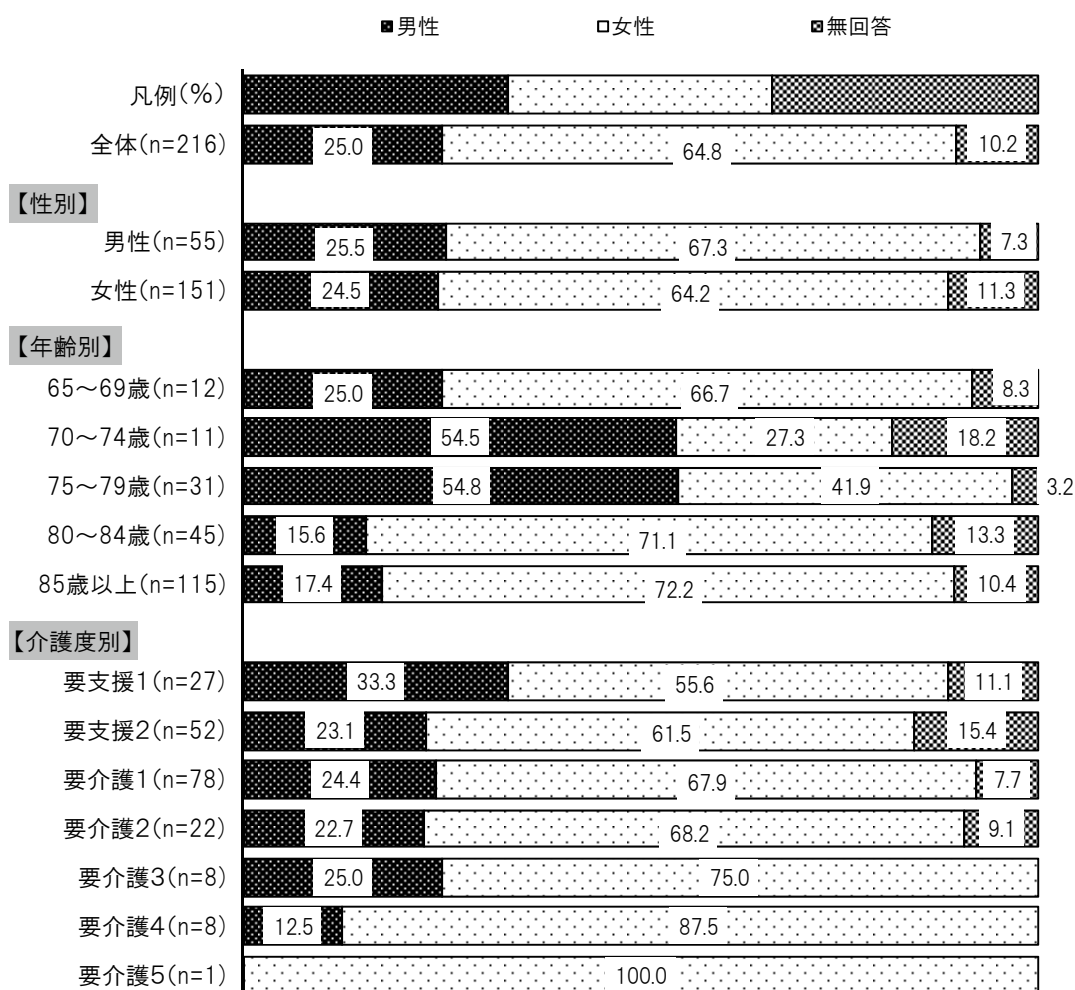
Q2 あなた（介護をしている方）の性別は。当てはまる方を選んでください（1つに○）

介護者の性別は、「男性」が25.0%、「女性」が64.8%となっています。

性別では、大きな差はありません。

年齢別では、回答数が少なくなっていますが、70歳代で「男性」が多い傾向がみられます。

介護度別では、要支援1は「男性」が33.3%と多くなっています。



3. 介護を受けている人からみた介護者の続柄

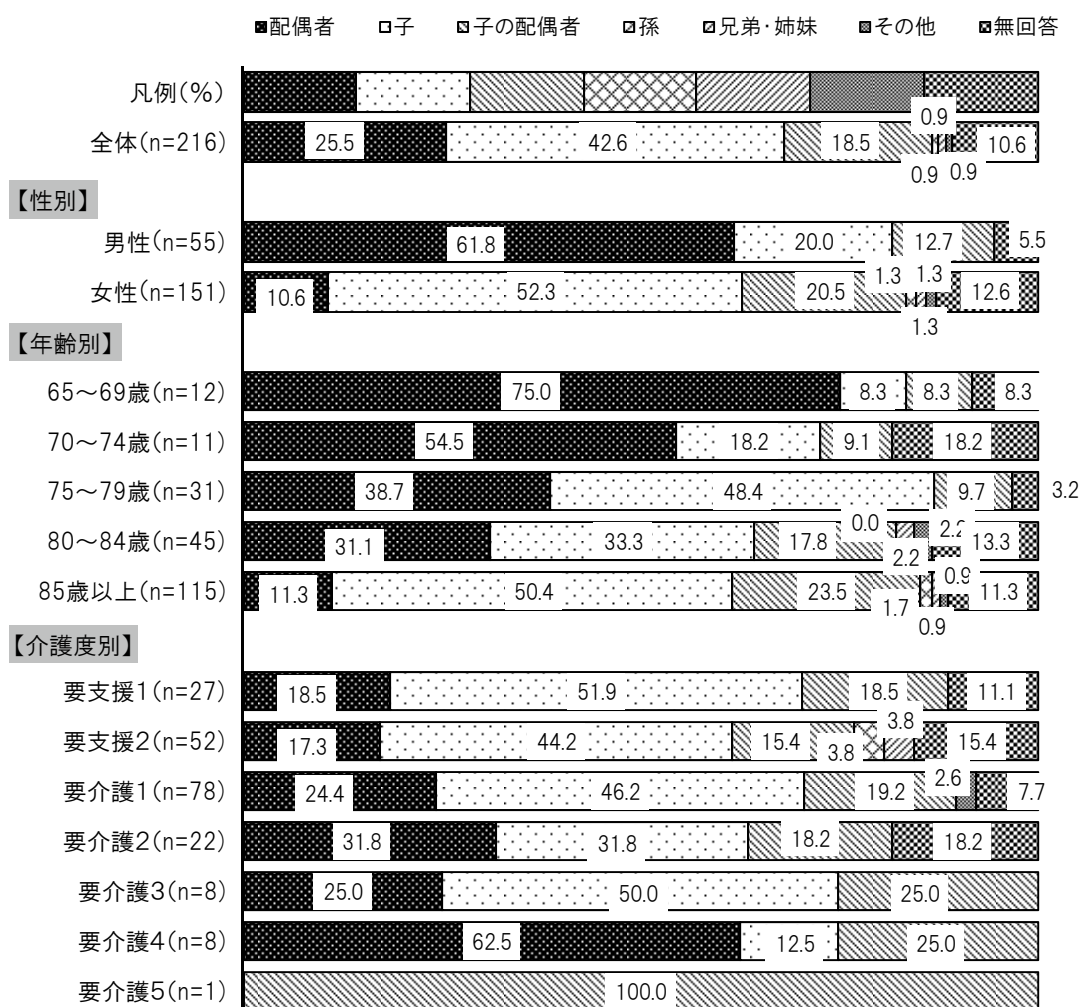
Q3 介護を受けている方ご本人からみた、あなた（介護をしている方）の続柄は（1つに○）

介護を受けている人からみた介護者の続柄は、「子」が42.6%で最も多く、「配偶者」が25.5%、「子の配偶者」が18.5%、「孫」「兄弟・姉妹」「その他」がともに0.9%となっています。

性別では、男性は「配偶者」が61.8%と特に多く、女性では「子」が52.3%と多くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「配偶者」が少なくなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援よりも要介護の方が「配偶者」が多くなっています。



4. 介護者の家族状況

Q4 Q3で「2子」、「3子の配偶者」、「4孫」と答えた方にお尋ねします。あなた（介護をしている方）の家族状況についてうかがいます

(1) 介護している人数

介護者が介護している人数は、平均で1.1人となっています。

性別では、「男性」が平均で1.4人とやや多くなっています。

年齢別では、平均人数の大きな差はみられません。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除くと、要支援より要介護の方が若干平均人数が多い傾向がみられます。

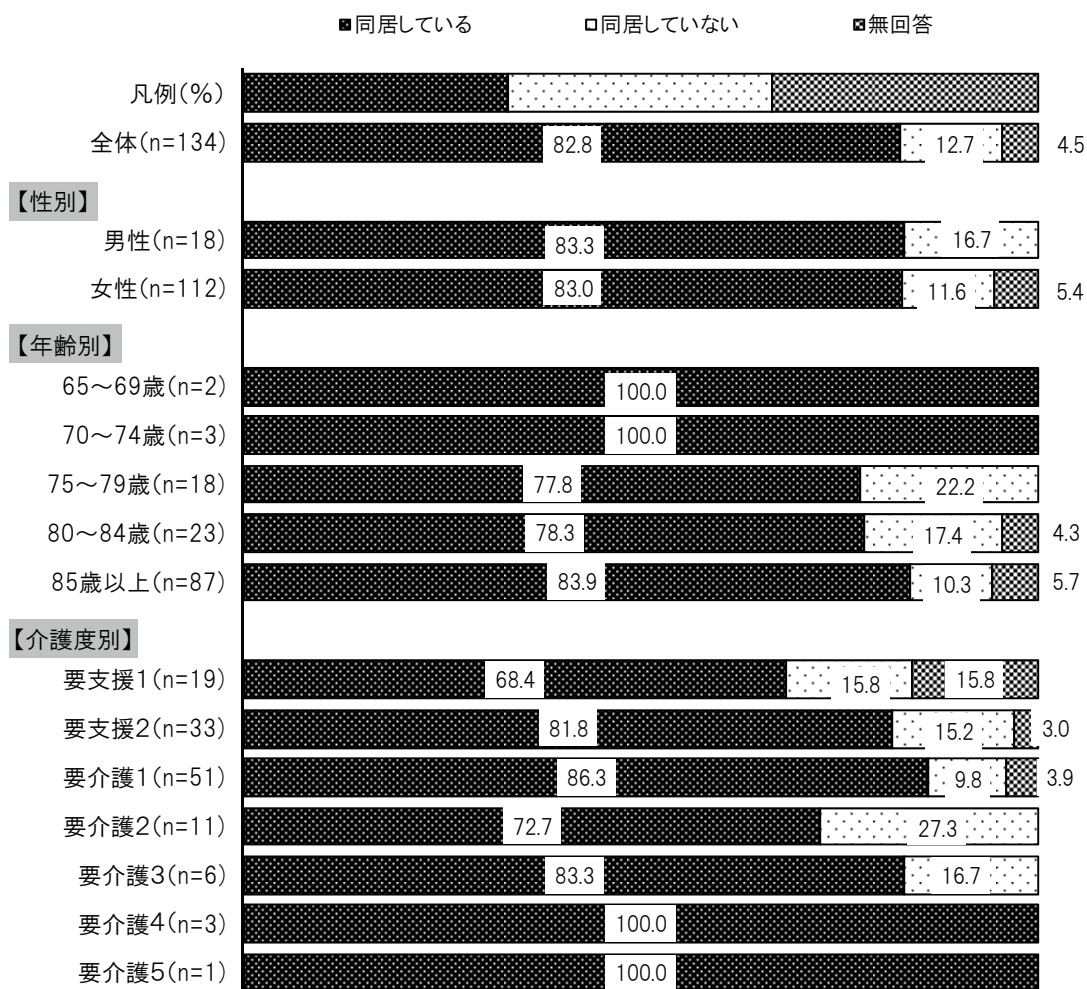
介護している人数 (何人介護しているか)		サ ン プ ル 数	平 均
区分			
	全体(N=785)	122	1.1
性 別	男性(n=195)	17	1.4
	女性(n=528)	104	1.1
年 齢 別	65～69歳(n=33)	2	1.0
	70～74歳(n=50)	3	1.0
	75～79歳(n=113)	16	1.1
	80～84歳(n=219)	21	1.1
	85歳以上(n=348)	79	1.1
介 護 度 別	要支援1(n=176)	16	1.0
	要支援2(n=184)	29	1.1
	要介護1(n=167)	48	1.1
	要介護2(n=68)	11	1.2
	要介護3(n=14)	6	1.2
	要介護4(n=14)	3	1.0
	要介護5(n=5)	0	0.0

(2) 介護を受けている人との同居について

介護を受けている人との同居状況を見ると、「同居している」が82.8%、「同居していない」が12.7%となっています。

性別では、大きな差はありません。

(年齢別、介護度別は、回答サンプルが少数のため数値は参考値です。)



(3) 介護者の家族構成

介護者の家族人数は、平均 3.1 人です。

性別での大きな差はありません。

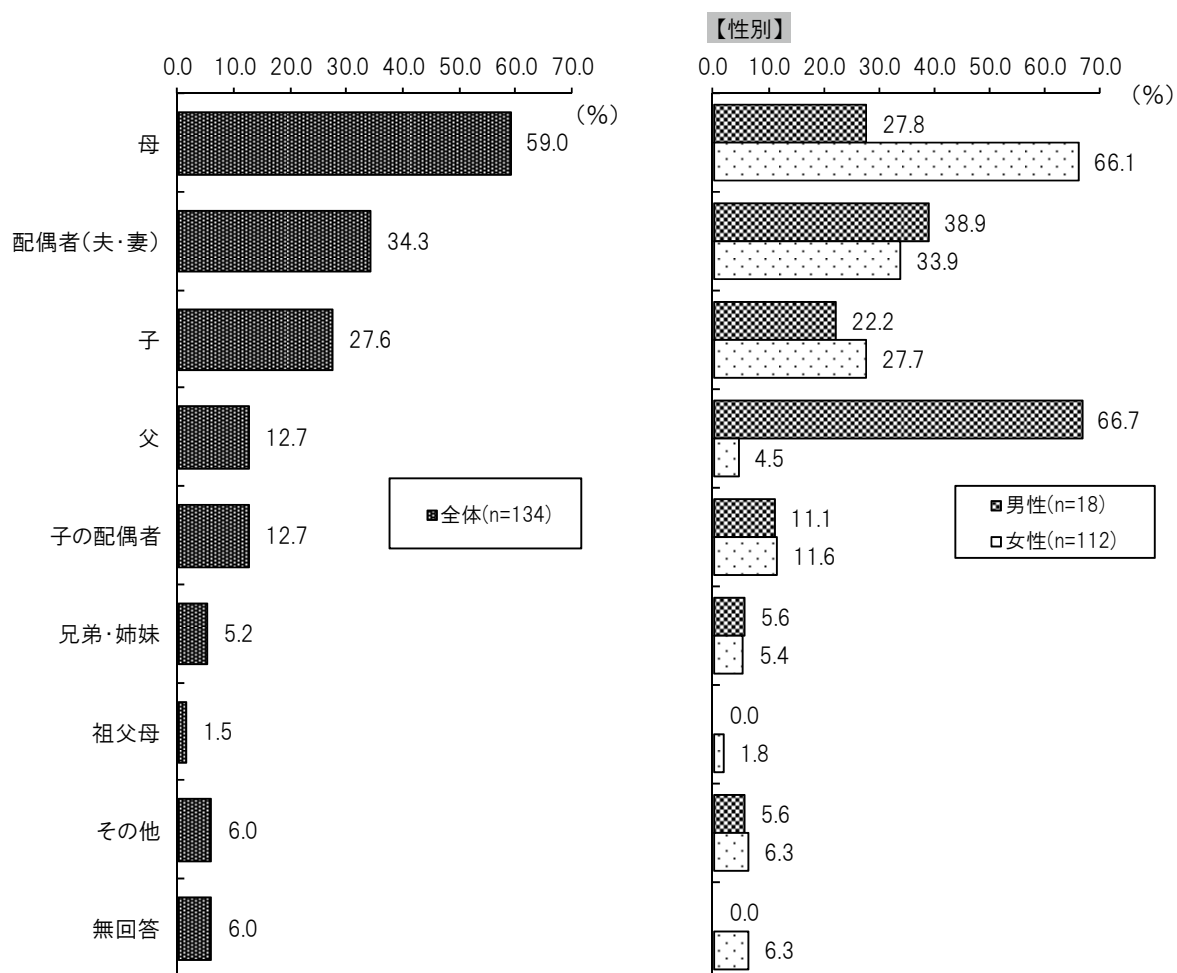
年齢別では、65 歳から 79 歳までの方が、80 歳以上よりも、家族の平均人数が少ない傾向がみられます。

介護度別では、明確な傾向はみられません。

介護者の家族人数		サ ン プ ル 数	平 均
区分			
	全体(N=785)	128	3.1
性 別	男性(n=195)	18	3.2
	女性(n=528)	108	3.1
年 齢 別	65～69歳(n=33)	2	2.5
	70～74歳(n=50)	3	2.7
	75～79歳(n=113)	17	2.6
	80～84歳(n=219)	22	3.8
	85歳以上(n=348)	83	3.1
介 護 度 別	要支援1(n=176)	16	2.5
	要支援2(n=184)	33	3.5
	要介護1(n=167)	50	3.2
	要介護2(n=68)	11	2.8
	要介護3(n=14)	6	3.3
	要介護4(n=14)	3	3.0
	要介護5(n=5)	0	-

介護者の家族構成は、「母」が59.0%と最も多く、ついで「配偶者(夫・妻)」が34.3%、「子」が27.6%、「父」「子の配偶者」がともに12.7%、「その他」が6.0%、「兄弟・姉妹」が5.2%、「祖父母」が1.5%となっています。

性別では、男性は「父」が66.7%と特に多く、女性では「母」が66.1%と多くなっています。



(年齢別、介護度別は、回答サンプルが少数のため数値は参考値です。)

区分		(%)							
		同居されている方	母	妻 (配偶者 (夫・ 妻)	子	父	子の 配偶者	兄弟・ 姉妹	祖父 母
全体(n=134)		59.0	34.3	27.6	12.7	12.7	5.2	1.5	6.0
性別	男性(n=18)	27.8	38.9	22.2	66.7	11.1	5.6	0.0	5.6
	女性(n=112)	66.1	33.9	27.7	4.5	11.6	5.4	1.8	6.3
年齢別	65～69歳(n=2)	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(n=3)	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	75～79歳(n=18)	50.0	38.9	27.8	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6
	80～84歳(n=23)	69.6	52.2	30.4	21.7	13.0	13.0	0.0	8.7
	85歳以上(n=87)	56.3	27.6	27.6	11.5	16.1	4.6	2.3	5.7
介護度別	要支援1(n=19)	63.2	26.3	15.8	5.3	5.3	0.0	0.0	0.0
	要支援2(n=33)	45.5	54.5	36.4	21.2	12.1	12.1	3.0	9.1
	要介護1(n=51)	64.7	29.4	29.4	7.8	15.7	3.9	2.0	7.8
	要介護2(n=11)	36.4	45.5	36.4	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1
	要介護3(n=6)	50.0	16.7	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0
	要介護4(n=3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5(n=1)	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

5. 介護者の介護期間

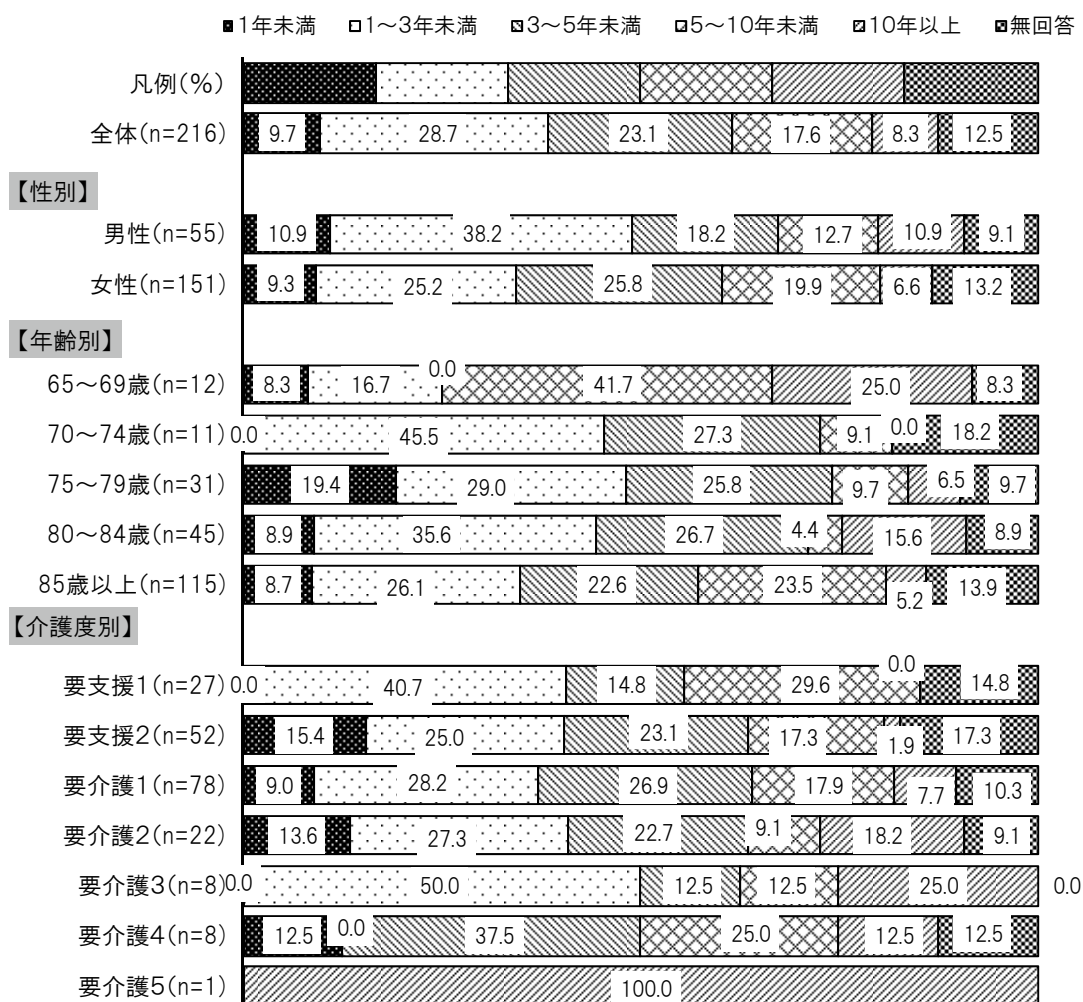
Q5 介護をはじめてどのくらいですか (1つに○)

介護者が介護をはじめてからの期間は、「1～3年未満」が28.7%と最も多く、「3～5年未満」が23.1%、「5～10年未満」が17.6%、「1年未満」9.7%、「10年以上」8.3%となっています。

性別では、男性は「1～3年未満」が38.2%と多くなっています。

年齢別では、回答数が少ない65～69歳と70～74歳を除くと、75～79歳で「1年未満」が19.4%と多くなっています。

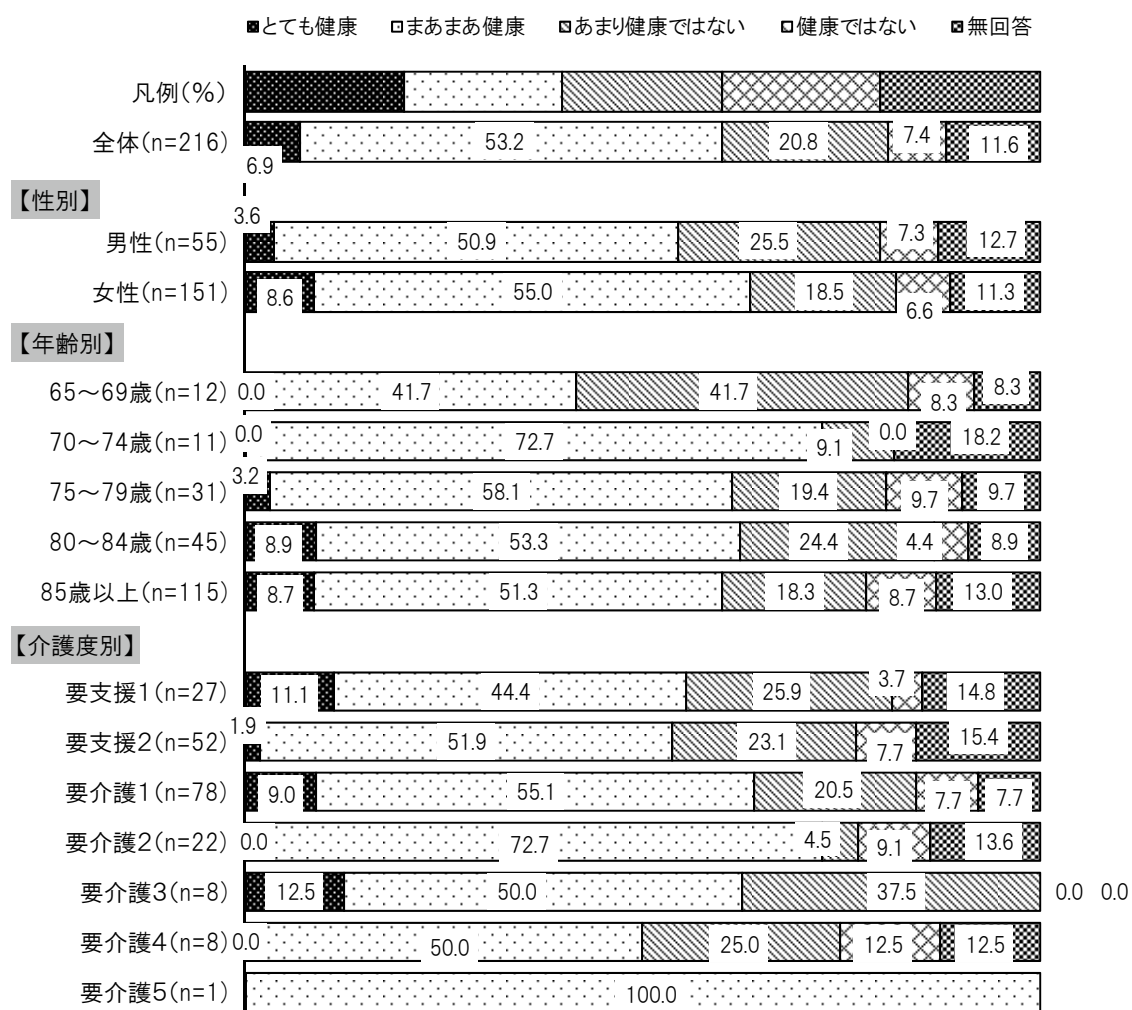
介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、要支援1は「1～3年未満」が40.7%と多くなっています。



6. 介護者の健康状態

Q6 あなた（介護をしている方）ご自身の現在の健康状態はどうか（1つに○）

介護者の健康状態は、「まあまあ健康」が53.2%と最も多く、「とても健康」が6.9%、「あまり健康ではない」が20.8%、「健康ではない」が7.4%となっています。性別では、男性は「あまり健康ではない」が25.5%と若干多くなっています。年齢別と介護度別では、明確な傾向はみられません。

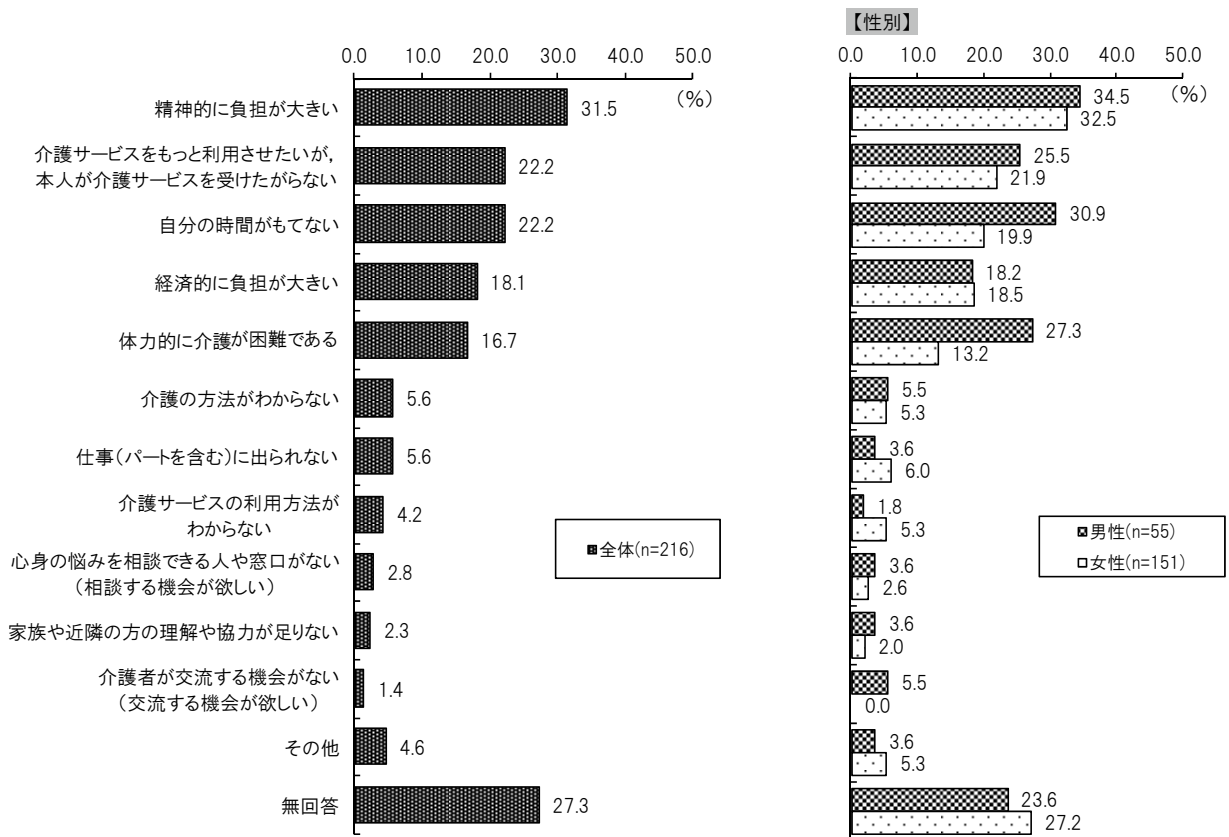


7. 介護で困っていること・望んでいること

Q7 介護を行う上で困っていることや望んでいることはなんですか（3つまでに○）

介護で困っていること・望んでいることは、「精神的に負担が大きい」が31.5%と最も多く、ついで「介護サービスをもっと利用させたいが、本人が介護サービスを受けたがらない」「自分の時間がもてない」がともに22.2%、「経済的に負担が大きい」が18.1%、「体力的に介護が困難である」が16.7%、「介護の方法がわからない」「仕事（パートを含む）に出られない」がともに5.6%となっています。

性別では、男性は「自分の時間がもてない」が30.9%、「体力的に介護が困難である」が27.3%と多くなっています。



年齢別では、回答数が少ない65～69歳と70～74歳を除くと、75～79歳で「精神的に負担が大きい」が41.9%、「介護サービスをもっと利用させたいが、本人が介護サービスを受けたがらない」が35.5%と多くなっています。

介護度別では、明確な傾向はみられません。

(%)

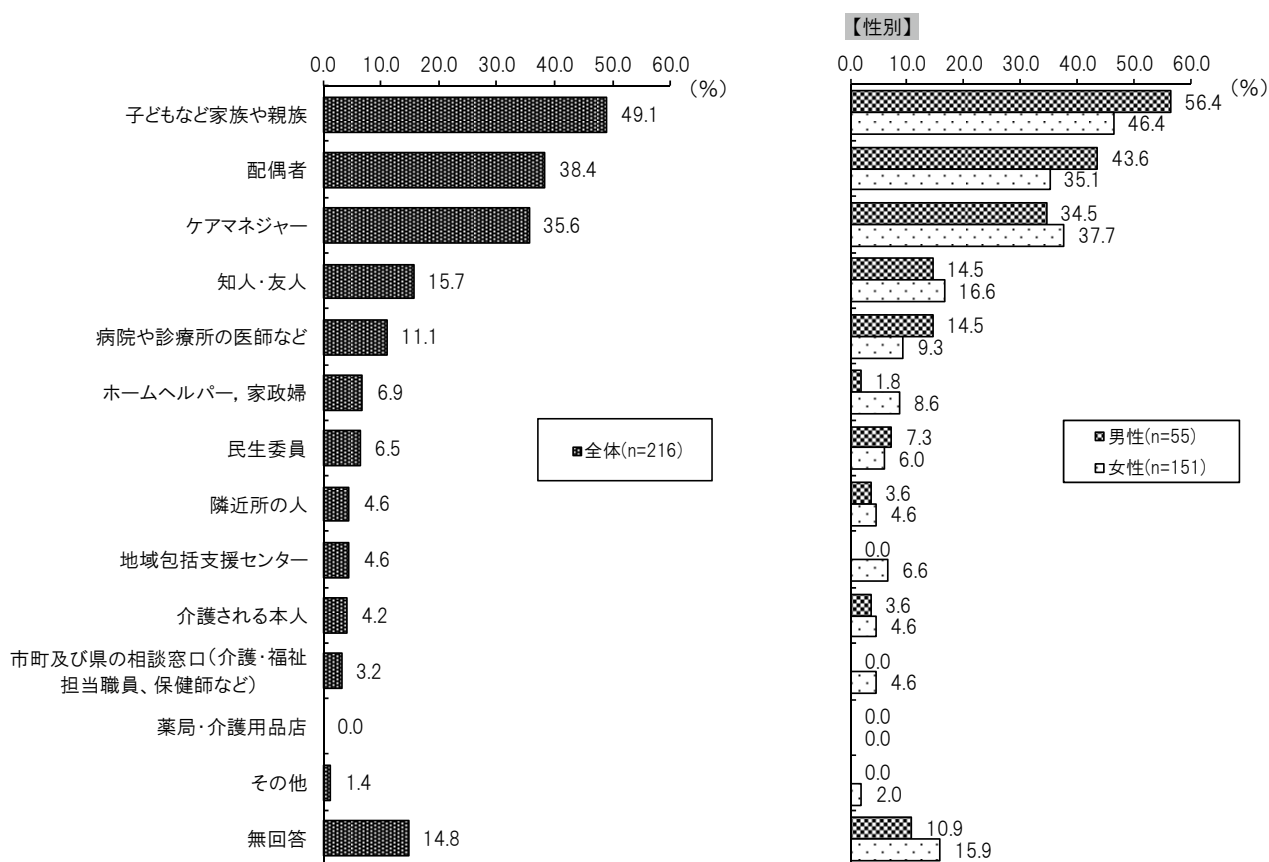
区分		介護を行う上で困っていることや望んでいること	精神的に負担が大きい	介護サービスをもっと利用させたいが、本人が介護サービスを受けたがらない	自分の時間がもてない	経済的に負担が大きい	体力的に介護が困難である	介護の方法がわからない	仕事（パートを含む）に出られない	介護サービスの利用方法がわからない	心身の悩みを相談できる人や窓口がない（相談する機会が欲しい）	家族や近隣の方の理解や協力が足りない	介護者が交流する機会がない（交流する機会が欲しい）	その他
全体(n=216)			31.5	22.2	22.2	18.1	16.7	5.6	5.6	4.2	2.8	2.3	1.4	4.6
性別	男性(n=55)		34.5	25.5	30.9	18.2	27.3	5.5	3.6	1.8	3.6	3.6	5.5	3.6
	女性(n=151)		32.5	21.9	19.9	18.5	13.2	5.3	6.0	5.3	2.6	2.0	0.0	5.3
年齢別	65～69歳(n=12)		33.3	16.7	41.7	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0
	70～74歳(n=11)		36.4	0.0	0.0	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1
	75～79歳(n=31)		41.9	35.5	22.6	19.4	22.6	6.5	0.0	0.0	6.5	3.2	0.0	0.0
	80～84歳(n=45)		31.1	26.7	28.9	20.0	20.0	0.0	6.7	2.2	0.0	6.7	2.2	2.2
	85歳以上(n=115)		28.7	19.1	20.0	16.5	13.9	8.7	7.0	7.0	2.6	0.0	0.9	7.0
介護度別	要支援1(n=27)		33.3	22.2	14.8	18.5	29.6	7.4	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	要支援2(n=52)		15.4	25.0	17.3	17.3	9.6	3.8	9.6	7.7	3.8	1.9	1.9	5.8
	要介護1(n=78)		42.3	29.5	34.6	14.1	14.1	6.4	2.6	2.6	3.8	2.6	1.3	6.4
	要介護2(n=22)		27.3	4.5	18.2	22.7	27.3	4.5	13.6	4.5	0.0	9.1	4.5	4.5
	要介護3(n=8)		25.0	25.0	25.0	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護4(n=8)		62.5	0.0	12.5	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5
	要介護5(n=1)		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

8. 介護の相談相手

Q 8 困ったとき、誰に相談していますか (3つまでに○)

介護の相談相手としては、「子どもなど家族や親族」が49.1%と最も多く、ついで「配偶者」が38.4%、「ケアマネジャー」が35.6%、「知人・友人」が15.7%、「病院や診療所の医師など」が11.1%、「ホームヘルパー、家政婦」が6.9%、「民生委員」が6.5%となっています。

性別では、男性は「子どもなど家族や親族」が56.4%、「配偶者」が43.6%と多く、女性では「ホームヘルパー、家政婦」が8.6%と多くなっています。



年齢別では、回答数が少ない65～69歳と70～74歳を除くと、75～79歳で「ケアマネジャー」が41.9%と多くなっています。

介護度別では、回答数が少ない要介護3以上を除き、「知人・友人」「病院や診療所の医師など」について、介護度が高いほど多い傾向がみられます。

(%)

区分		相談相手	子どもなど家族や親	配偶者	ケアマネジャー	知人・友人	病院や診療所の医師など	政 婦 ホームヘルパー、家	民生委員	隣近所の人	タ 地域包括支援セン	介 護される本人	職 口 市 員（介 町 及 護 保 健 び 師 師 福 県 など 祉 の 担 担 相 当 談 窓	薬 局・介 護用品 店	そ の 他
全体(n=216)			49.1	38.4	35.6	15.7	11.1	6.9	6.5	4.6	4.6	4.2	3.2	0.0	1.4
性別	男性(n=55)		56.4	43.6	34.5	14.5	14.5	1.8	7.3	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
	女性(n=151)		46.4	35.1	37.7	16.6	9.3	8.6	6.0	4.6	6.6	4.6	4.6	0.0	2.0
年齢別	65～69歳(n=12)		50.0	41.7	41.7	16.7	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳(n=11)		63.6	45.5	27.3	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0
	75～79歳(n=31)		45.2	32.3	41.9	19.4	12.9	6.5	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80～84歳(n=45)		46.7	40.0	31.1	13.3	11.1	8.9	8.9	2.2	0.0	6.7	0.0	0.0	4.4
	85歳以上(n=115)		50.4	38.3	35.7	17.4	11.3	7.0	5.2	5.2	7.0	5.2	5.2	0.0	0.9
介護度別	要支援1(n=27)		51.9	37.0	33.3	3.7	7.4	7.4	0.0	11.1	14.8	3.7	3.7	0.0	3.7
	要支援2(n=52)		44.2	38.5	23.1	17.3	9.6	7.7	9.6	1.9	5.8	1.9	5.8	0.0	0.0
	要介護1(n=78)		48.7	42.3	47.4	19.2	12.8	5.1	5.1	2.6	2.6	5.1	3.8	0.0	1.3
	要介護2(n=22)		50.0	22.7	36.4	27.3	13.6	9.1	13.6	4.5	0.0	4.5	0.0	0.0	4.5
	要介護3(n=8)		87.5	75.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	要介護4(n=8)		50.0	37.5	62.5	0.0	37.5	12.5	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護5(n=1)		0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

9. 今後の介護方法

Q9 今後、どのような介護をしたいですか (1つに○)

今後の介護方法は、「介護保険サービス（ホームヘルパー等）や福祉サービスを活用しながら在宅で介護したい」が40.7%と最も多く、ついで「なるべく家族のみで、在宅で介護したい」が21.3%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの大きな施設に入所（院）させたい」が8.8%、「グループホームのように小規模で家庭的な施設に入所させたい」が8.3%、「要介護になっていない（自立）配偶者と一緒に生活できる施設に入所させたい」が0.9%、「その他」が1.4%となっています。

性別では、大きな差はみられません。

年齢別では、回答数が少ない65～69歳と70～74歳を除くと、75～79歳で「介護保険サービス（ホームヘルパー等）や福祉サービスを活用しながら在宅で介護したい」が51.6%と多くなっています。

介護度別では、明確な傾向はみられません。

